

江 南 市
介護保険及び高齢者福祉
実態調査報告書

令和5年8月

江 南 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	2
6 調査結果の表示方法	2
II 介護予防・日常生活圏域二一ス調査結果	3
○あなた自身のことについて	3
1 あなたのご家族や生活状況について	5
2 からだを動かすことについて.....	11
3 食べることについて	14
4 毎日の生活について	25
5 地域での活動について	41
6 たすけあいについて	55
7 健康について.....	63
8 介護予防・福祉サービスについて.....	74
9 認知症について.....	92
10 終末期の考え方について.....	95
11 高齢社会への対応について.....	99
12 外出について	105
III 生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域二一ス調査）	117
1 複数の機能リスク該当者割合の分析	117
2 機能別リスク該当者割合の分析.....	119
（1）運動器.....	119
（2）栄養.....	121
（3）口腔.....	123
（4）閉じこもり	125
（5）認知機能	127
（6）うつ.....	129
（7）潜在的事業対象者.....	131
3 認知機能に支障が出ている可能性のある該当者割合の分析.....	132
IV 在宅介護実態調査結果	134
○あなた自身のことについて	134
1 調査対象者様ご本人について（A票）	144
2 主な介護者の方について（B票）	164
3 介護保険サービスについて（C票）	176
4 福祉サービスについて（D票）	225
5 終末期の考え方について（E票）	227

6	新型コロナウイルス感染症の影響について（F票）	235
7	高齢社会への対応について（最後に）	237
V	事業所調査結果	239
A票	介護人材実態調査結果	239
1	事業所の職員雇用状況について	239
2	事業所の人材確保と人材定着状況について	245
3	事業所の運営について	251
B票	住まいの変更に関する実態調査結果	253
VI	自由意見	264
1	介護予防・日常生活圏域二一ス調査	264
(1)	介護保険制度について	264
(2)	情報・相談について	264
(3)	将来の不安や現状について	264
(4)	公共交通機関について	264
(5)	福祉行政について	265
(6)	地域交流について	265
(7)	サービス利用について	265
(8)	生活環境について	265
(9)	アンケートについて	266
(10)	介護支援専門員や事業者について	266
(11)	医療について	266
(12)	地域福祉・ボランティアについて	266
(13)	行政に対する感謝・不満について	267
(14)	雇用・就業について	267
(15)	その他	267
2	在宅介護実態調査	268
(1)	介護保険制度について	268
(2)	情報・相談について	268
(3)	将来の不安や現状について	268
(4)	公共交通機関について	268
(5)	福祉行政について	268
(6)	地域交流について	269
(7)	サービス利用について	269
(8)	生活環境について	269
(9)	アンケートについて	269
(10)	介護支援専門員や事業者について	269
(11)	医療について	269
(12)	地域福祉・ボランティアについて	269
(13)	税制関係について	270
(14)	その他	270
3	事業所調査	271
(1)	介護報酬や介護職員の待遇について	271
(2)	事業所の運営・経営について	271
(3)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等	271
(4)	その他	271

Ⅶ 調査票	272
1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	272
2 在宅介護実態調査	293
3 事業所調査	315
A票 介護人材実態調査	317
B票 住まいの変更に関する実態調査	327

I 調査の概要

1 調査の目的

令和6年度から令和8年度までを計画期間とする第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

- (1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
市内在住の要介護認定者（要介護1～要介護5）を除く65歳以上の高齢者2,000人
- (2) 在宅介護実態調査
市内で主に在宅にて生活する要介護1～5の認定を受けている方1,000人
- (3) 事業所調査
市内の介護保険サービス等事業所 92事業所
 - (i) A票 介護人材実態調査 76事業所
 - (ii) B票 住まいの変更にに関する実態調査 37事業所

調査票名		対象事業所サービス種別
A票	介護人材実態調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、 介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、 通所介護(地域密着型含む)、 認知症対応型通所介護、ショートステイ、 訪問介護、小規模多機能型居宅介護
B票	住まいの変更に に関する実態調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、 介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、 住宅型有料老人ホーム、 サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム

3 調査期間

- (1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 (2) 在宅介護実態調査 (3) 事業所調査
令和5年2月21日から令和5年3月31日

4 調査方法

- (1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査：郵送による配布・回収（一部聴き取り）・WEB回答
- (2) 在宅介護実態調査：調査員の面接による聴き取り調査（一部郵送）・WEB回答
- (3) 事業所調査：郵送による配布・回収・WEB回答

5 回収状況

区分	介護予防・日常生活圏域二エズ調査	在宅介護実態調査	事業所調査		
			A票	B票	
			介護人材実態調査	住まいの変更に 関する実態調査	
配布数 (A)	2,000件	1,000件	76件	37件	
回収件数 (B)	1,263件	738件	57件	23件	
回収率 (B/A)	63.2%	73.8%	75.0%	62.2%	
不明・無回答	0	2	0	1	
有効回答件数 (C)	1,263件	736件	57件	22件	
有効回答率 (C/A)	63.2%	73.6%	75.0%	59.5%	
参考	WEB回答数 (D) (再掲)	67件	39件	20件	11件

6 調査結果の表示方法

- 図表中の「n」は回答者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。
- 性別、年代別等で示しているグラフの「n」を合わせた数は、性別や年代等の無回答を除いた数であるため、全体の「n」と一致しません。
- クロス集計表における圏域別区分は、次のとおりです。

北部圏域：古知野北小学校、宮田小学校、草井小学校、藤里小学校区在住者

中部圏域：古知野東小学校、古知野南小学校、門弟山小学校区在住者

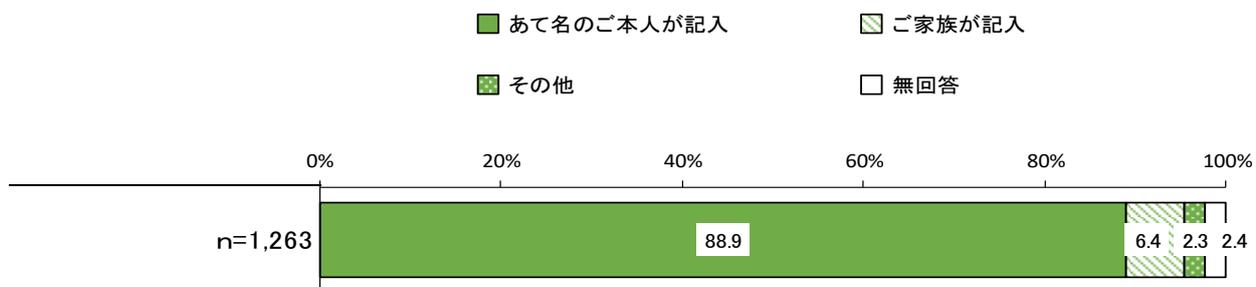
南部圏域：古知野西小学校、布袋小学校、布袋北小学校区在住者

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

○あなた自身のことについて

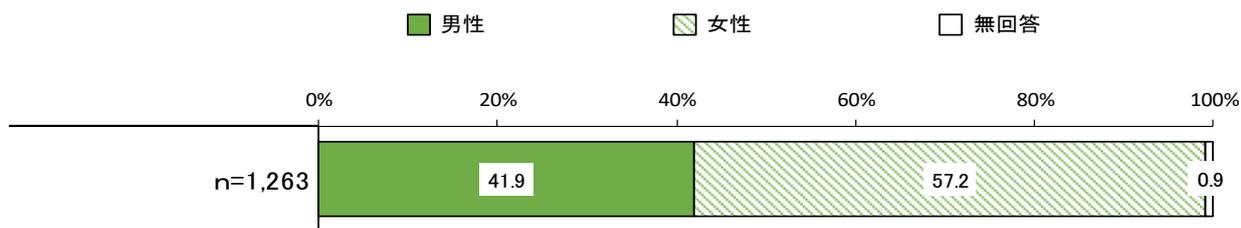
調査票の記入者はどなたですか。（○は1つ）

「あて名のご本人が記入」が 88.9%、「ご家族が記入」が 6.4%となっています。



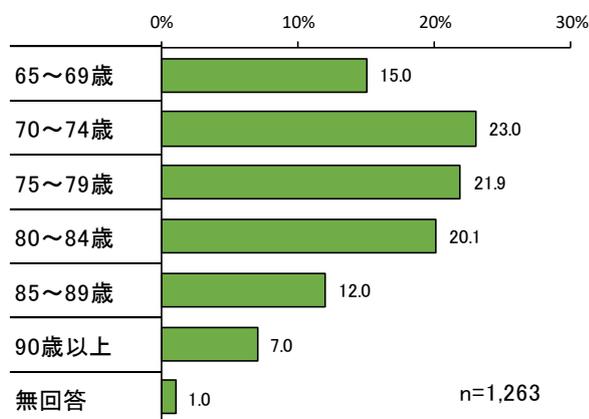
あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

「男性」が 41.9%、「女性」が 57.2%となっています。



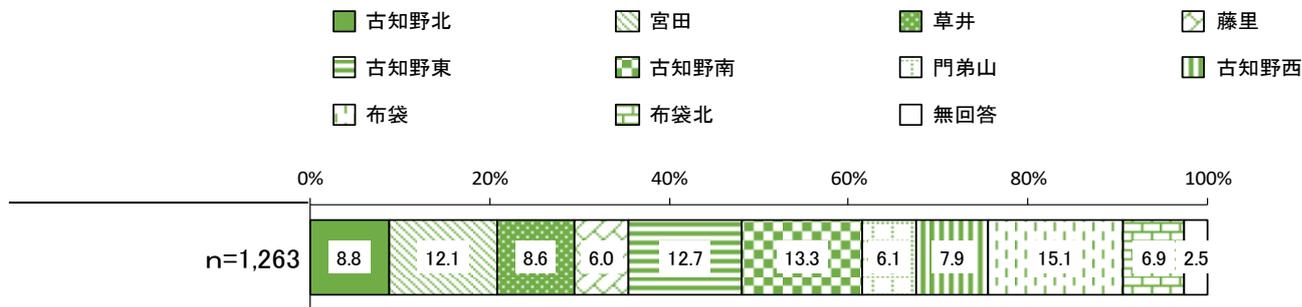
あなたの年齢はおいくつですか。（○は1つ） ※令和5年1月1日現在

「70～74 歳」が 23.0%で最も高く、次いで「75～79 歳」が 21.9%、「80～84 歳」が 20.1%となっています。



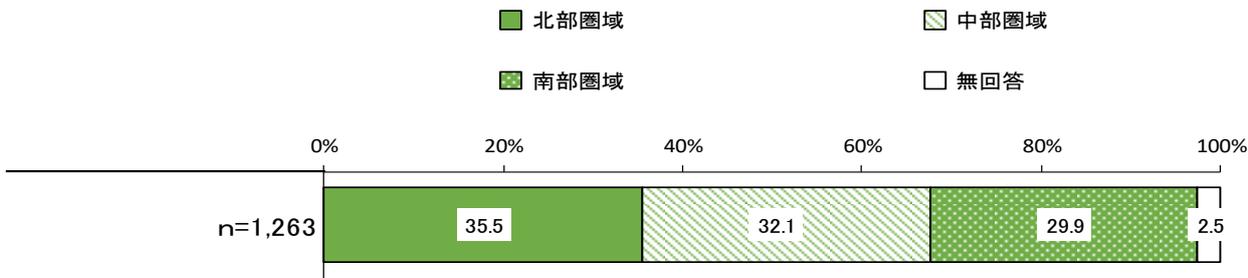
あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。（〇は1つ）

「布袋」が15.1%で最も高く、次いで「古知野南」が13.3%、「古知野東」が12.7%となっています。



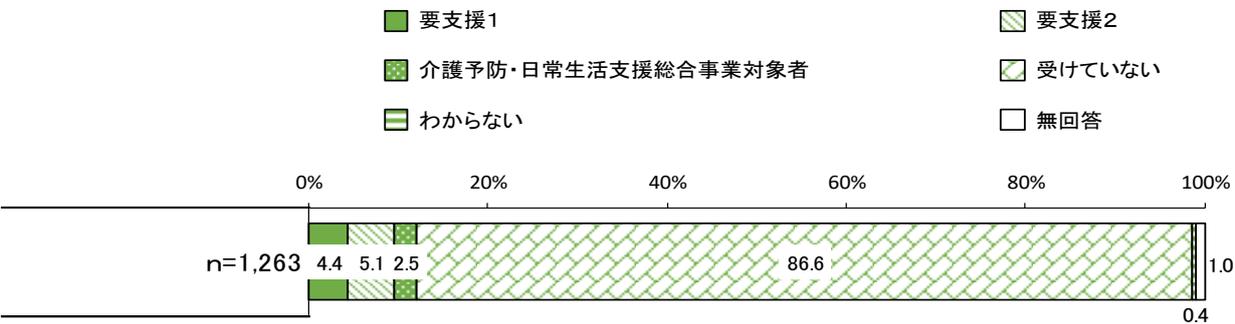
【圏域別】

圏域別では、「北部圏域」が35.5%で最も高く、次いで「中部圏域」が32.1%、「南部圏域」が29.9%となっています。



要介護認定を受けていますか。もしくは介護予防・日常生活支援総合事業対象者(※)ですか。（〇は1つ）

「受けていない」が86.6%で最も高く、次いで「要支援2」が5.1%、「要支援1」が4.4%となっています。

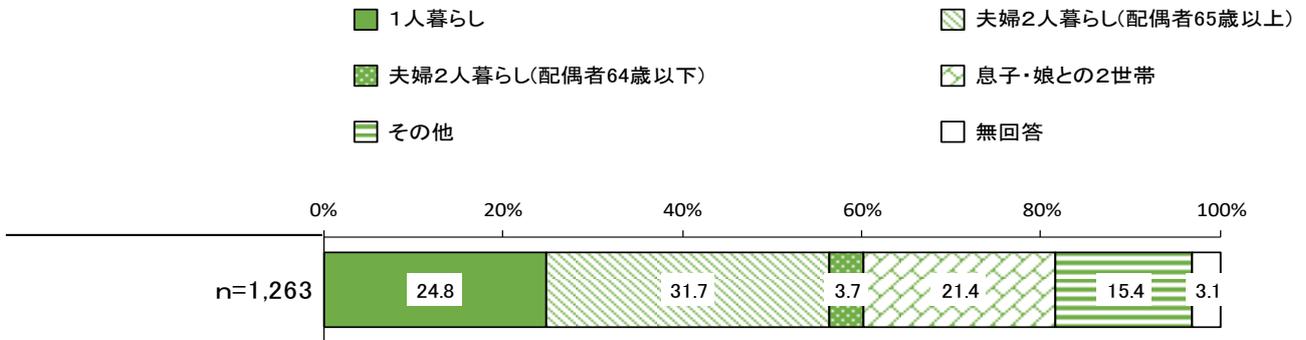


※25の質問項目で構成する、日常生活に必要な機能が低下していないか判定する「基本チェックリスト」を受け、生活機能の低下がみられた方。

1 あなたのご家族や生活状況について

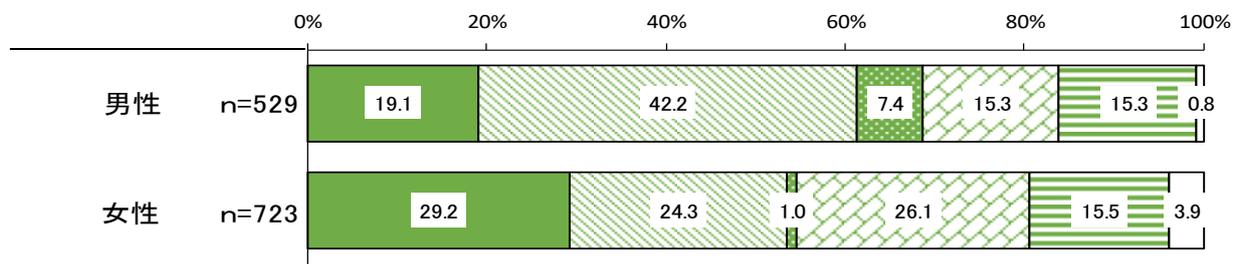
(1) 家族構成をお教えてください (〇は1つ)

「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」が 31.7%で最も高く、次いで「1人暮らし」が 24.8%、「息子・娘との2世帯」が 21.4%となっています。



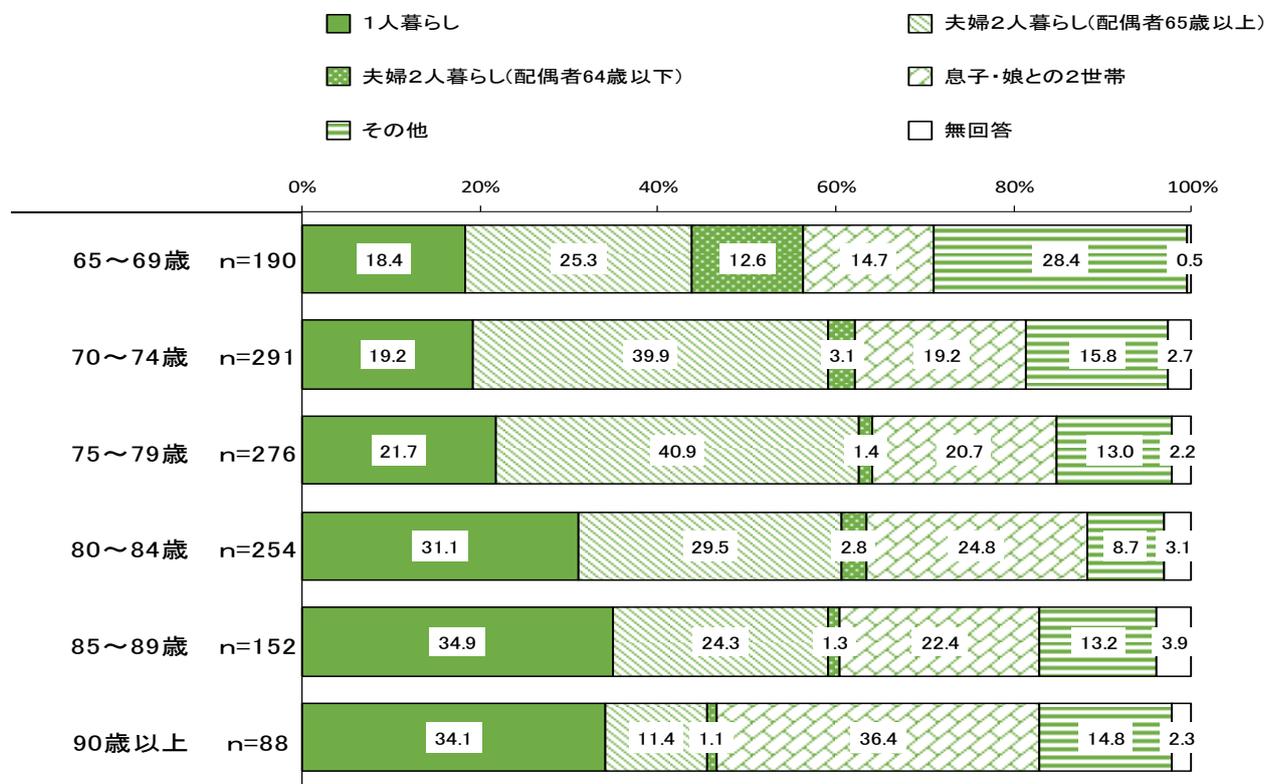
【性別】

性別では、男性で「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」(42.2%)、女性で「1人暮らし」(29.2%)の割合が最も高くなっています。



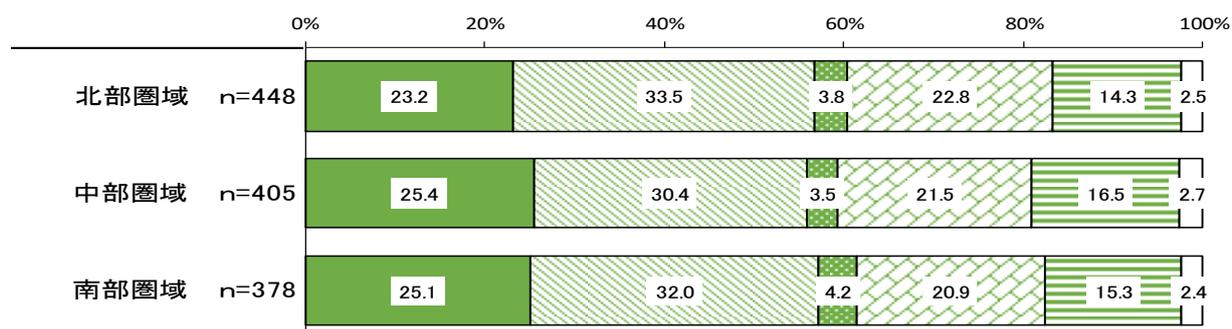
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.9%）の割合が高くなっています。また、90歳以上で「息子・娘との2世帯」（36.4%）の割合が高くなっています。



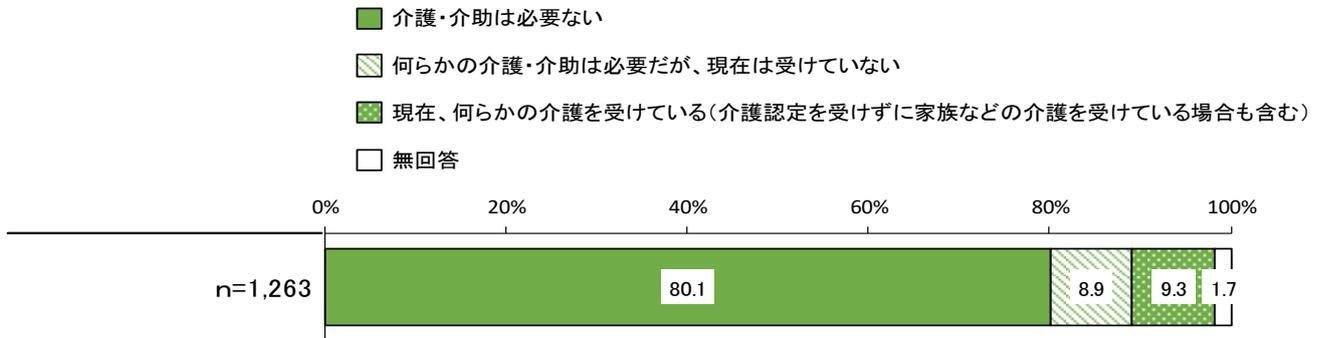
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



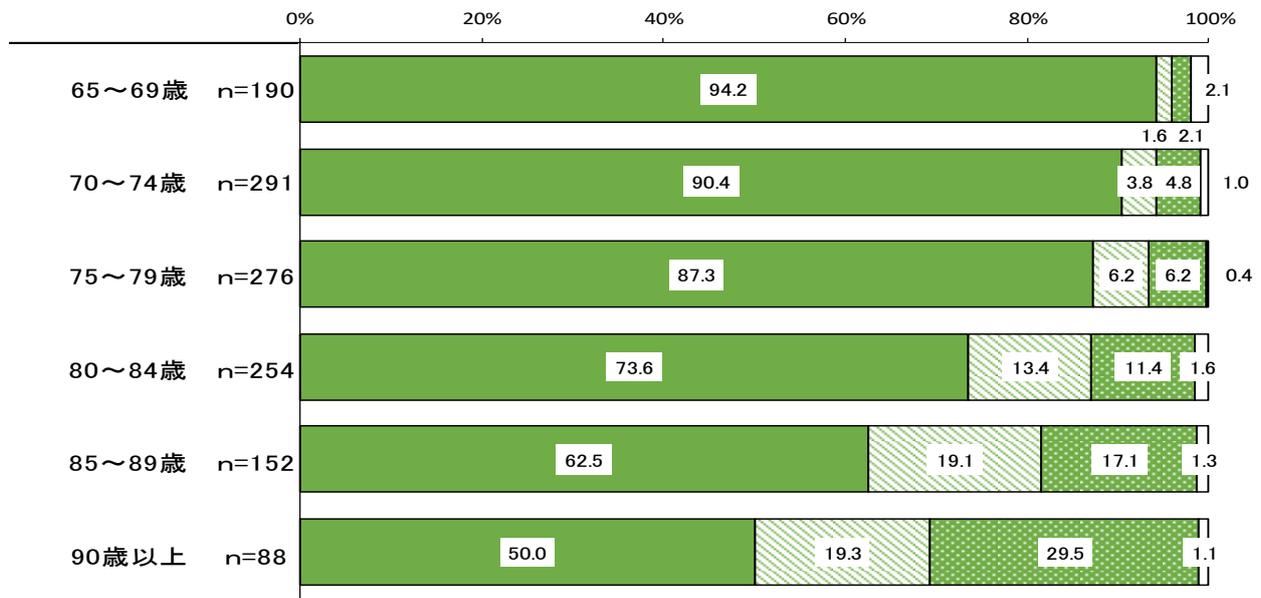
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

「介護・介助は必要ない」が 80.1%で最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が9.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 8.9%となっています。



【年代別】

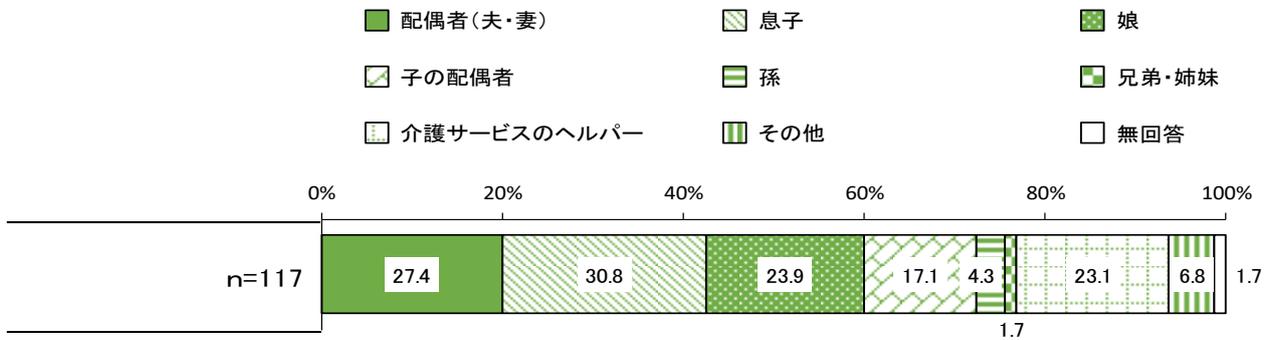
年代別では、年代が上がるにつれ「介護・介助は必要ない」の割合が低くなり、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっています。



(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(2) - 1 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

「息子」が 30.8%で最も高く、次いで「配偶者 (夫・妻)」が 27.4%、「娘」が 23.9%となっています。



【年代別】

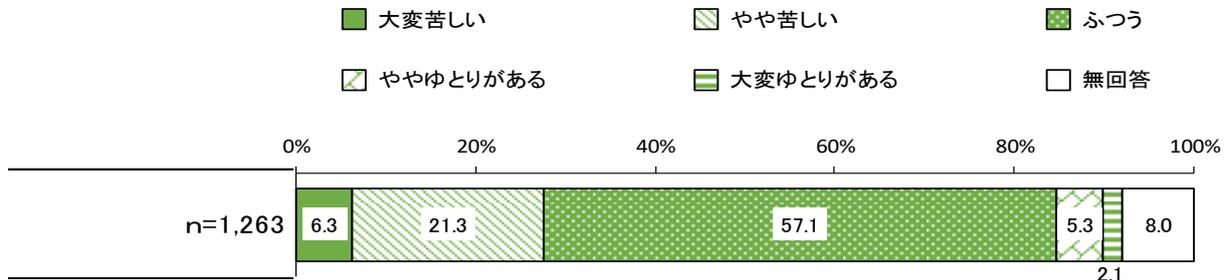
年代別では、80～84歳で「娘」が12人と多くなっています。また、85～89歳では「息子」が13人と多くなっています。

単位：件

区分	全体 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	117	32	36	28	20	5	2	27	8	2
65～69歳	4	2	3	0	0	0	0	2	0	0
70～74歳	14	9	1	0	1	0	0	3	1	1
75～79歳	17	9	1	3	1	0	1	6	1	0
80～84歳	29	6	9	12	5	1	0	5	1	0
85～89歳	26	3	13	6	7	2	0	8	3	0
90歳以上	26	3	9	7	6	2	1	3	1	1

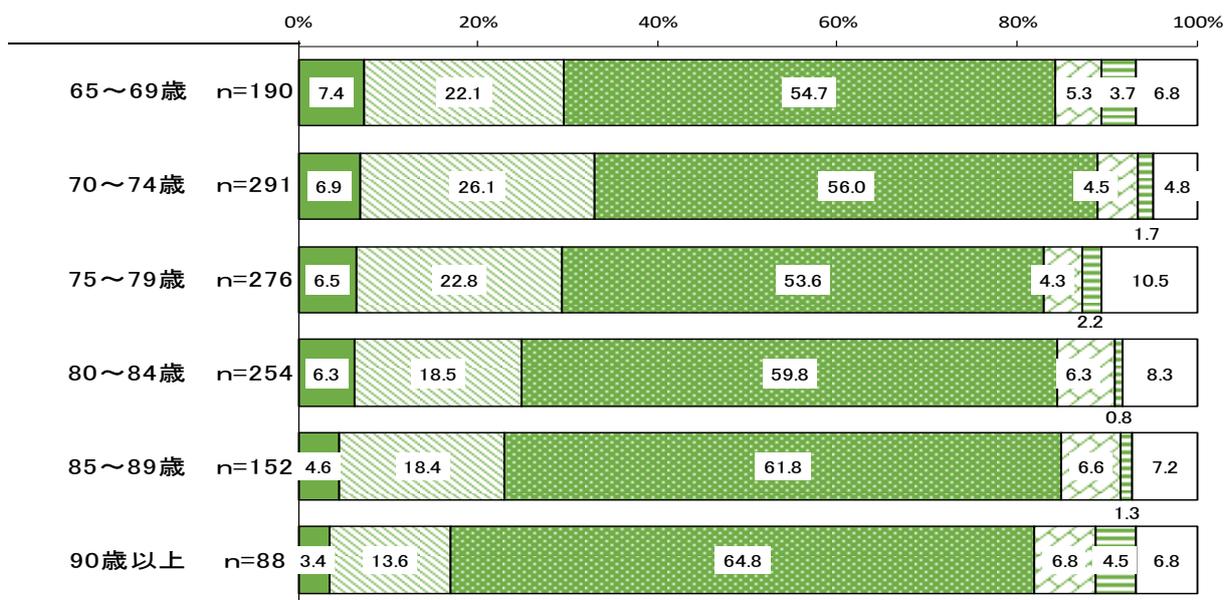
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

「ふつう」が 57.1%で最も高く、次いで「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が 27.6%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 7.4%となっています。



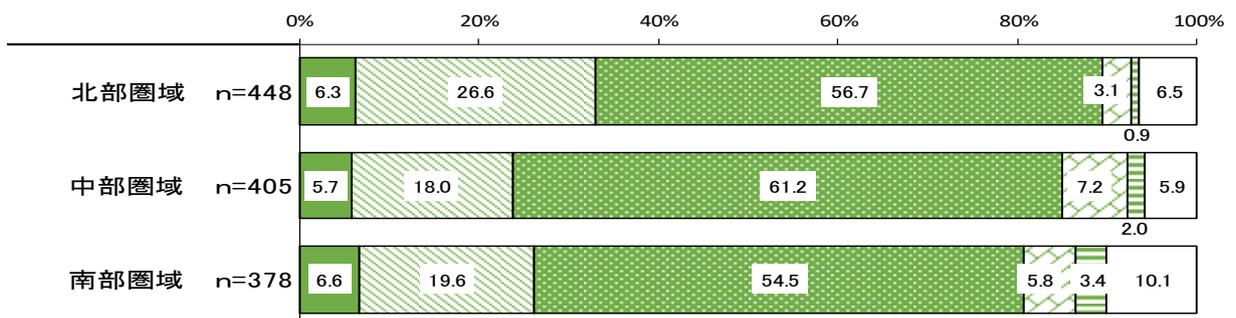
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で『苦しい』(33.0%)の割合が高くなっていますが、年代が上がるほど『苦しい』の割合は低くなっています。



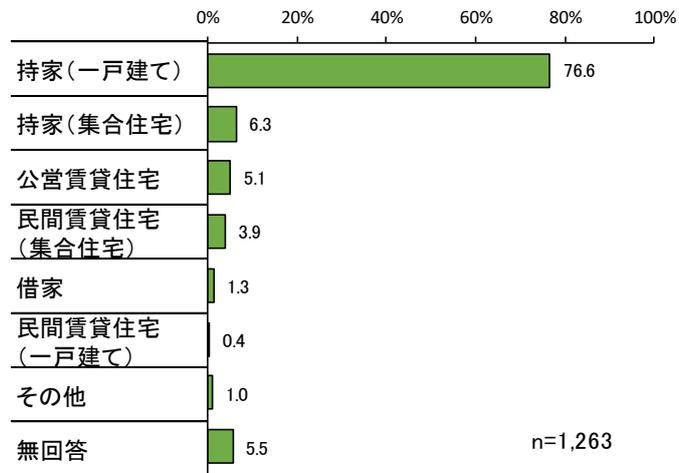
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『苦しい』(32.9%)の割合が高くなっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つ)

「持家（一戸建て）」が76.6%で最も高くなっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、すべての年代で「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「公営賃貸住宅」（11.8%）の割合が高くなっています。

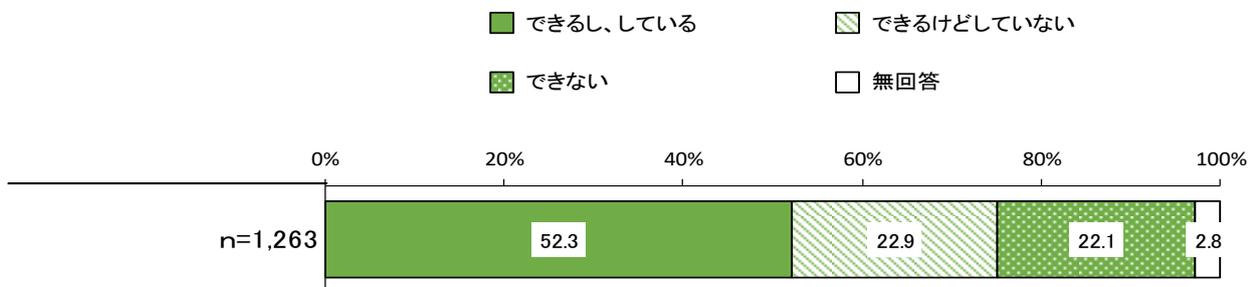
単位：%

区分	全体(件)	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
年代別									
65～69歳	190	74.2	9.5	4.7	0.0	3.2	1.6	1.1	5.8
70～74歳	291	72.5	9.6	6.9	0.3	5.2	1.7	1.0	2.7
75～79歳	276	76.4	5.4	5.1	1.1	3.3	0.7	1.1	6.9
80～84歳	254	79.5	3.1	3.9	0.0	5.1	2.0	0.4	5.9
85～89歳	152	79.6	5.9	5.3	0.7	2.6	1.3	0.7	3.9
90歳以上	88	86.4	1.1	3.4	0.0	2.3	0.0	2.3	4.5
圏域別									
北部圏域	448	72.1	3.8	11.8	0.2	5.6	0.4	1.1	4.9
中部圏域	405	82.7	7.9	0.2	0.7	3.0	0.7	1.2	3.5
南部圏域	378	77.8	7.7	1.6	0.3	2.6	2.6	0.5	6.9

2 からだを動かすことについて

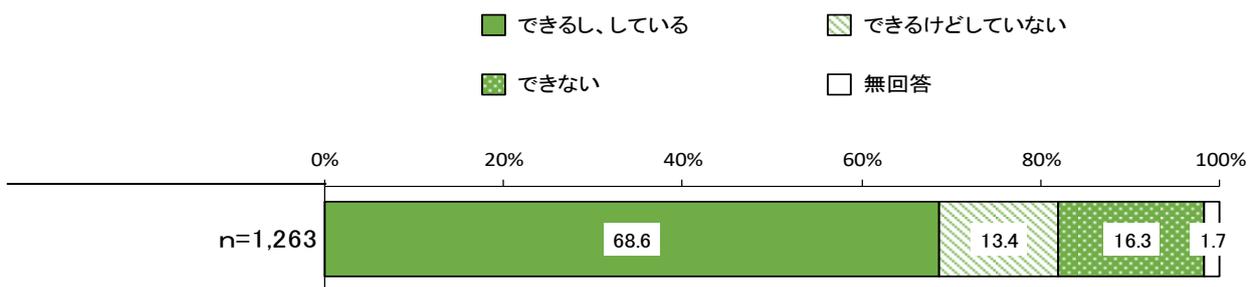
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

「できるし、している」が52.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.9%、「できない」が22.1%となっています。



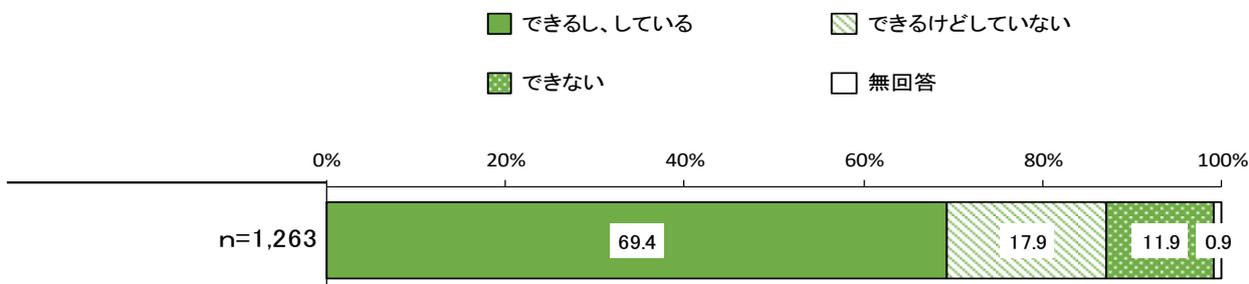
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

「できるし、している」が68.6%で最も高く、次いで「できない」が16.3%、「できるけどしていない」が13.4%となっています。



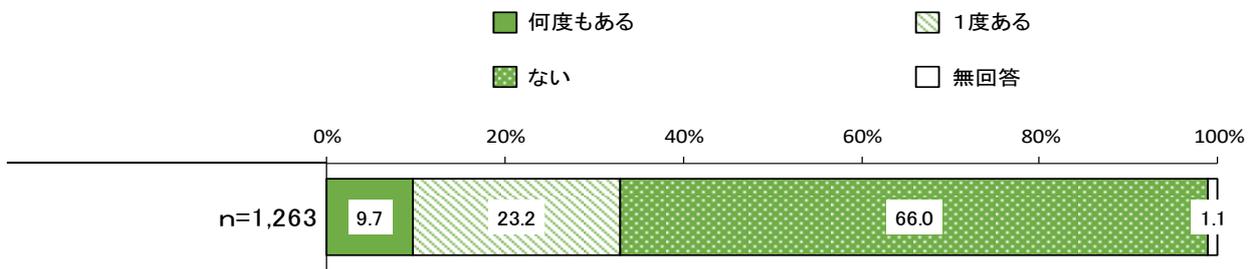
(3) 15分くらい続けて歩いていますか (○は1つ)

「できるし、している」が69.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.9%、「できない」が11.9%となっています。



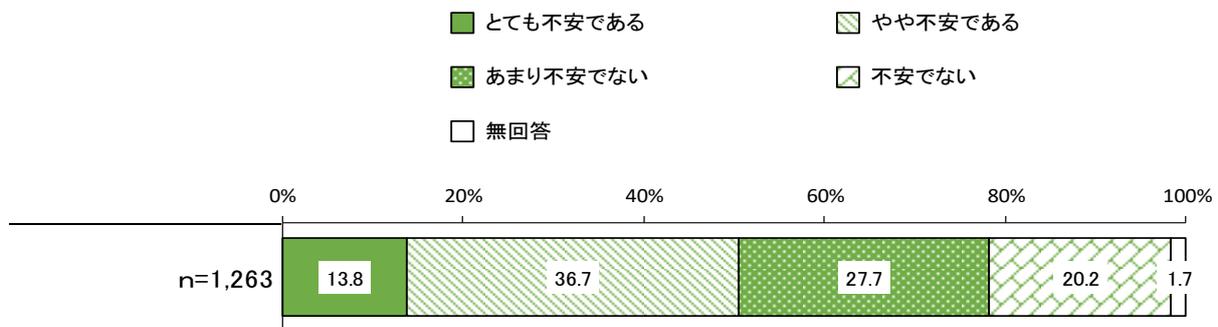
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

「ない」が66.0%で最も高く、次いで「1度ある」が23.2%、「何度もある」が9.7%となっています。



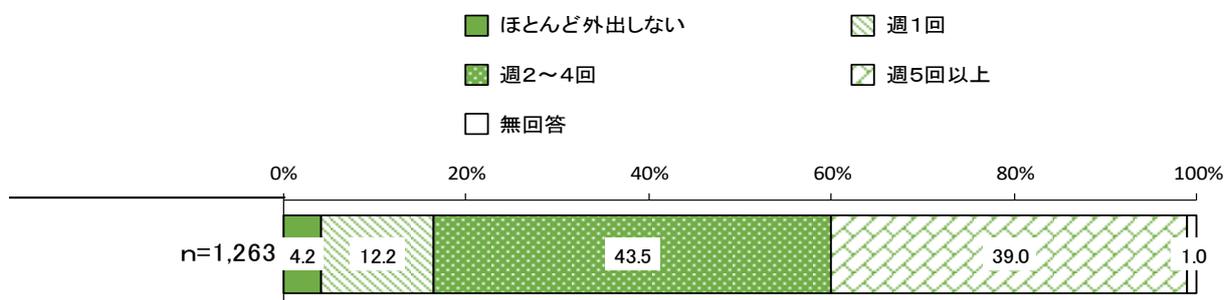
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が50.5%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』が47.9%となっています。



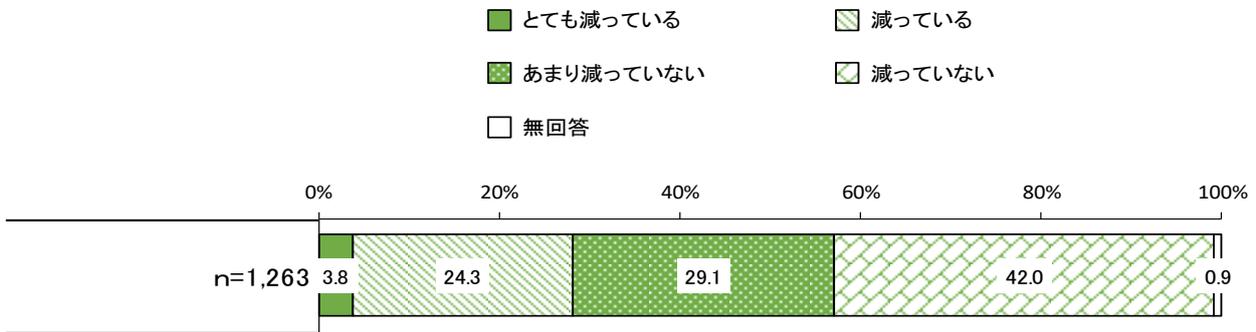
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

「週2～4回」が43.5%で最も高く、次いで「週5回以上」が39.0%、「週1回」が12.2%、「ほとんど外出しない」が4.2%となっています。



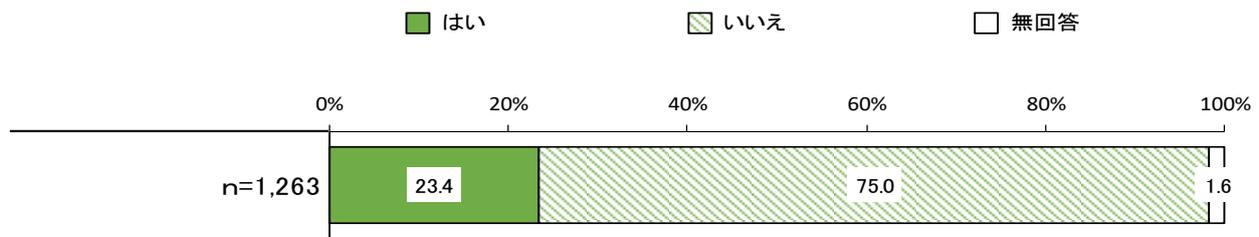
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は1つ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が 28.1%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』が 71.1%となっています。



(8) 外出を控えていますか (〇は1つ)

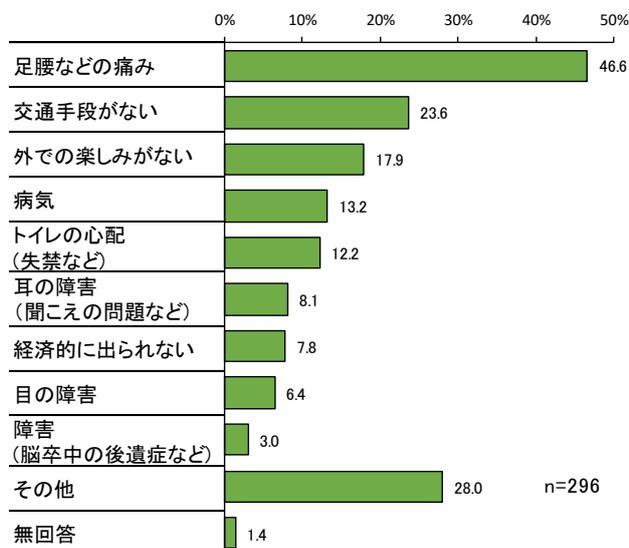
「はい」が 23.4%、「いいえ」が 75.0%となっています。



(8) で「1. はい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

「足腰などの痛み」が 46.6%で最も高く、次いで「交通手段がない」が 23.6%、「外での楽しみがない」が 17.9%となっています。



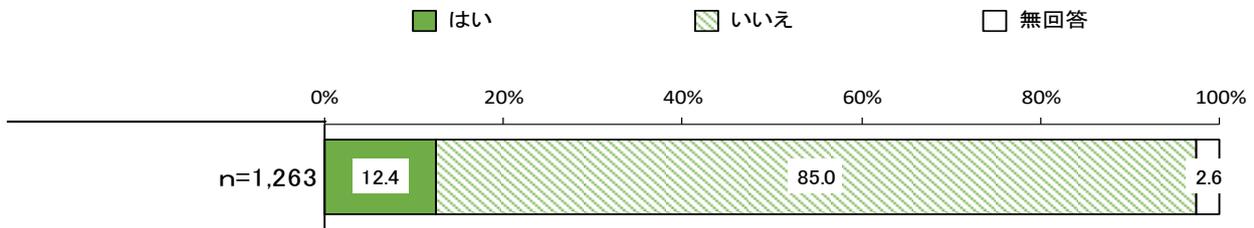
【その他の内容】

- ・新型コロナウイルス感染症が心配
- ・免許証を返納した
- ・配偶者の介護をしている
- ・身体的な衰えのため
- ・寒い時期だから

3 食べることについて

(1) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

「はい」が12.4%、「いいえ」が85.0%となっています。



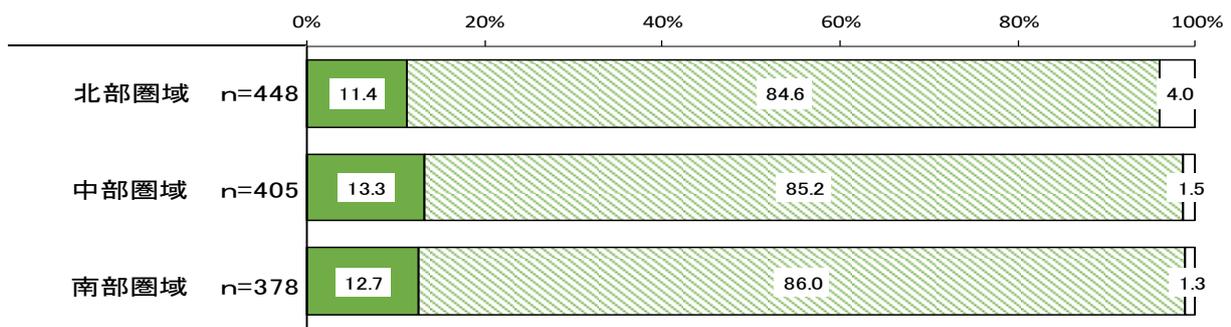
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「はい」（23.9%）の割合が高くなっています。



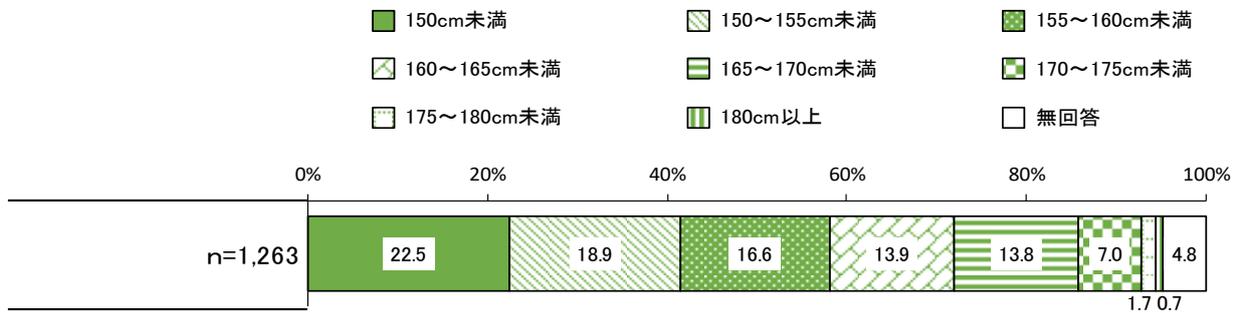
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(2) -1 身長

「150cm 未満」が 22.5%で最も高く、次いで「150～155cm 未満」が 18.9%、「155～160cm 未満」が 16.6%となっています。



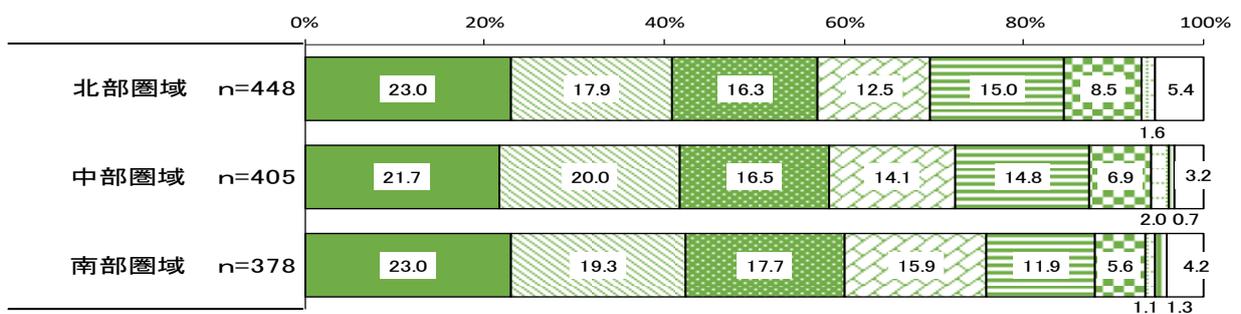
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「150 cm未満」の割合が高くなっています。



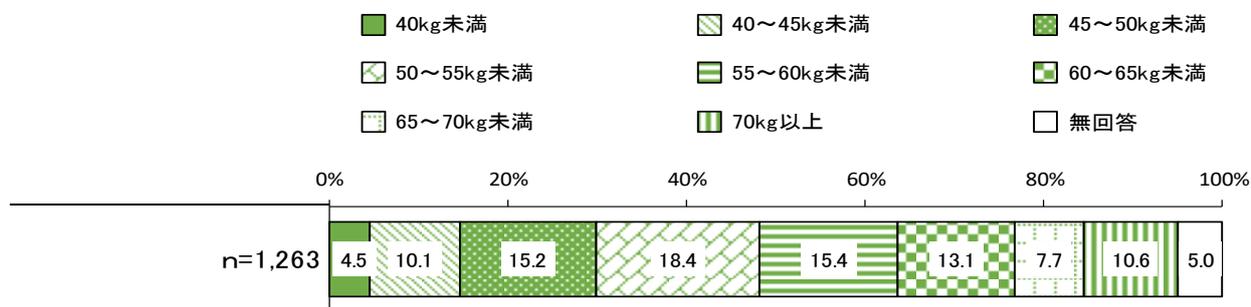
【圏域別】

圏域別でみると、大きな差異はみられません。



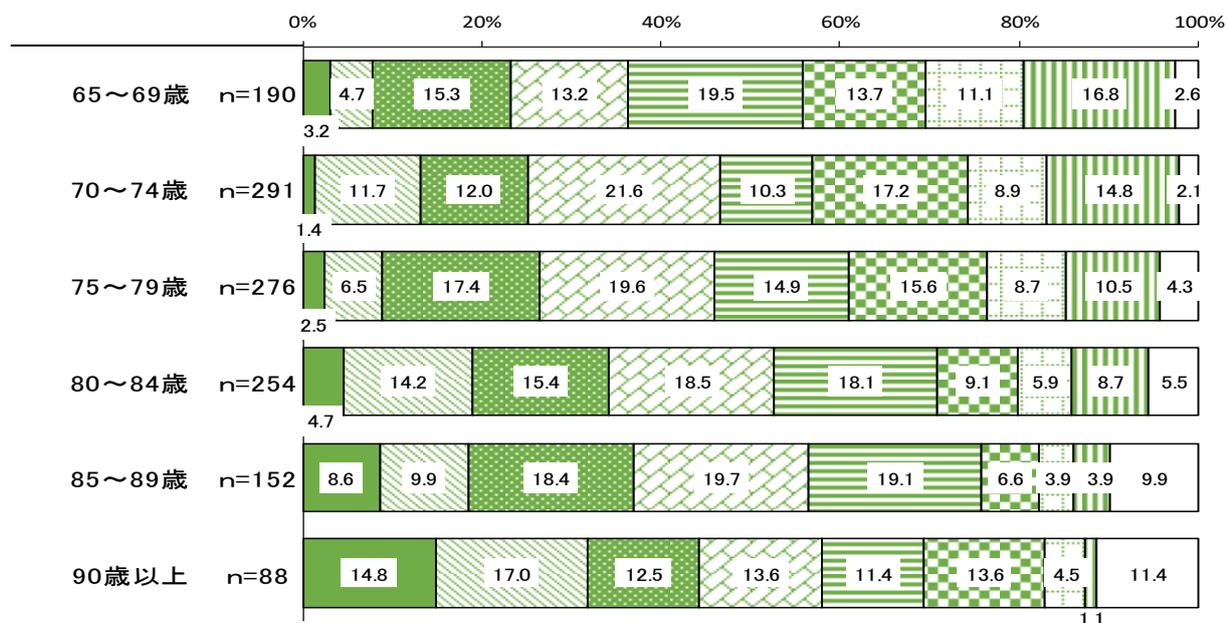
(2) -2 体重

「50～55kg 未満」が 18.4%で最も高く、次いで「55～60kg 未満」が 15.4%、「45～50kg 未満」が 15.2%となっています。



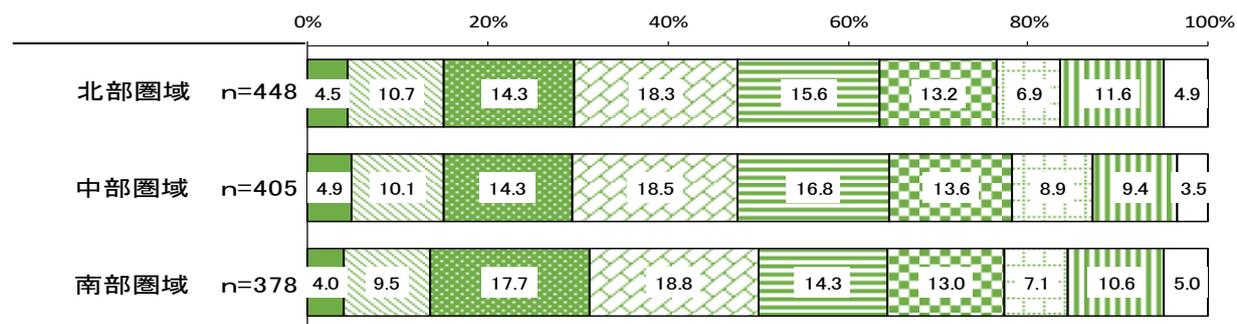
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上は「40kg 未満」（14.8%）の割合が高くなっています。



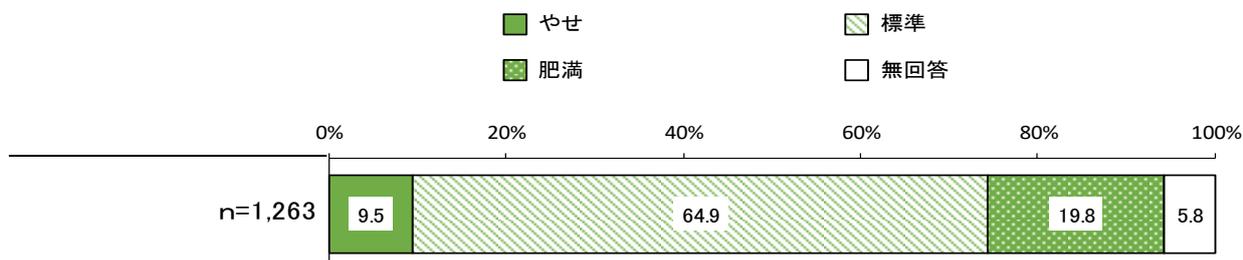
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(2) -3 BMI※

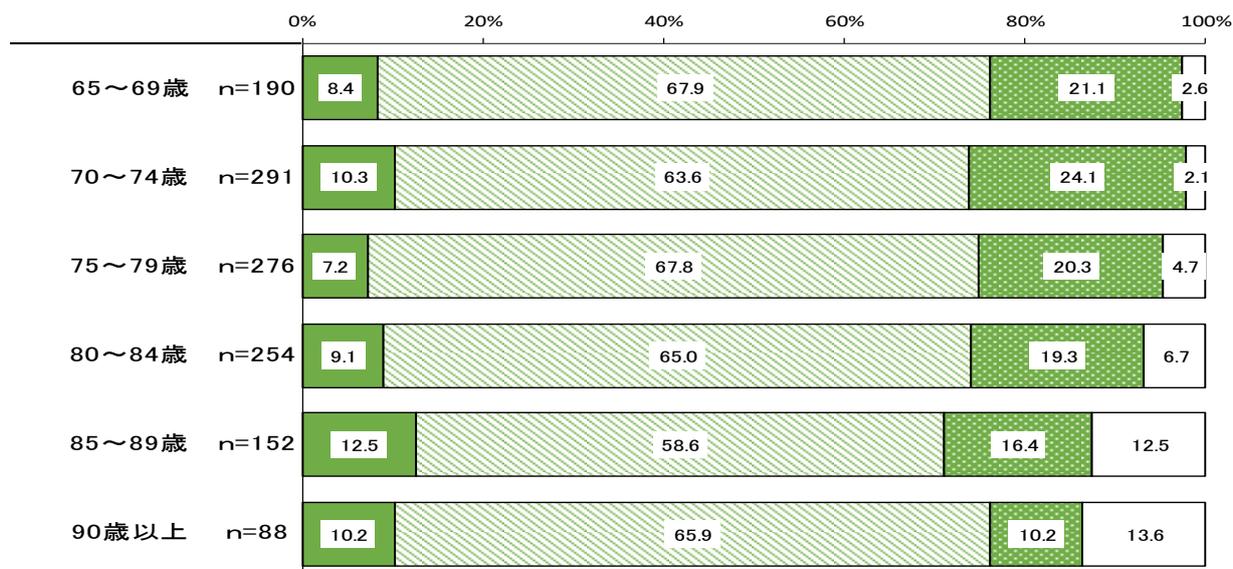
「標準」が64.9%で最も高く、次いで「肥満」が19.8%、「やせ」が9.5%となっています。



※BMI：ボディマス指数（Body Mass Index）。体重と身長の関係から算出した、肥満度を表す指数。
 $\text{BMI} = \frac{\text{体重 (kg)}}{[\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}]}$ で表される。日本肥満学会では、BMIが22を「標準体重」、25以上の場合を「肥満」、18.5未満を「やせ」としている。

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「肥満」の割合が高くなっています。



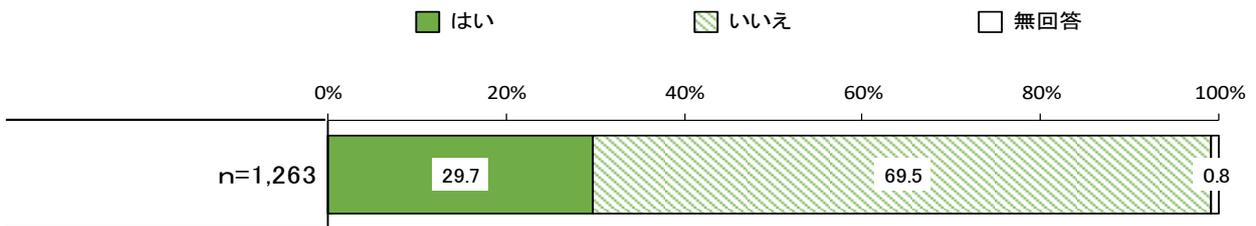
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「肥満」（21.9%）の割合が高くなっています。



(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

「はい」が29.7%、「いいえ」が69.5%となっています。



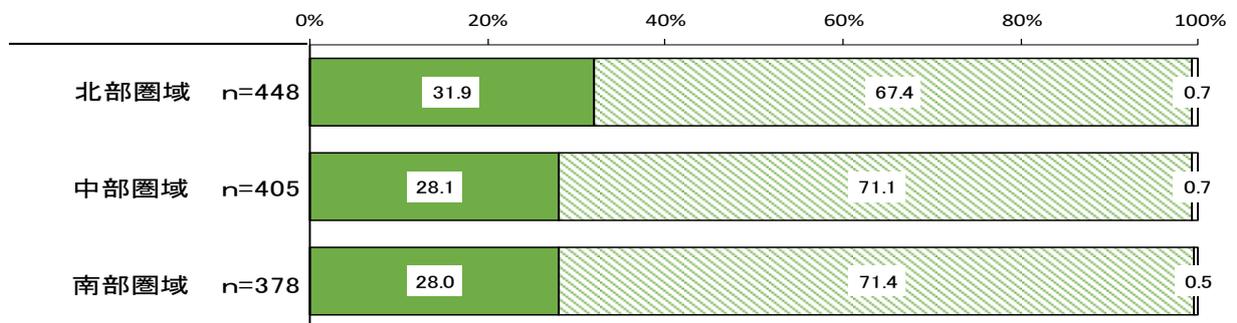
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



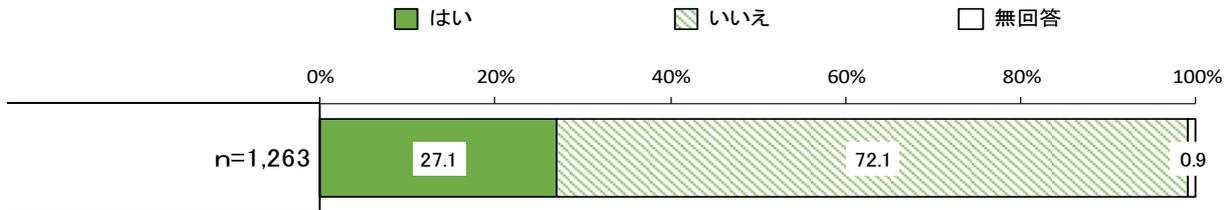
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(31.9%)の割合が高くなっています。



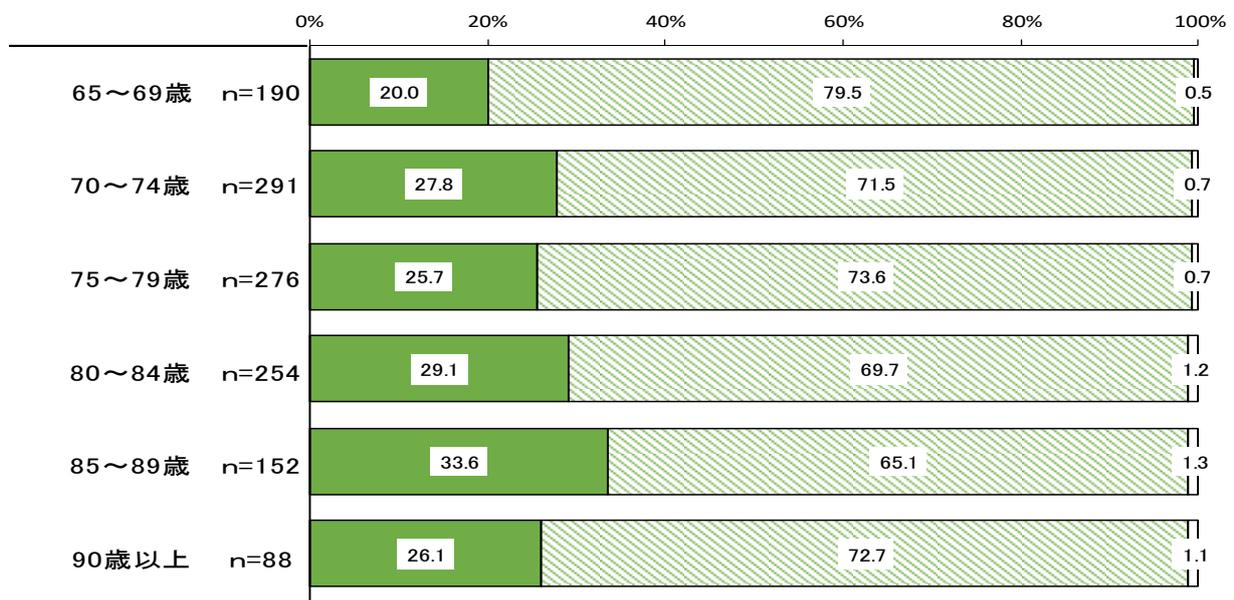
(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

「はい」が27.1%、「いいえ」が72.1%となっています。



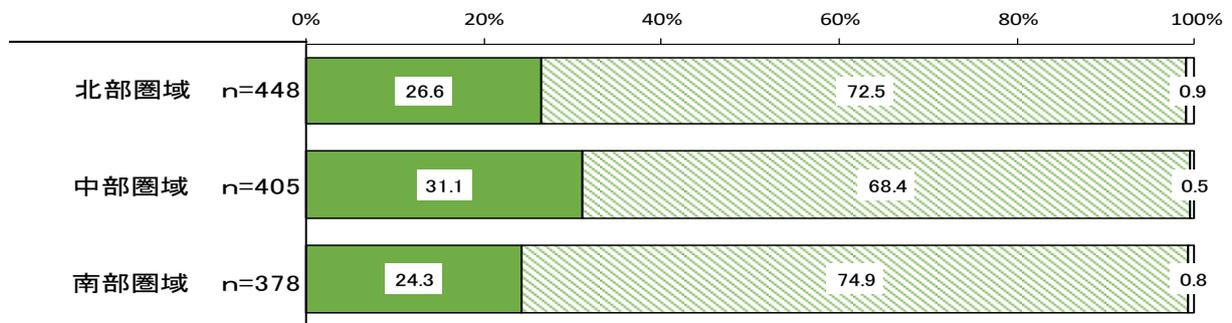
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「はい」(33.6%)の割合が高くなっています。



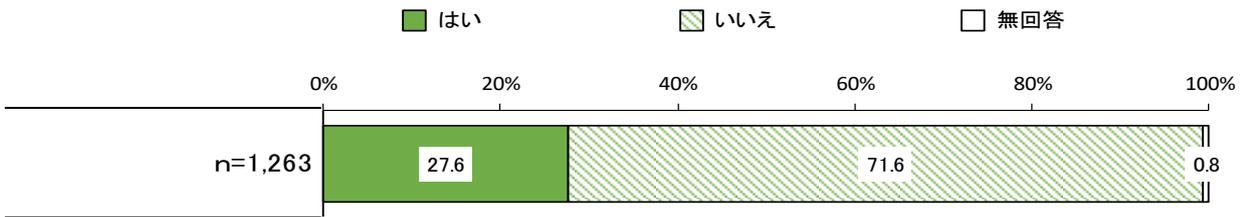
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「はい」(31.1%)の割合が高くなっています。



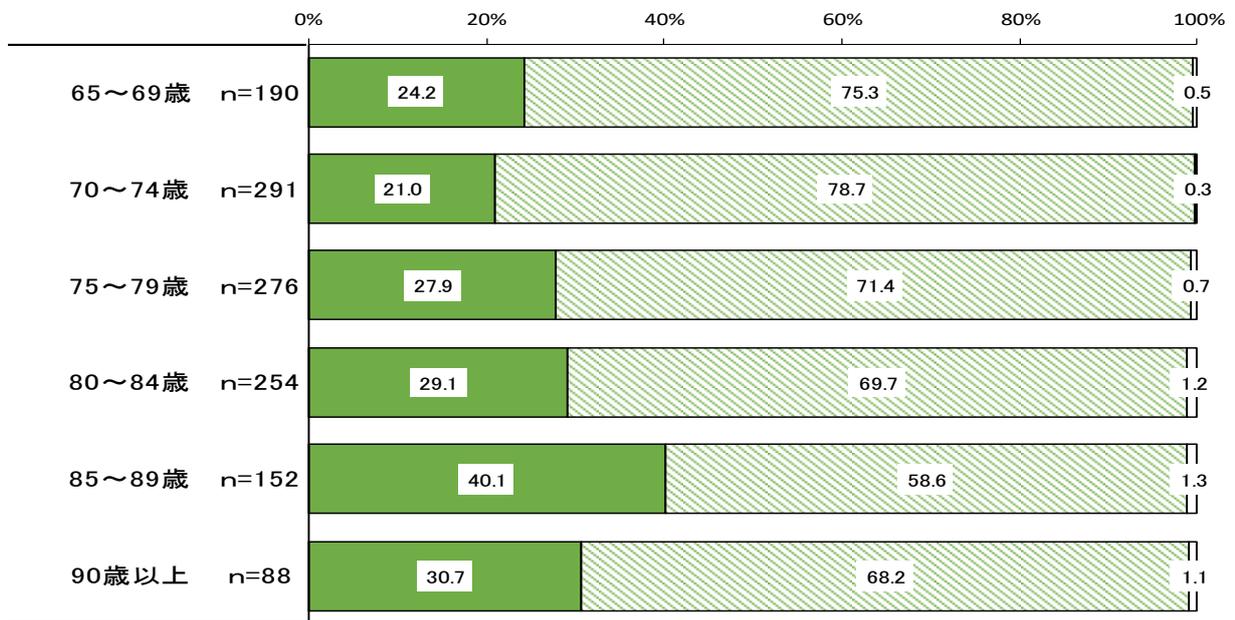
(5) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

「はい」が27.6%、「いいえ」が71.6%となっています。



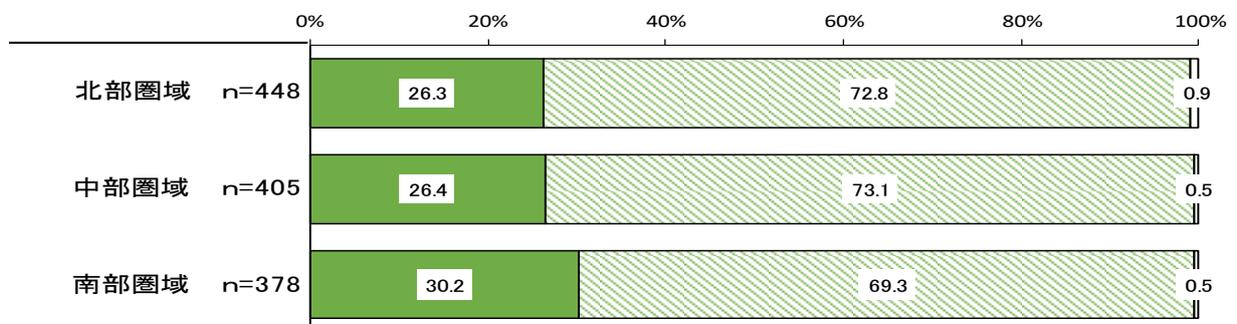
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「はい」(40.1%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

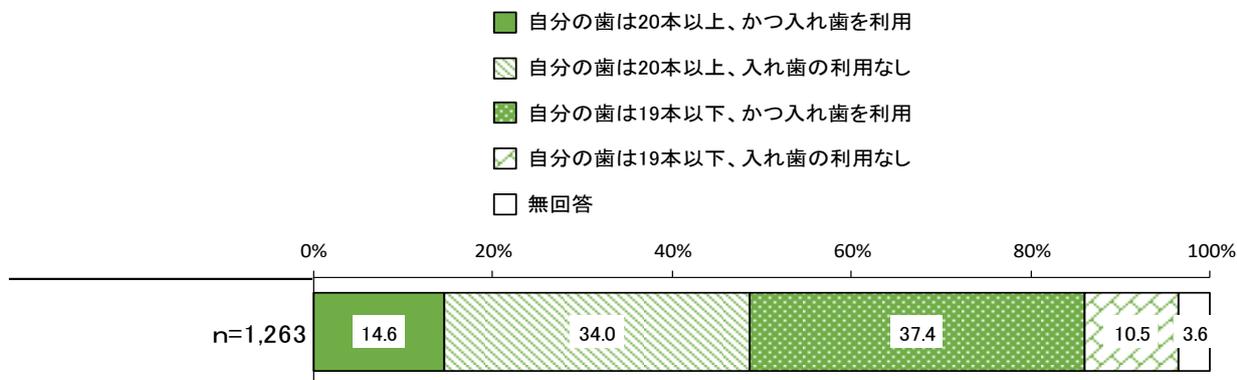
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「はい」(30.2%)の割合が高くなっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

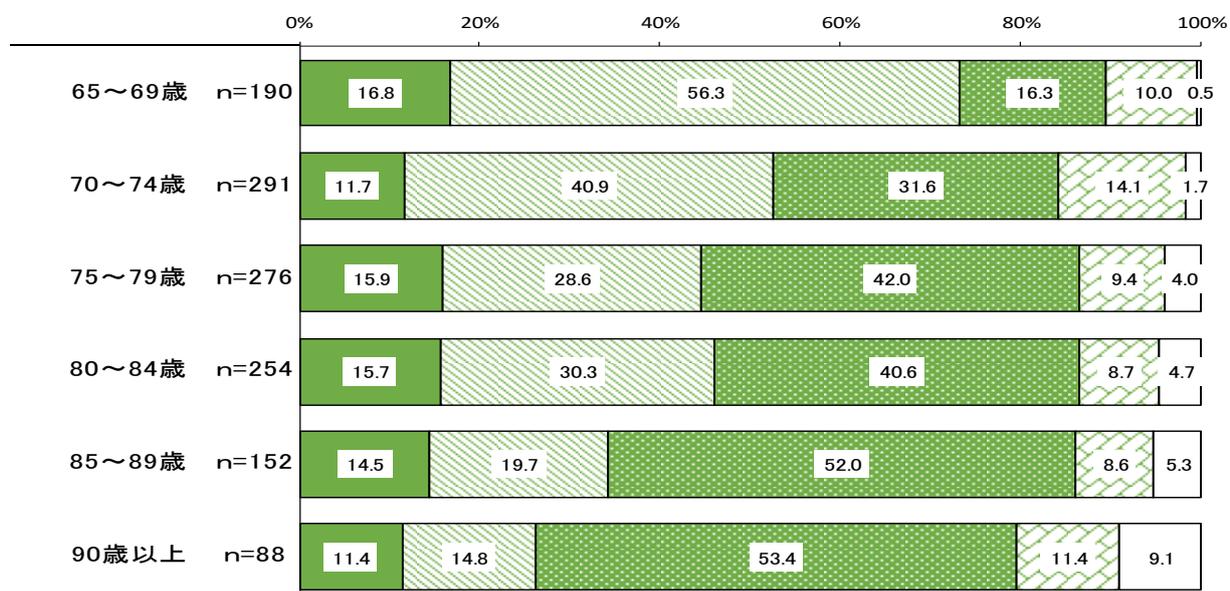
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.4%で最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.6%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.5%となっています。



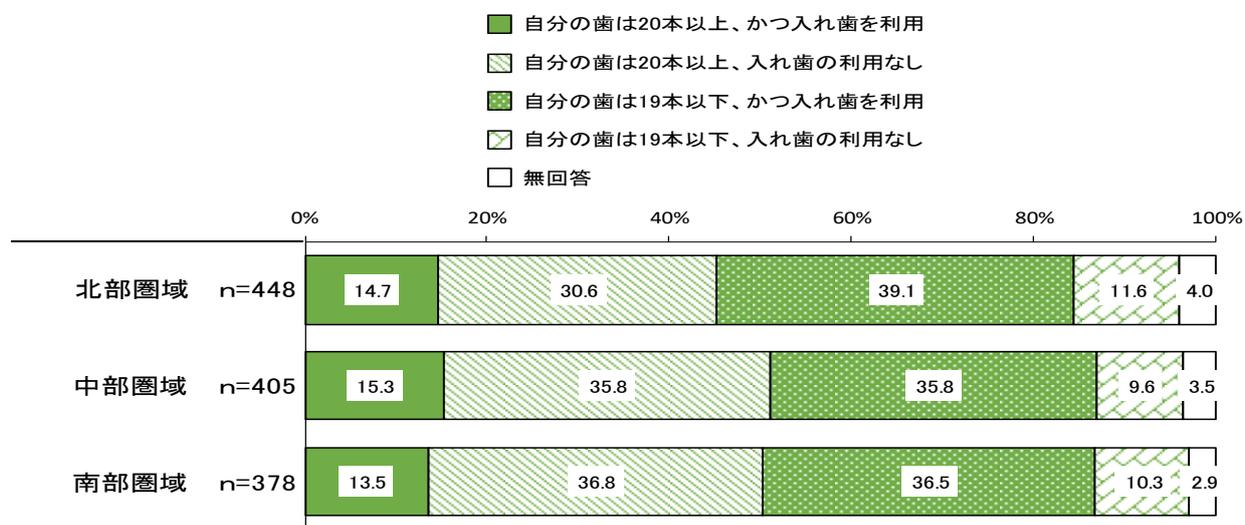
【年代別】

年代別では、65～69歳で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(56.3%)が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれ「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる傾向がみられます。



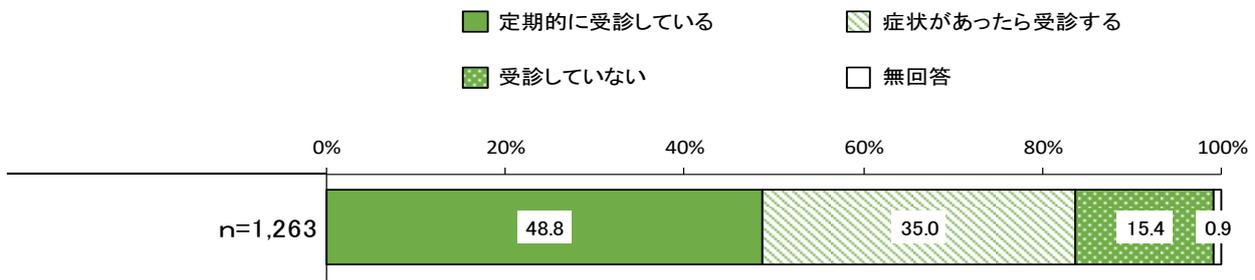
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は19本以下』（50.7%）の割合が高くなっています。



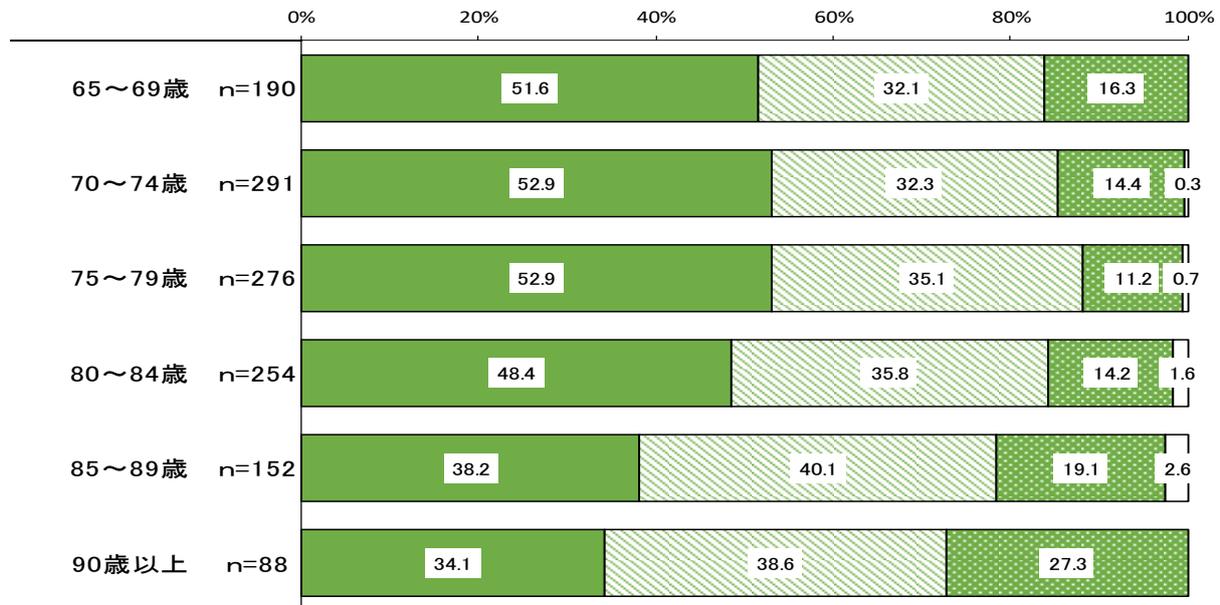
(7) 歯科診療を受けていますか。(〇は1つ)

「定期的を受診している」が 48.8%で最も高く、次いで「症状があったら受診する」が 35.0%、「受診していない」が 15.4%となっています。



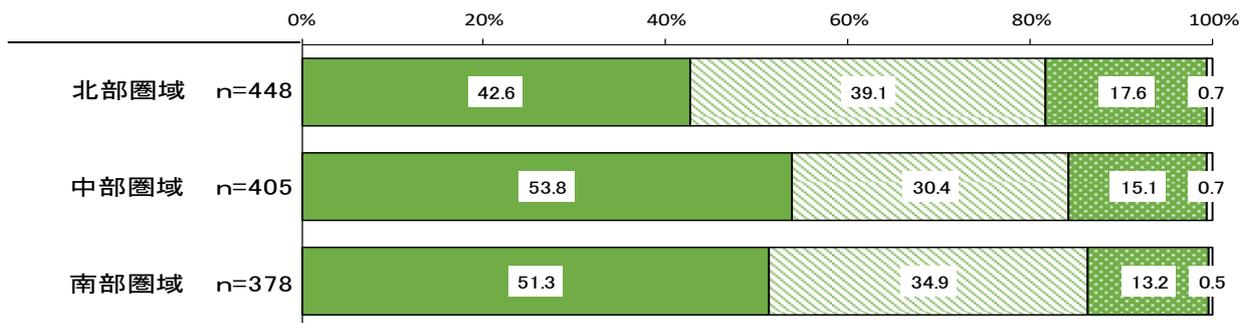
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79歳で「定期的を受診している」の割合が高くなっています。



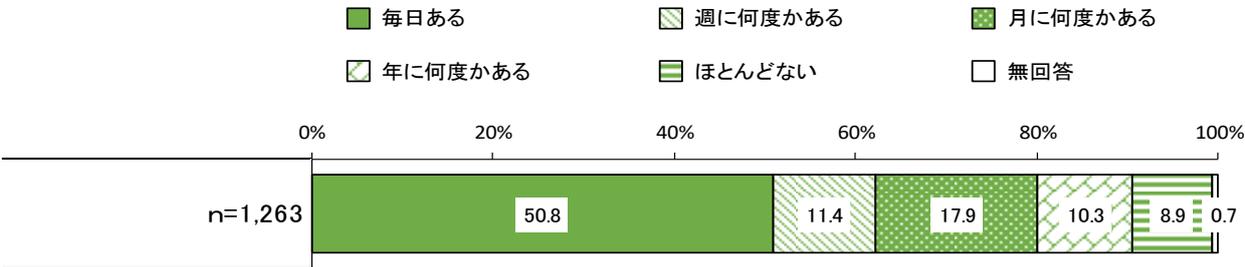
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「定期的を受診している」(42.6%)の割合が低くなっています。



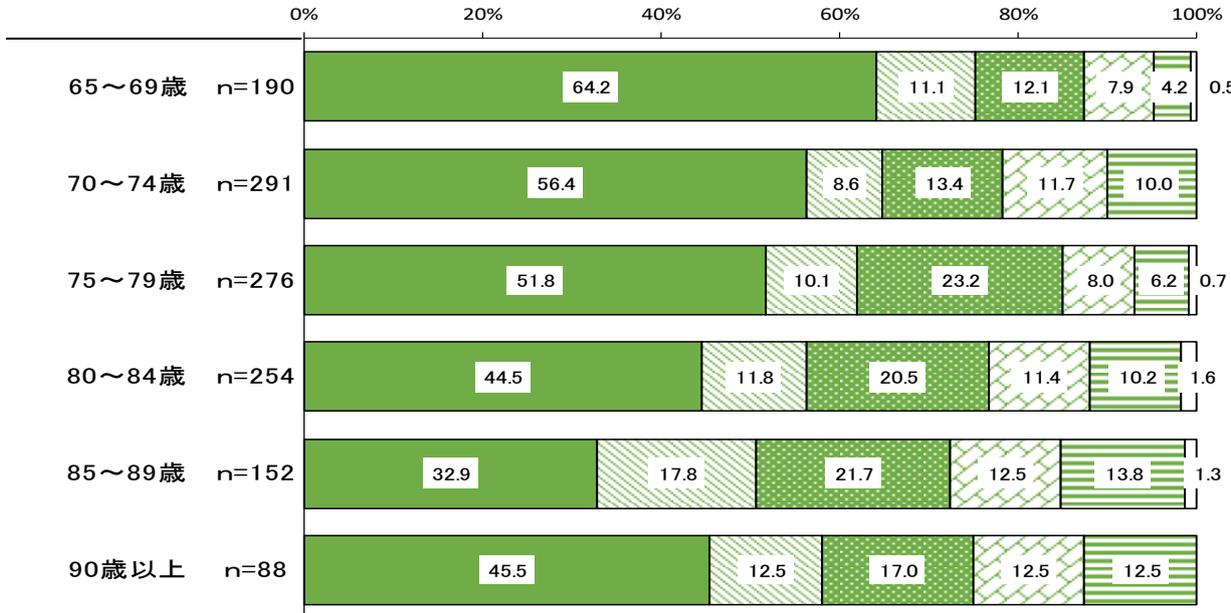
(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

「毎日ある」が 50.8%で最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.9%、「週に何度かある」が 11.4%、「年に何度かある」が 10.3%、「ほとんどない」が 8.9%となっています。



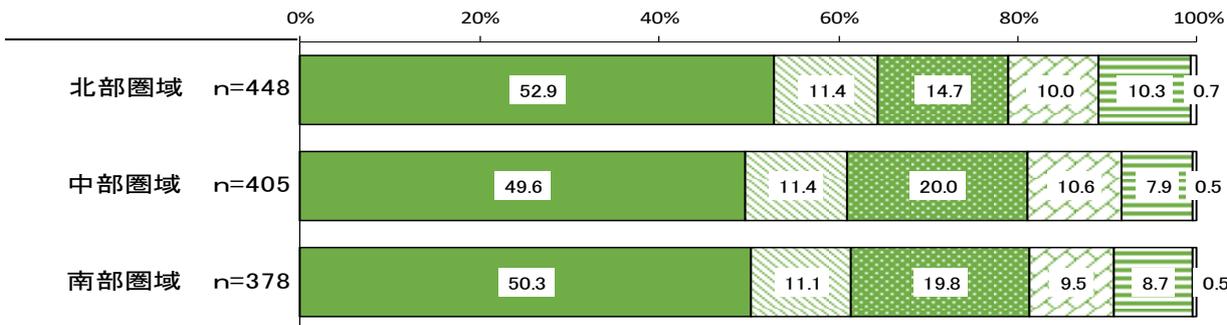
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「毎日ある」(64.2%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

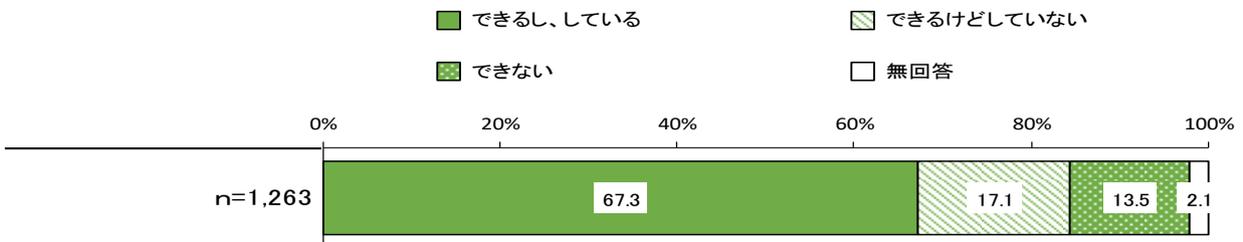
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「ほとんどない」(10.3%)が高くなっています。



4 毎日の生活について

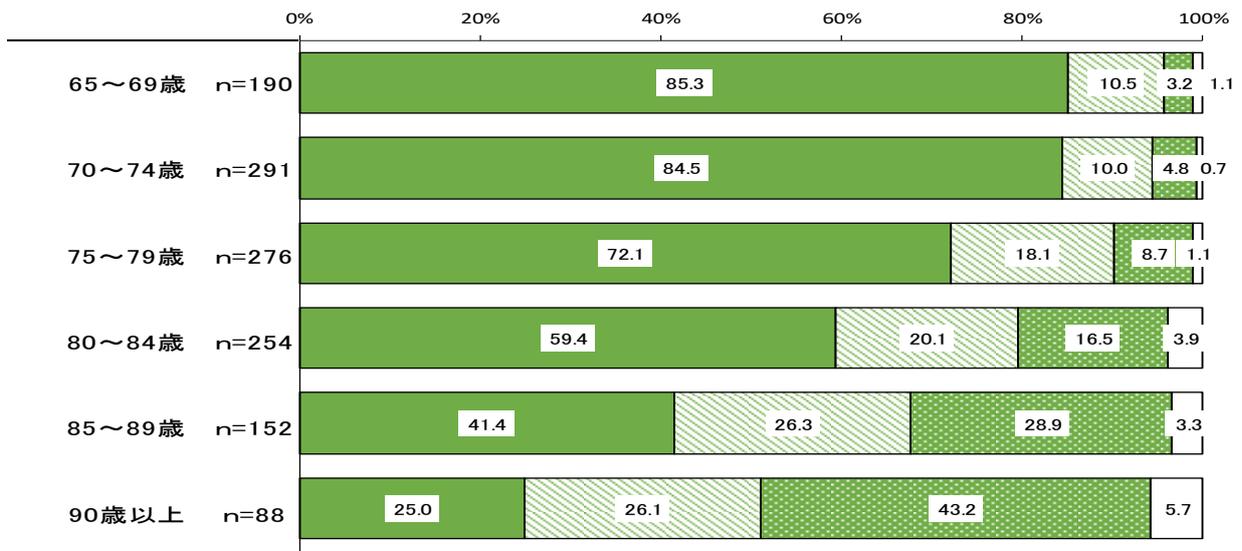
(1) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

「できるし、している」が67.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.1%、「できない」が13.5%となっています。



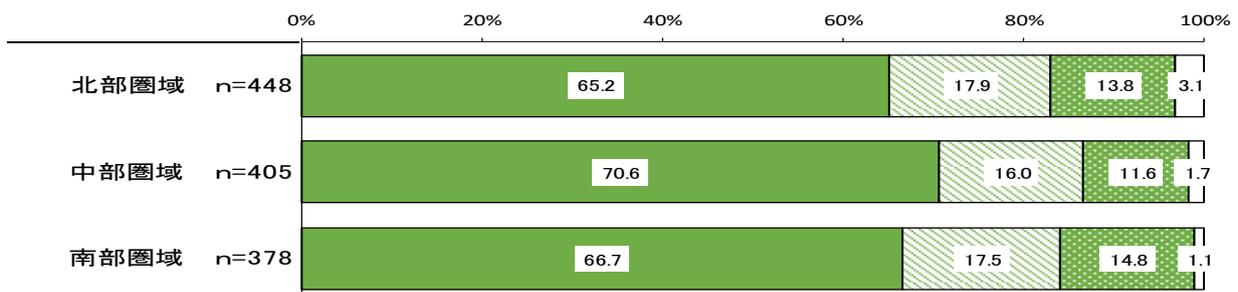
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「できない」（43.2%）の割合が高くなっています。



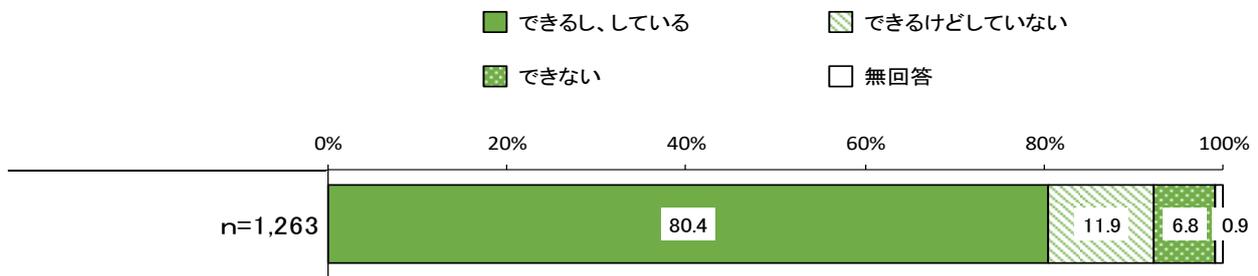
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「できるし、している」（70.6%）の割合が高くなっています。



(2) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

「できるし、している」が80.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が6.8%となっています。



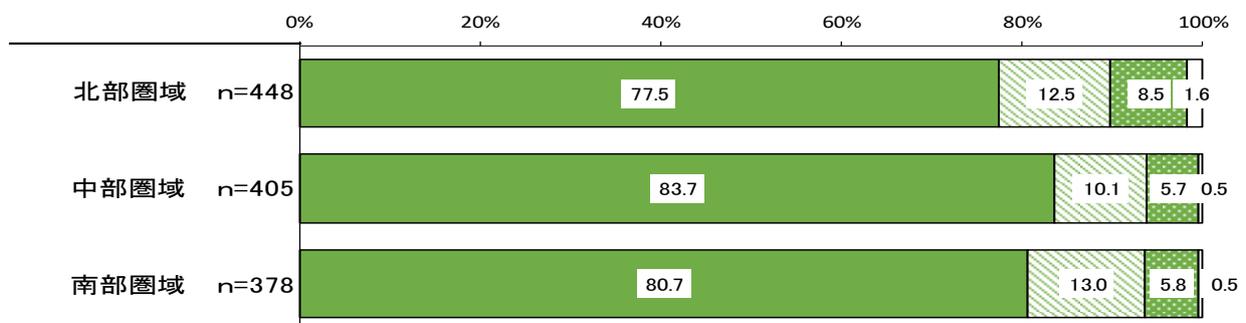
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「できない」の割合が高くなっています。



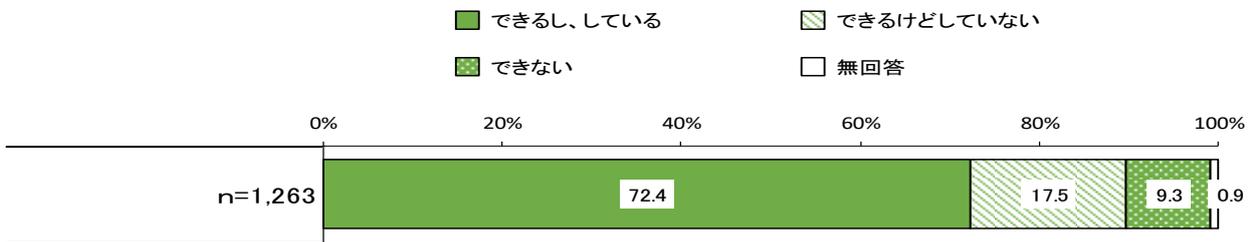
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「できるし、している」(83.7%)の割合が高くなっています。



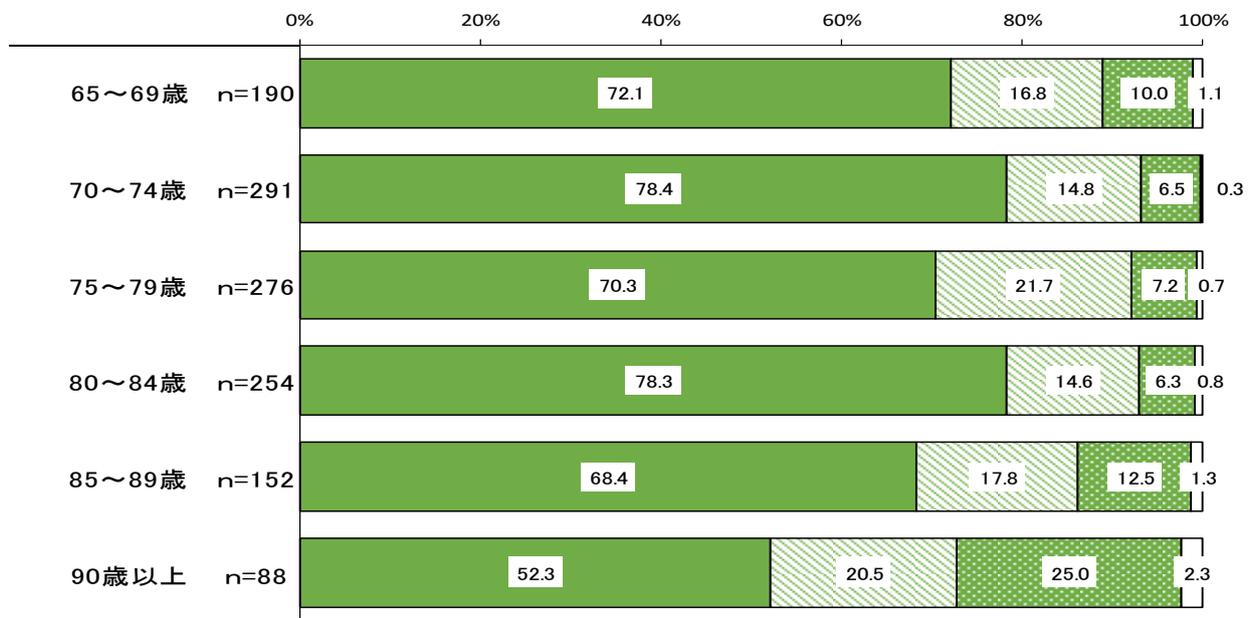
(3) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

「できるし、している」が72.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が9.3%となっています。



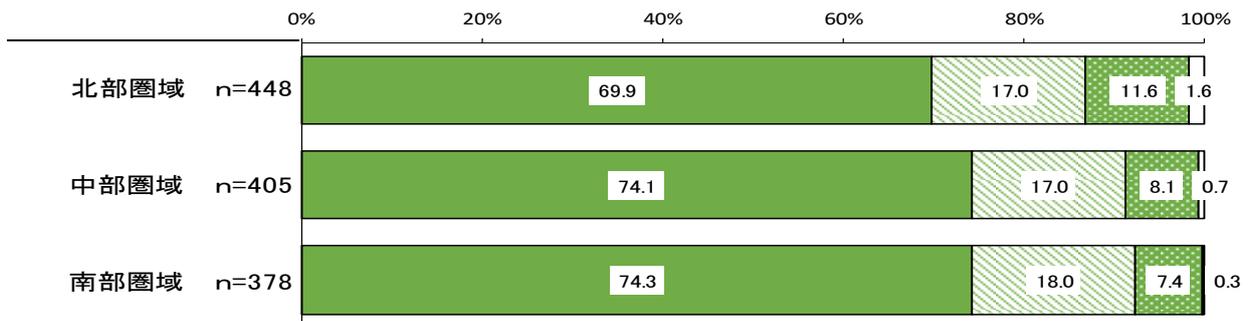
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「できない」(25.0%)の割合が高くなっています。



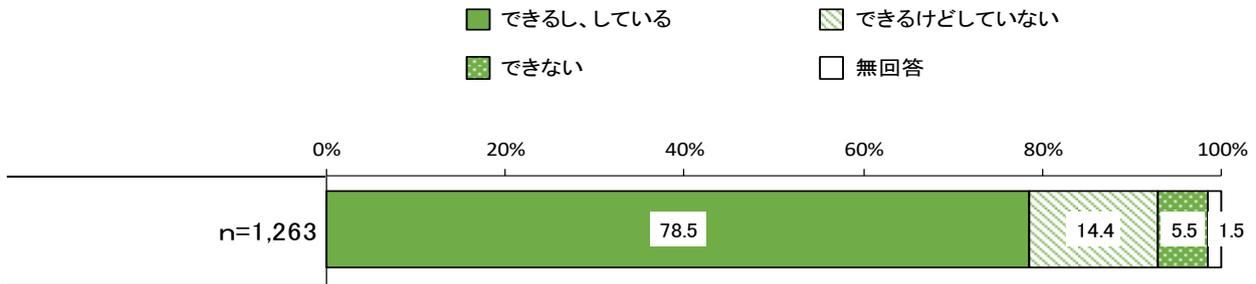
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「できるし、している」(69.9%)の割合が低くなっています。



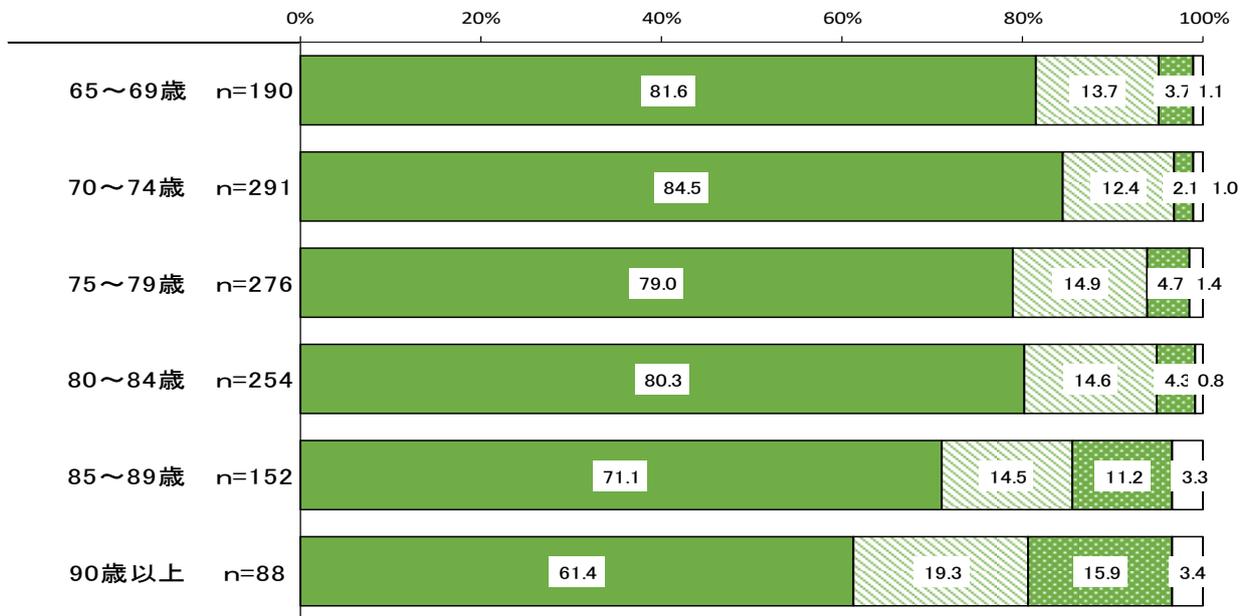
(4) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

「できるし、している」が78.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が5.5%となっています。



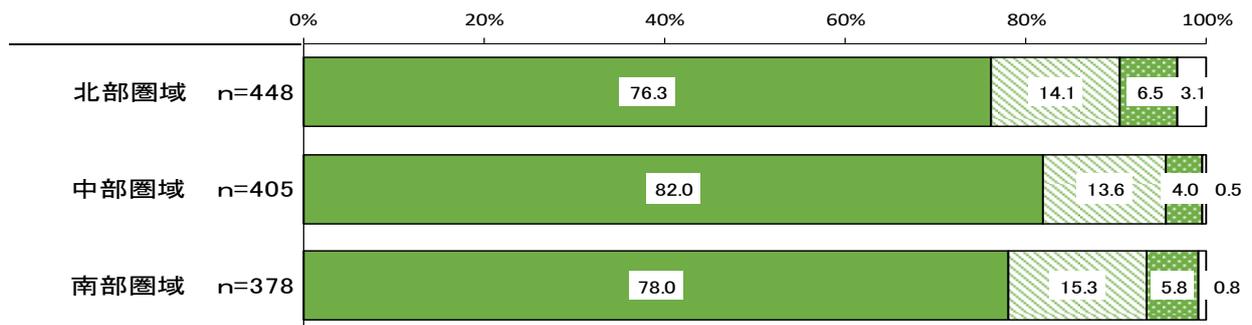
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳と80～84歳で「できるし、している」の割合が高くなっています。



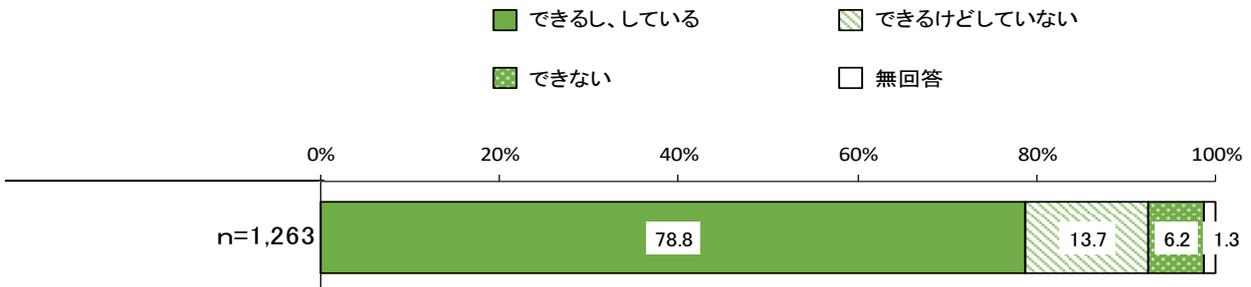
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「できるし、している」(82.0%)の割合が高くなっています。



(5) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

「できるし、している」が78.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が6.2%となっています。



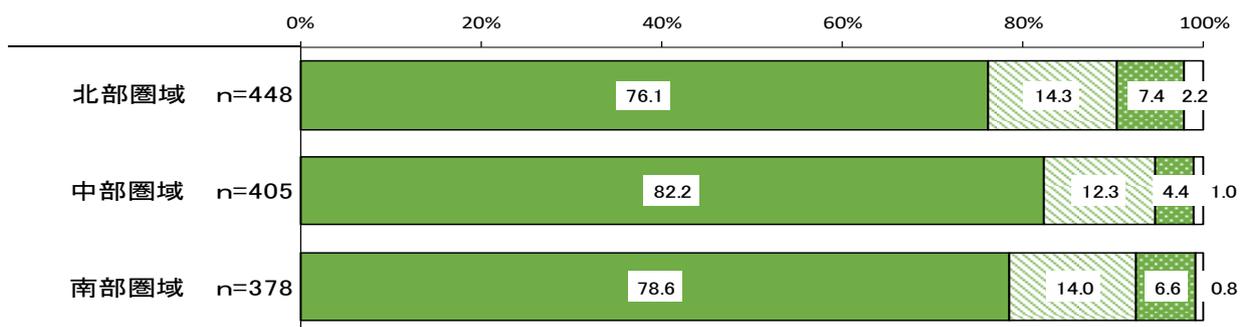
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「できるけどしていない」(23.9%)の割合が高くなっています。



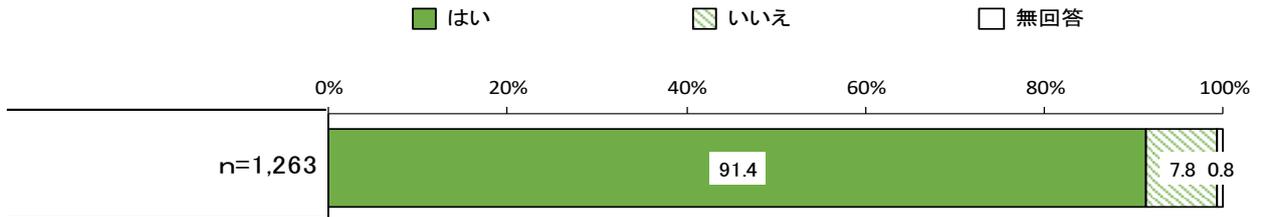
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「できるし、している」(82.2%)の割合が高くなっています。



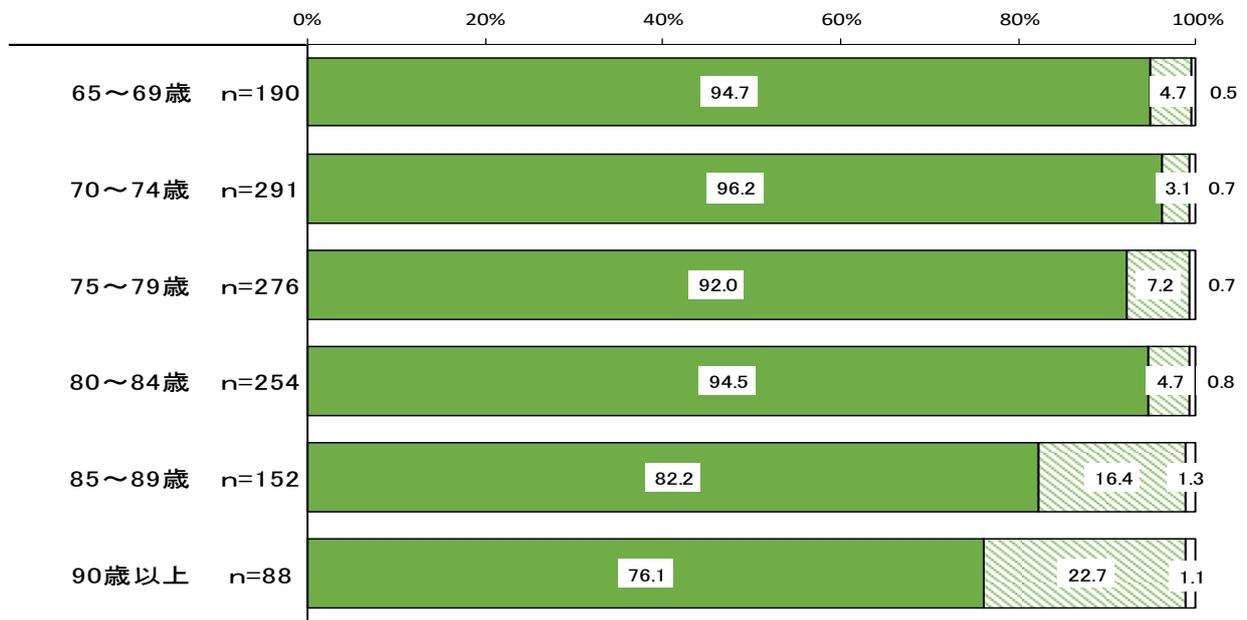
(6) 自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか (○は1つ)

「はい」が91.4%、「いいえ」が7.8%となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～84歳で「はい」の割合が高くなっています。



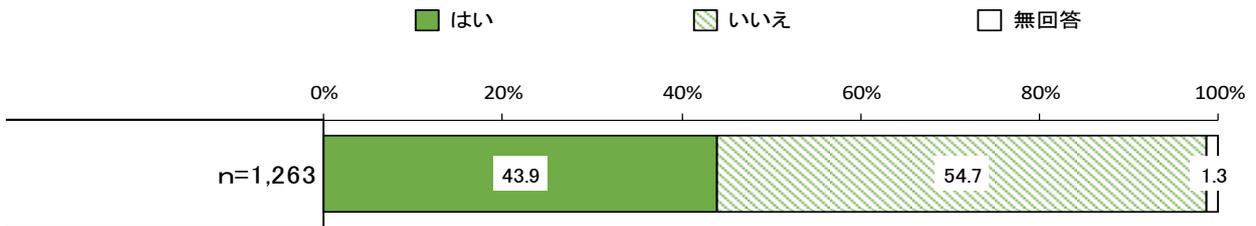
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「はい」(94.6%)の割合が高くなっています。



(7) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

「はい」が43.9%、「いいえ」が54.7%となっています。



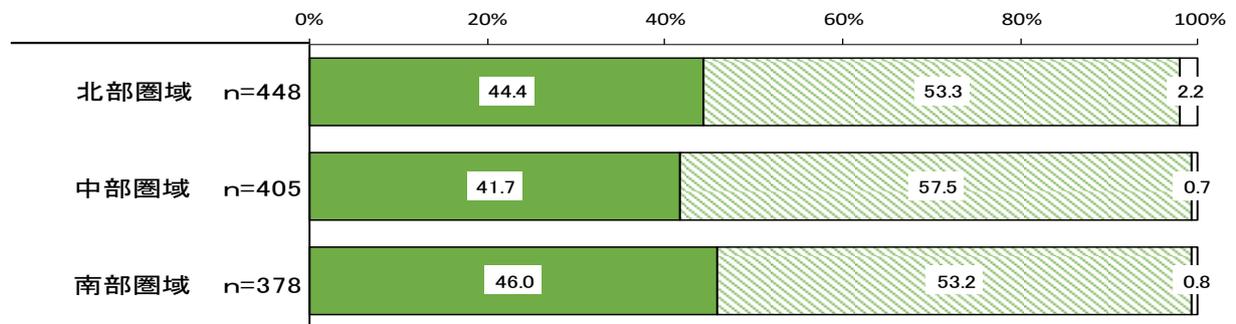
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～84歳で「はい」の割合が高くなっています。



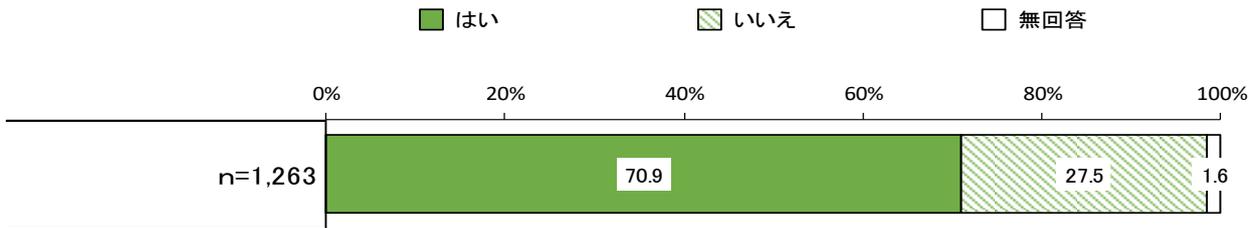
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(8) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)

「はい」が70.9%、「いいえ」が27.5%となっています。



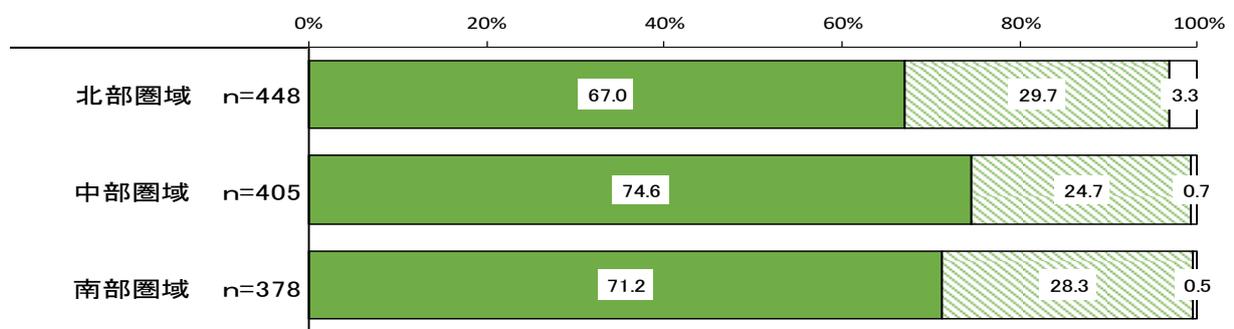
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79歳で「はい」の割合が高くなっています。



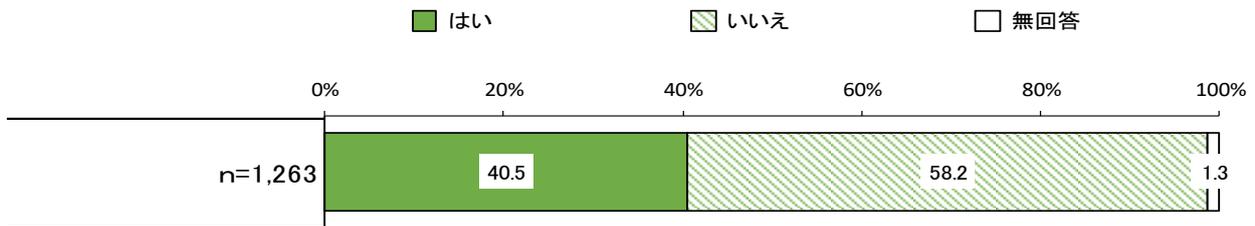
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(67.0%)の割合が低くなっています。



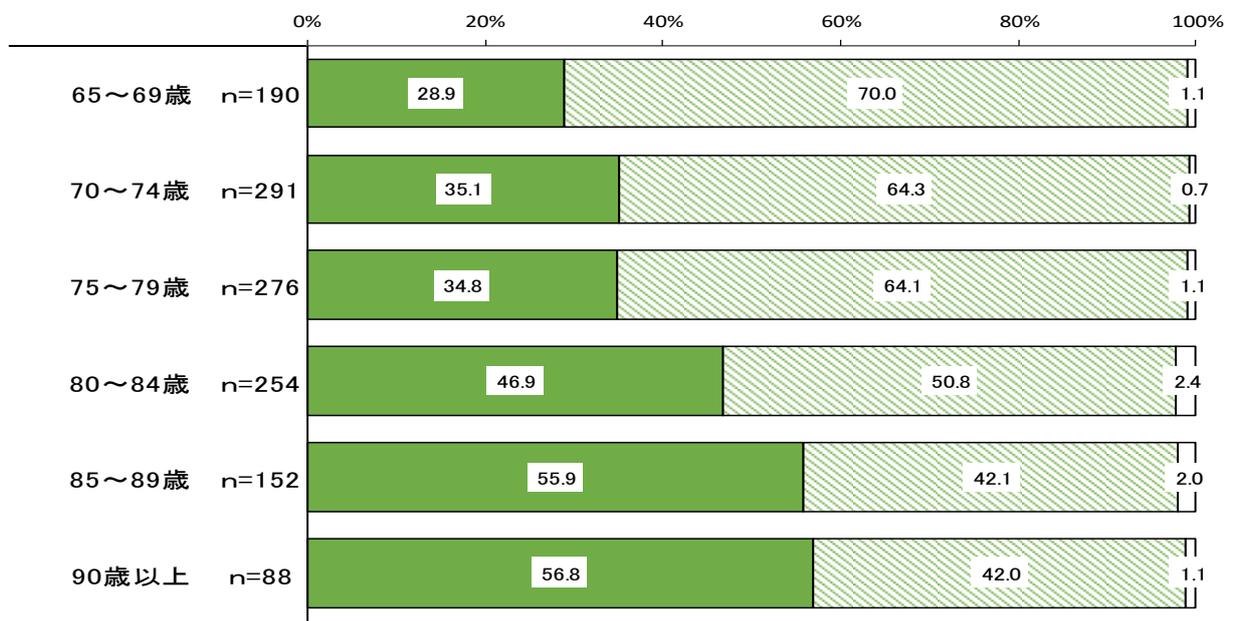
(9) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

「はい」が40.5%、「いいえ」が58.2%となっています。



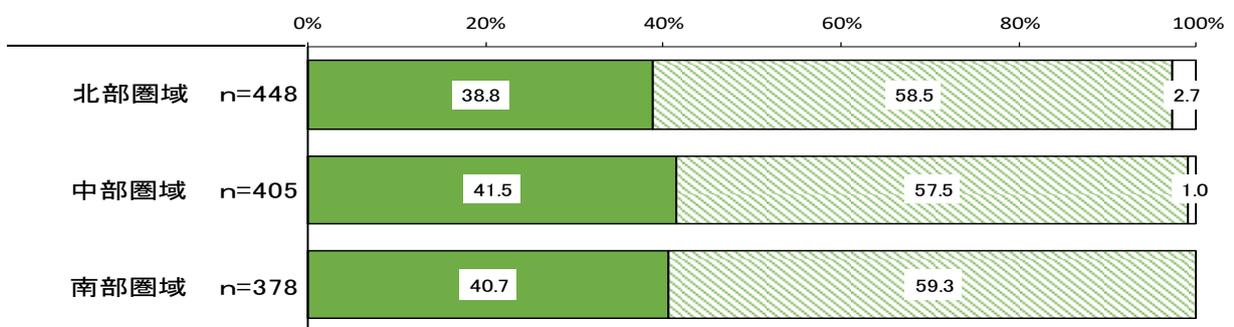
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



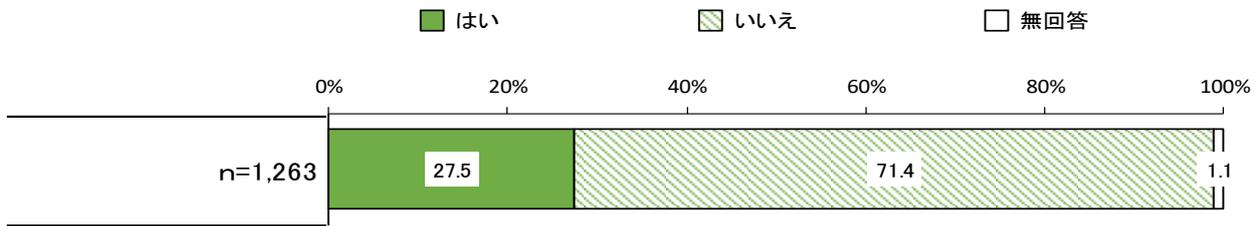
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



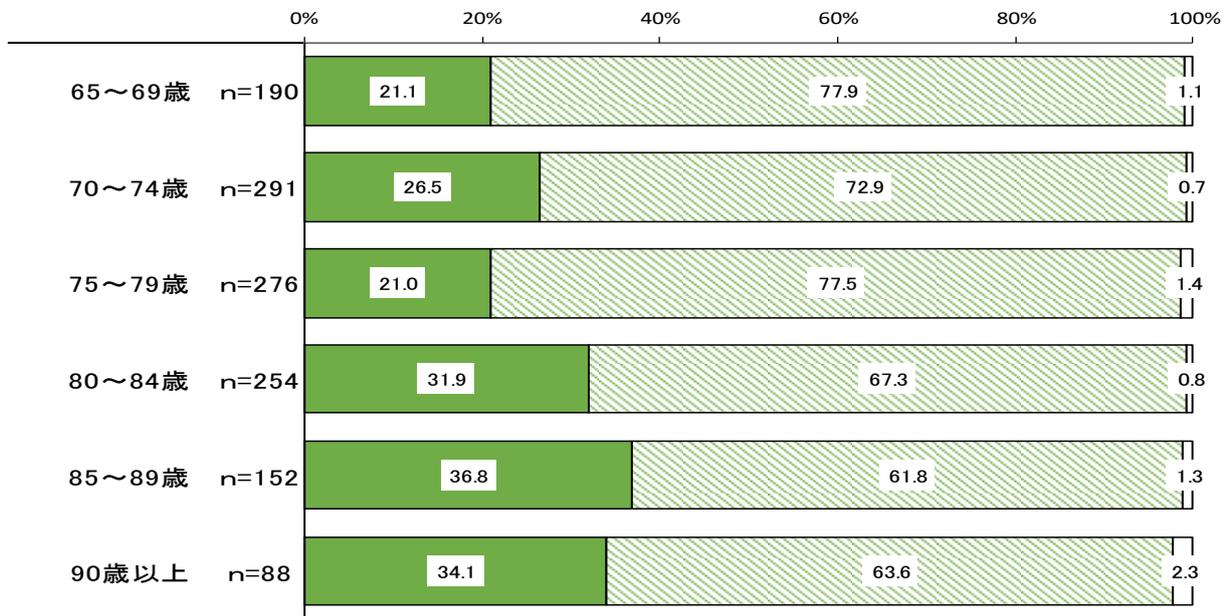
(10) 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか
(〇は1つ)

「はい」が27.5%、「いいえ」が71.4%となっています。



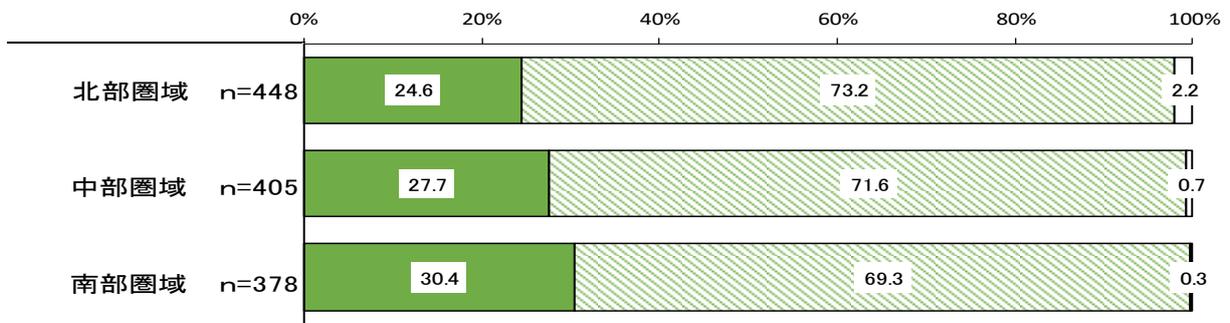
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



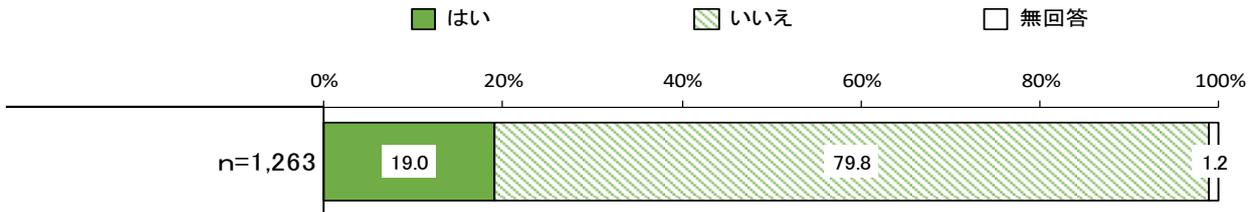
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「はい」(30.4%)の割合が高くなっています。



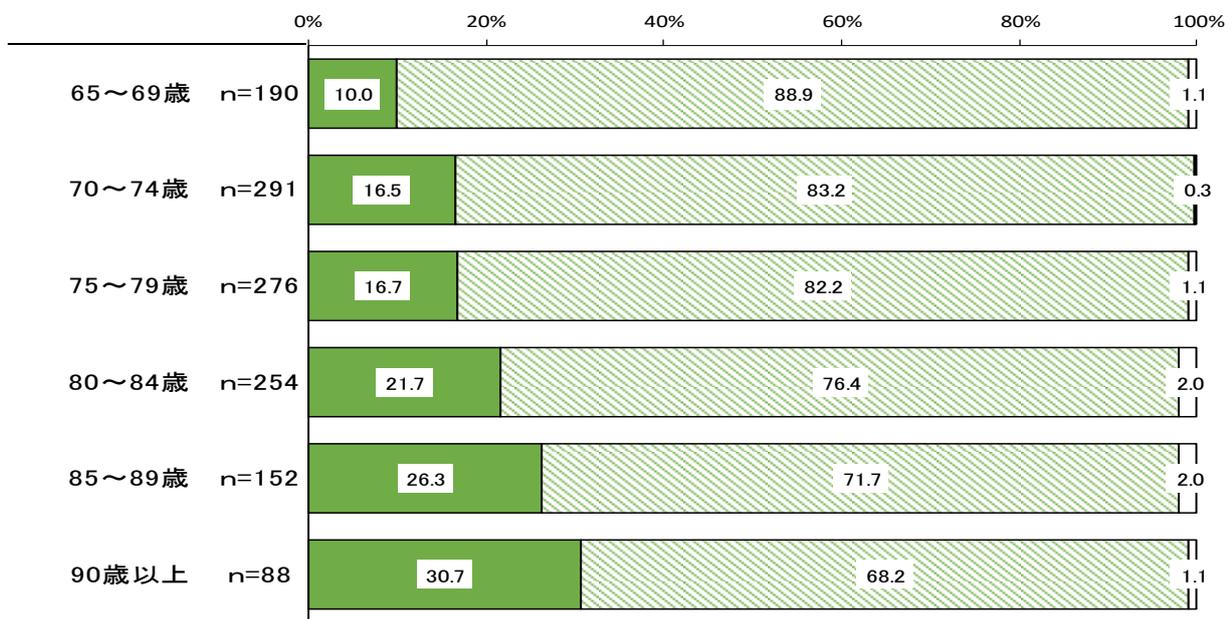
(11) 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか (○は1つ)

「はい」が19.0%、「いいえ」が79.8%となっています。



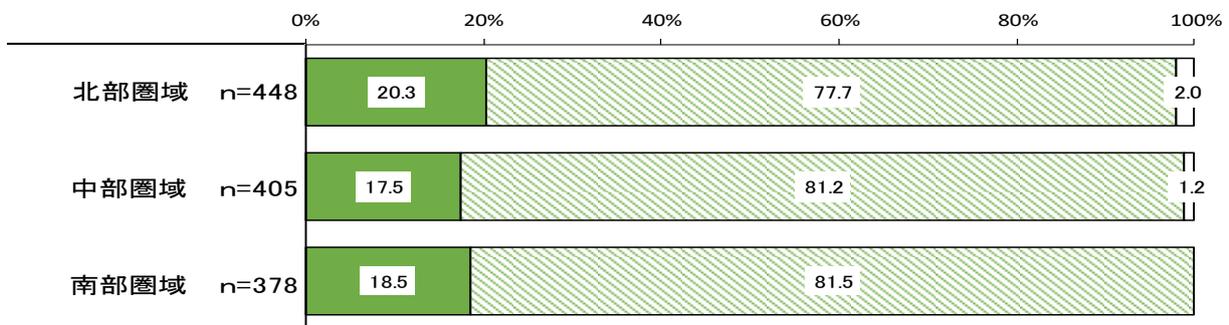
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



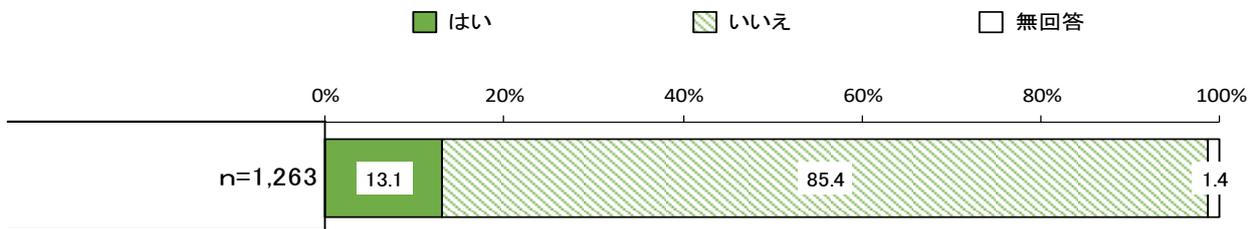
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「いいえ」(77.7%)の割合が低くなっています。



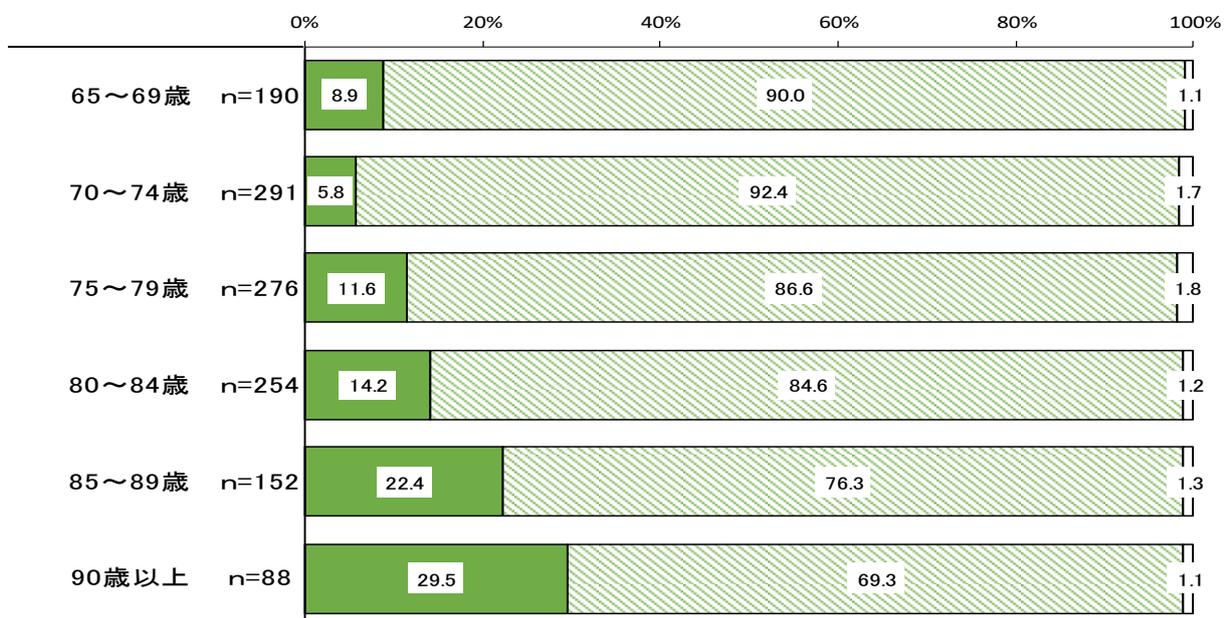
(12) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか
(○は1つ)

「はい」が13.1%、「いいえ」が85.4%となっています。



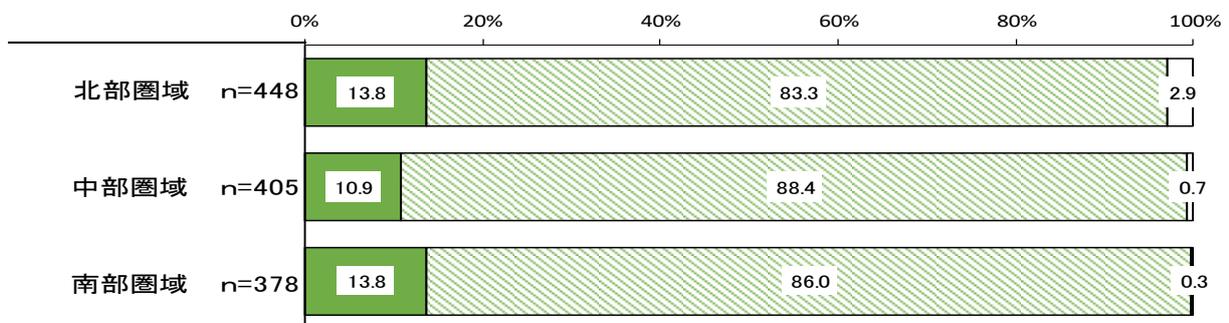
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



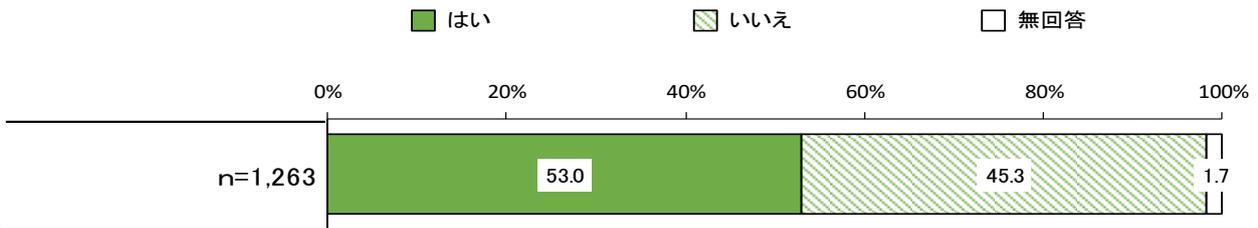
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



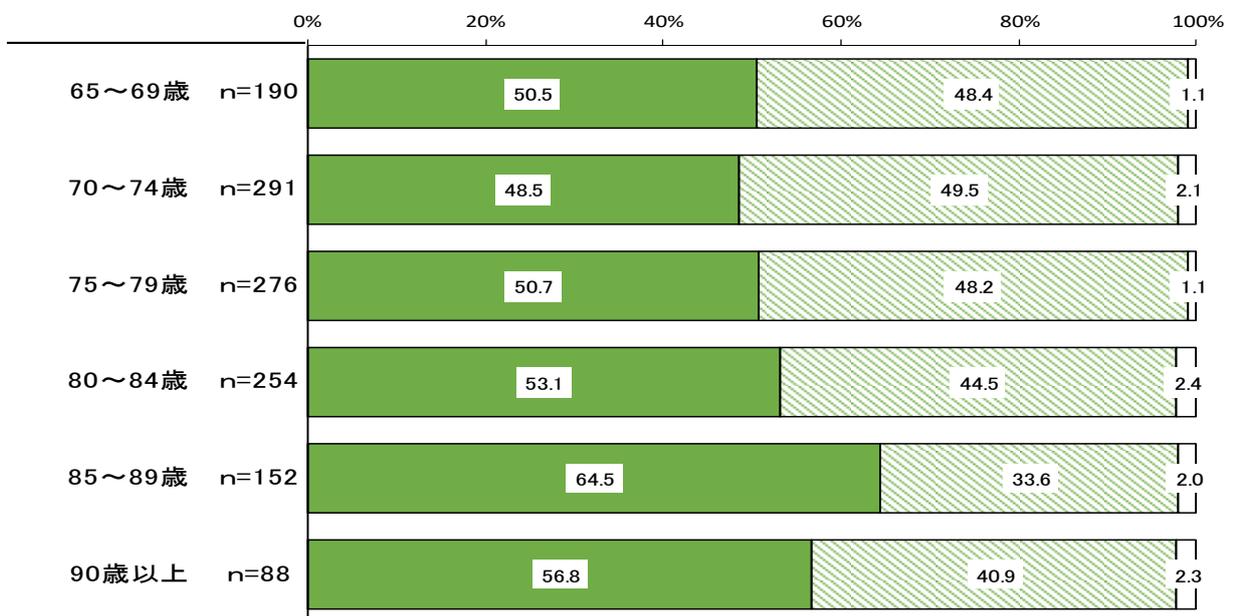
(13) 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか (○は1つ)

「はい」が53.0%、「いいえ」が45.3%となっています。



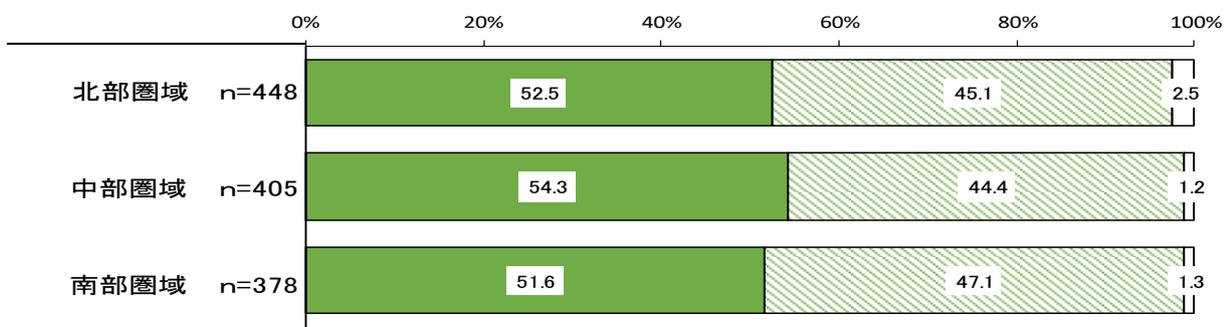
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「はい」(64.5%)の割合が高くなっています。



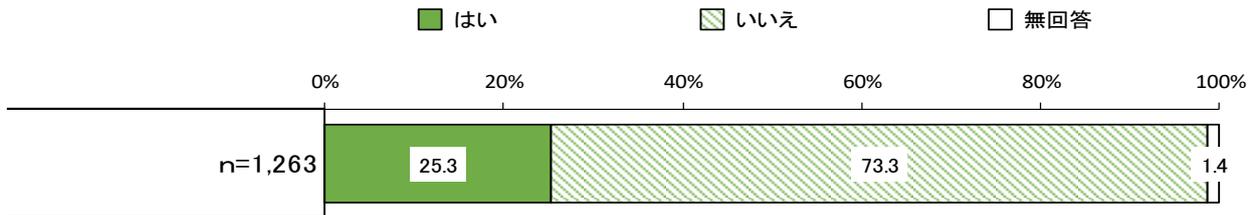
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



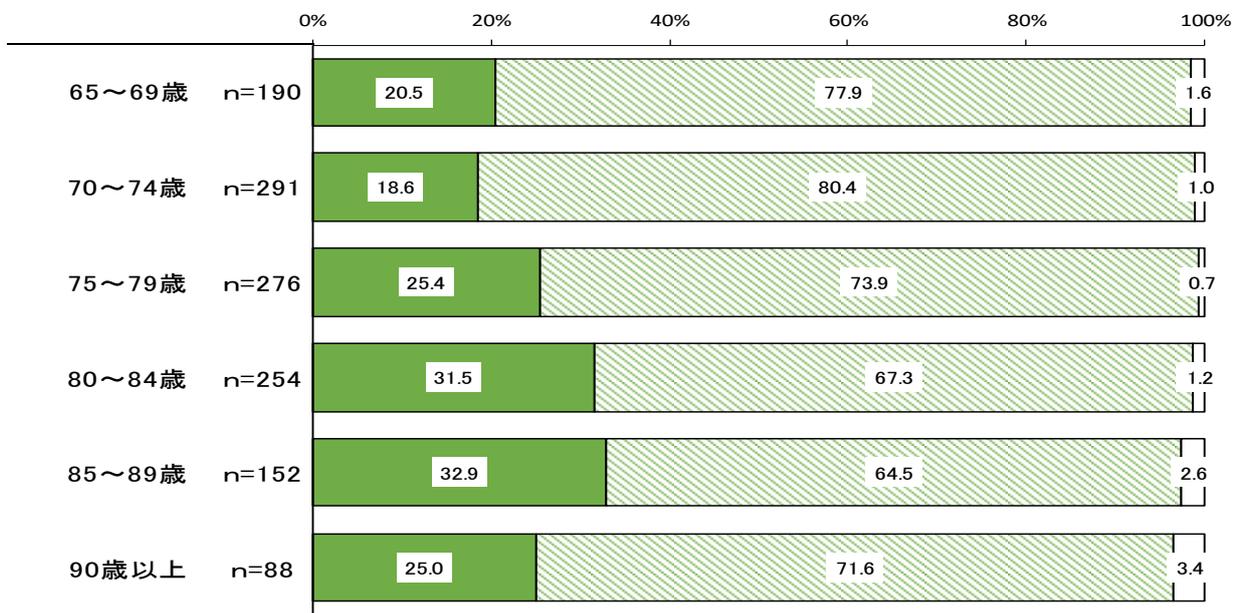
(14) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

「はい」が25.3%、「いいえ」が73.3%となっています。



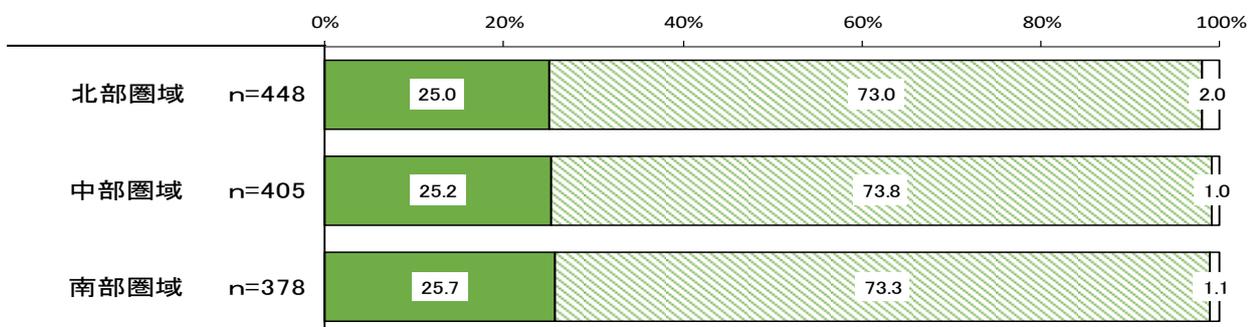
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～89歳で「はい」の割合が高くなっています。



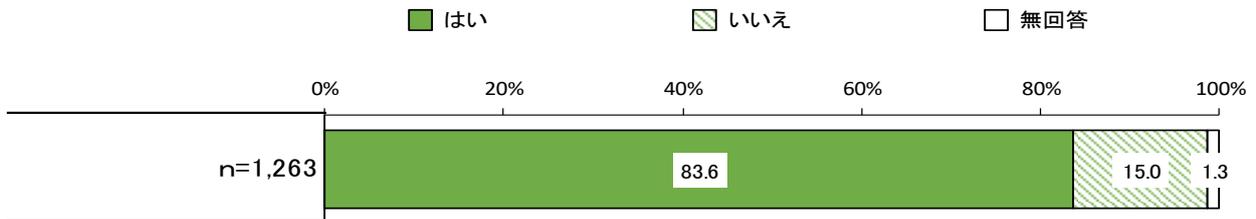
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(15) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

「はい」が83.6%、「いいえ」が15.0%となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「いいえ」(22.7%)の割合が高くなっています。



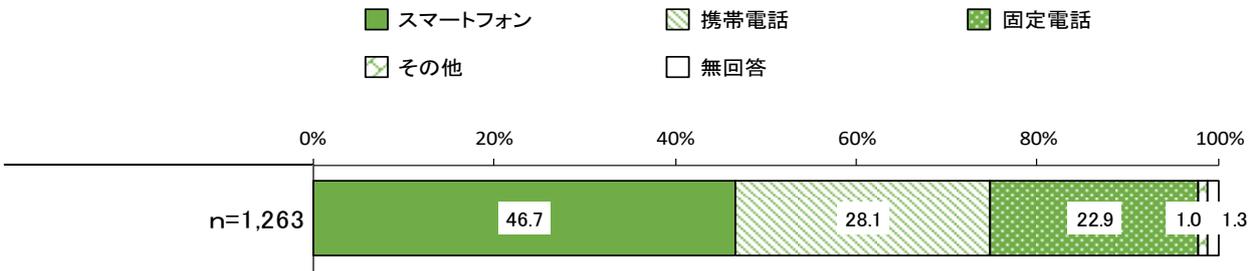
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



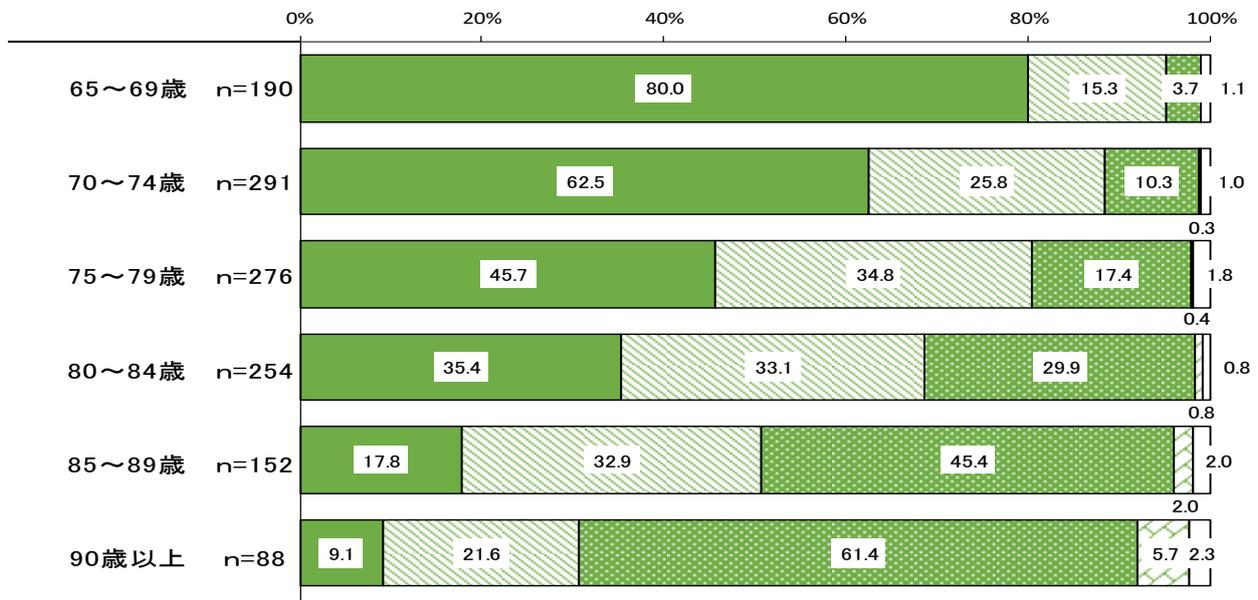
(16) 主に使用している通信・連絡機器はどれですか（○は1つ）

「スマートフォン」が46.7%で最も高く、次いで「携帯電話」が28.1%、「固定電話」が22.9%となっています。



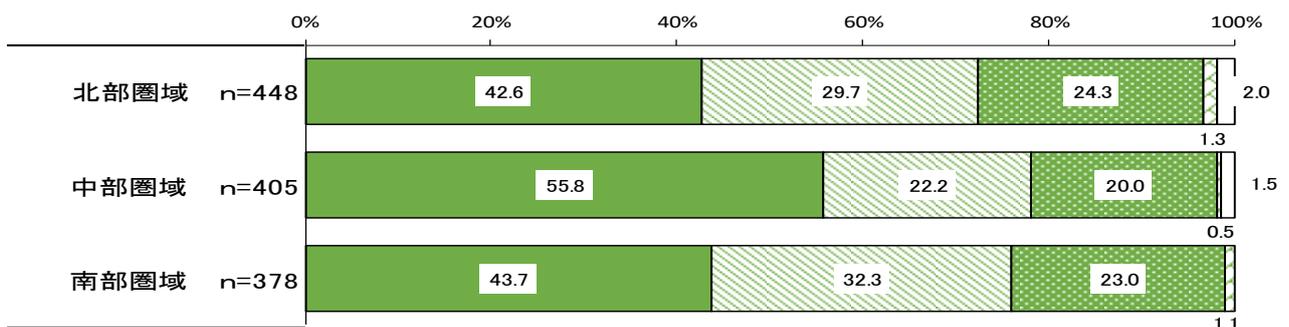
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「スマートフォン」の割合が低く、「固定電話」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「スマートフォン」（55.8%）の割合が高くなっています。

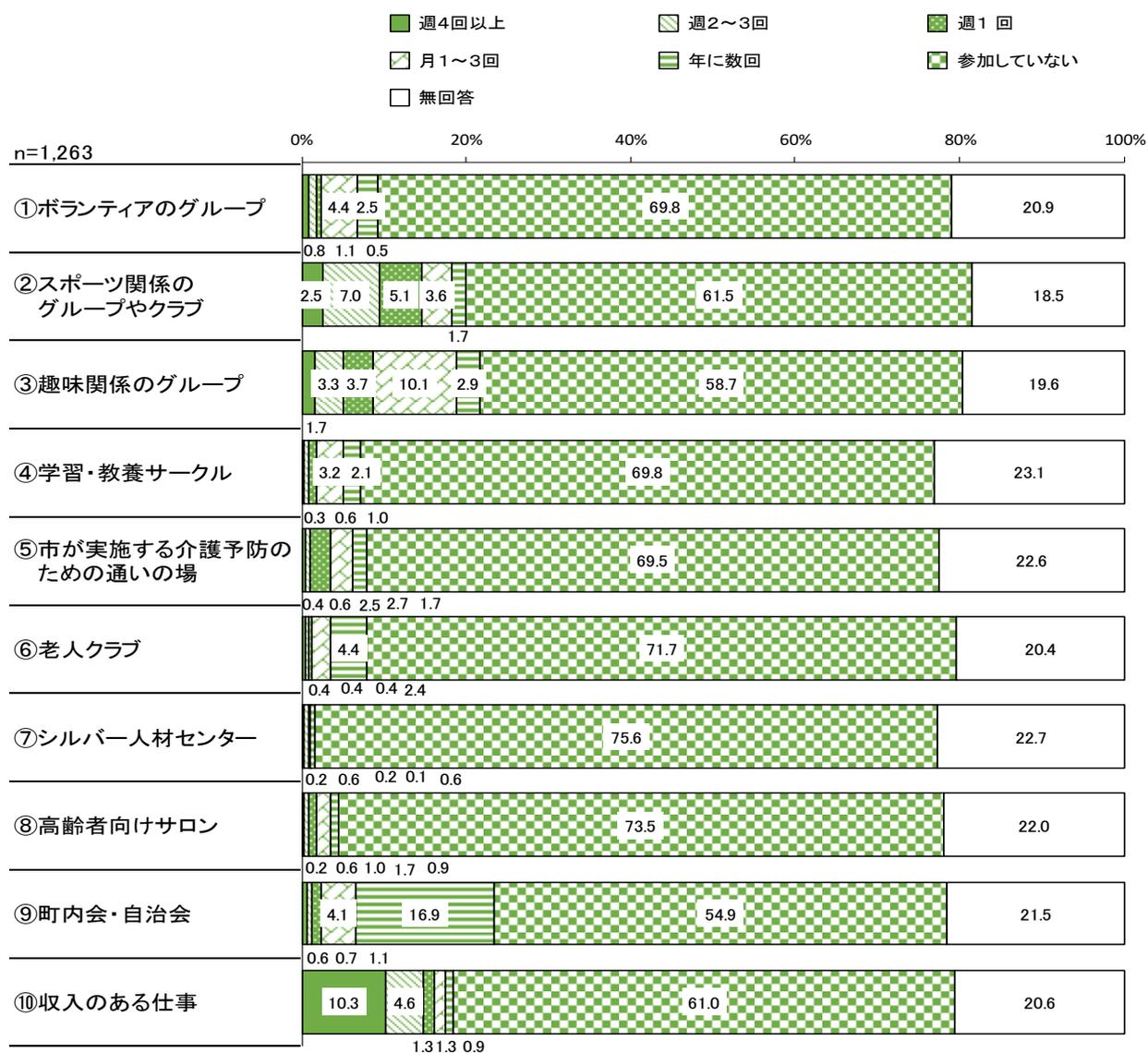


5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 また、今後参加してみたいですか
 ※①～⑩それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

【参加頻度】

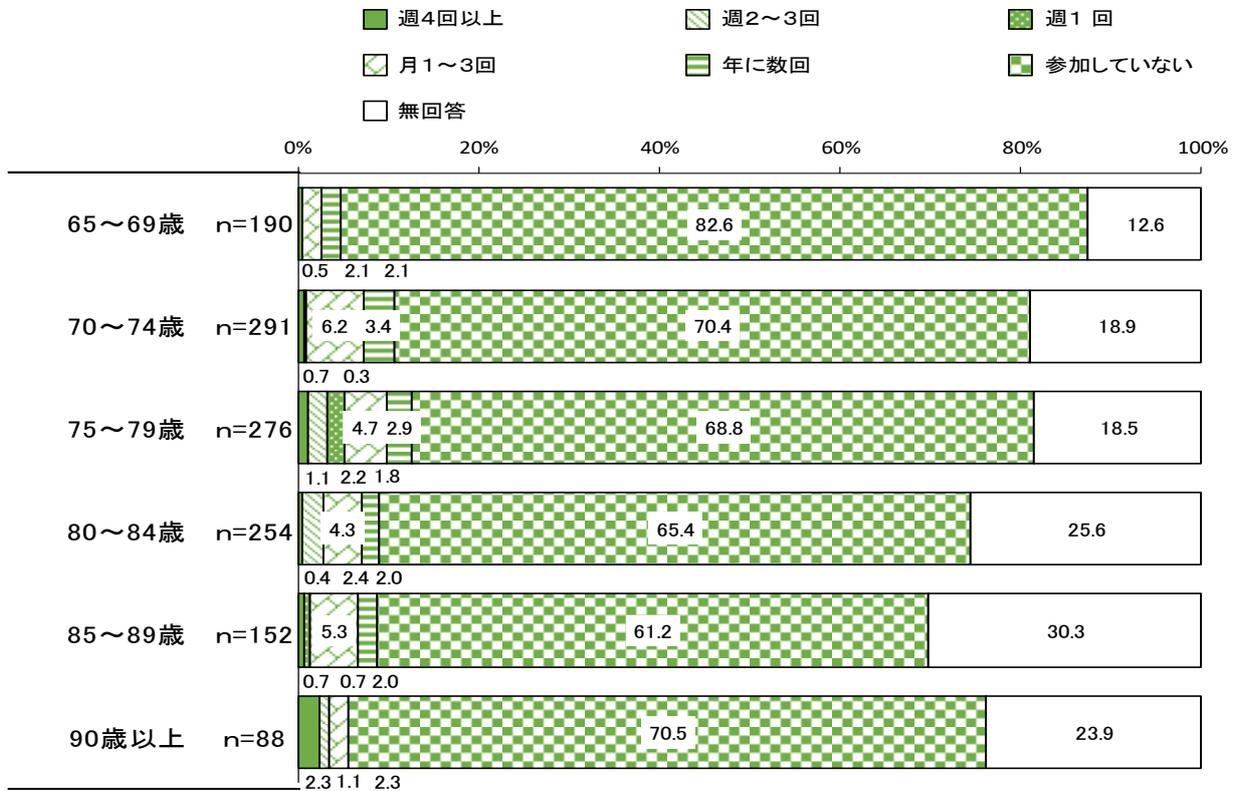
「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」を合わせた『参加している』は、「③趣味関係のグループ」、「⑨町内会・自治会」で割合が高くなっています。



①ボランティアのグループ

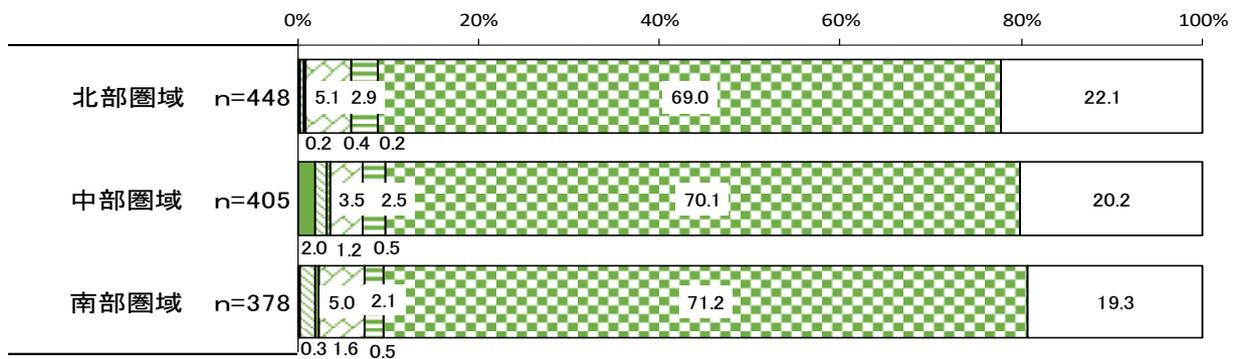
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～79歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

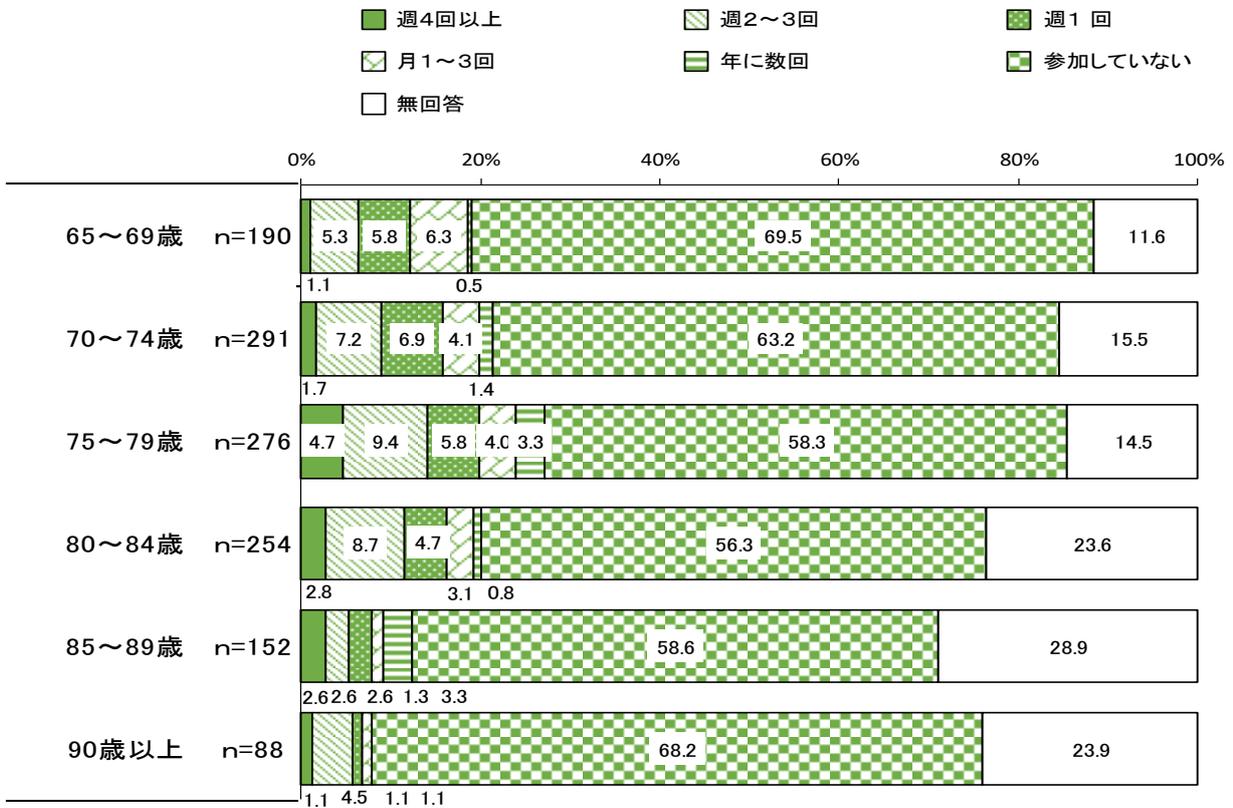
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「参加していない」（71.2%）の割合がやや高くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～84歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

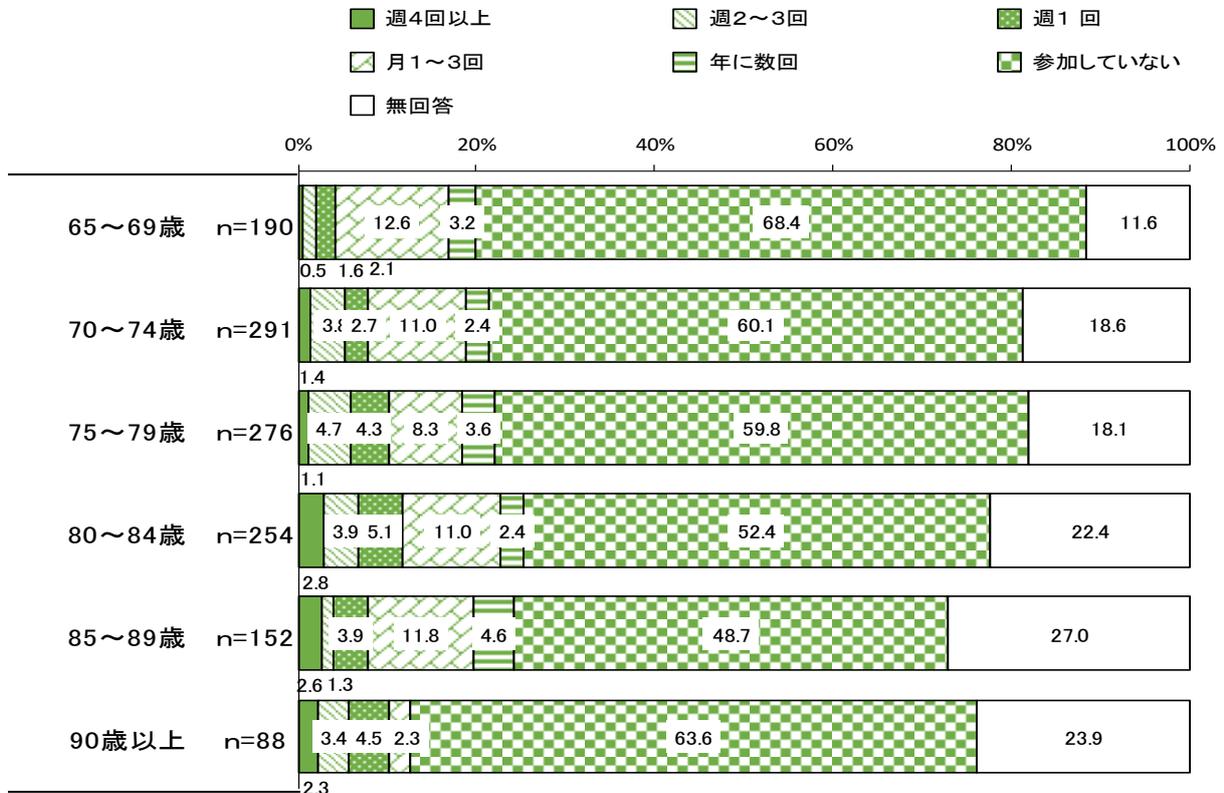
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『参加している』（17.3%）の割合が低くなっています。



③趣味関係のグループ

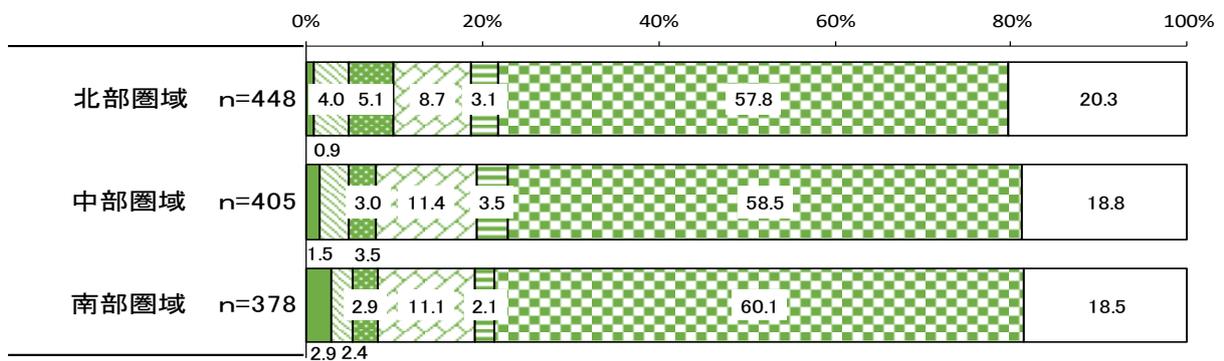
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳と90歳以上で「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

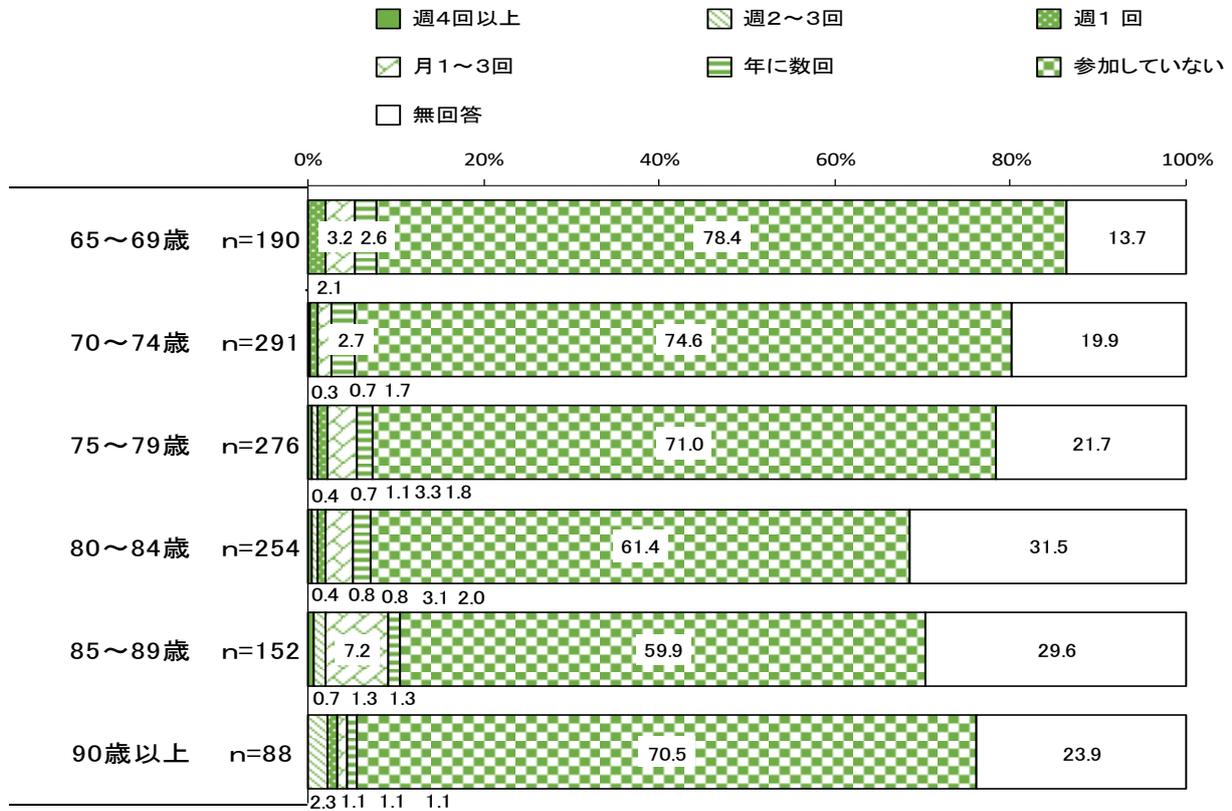
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「参加していない」(60.1%)の割合がやや高くなっています。



④学習・教養サークル

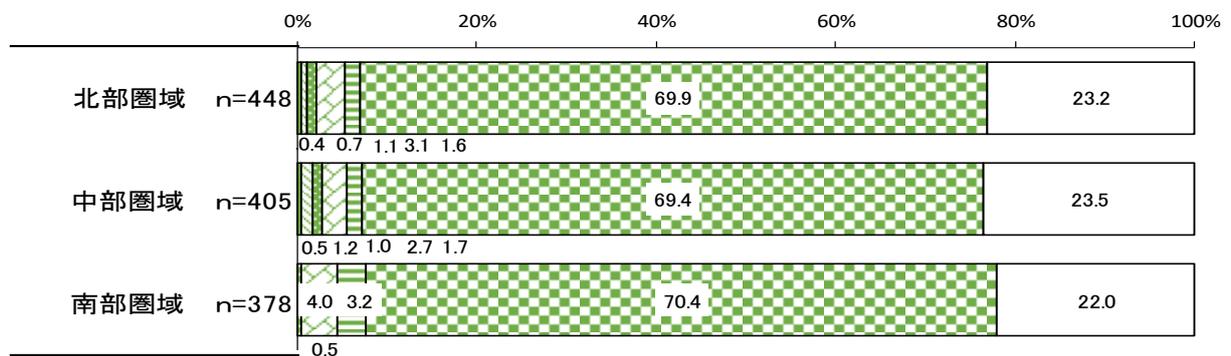
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で『参加している』（10.5%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

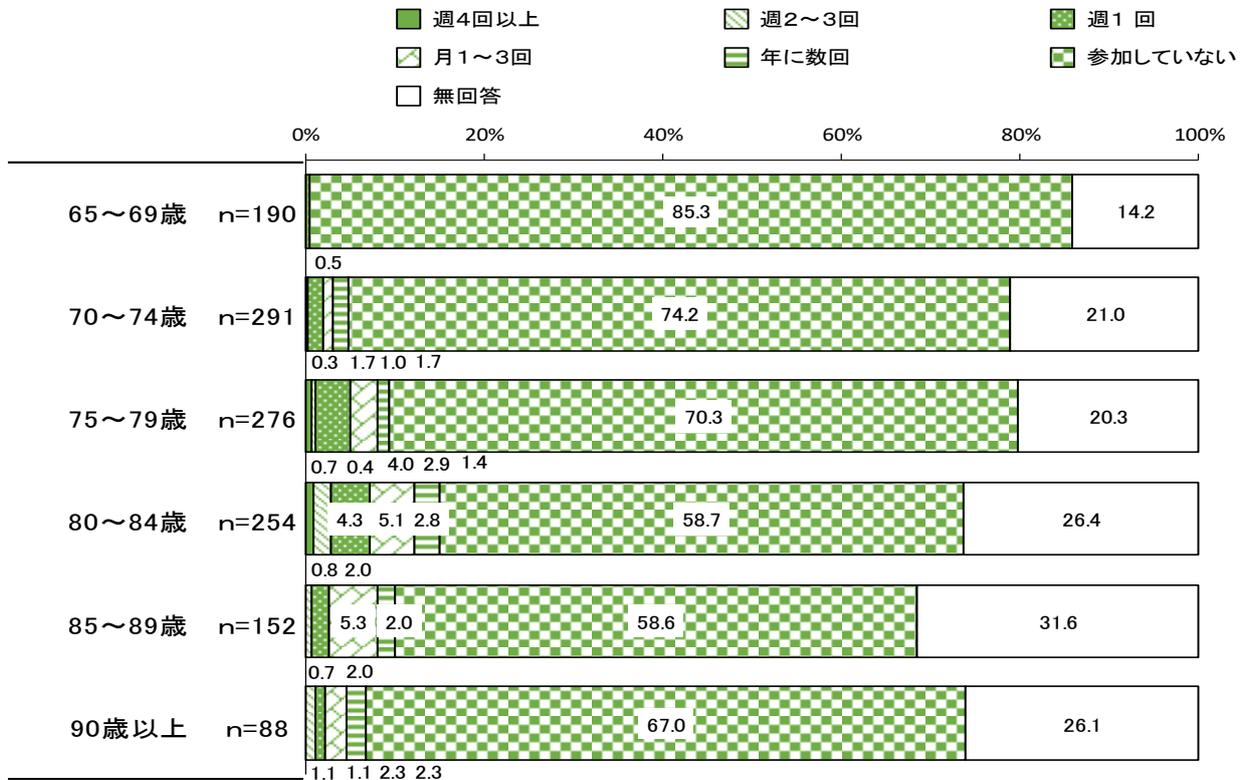
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑤市が実施する介護予防のための通いの場

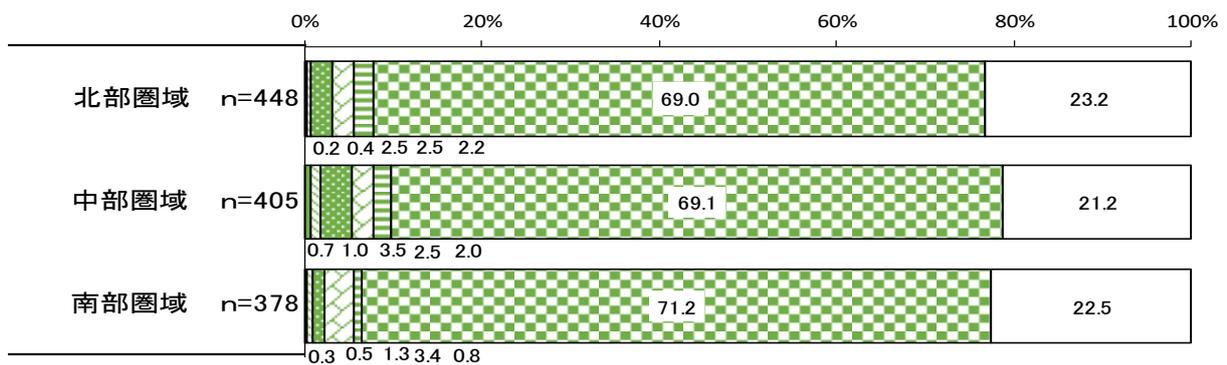
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～89歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

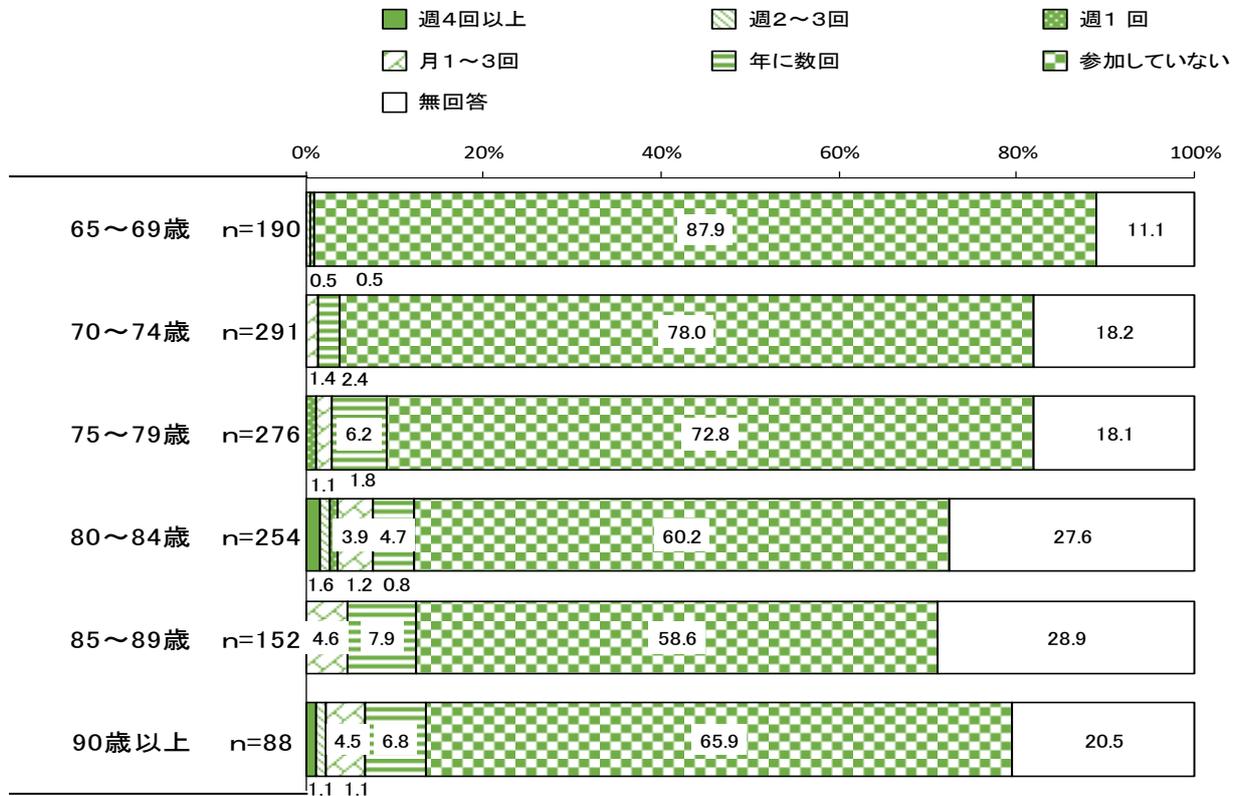
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑥老人クラブ

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加していない』（87.9%）の割合が高くなっています。また、年代が上がるにつれ『参加している』の割合が高くなる傾向がみられます。



【圏域別】

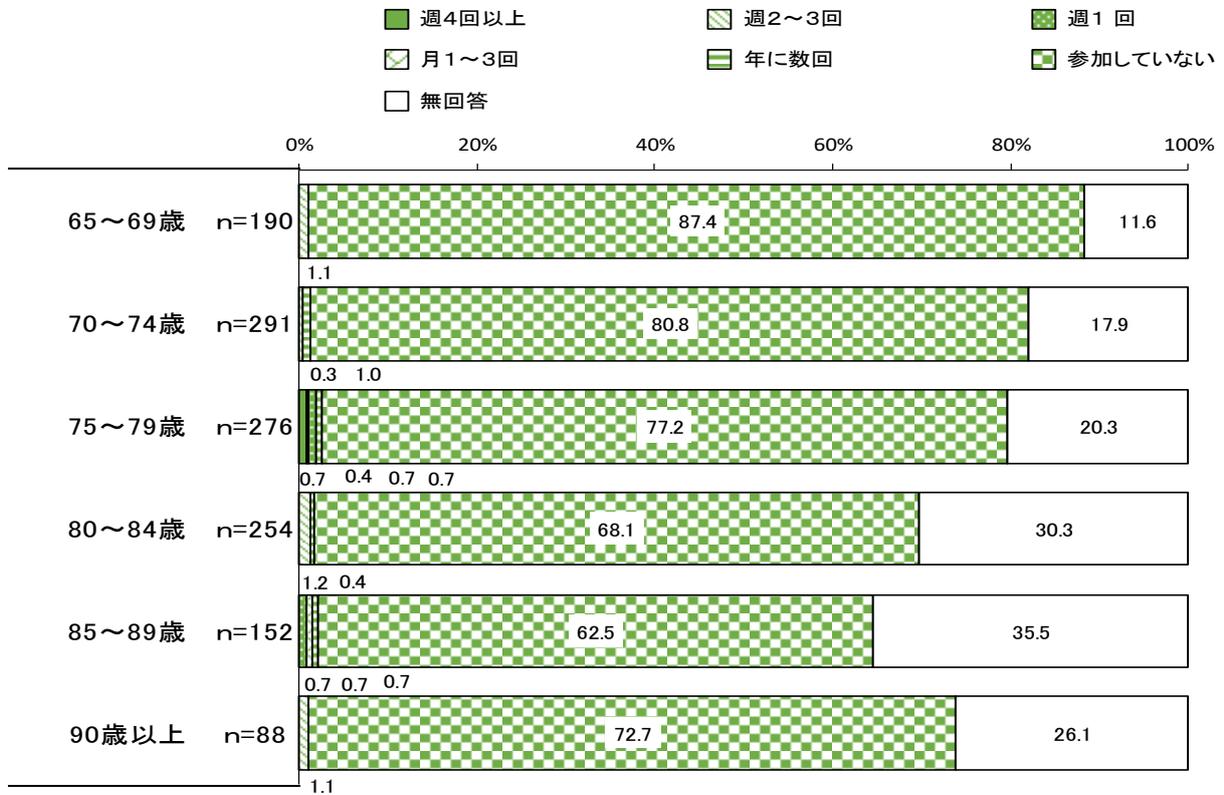
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「参加していない」（73.0%）の割合がやや高くなっています。



⑦シルバー人材センター

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

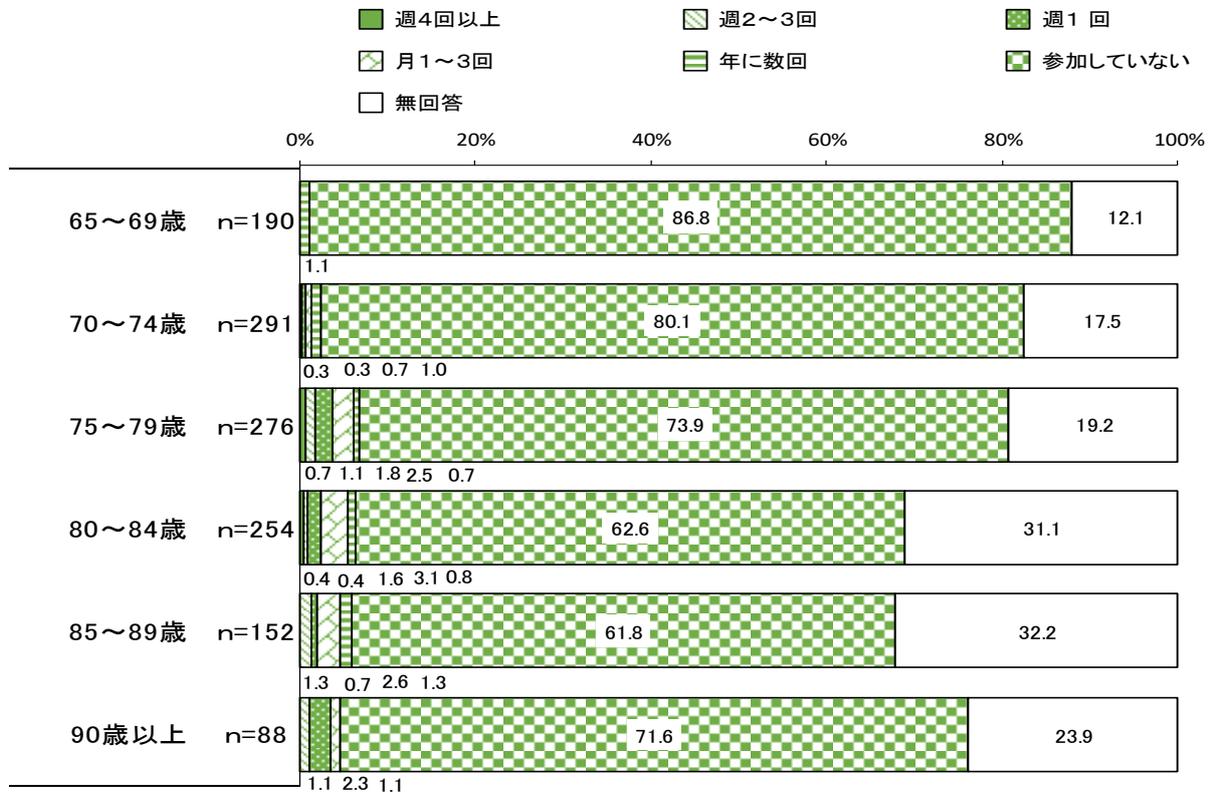
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「参加していない」(73.7%)の割合が低くなっています。



⑧高齢者向けサロン

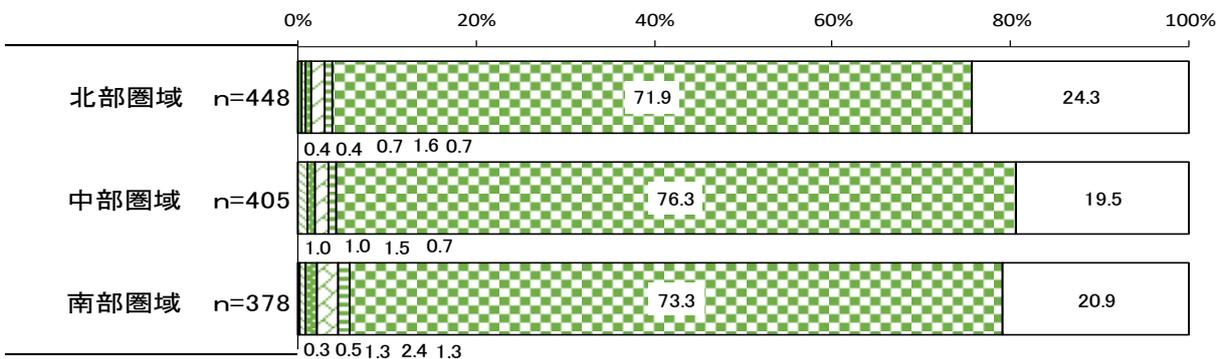
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

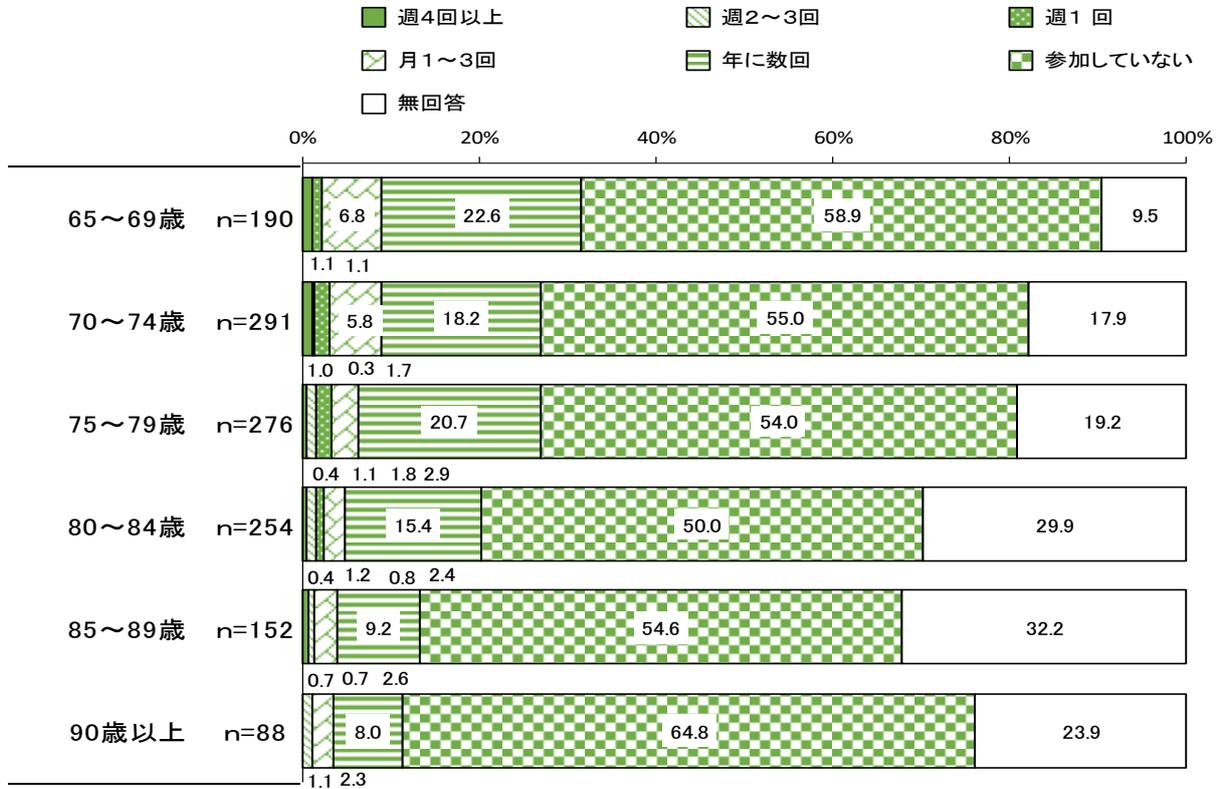
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「参加していない」(76.3%)の割合が高くなっています。



⑨町内会・自治会

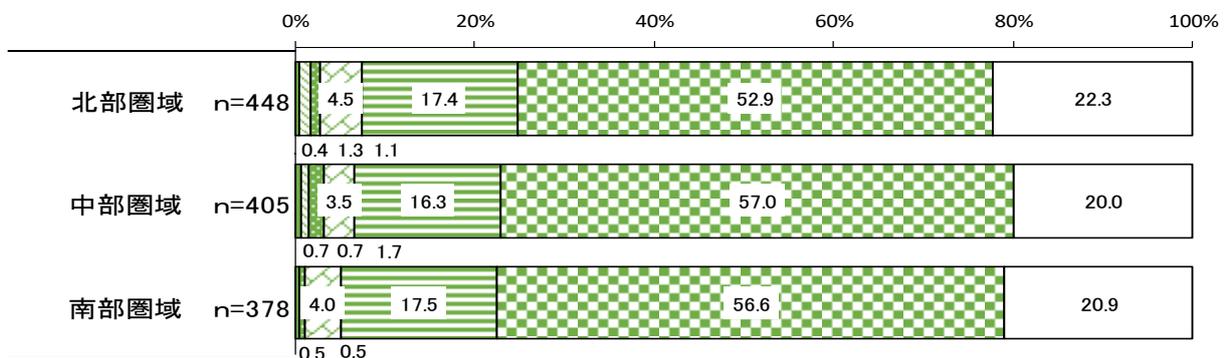
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加している』（31.6%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

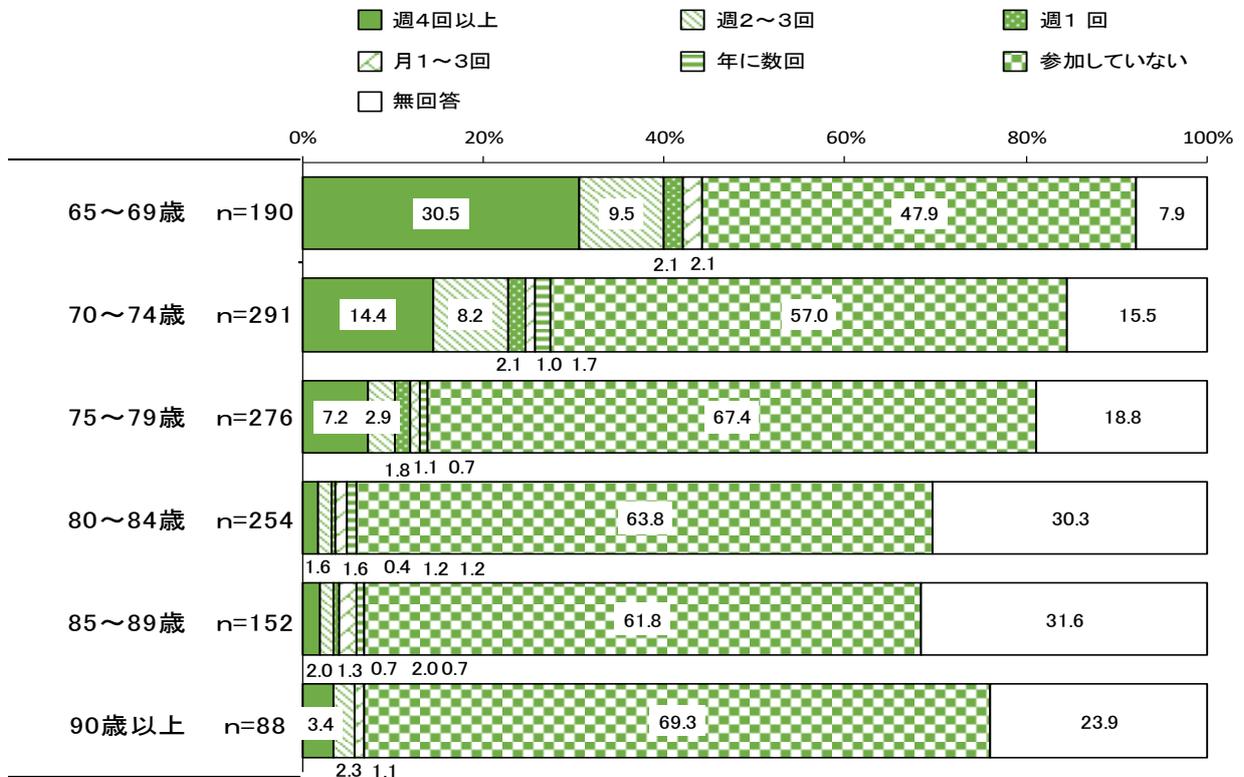
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「参加していない」（52.9%）の割合が低くなっています。



⑩収入のある仕事

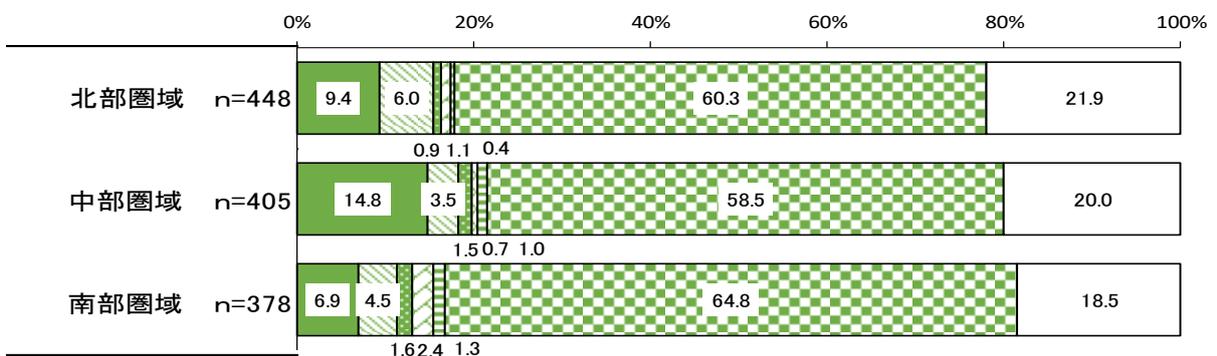
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加している』（44.2%）の割合が高くなっています。



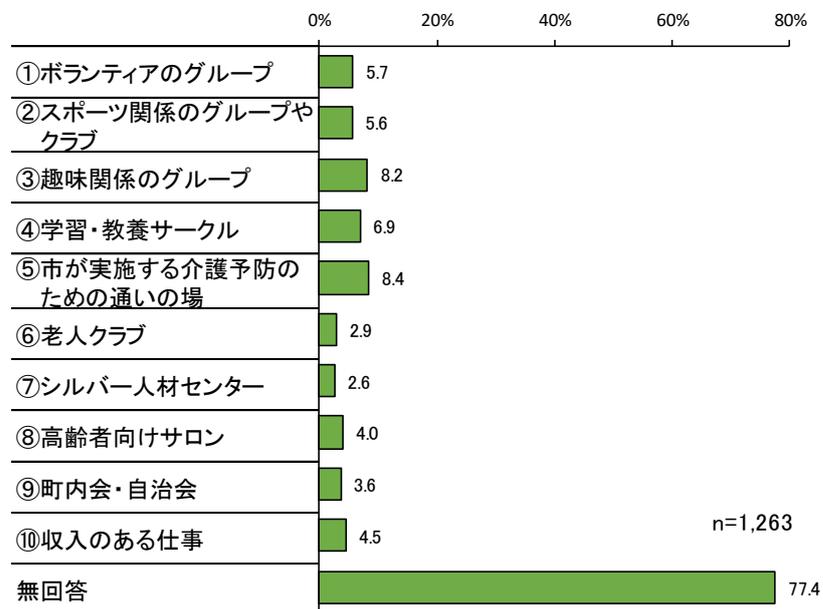
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『参加している』（21.5%）の割合が高くなっています。



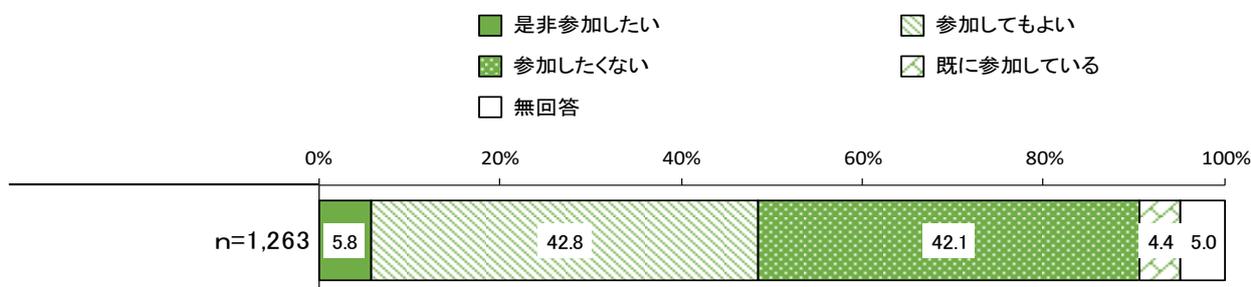
【今後の参加希望】

「⑤市が実施する介護予防のための通いの場」が 8.4%、「③趣味関係のグループ」が 8.2%、「④学習・教養サークル」が 6.9%となっています。



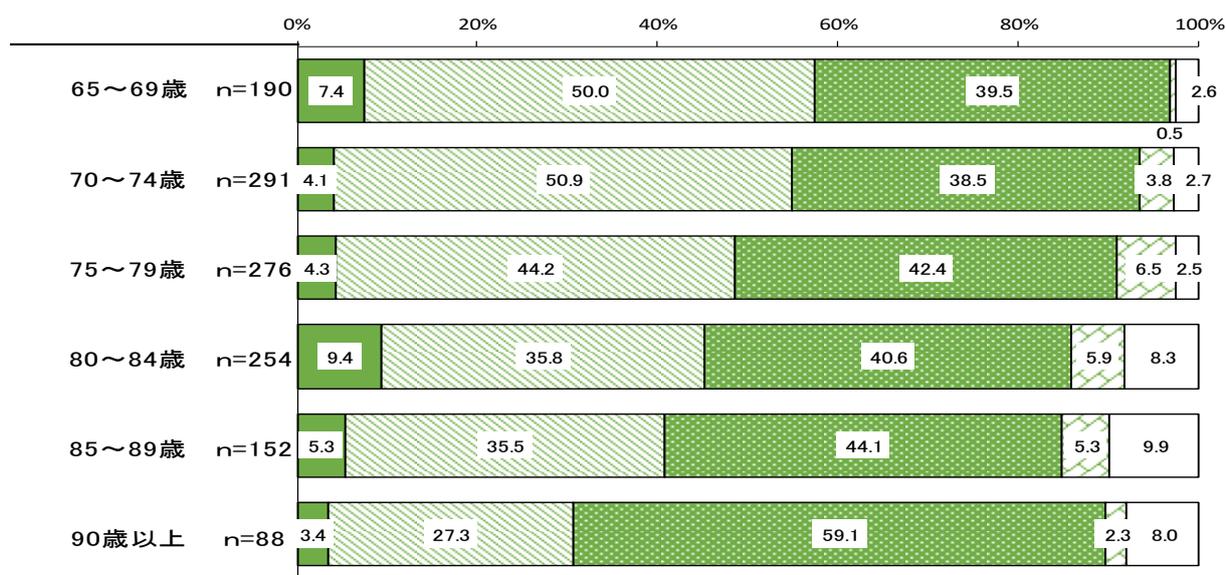
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加希望あり』が 48.6%で最も高く、次いで「参加したくない」が 42.1%、「既に参加している」が 4.4%となっています。



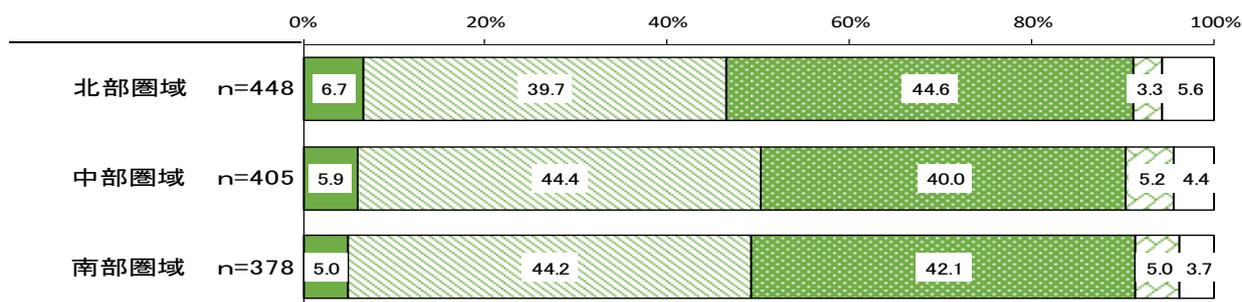
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で『参加希望あり』の割合が高くなっています。



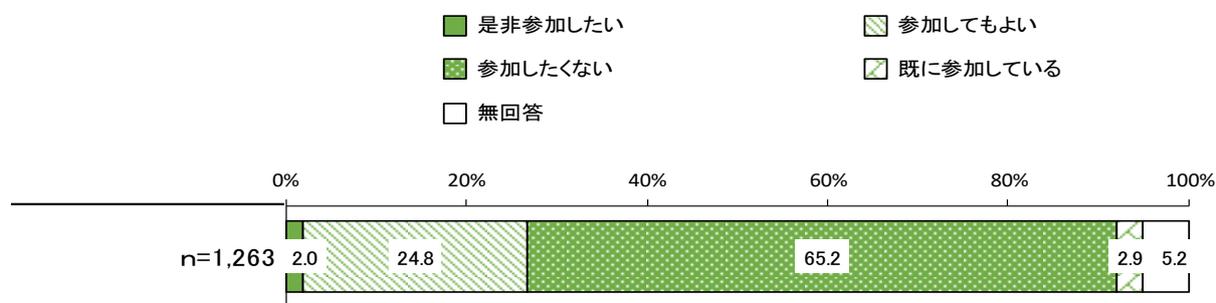
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『参加希望あり』(50.3%)の割合が高くなっています。



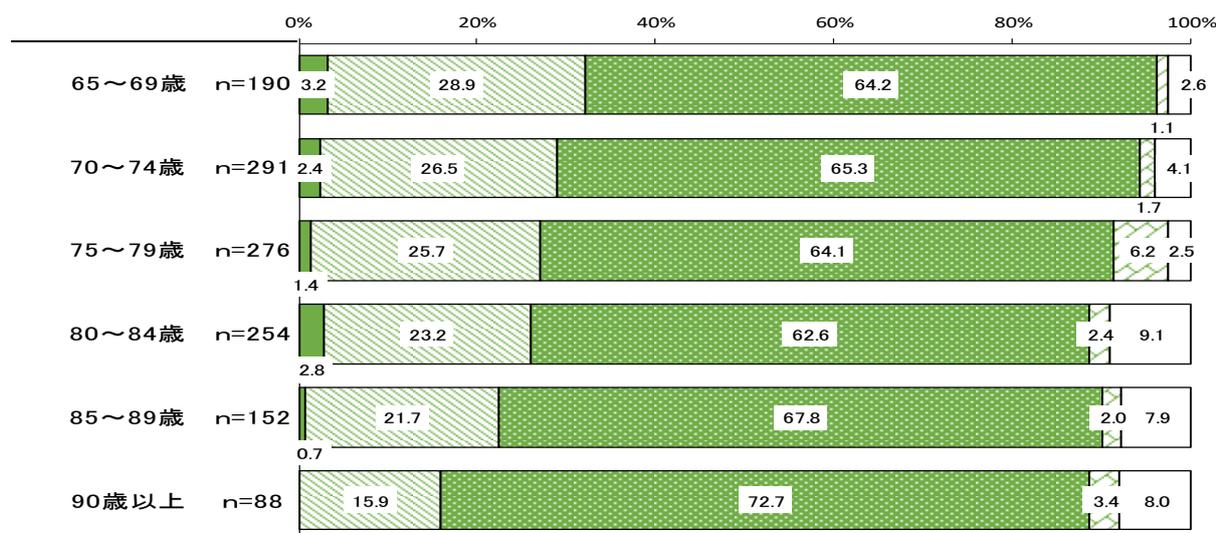
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(○は1つ)

「参加したくない」が65.2%で最も高く、次いで「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加希望あり』が26.8%、「既に参加している」が2.9%となっています。



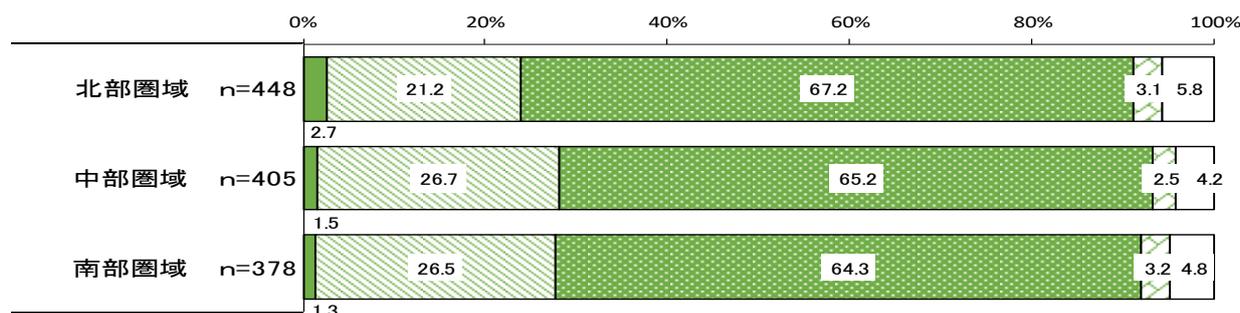
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加希望あり』(32.1%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

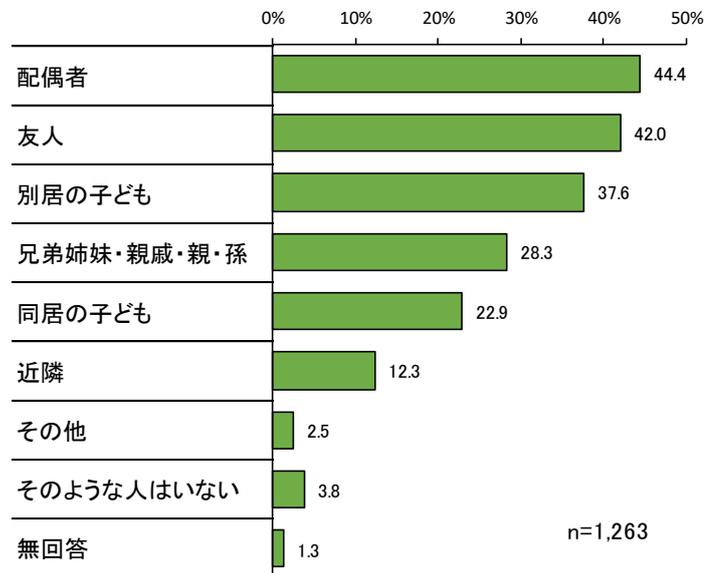
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『参加希望あり』(23.9%)の割合が低くなっています。



6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が44.4%で最も高く、次いで「友人」が42.0%、「別居の子ども」が37.6%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79歳で「配偶者」の割合が高くなっています。

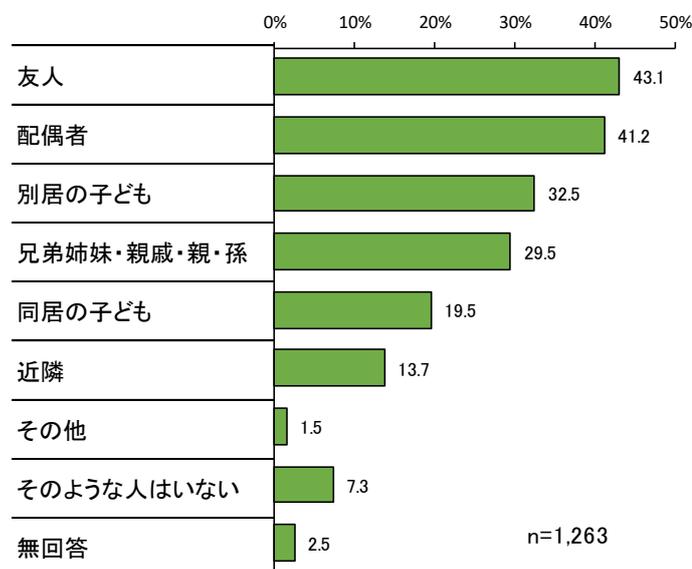
圏域別では、すべての圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	親・ 孫 兄弟 姉妹 ・ 親戚 ・	近 隣	友 人	そ の 他	な い	そ の よ う な 人 は い	無 回 答
年代別											
65～69歳	190	59.5	18.4	32.6	29.5	7.4	48.9	4.2	6.8	0.5	
70～74歳	291	54.0	22.0	35.1	32.0	13.1	48.8	2.7	3.1	1.0	
75～79歳	276	52.5	23.6	37.3	24.3	14.9	48.9	2.5	2.2	0.4	
80～84歳	254	32.7	20.9	41.7	29.9	14.2	36.6	0.8	3.1	2.4	
85～89歳	152	28.9	22.4	39.5	26.3	9.9	31.6	2.0	4.6	1.3	
90歳以上	88	14.8	40.9	42.0	26.1	10.2	19.3	3.4	5.7	3.4	
圏域別											
北部圏域	448	44.9	20.8	34.8	27.0	11.8	40.0	1.3	4.0	1.8	
中部圏域	405	43.2	24.9	40.0	30.6	11.9	43.2	3.7	4.2	1.0	
南部圏域	378	45.8	23.8	39.7	27.2	13.8	44.7	2.4	3.2	0.5	

（２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「友人」が 43.1%で最も高く、次いで「配偶者」が 41.2%、「別居の子ども」が 32.5%となっています。



【年代別・圏域別】

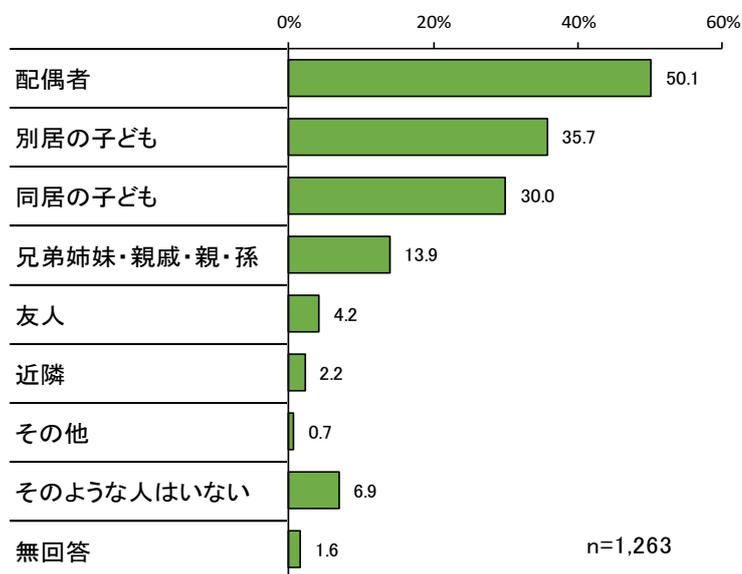
年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「配偶者」（56.8%）の割合が高くなっています。圏域別では、すべての圏域で「友人」の割合が最も高くなっています。また、北部圏域では「配偶者」（42.2%）も同様に割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人はい	無回答
年代別											
65～69歳	190	56.8	20.0	35.8	34.7	8.9	47.4	3.7	5.8	1.1	
70～74歳	291	50.2	22.7	34.7	33.3	15.5	51.9	3.1	5.2	1.0	
75～79歳	276	47.5	19.6	33.0	23.2	14.5	46.4	1.1	3.6	1.8	
80～84歳	254	30.3	17.3	32.7	31.1	17.3	39.8	0.0	7.5	4.3	
85～89歳	152	25.7	11.8	22.4	25.7	9.9	35.5	0.0	12.5	3.9	
90歳以上	88	14.8	27.3	33.0	27.3	10.2	18.2	0.0	20.5	4.5	
圏域別											
北部圏域	448	42.2	16.7	31.3	27.0	13.4	42.2	0.9	6.7	4.0	
中部圏域	405	40.7	21.7	33.6	32.3	13.8	43.0	2.7	7.2	2.0	
南部圏域	378	41.3	20.6	33.3	28.6	14.0	46.0	1.1	7.9	0.5	

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)

「配偶者」が 50.1%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 35.7%、「同居の子ども」が 30.0%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「配偶者」(68.4%)の割合が高くなっています。また、90歳以上で「同居の子ども」(50.0%)の割合が高くなっています。

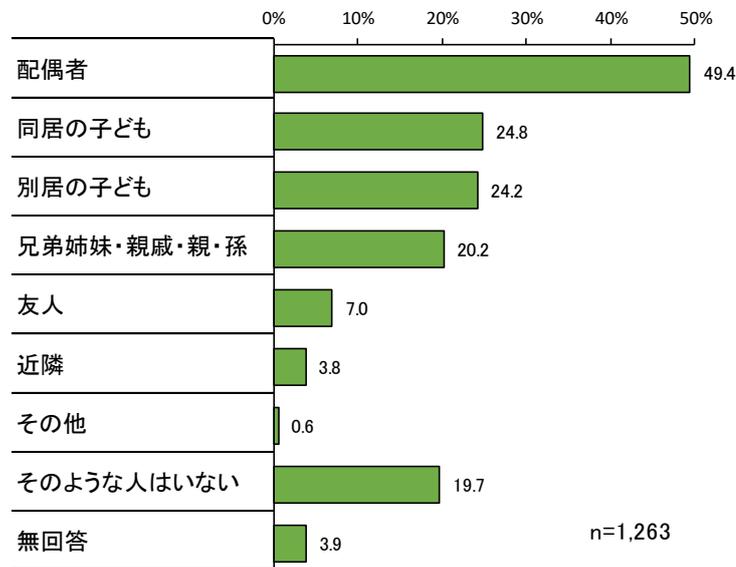
圏域別では、すべての圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	親・ 兄弟 姉妹 ・ 親戚・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	な い	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
年代別											
65～69歳	190	68.4	23.2	24.2	14.2	2.1	7.9	0.5	5.3	1.1	
70～74歳	291	58.4	28.9	33.7	16.5	2.1	4.1	0.3	5.8	1.0	
75～79歳	276	58.3	27.9	39.1	9.1	2.5	5.1	0.4	5.8	0.7	
80～84歳	254	39.8	29.5	42.5	14.2	3.5	3.9	0.0	9.4	2.8	
85～89歳	152	32.2	33.6	36.2	12.5	0.7	0.0	3.3	8.6	2.6	
90歳以上	88	15.9	50.0	37.5	21.6	1.1	2.3	1.1	6.8	2.3	
圏域別											
北部圏域	448	52.0	29.0	33.5	12.3	2.9	3.6	0.4	8.5	2.5	
中部圏域	405	48.4	31.9	37.3	16.5	2.5	4.9	1.2	5.4	0.7	
南部圏域	378	50.3	29.9	38.1	12.7	1.3	4.5	0.5	6.6	0.5	

(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

「配偶者」が 49.4%で最も高く、次いで「同居の子ども」が 24.8%、「別居の子ども」が 24.2%となっています。



【年代別・圏域別】

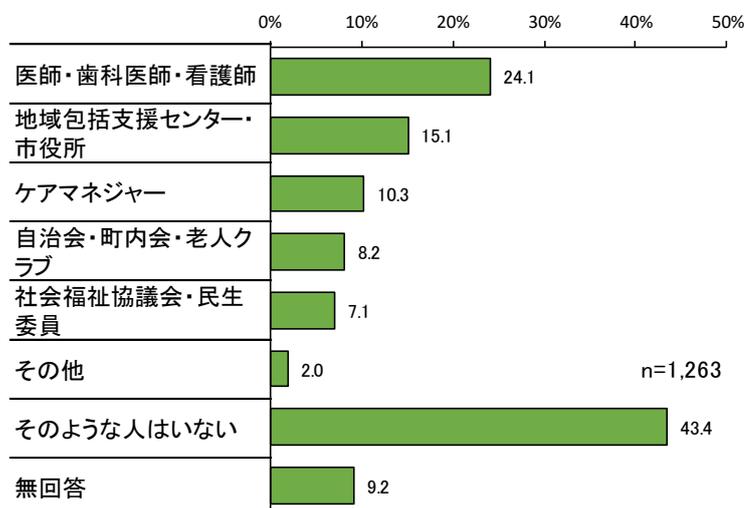
年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「配偶者」（67.9%）の割合が高くなっています。また、85歳以上で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（23.5%）の割合が高くなっています。

区分	全体 (件)	単位：%								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない その ような 人はい	無回答
年代別										
65～69歳	190	67.9	27.4	27.4	26.3	2.1	7.4	1.1	9.5	2.1
70～74歳	291	57.7	27.5	29.2	29.2	3.8	6.9	0.3	13.4	1.7
75～79歳	276	55.8	29.3	31.9	17.4	5.8	9.8	0.0	12.7	1.4
80～84歳	254	40.2	20.1	22.8	17.7	4.3	7.1	0.8	24.0	5.9
85～89歳	152	32.9	16.4	9.2	9.2	2.6	2.6	0.0	35.5	10.5
90歳以上	88	15.9	22.7	10.2	13.6	2.3	5.7	2.3	44.3	5.7
圏域別										
北部圏域	448	50.0	24.1	27.0	18.1	4.7	6.5	0.7	18.8	5.4
中部圏域	405	47.9	26.9	24.9	23.5	4.7	8.4	1.0	18.8	3.0
南部圏域	378	51.1	24.1	20.9	19.0	2.1	6.3	0.0	22.2	2.4

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

「医師・歯科医師・看護師」が24.1%、「地域包括支援センター・市役所」が15.1%、「ケアマネジャー」が10.3%となっています。一方、「そのような人はいない」は43.4%で最も高くなっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、年代が上がるにつれ「そのような人はいない」の割合が低くなる傾向がみられます。

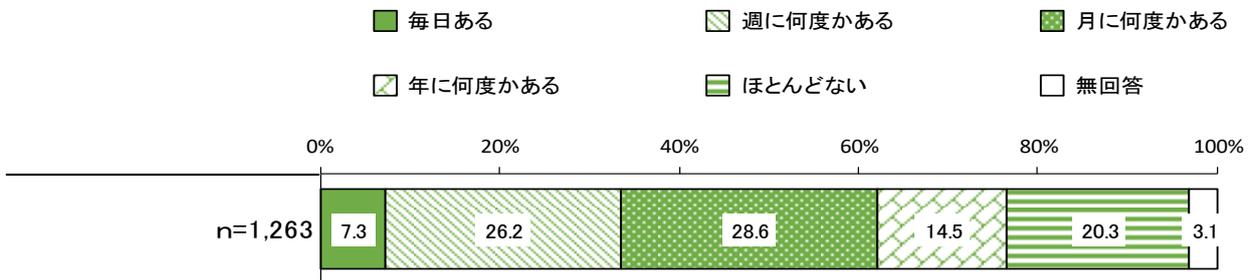
圏域別では、すべての圏域で「そのような人はいない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	老人 クラブ	自治 会・ 町内 会	民生 委員	社会 福祉 協議 会	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	看 護 師 ・ 歯 科 医 師 ・ 医 生	地 域 ・ 市 役 所	地 域 包 括 支 援 セ ン ター	そ の 他	な い の よ う な 人 は い ない	無 回 答
年代別												
65～69歳	190	5.3	1.1	4.7	23.2	14.2	2.6	59.5	3.7			
70～74歳	291	7.6	7.2	7.6	23.0	15.8	1.0	46.0	9.6			
75～79歳	276	11.2	7.2	8.0	25.0	12.0	3.6	44.2	10.1			
80～84歳	254	9.8	9.8	11.8	26.0	17.7	2.0	36.6	9.1			
85～89歳	152	5.9	8.6	19.1	23.0	12.5	0.7	34.9	13.2			
90歳以上	88	6.8	10.2	18.2	23.9	22.7	1.1	34.1	6.8			
圏域別												
北部圏域	448	8.0	7.4	11.4	22.1	14.1	2.2	42.6	9.8			
中部圏域	405	8.4	6.7	7.9	27.2	15.1	1.0	47.7	7.7			
南部圏域	378	8.5	7.7	11.4	24.3	16.1	2.6	41.0	8.2			

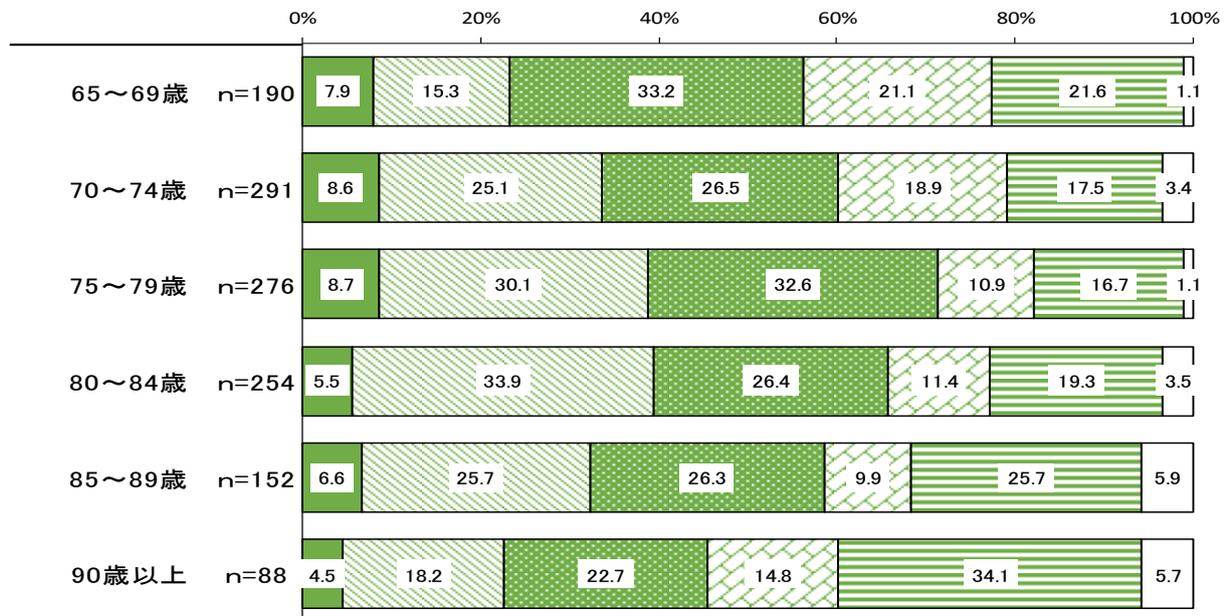
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇は1つ)

「月に何度かある」が28.6%で最も高く、次いで「週に何度かある」が26.2%、「ほとんどない」が20.3%となっています。



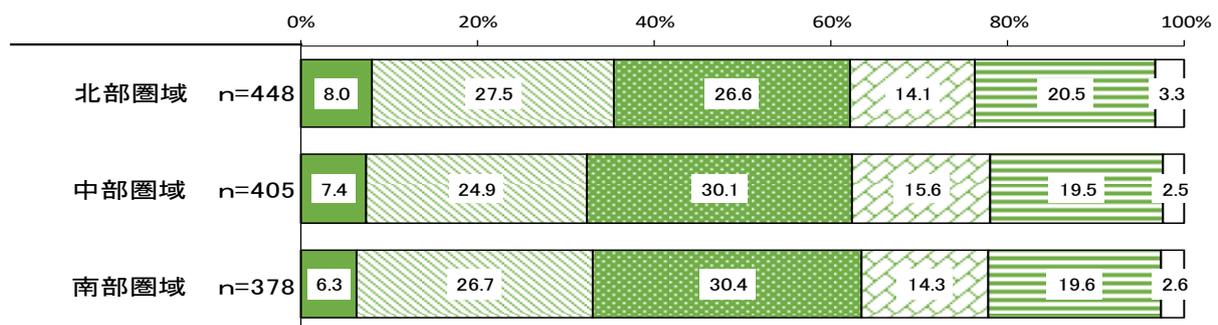
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「ほとんどない」(34.1%)の割合が高くなっています。



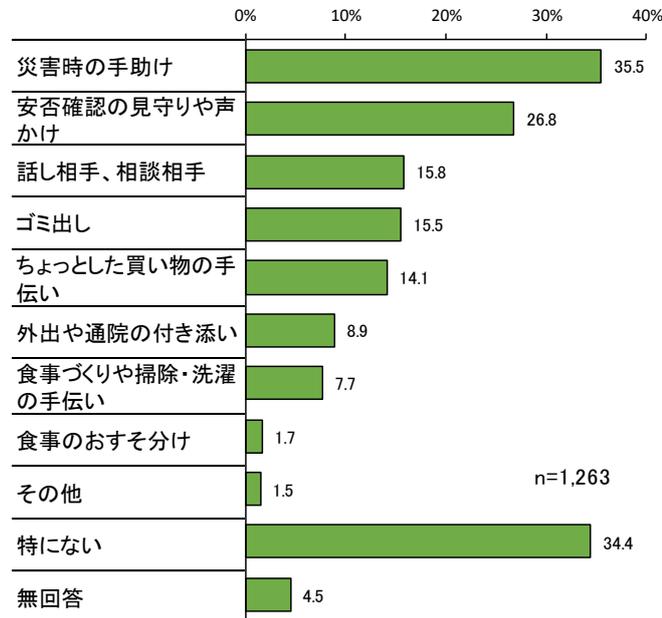
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(7) あなたがお困りのとき（今後、お困りになったとき）、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか（いくつでも）

「災害時の手助け」が35.5%で最も高く、「安否確認の見守りや声かけ」が26.8%、「話し相手、相談相手」が15.8%となっています。一方、「特にない」は34.4%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「特にない」（43.7%）の割合が高くなっています。また、80～84歳で「災害時の手助け」（40.2%）の割合が高くなっています。

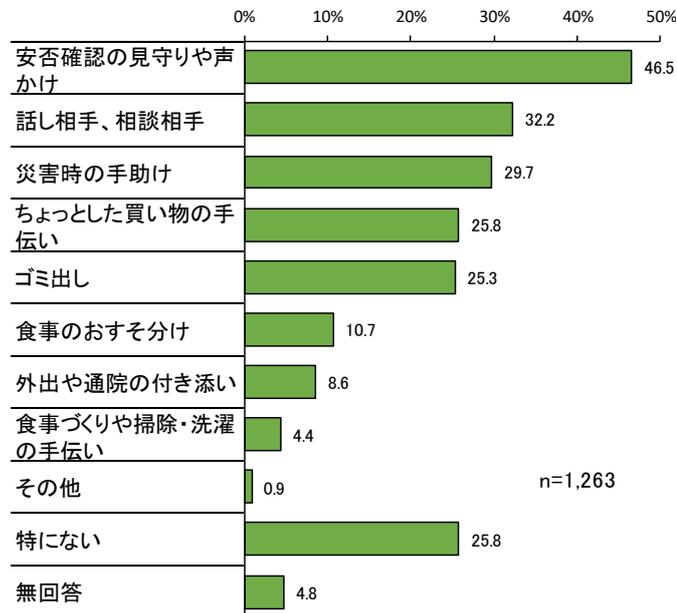
圏域別では、中部圏域で「特にない」（38.5%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	か 安 否 確 認 の 見 守 り や 声 かけ	手 伝 い ち よ つ と し た 買 い 物 の	濯 の 手 伝 い	食 事 づ く り や 掃 除 ・ 洗	食 事 の お す そ 分 け	ゴ ミ 出 し	話 し 相 手 、 相 談 相 手	外 出 や 通 院 の 付 き 添 い	災 害 時 の 手 助 け	そ の 他	特 に な い	無 回 答
年代別													
65～69歳	190	21.1	10.5	6.8	0.5	7.9	17.9	5.3	36.8	2.1	43.7	1.6	
70～74歳	291	28.2	18.2	8.2	1.4	13.4	15.5	10.0	36.8	0.7	35.1	3.8	
75～79歳	276	28.3	13.4	7.6	1.8	15.9	15.9	8.3	29.7	1.8	37.0	4.7	
80～84歳	254	26.8	11.8	6.3	2.8	17.7	13.4	7.9	40.2	2.0	28.7	6.3	
85～89歳	152	27.6	16.4	9.9	1.3	23.7	17.8	13.8	34.2	1.3	28.3	5.3	
90歳以上	88	30.7	11.4	9.1	2.3	17.0	14.8	9.1	33.0	1.1	33.0	4.5	
圏域別													
北部圏域	448	25.4	12.7	7.1	2.2	15.2	15.6	8.0	34.8	1.1	33.7	6.9	
中部圏域	405	26.9	12.3	7.7	1.2	14.3	15.6	8.6	35.3	2.2	38.5	2.7	
南部圏域	378	28.8	17.2	8.5	1.6	16.7	15.6	9.5	36.0	1.3	31.7	2.6	

(8) 近所の方がお困りのとき、あなたが支援できることは何ですか（いくつでも）

「安否確認の見守りや声かけ」が 46.5%で最も高く、次いで「話し相手、相談相手」が 32.2%、「災害時の手助け」が 29.7%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「災害時の手助け」（47.4%）の割合が高くなっています。

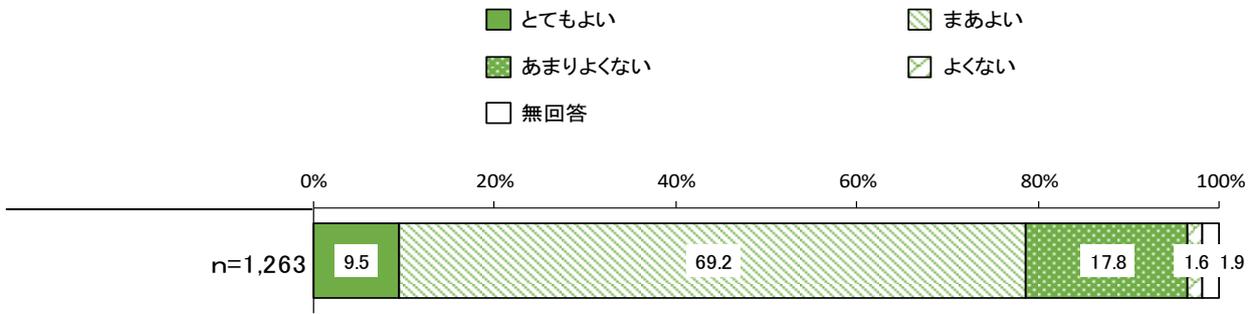
圏域別では、すべての圏域で「安否確認の見守りや声かけ」が最も高くなっています。

区分	全体（件）	単位：%											
		か 安 手 ち 濯 食 食 ゴ 話 外 災 そ 特 無	安 否 確 認 の 見 守 り や 声 か け	手 伝 い	よ つ と し た 買 い 物 の 手 伝 い	濯 の 手 伝 い	食 事 づ く り や 掃 除 ・ 洗 濯	食 事 の お す そ 分 け	ゴ ミ 出 し	話 し 相 手 、 相 談 相 手	外 出 や 通 院 の 付 き 添 い	災 害 時 の 手 助 け	そ の 他
年代別													
65～69歳	190	53.2	33.2	6.3	10.0	26.8	35.3	12.1	47.4	0.0	20.0	1.1	
70～74歳	291	54.3	34.0	4.8	10.0	29.2	34.0	8.6	36.8	0.3	20.6	3.8	
75～79歳	276	52.9	30.1	5.1	15.2	28.6	37.3	10.5	31.5	2.2	19.6	2.9	
80～84歳	254	44.1	21.3	3.5	10.6	29.5	33.1	7.5	24.8	0.4	27.6	5.9	
85～89歳	152	31.6	13.2	3.3	9.2	14.5	25.0	4.6	11.8	0.7	36.2	9.2	
90歳以上	88	19.3	3.4	2.3	4.5	8.0	14.8	3.4	9.1	2.3	53.4	9.1	
圏域別													
北部圏域	448	43.8	22.5	3.6	10.3	22.8	30.1	6.9	28.6	1.1	25.7	7.1	
中部圏域	405	47.9	26.7	5.9	10.6	27.9	32.6	9.9	31.6	0.5	26.4	3.0	
南部圏域	378	48.7	28.3	3.4	11.6	25.7	34.4	8.5	29.9	1.1	26.2	2.6	

7 健康について

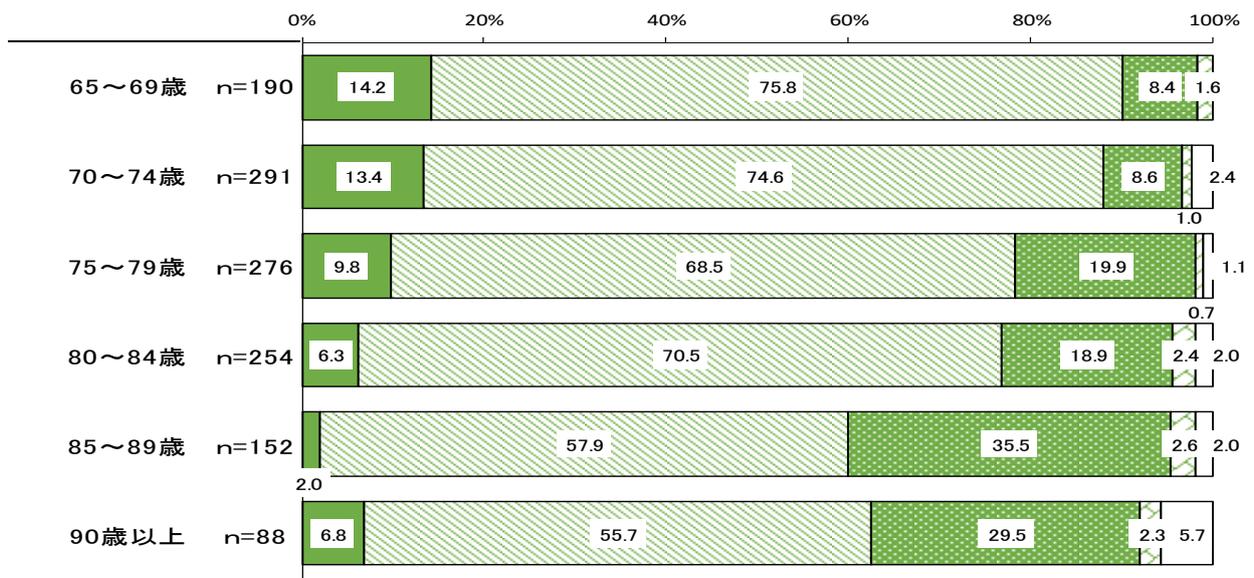
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が 78.7%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が 19.4%となっています。



【年代別】

年代別では、85～89歳で「あまりよくない」(35.5%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

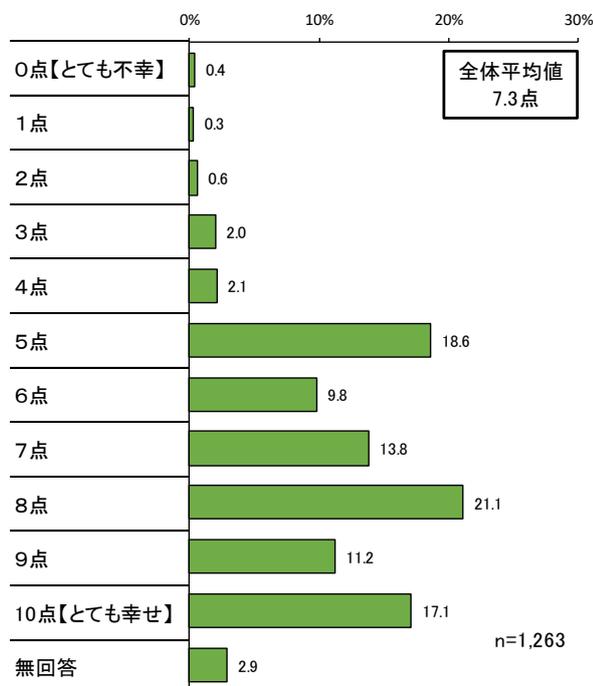
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『よい』(76.3%)の割合が低くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

「8点」が21.1%で最も高く、次いで「5点」が18.6%、「10点」が17.1%となっています。なお、全体の平均値は7.3点(「無回答」を除いた平均)となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、80歳以上で「10点【とても幸せ】」の割合が高くなっています。

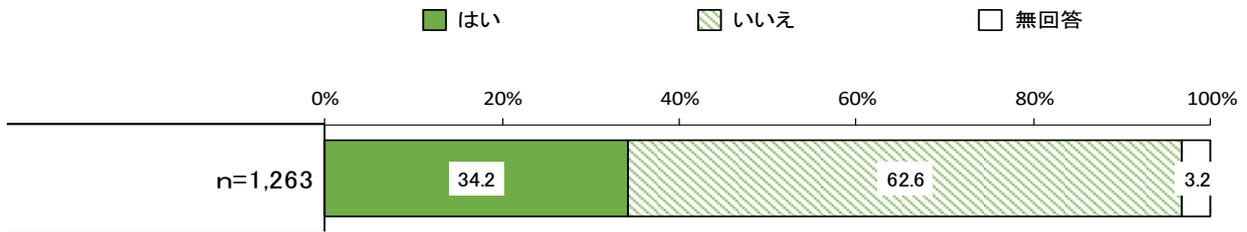
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「8点以上」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	0点 【とても不幸】	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 【とても幸せ】	無回答
年代別													
65～69歳	190	1.1	0.0	0.5	2.6	2.6	20.0	9.5	14.7	25.3	9.5	13.7	0.5
70～74歳	291	0.0	0.3	0.7	2.1	1.0	16.5	10.3	17.2	23.4	10.3	15.8	2.4
75～79歳	276	0.4	0.4	0.0	1.8	3.6	17.4	10.1	14.5	21.7	15.2	12.7	2.2
80～84歳	254	0.8	0.4	0.8	1.6	1.2	21.7	8.3	11.8	18.1	12.2	20.1	3.1
85～89歳	152	0.0	0.0	1.3	1.3	0.7	19.1	11.8	9.2	19.1	9.2	22.4	5.9
90歳以上	88	0.0	1.1	1.1	3.4	4.5	18.2	9.1	11.4	17.0	5.7	22.7	5.7
圏域別													
北部圏域	448	0.9	0.4	0.9	2.5	1.8	19.0	11.2	14.3	19.0	9.8	17.2	3.1
中部圏域	405	0.0	0.2	0.2	2.0	2.0	18.8	9.6	13.6	22.5	13.8	14.8	2.5
南部圏域	378	0.3	0.3	0.5	1.6	2.4	18.5	9.3	14.3	23.0	9.8	18.0	2.1

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

「はい」が34.2%、「いいえ」が62.6%となっています。



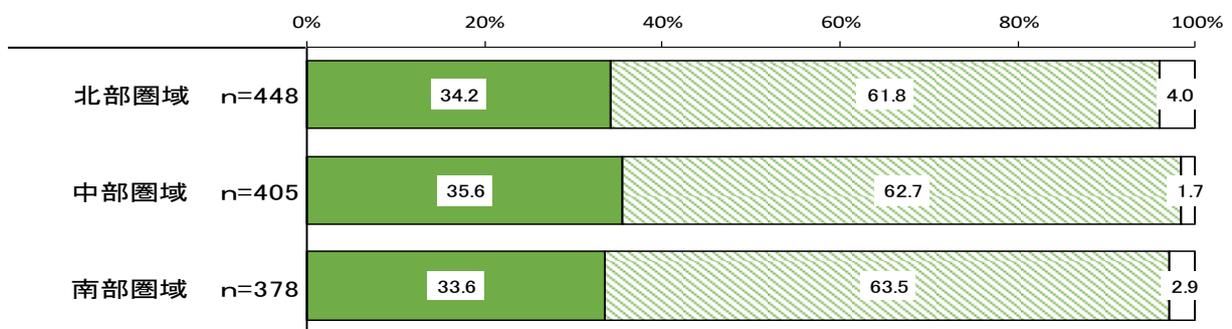
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～84歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



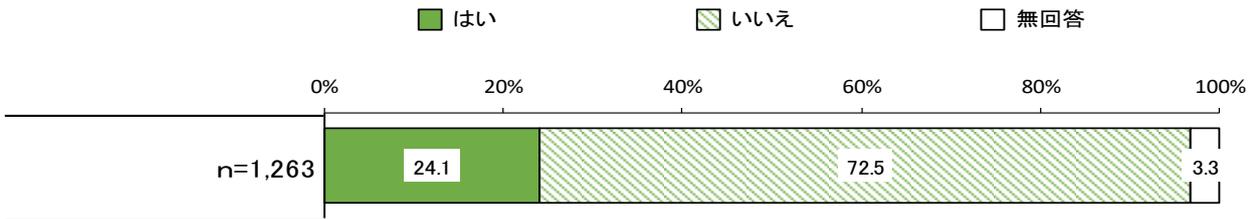
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(4) この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じますか (○は1つ)

「はい」が24.1%、「いいえ」が72.5%となっています。



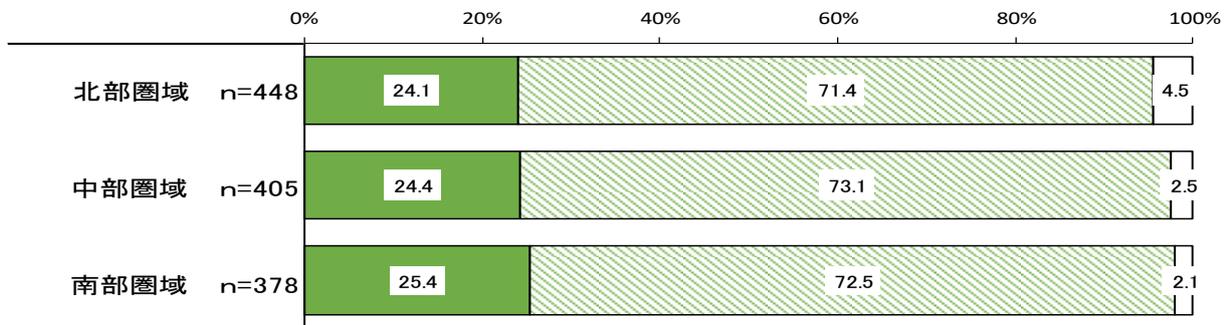
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「はい」(27.9%)の割合が高くなっています。



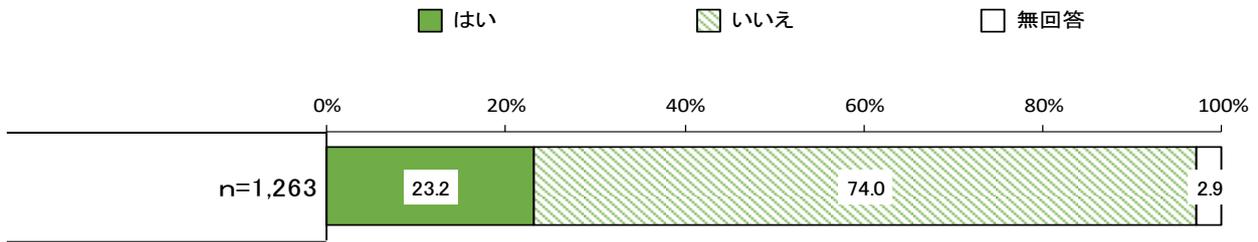
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

「はい」が23.2%、「いいえ」が74.0%となっています。



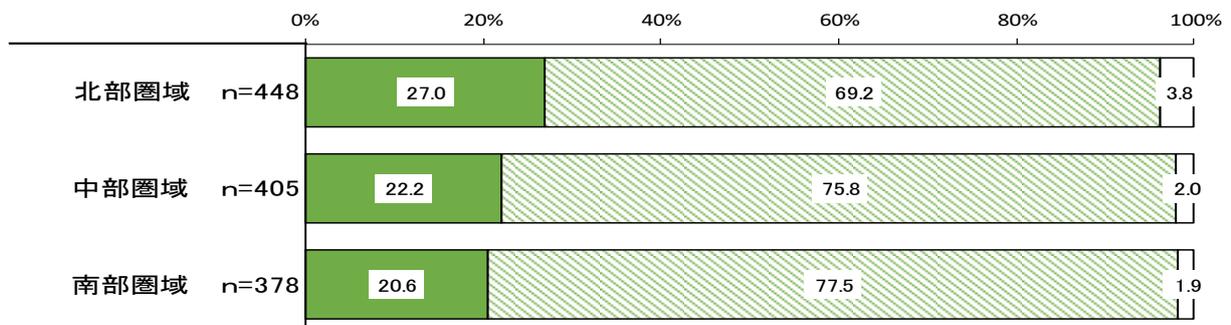
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「はい」(27.0%)の割合が高くなっています。



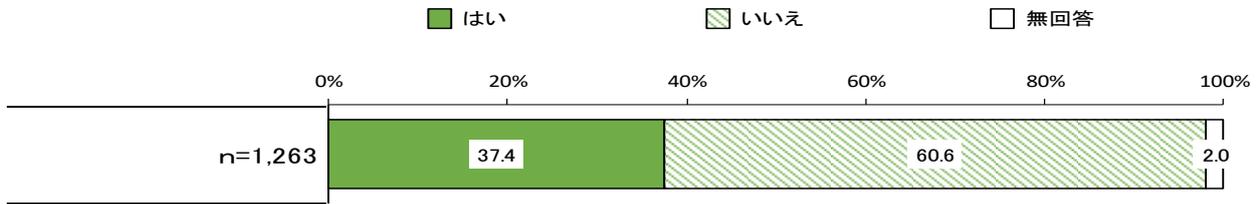
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(27.0%)の割合が高くなっています。



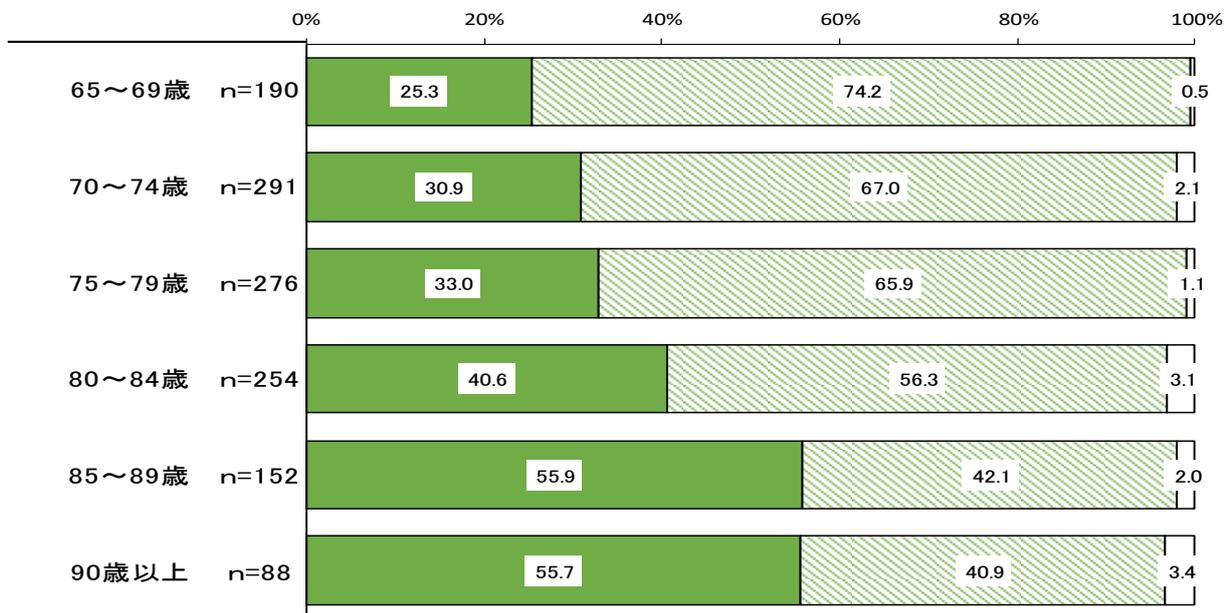
(6) この1か月間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか
(〇は1つ)

「はい」が37.4%、「いいえ」が60.6%となっています。



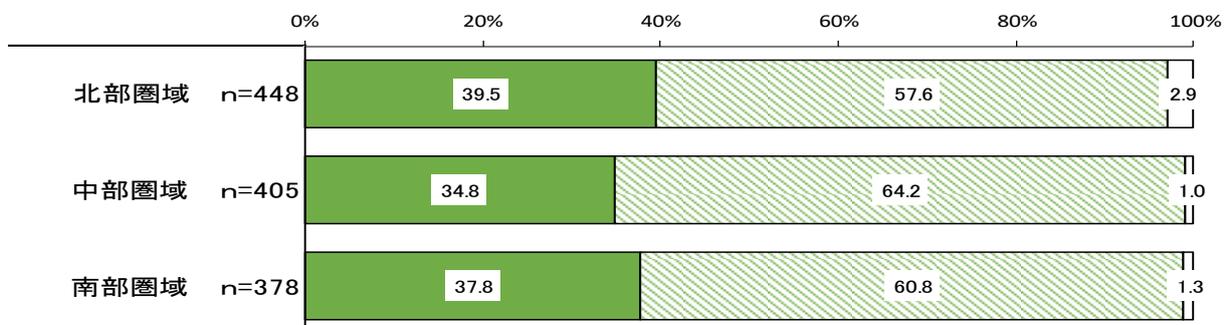
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



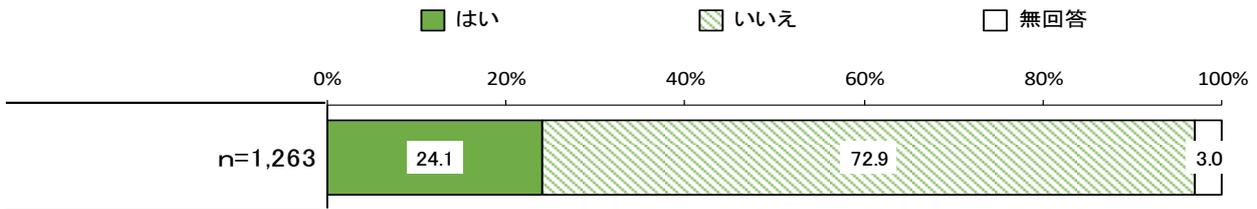
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(39.5%)の割合が高くなっています。



(7) この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じますか (○は1つ)

「はい」が24.1%、「いいえ」が72.9%となっています。



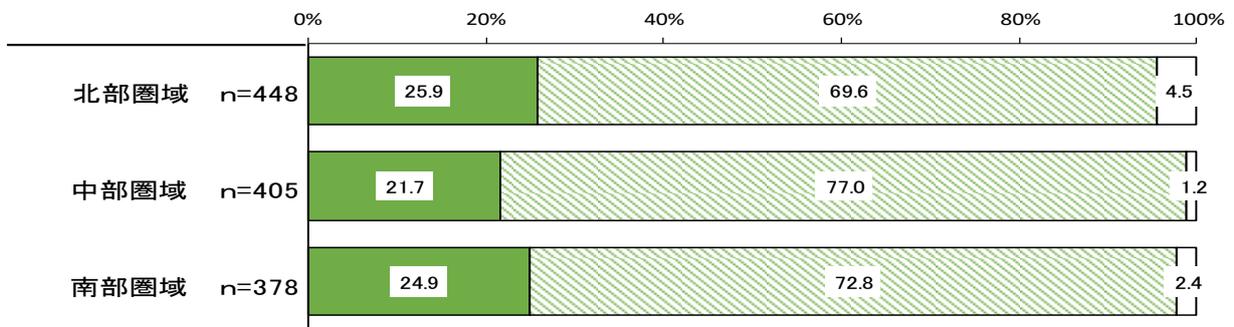
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



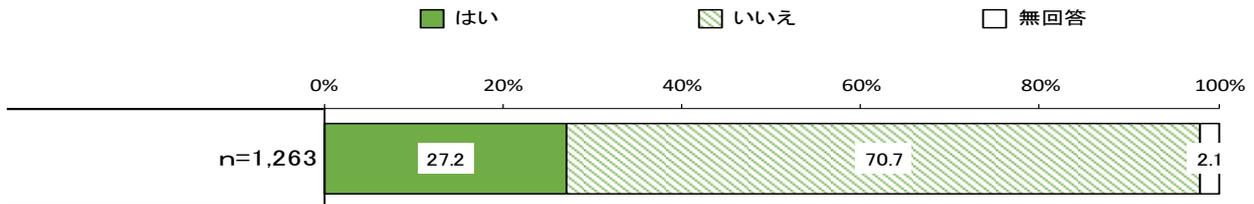
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「いいえ」(77.0%)の割合が高くなっています。



(8) この1か月間、わけもなく疲れたような感じがしますか (○は1つ)

「はい」が27.2%、「いいえ」が70.7%となっています。



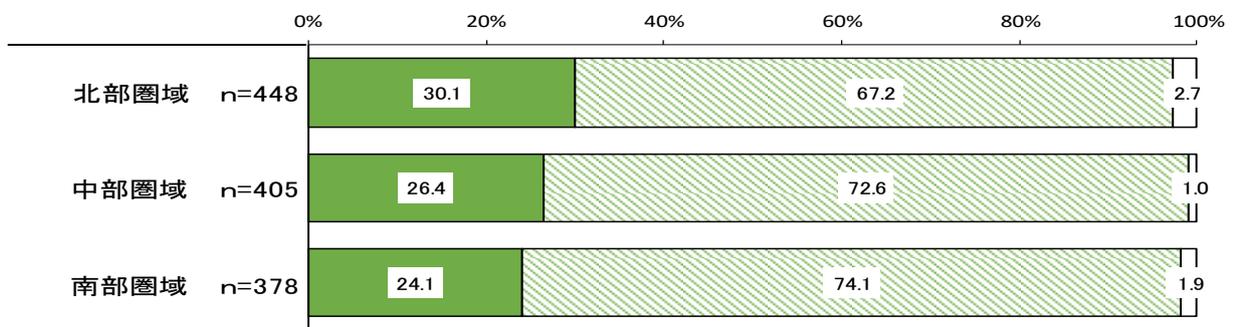
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「はい」(42.8%)の割合が高くなっています。



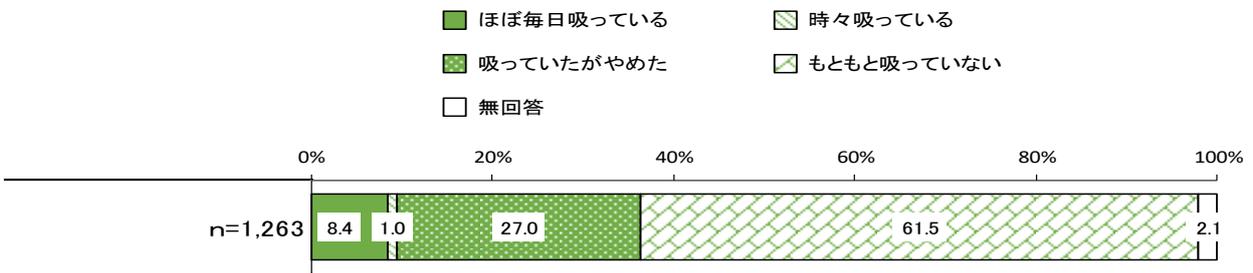
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(30.1%)の割合が高くなっています。



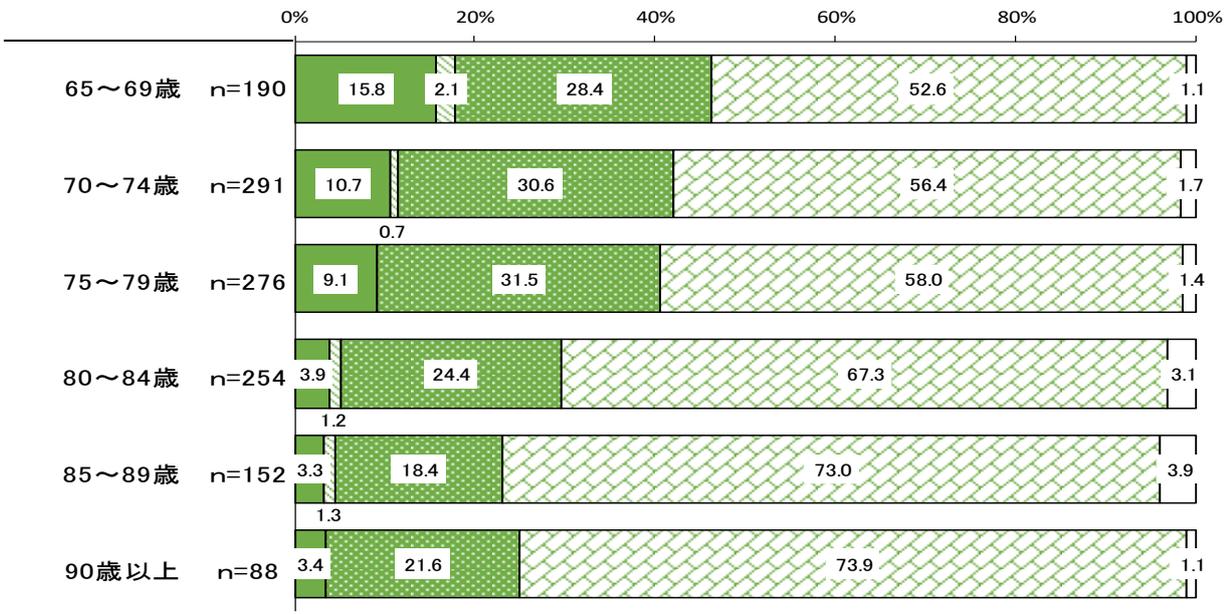
(9) タバコは吸っていますか※電子タバコ含む (○は1つ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が9.4%、「吸っていたがやめた」が27.0%、「もともと吸っていない」が61.5%となっています。



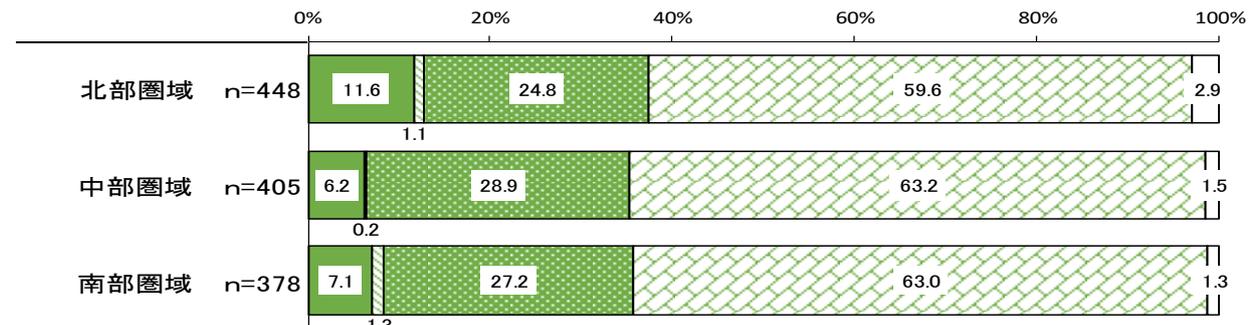
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『吸っている』(17.9%)の割合が高くなっています。



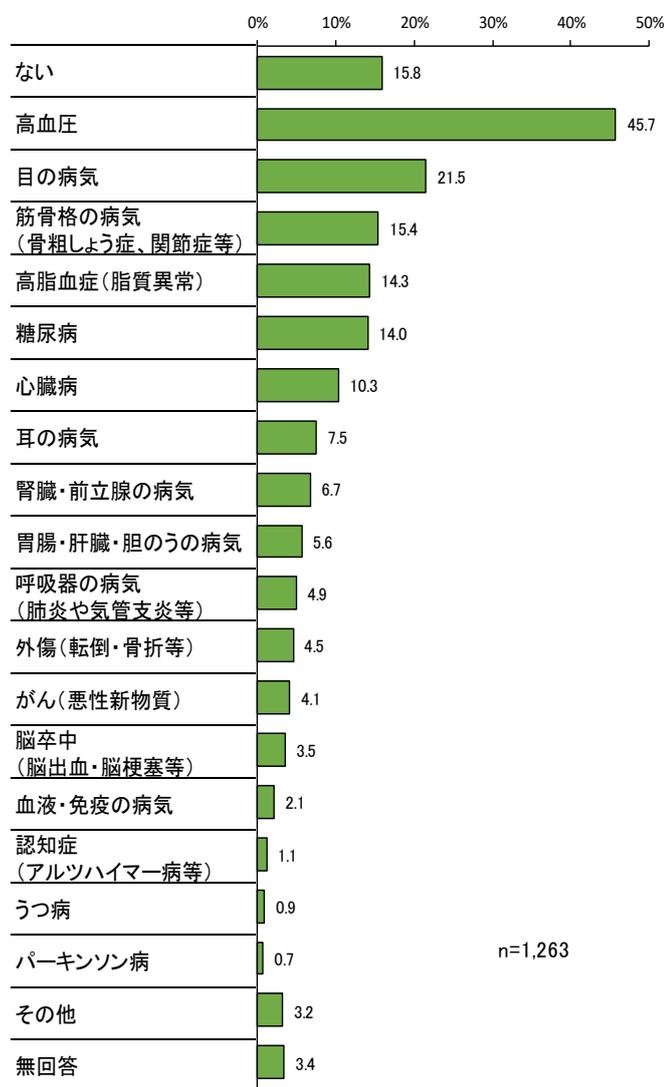
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『吸っている』(12.7%)の割合が高くなっています。



(10) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」が45.7%で最も高く、次いで「目の病気」が21.5%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が15.4%となっています。一方、「ない」は15.8%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「高血圧」（57.9%）の割合が高くなっています。

圏域別では、すべての圏域で「高血圧」が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病 気(肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆 のうの病 気	腎臓・前立腺 の病気	筋骨格の病 気(骨粗 しょう症、 関節症等)
----	-----------	----	-----	-------------------	-----	-----	----------------	--------------------------	----------------------	---------------	---------------------------------

年代別

65～69歳	190	25.8	33.2	0.5	5.8	10.0	17.4	5.3	3.2	2.1	13.7
70～74歳	291	21.6	40.2	3.8	6.9	8.9	15.8	5.2	3.8	5.2	8.9
75～79歳	276	11.6	51.1	2.9	9.8	21.0	15.9	4.3	6.9	7.2	15.9
80～84歳	254	14.2	46.9	4.3	13.8	15.0	11.8	4.7	6.3	7.1	15.0
85～89歳	152	5.3	57.9	5.9	13.8	13.2	9.9	5.3	7.9	13.2	27.0
90歳以上	88	10.2	52.3	4.5	17.0	15.9	12.5	4.5	6.8	8.0	21.6

圏域別

北部圏域	448	14.5	44.4	4.0	11.6	16.5	14.7	5.1	6.7	6.7	17.2
中部圏域	405	17.8	47.4	2.7	9.9	13.1	14.1	5.7	6.7	7.4	14.3
南部圏域	378	15.6	46.3	3.7	9.5	11.6	15.1	3.4	3.4	6.1	14.8

区分	全体 (件)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新物質)	血液・免疫の 病気	うつ病	認知症(アル ツハイ マー病等)	パーキンソン 病	目の病 気	耳の病 気	その他	無回 答
----	-----------	----------------	---------------	--------------	-----	------------------------	-------------	----------	----------	-----	---------

年代別

65～69歳	190	3.2	3.7	1.6	1.6	0.0	1.1	15.3	2.6	5.3	2.1
70～74歳	291	4.5	4.1	2.1	1.0	0.0	0.3	16.8	5.5	2.7	4.8
75～79歳	276	2.2	6.9	1.4	1.1	0.4	0.7	21.7	7.6	2.9	2.9
80～84歳	254	5.9	2.8	1.6	0.4	2.4	0.4	24.8	8.3	3.5	2.4
85～89歳	152	7.2	2.6	2.6	0.7	2.0	1.3	28.3	12.5	2.6	3.9
90歳以上	88	6.8	2.3	4.5	0.0	4.5	0.0	29.5	14.8	0.0	3.4

圏域別

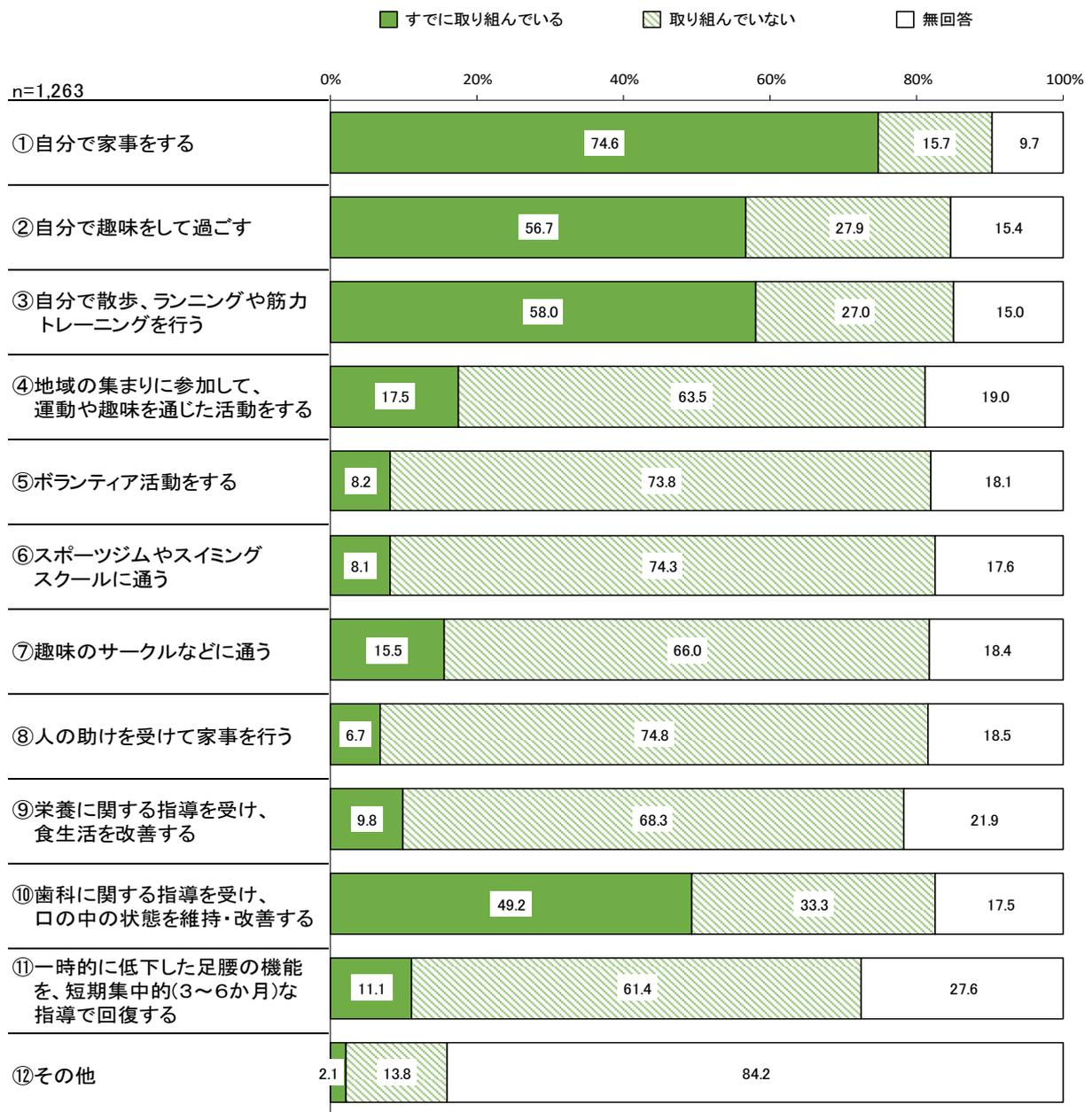
北部圏域	448	3.1	3.8	2.0	1.6	0.9	0.0	23.9	8.5	3.1	3.6
中部圏域	405	6.2	3.2	1.7	0.5	1.5	1.2	20.5	7.7	3.0	2.2
南部圏域	378	4.5	5.6	2.4	0.5	1.1	1.1	19.6	6.1	3.2	4.0

8 介護予防・福祉サービスについて

(1) あなたは介護が必要とならないために、どのような予防に取り組んでいますか
 また、今後どのようなことに取り組みたいですか
 ※①～⑫それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

【取り組み状況】（いずれかに○）

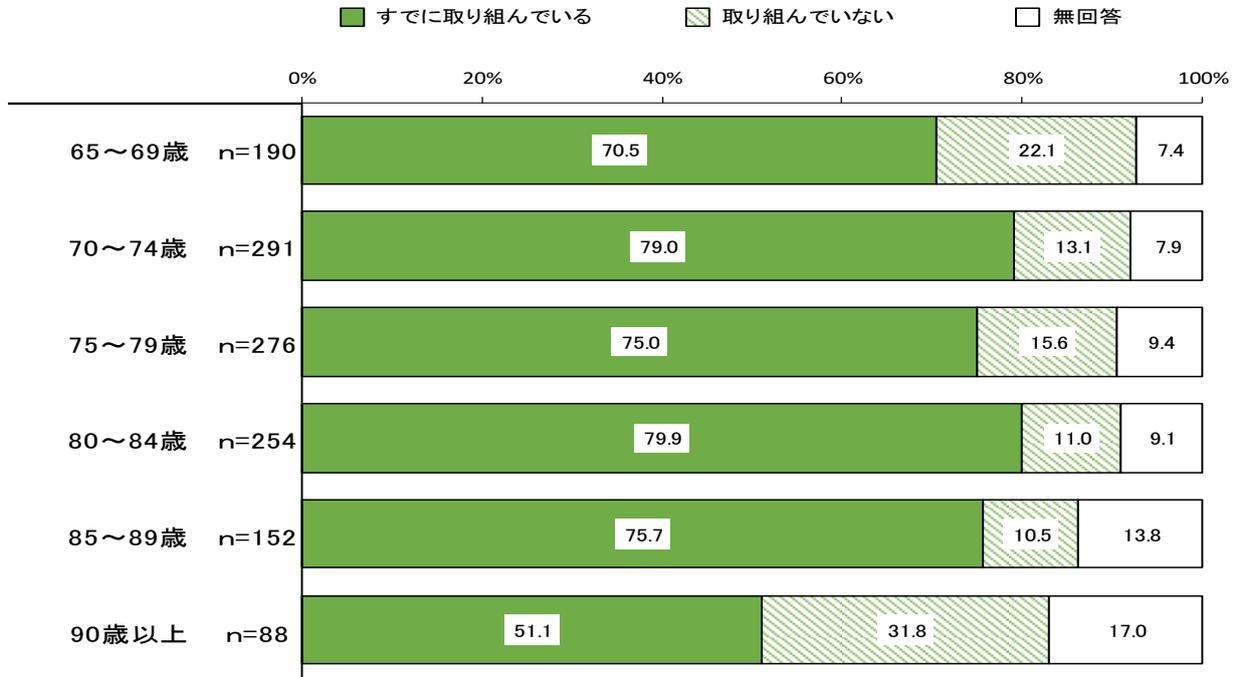
「①自分で家事をする」は、「すでに取り組んでいる」（74.6%）の割合が高くなっています。



①自分で家事をする

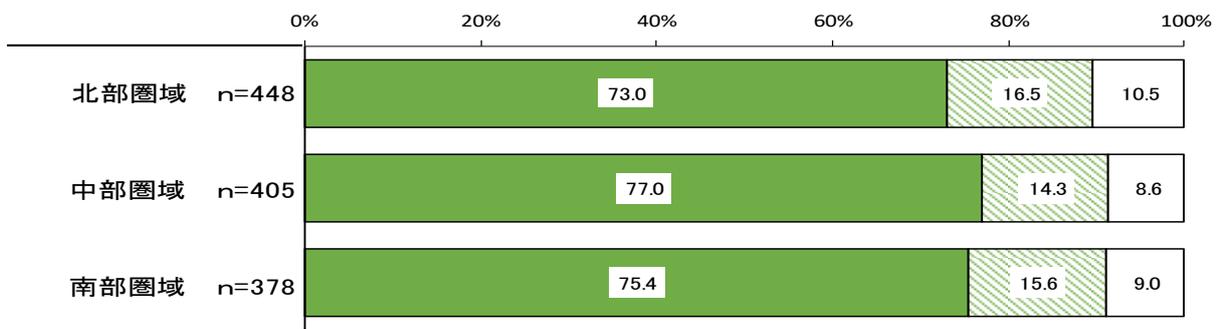
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「取り組んでいない」（31.8%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

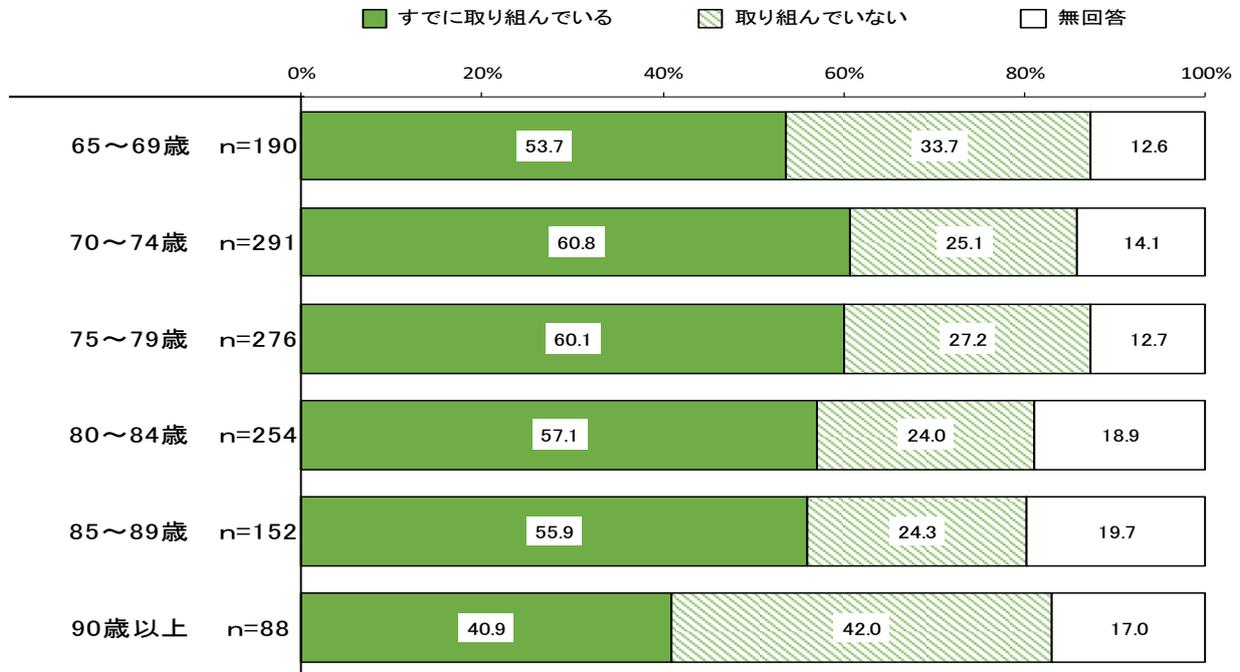
圏域別では、大きな差異はみられません。



②自分で趣味をして過ごす

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～79歳で「すでに取り組んでいる」の割合が高くなっています。



【圏域別】

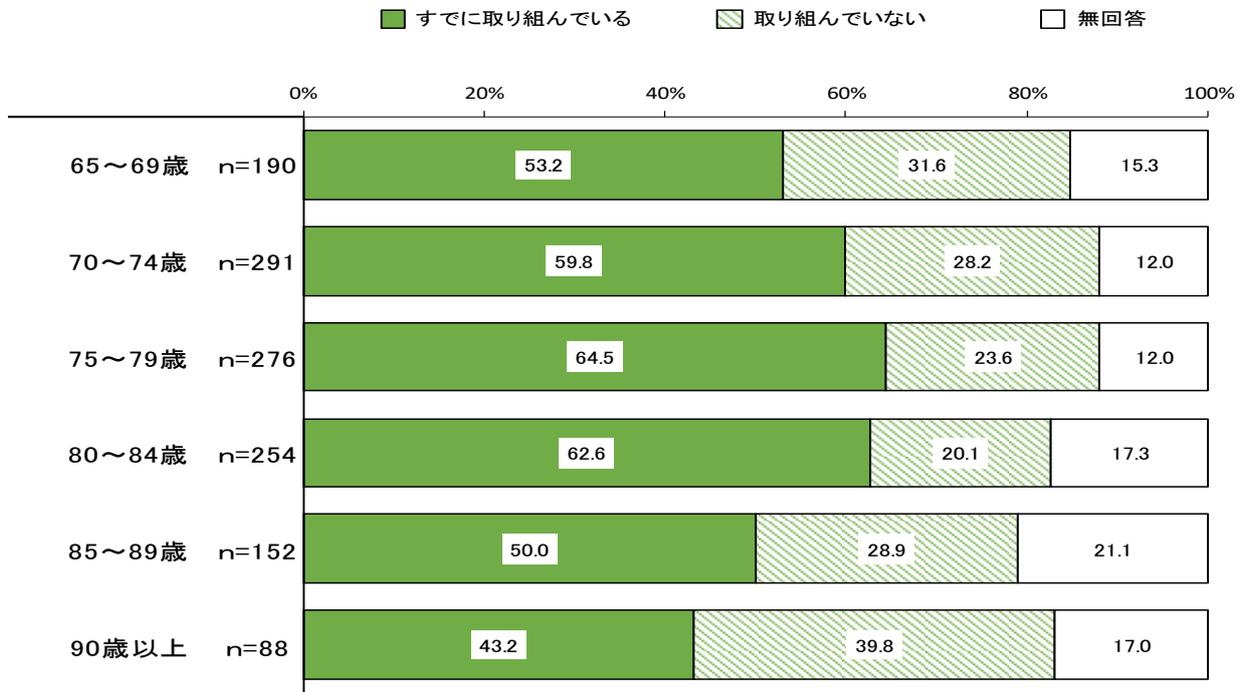
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「すでに取り組んでいる」(59.5%)の割合がやや高くなっています。



③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う

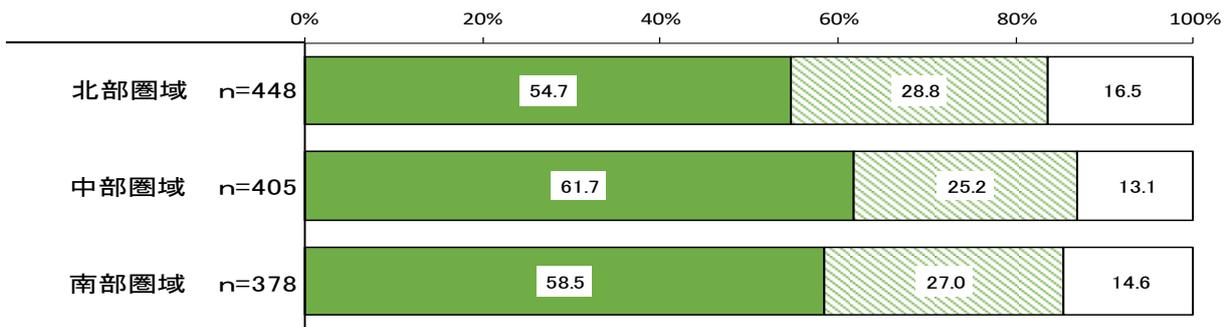
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～84歳で「すでに取り組んでいる」の割合が高くなっています。



【圏域別】

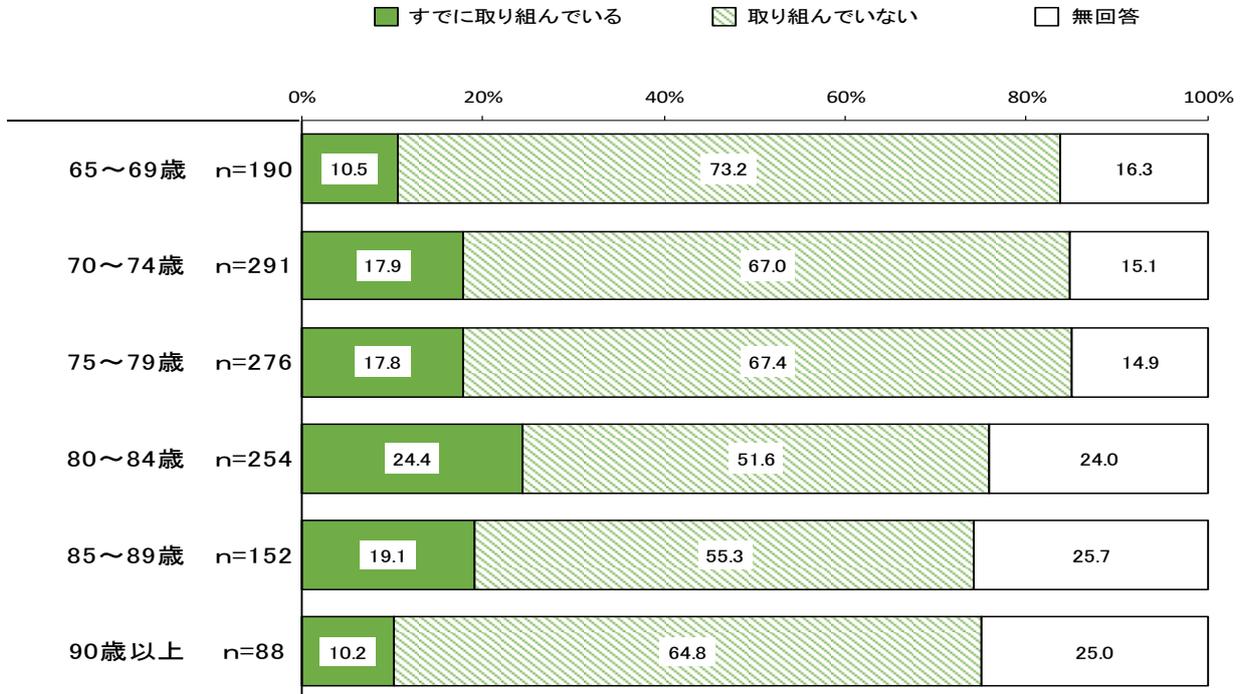
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「すでに取り組んでいる」（61.7%）の割合が高くなっています。



④地域の集まりに参加して、運動や趣味を通じた活動をする

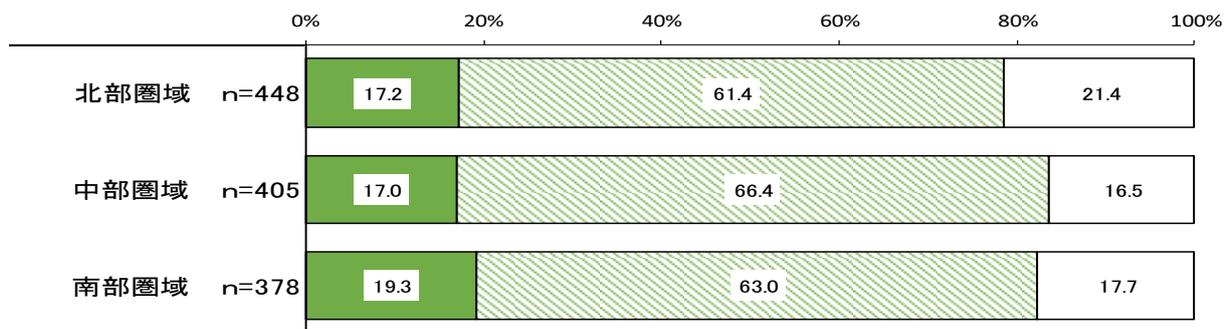
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～84歳で「すでに取り組んでいる」（24.4%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

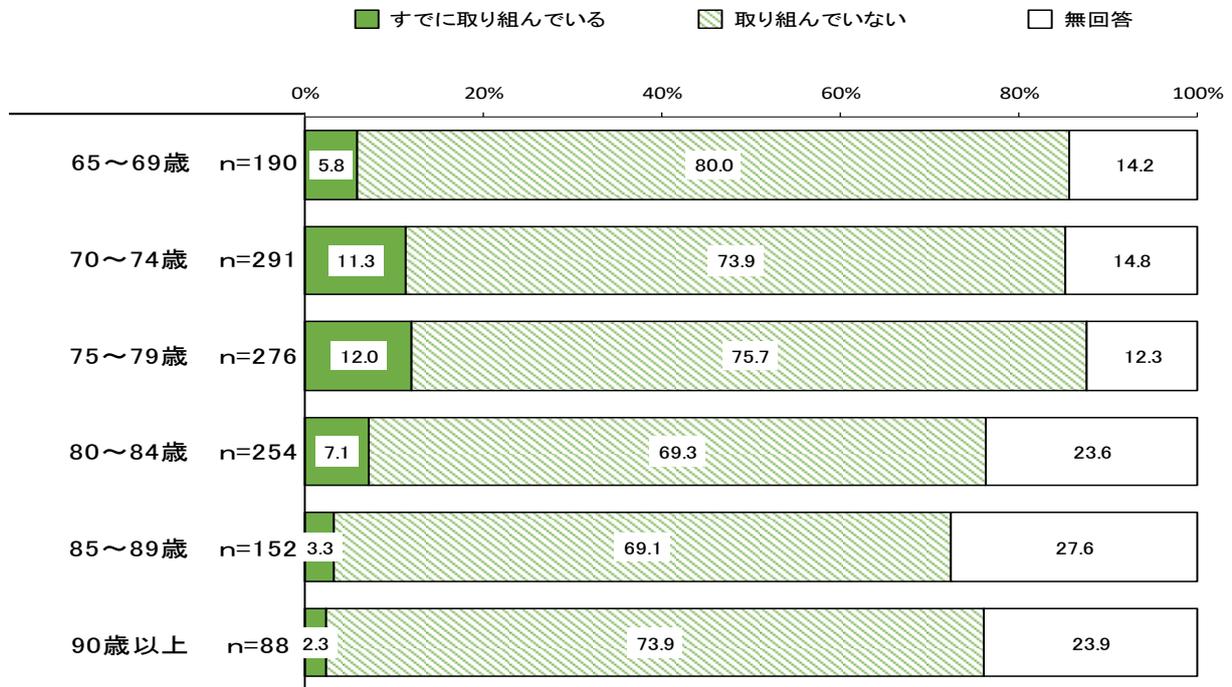
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑤ボランティア活動をする

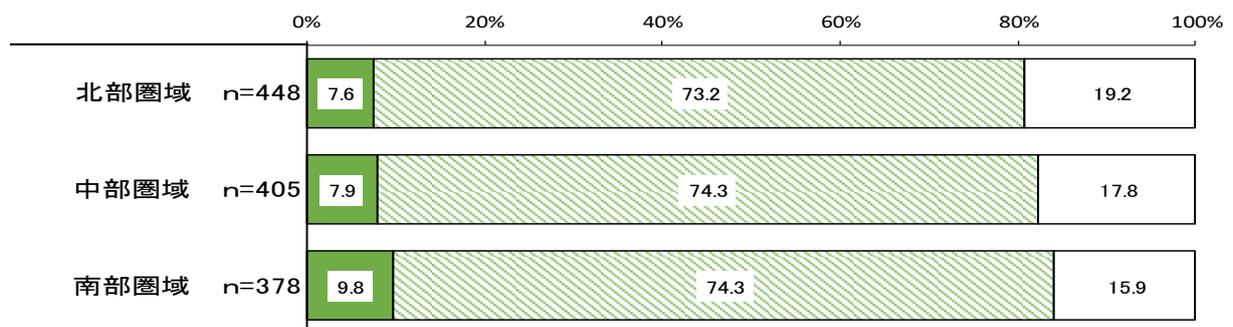
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「取り組んでいない」（80.0%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

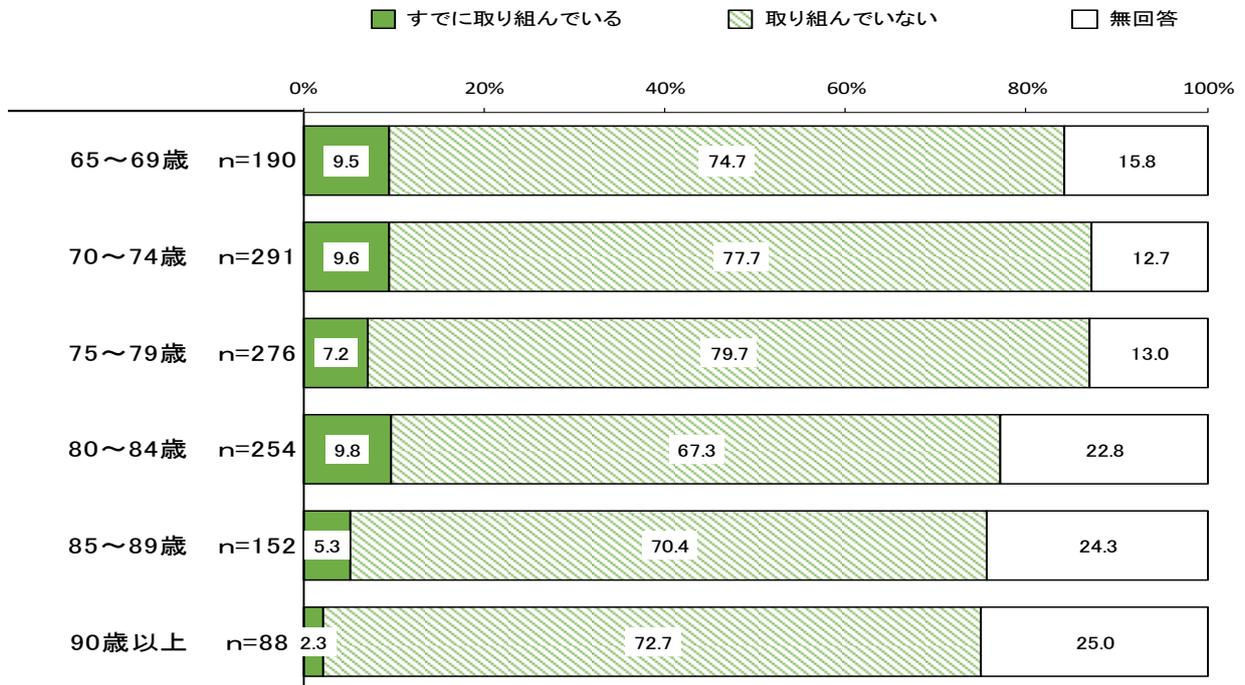
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑥スポーツジムやスイミングスクールに通う

【年代別】

年代別では、80～84歳を除いた年代で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

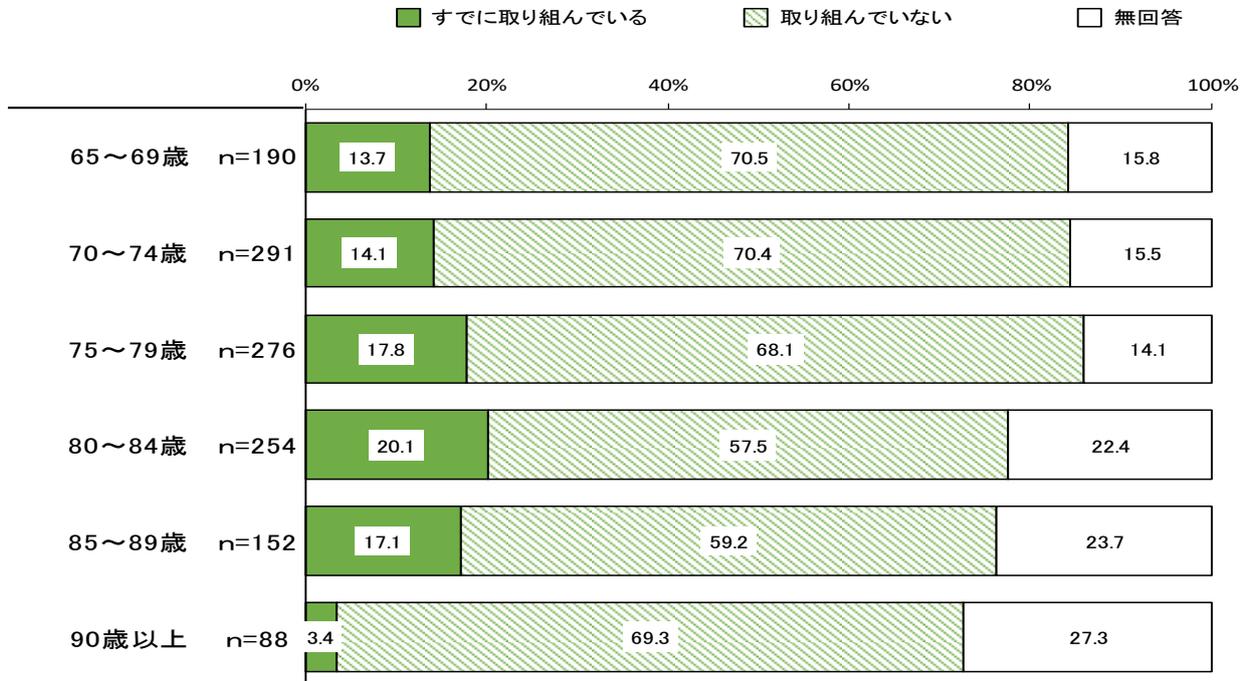
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑦趣味のサークルなどに通う

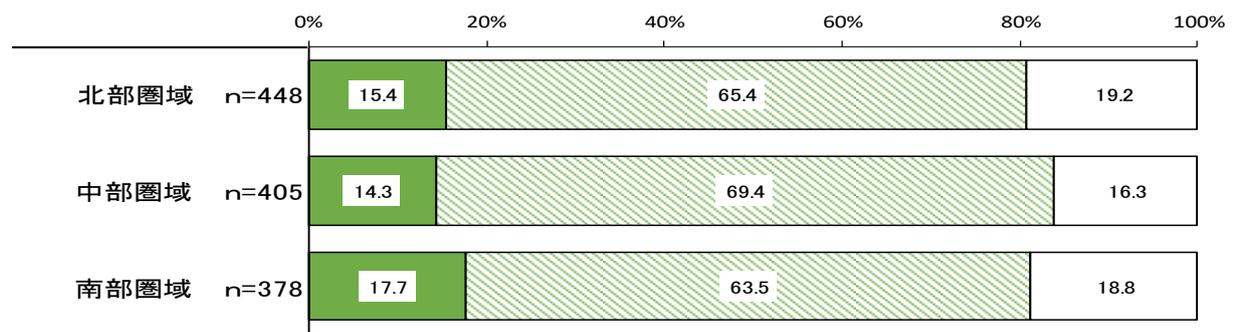
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～84歳で「すでに取り組んでいる」（20.1%）の割合が高くなっています。また、65～74歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

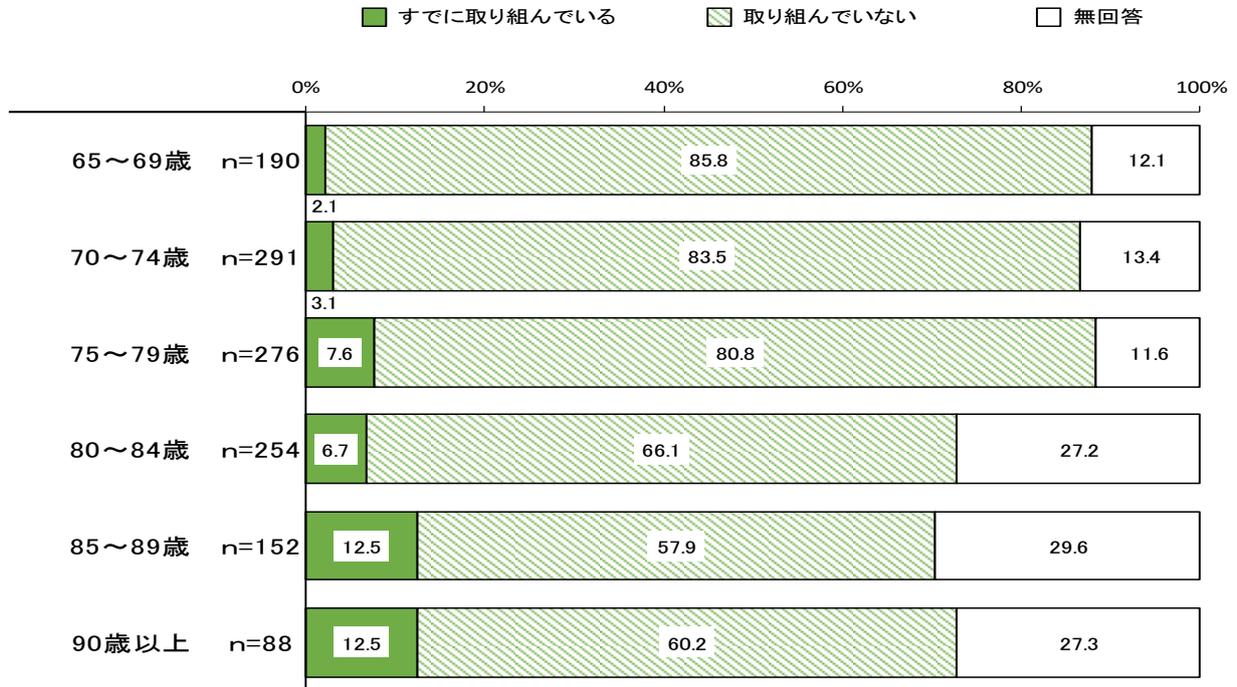
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑧人の助けを受けて家事を行う

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

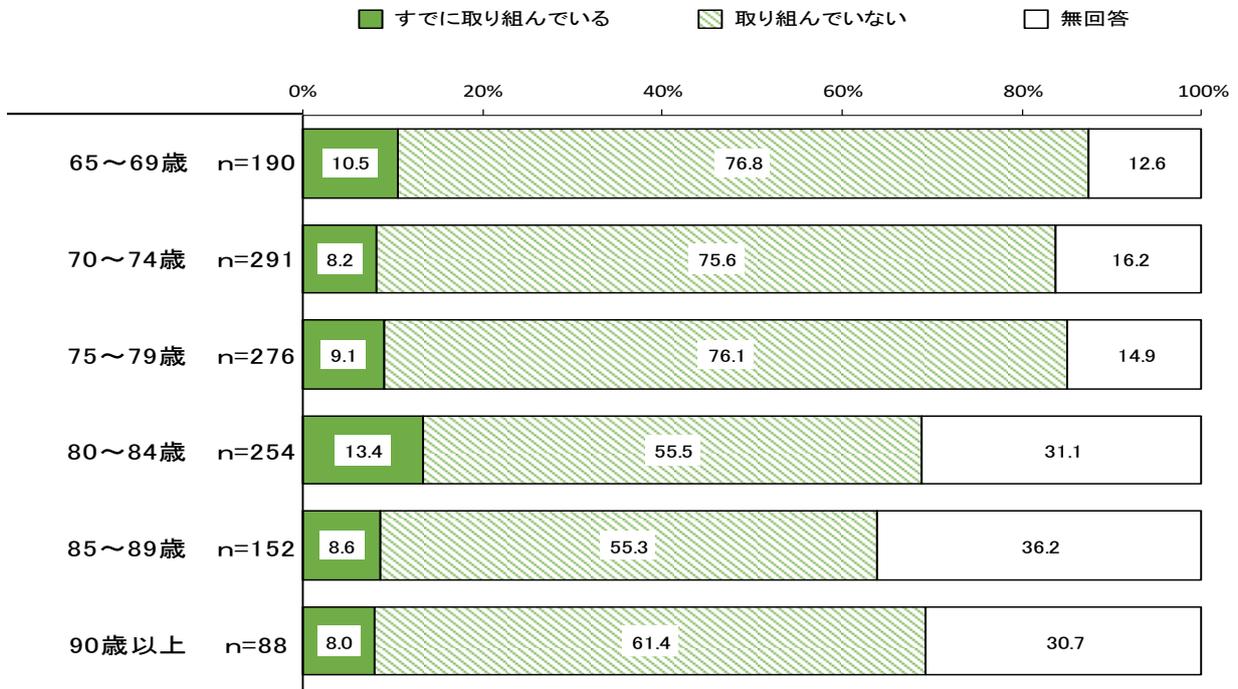
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑨栄養に関する指導を受け、食生活を改善する

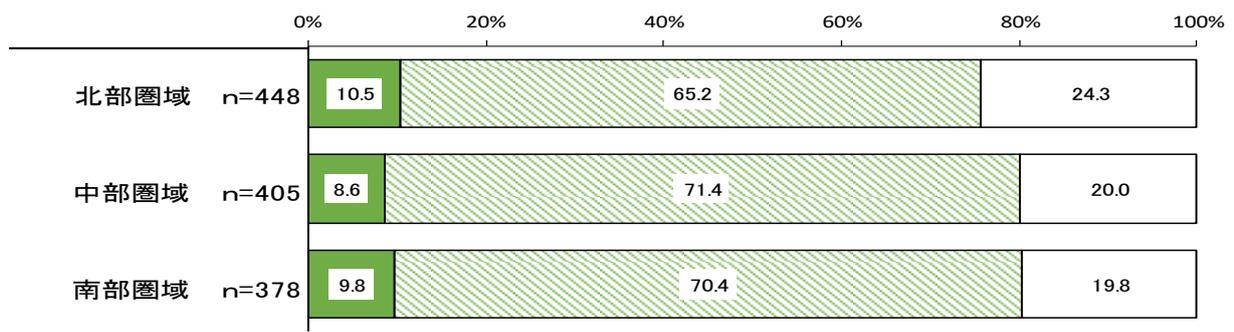
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～84歳で「すでに取り組んでいる」（13.4%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

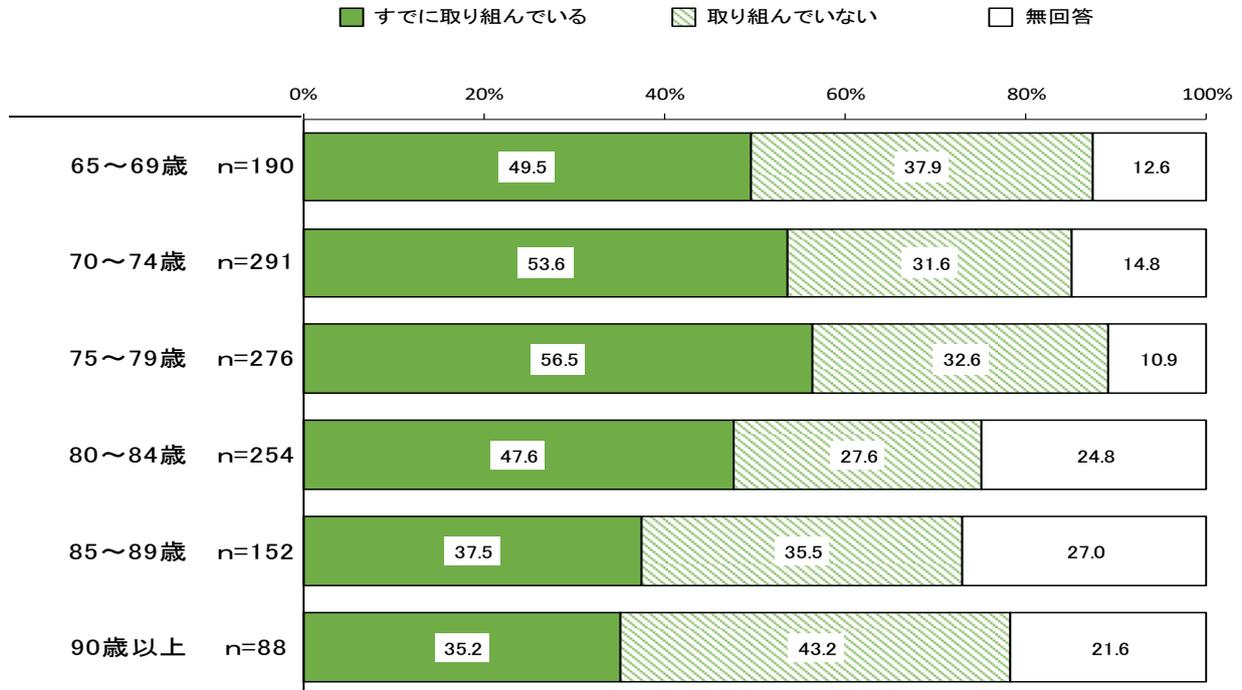
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「取り組んでいない」（65.2%）の割合が低くなっています。



⑩歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する

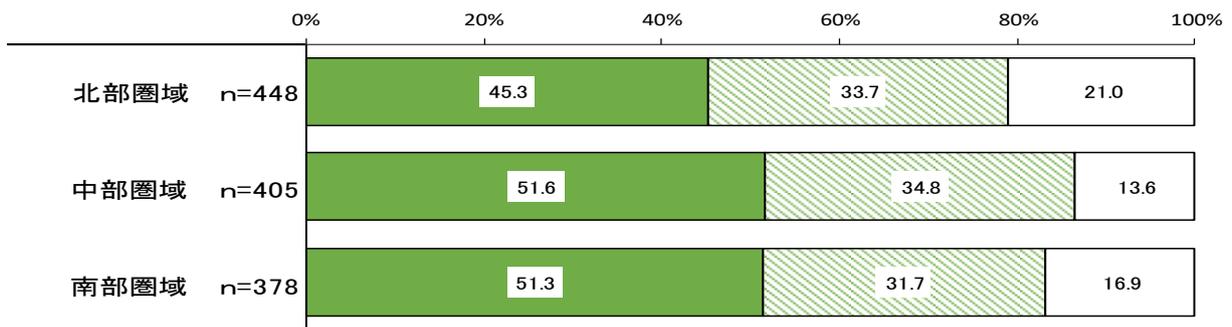
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～79歳で「すでに取り組んでいる」の割合が高くなっています。



【圏域別】

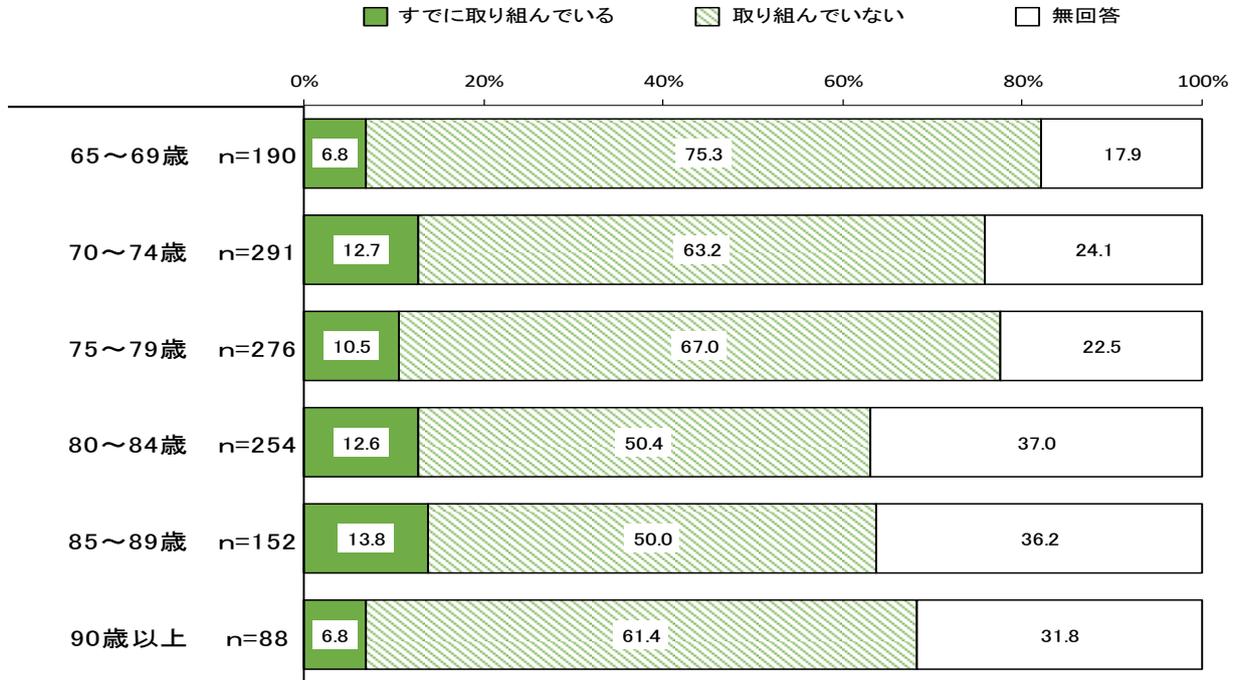
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「すでに取り組んでいる」（45.3%）の割合が低くなっています。



⑪一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的(3～6か月)な指導で回復する

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「取り組んでいない」(75.3%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

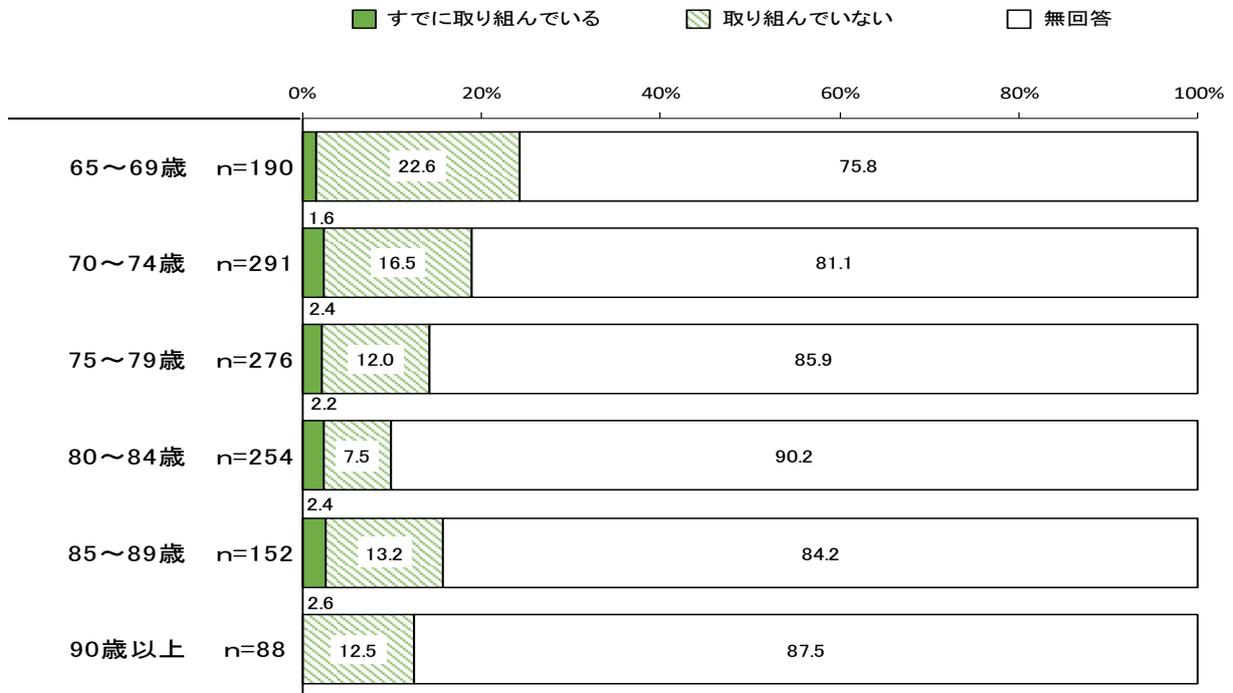
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「取り組んでいない」(65.7%)の割合が高くなっています。



⑫その他

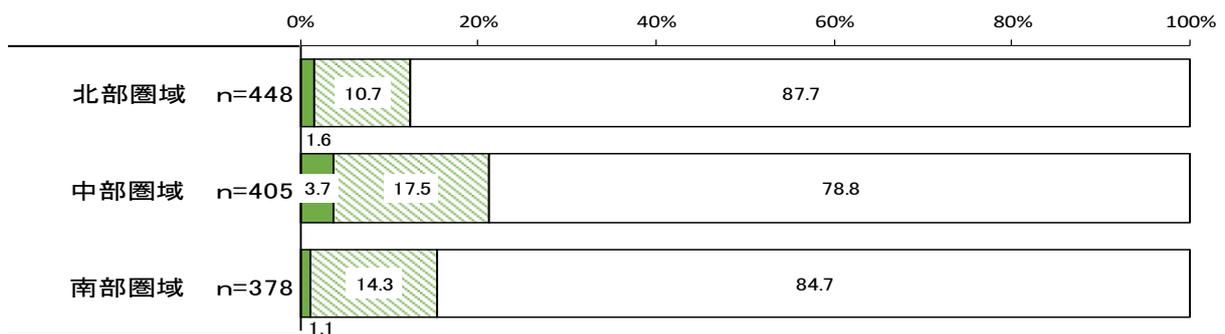
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「取り組んでいない」（22.6%）の割合が高くなっています。



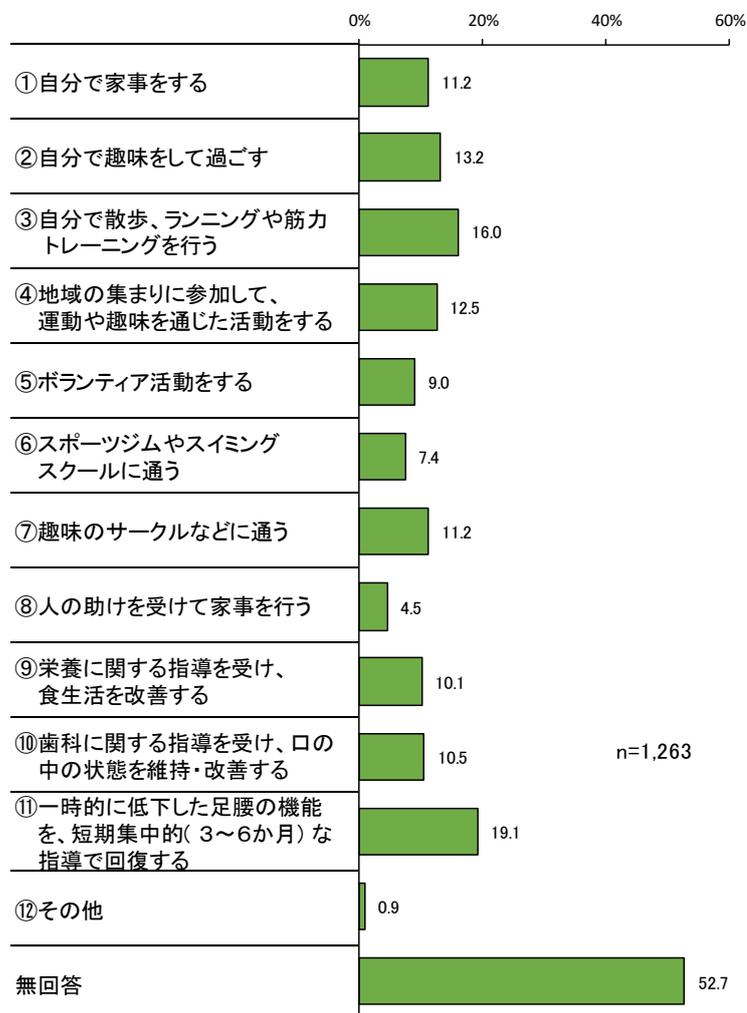
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「取り組んでいない」（17.5%）の割合が高くなっています。



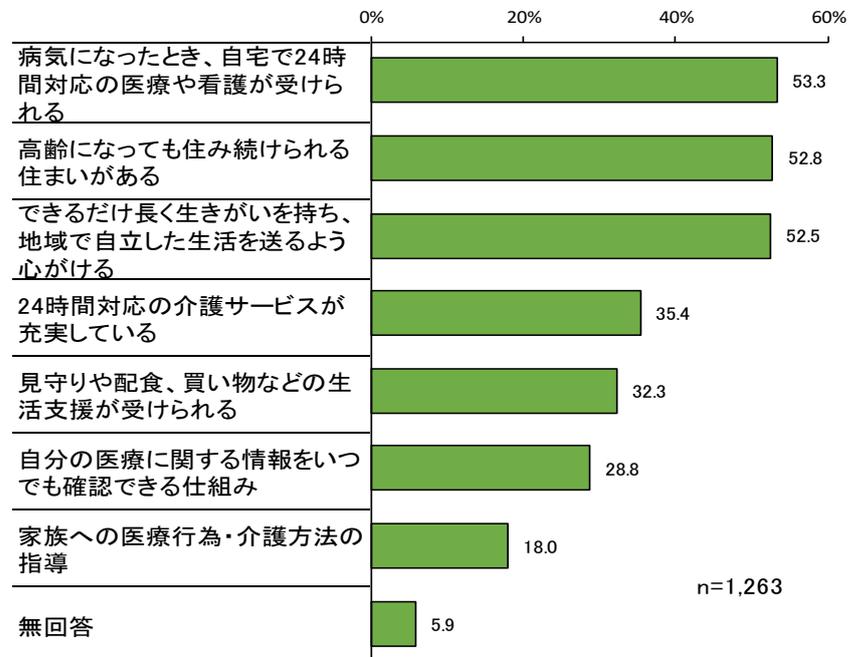
【今後の取り組みの希望】（希望する場合に○）

「⑪一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的（3～6 か月）な指導で回復する」が19.1%、「③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う」が16.0%、「②自分で趣味をして過ごす」が13.2%となっています。



(2) あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか（いくつでも）

「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」が53.3%で最も高く、次いで「高齢になっても住み続けられる住まいがある」が52.8%、「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」が52.5%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」（60.8%）と75～79歳で「高齢になっても住み続けられる住まいがある」（60.1%）の割合が高くなっています。

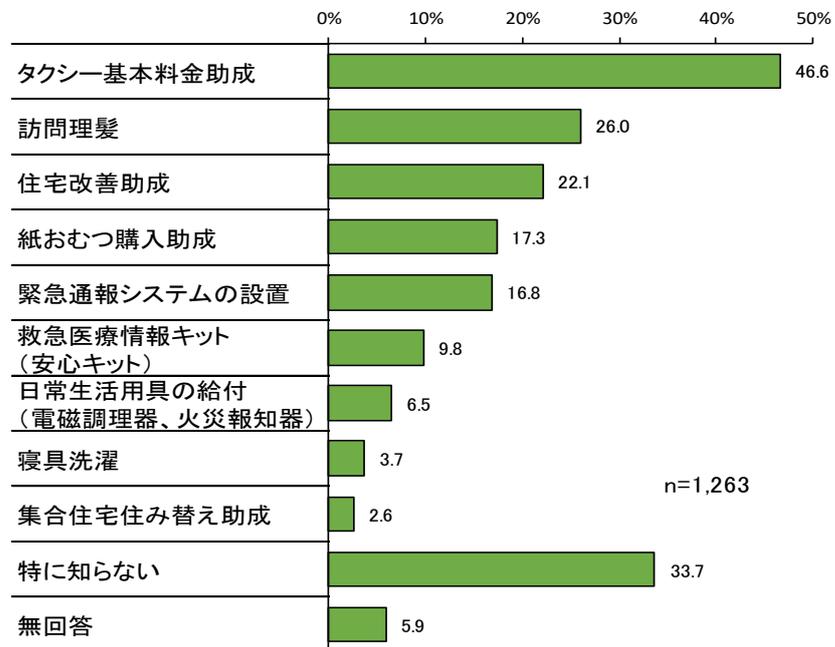
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」（56.0%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	24時間対応の医療や看護が受けられる	病気になる時、自宅で	24時間対応の介護サービスが充実している	できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける	見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる	高齢になっても住み続けられる住まいがある	家族への医療行為・介護方法の指導	自分の医療に関する情報をいつでも確認できる仕組み	無回答
年代別										
65～69歳	190	50.5	37.9	53.7	30.5	46.8	20.0	35.8	2.1	
70～74歳	291	52.6	37.5	60.8	35.7	51.9	17.2	31.3	2.7	
75～79歳	276	50.7	34.8	51.8	32.6	60.1	15.2	25.0	6.5	
80～84歳	254	56.3	33.1	47.2	32.3	52.4	18.9	28.7	7.1	
85～89歳	152	54.6	32.9	44.7	29.6	49.3	17.8	23.7	11.8	
90歳以上	88	59.1	36.4	51.1	28.4	52.3	21.6	28.4	8.0	
圏域別										
北部圏域	448	50.7	33.9	48.7	30.4	51.3	16.7	26.8	7.4	
中部圏域	405	54.1	36.0	56.0	31.9	54.1	17.0	29.1	4.9	
南部圏域	378	55.8	36.8	52.9	35.4	53.2	19.8	31.2	4.8	

(3) 介護保険以外のサービスとして高齢者福祉サービスを実施していますが、あなたは次の事業を知っていますか（いくつでも）

「タクシー基本料金助成」が 46.6%、「訪問理髪」が 26.0%、「住宅改善助成」が 22.1%となっています。一方、「特に知らない」は 33.7%となっています。



【性別・年代別】

性別では、男性で「特に知らない」（44.2%）の割合が高く、それ以外の項目ではすべて女性の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、85歳以上で「タクシー基本料金助成」の割合が高くなっています。

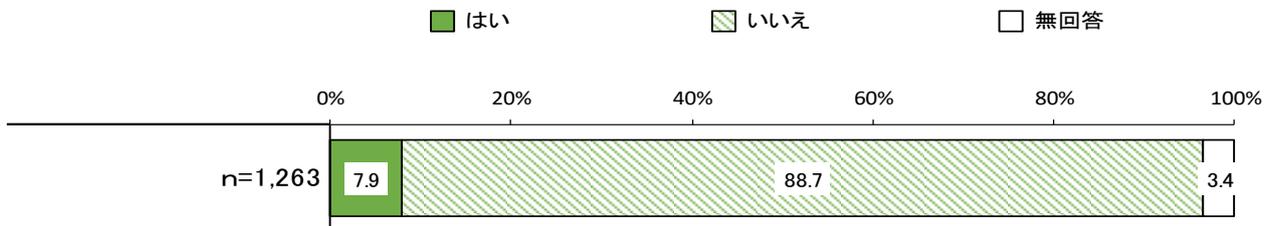
単位：%

区分	全体（件）	訪問理髪	寝具洗濯	紙おむつ購入助成	緊急通報システムの設置	救急医療情報キット（安心キット）	住宅改善助成	集合住宅住み替え助成	タクシー基本料金助成	日常生活用具の給付（電磁調理器、火災報知器）	特に知らない	無回答
性別												
男性	529	20.4	3.4	11.7	15.5	7.0	16.3	2.1	39.5	6.0	44.2	5.7
女性	723	30.2	4.0	21.4	17.7	12.0	26.4	3.0	51.3	6.8	26.0	6.1
年代別												
65～69歳	190	35.3	5.3	27.4	25.3	12.6	31.1	4.2	46.8	6.8	39.5	0.5
70～74歳	291	29.6	4.1	18.9	17.5	9.6	25.4	4.8	43.0	6.5	37.5	3.8
75～79歳	276	27.9	4.7	18.1	16.3	12.7	21.4	2.2	45.7	6.2	34.8	5.1
80～84歳	254	18.9	3.1	11.0	13.0	5.9	20.1	0.8	41.7	7.1	33.1	11.0
85～89歳	152	19.7	2.0	12.5	13.8	9.2	17.1	2.0	54.6	7.9	22.4	10.5
90歳以上	88	20.5	1.1	13.6	12.5	9.1	10.2	0.0	54.5	2.3	29.5	4.5

9 認知症について

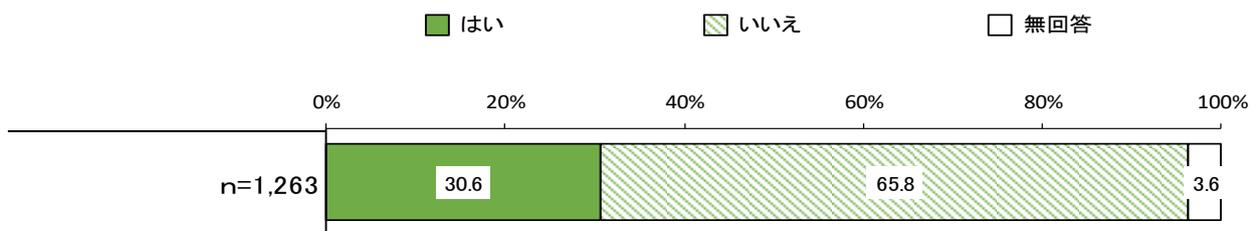
(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか
(○は1つ)

「はい」が7.9%、「いいえ」が88.7%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

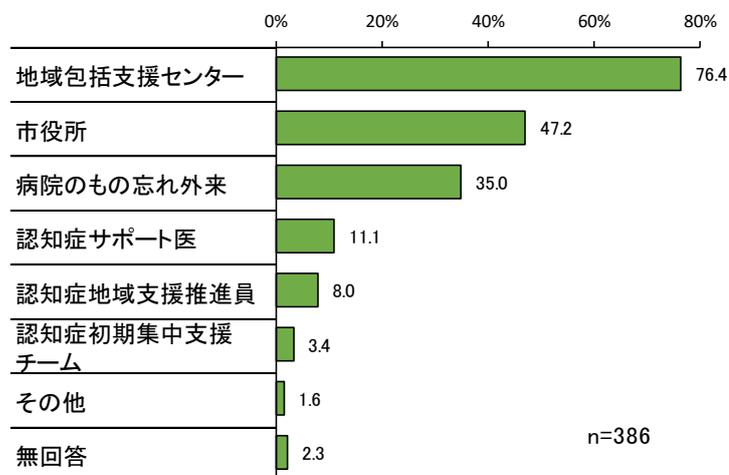
「はい」が30.6%、「いいえ」が65.8%となっています。



(2) で「1. はい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

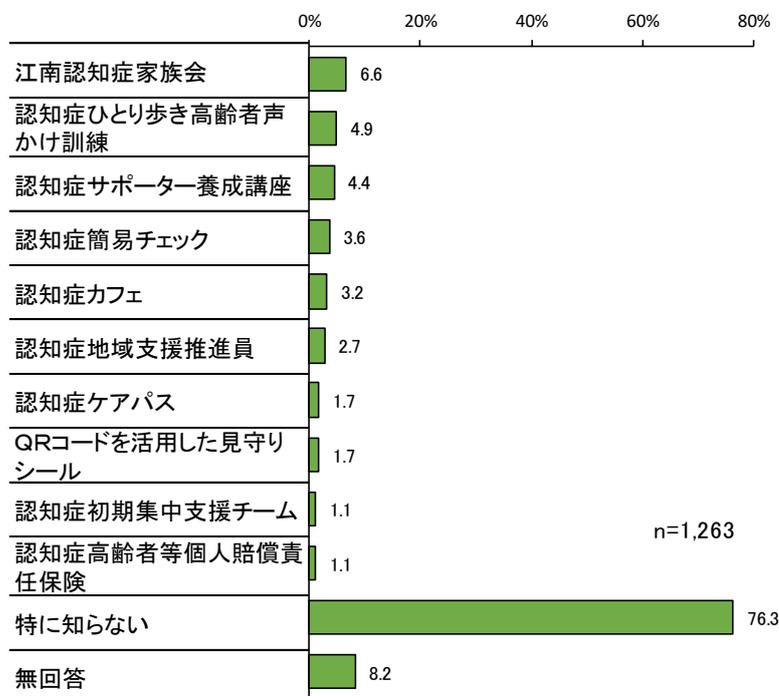
(3) 認知症に関する相談窓口で知っているものを選んでください (いくつでも)

「地域包括支援センター」が76.4%で最も高く、次いで「市役所」が47.2%、「病院のもの忘れ外来」が35.0%となっています。



(4) 江南市で、以下の認知症に対する取り組みを行っていることを知っていますか
(いくつでも)

「江南認知症家族会」が6.6%、「認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練」が4.9%、「認知症サポーター養成講座」が4.4%となっています。一方、「特に知らない」は76.3%で最も高くなっています。



【圏域別】

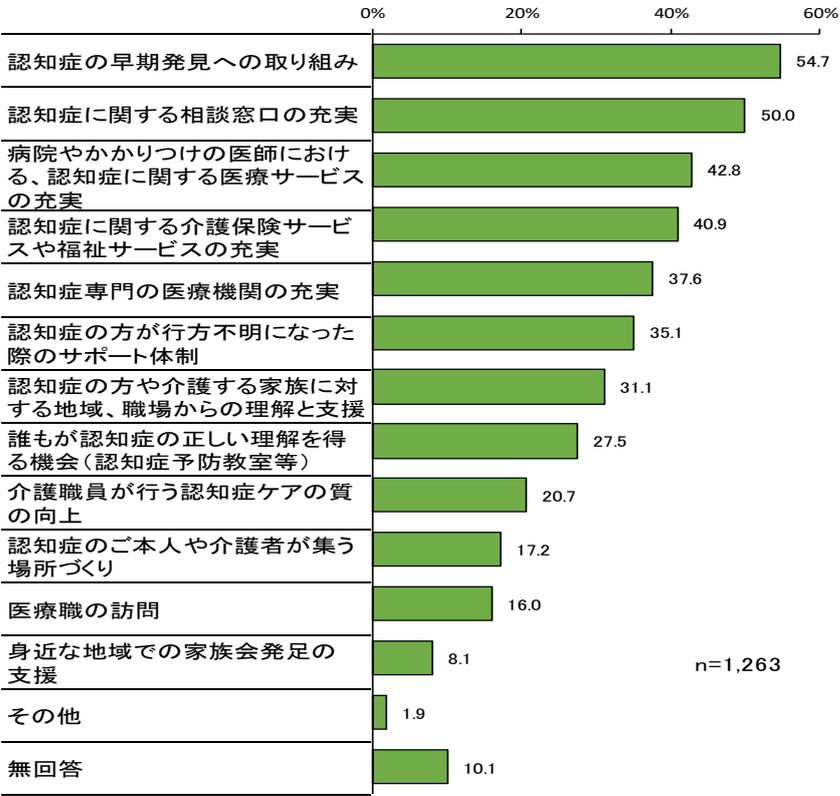
圏域別では、すべての圏域で「特に知らない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	認知症ケアパス	認知症簡易チェック	認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練	認知症サポーター養成講座	江南認知症家族会	認知症カフェ	チーム認知症初期集中支援員	認知症地域支援推進員	QRコードを活用した見守りシール	賠償責任保険	認知症高齢者等個人賠償責任保険	特に知らない	無回答
北部圏域	448	1.6	2.7	4.5	3.1	4.9	1.8	1.1	2.0	1.1	0.9	77.0	10.0	
中部圏域	405	1.5	4.0	5.9	6.2	7.9	3.5	0.7	2.7	1.5	0.5	77.3	5.7	
南部圏域	378	2.1	4.2	4.5	4.2	7.7	4.2	1.6	3.7	2.9	1.6	75.7	8.2	

(5) あなたは、認知症の方の支援に必要なことは何だと思いますか（いくつでも）

「認知症の早期発見への取り組み」が 54.7%で最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口の充実」が 50.0%、「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」が 42.8%となっています。



【圏域別】

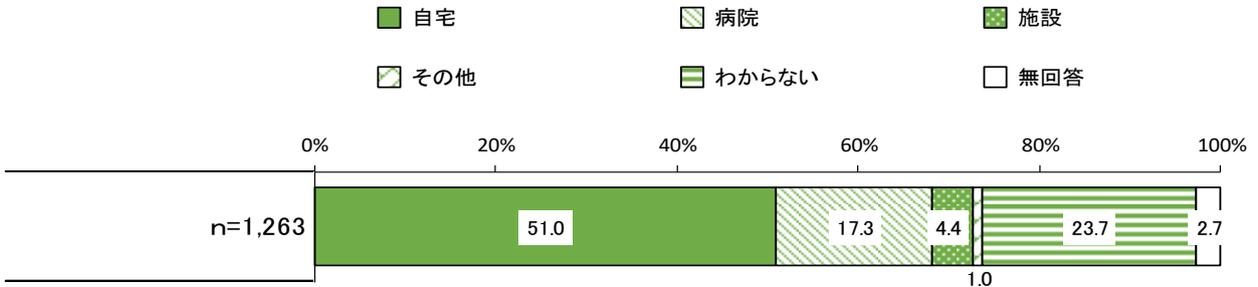
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「認知症に関する相談窓口の充実」（53.4%）の割合が高くなっています。

区分	全体（件）	単位：%													
		認知症に関する相談窓口の充実	認知症の早期発見への取り組み	認知症の早期発見への取り組み	認知症に関する相談窓口の充実	病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実	認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実	認知症専門の医療機関の充実	認知症の方が行方不明になった際のサポート体制	認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援	誰もが認知症の正しい理解を得る機会（認知症予防教室等）	介護職員が行う認知症ケアの質の向上	認知症のご本人や介護者が集う場所づくり	医療職の訪問	身近な地域での家族会発足の支援
北部圏域	448	48.7	50.9	40.4	23.2	25.0	17.0	34.6	15.8	6.0	32.6	13.4	30.4	1.1	12.3
中部圏域	405	48.9	55.8	44.0	32.8	33.6	21.2	42.0	16.5	7.2	42.0	17.5	35.6	2.5	8.9
南部圏域	378	53.4	57.7	43.9	27.0	35.7	24.1	45.8	19.3	11.1	40.2	17.2	39.7	2.4	7.7

10 終末期の考え方について

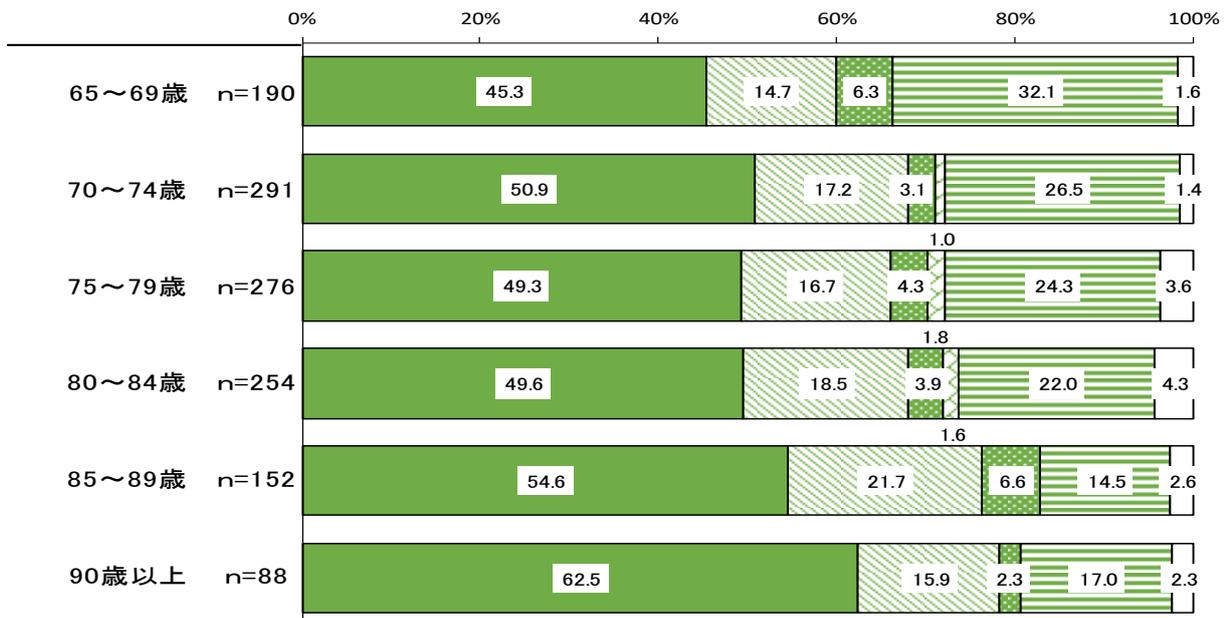
(1) あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか (○は1つ)

「自宅」が 51.0%で最も高く、次いで「わからない」が 23.7%、「病院」が 17.3%となっています。



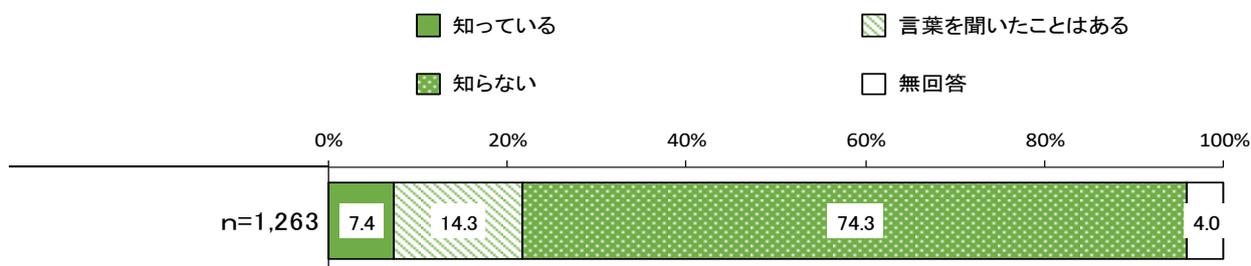
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「自宅」(62.5%)の割合が高くなっています。また、65~69歳で「わからない」(32.1%)の割合が高くなっています。



(2) 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」(※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと) について、知っていますか (〇は1つ)

「知らない」が74.3%で最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」が14.3%、「知っている」が7.4%となっています。



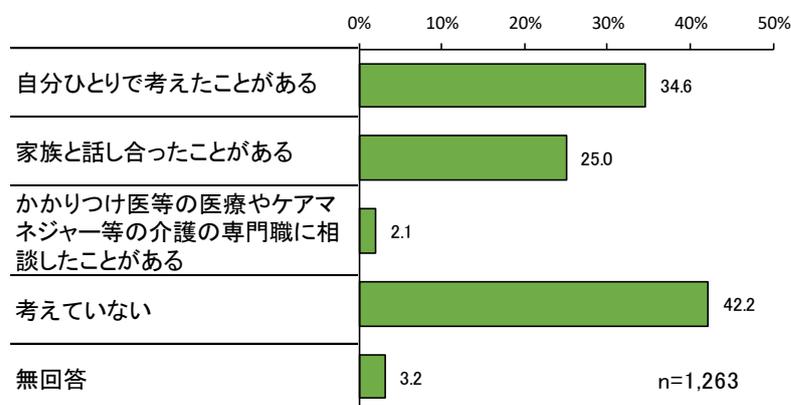
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「知っている」(9.1%)の割合がやや高くなっています。



(3) あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか（いくつでも）

「自分ひとりで考えたことがある」が34.6%、「家族と話し合ったことがある」が25.0%、「かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」が2.1%となっています。一方、「考えていない」は42.2%で最も高くなっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「自分ひとりで考えたことがある」（42.1%）の割合が高くなっています。

単位：%

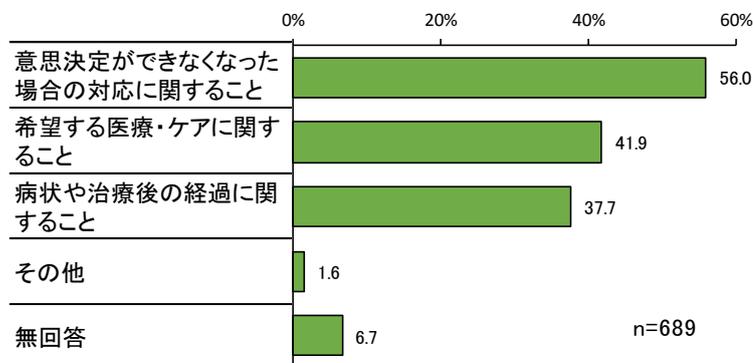
区分	全体（件）	自分ひとりで考えたことがある	話し合ったことがある	かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある	家族と話し合ったことがある	考えていない	無回答
65～69歳	190	37.4	1.1	21.6	42.6	2.1	
70～74歳	291	32.3	1.0	21.6	49.5	1.7	
75～79歳	276	30.8	2.2	25.4	46.0	2.9	
80～84歳	254	36.6	2.0	29.1	37.4	4.7	
85～89歳	152	42.1	3.3	25.7	30.9	3.9	
90歳以上	88	33.0	5.7	28.4	37.5	4.5	

年代別

(3) で「1」～「3」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(3) - 1 どのような内容を考えましたか、または話しましたか (いくつでも)

「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が 56.0%が最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」が41.9%、「症状や治療後の経過に関すること」が37.7%となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～74歳で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が高くなっています。

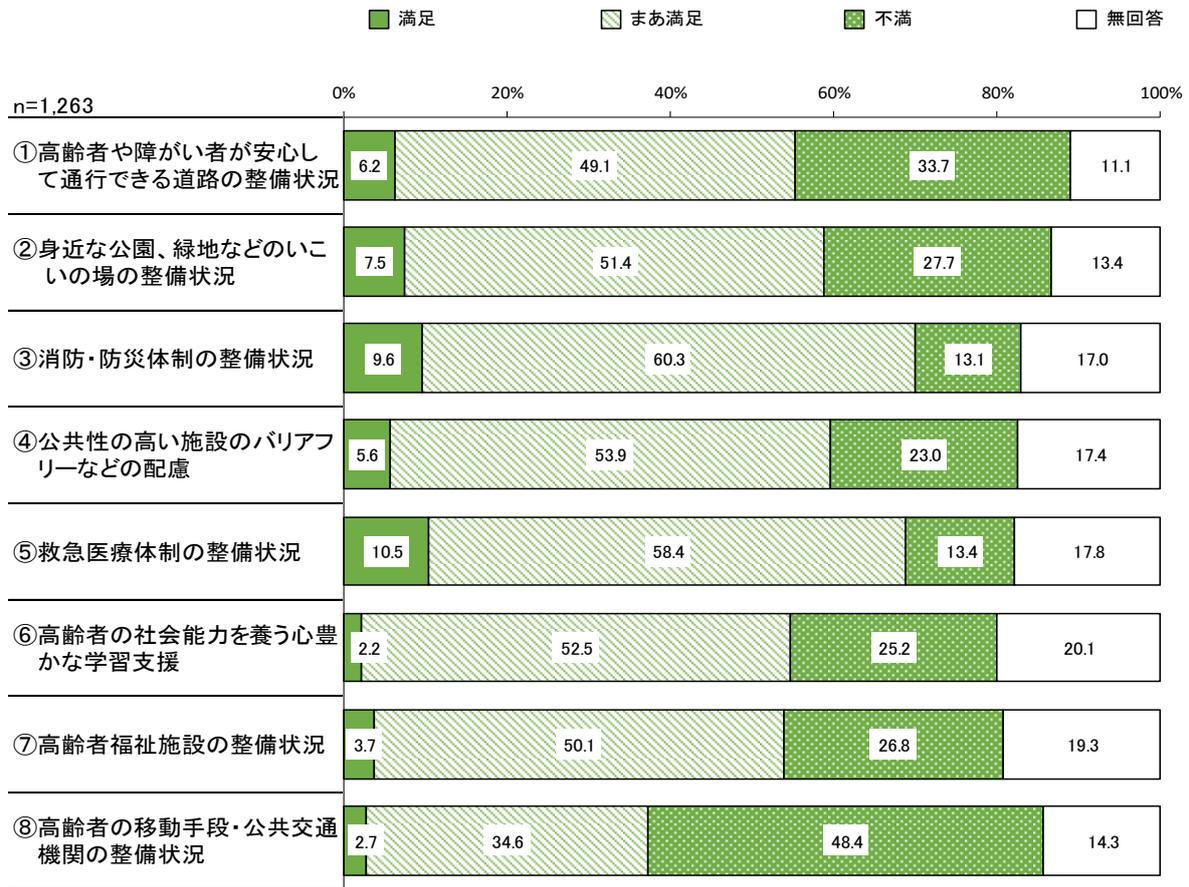
単位：%

区分	全体 (件)	に病状や治療後の経過に関すること	に希望する医療・ケアに関すること	意思決定ができなくなった場合の対応に関すること	その他	無回答
年代別						
65～69歳	105	31.4	50.5	65.7	1.0	4.8
70～74歳	142	35.2	38.7	63.4	0.0	4.2
75～79歳	141	39.7	46.1	53.9	1.4	5.7
80～84歳	147	42.9	36.7	51.0	2.0	4.8
85～89歳	99	36.4	39.4	48.5	4.0	13.1
90歳以上	51	41.2	41.2	47.1	2.0	13.7

11 高齢社会への対応について

(1) 自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

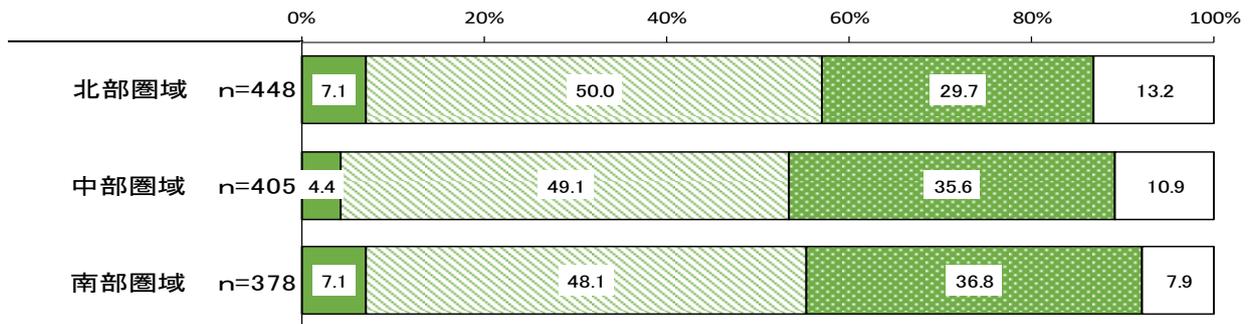
「③消防・防災体制の整備状況」、「⑤救急医療体制の整備状況」は、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』の割合が高くなっています。



①高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況

【圏域別】

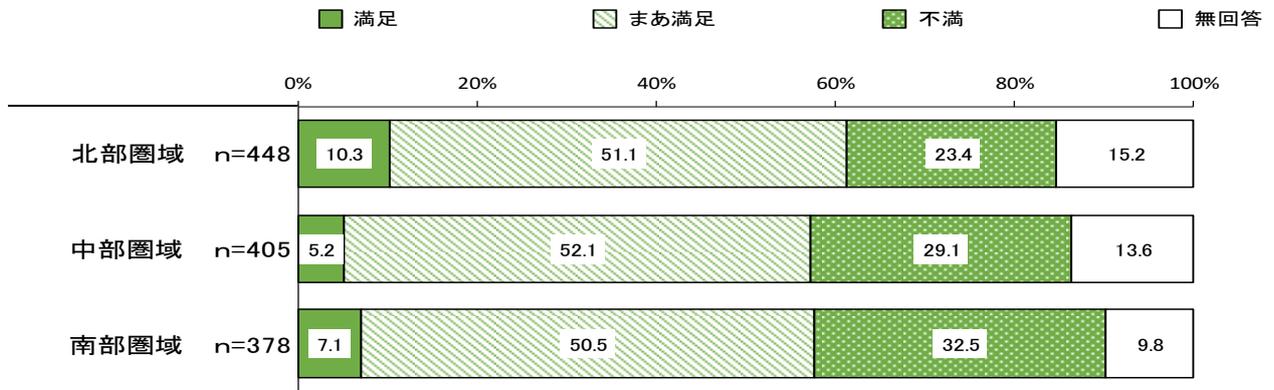
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（57.1%）の割合が高くなっています。



②身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況

【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（61.4%）の割合が高くなっています。



③消防・防災体制の整備状況

【圏域別】

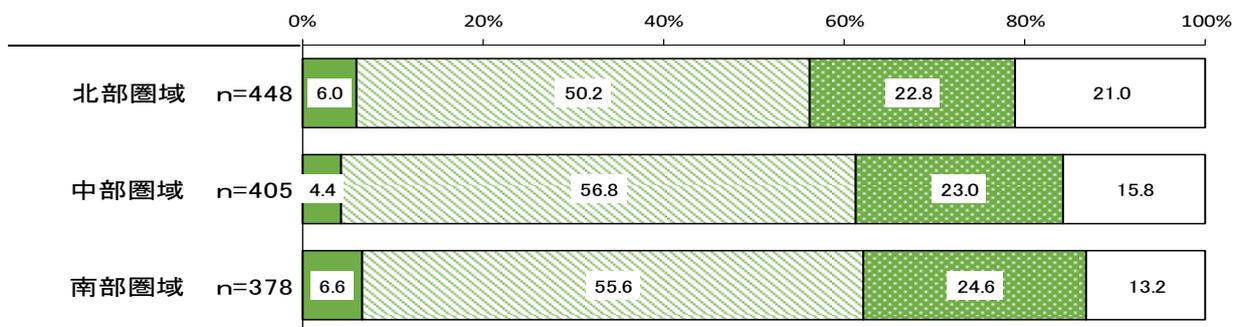
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（66.3%）の割合が低くなっています。



④公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮

【圏域別】

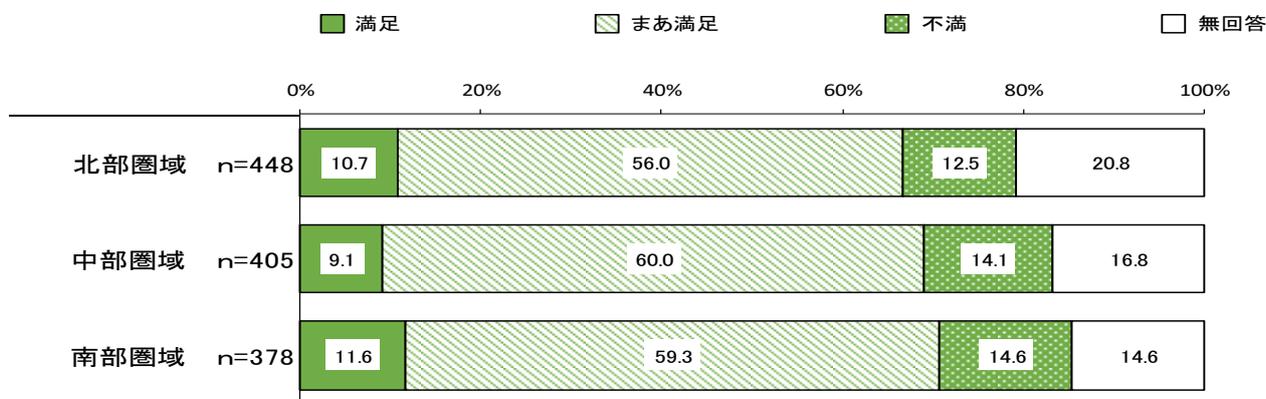
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（56.2%）の割合が低くなっています。



⑤救急医療体制の整備状況

【圏域別】

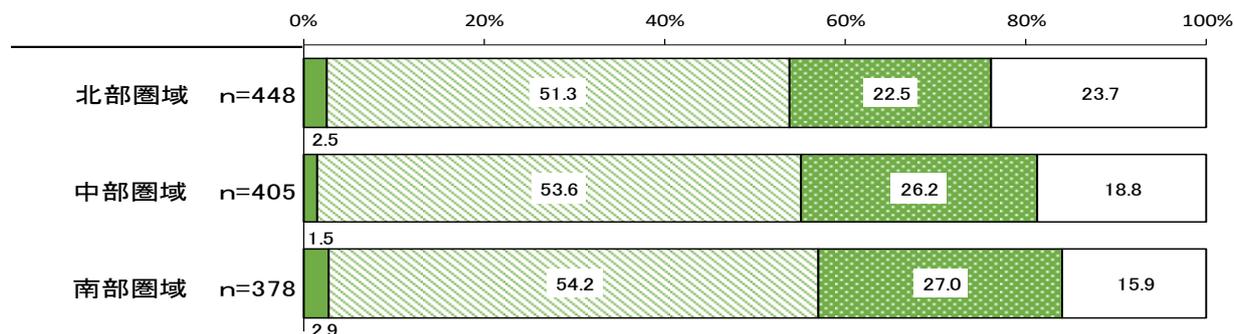
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『満足』（70.9%）の割合が高くなっています。



⑥高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援

【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『満足』（57.1%）の割合が高くなっています。



⑦高齢者福祉施設の整備状況

【圏域別】

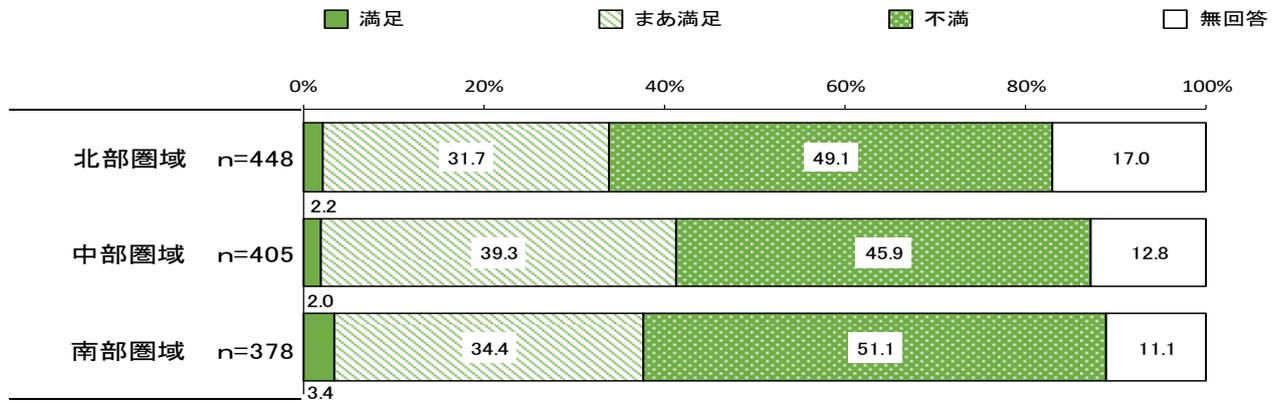
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『満足』（55.6%）の割合が高くなっています。



⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況

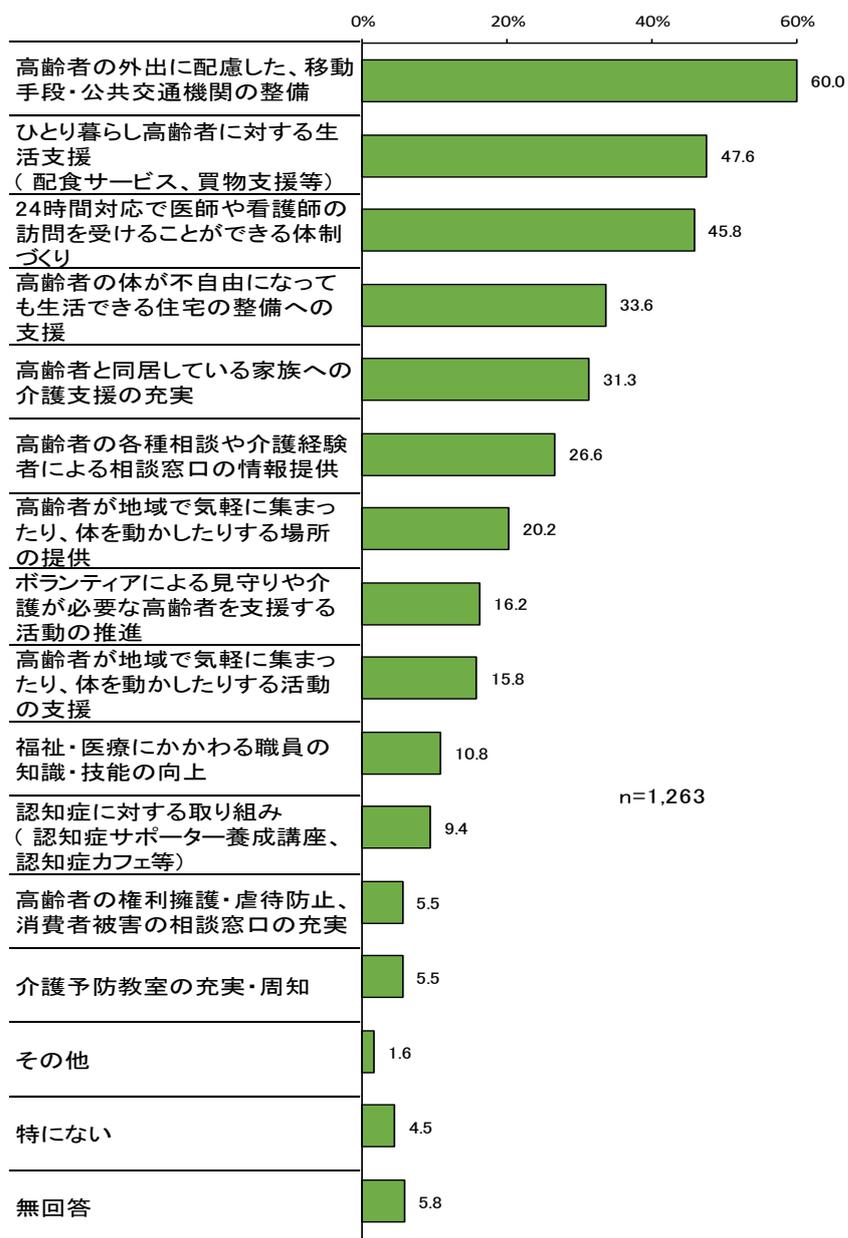
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『満足』（41.3%）の割合が高くなっています。



(2) 高齢社会に対して、今後市に力を入れてほしいことは何ですか
(〇は5つまで)

「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」が60.0%で最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する生活支援（配食サービス、買物支援等）」が47.6%、「24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり」が45.8%、「高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援」が33.6%、「高齢者と同居している家族への介護支援の充実」が31.3%となっています。



【性別・年代別・圏域別】

性別では、女性と比べ、男性で「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」(62.9%)の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳と75～79歳で「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」の割合が高くなっています。

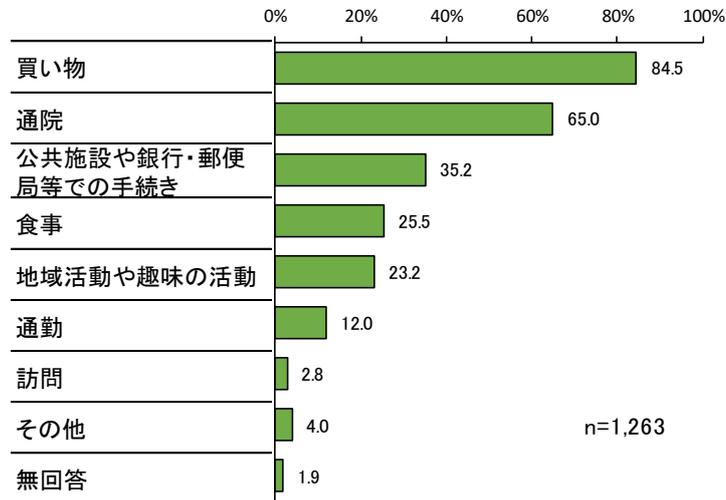
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「ひとり暮らし高齢者に対する生活支援（配食サービス、買物支援等）」(51.1%)の割合が高くなっています。

区分	全体（件）	単位：%																		
		情報提供	高齢者の各種相談窓口の	機関の整備	た、移動手段・公共交通	高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通	族への介護支援の充実	高齢者と同居している家族への介護支援の充実	が、できる体制づくり	護師の訪問を受けること	24時間対応で医師や看護師の訪問を受けること	の整備への支援	なつても生活できる住宅	高齢者の体が不自由になつても生活できる住宅	ビス、買物支援等)	ひとり暮らし高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	窓口の充実	防止、消費者被害の相談	高齢者の権利擁護・虐待	講座、認知症カフェ等)
性別																				
男性	529	28.7	62.9	35.0	49.1	33.8	49.5	6.6	10.8											
女性	723	25.0	57.7	28.4	42.9	33.3	45.9	4.6	8.6											
年代別																				
65～69歳	190	33.7	67.9	39.5	46.8	39.5	55.3	6.3	11.6											
70～74歳	291	29.6	59.8	34.0	49.1	36.4	50.9	5.8	10.0											
75～79歳	276	22.1	63.4	26.1	43.1	35.9	49.6	4.7	8.3											
80～84歳	254	26.8	55.9	26.4	44.1	29.5	45.3	4.3	10.2											
85～89歳	152	23.7	57.2	27.6	42.1	25.7	39.5	6.6	9.2											
90歳以上	88	20.5	48.9	39.8	48.9	30.7	34.1	5.7	4.5											
圏域別																				
北部圏域	448	26.8	60.0	27.9	44.4	31.0	46.4	5.8	9.4											
中部圏域	405	26.2	60.0	34.3	46.2	38.8	51.1	4.2	9.9											
南部圏域	378	27.8	61.4	31.5	48.1	31.2	46.0	6.3	9.0											
区分	全体（件）	する場所の提供	高齢者が地域で気軽に集まる活動の支援	高齢者が地域で気軽に集まる活動の支援	の福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上	介護予防教室の充実・周知	やボランティアによる見守り	その他	特にな	無回答										
性別																				
男性	529	18.0	13.2	10.2	4.5	16.6	1.9	4.2	4.5											
女性	723	22.0	17.8	11.5	6.4	15.9	1.4	4.8	6.6											
年代別																				
65～69歳	190	16.3	15.8	15.3	7.4	10.5	1.6	3.2	1.6											
70～74歳	291	19.2	16.2	12.4	5.8	17.9	1.0	4.1	2.7											
75～79歳	276	18.8	17.0	8.7	5.4	15.9	1.4	3.6	5.8											
80～84歳	254	23.2	17.7	9.8	5.9	19.7	0.4	3.9	7.9											
85～89歳	152	26.3	13.8	7.2	3.3	19.1	3.9	5.3	11.2											
90歳以上	88	18.2	10.2	12.5	4.5	9.1	3.4	12.5	9.1											
圏域別																				
北部圏域	448	16.1	12.1	10.0	4.5	15.2	1.3	4.5	7.8											
中部圏域	405	23.7	16.8	10.9	7.2	16.5	1.7	4.7	3.5											
南部圏域	378	22.5	20.4	12.7	5.0	17.7	1.9	4.5	3.7											

12 外出について

(1) 外出の目的は何ですか（〇は3つまで）

「買い物」が84.5%で最も高く、次いで「通院」が65.0%、「公共施設や銀行・郵便局等での手続き」が35.2%となっています。



(2) 外出の主な目的地はどちらですか

市内では、1,062 件の回答があり、スーパーが 352 件、病院が 216 件、買い物が 75 件となっています。

市外では、312 件の回答があり、スーパーが 48 件、病院が 41 件、買い物と親類の家がそれぞれ 30 件となっています。

市内の目的地

目的地	件数(件)
スーパー	352
病院	216
買い物	75
公共機関	45
銀行	37
その他	337
合計	1,062

市外の目的地

目的地	件数(件)
スーパー	48
病院	41
買い物	30
親類の家	30
飲食店	26
その他	137
合計	312

【市内のその他の内容】

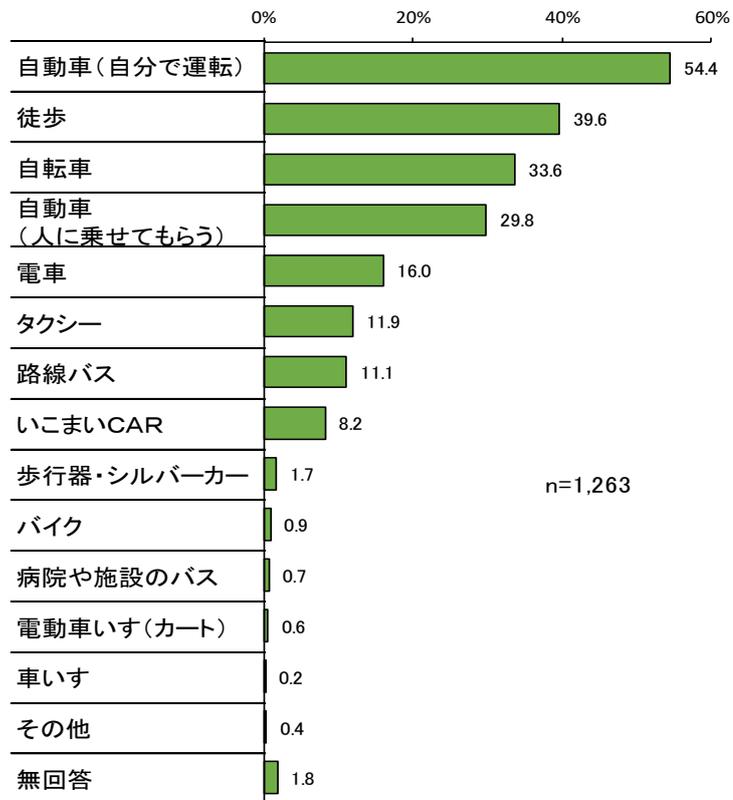
- ・ 飲食店 (34件)
- ・ ドラッグストア (19件)
- ・ 勤務先 (19件)
- ・ ホームセンター (18件)
- ・ スポーツ施設 (18件)

【市外のその他の内容】

- ・ 通勤 (22件)
- ・ 旅行 (17件)
- ・ ゴルフ (10件)
- ・ 趣味 (10件)
- ・ デパート (7件)

(3) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

「自動車 (自分で運転)」が 54.4%で最も高く、次いで「徒歩」が 39.6%、「自転車」が 33.6%となっています。



【年代別・小学校区別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「自動車（自分で運転）」（82.1%）の割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区と比べ、草井と門弟山で「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

単位：%

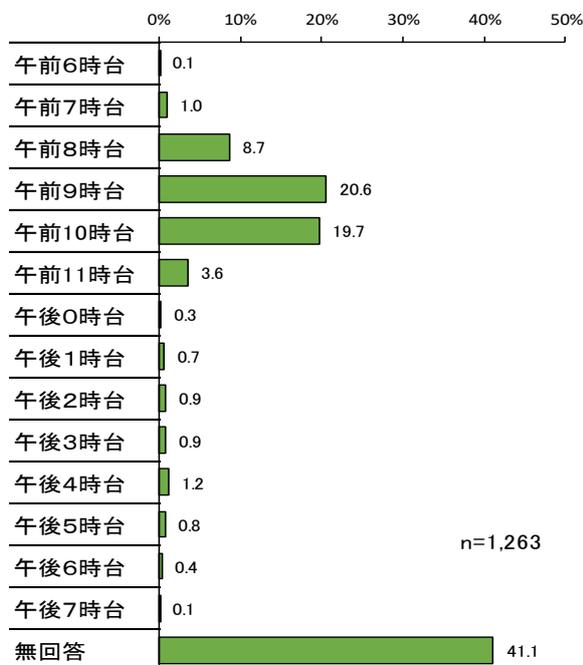
区分	全体（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	いこまいCAR	その他	無回答
年代別																
65～69歳	190	35.8	27.9	2.1	82.1	17.4	24.2	8.4	0.5	0.0	0.5	0.0	3.2	2.1	0.0	0.0
70～74歳	291	43.3	33.3	1.0	74.6	19.6	19.2	12.7	0.7	0.3	0.0	0.0	5.2	3.4	0.3	0.7
75～79歳	276	38.4	38.0	0.7	58.7	27.5	14.9	9.8	1.1	0.4	0.7	0.7	6.2	8.3	0.0	2.5
80～84歳	254	40.2	38.6	0.8	39.4	34.6	16.5	13.0	0.4	0.0	0.8	2.0	15.0	13.8	0.8	3.5
85～89歳	152	40.1	28.9	0.0	27.0	44.1	6.6	13.2	0.0	0.0	0.7	3.9	28.3	14.5	0.0	2.6
90歳以上	88	37.5	26.1	0.0	8.0	56.8	6.8	6.8	2.3	0.0	1.1	9.1	33.0	10.2	2.3	1.1
小学校区別																
古知野東	160	46.9	30.0	0.0	57.5	26.3	19.4	4.4	0.6	0.0	0.6	1.9	15.6	10.0	0.6	3.8
古知野西	100	48.0	41.0	0.0	54.0	28.0	17.0	16.0	0.0	0.0	0.0	3.0	12.0	8.0	2.0	3.0
古知野南	168	48.8	41.1	0.0	52.4	29.8	23.2	14.3	0.6	0.0	0.0	2.4	15.5	7.1	0.0	0.6
古知野北	111	29.7	27.9	0.9	59.5	27.9	13.5	3.6	0.9	0.0	0.9	0.9	10.8	3.6	0.9	1.8
布袋	191	41.9	36.1	0.5	52.4	31.4	15.7	8.4	1.0	0.5	0.0	1.0	10.5	11.0	0.0	3.1
布袋北	87	26.4	39.1	3.4	51.7	33.3	16.1	2.3	0.0	0.0	1.1	1.1	13.8	13.8	0.0	0.0
宮田	153	34.6	30.1	1.3	52.9	31.4	9.8	16.3	0.7	0.0	1.3	1.3	8.5	7.2	0.7	0.0
草井	108	25.0	23.1	0.9	64.8	28.7	9.3	5.6	1.9	0.0	0.0	0.9	8.3	4.6	0.0	1.9
藤里	76	47.4	40.8	2.6	38.2	32.9	23.7	34.2	1.3	1.3	2.6	0.0	15.8	10.5	0.0	0.0
門弟山	77	42.9	28.6	1.3	63.6	29.9	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0	3.9	5.2	3.9	0.0	0.0

(4) 外出の主な時間帯は何時ごろですか

1. 通院

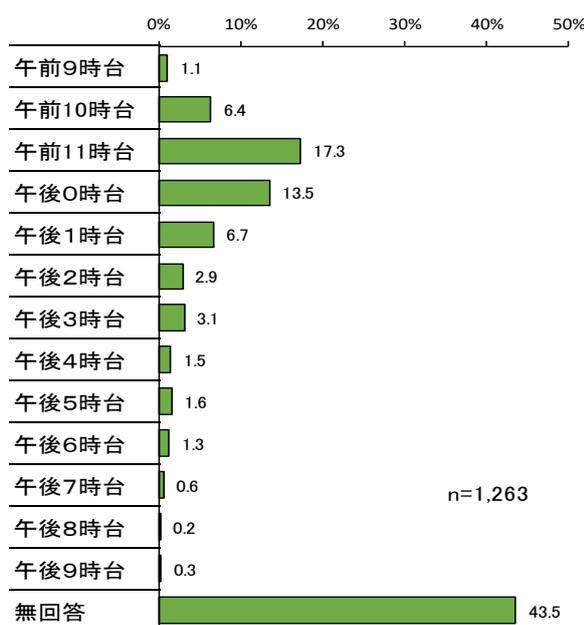
(a) 家を出る時間

「午前9時台」が20.6%、「午前10時台」が19.7%、「午前8時台」が8.7%となっています。



(b) 帰る時間

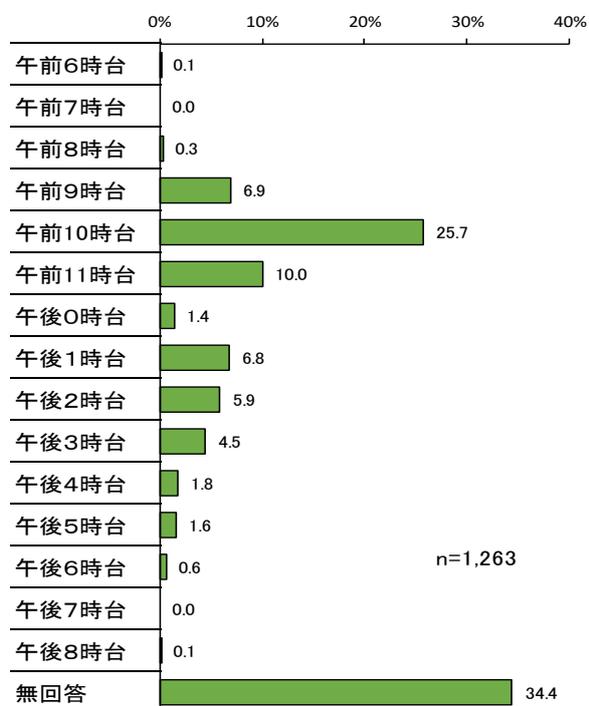
「午前11時台」が17.3%、「午後0時台」が13.5%、「午後1時台」が6.7%となっています。



2. 買い物

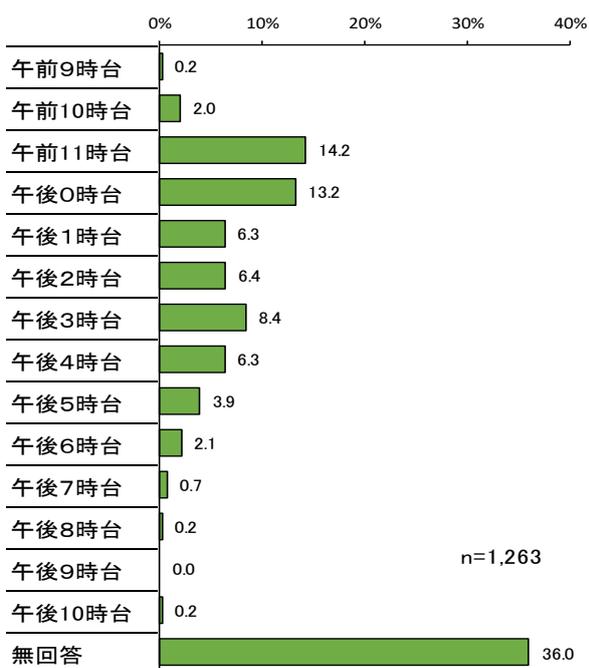
(a) 家を出る時間

「午前 10 時台」が 25.7%、「午前 11 時台」が 10.0%、「午前 9 時台」が 6.9%となっています。



(b) 帰る時間

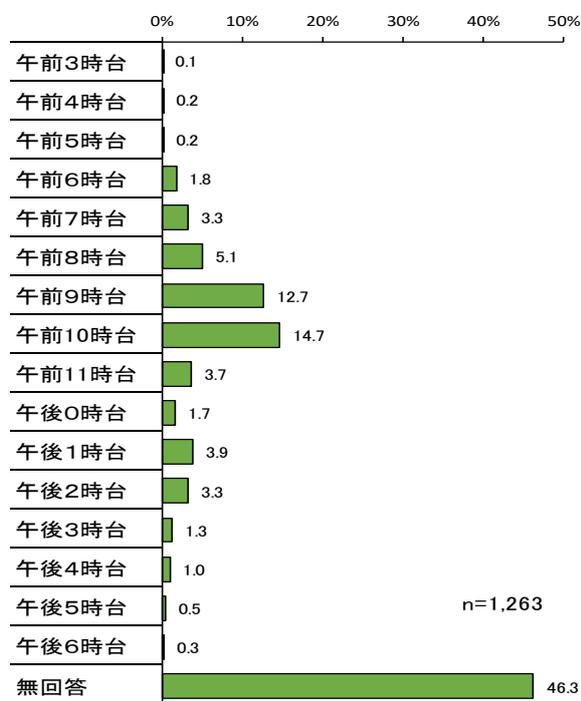
「午前 11 時台」が 14.2%、「午後 0 時台」が 13.2%、「午後 3 時台」が 8.4%となっています。



3. その他の外出

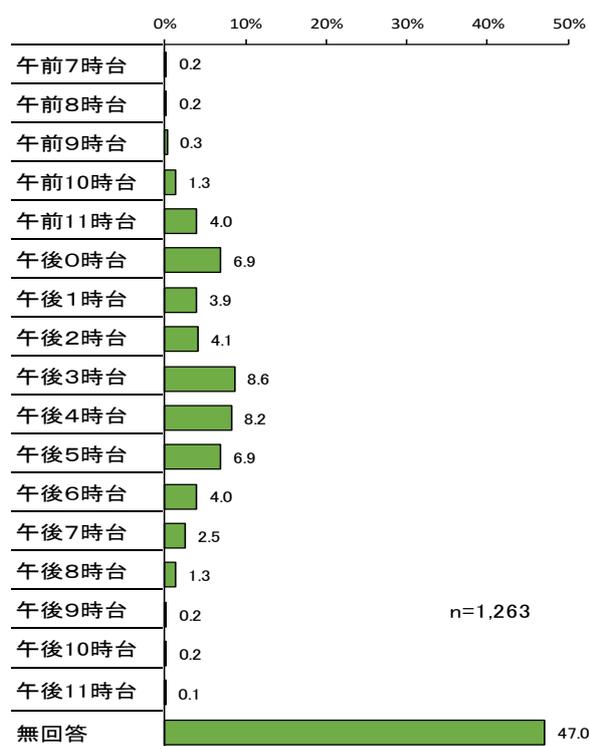
(a) 家を出る時間

「午前 10 時台」が 14.7%、「午前 9 時台」が 12.7%、「午前 8 時台」が 5.1%となっています。



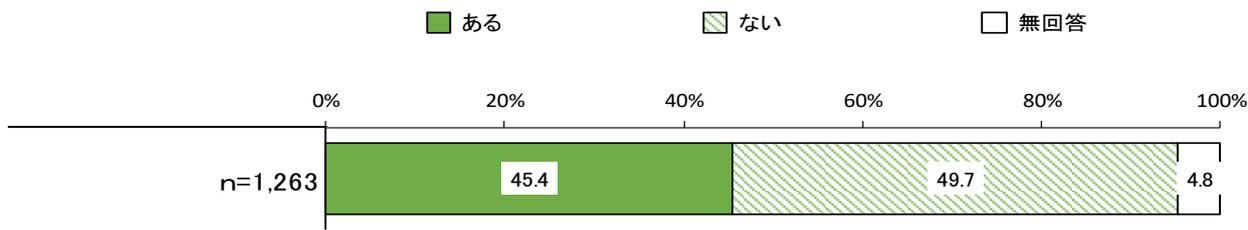
(b) 帰る時間

「午後 3 時台」が 8.6%、「午後 4 時台」が 8.2%、「午後 0 時台」、「午後 5 時台」がそれぞれ 6.9%となっています。



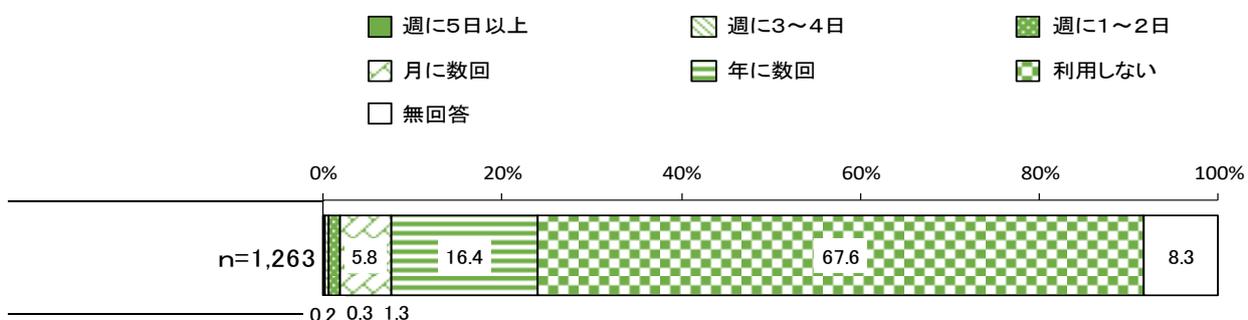
(5) 路線バスのバス停は、近くにありますか (〇は1つ)

「ある」が45.4%、「ない」が49.7%となっています。



(5) - 1 路線バスは、どれくらいの頻度で利用していますか (〇は1つ)

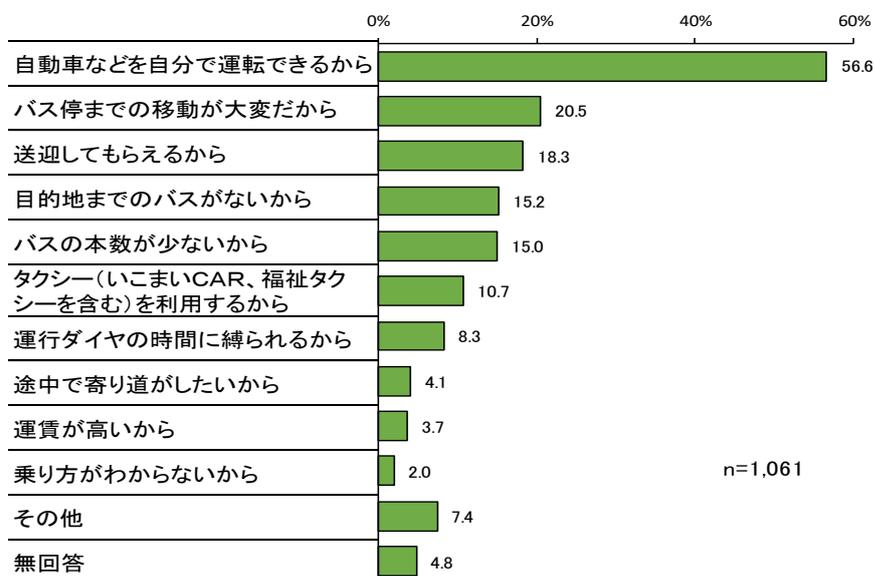
「利用しない」は67.6%で最も高く、次いで「年に数回」が16.4%、「月に数回」が5.8%となっています。



(5) - 1で「5. 年に数回」「6. 利用しない」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

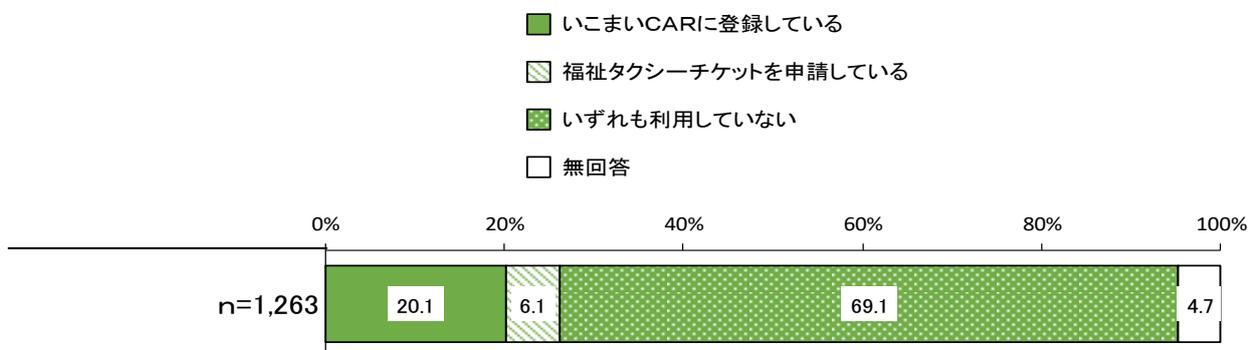
(5) - 2 路線バスを利用しない理由は何ですか (いくつでも)

「自動車などを自分で運転できるから」が56.6%で最も高く、次いで「バス停までの移動が大変だから」が20.5%、「送迎してもらえるから」が18.3%となっています。



(6) いこまいCARに登録していますか、または、福祉タクシーチケットを申請していますか (○は1つ)

「いずれも利用していない」は 69.1%で最も高く、次いで「いこまいCARに登録している」が 20.1%、「福祉タクシーチケットを申請している」が 6.1%となっています。



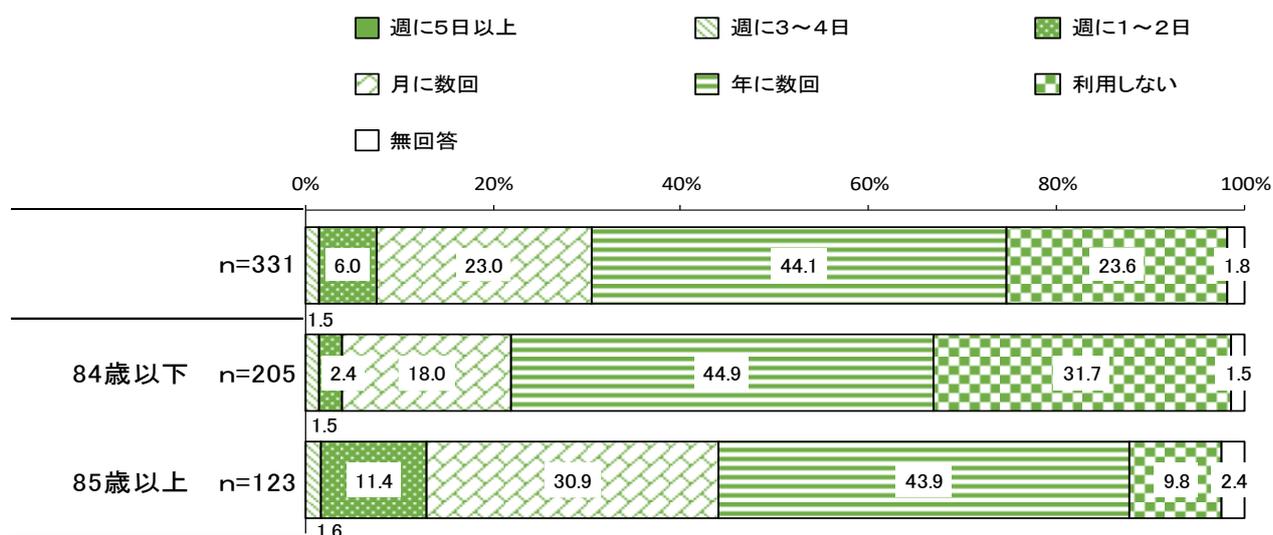
(6) で「1. いこまいCARに登録している」、「2. 福祉タクシーチケットを申請している」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(6) - 1 どれくらいの頻度で利用していますか (○は1つ)

全体では、「年に数回」が 44.1%で最も高く、次いで「利用しない」が 23.6%、「月に数回」が 23.0%となっています。

84歳以下では、「年に数回」が 44.9%で最も高く、次いで「利用しない」が 31.7%、「月に数回」が 18.0%となっています。

85歳以上では、「年に数回」が 43.9%で最も高く、次いで「月に数回」が 30.9%、「週に1~2日」が 11.4%となっています。



(6)で「3. いずれも利用していない」と答えた方、または(6) - 1で「5. 年に数回」「6. 利用しない」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(6) - 2 利用しない理由は何ですか (いくつでも)

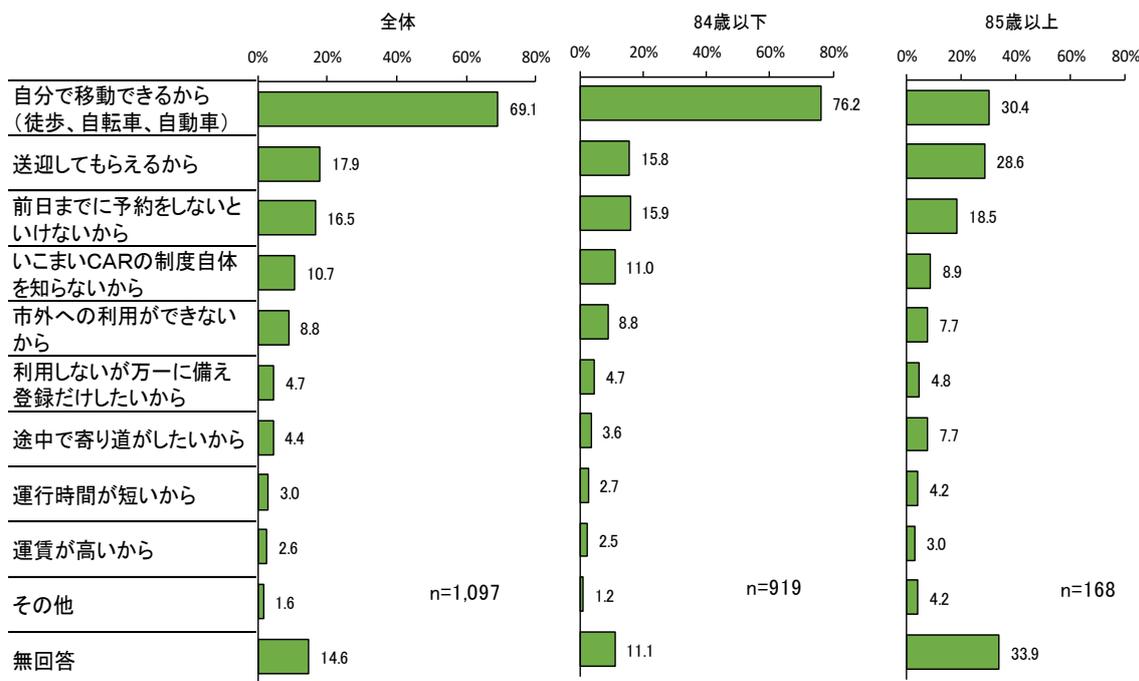
※いずれも利用していないかたは両方お答えください。

【いこまいCAR】

全体では、「自分で移動できるから (徒歩、自転車、自動車)」が 69.1%で最も高く、次いで「送迎してもらえらるから」が 17.9%、「前日までに予約をしないといけないから」が 16.5%となっています。

84歳以下では、「自分で移動できるから (徒歩、自転車、自動車)」が 76.2%で最も高く、次いで「前日までに予約をしないといけないから」が 15.9%、「送迎してもらえらるから」が 15.8%となっています。

85歳以上では、「自分で移動できるから (徒歩、自転車、自動車)」が 30.4%で最も高く、次いで「送迎してもらえらるから」が 28.6%、「前日までに予約をしないといけないから」が 18.5%となっています。

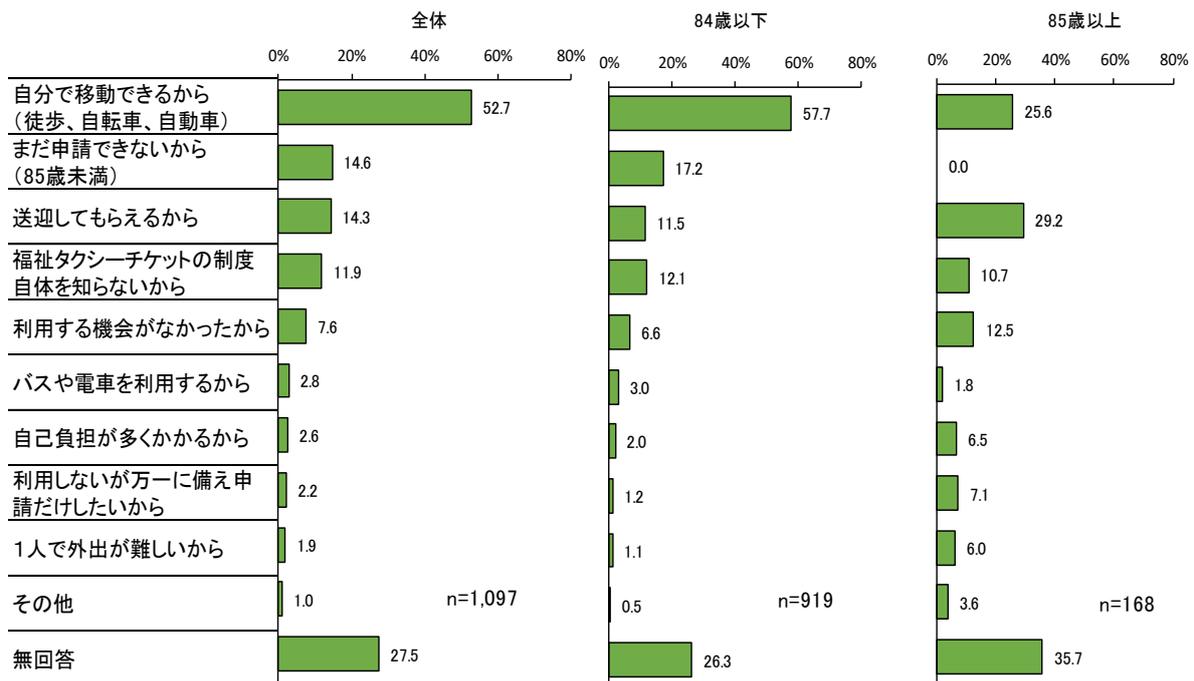


【福祉タクシーチケット】

全体では、「自分で移動できるから（徒歩、自転車、自動車）」が 52.7%で最も高く、「まだ申請できないから（85歳未満）」が 14.6%、「送迎してもらえるから」が 14.3%となっています。

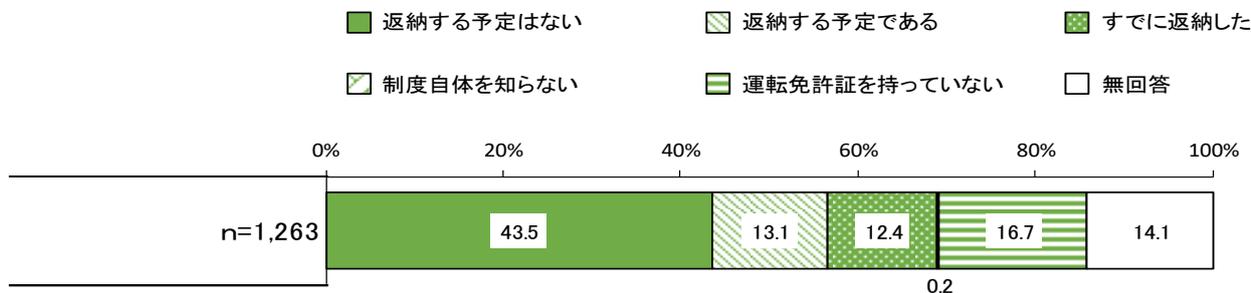
84歳以下では、「自分で移動できるから（徒歩、自転車、自動車）」が 57.7%で最も高く、次いで「まだ申請できないから（85歳未満）」が 17.2%、「送迎してもらえるから」が 11.5%となっています。

85歳以上では、「送迎してもらえるから」が 29.2%で最も高く、次いで「自分で移動できるから（徒歩、自転車、自動車）」が 25.6%、「利用する機会がなかったから」が 12.5%となっています。



(7) 運転免許証の自主返納[※]について、あてはまるものを選んでください
(〇は1つ)

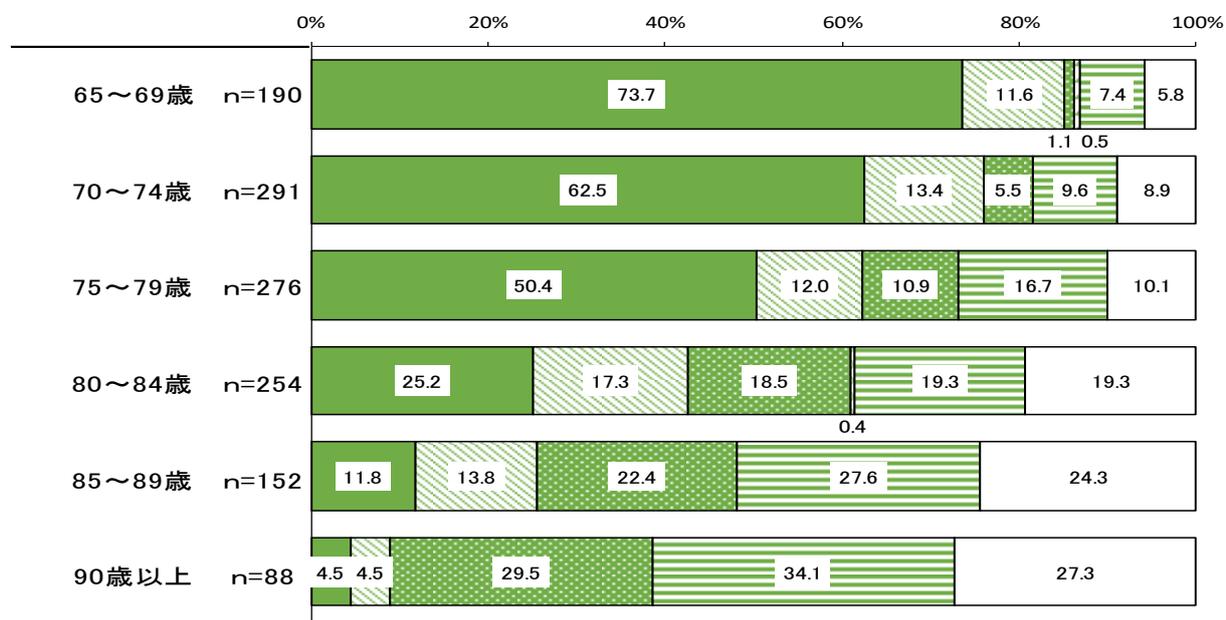
「返納する予定はない」が 43.5%で最も高く、次いで「運転免許証を持っていない」が 16.7%、「返納する予定である」が 13.1%、「すでに返納した」が 12.4%となっています。



※運転免許証の有効期限が満了する前に自らの意思により公安委員会に対して、運転免許の取消申請をすることで、身分証明書として使うことができる運転経歴証明書を発行してもらえる制度

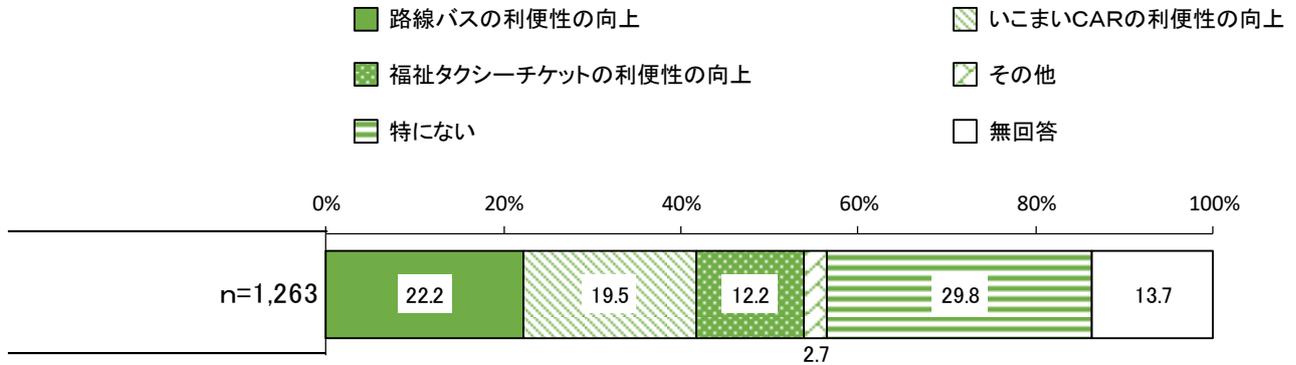
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「返納する予定はない」(73.7%)の割合が高くなっています。



(8) 公共の移動手段に求めるものは何ですか (○は1つ)

「路線バスの利便性の向上」が22.2%、「いこまいCARの利便性の向上」が19.5%、「福祉タクシーチケットの利便性の向上」が12.2%となっています。一方、「特にない」は29.8%で最も高くなっています。



(8) で「1」～「4」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(8) - 1 公共の移動手段に求めるものの具体的な内容は何ですか (自由にお書きください)

- ・ 運賃を安くする。
- ・ 交通手段がない。
- ・ 時間を問わず利用できるようにしてほしい。
- ・ 事前予約をなくす・予約が取りづらい (いこまいCAR 等)。
- ・ 巡回・循環・コミュニティバス等を運行する。
- ・ 制度や手続き方法がわからない。
- ・ 希望日に予約できるようにしてほしい。
- ・ 市外でも利用できるようにしてほしい。
- ・ 身体が不自由な方への配慮。

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）

1 複数の機能リスク該当者割合の分析

調査票の以下の設問を抽出し、市の指標に基づき 20 項目のうち 10 項目以上に該当する人を複数の機能リスク該当者と判定しました。

【判定設問】

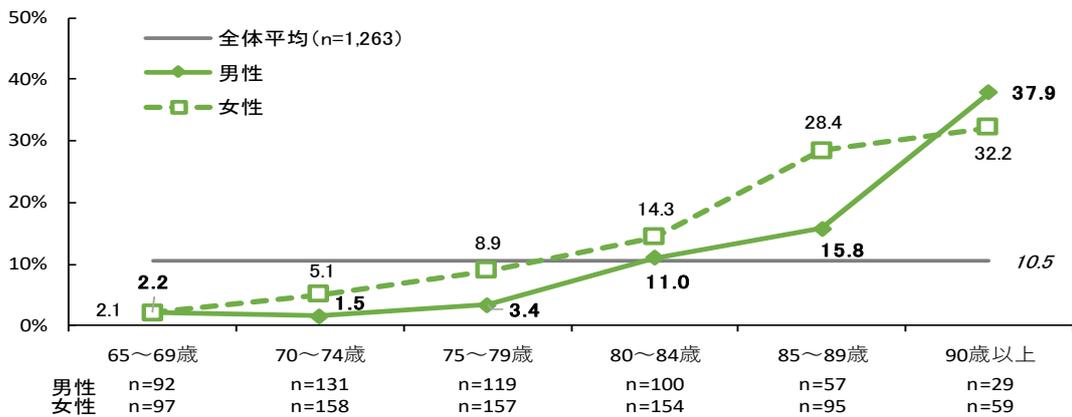
問番号	設問	該当する選択肢
問 2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 2 (3)	15 分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問 2 (4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある
問 2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である
問 2 (6)	週に 1 回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
問 2 (7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問 3 (1)	6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい
問 3 (2)	身長・体重	BMI 18.5 未満
問 3 (3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 3 (4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 3 (5)	口の渇きが気になりますか	1. はい
問 4 (1)	バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)	3. できない
問 4 (2)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	3. できない
問 4 (5)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない
問 4 (7)	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
問 4 (8)	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ
問 4 (9)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問 4 (14)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問 4 (15)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ

【リスク該当状況】

複数の機能の評価結果をみると、全体平均で 10.5%が複数の機能低下リスク該当者となっています。

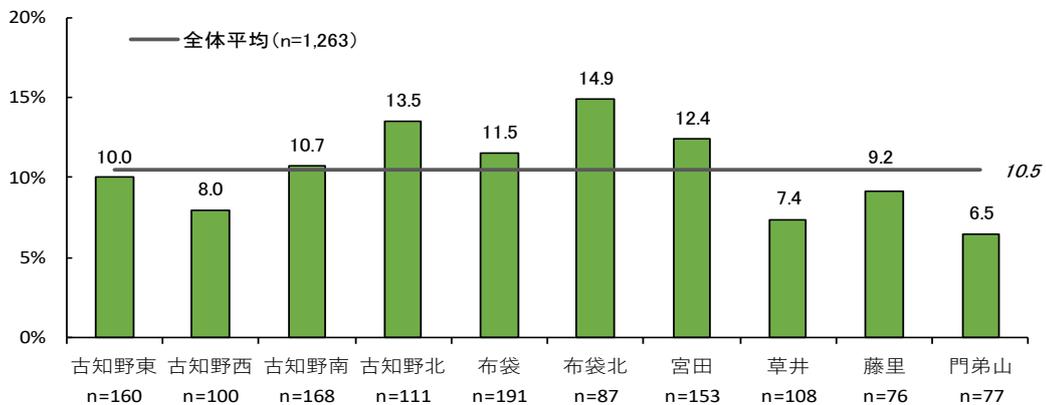
性別・年代別では、女性は 65～69 歳と 90 歳以上を除くすべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳から全体平均を上回っています。また、85～89 歳で 28.4%と 80～84 歳に比べ 14.1 ポイントと大きく増加しています。一方、男性は 80～84 歳で全体平均を上回っています。男女差は 85～89 歳が 12.6 ポイントと最も広がっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野南、古知野北、布袋、布袋北、宮田で該当者割合が全体平均の 10.5%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 14.9%、最も低い小学校区は門弟山で 6.5%となっており、8.4 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



2 機能別リスク該当者割合の分析

市の指標に基づき分析した内容は次のとおりです。

(1) 運動器

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

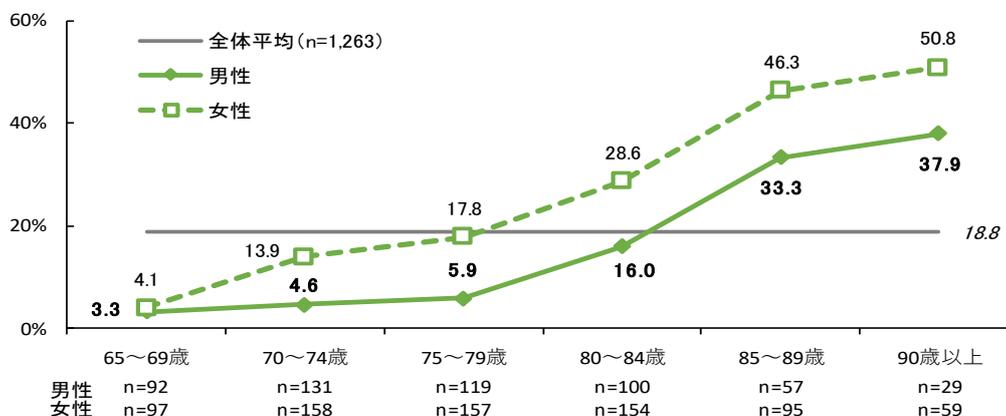
問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、全体平均で18.8%が運動器の機能低下のリスク該当者となっています。

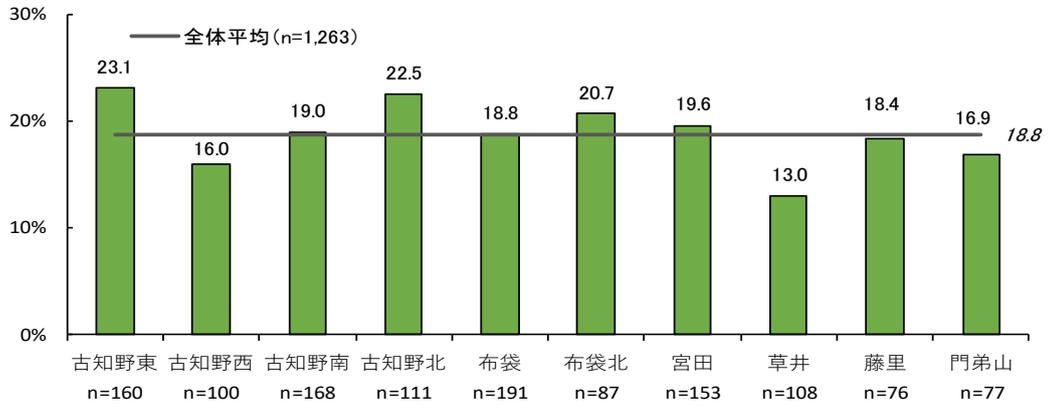
性別・年代別では、女性はすべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で全体平均を上回っています。また、85～89歳で46.3%と80～84歳に比べ17.7ポイント増加しています。男性は85～89歳で33.3%と全体平均を上回り、80～84歳に比べ17.3ポイント増加しています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、古知野南、古知野北、布袋北、宮田で該当者割合が全体平均の18.8%を超えています。また、最も高い小学校区は古知野東で23.1%、最も低い小学校区は草井で13.0%となっており、10.1ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(2) 栄養

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

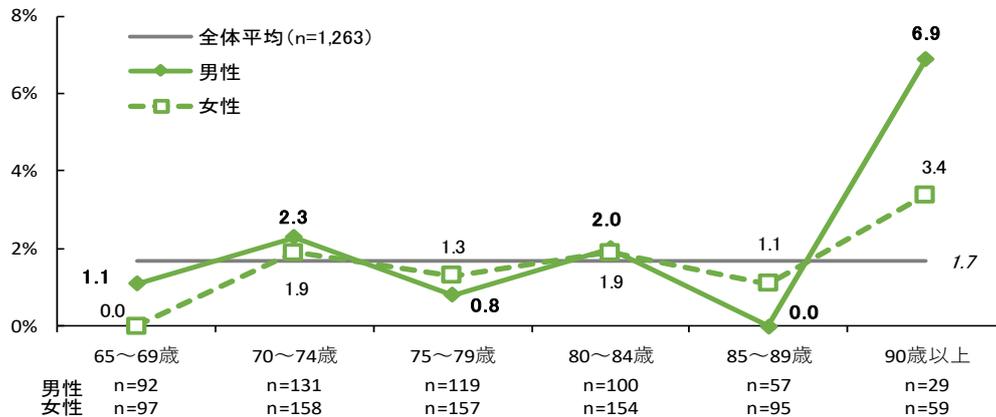
問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
問3(2)	身長・体重	BMI 18.5未満

【リスク該当状況】

栄養の評価結果をみると、全体平均で1.7%が低栄養のリスク該当者となっています。

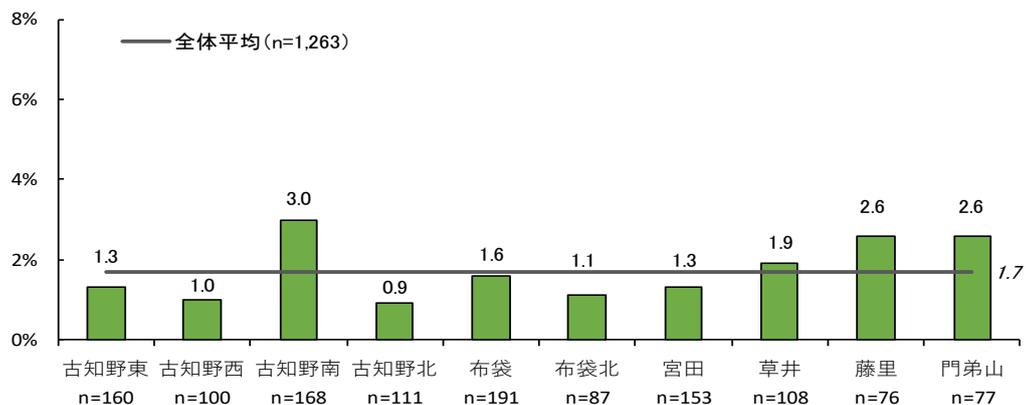
性別・年代別では、男女ともに70～74歳、80～84歳で全体平均をやや上回っています。また、90歳以上を除くすべての年代で大きな男女差はみられません。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野南、草井、藤里、門弟山で該当者割合が全体平均の1.7%を超えています。また、最も高い小学校区は古知野南で3.0%、最も低い小学校区は古知野北で0.9%となっており、2.1ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(3) 口腔

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のすべてに該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定しました。

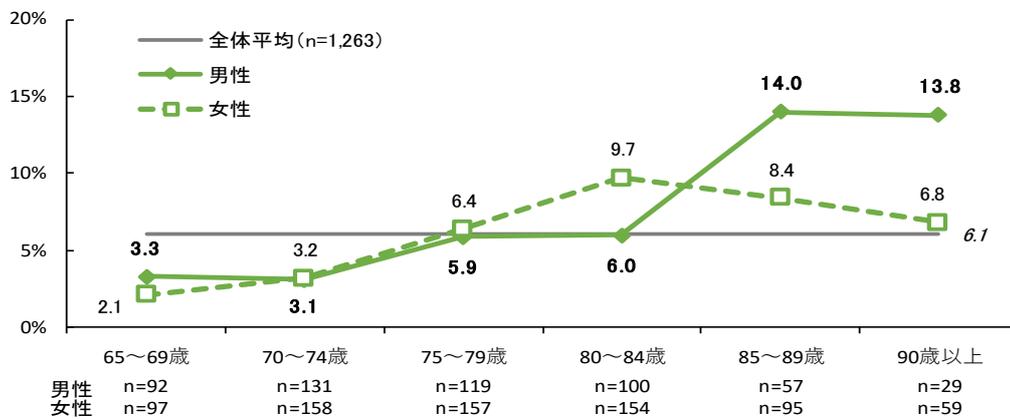
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3(5)	口の渇きが気になりますか	1. はい

【リスク該当状況】

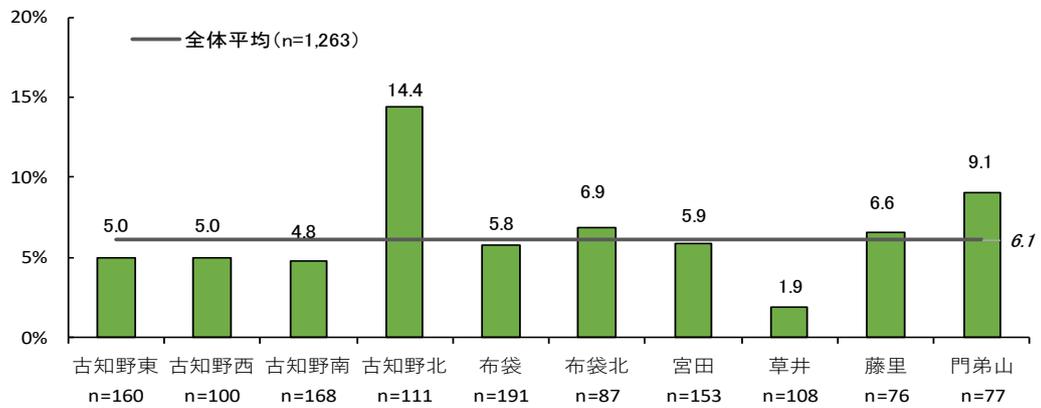
口腔の評価結果をみると、全体平均で6.1%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。性別・年代別では、女性は75～79歳で全体平均を上回り、80～84歳が9.7%と最も高くなっています。一方、男性は85～89歳で14.0%と全体平均を上回り、80～84歳に比べ8.0ポイント増加しています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野北、布袋北、藤里、門弟山で該当者割合が全体平均の6.1%を超えています。また、最も高い小学校区は古知野北で14.4%、最も低い小学校区は草井で1.9%となっており、12.5ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(4) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち問2(6)に該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

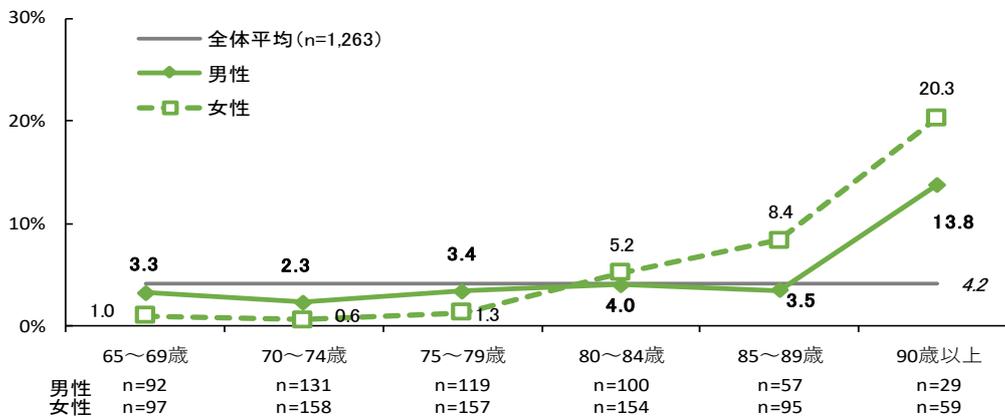
問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
問2(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている

【リスク該当状況】

閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で4.2%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

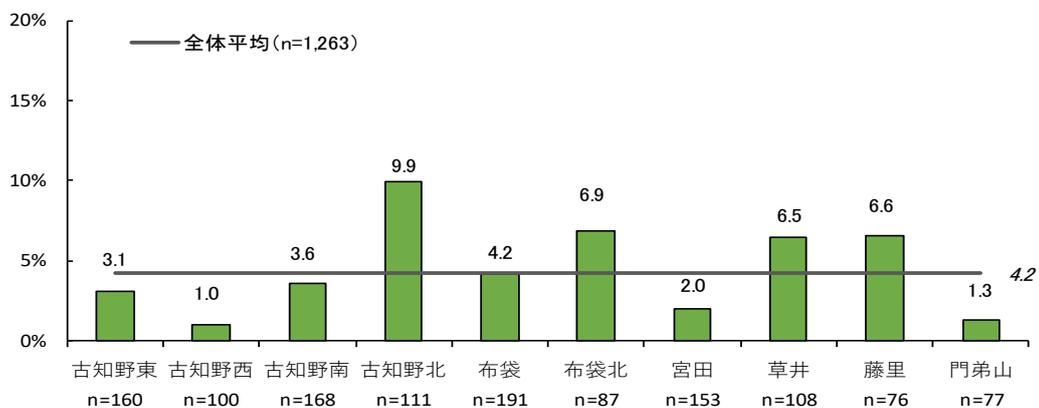
性別・年代別では、65～79歳で女性より男性が高く、80歳以上では女性が高くなっています。また、女性は80～84歳で全体平均を上回っています。一方、男性は65～89歳までは全体平均以内で横ばいで推移し、90歳以上では13.8%と全体平均を大きく上回っています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野北、布袋北、草井、藤里で該当者割合が全体平均の4.2%を超えています。また、最も高い小学校区は古知野北で9.9%、最も低い小学校区は古知野西で1.0%となっており、8.9ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(5) 認知機能

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち1項目でも該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

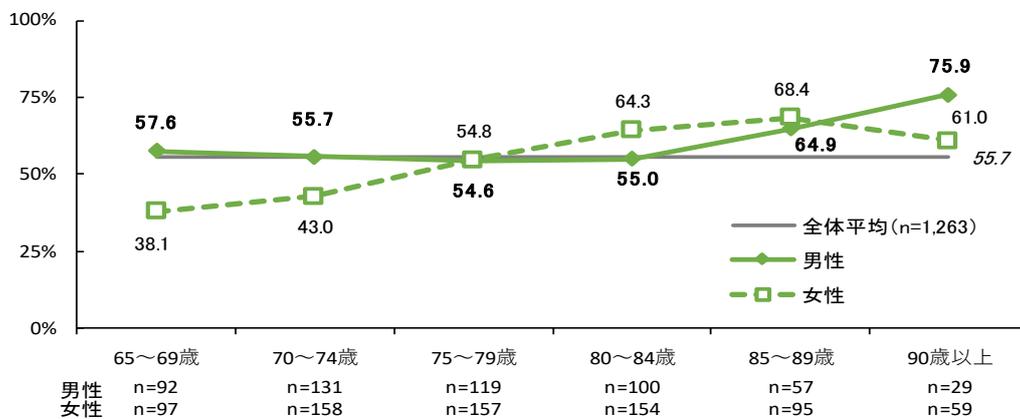
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (9)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問4 (14)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問4 (15)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ

【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、全体平均で 55.7%が認知機能低下のリスク該当者となっています。

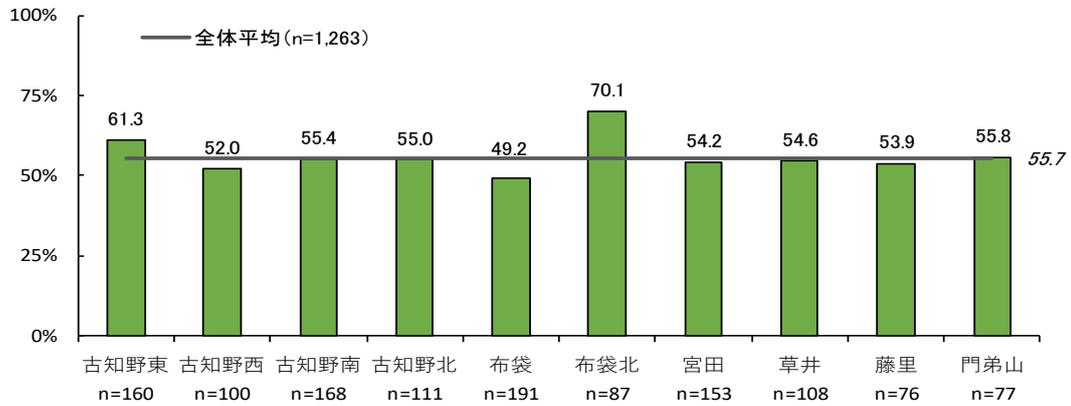
性別・年代別では、女性で 80～84 歳、男性で 85～89 歳で全体平均を上回り、女性で 85～89 歳が 68.4%、男性で 90 歳以上が 75.9%と、最もリスクが高くなっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、布袋北、門弟山で該当者割合が全体平均の 55.7%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 70.1%、最も低い小学校区は布袋で 49.2%となっており、20.9 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(6) うつ

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち2項目以上該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

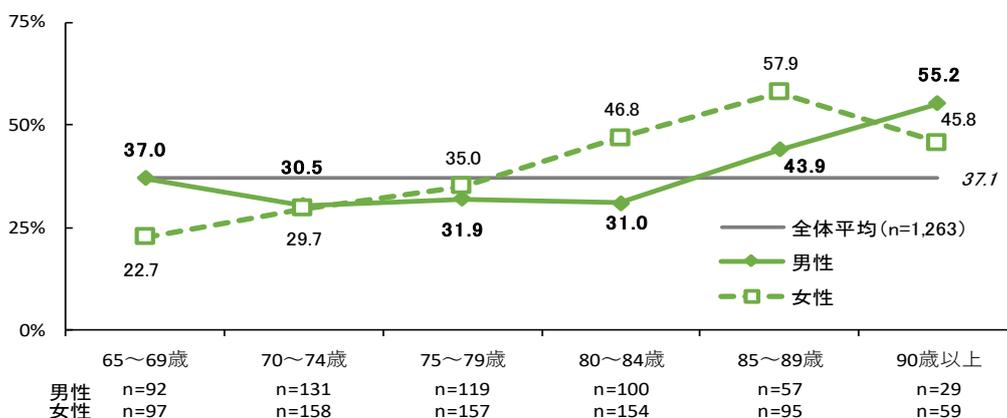
問番号	設問	該当する選択肢
問7(4)	この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じますか	1. はい
問7(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい
問7(6)	この1か月間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか	1. はい
問7(7)	この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じますか	1. はい
問7(8)	この1か月間、わけもなく疲れたような感じがしますか	1. はい

【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、全体平均で37.1%がうつのリスク該当者となっています。

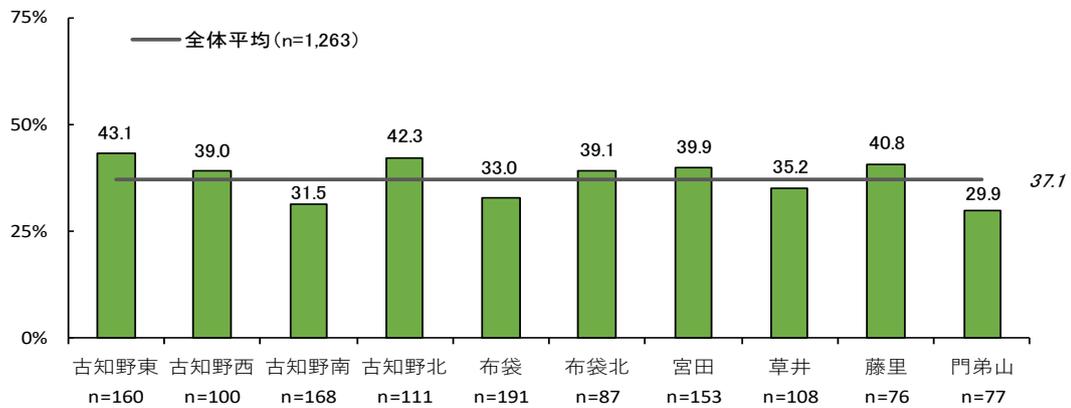
性別・年代別では、男性で80～84歳までは横ばいで推移し、85～89歳で43.9%と全体平均を上回っています。一方、女性は加齢とともに高くなり、80～84歳で全体平均を上回り、85～89歳が57.9%と最も高くなっています。また、男女差は80～84歳が15.8ポイントと最も広がっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、古知野西、古知野北、布袋北、宮田、藤里で該当者割合が全体平均の37.1%を超えています。また、最も高い小学校区は古知野東で43.1%、最も低い小学校区は門弟山で29.9%となっており、13.2ポイントの差となっています。

【小学校区別】

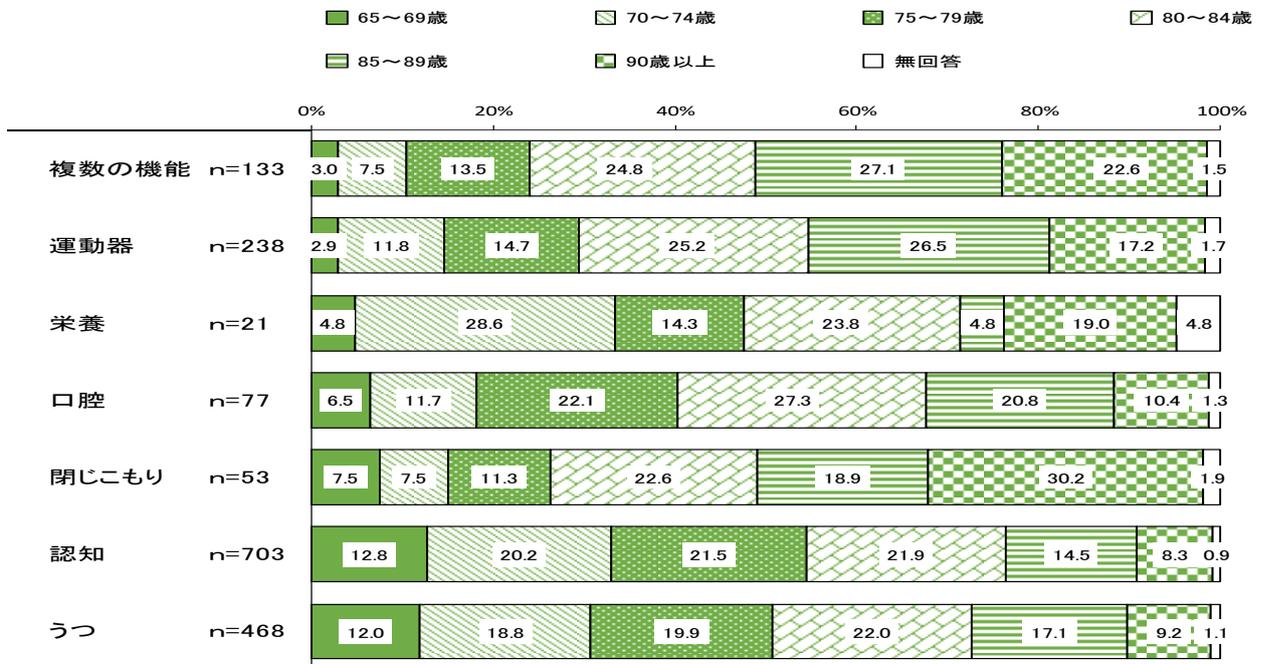


(7) 潜在的事業対象者

【年代別】

年代別では、複数の機能で 85～89 歳の割合が 27.1%と最も高く、次いで 80～84 歳の割合が 24.8%、90 歳以上の割合が 22.6%となっています。

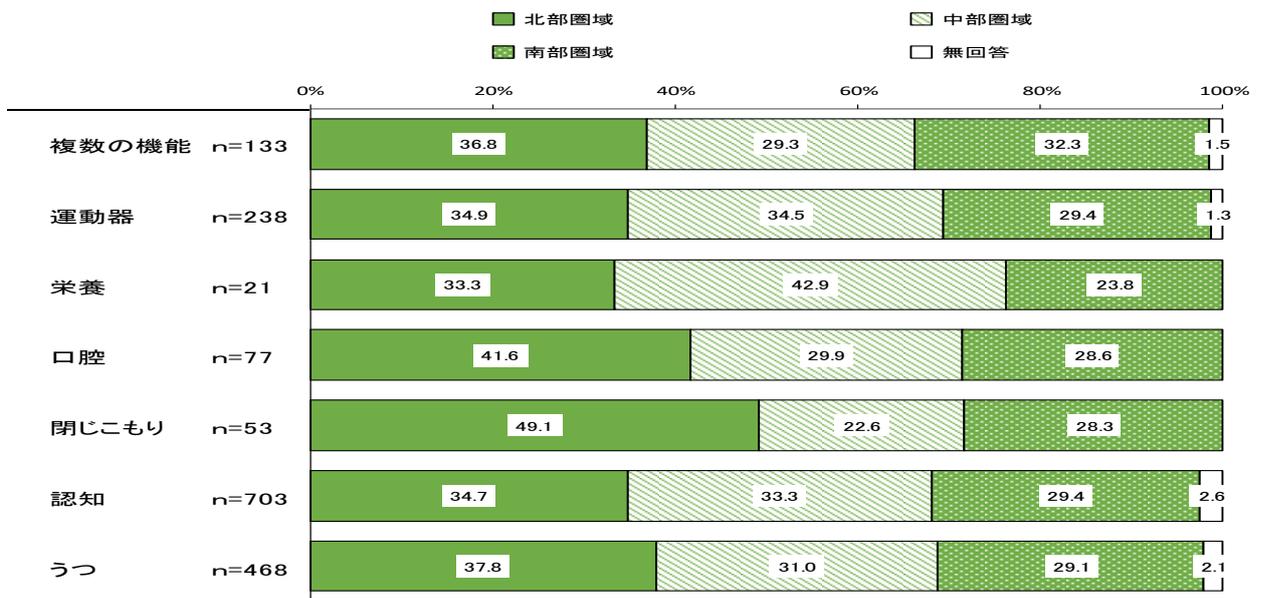
複数の機能に比べ、栄養が 70～74 歳で 21.1 ポイント高くなっています。



【圏域別】

圏域別では、複数の機能で北部圏域の割合が 36.8%と最も高く、次いで南部圏域の割合が 32.3%、中部圏域の割合が 29.3%となっています。

複数の機能に比べ、北部圏域では閉じこもり、中部圏域では栄養の割合が高くなっています。



3 認知機能に支障が出ている可能性のある該当者割合の分析

認知機能のチェックリスト項目の該当 10 項目のうち、5 項目以上該当する人を認知機能に支障が出ている可能性のある該当者としました。

【該当設問】

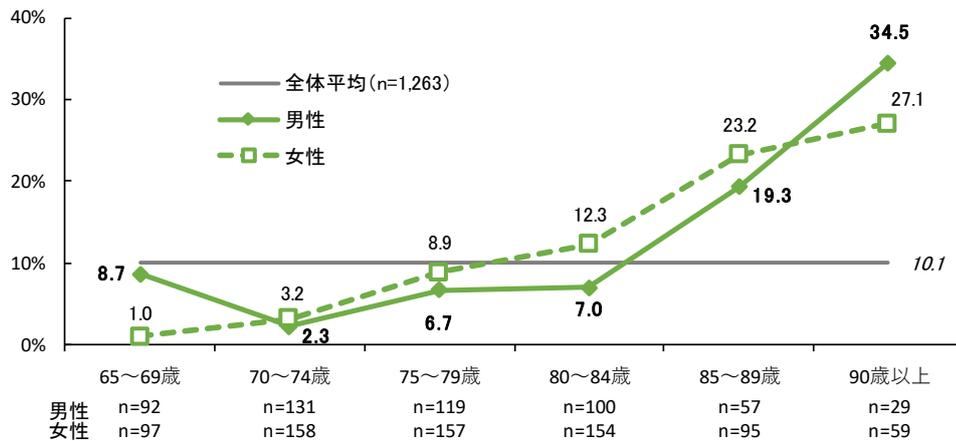
問番号	設問	該当する選択肢
問 4 (1)	バスや電車を使って 1 人で外出していますか（自家用車でも可）	3. できない
問 4 (2)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	3. できない
問 4 (5)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない
問 4 (6)	自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか	2. いいえ
問 4 (10)	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	1. はい
問 4 (11)	5 分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	1. はい
問 4 (12)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1. はい
問 4 (13)	言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか	1. はい
問 4 (14)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問 4 (15)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ

【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、全体平均で 10.1%が認知機能に支障が出ている可能性のある該当者となっています。

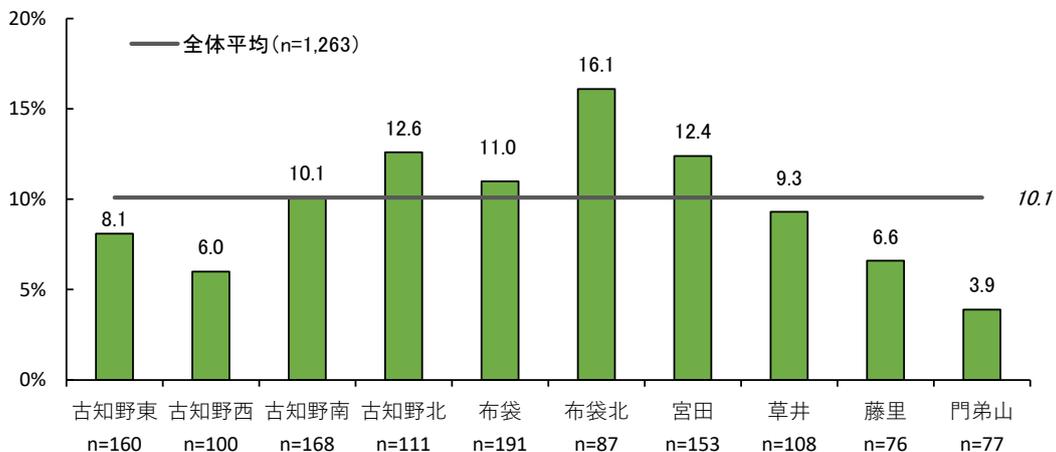
性別・年代別では、男性・女性ともに 85 歳以上で上昇し、男性は 85～89 歳で 19.3%と 80～84 歳に比べ 12.3 ポイント、90 歳以上で 85～89 歳に比べ 15.2 ポイントと大きく増加しています。一方、女性も 85～89 歳で 23.2%と 80～84 歳に比べ 10.9 ポイントと大きく増加しています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野北、布袋、布袋北、宮田で該当者割合が全体平均の 10.1%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 16.1%、最も低い小学校区は門弟山で 3.9%となっており、12.2 ポイントの差となっています。

【小学校区別】

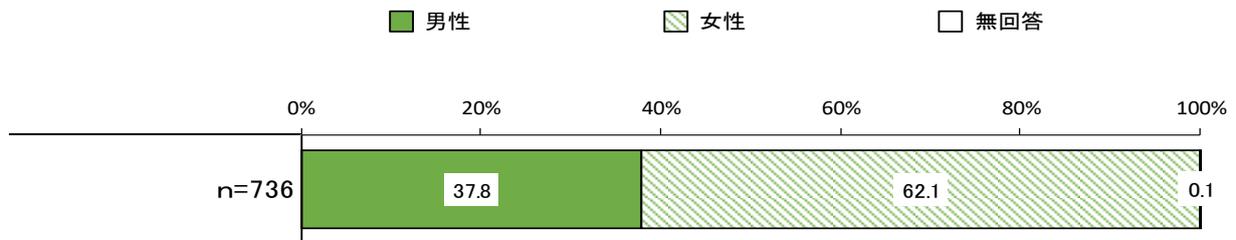


IV 在宅介護実態調査結果

○あなた自身のことについて

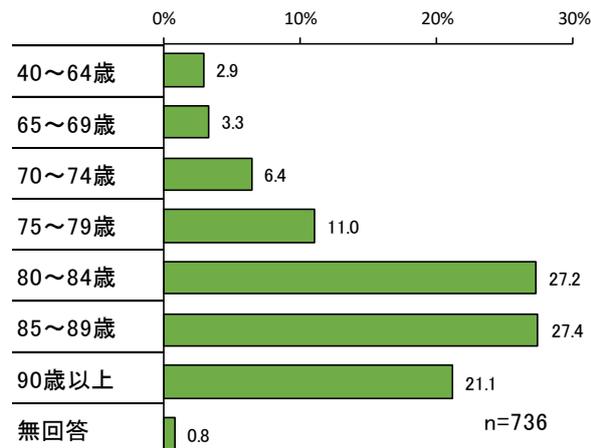
問1 あなた（封書の宛名の方です。以下同じです。）の性別は、どちらですか。（1つを選択）

「男性」が37.8%、「女性」が62.1%となっています。



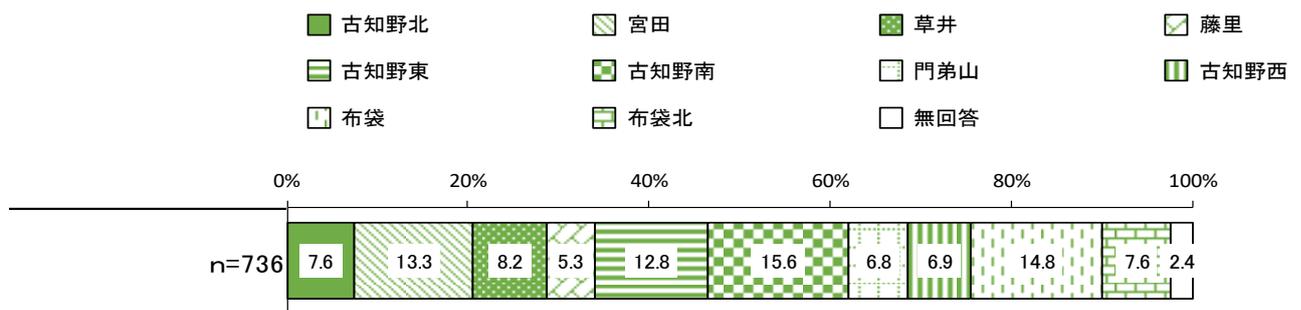
問2 あなたの年齢は、おいくつですか。（令和5年1月1日現在）（1つを選択）

「85～89歳」が27.4%で最も高く、次いで「80～84歳」が27.2%、「90歳以上」が21.1%となっています。



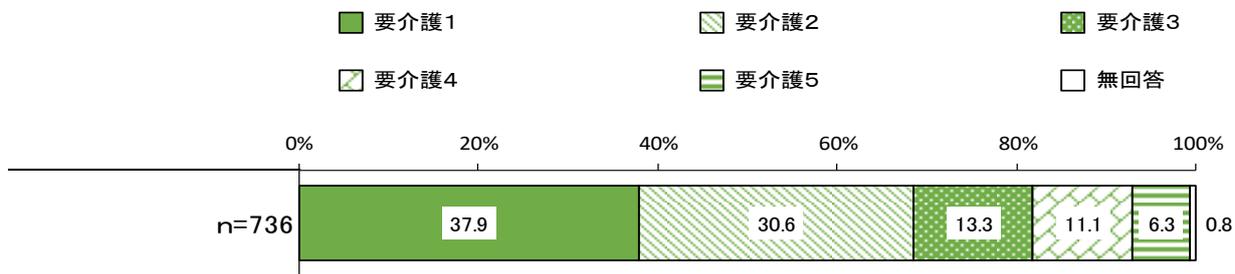
問3 あなたは、どちらの小学校区にお住まいですか。（1つを選択）

「古知野南」が15.6%で最も高く、次いで「布袋」が14.8%、「宮田」が13.3%となっています。



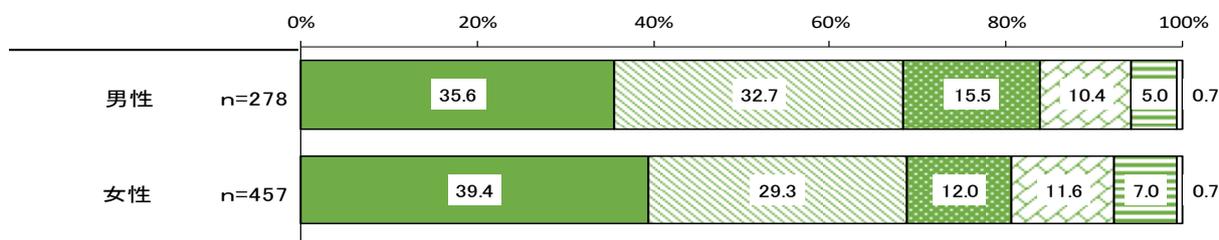
問4 現在認定されている要介護度は何ですか。（1つを選択）

「要介護1」が37.9%で最も高く、次いで「要介護2」が30.6%、「要介護3」が13.3%となっています。



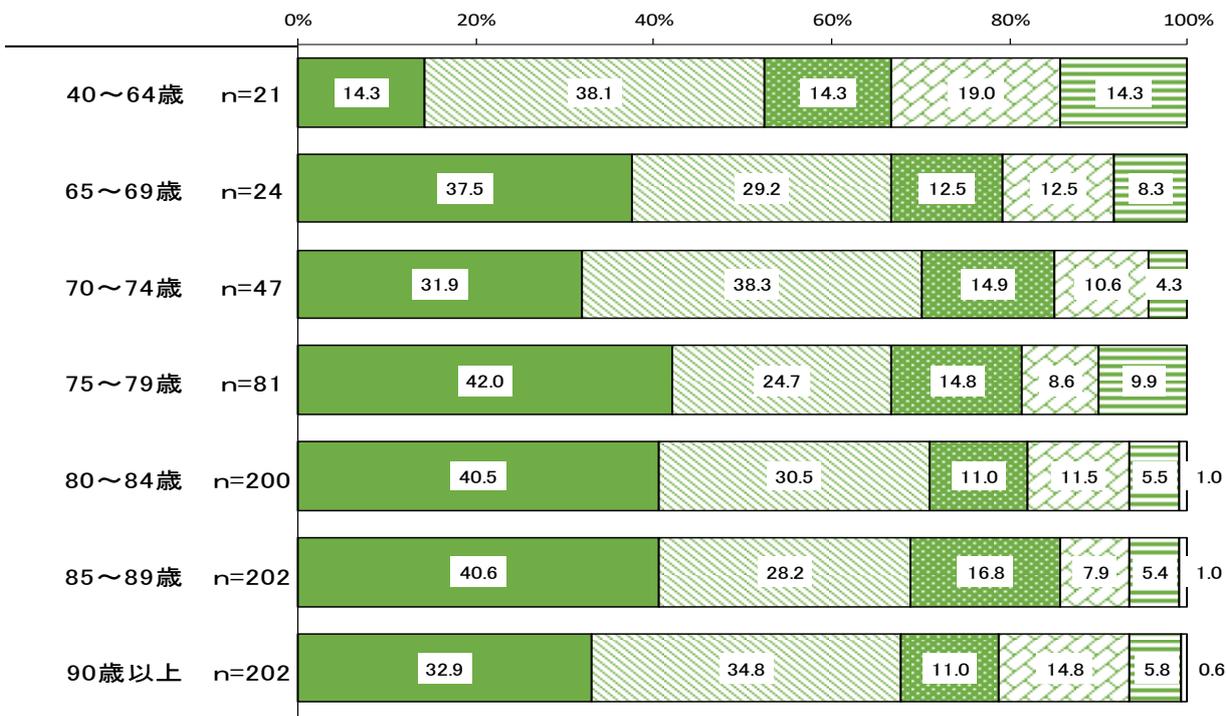
【性別】

性別では、男性と比べ、女性で「要介護1」（39.4%）が3.8ポイント高くなっています。



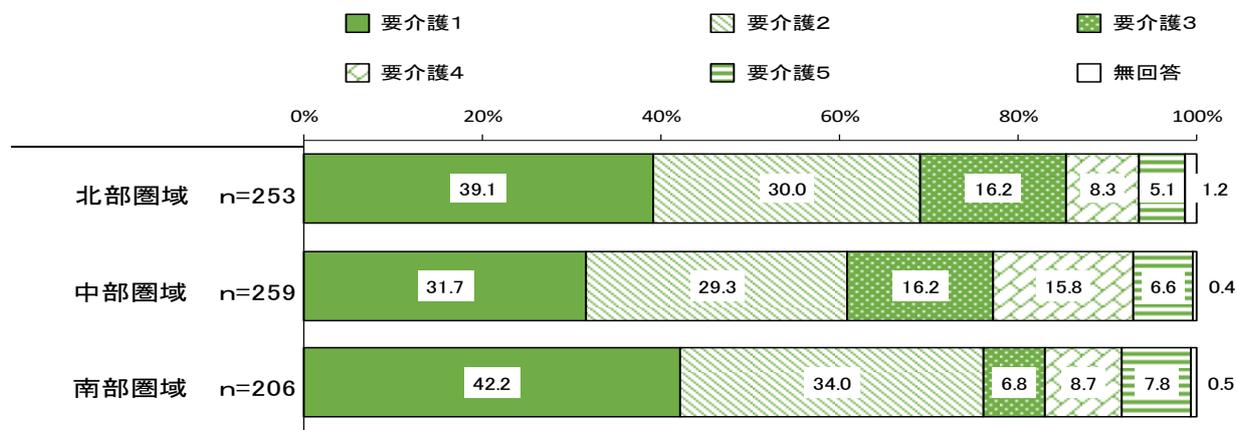
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「要介護5」（14.3%）の割合が高くなっています。



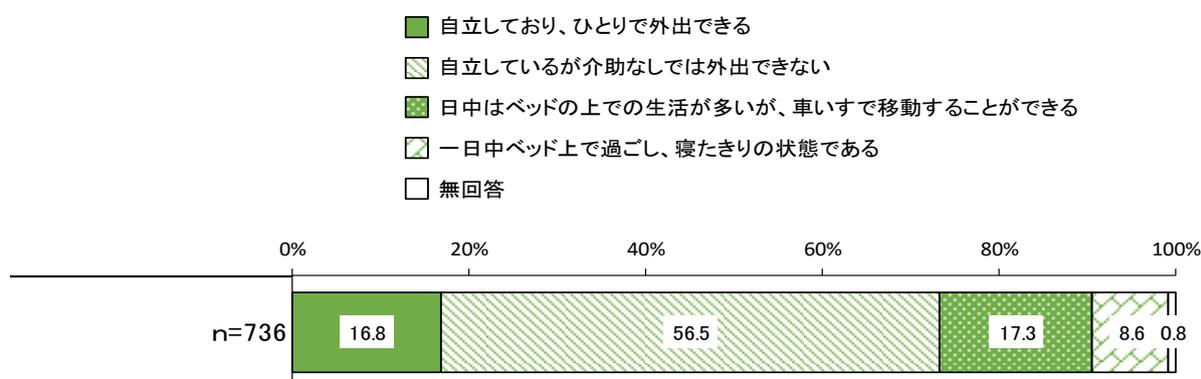
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「要介護1」（42.2%）の割合が高くなっています。



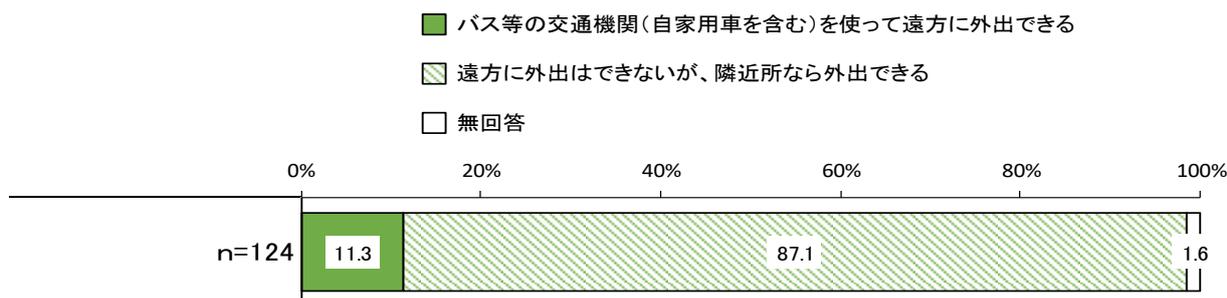
問5 あなたの生活状況は以下のどの状態に近いですか。次の番号から選んでください。（1つを選択）

「自立しているが介助なしでは外出できない」が 56.5%で最も高く、次いで「日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる」が 17.3%、「自立しており、ひとりで外出できる」が 16.8%となっています。



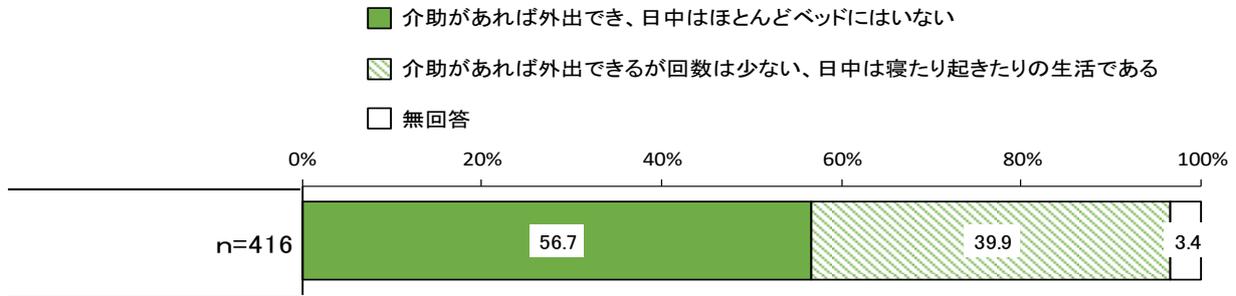
問5-1 「1. 自立しており、ひとりで外出できる」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

「遠方に外出はできないが、隣近所なら外出できる」が 87.1%、「バス等の交通機関（自家用車を含む）を使って遠方に外出できる」が 11.3%となっています。



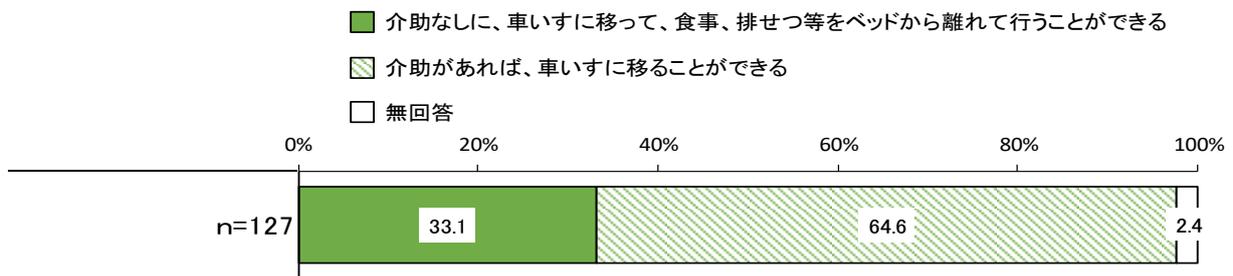
問5-2 「2. 自立しているが介助なしでは外出できない」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

「介助があれば外出でき、日中はほとんどベッドにはいない」が 56.7%、「介助があれば外出できるが回数は少ない、日中は寝たり起きたりの生活である」が 39.9%となっています。



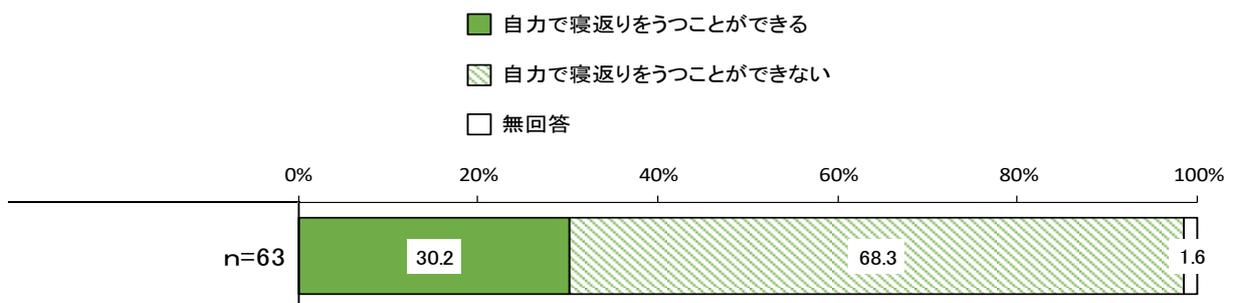
問5-3 「3. 日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

「介助があれば、車いすに移ることができる」が 64.6%、介助なしに、車いすに移って、食事、排せつ等をベッドから離れて行うことができる」が 33.1%となっています。



問5-4 「4. 一日中ベッド上で過ごし、寝たきりの状態である」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

「自力で寝返りをうつことができない」が 68.3%、「自力で寝返りをうつことができる」が 30.2%となっています。

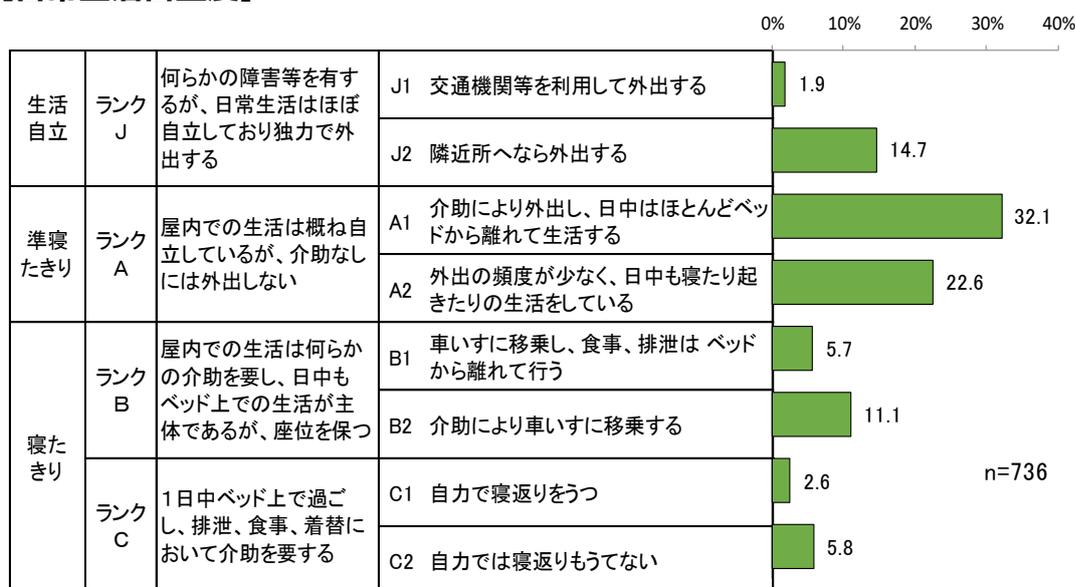


<日常生活自立度>

問5と問5-1～4から日常生活自立度を判定しました。

「A1：介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」が32.1%と最も高く、次いで「A2：外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」(22.6%)、「J2：隣近所へなら外出する」(14.7%)となっています。

【日常生活自立度】



【性別・年代別】

性別では、男性・女性ともに「A 1：介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」の割合が高くなっています。

年代別では、各年代で「A 1：介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」の割合が高くなっており、65～69歳以上は年代が上がるほど割合は下がっていく傾向があります。

単位：％

区分	全体 (件)	生活 自立 J 1	生活 自立 J 2	準 寝 た き り A 1	準 寝 た き り A 2	寝 た き り B 1	寝 た き り B 2	寝 た き り C 1	寝 た き り C 2	無 回 答
性別										
男性	278	2.5	16.9	32.7	25.2	5.8	8.3	2.5	4.7	1.4
女性	457	1.5	13.3	31.5	21.0	5.7	12.9	2.6	6.6	4.8
年代別										
40～64歳	21	0.0	4.8	42.9	28.6	0.0	9.5	0.0	9.5	4.8
65～69歳	24	4.2	8.3	50.0	12.5	4.2	8.3	4.2	8.3	0.0
70～74歳	47	2.1	14.9	44.7	23.4	2.1	8.5	2.1	2.1	0.0
75～79歳	81	1.2	12.3	28.4	22.2	7.4	11.1	3.7	6.2	7.4
80～84歳	200	2.5	14.5	33.0	23.5	6.0	8.5	2.5	5.5	4.0
85～89歳	202	2.5	20.3	29.7	22.3	4.5	10.9	1.5	4.5	4.0
90歳以上	155	0.6	11.0	27.7	21.9	8.4	16.1	3.9	8.4	1.9

【圏域別】

圏域別では、すべての圏域で「A 1：介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」の割合が高くなっています。

単位：％

圏域別	全体 (件)	生活 自立 J 1	生活 自立 J 2	準 寝 た き り A 1	準 寝 た き り A 2	寝 た き り B 1	寝 た き り B 2	寝 た き り C 1	寝 た き り C 2	無 回 答
北部圏域	253	2.0	15.0	33.2	22.1	5.5	11.5	2.4	4.7	3.6
中部圏域	259	2.3	12.4	29.7	21.6	6.2	14.3	3.1	6.9	3.5
南部圏域	206	1.5	16.5	33.0	24.8	5.3	7.8	2.4	6.3	2.4

【要介護度別】

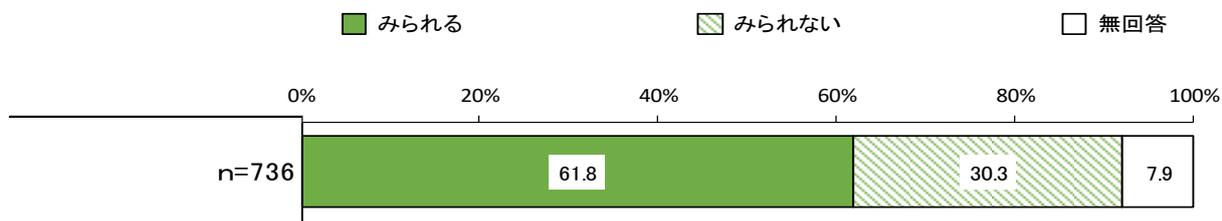
要介護度別では、要介護3までは「A 1：介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」の割合が高くなっていますが、要介護4で「B2：介助により車いすに移乗する」(37.8%)、要介護5で「C2：自力では寝返りもつてない」(50.0%)の割合が高くなっています。

単位：％

要介護度別	全体 (件)	生活 自立 J 1	生活 自立 J 2	準 寝 た き り A 1	準 寝 た き り A 2	寝 た き り B 1	寝 た き り B 2	寝 た き り C 1	寝 た き り C 2	無 回 答
要介護1	279	3.9	29.4	36.2	23.7	2.2	1.4	0.7	0.4	2.2
要介護2	225	1.3	10.2	39.6	30.2	7.1	6.7	0.4	0.4	4.0
要介護3	98	0.0	2.0	29.6	24.5	12.2	22.4	4.1	1.0	4.1
要介護4	82	0.0	0.0	13.4	8.5	6.1	37.8	11.0	19.5	3.7
要介護5	46	0.0	0.0	6.5	0.0	6.5	21.7	6.5	50.0	8.7

問6 認知症の症状（記憶が抜け落ちてしまう、日時や場所がわからない、今までできたことができなくなる等）がみられますか。（1つを選択）

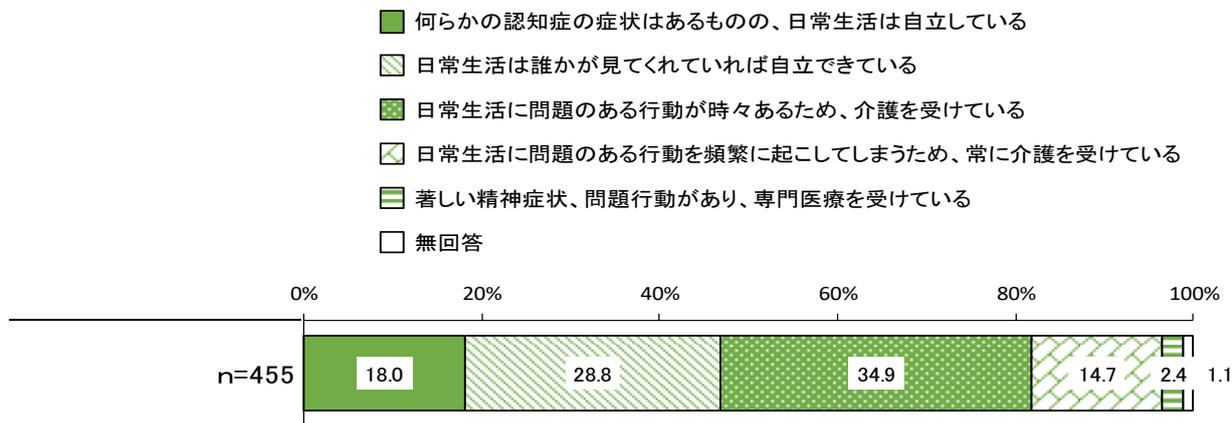
「みられる」が61.8%、「みられない」が30.3%となっています。



（問6で「1. みられる」とお答えの方に）

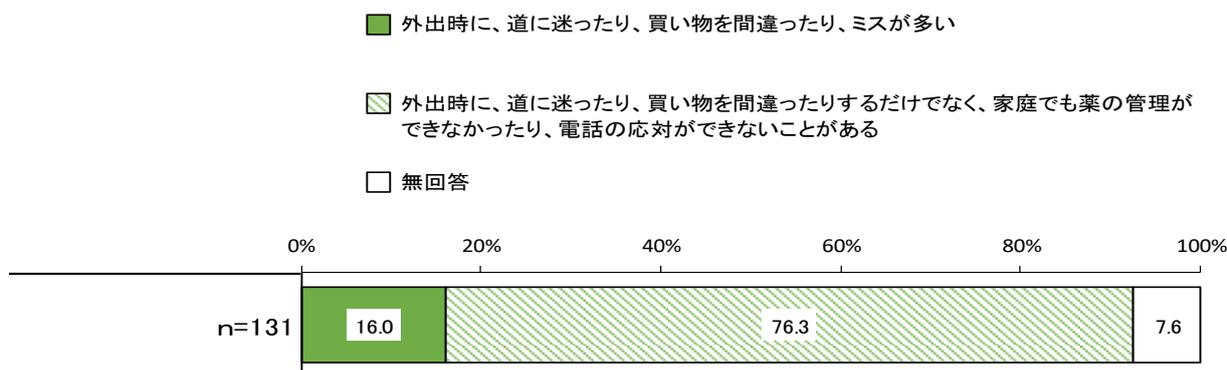
問6-1 それは以下のどの状態に近いですか。（1つを選択）

「日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」が34.9%で最も高く、次いで「日常生活は誰かが見てくれていると自立できている」が28.8%、「何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している」が18.0%となっています。



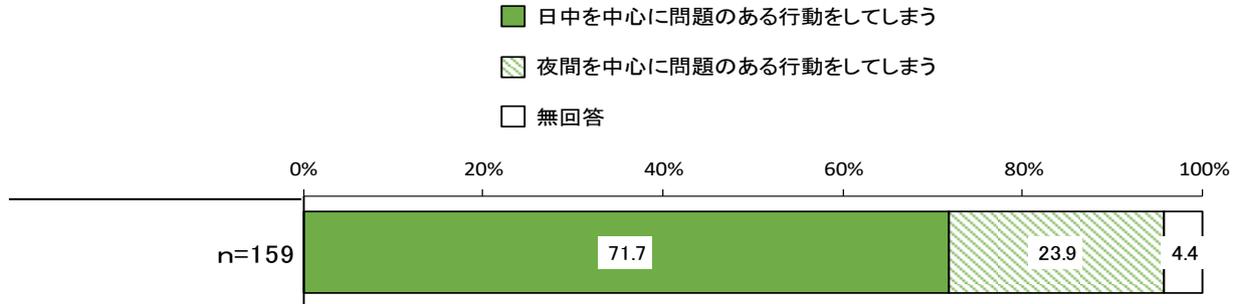
問6-2 「2. 日常生活は誰かが見てくれていると自立できている」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも、薬の管理ができなかったり、電話の対応ができないことがある」が76.3%、「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い」が16.0%となっています。



問6-3 「3. 日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。（1つを選択）

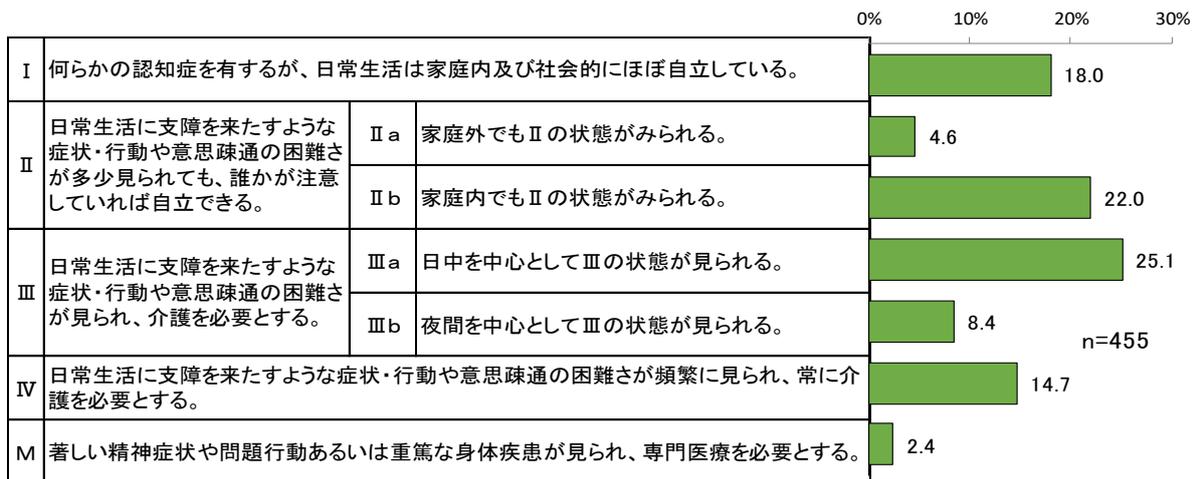
「日中を中心に問題のある行動をしてしまう」が 71.7%、「夜間を中心に問題のある行動をしてしまう」が 23.9%となっています。



<認知症高齢者の日常生活自立度>（問6で「1.みられる」と回答された方が対象です。）
問6と問6-1～3から日常生活自立度を判定しました。

「Ⅲa：日中を中心に日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。」が 25.1%で最も高く、次いで「Ⅱb：家庭内で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が 22.0%、「Ⅰ：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が 18.0%となっています。

【認知症高齢者の日常生活自立度】



【性別・年代別】

性別では、男性では「Ⅱb：家庭内で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」（21.7%）の割合が高く、女性で「Ⅲa：日中を中心に日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。」（28.1%）の割合が高くなっています。

年代別では、70歳以上で「Ⅲa：日中を中心に日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。」の割合が高くなっています。

単位：%

全体		Ⅰ に日何 ほ常ら ぼ生か 自活の 立は認 し家知 て庭症 を有す る。及 び社会 的	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ 護難な日 をさ症常 をが状生 要頻・活 と繁行に す。見や られ、思 常通の 介困	Ⅴ れる著 、いし 専はい 門重精 医篤神 療な症 を身体 を必要 とする 。	無 回 答
			Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b			
			みⅡ家 らの庭 れ状外 る。態 がも	みⅡ家 らの庭 れ状内 る。態 がも	れ状と日 。態し中 。がてを 見Ⅲ中 らの心	れ状と夜 。態し間 。がてを 見Ⅲ中 らの心			
男性	152	14.5	6.6	21.7	19.1	13.8	12.5	4.6	7.2
女性	303	19.8	3.6	22.1	28.1	5.6	15.8	1.3	3.6

性別

男性	152	14.5	6.6	21.7	19.1	13.8	12.5	4.6	7.2
女性	303	19.8	3.6	22.1	28.1	5.6	15.8	1.3	3.6

年代別

40～64歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
65～69歳	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳	23	21.7	0.0	21.7	26.1	4.3	13.0	4.3	8.7
75～79歳	52	15.4	1.9	25.0	30.8	5.8	11.5	0.0	9.6
80～84歳	112	21.4	3.6	22.3	25.0	9.8	10.7	0.9	6.3
85～89歳	143	16.1	4.9	20.3	26.6	6.3	17.5	4.2	4.2
90歳以上	116	18.1	6.9	22.4	22.4	10.3	16.4	1.7	1.7

【圏域別】

圏域別では、北部圏域、南部圏域で「Ⅲa：日中を中心に日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。」（北部：30.4%、南部：25.4%）の割合が高くなっています。

圏域別

単位：%

北部圏域	158	12.7	7.6	20.9	30.4	8.9	14.6	1.3	3.8
中部圏域	169	21.9	3.0	21.9	19.5	8.3	17.8	3.0	4.7
南部圏域	122	20.5	3.3	23.0	25.4	8.2	10.7	3.3	5.7

【要介護度別】

要介護度別では、要介護４・５で「Ⅳ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。」（要介護４：37.7%。要介護５：30.0%）の割合が高く、要介護５では「Ⅲa：日中を中心に日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。」（30.0%）も割合が高くなっています。

単位：%

全体	Ⅰ に日何 ほ常ら ぼ生か 自活の 立は認 し家知 て庭症 を有す る。及 び社会 的	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ 護難な をさ症 をが状 要頻・ と繁行 に動や 見ら意 れ、疎 常通の に介困	Ⅴ れる著 、いし 専はい 門重精 医篤神 療な症 を身状 を必体 要疾問 と患者 する。見 動	無 回 答	
		Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b				
		みⅡ家 らの庭 外態も れ状外 態がも	みⅡ家 らの庭 内態も れ状内 態がも	れ状と日 態し中 が見Ⅲ中 の心	れ状と夜 態し間 が見Ⅲ中 の心				
要介護1	186	28.0	8.1	26.9	23.7	3.2	7.0	0.0	3.2
要介護2	114	14.9	2.6	23.7	25.4	12.3	10.5	1.8	8.8
要介護3	70	7.1	2.9	24.3	24.3	14.3	17.1	4.3	5.7
要介護4	53	9.4	1.9	11.3	28.3	5.7	37.7	3.8	1.9
要介護5	30	6.7	0.0	0.0	30.0	16.7	30.0	13.3	3.3

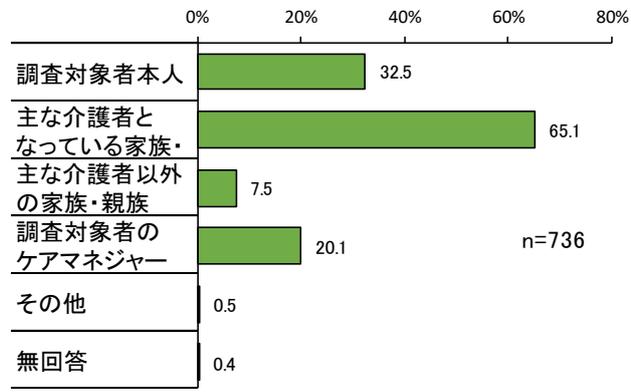
要介護度別

要介護1	186	28.0	8.1	26.9	23.7	3.2	7.0	0.0	3.2
要介護2	114	14.9	2.6	23.7	25.4	12.3	10.5	1.8	8.8
要介護3	70	7.1	2.9	24.3	24.3	14.3	17.1	4.3	5.7
要介護4	53	9.4	1.9	11.3	28.3	5.7	37.7	3.8	1.9
要介護5	30	6.7	0.0	0.0	30.0	16.7	30.0	13.3	3.3

1 調査対象者様ご本人について（A票）

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのはどなたですか。（複数回答可）

「主な介護者となっている家族・親族」が 65.1%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が 32.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が 20.1%となっています。



【年代別】

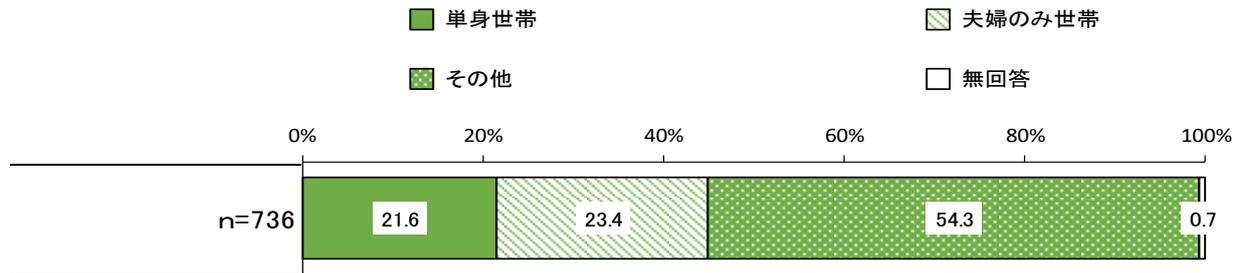
年代別では、年代が上がるにつれ「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	ケアマネジャー	調査対象者のケア	その他	無回答
年代別								
40～64歳	21	47.6	42.9	9.5	19.0	0.0	4.8	
65～69歳	24	45.8	50.0	8.3	25.0	0.0	0.0	
70～74歳	47	42.6	53.2	8.5	21.3	0.0	0.0	
75～79歳	81	43.2	55.6	7.4	22.2	1.2	0.0	
80～84歳	200	38.0	64.0	6.0	17.5	1.0	0.5	
85～89歳	202	26.2	73.3	6.4	19.8	0.5	0.5	
90歳以上	155	18.7	71.6	10.3	20.6	0.0	0.0	

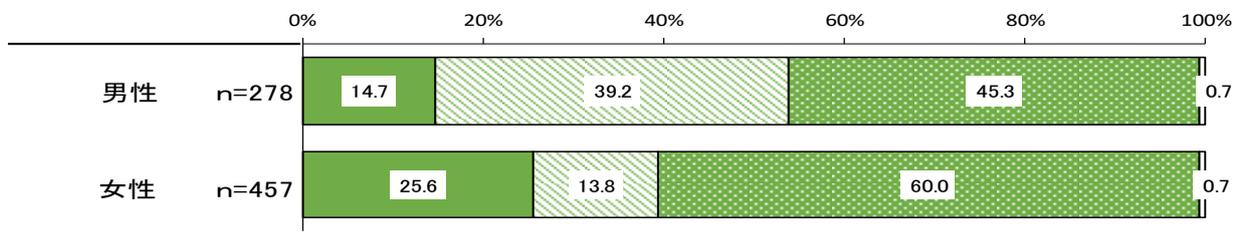
問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

「単身世帯」が21.6%、「夫婦のみ世帯」が23.4%となっています。



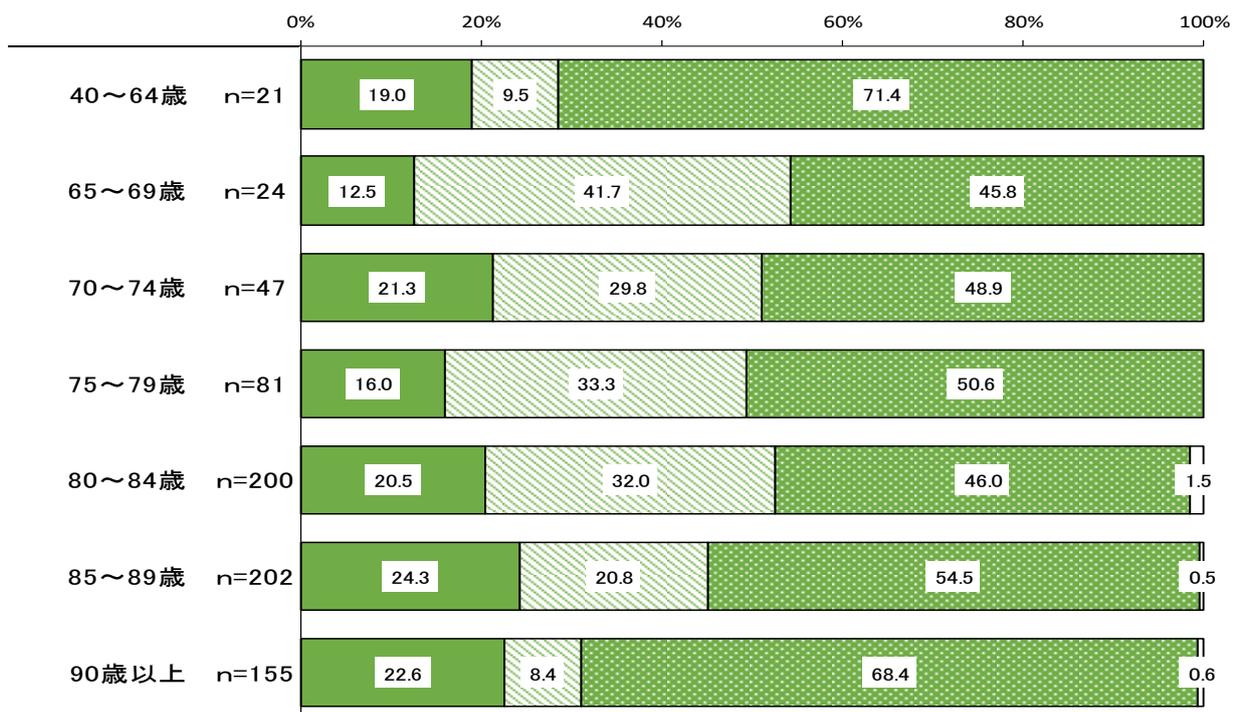
【性別】

性別では、女性と比べ、男性で「夫婦のみ世帯」（39.2%）の割合が高くなっています。



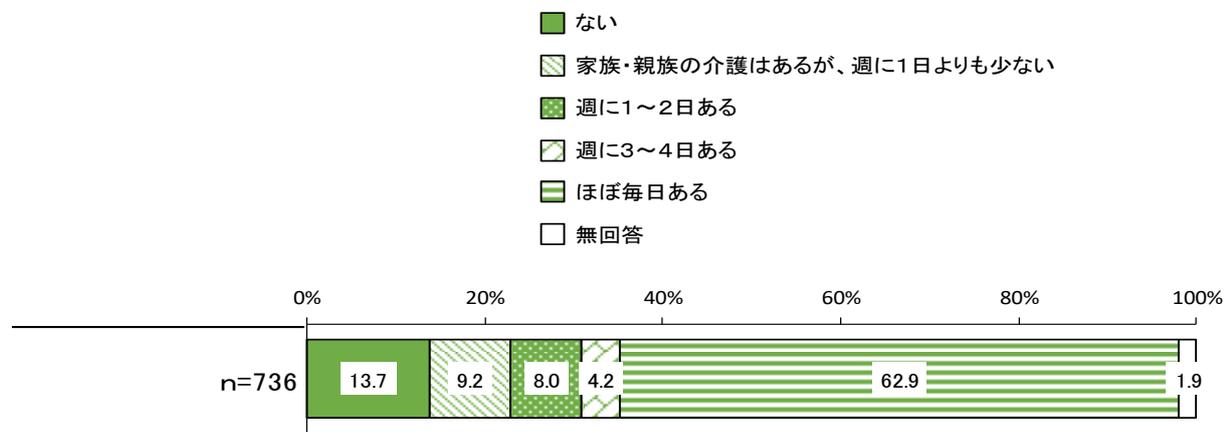
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「夫婦のみ世帯」（41.7%）の割合が高くなっています。



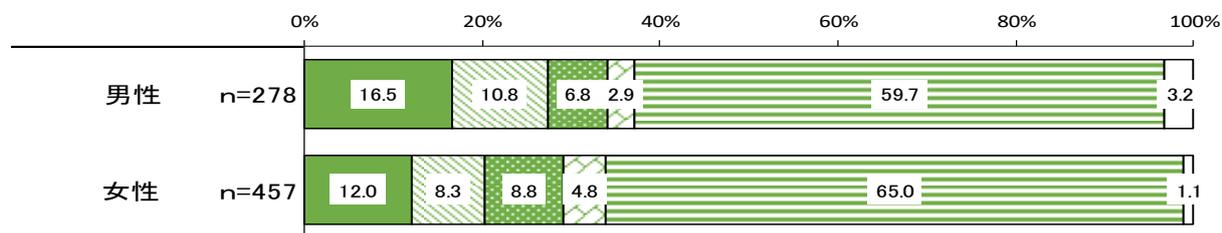
問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

「ほぼ毎日ある」が62.9%で最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない」が9.2%、「週に1～2日ある」が8.0%、「週に3～4日ある」が4.2%となっています。一方、「ない」は13.7%となっています。



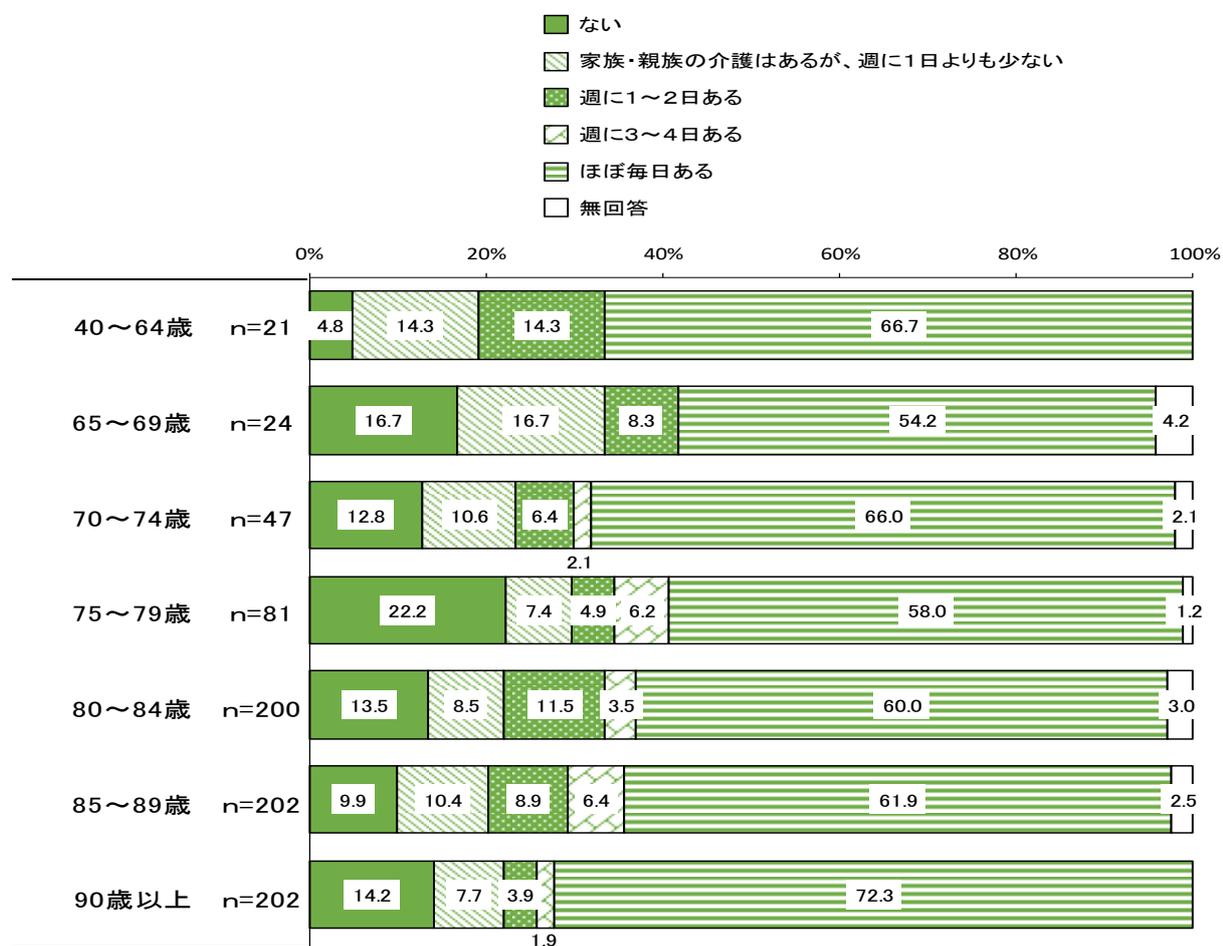
【性別】

性別では、男性と比べ、女性で「ほぼ毎日ある」(65.0%)の割合が高くなっています。



【年代別】

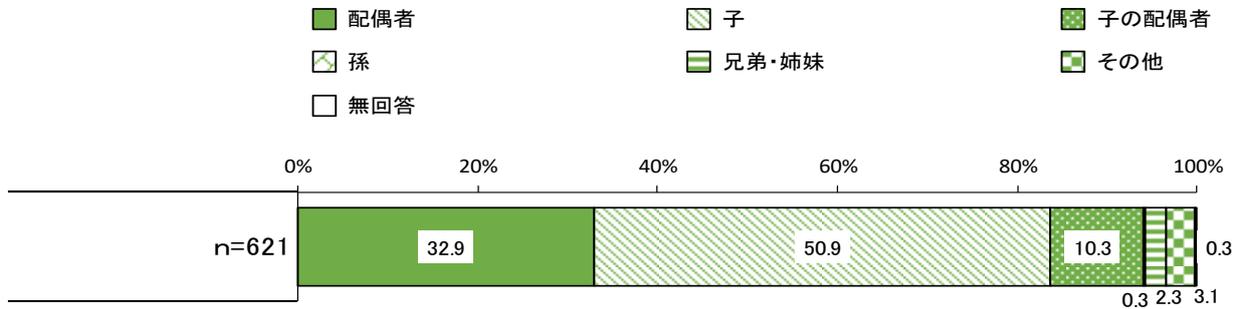
年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「ない」（22.2%）の割合が高くなっています。また、90歳以上で「ほぼ毎日ある」（72.3%）の割合が高くなっています。



問4～問8は主な介護者がいる方が回答の対象者です。

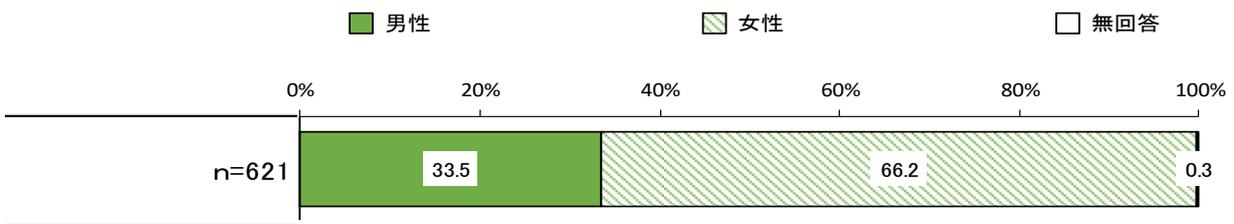
問4 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

「子」が50.9%で最も高く、次いで「配偶者」が32.9%、「子の配偶者」が10.3%となっています。



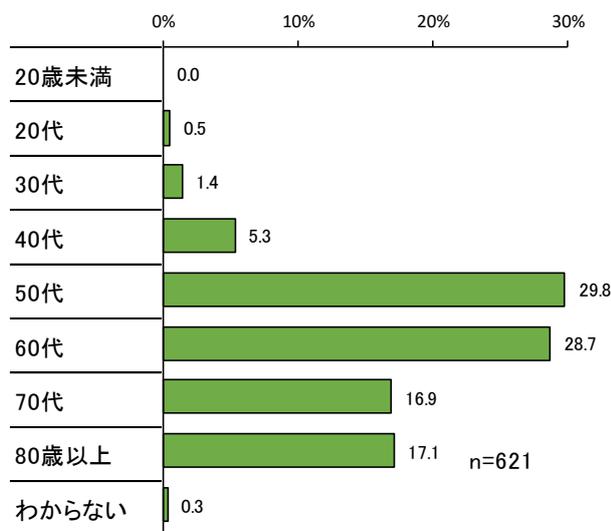
問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」が33.5%、「女性」が66.2%となっています。



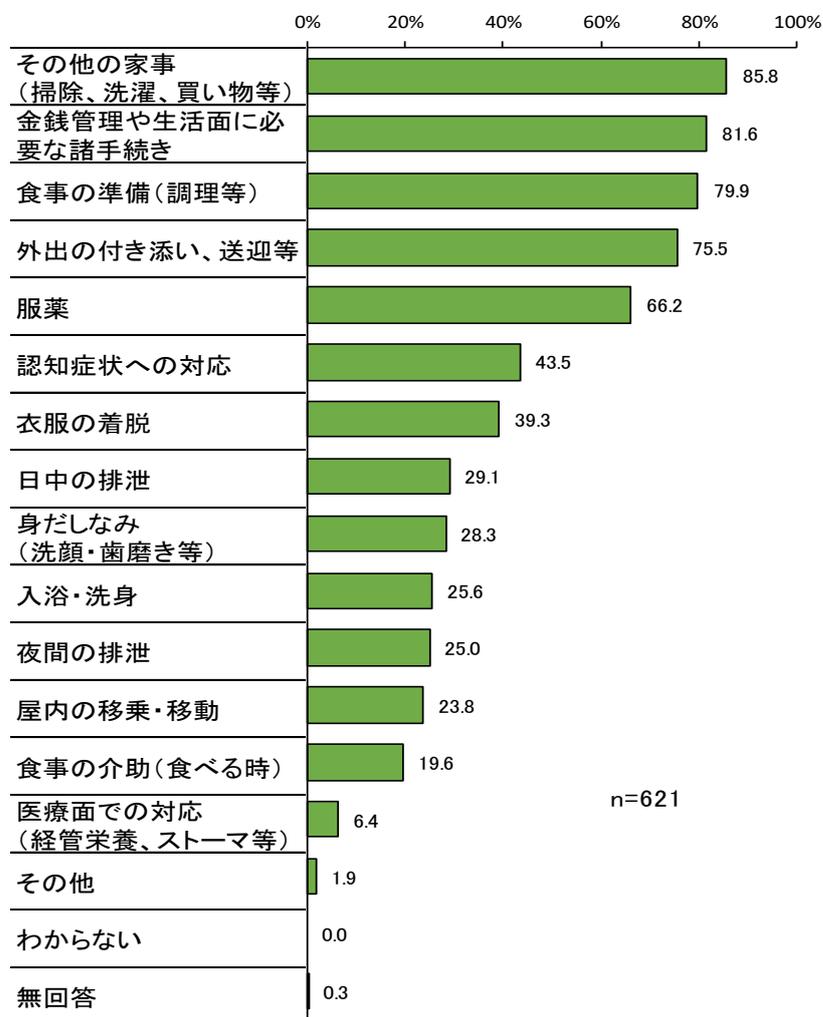
問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

「50代」が29.8%で最も高く、次いで「60代」が28.7%、「80歳以上」が17.1%となっています。



問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数選択可)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 85.8%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 81.6%、「食事の準備（調理等）」が 79.9%となっています。



【年代別】

年代別では、75～79歳を除いたすべての年代で「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 （食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、	服薬
----	-------	-------	-------	-----------------	-------	--------------------	-------	----------	-----	----------	----

年代別

40～64歳	20	30.0	25.0	40.0	40.0	35.0	45.0	20.0	75.0	40.0
65～69歳	19	21.1	21.1	10.5	5.3	21.1	21.1	15.8	73.7	36.8
70～74歳	40	20.0	17.5	10.0	35.0	22.5	45.0	25.0	80.0	57.5
75～79歳	62	40.3	32.3	21.0	24.2	33.9	46.8	24.2	74.2	79.0
80～84歳	167	25.1	21.6	20.4	25.1	26.9	35.9	22.2	74.3	56.9
85～89歳	177	31.1	26.6	18.6	29.4	28.2	37.3	24.9	76.3	76.3
90歳以上	133	30.8	27.1	21.1	18.8	30.1	43.6	26.3	75.9	69.2

区分	全体（件）	認知症状への対応	医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事 （掃除、洗濯、買い物等）	諸手続き	金銭管理や生活面に必要な	その他	わからない	無回答
----	-------	----------	-------------------------	------------	------------------------	------	--------------	-----	-------	-----

年代別

40～64歳	20	15.0	10.0	75.0	85.0	80.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	19	0.0	5.3	73.7	84.2	68.4	0.0	0.0	0.0
70～74歳	40	37.5	2.5	82.5	87.5	77.5	2.5	0.0	0.0
75～79歳	62	48.4	14.5	85.5	82.3	79.0	0.0	0.0	1.6
80～84歳	167	38.3	6.6	79.0	86.2	80.2	1.2	0.0	0.0
85～89歳	177	53.1	6.2	76.8	84.7	83.1	3.4	0.0	0.0
90歳以上	133	47.4	3.8	84.2	88.7	86.5	2.3	0.0	0.8

【要介護度別】

要介護度別では、介護度が上がるにつれ、「日中の排泄」や「夜間の排泄」などの身体介護の割合が高くなっています。

単位：％

区分	全体（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
----	-------	-------	-------	-------------	-------	----------------	-------	----------	-------------	----

要介護度別

要介護 1	242	11.6	11.2	5.8	18.2	14.0	19.4	9.1	75.6	62.4
要介護 2	197	18.8	17.3	16.2	29.4	21.8	36.0	17.8	79.2	58.9
要介護 3	81	54.3	48.1	23.5	32.1	44.4	63.0	42.0	82.7	76.5
要介護 4	64	73.4	56.3	50.0	29.7	60.9	78.1	51.6	60.9	81.3
要介護 5	32	75.0	56.3	75.0	31.3	71.9	75.0	71.9	62.5	87.5

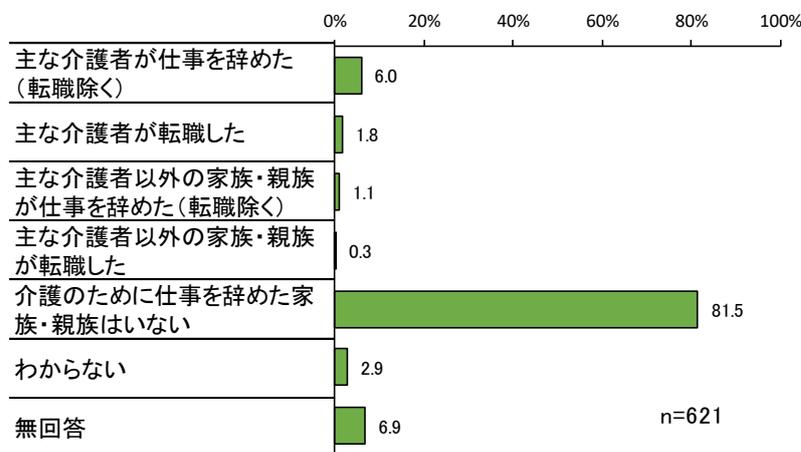
区分	全体（件）	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	諸手続き	金銭管理や生活面に必要な	その他	わからない	無回答
----	-------	----------	---------------------	------------	--------------------	------	--------------	-----	-------	-----

要介護度別

要介護 1	242	47.5	3.3	75.2	82.6	80.6	2.5	0.0	0.0
要介護 2	197	35.5	6.1	80.7	87.3	79.2	1.0	0.0	0.5
要介護 3	81	45.7	4.9	88.9	90.1	92.6	2.5	0.0	0.0
要介護 4	64	43.8	7.8	82.8	87.5	78.1	0.0	0.0	1.6
要介護 5	32	56.3	31.3	87.5	87.5	87.5	6.3	0.0	0.0

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は81.5%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.0%、「主な介護者が転職した」が1.8%となっています。



【介護者の性別・介護者の年代別】

性別では、大きな差異はみられません。

年代別では、すべての年代で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

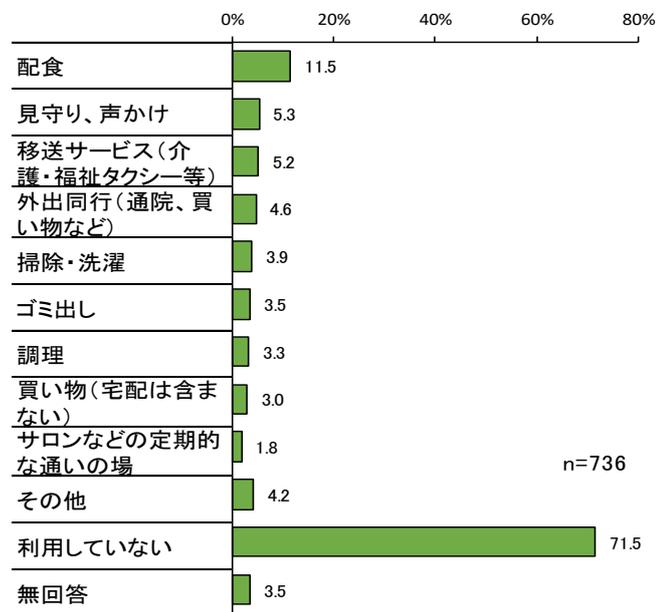
単位：%

区分	全体（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が仕事を辞めた（家族・親族）	主な介護者が転職した	親族が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
介護者性別										
男性	208	6.7	0.0	1.9	0.0	0.0	82.2	1.4	7.7	
女性	411	5.6	1.7	1.7	0.5	81.0	3.6	6.6		
介護者年代別										
20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3		
30代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0	11.1		
40代	33	9.1	3.0	9.1	0.0	75.8	0.0	6.1		
50代	185	7.6	1.6	1.6	0.0	80.0	3.8	5.9		
60代	178	7.9	1.1	2.2	0.6	80.9	1.7	6.2		
70代	105	2.9	0.0	0.0	1.0	82.9	3.8	9.5		
80歳以上	106	1.9	0.9	0.9	0.0	85.8	3.8	6.6		
わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

「利用していない」が71.5%で最も高く、次いで「配食」が11.5%、「見守り、声かけ」が5.3%となっています。



【性別・年代別】

性別では、男性と比べ、女性で「配食」（13.3%）の割合が高くなっています。

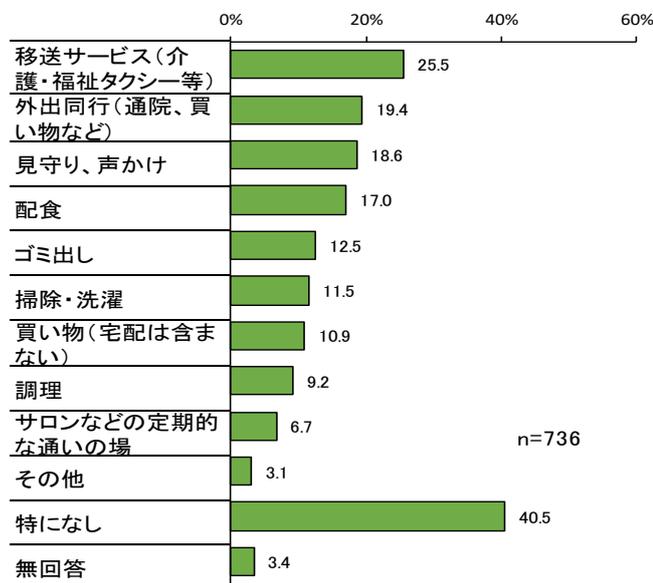
年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（12.3%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンの定期的な	その他	利用していない	無回答
性別														
男性	278	8.6	3.2	3.2	2.9	3.2	5.0	5.8	4.0	1.4	4.0	72.7	5.0	
女性	457	13.3	3.3	4.4	3.1	3.7	4.4	4.8	6.1	2.0	4.4	70.7	2.6	
年代別														
40～64歳	21	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5	76.2	0.0	
65～69歳	24	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	70.8	8.3	
70～74歳	47	8.5	2.1	4.3	2.1	4.3	6.4	4.3	4.3	0.0	4.3	78.7	0.0	
75～79歳	81	11.1	6.2	6.2	6.2	6.2	7.4	12.3	6.2	1.2	6.2	59.3	11.1	
80～84歳	200	14.0	1.5	4.0	2.5	2.5	2.5	5.0	2.0	2.0	4.0	74.0	1.5	
85～89歳	202	10.4	3.5	3.5	2.5	3.0	5.0	5.9	5.9	3.5	3.0	70.8	4.0	
90歳以上	155	10.3	5.2	4.5	3.9	5.2	5.2	0.6	8.4	0.6	5.2	73.5	2.6	

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

「特になし」が 40.5%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 25.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.4%、「見守り、声かけ」が 18.6%となっています。



【性別・年代別】

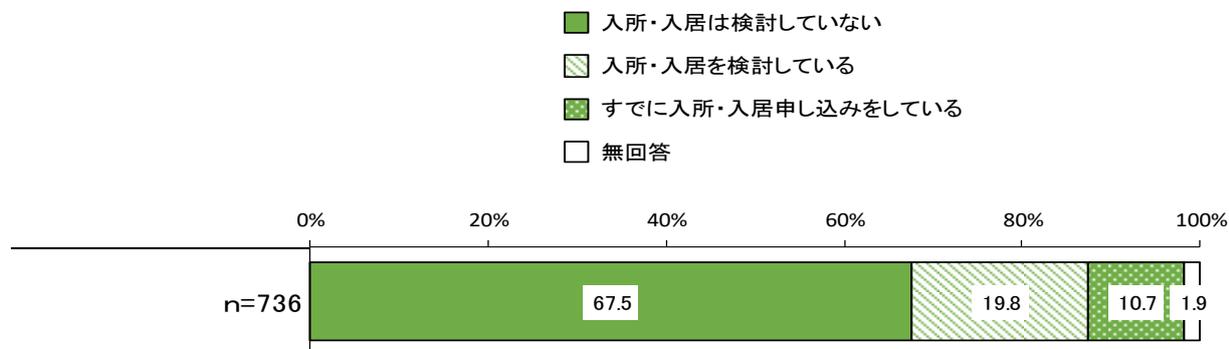
性別では、女性に比べ男性で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（32.7%）が 11.5ポイント高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「特になし」（54.2%）、75～79歳で「外出同行（通院、買い物など）」（30.9%）の割合が高くなっています。

区分	全体 (件)	単位：%											
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	通いの場 サロンの定期的な	その他	特になし	無回答
性別													
男性	278	14.7	8.6	11.9	12.6	13.3	24.5	32.7	14.7	6.1	3.6	38.1	3.6
女性	457	18.4	9.6	11.4	9.8	12.0	16.4	21.2	21.0	7.0	2.8	42.0	3.1
年代別													
40～64歳	21	28.6	4.8	19.0	4.8	9.5	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5	38.1	0.0
65～69歳	24	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	12.5	37.5	0.0	4.2	0.0	54.2	8.3
70～74歳	47	25.5	17.0	17.0	21.3	14.9	17.0	31.9	10.6	4.3	4.3	38.3	0.0
75～79歳	81	11.1	9.9	12.3	11.1	14.8	30.9	32.1	19.8	2.5	4.9	39.5	4.9
80～84歳	200	14.5	7.5	8.5	7.5	12.5	19.0	21.5	20.0	8.5	3.0	41.0	4.5
85～89歳	202	21.3	8.9	13.4	14.4	16.3	20.3	26.7	22.3	8.9	2.0	36.1	3.0
90歳以上	155	15.5	10.3	11.6	9.0	7.1	15.5	23.9	18.1	5.2	3.2	45.2	1.9

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つを選択)

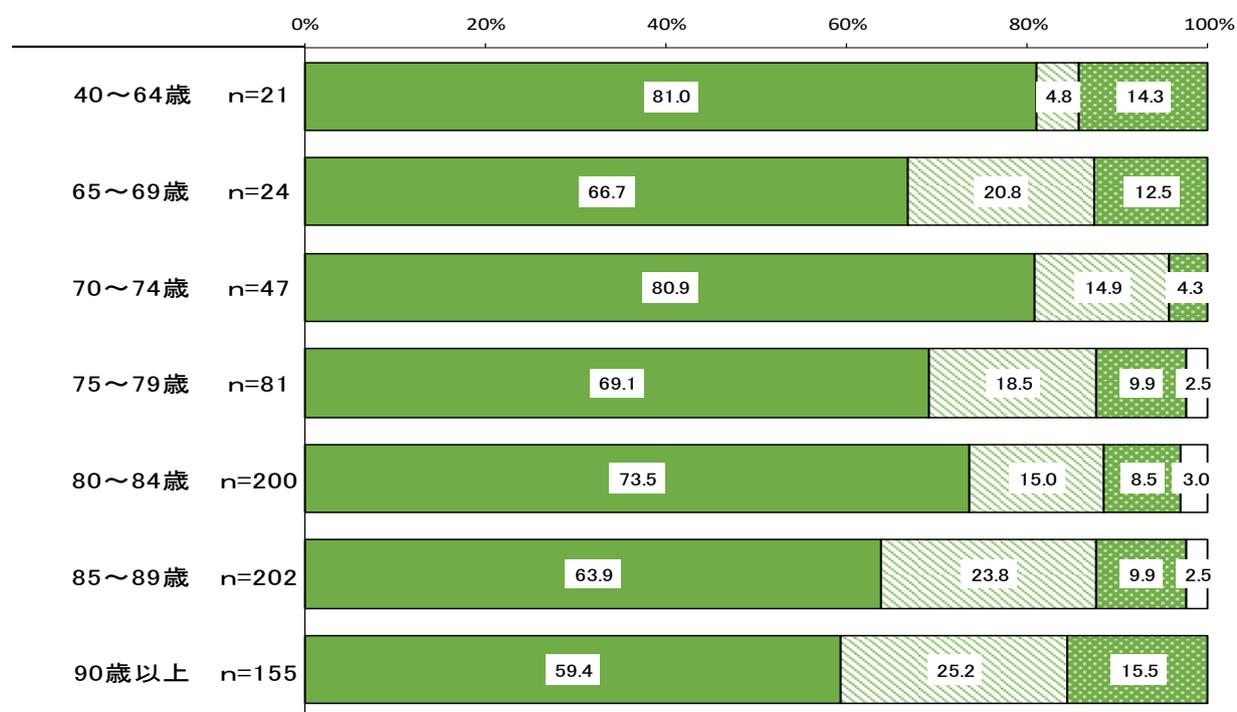
「入所・入居は検討していない」が67.5%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が19.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.7%となっています。



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

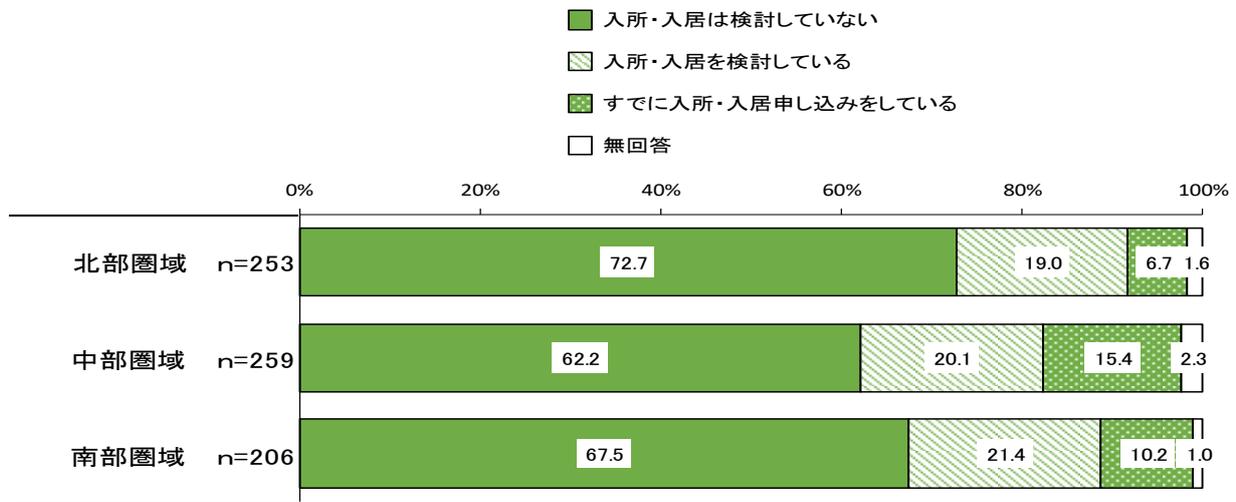
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳と70～74歳で「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。



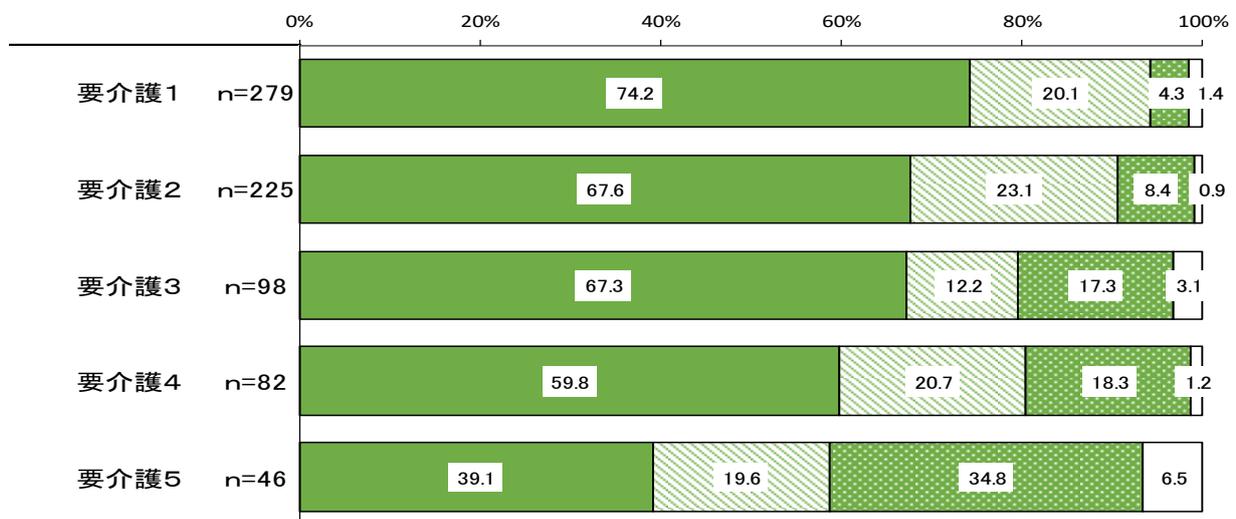
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「入所・入居は検討していない」（72.7%）の割合が高くなっています。



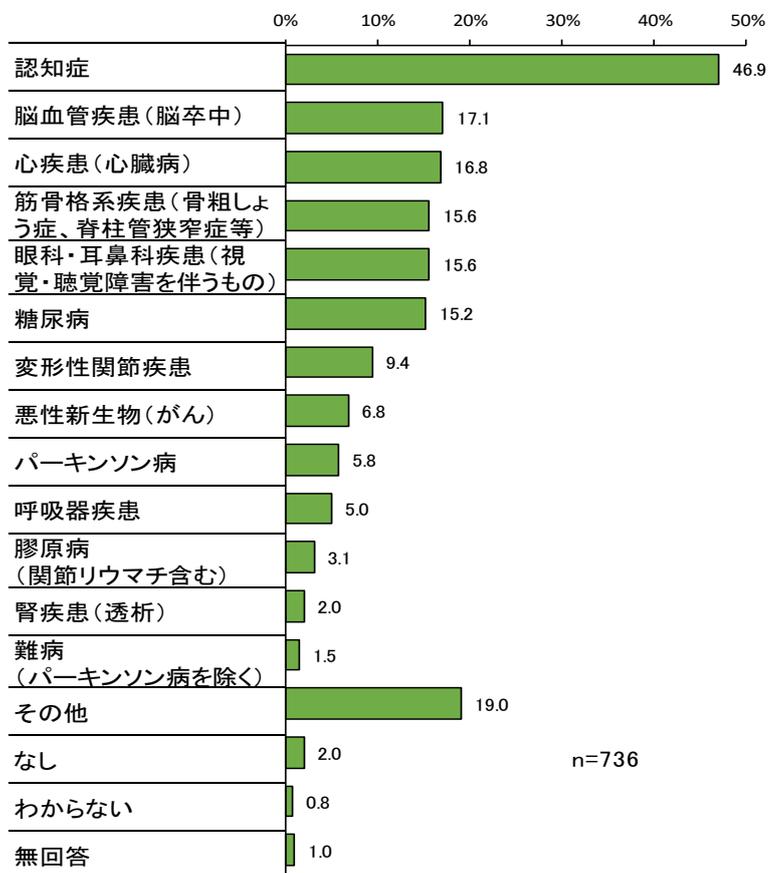
【要介護度別】

要介護度別では、要介護度が上がるにつれ「入所・入居は検討していない」の割合が低く、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



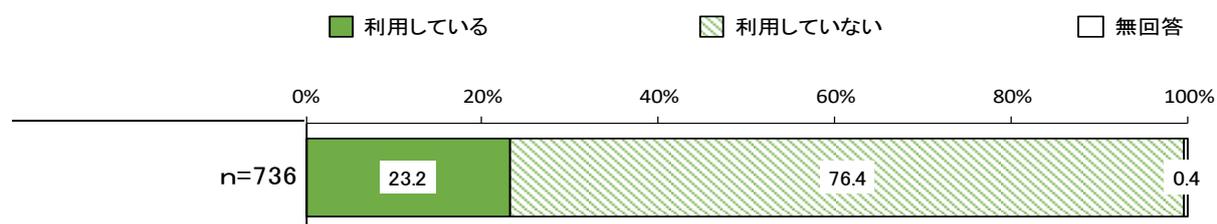
問12 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

「認知症」が46.9%で最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が17.1%、「心疾患（心臓病）」が16.8%となっています。



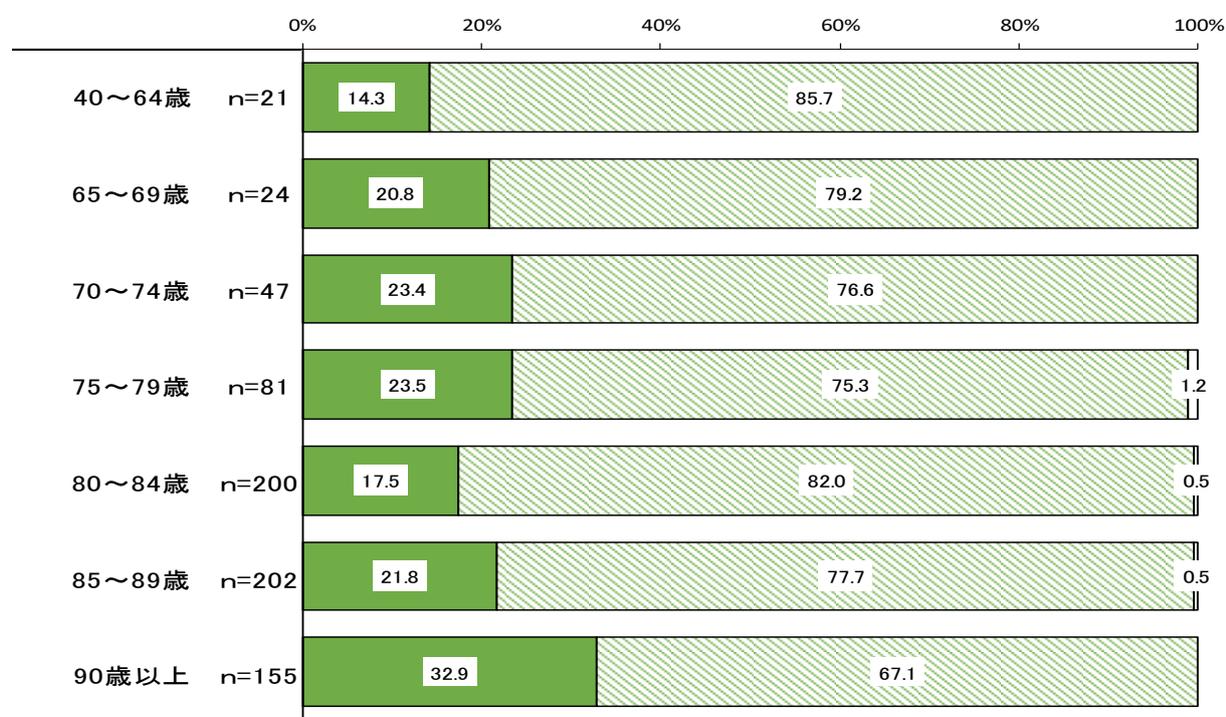
問13 ご本人（調査対象者）は、現在、医師による訪問診療を利用していますか。
（1つを選択）

「利用していない」が76.4%、「利用している」が23.2%となっています。



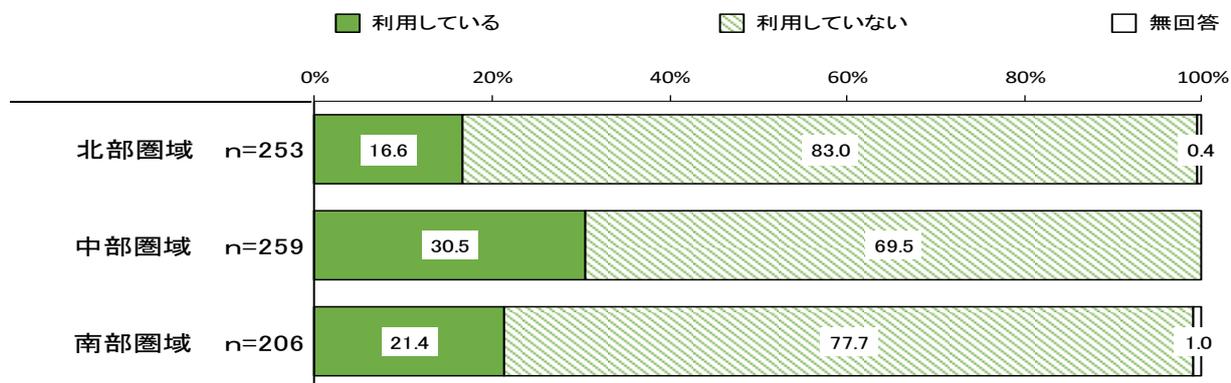
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「利用している」（32.9%）の割合が高くなっています。



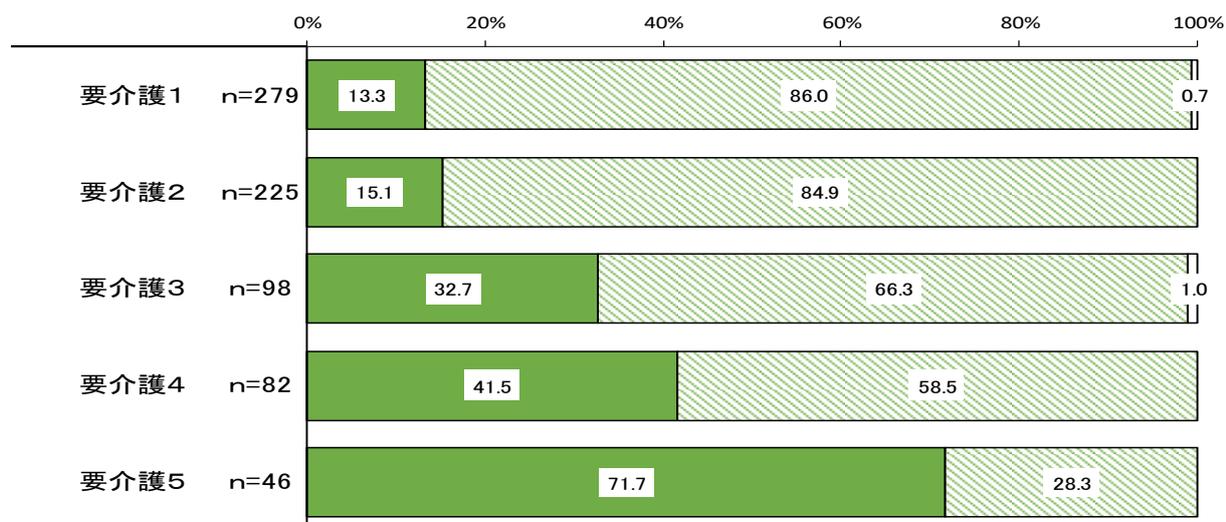
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「利用している」（30.5%）の割合が高くなっています。



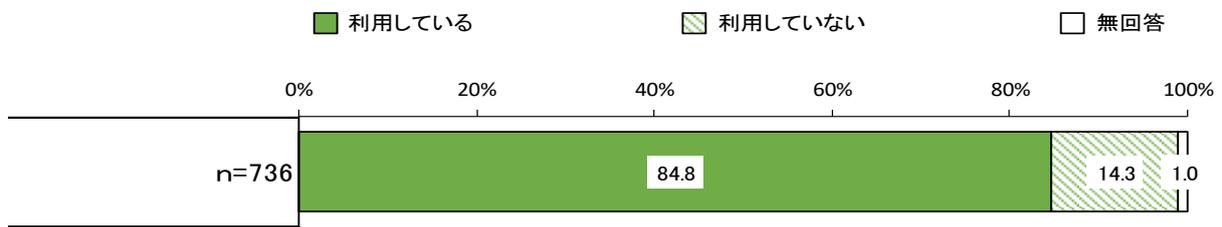
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護と比べ、要介護5で「利用している」（71.7%）の割合が高くなっています。



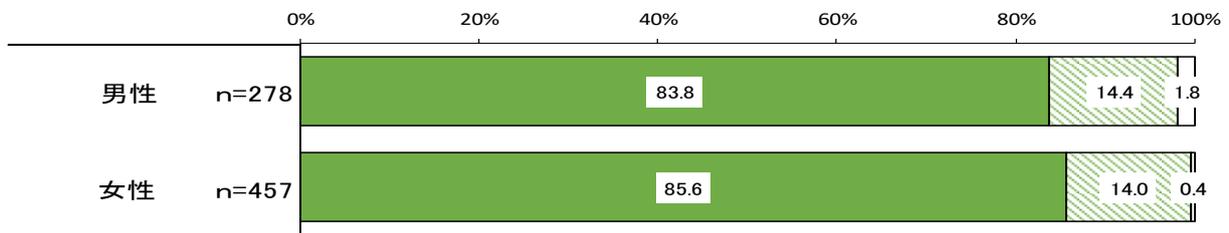
問14 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

「利用している」が84.8%、「利用していない」が14.3%となっています。



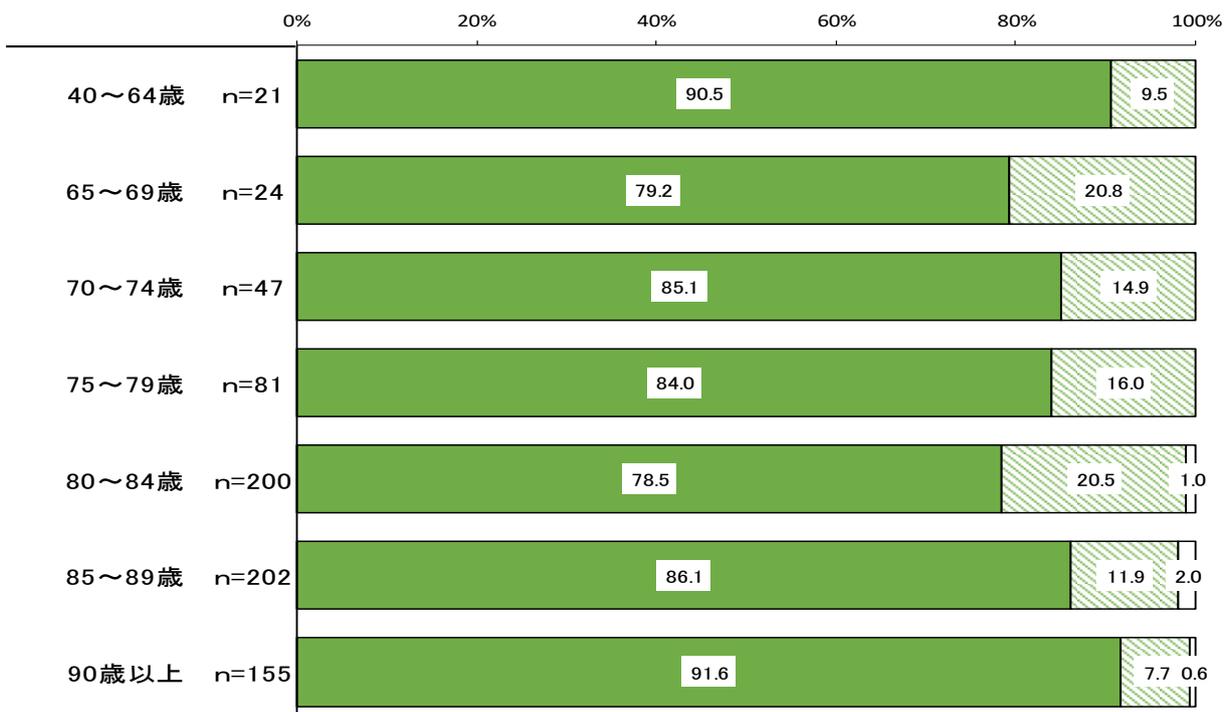
【性別】

性別では、大きな差異はみられません。



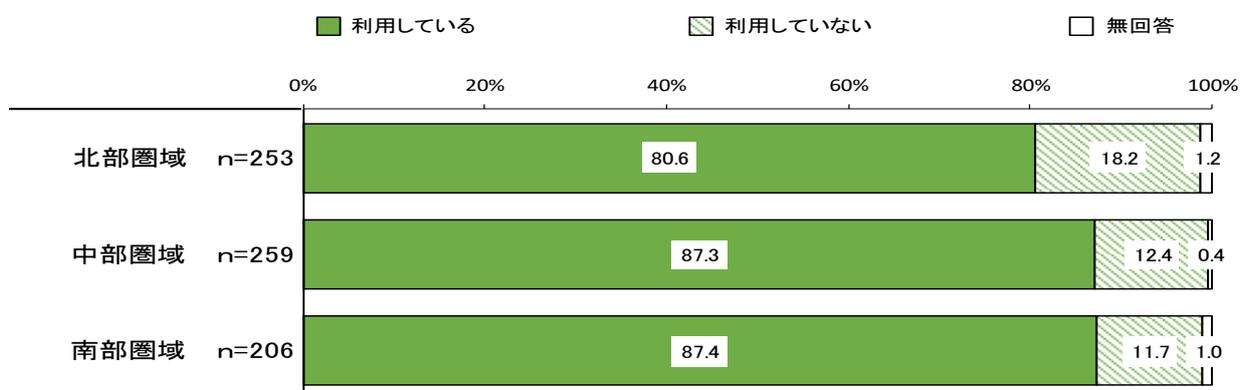
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳と90歳以上で「利用している」の割合が高くなっています。



【圏域別】

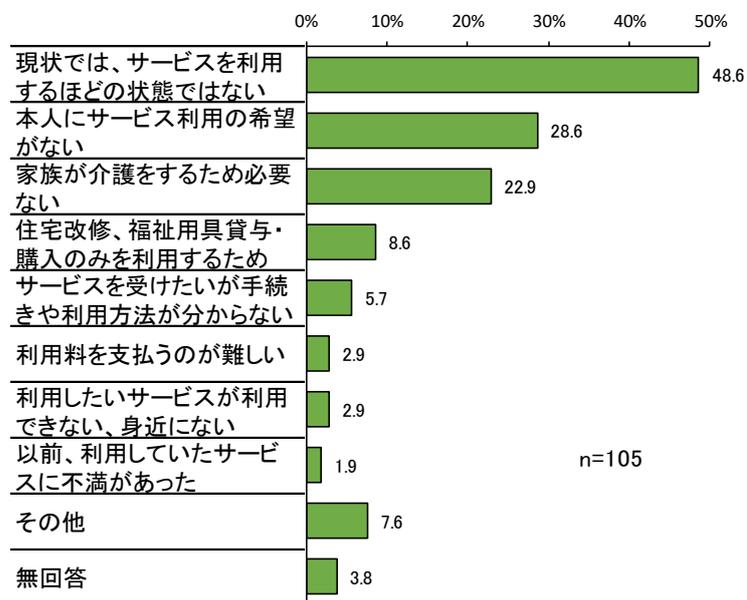
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「利用していない」（18.2%）の割合が高くなっています。



●問14で「2. 利用していない」を回答した場合は、問15も回答してください。

問15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.6%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が28.6%、「家族が介護をするため必要ない」が22.9%となっています。



【性別・年代別・圏域別】

性別では、男性と比べ女性で「本人にサービス利用の希望がない」（34.4%）が14.4ポイント高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（69.2%）が最も高くなっています。

圏域別では、すべての圏域で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があつた	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	購入のみを利用するため	住宅改修、福祉用具貸与・きや利用方法が分からない	サービスを受けたいが手続き	その他	無回答
性別												
男性	40	50.0	20.0	25.0	2.5	2.5	2.5	7.5	7.5	2.5	7.5	
女性	64	48.4	34.4	21.9	1.6	3.1	3.1	7.8	4.7	10.9	1.6	
年代別												
40～64歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
65～69歳	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	
70～74歳	7	28.6	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	
75～79歳	13	69.2	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	
80～84歳	41	56.1	24.4	24.4	2.4	4.9	2.4	2.4	9.8	4.9	2.4	
85～89歳	24	29.2	37.5	33.3	0.0	0.0	4.2	4.2	8.3	12.5	4.2	
90歳以上	12	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	
圏域別												
北部圏域	46	43.5	37.0	19.6	4.3	4.3	4.3	4.3	6.5	8.7	4.3	
中部圏域	32	53.1	21.9	18.8	0.0	0.0	3.1	12.5	0.0	6.3	6.3	
南部圏域	24	54.2	20.8	37.5	0.0	4.2	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	

問15-1 問15で「5. 利用料を支払うのが難しい」と回答した方にお伺いします。
具体的に負担となっているものは何ですか。（複数選択可）

「介護保険サービス利用料の支払い」と「居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い」は、すべての方が負担であると回答しています。

単位：%

全体 (件)	介護保険サービスの利用料の支払い	介護保険サービスの対象外費用の支払い	居住費、食費などの費用	その他
3	100.0	100.0		33.3

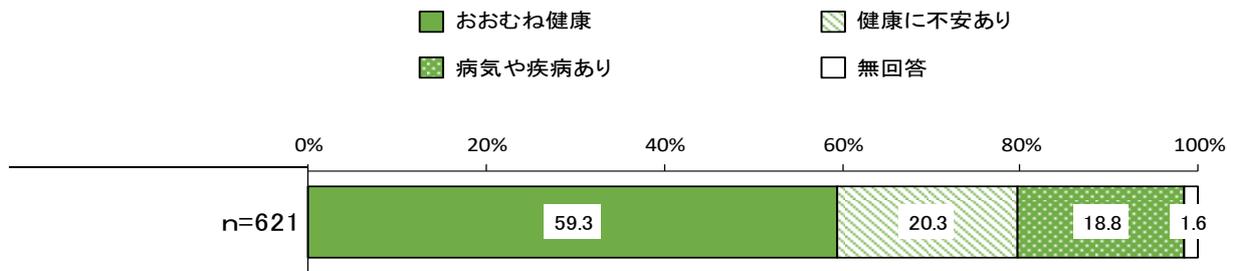
- 問3で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」を回答し、さらに「主な介護者」がいる場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が回答できない場合は、ご本人（調査対象者の方）が回答をお願いします（ご本人が回答困難な場合は、無回答で結構です）。

2 主な介護者の方について（B票）

問1 主な介護者について、以下の質問にご回答ください。（それぞれ1つを選択）

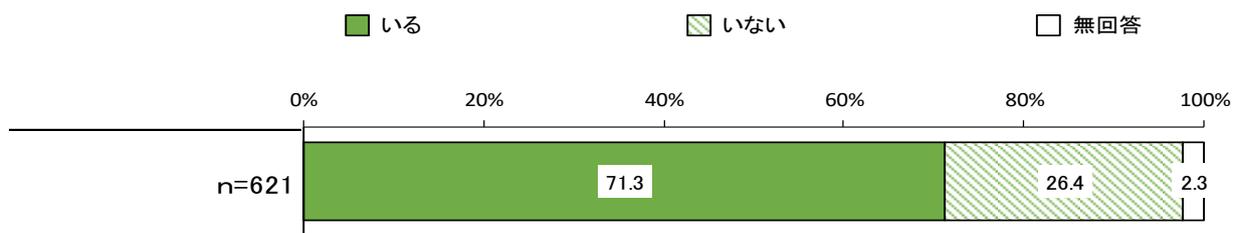
①健康状態

「おおむね健康」が59.3%で最も高く、次いで「健康に不安あり」が20.3%、「病気や疾病あり」が18.8%となっています。



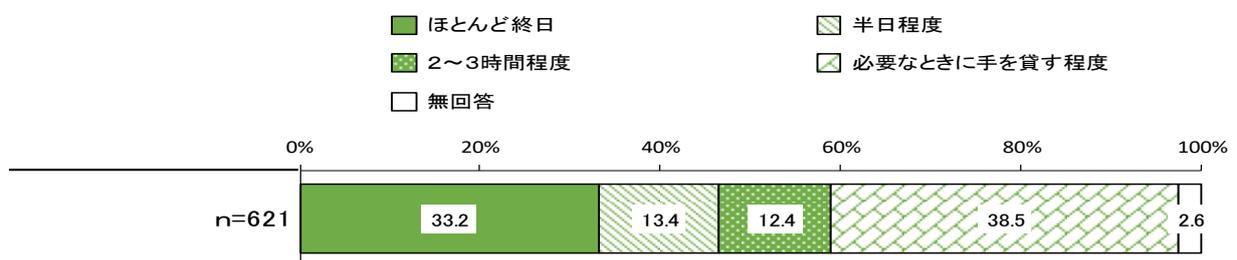
②介護協力者の有無

「いる」が71.3%、「いない」が26.4%となっています。



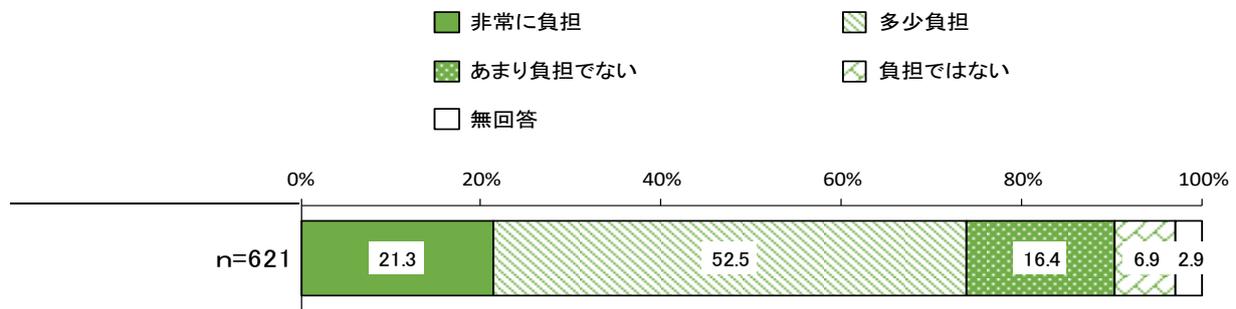
③介護している時間帯

「必要なときに手を貸す程度」が38.5%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が33.2%、「半日程度」が13.4%、「2～3時間程度」が12.4%となっています。



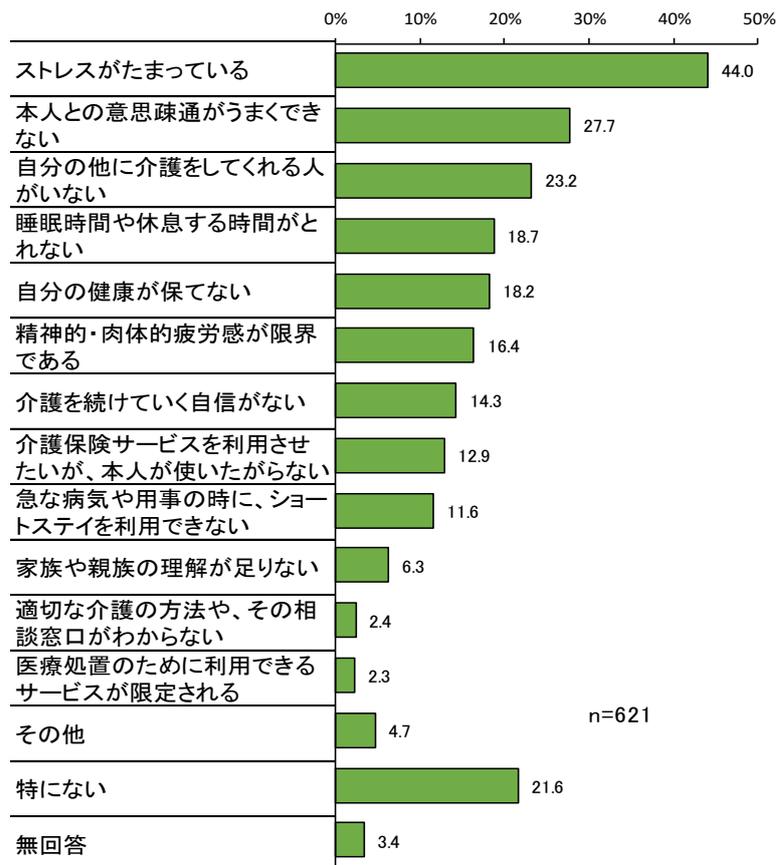
④介護の負担感

「非常に負担」と「多少負担」を合わせた『負担』が 73.8%、「あまり負担でない」と「負担でない」を合わせた『負担でない』が 23.3%となっています。



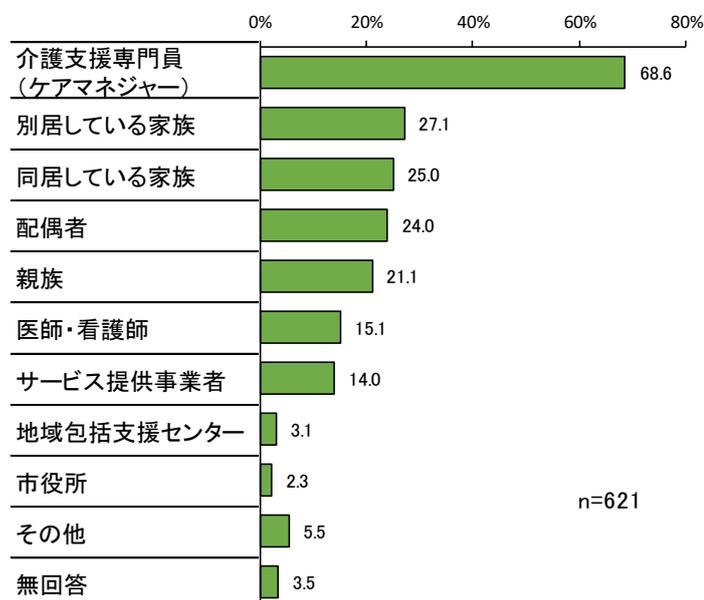
問2 主な介護者の方が、介護を行ううえで困っていることは何ですか。 (複数選択可)

「ストレスがたまっている」が 44.0%で最も高く、次いで「本人との意思疎通がうまくできない」が 27.7%、「自分の他に介護をしてくれる人がいない」が 23.2%となっています。



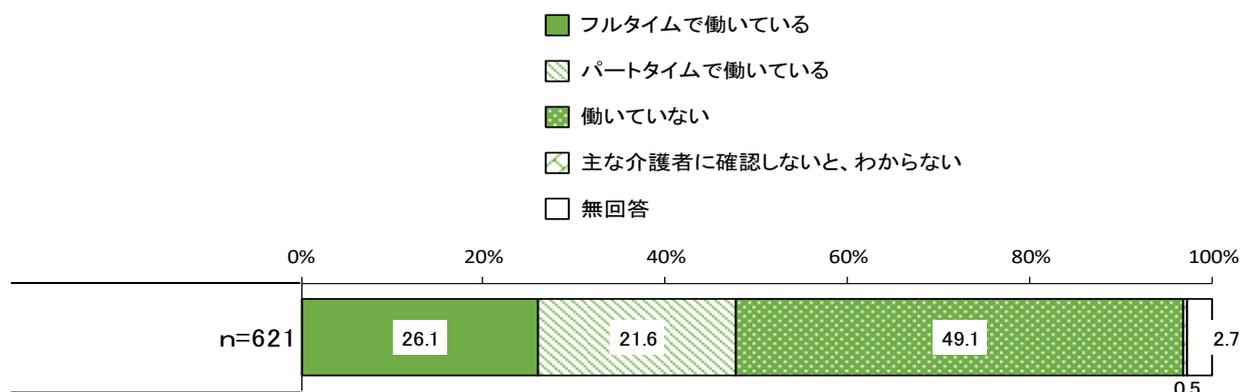
問3 介護についての不安なことや悩みは誰に（どこに）相談しますか。
（複数選択可）

「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が 68.6%で最も高く、次いで「別居している家族」が 27.1%、「同居している家族」が 25.0%となっています。



問4 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

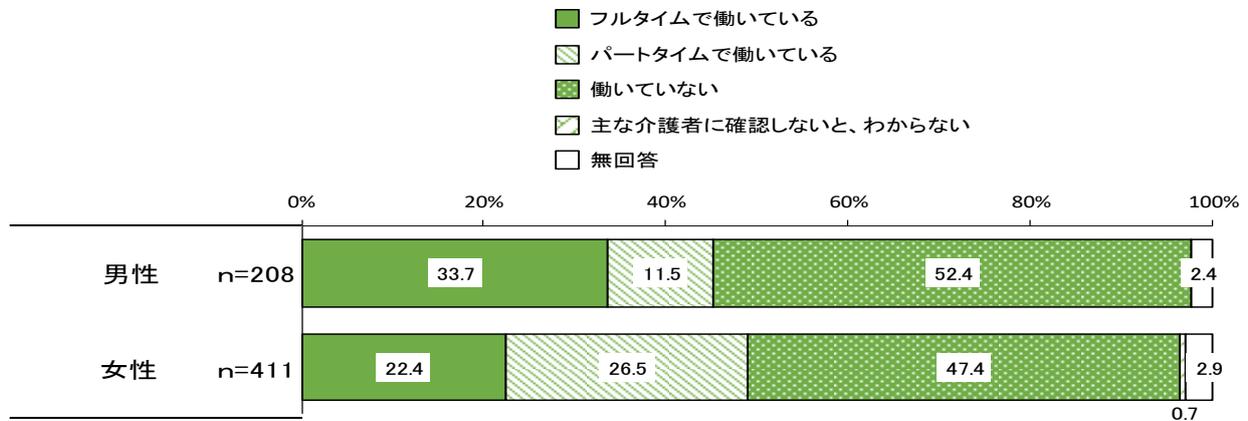
「働いていない」が 49.1%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 26.1%、「パートタイムで働いている」が 21.6%となっています。



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

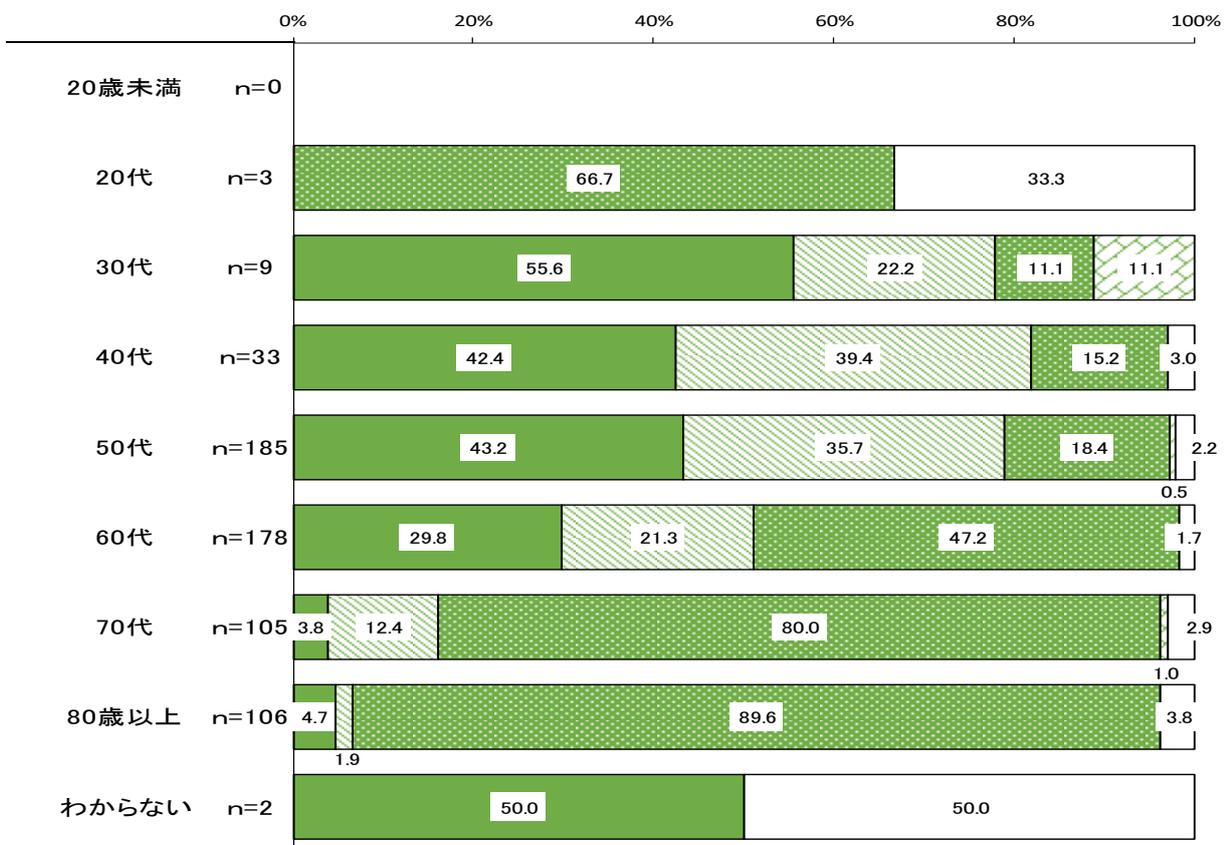
【介護者の性別】

性別では、女性と比べ、男性で「フルタイムで働いている」（33.7%）の割合が高くなっています。また、男性と比べ、女性で「パートタイムで働いている」（26.5%）の割合が高くなっています。



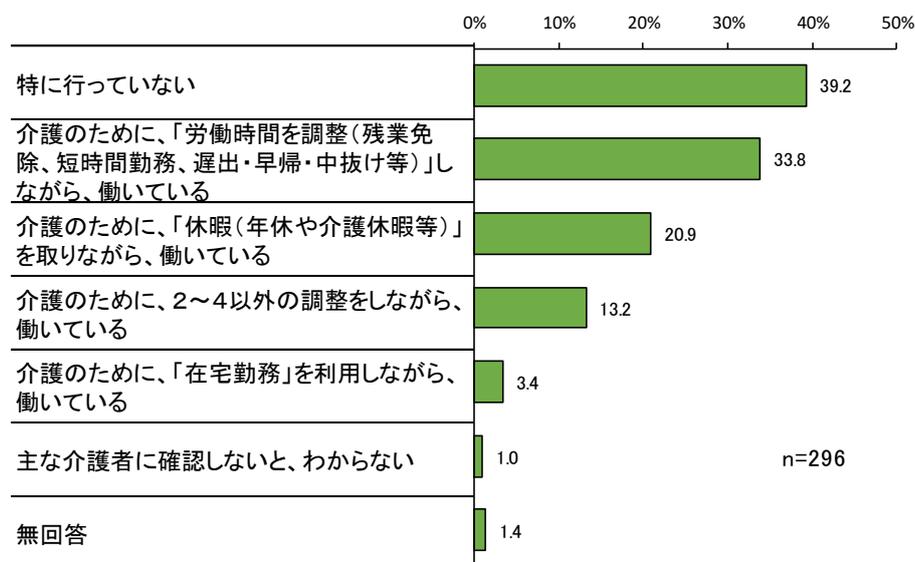
【介護者の年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70代以上で「働いていない」の割合が高くなっています。



問5 問4で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

「特に行っていない」は 39.2%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 33.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 20.9%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が 13.2%となっています。



【介護者の性別・介護者の年代別】

性別では、女性と比べ、男性で「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(17.0%)の割合が高くなっています。

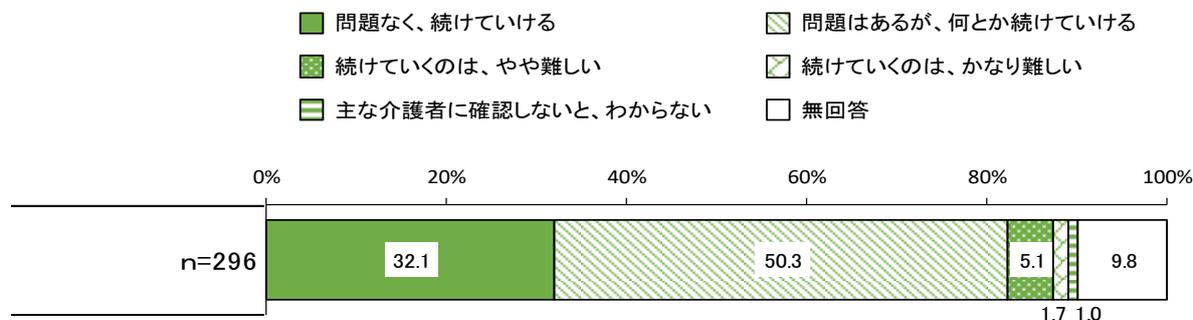
年代別では、他の年代と比べ、70代で「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」(52.9%)の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
介護者性別								
男性	94	41.5	31.9	20.2	3.2	17.0	0.0	0.0
女性	201	38.3	34.3	21.4	3.5	11.4	1.5	2.0
介護者年代別								
20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	7	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
40代	27	25.9	37.0	22.2	0.0	18.5	0.0	3.7
50代	146	45.2	30.1	20.5	3.4	9.6	2.1	0.7
60代	91	34.1	37.4	25.3	4.4	15.4	0.0	1.1
70代	17	29.4	52.9	11.8	0.0	17.6	0.0	0.0
80歳以上	7	42.9	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3
わからない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

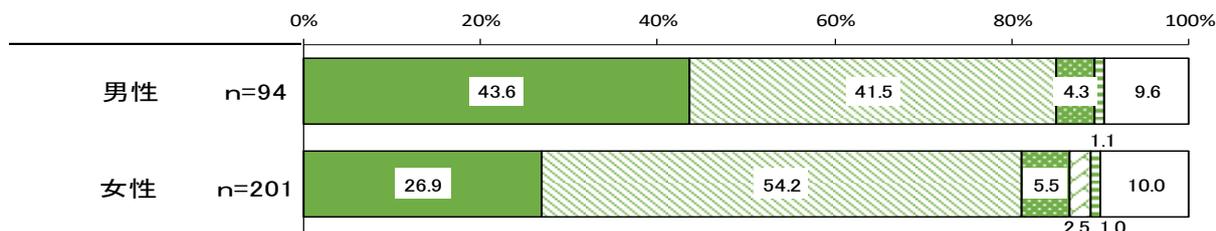
問6 問4で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』が 82.4%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、難しい』が 6.8%となっています。



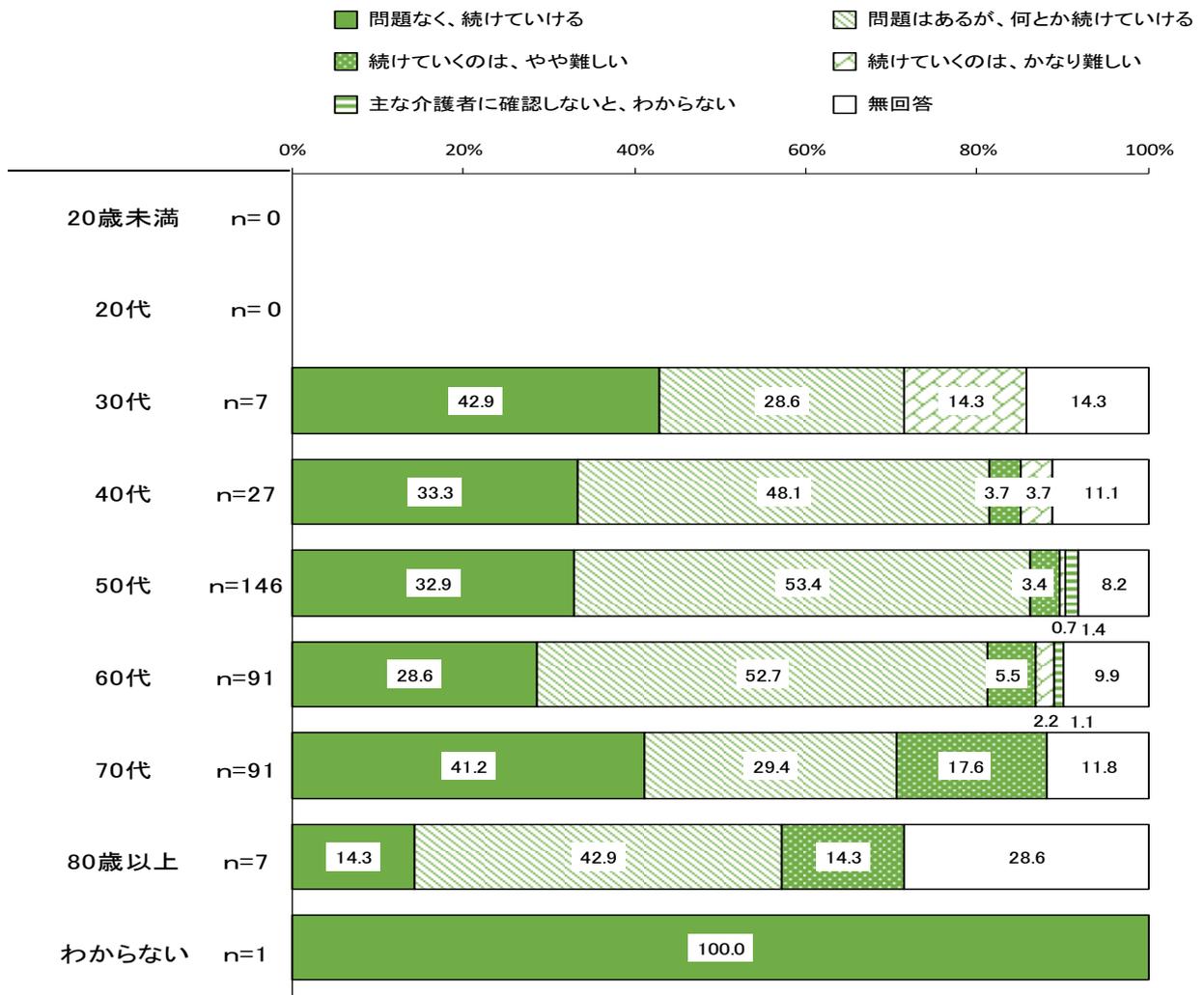
【介護者の性別】

性別では、女性と比べ、男性で「問題なく、続けていける」（43.6%）の割合が高くなっています。



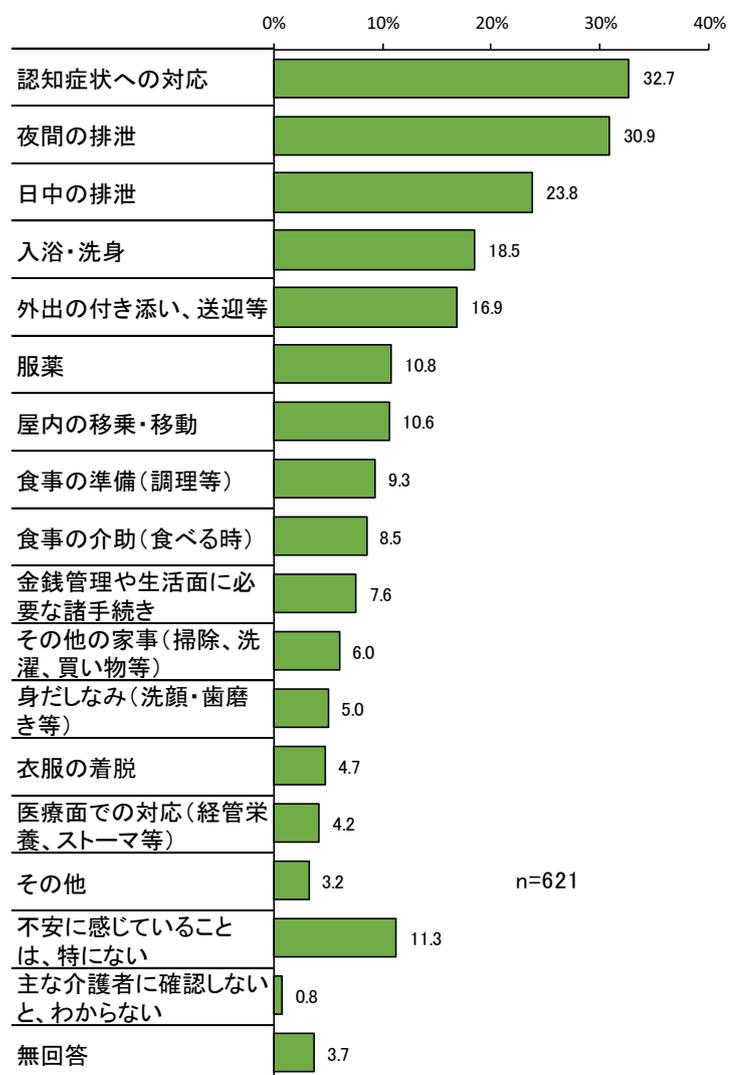
【介護者の年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～60代で『続けていける』の割合が高くなっています。



問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

「認知症への対応」が32.7%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が30.9%、「日中の排泄」が23.8%となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(25.0%)の割合が高くなっています。また、65～69歳で「外出の付き添い、送迎等」(36.8%)の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎外出の付き添い、送	服薬
----	-----------	-------	-------	-----------------	-------	--------------------	-------	----------	------------	----

年代別

40～64歳	20	20.0	15.0	0.0	25.0	0.0	0.0	20.0	20.0	5.0
65～69歳	19	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	36.8	0.0
70～74歳	40	17.5	22.5	10.0	20.0	5.0	12.5	10.0	17.5	7.5
75～79歳	62	21.0	27.4	6.5	11.3	4.8	3.2	6.5	22.6	11.3
80～84歳	167	24.0	28.1	7.8	22.8	4.8	6.6	7.8	13.8	9.6
85～89歳	177	24.3	35.0	10.7	15.3	5.1	4.0	15.3	16.4	15.3
90歳以上	133	30.1	39.1	8.3	19.5	5.3	3.0	9.8	15.0	9.8

区分	全体 (件)	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にな	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
----	-----------	----------	-------------------------	------------	---------	--------------------	------------------	-----	-----------------	-------------------	-----

年代別

40～64歳	20	15.0	15.0	10.0	15.0	25.0	5.0	20.0	0.0	0.0
65～69歳	19	5.3	10.5	15.8	10.5	10.5	5.3	26.3	0.0	0.0
70～74歳	40	30.0	7.5	10.0	10.0	5.0	2.5	12.5	0.0	7.5
75～79歳	62	29.0	6.5	8.1	6.5	6.5	4.8	14.5	1.6	4.8
80～84歳	167	31.1	4.8	10.8	5.4	6.6	4.2	10.2	1.2	3.6
85～89歳	177	36.2	1.7	8.5	5.1	9.0	2.8	10.7	1.1	4.0
90歳以上	133	39.8	2.3	8.3	4.5	5.3	1.5	8.3	0.0	3.0

【圏域別】

圏域別では、北部圏域で「夜間の徘徊」（33.5%）、中部圏域と南部圏域で「認知症状への対応」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎外出の付き添い、送等	服薬
----	-------	-------	-------	-------------	-------	----------------	-------	----------	-------------	----

圏域別

北部圏域	218	26.1	33.5	8.7	21.6	6.4	6.4	11.9	16.5	9.6
中部圏域	213	21.1	31.9	8.5	16.9	4.2	1.9	9.9	15.5	11.7
南部圏域	176	25.6	27.3	8.5	16.5	3.4	5.7	10.2	19.9	11.4

区分	全体（件）	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
----	-------	----------	---------------------	------------	---------	--------------------	------------------	-----	------------------	-------------------	-----

圏域別

北部圏域	218	30.7	2.8	6.4	5.5	7.8	2.8	11.9	0.5	2.8
中部圏域	213	35.2	5.2	10.3	5.2	8.5	3.3	10.8	0.9	3.8
南部圏域	176	33.5	5.1	11.9	8.0	6.3	4.0	10.2	1.1	4.0

【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1で「認知症への対応」（41.7%）の割合が高くなっています。また、要介護3で「夜間の排泄」（48.1%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
----	-------	-------	-------	-------------	-------	----------------	-------	----------	-------------	----

要介護度別

要介護1	242	24.0	26.0	5.8	20.2	5.8	2.9	7.9	18.6	14.0
要介護2	197	20.8	29.9	10.2	16.2	5.6	7.1	9.6	16.8	9.6
要介護3	81	30.9	48.1	7.4	22.2	4.9	3.7	12.3	21.0	9.9
要介護4	64	29.7	32.8	6.3	15.6	3.1	6.3	17.2	12.5	1.6
要介護5	32	15.6	28.1	28.1	9.4	0.0	3.1	18.8	3.1	12.5

区分	全体（件）	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないこと	無回答
----	-------	----------	---------------------	------------	---------	--------------------	------------------	-----	------------------	---------------	-----

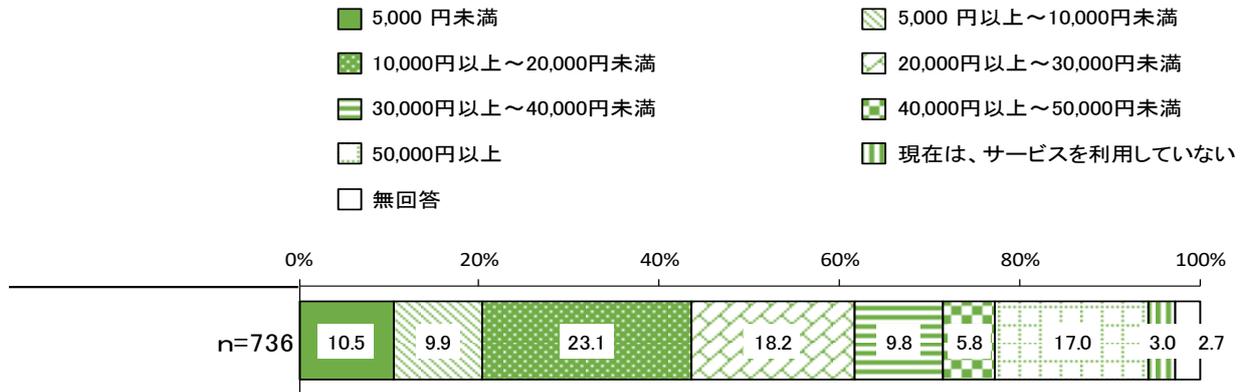
要介護度別

要介護1	242	41.7	2.1	9.9	6.6	8.3	2.5	10.3	0.8	4.1
要介護2	197	32.0	5.6	9.1	8.6	7.6	3.0	8.6	1.5	3.6
要介護3	81	25.9	3.7	8.6	1.2	3.7	2.5	14.8	0.0	3.7
要介護4	64	18.8	6.3	7.8	1.6	9.4	7.8	15.6	0.0	3.1
要介護5	32	18.8	9.4	12.5	3.1	9.4	3.1	15.6	0.0	3.1

3 介護保険サービスについて（C票）

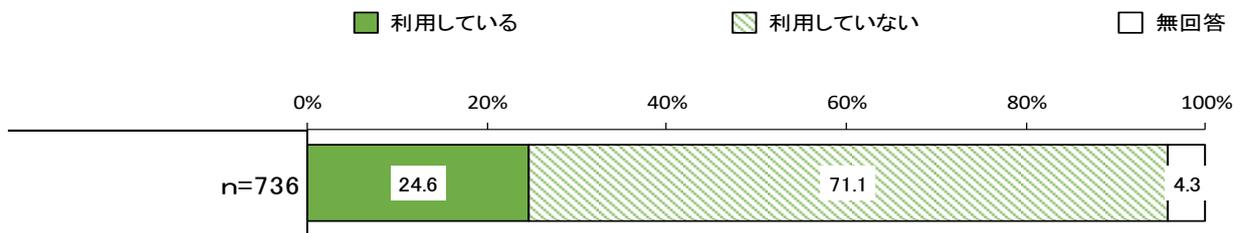
問1 1か月の利用者負担額はいくらですか。（食費・居住費を含みます。また、高額介護サービス費の支給は含みません。）（1つを選択）

「10,000円以上～20,000円未満」が23.1%で最も高く、次いで「20,000円以上～30,000円未満」が18.2%、「50,000円以上」が17.0%となっています。



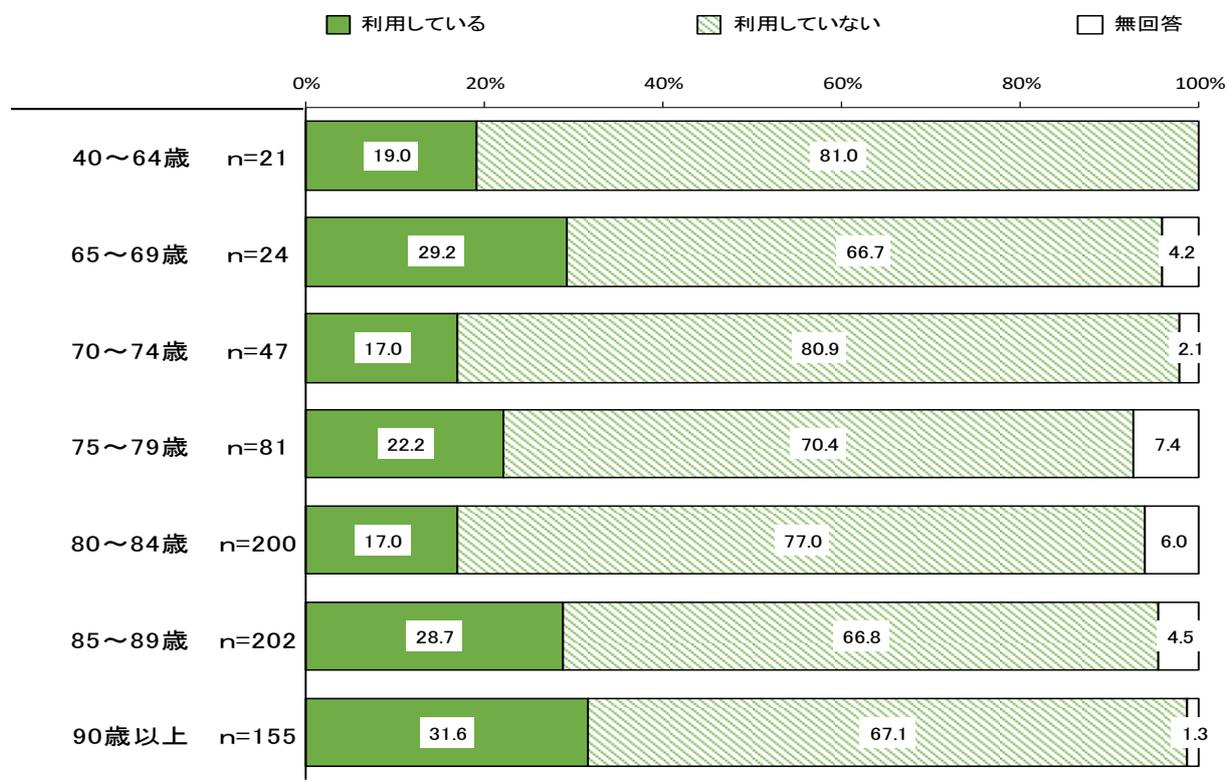
問2 利用限度額までサービスを利用していますか。（1つを選択）

「利用していない」が71.1%、「利用している」が24.6%となっています。



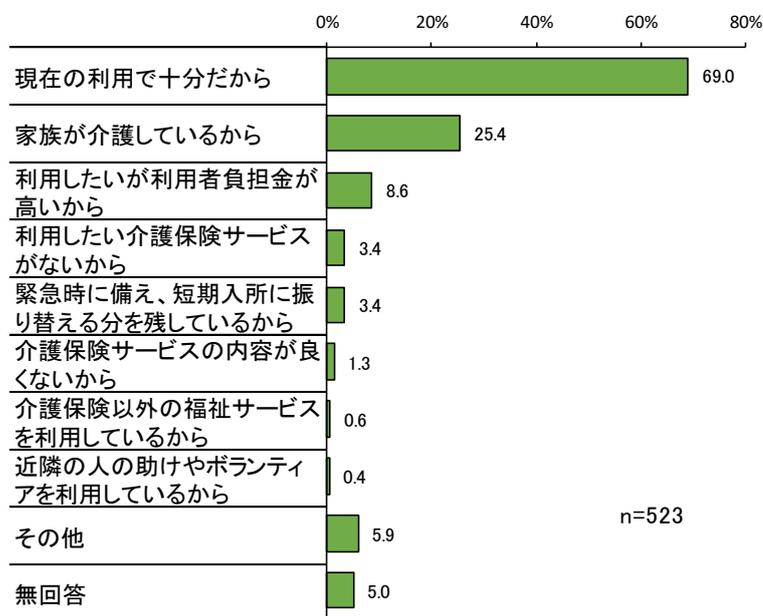
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「利用している」(31.6%)の割合が高くなっています。



問3 問2で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。
 利用限度額までサービスを利用しない理由は何ですか。（複数選択可）

「現在の利用で十分だから」が 69.0%で最も高く、次いで「家族が介護しているから」が 25.4%、「利用したいが利用者負担金が高いから」が 8.6%となっています。



【年代別】

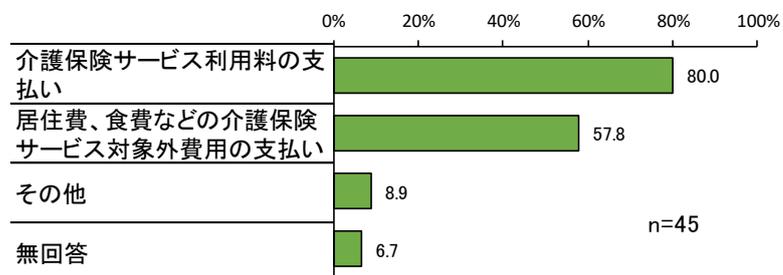
年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「家族が介護しているから」（47.1%）の割合が高くなっています。また、85歳以上で「現在の利用で十分だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	現在の利用で十分だから	介護保険以外の福祉サービスを利用しているから	近隣の人の助けやボランティアを利用しているから	利用したいが利用者負担金が高いから	利用したい介護保険サービスがないから	家族が介護しているから	から振り替える分を残している	緊急時に備え、短期入所に	良くないから	介護保険サービスの内容が	その他	無回答
40～64歳	17	58.8	0.0	0.0	5.9	5.9	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	16	62.5	0.0	0.0	12.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3
70～74歳	38	57.9	0.0	0.0	15.8	7.9	23.7	5.3	2.6	2.6	5.3	5.3	5.3
75～79歳	57	61.4	1.8	1.8	10.5	5.3	29.8	0.0	0.0	12.3	5.3	5.3	5.3
80～84歳	154	69.5	0.6	0.6	9.1	1.9	22.1	3.2	1.9	6.5	6.5	6.5	6.5
85～89歳	135	71.1	0.7	0.0	6.7	3.0	29.6	5.2	2.2	4.4	3.7	3.7	3.7
90歳以上	104	76.9	0.0	0.0	5.8	1.9	21.2	3.8	0.0	5.8	4.8	4.8	4.8

問3-1 問3で「4. 利用したいが利用者負担金が高いから」と回答した方にお伺いします。具体的に負担となっているものは何ですか。（複数選択可）

「介護保険サービス利用料の支払い」が80.0%で最も高く、次いで「居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い」が57.8%となっています。

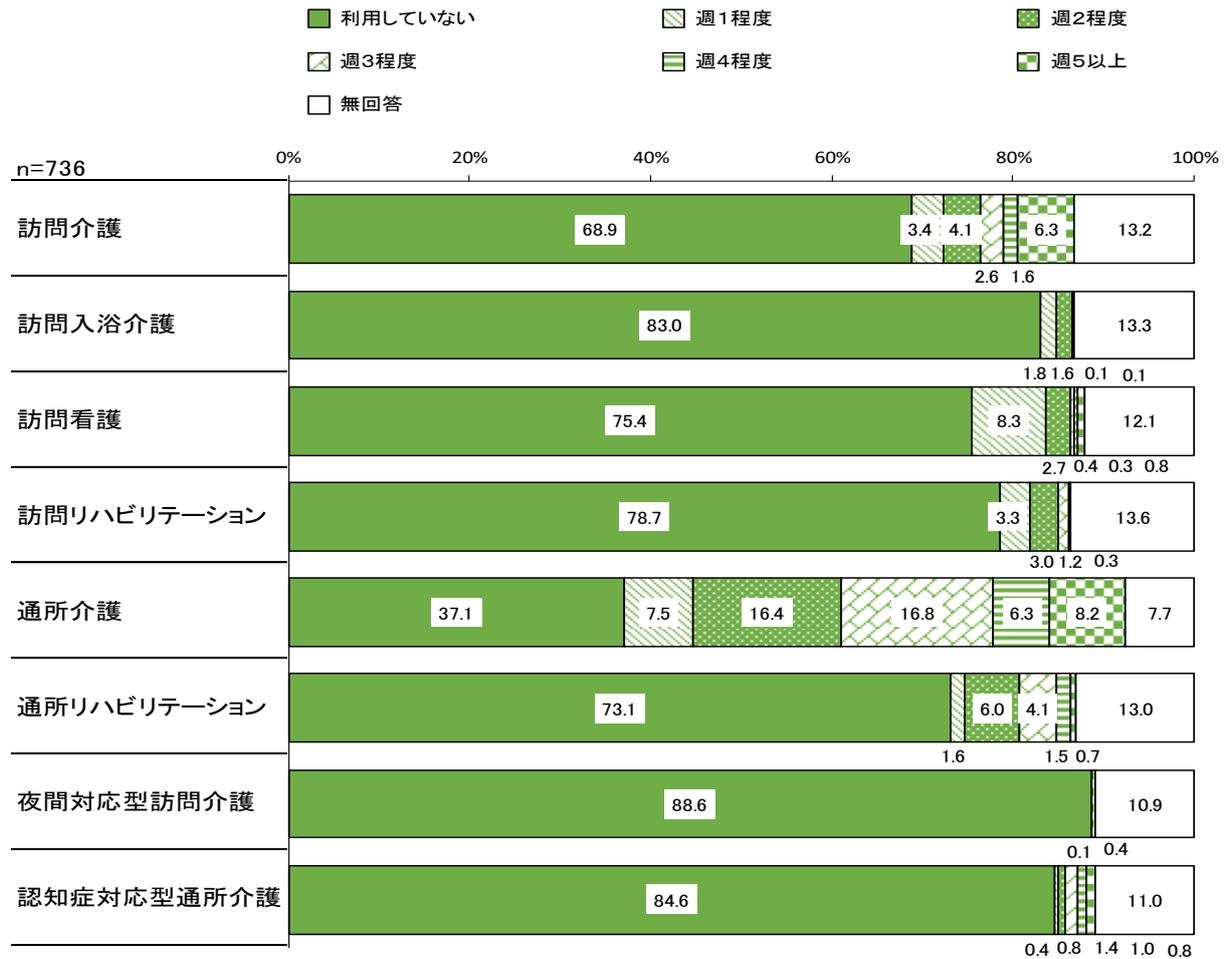


●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 以下の介護保険サービスについて、令和5年1月の1か月間の利用状況及び今後の利用希望についてお伺いします。

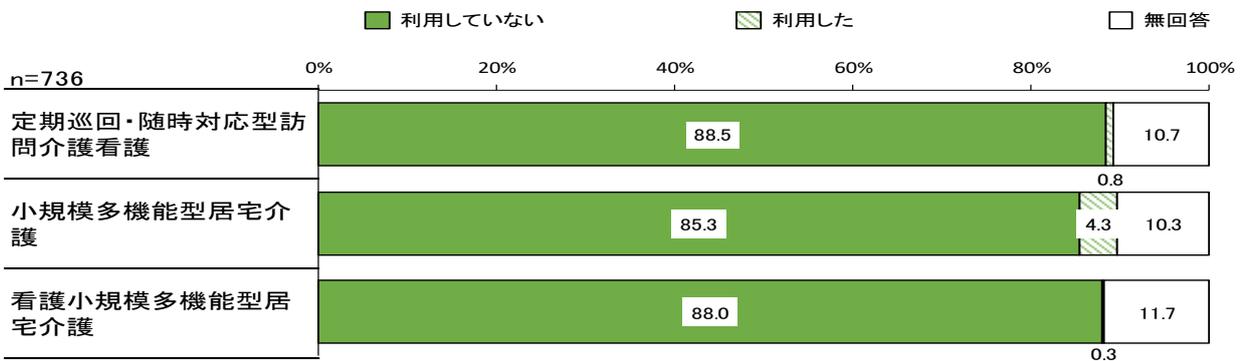
【在宅サービスの利用状況】

「通所介護」は、「週2程度」（16.4%）、「週3程度」（16.8%）の割合が高くなっています。一方、「訪問入浴介護」、「夜間対応型訪問介護」、「認知症対応型通所介護」は、「利用していない」の割合が高くなっています。

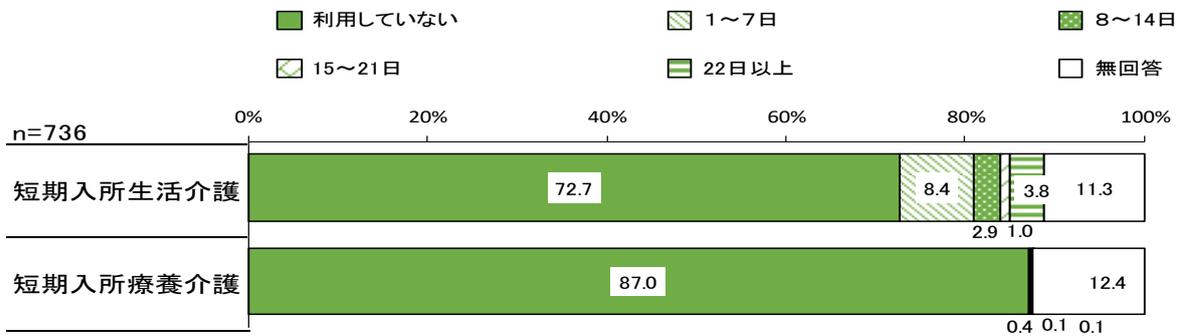


【在宅サービスの利用状況】

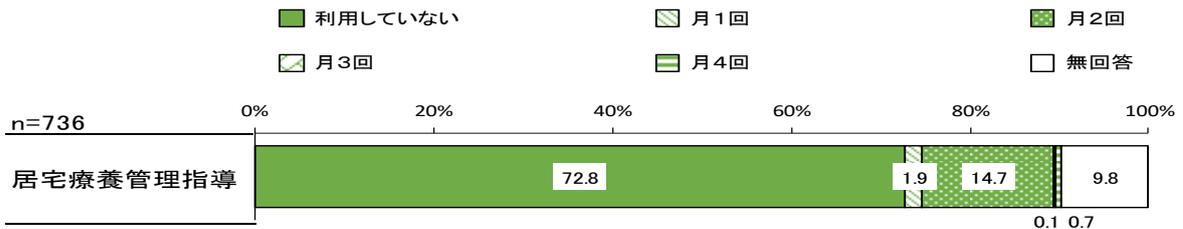
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」は、「利用していない」の割合が高くなっています。



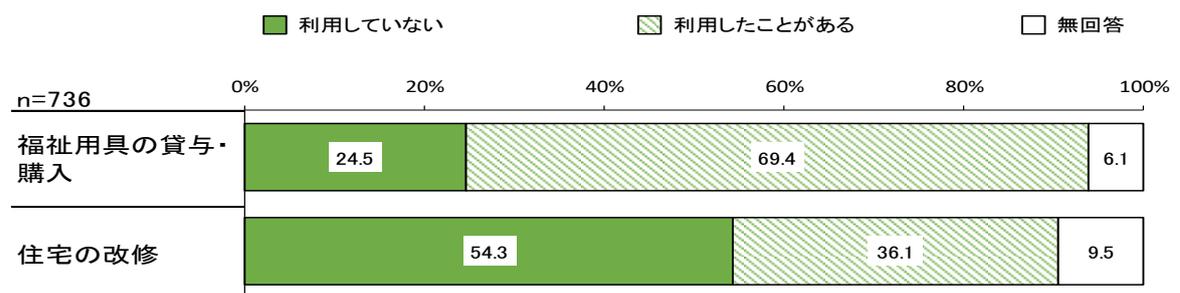
「短期入所療養介護」は、「利用していない」(87.0%)の割合が高くなっています。



「居宅療養管理指導」は、「利用していない」が72.8%で最も高く、次いで「月2回」が14.7%となっています。



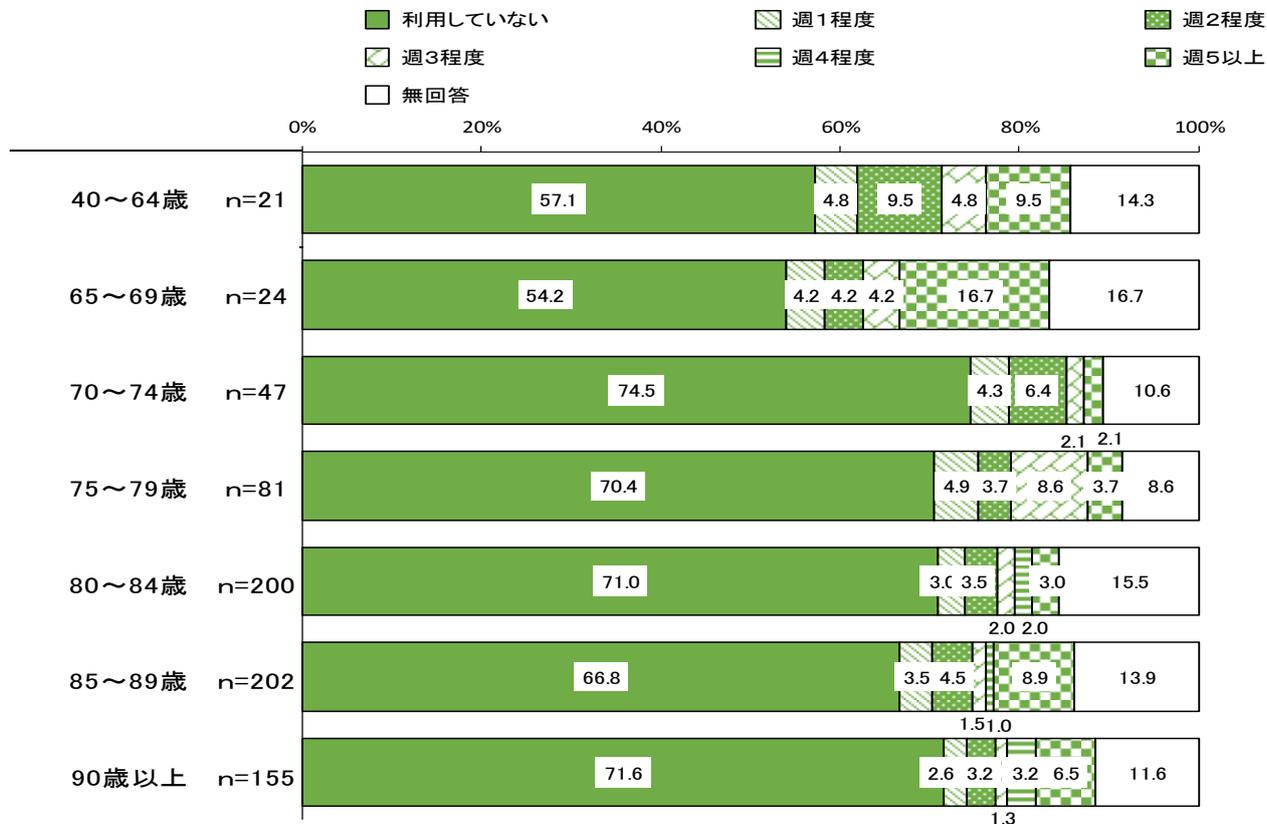
「福祉用具の貸与・購入」は、「利用したことがある」(69.4%)の割合が高くなっています。



訪問介護

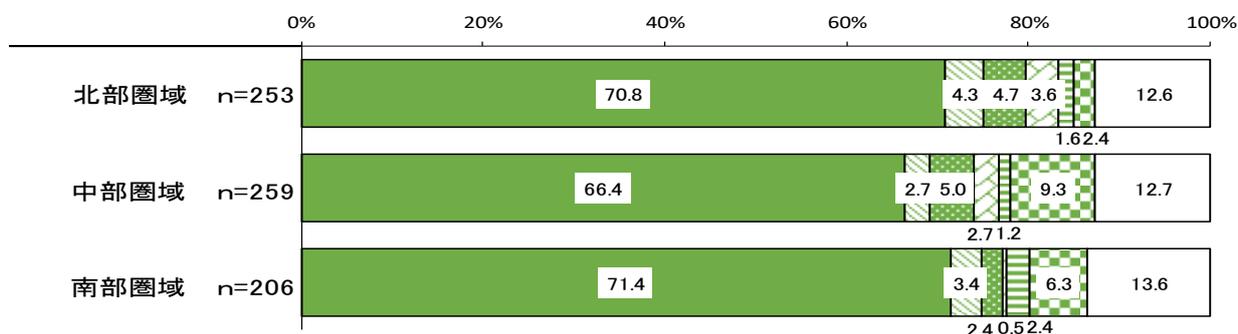
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「週5以上」（16.7%）の割合が高くなっています。



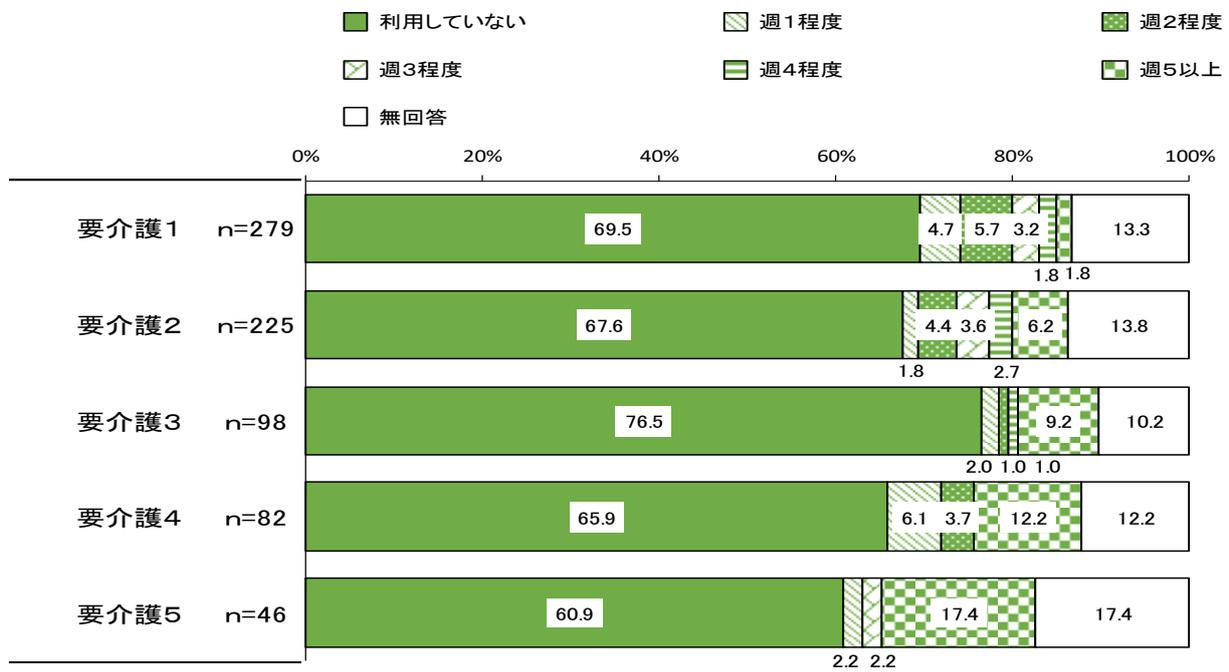
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「週5以上」（9.3%）の割合がやや高くなっています。



【要介護度別】

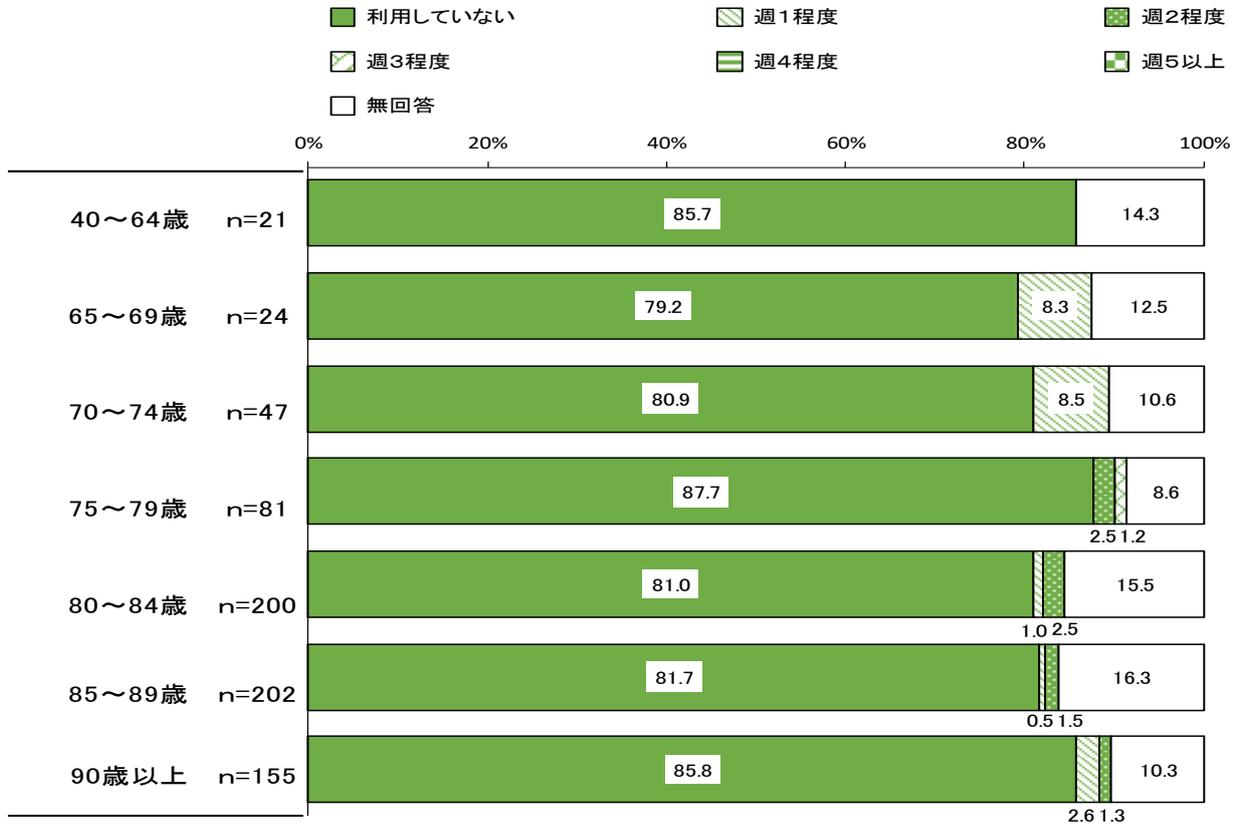
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「週5以上」（17.4%）の割合が高くなっています。



訪問入浴

【年代別】

年代別では、40～64歳、75～79歳、90歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。



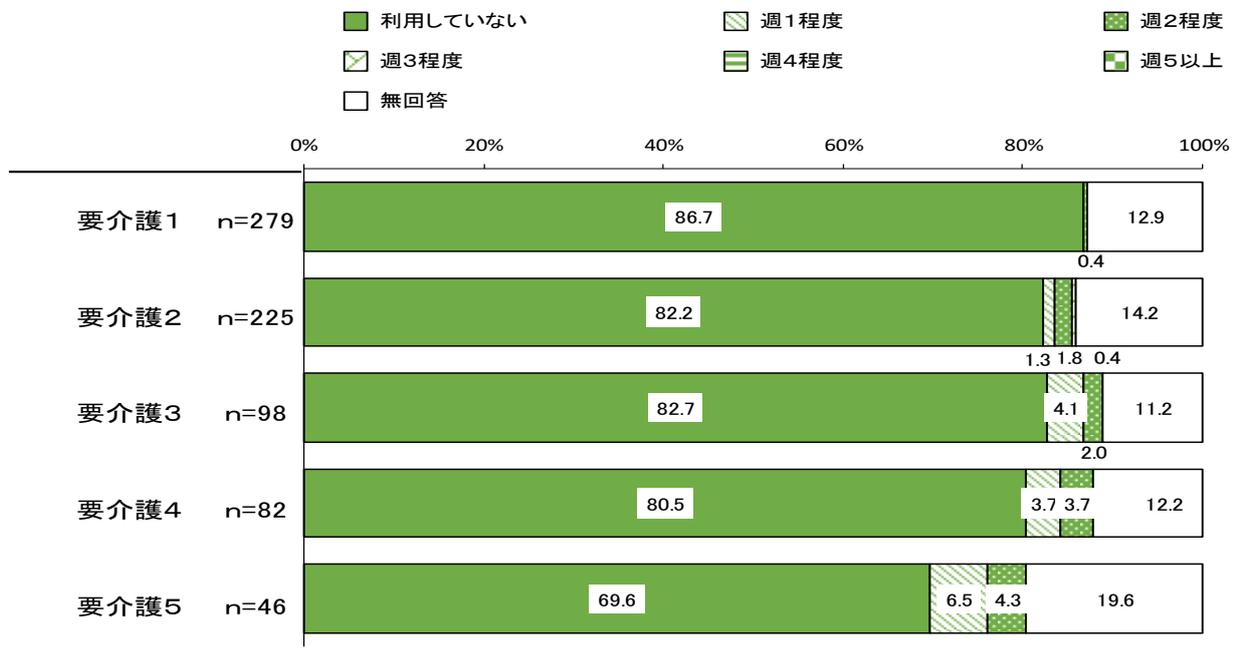
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「週2程度」（3.4%）の割合がやや高くなっています。



【要介護度別】

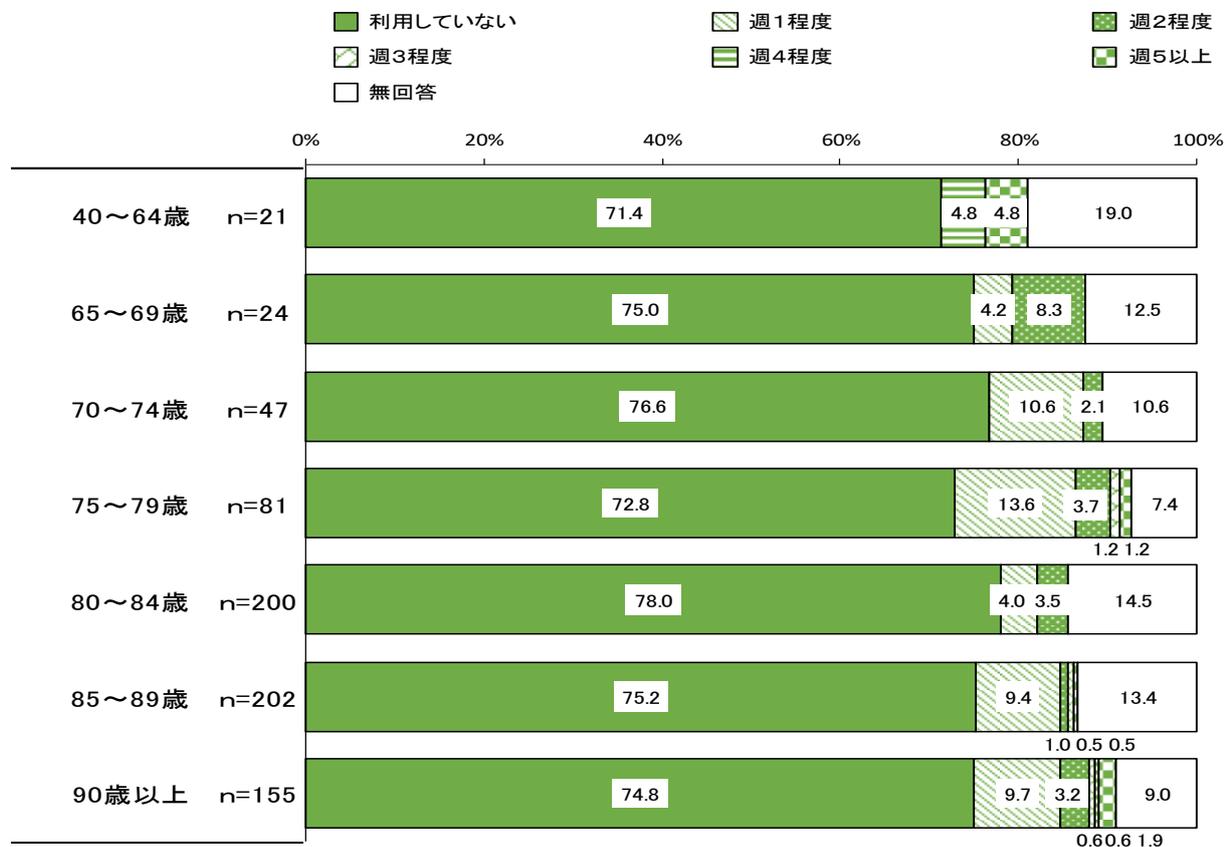
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「週1程度」（6.5%）の割合がやや高くなっています。



訪問看護

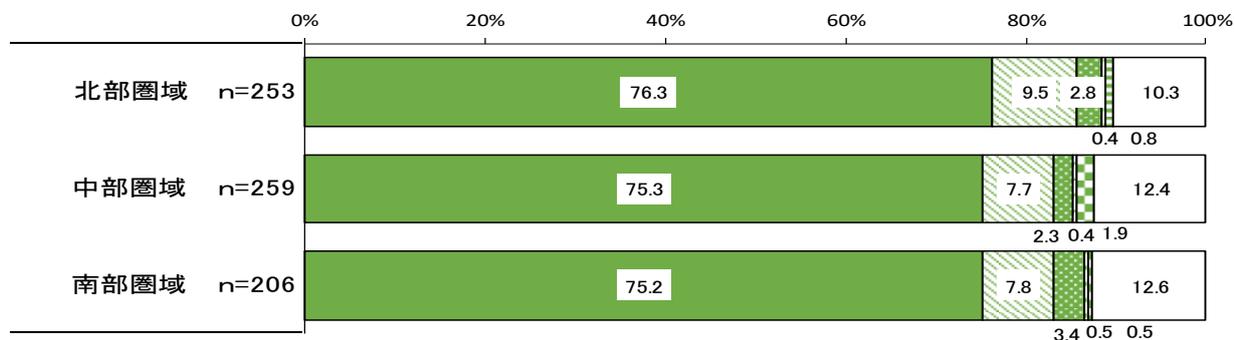
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「週1程度」（13.6%）の割合が高くなっています。



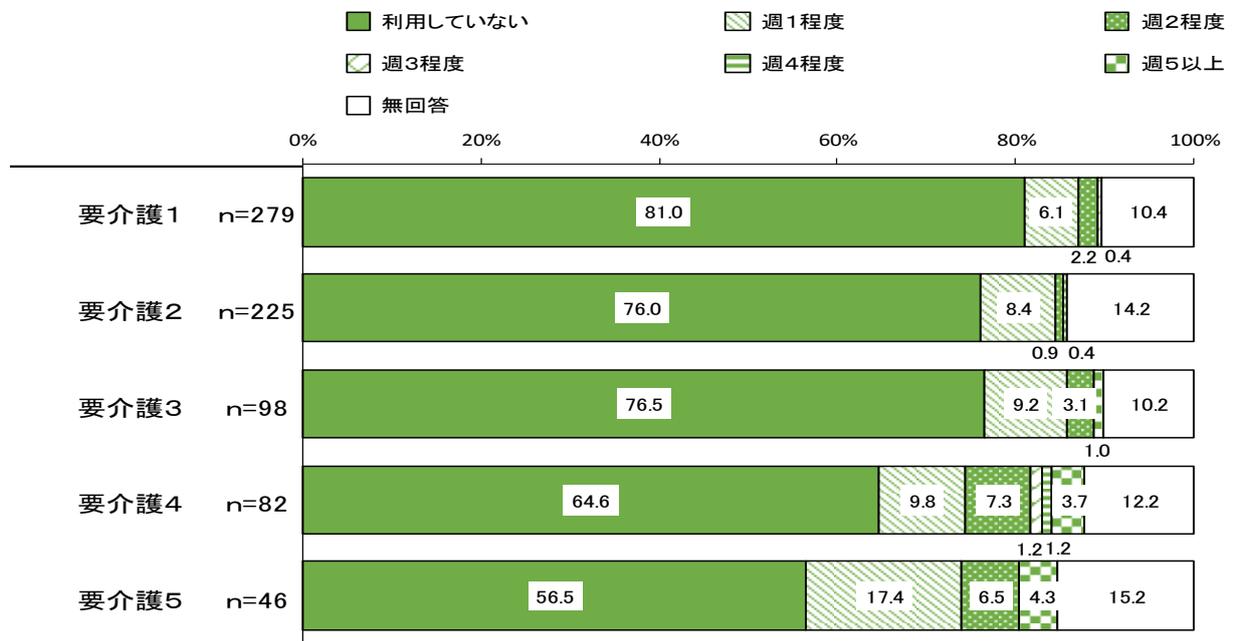
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



【要介護度別】

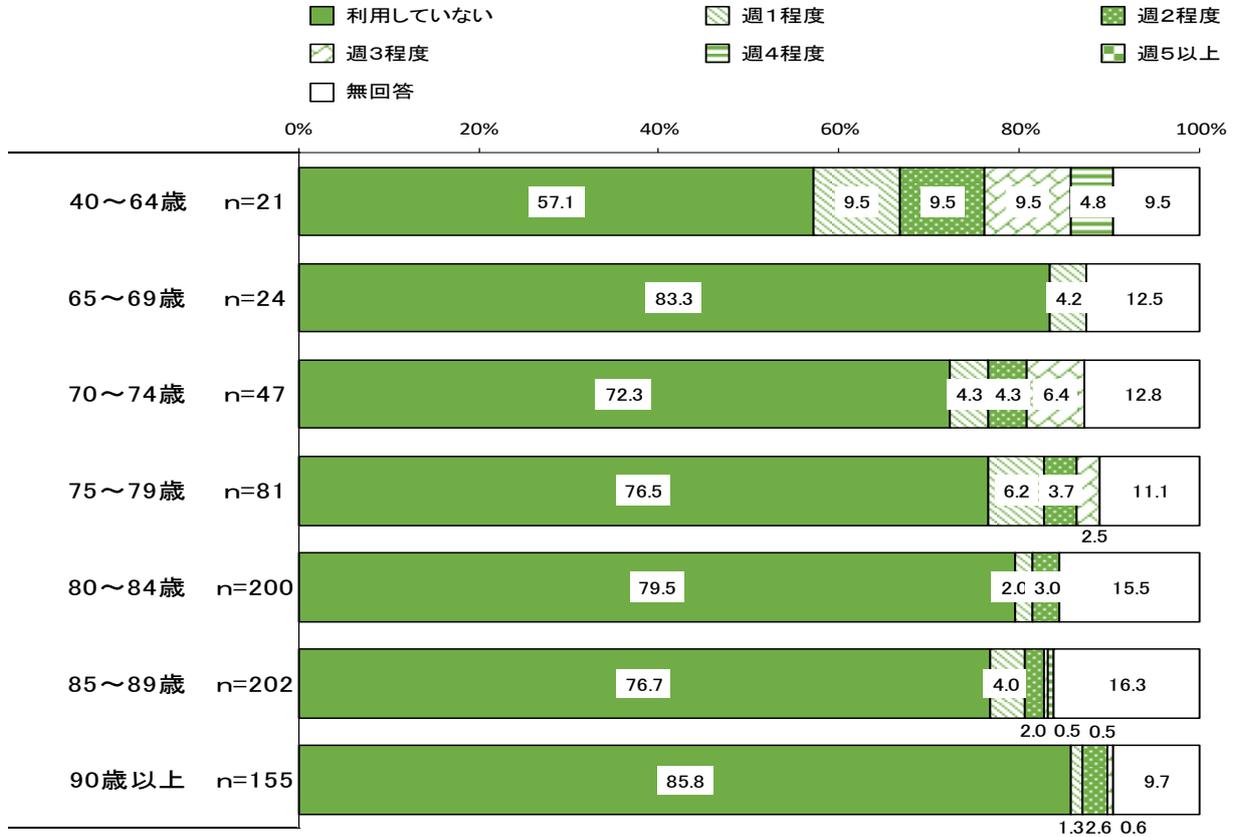
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「週1程度」（17.4%）の割合が高くなっています。



訪問リハビリテーション

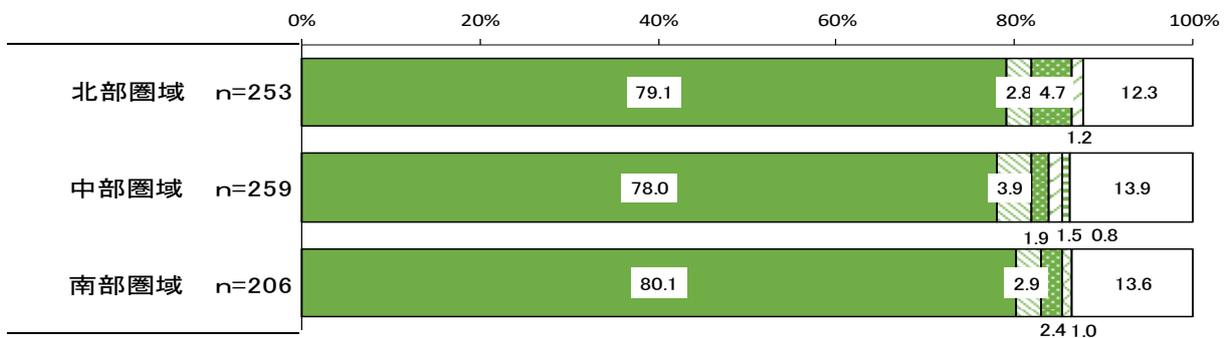
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳と90歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。



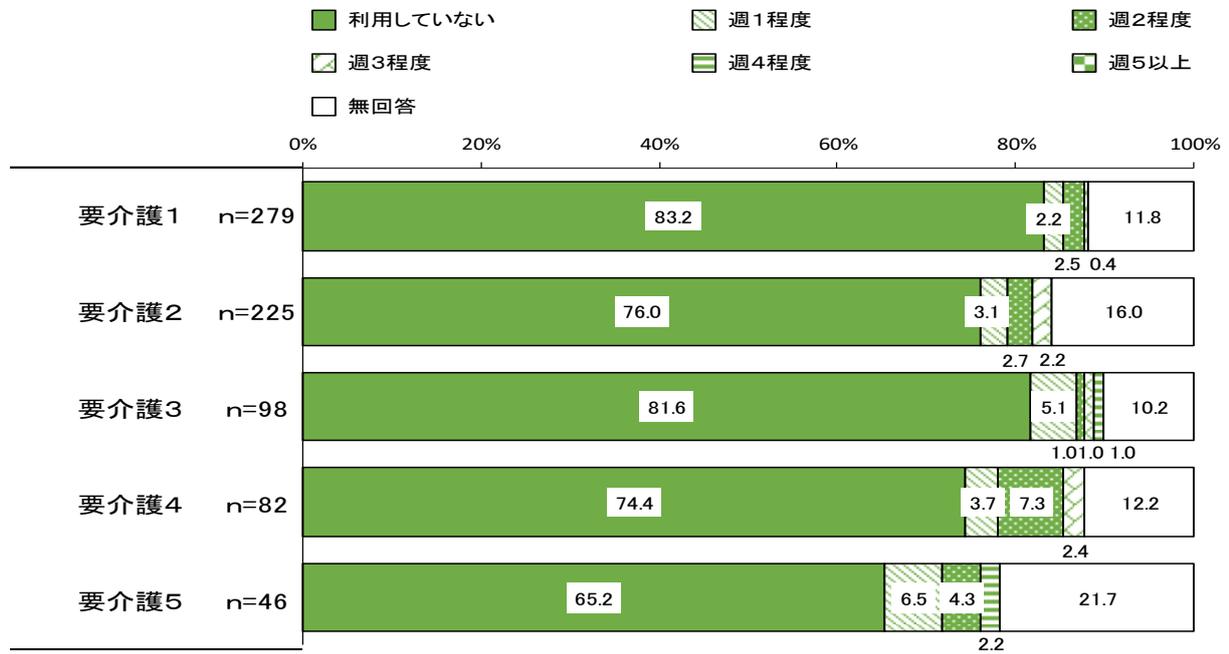
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「利用していない」（80.1%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

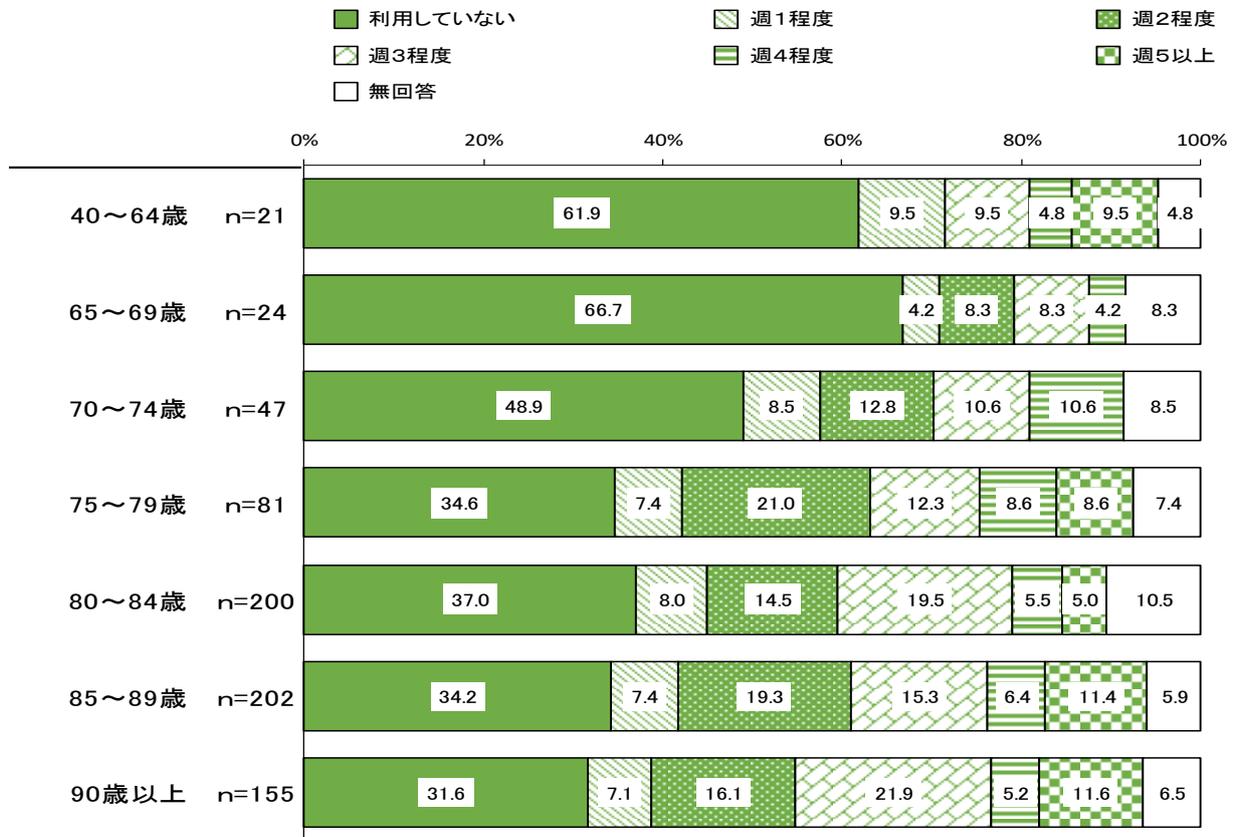
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護度別では、要介護1と要介護3で「利用していない」の割合が高くなっています。



通所介護

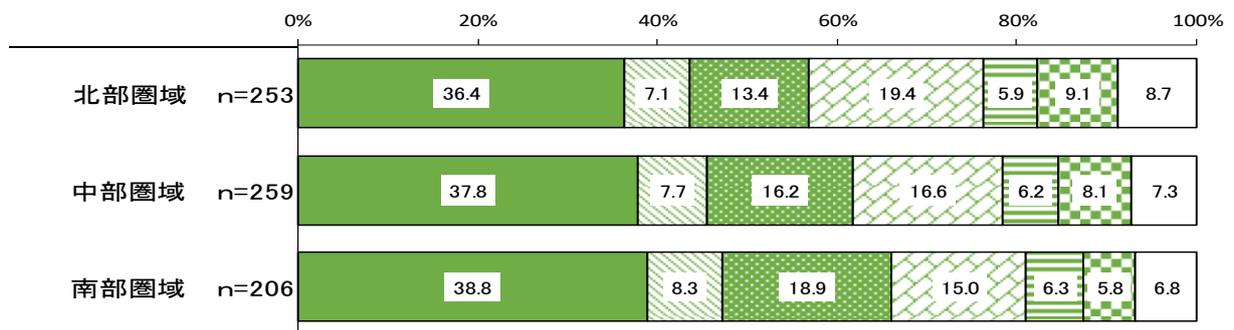
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「週3程度」の割合が高くなる傾向がみられます。



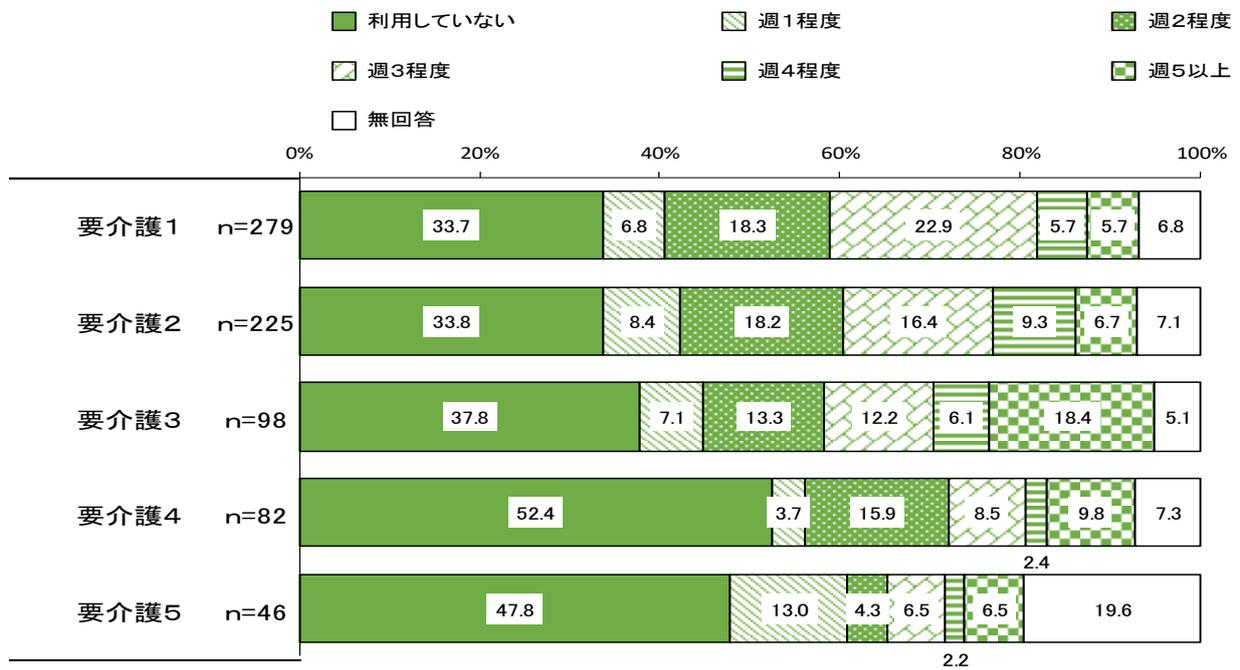
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



【要介護度別】

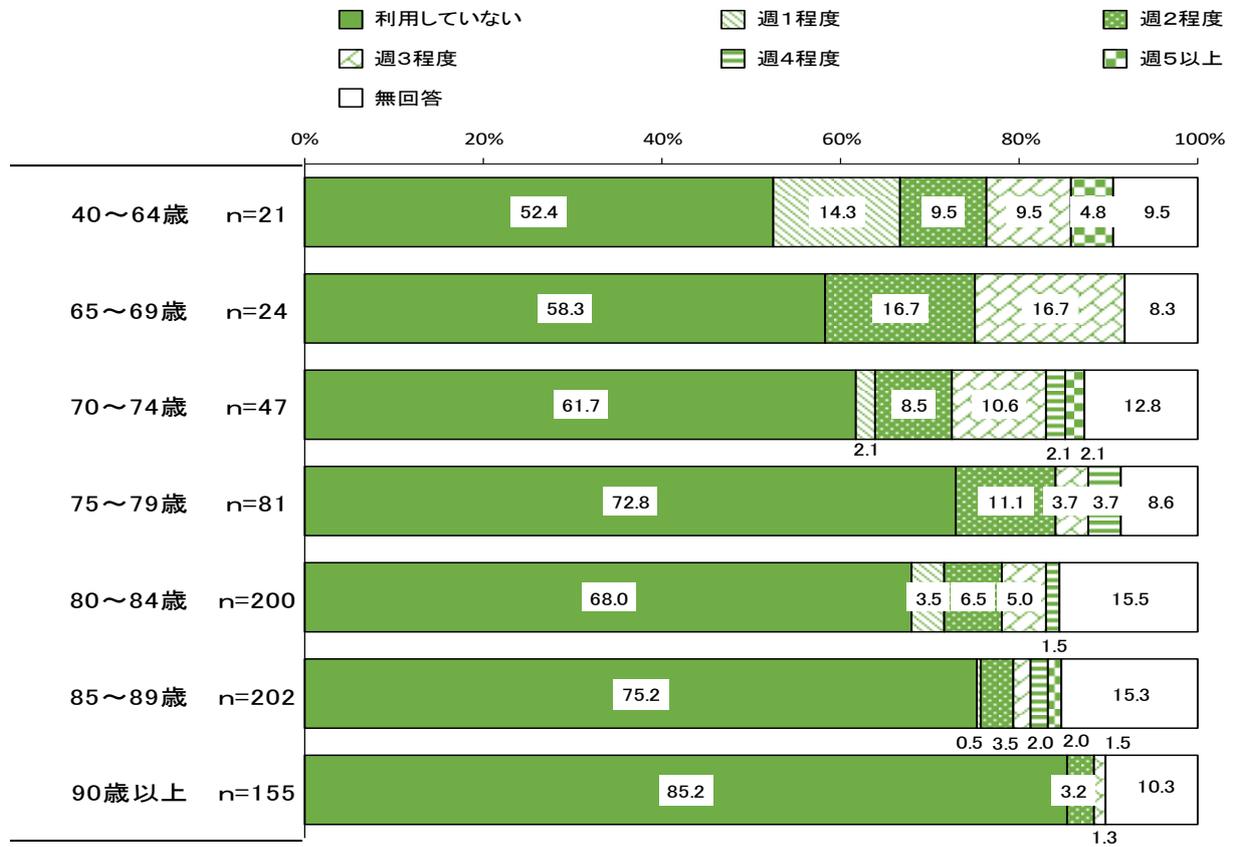
要介護度別では、要介護3で「週5以上」（18.4％）の割合が高くなっています。また、要介護4で「利用していない」（52.4％）の割合が高くなっています。



通所リハビリテーション

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「週3程度」（16.7%）の割合が高くなっています。



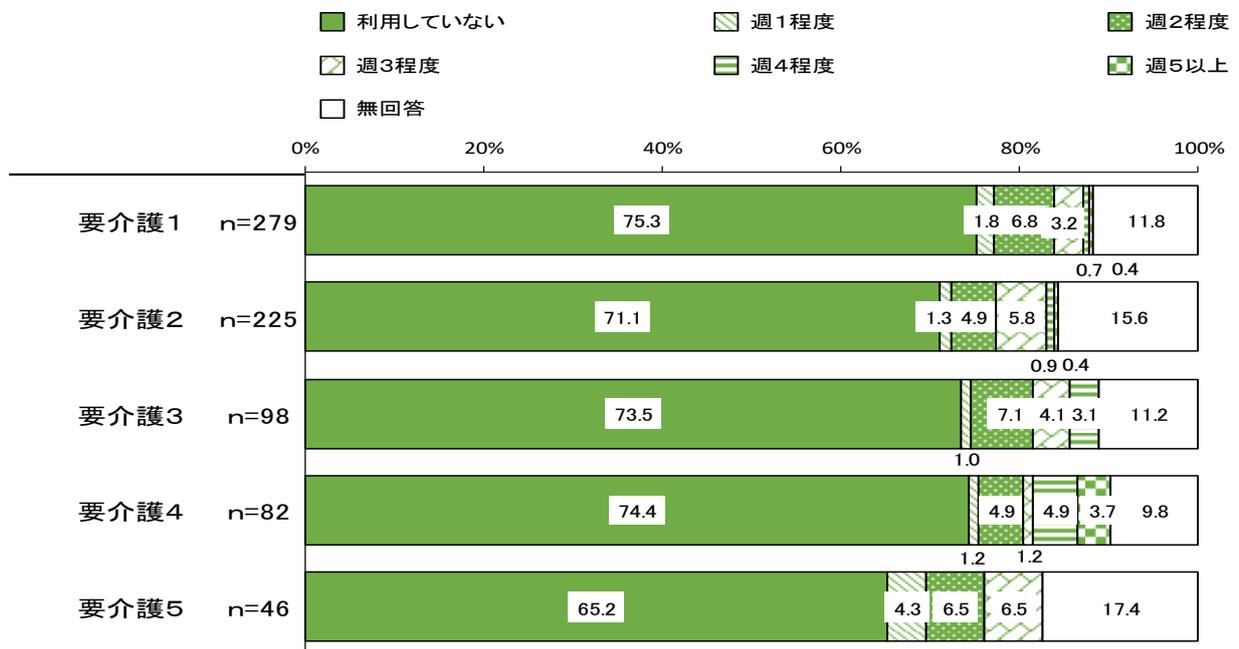
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「週2程度」（7.8%）の割合がやや高くなっています。



【要介護度別】

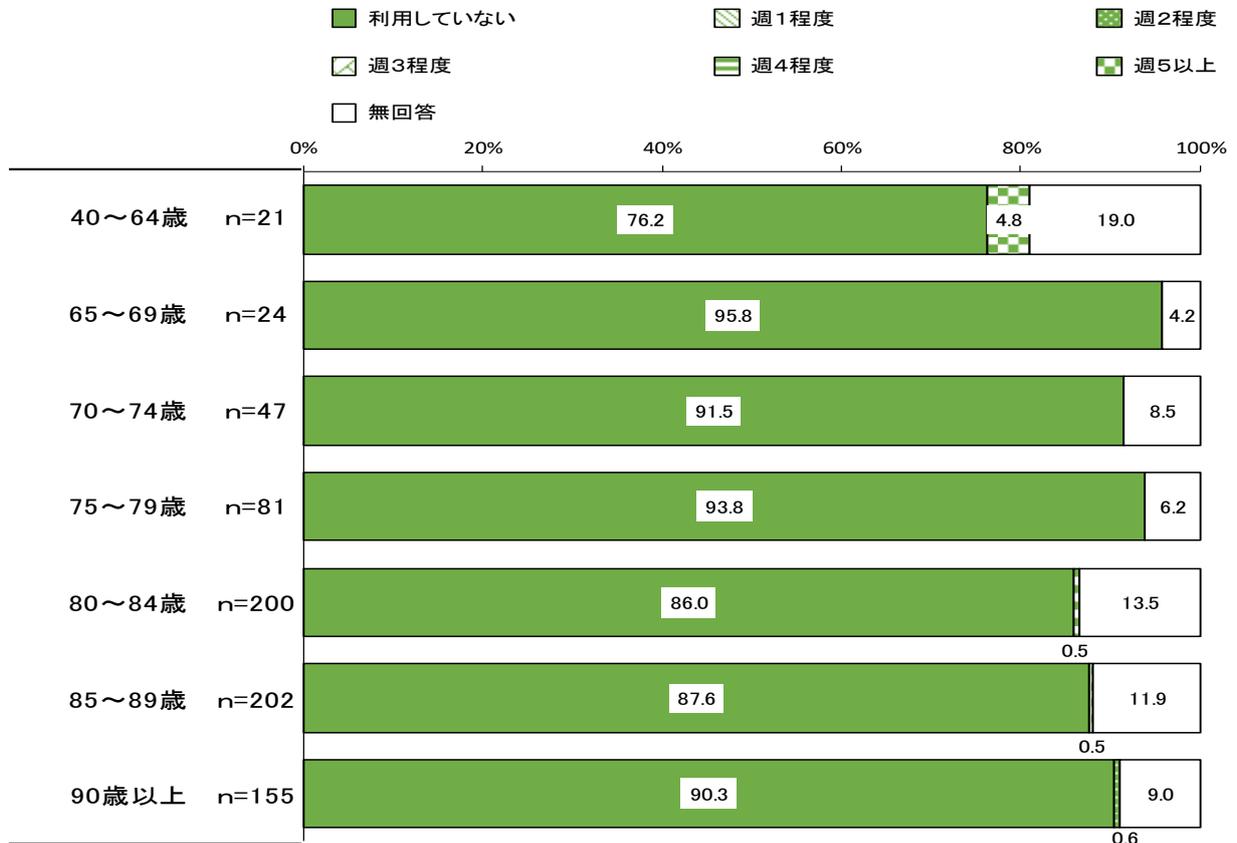
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1～要介護4で「利用していない」の割合が高くなっています。



夜間対応型訪問介護

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「週5以上」（4.8%）の割合が高くなっています。



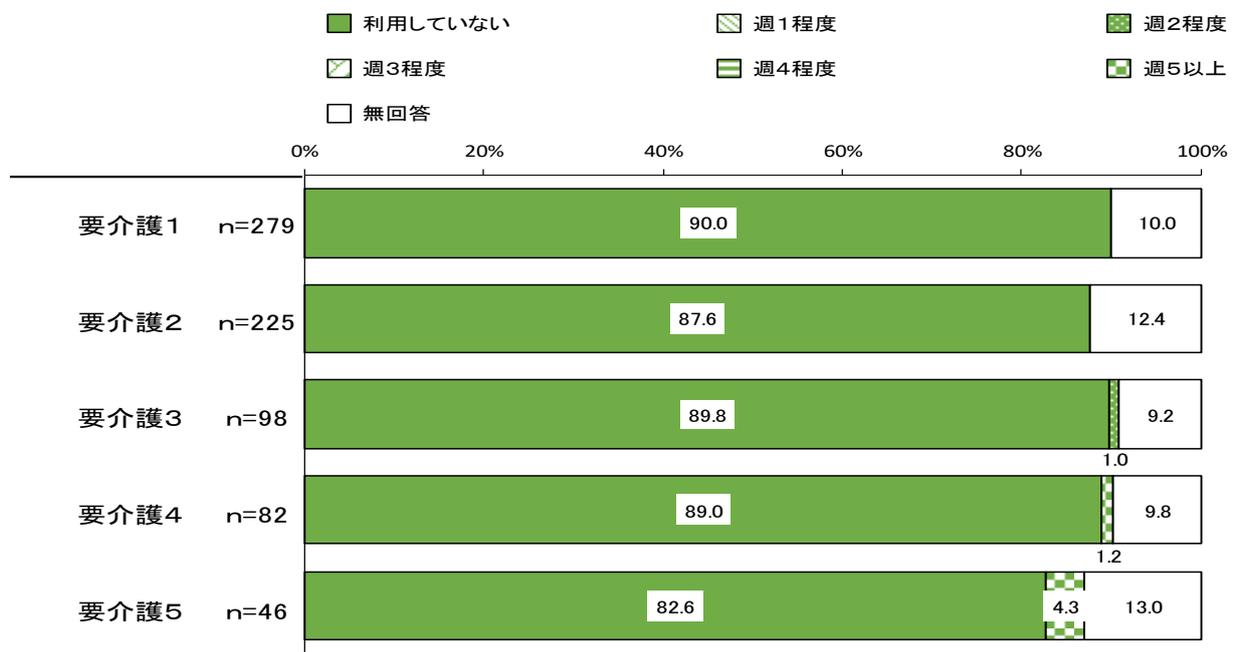
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「利用していない」（90.9%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

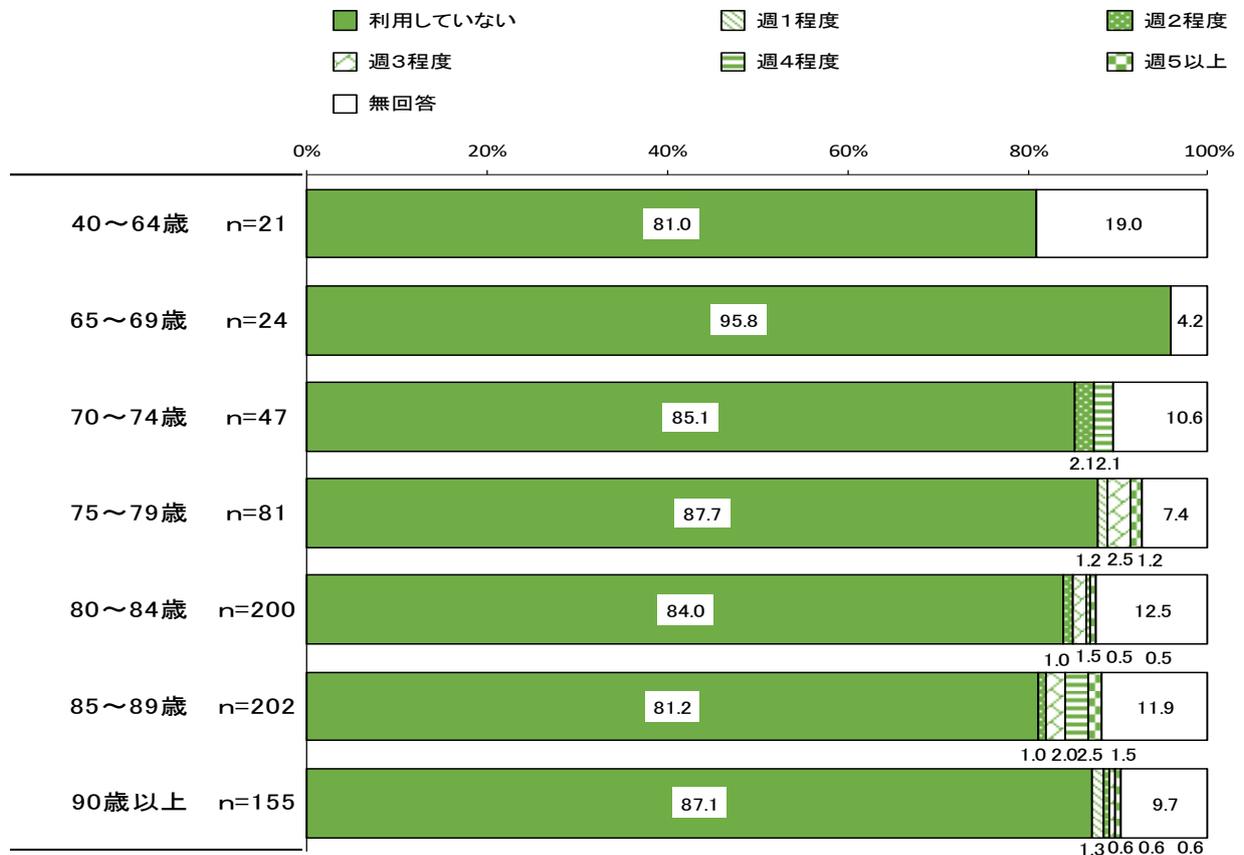
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「週5以上」（4.3%）の割合がやや高くなっています。



認知症対応型通所介護

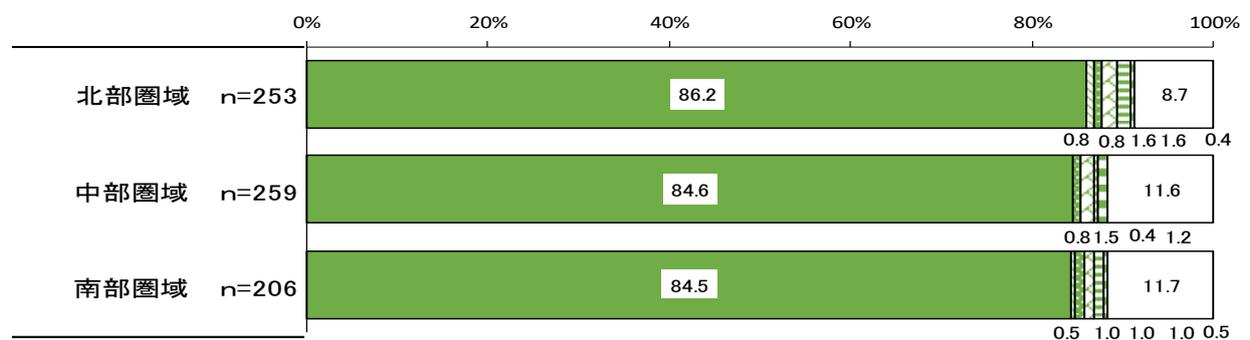
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「利用していない」（95.8%）の割合が高くなっています。



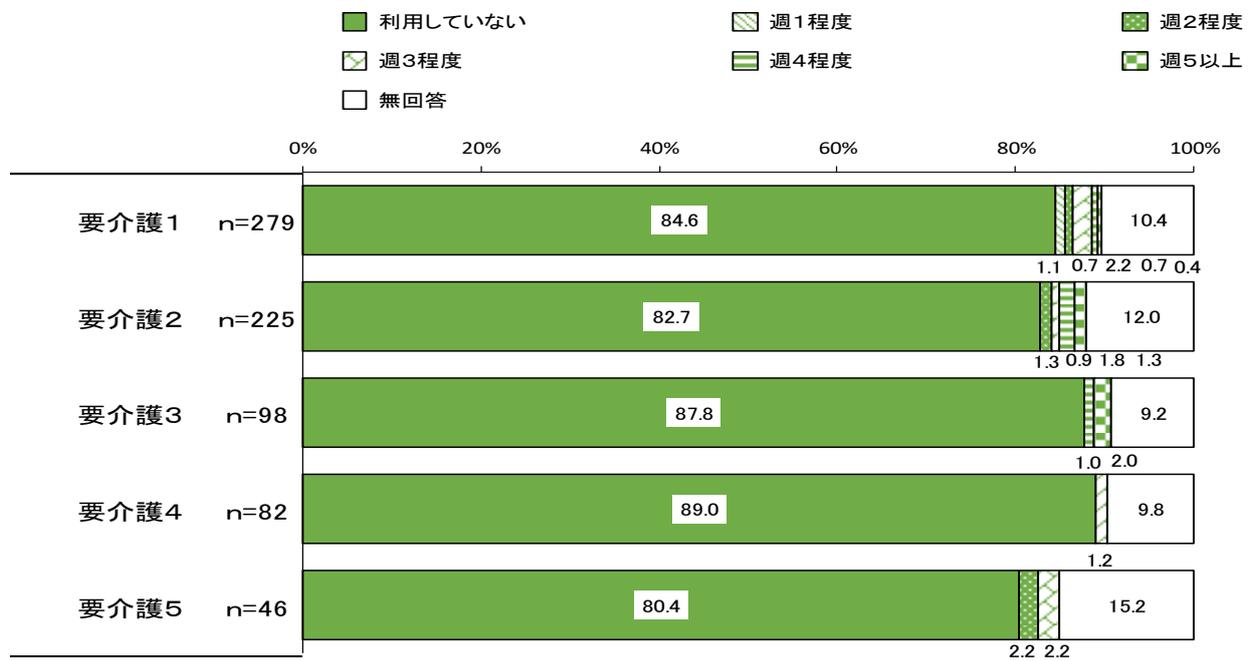
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



【要介護度別】

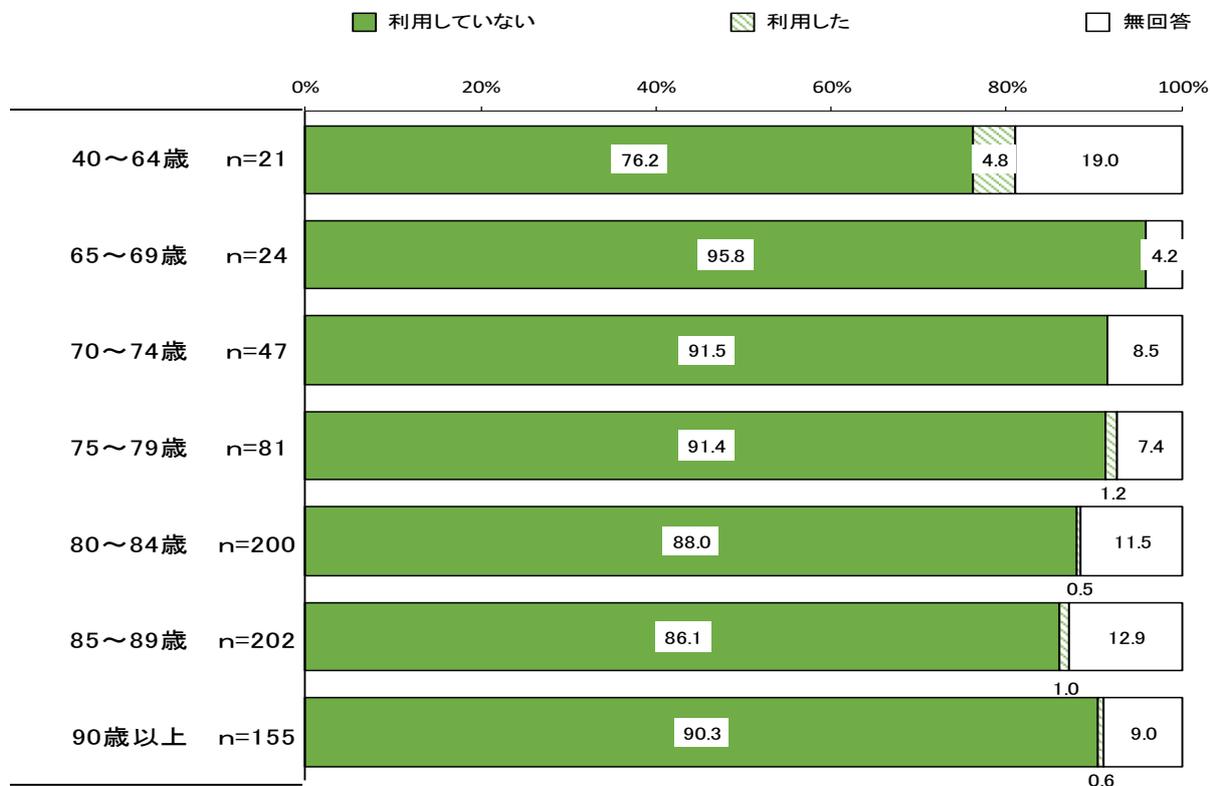
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護4で「利用していない」（89.0%）の割合が高くなっています。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護

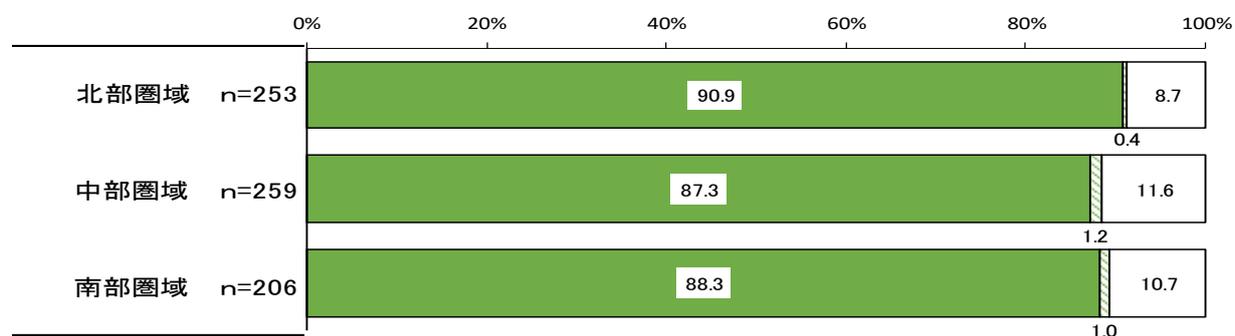
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「利用していない」（95.8%）の割合が高くなっています。



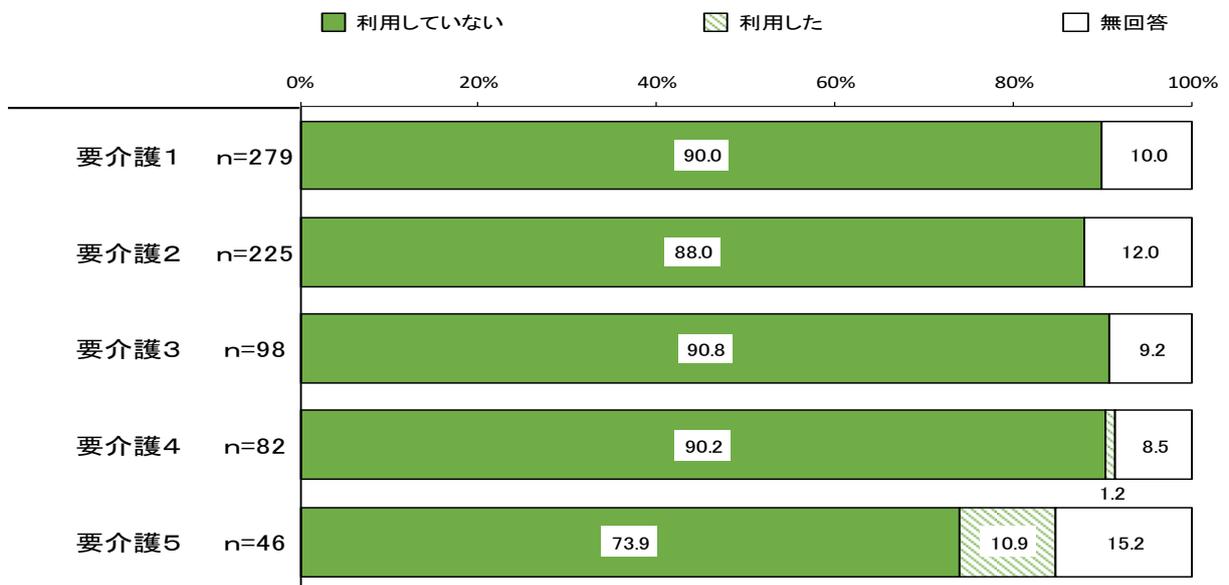
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「利用していない」（90.9%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

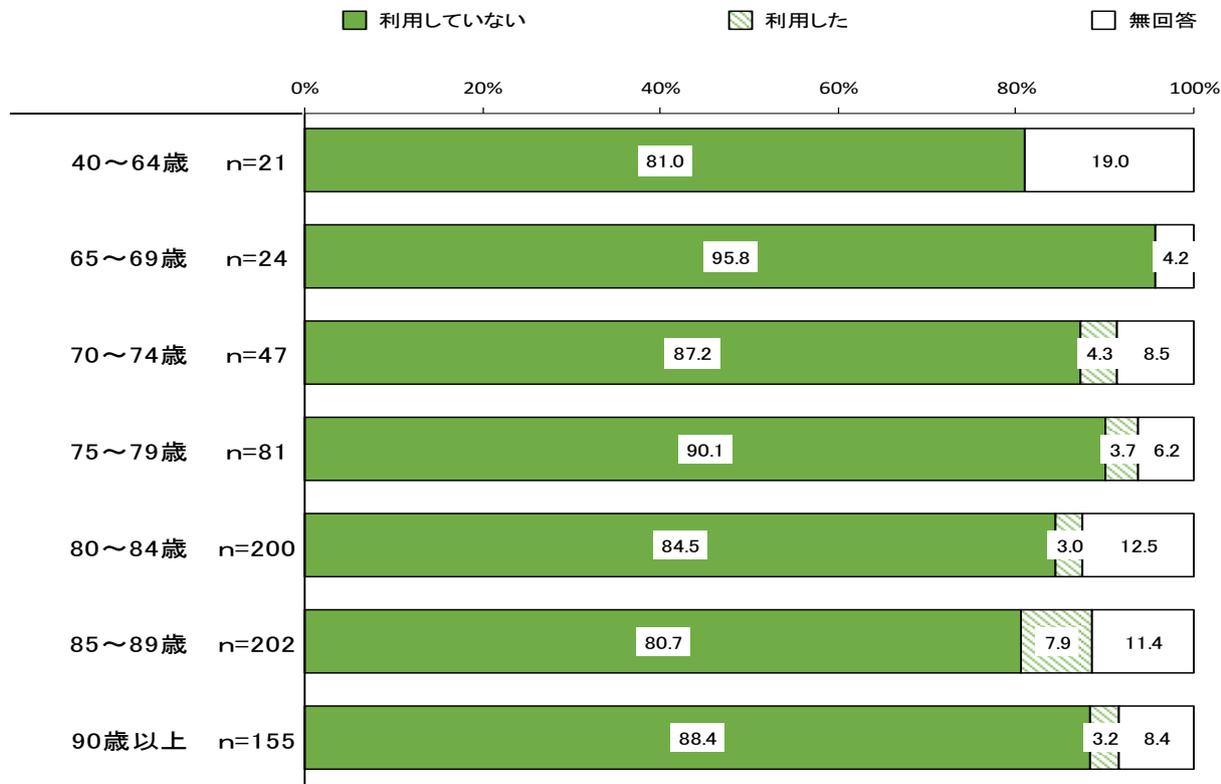
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「利用した」(10.9%)の割合が高くなっています。



小規模多機能型居宅介護

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「利用していない」（95.8%）の割合が高くなっています。



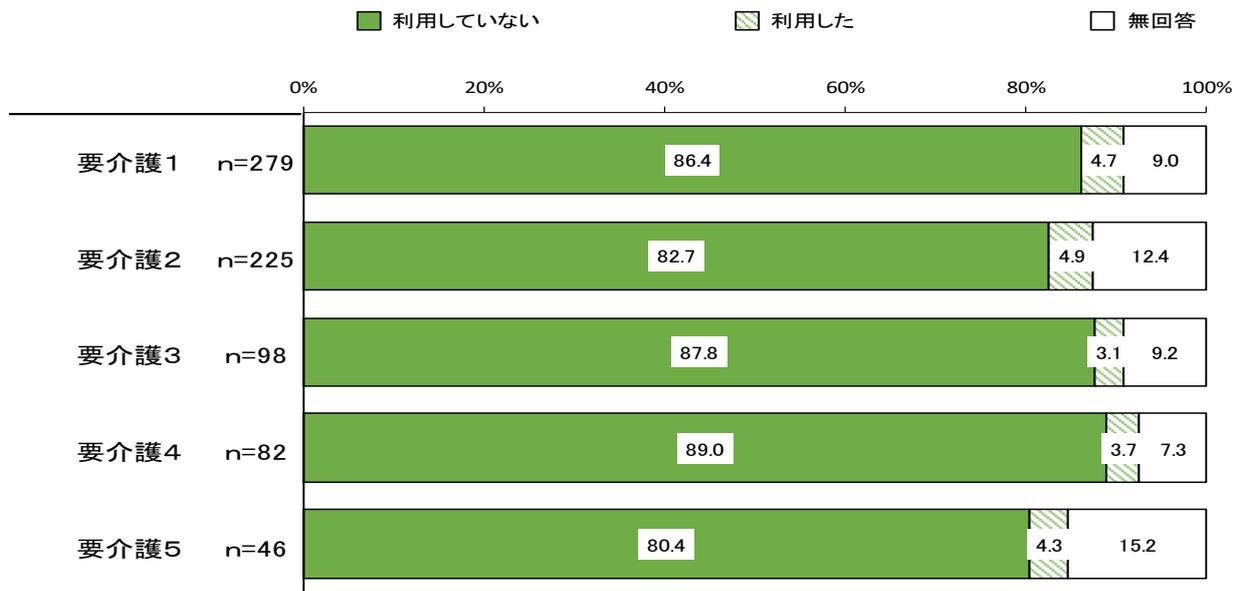
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



【要介護度別】

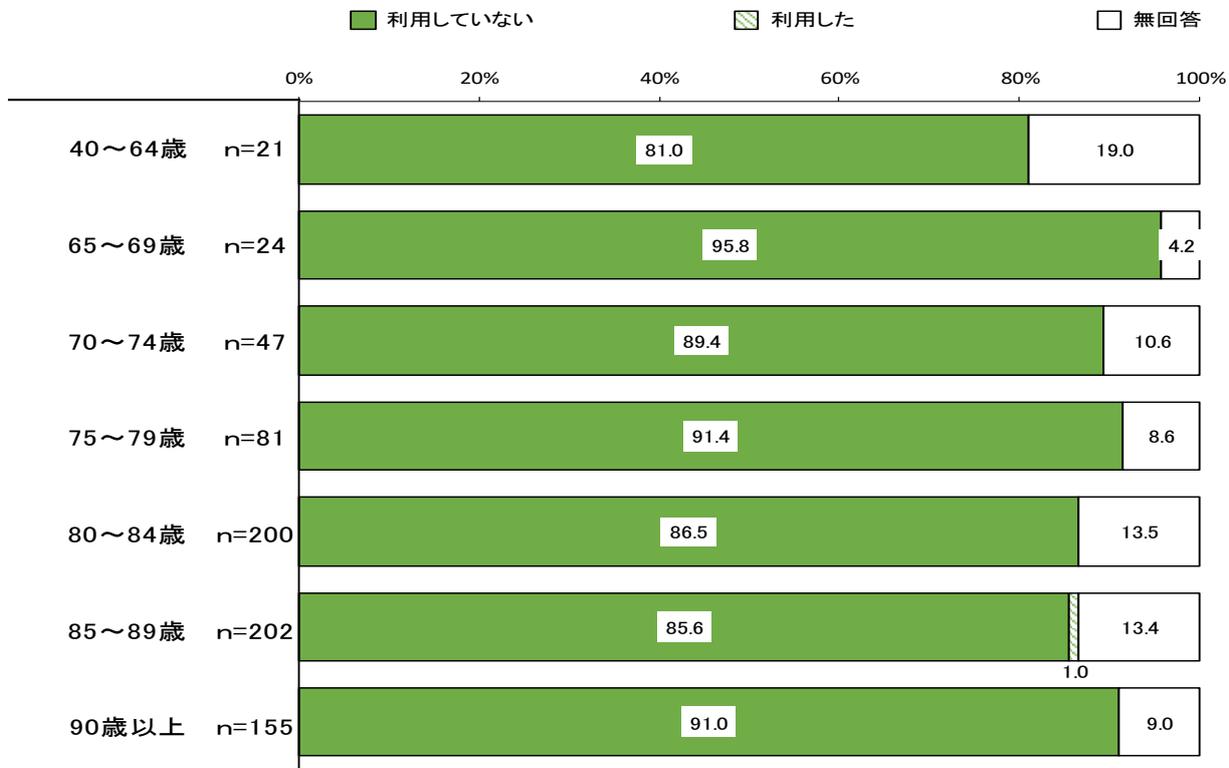
要介護度別では、大きな差異はみられません。



看護小規模多機能型居宅介護

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳と90歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。



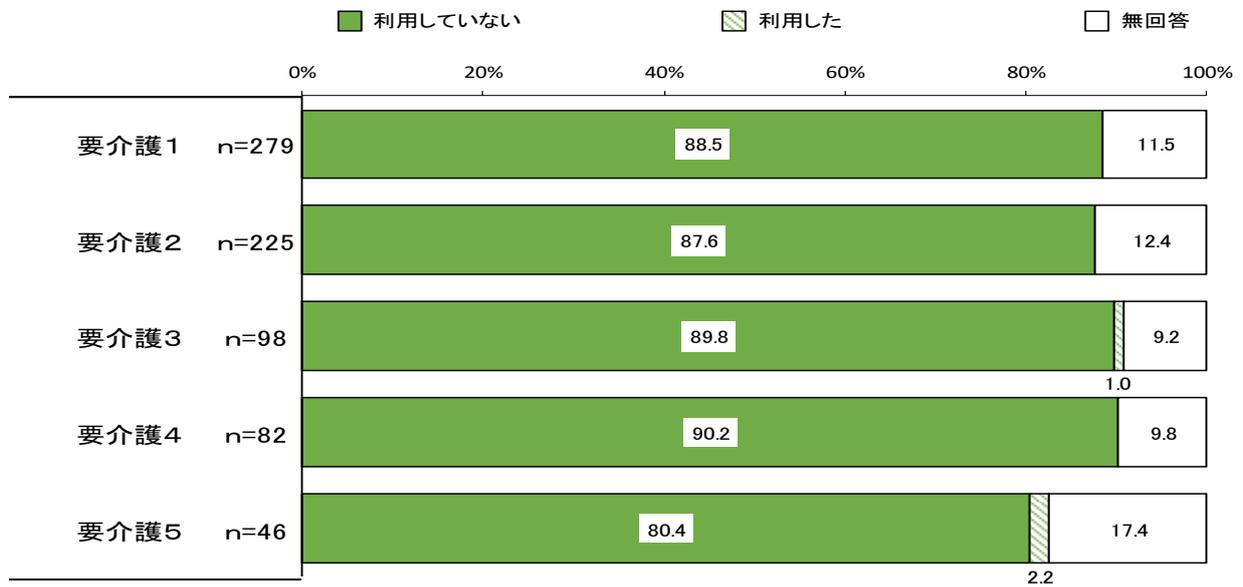
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「利用していない」（90.5%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

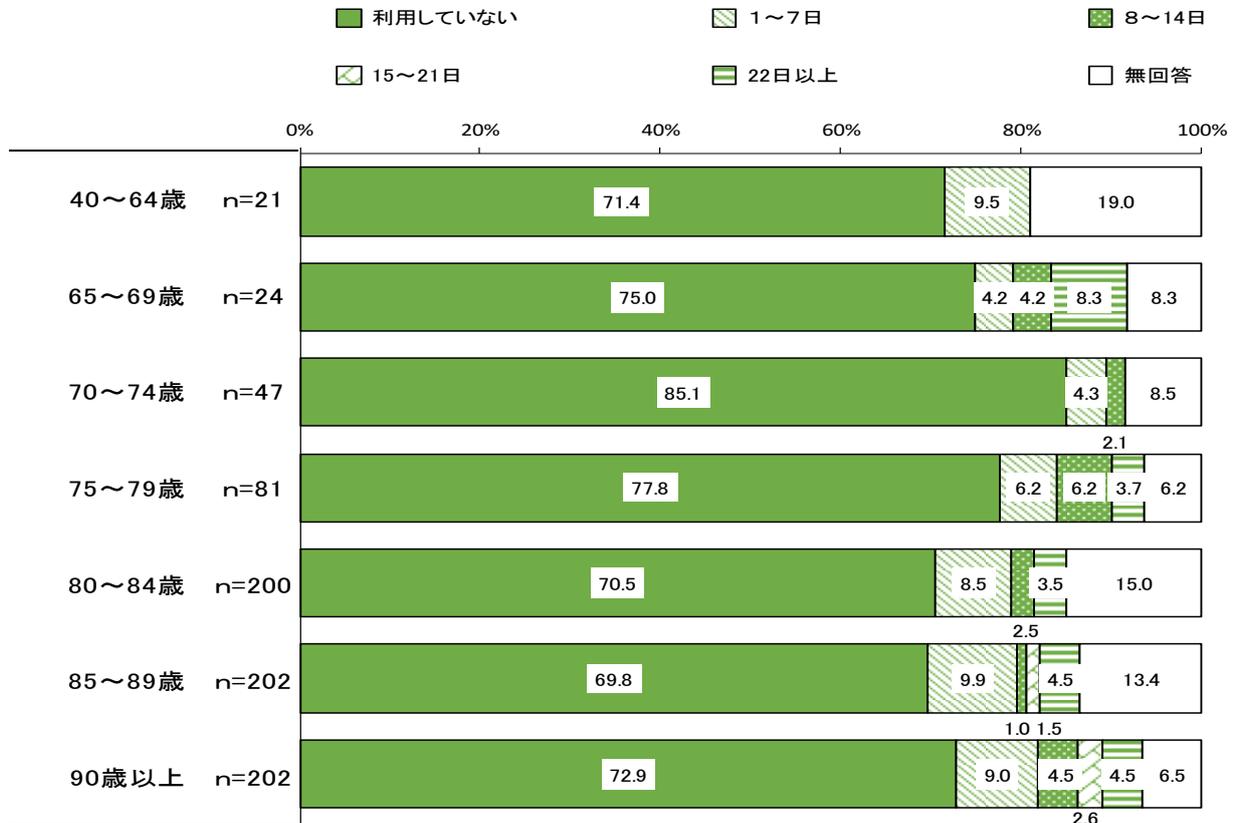
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護4で「利用していない」(90.2%)の割合が高くなっています。



短期入所生活介護

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で「利用していない」（85.1%）の割合が高くなっています。



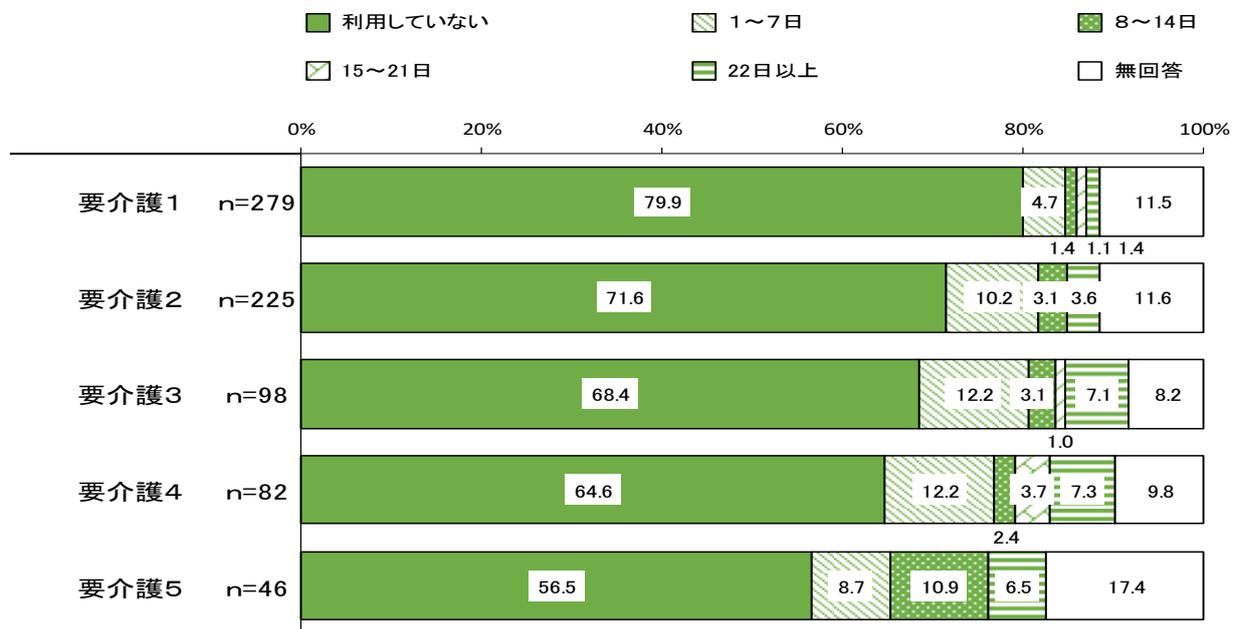
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「1～7日」（11.7%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

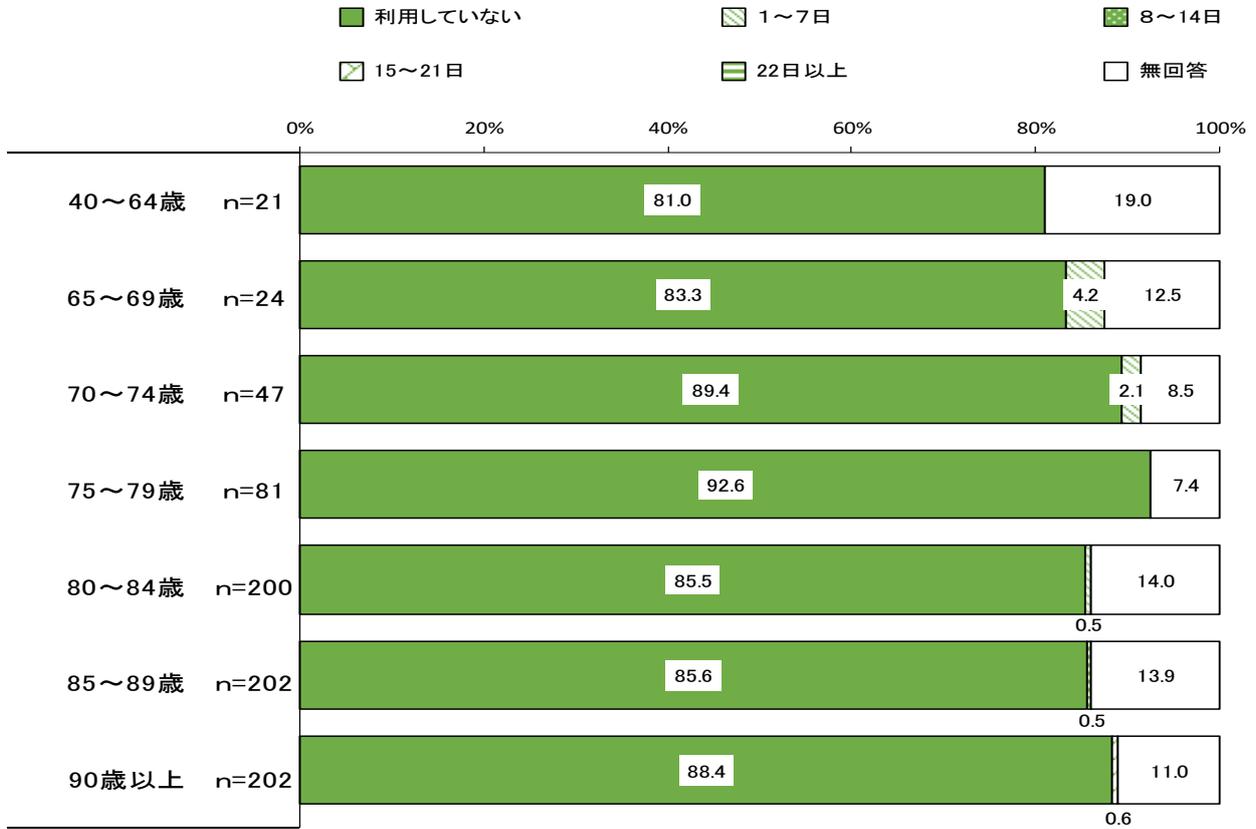
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1で「利用していない」（79.9%）の割合が高くなっています。



短期入所療養介護

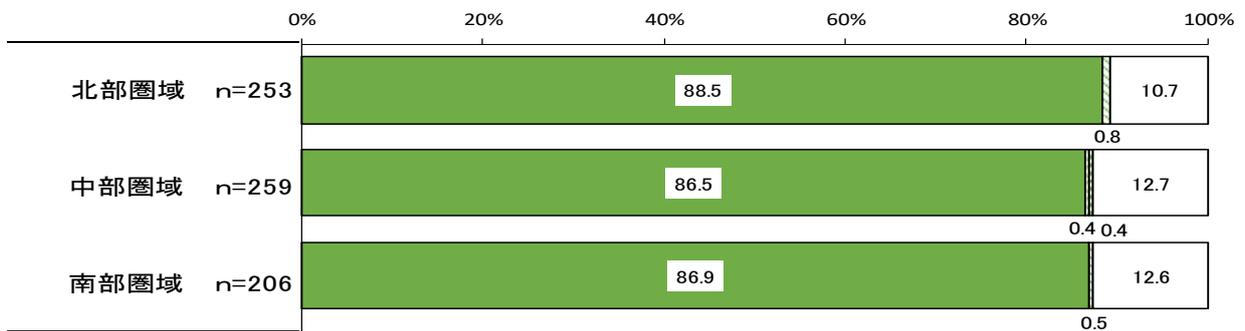
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「利用していない」（92.6%）の割合が高くなっています。



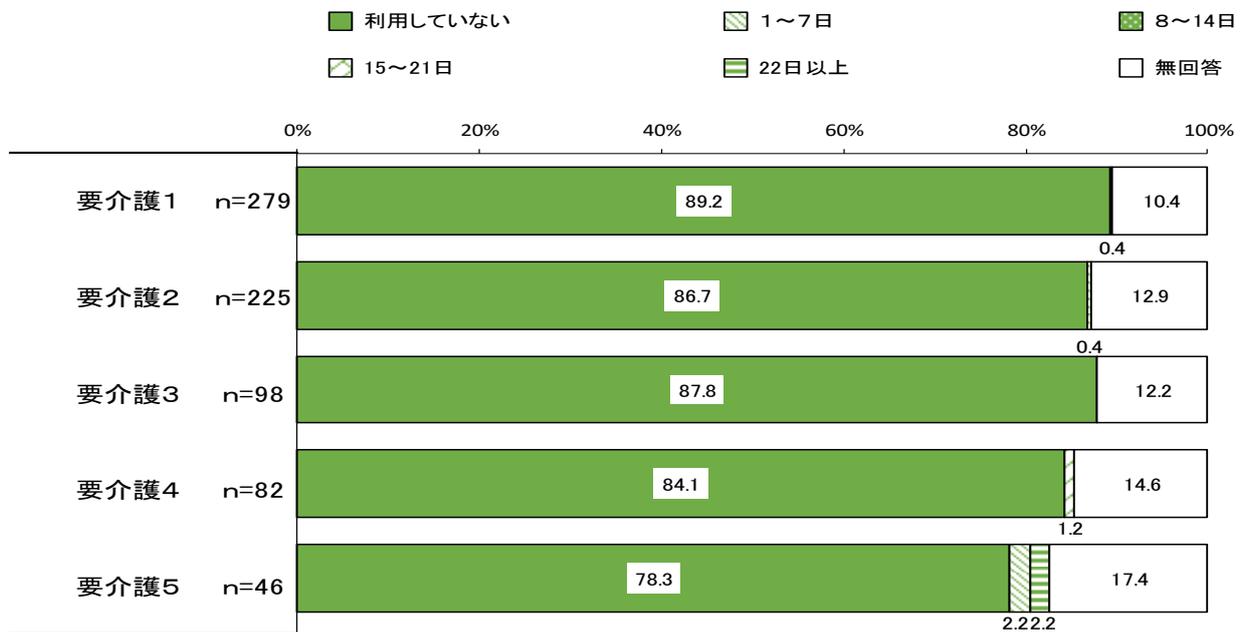
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



【要介護度別】

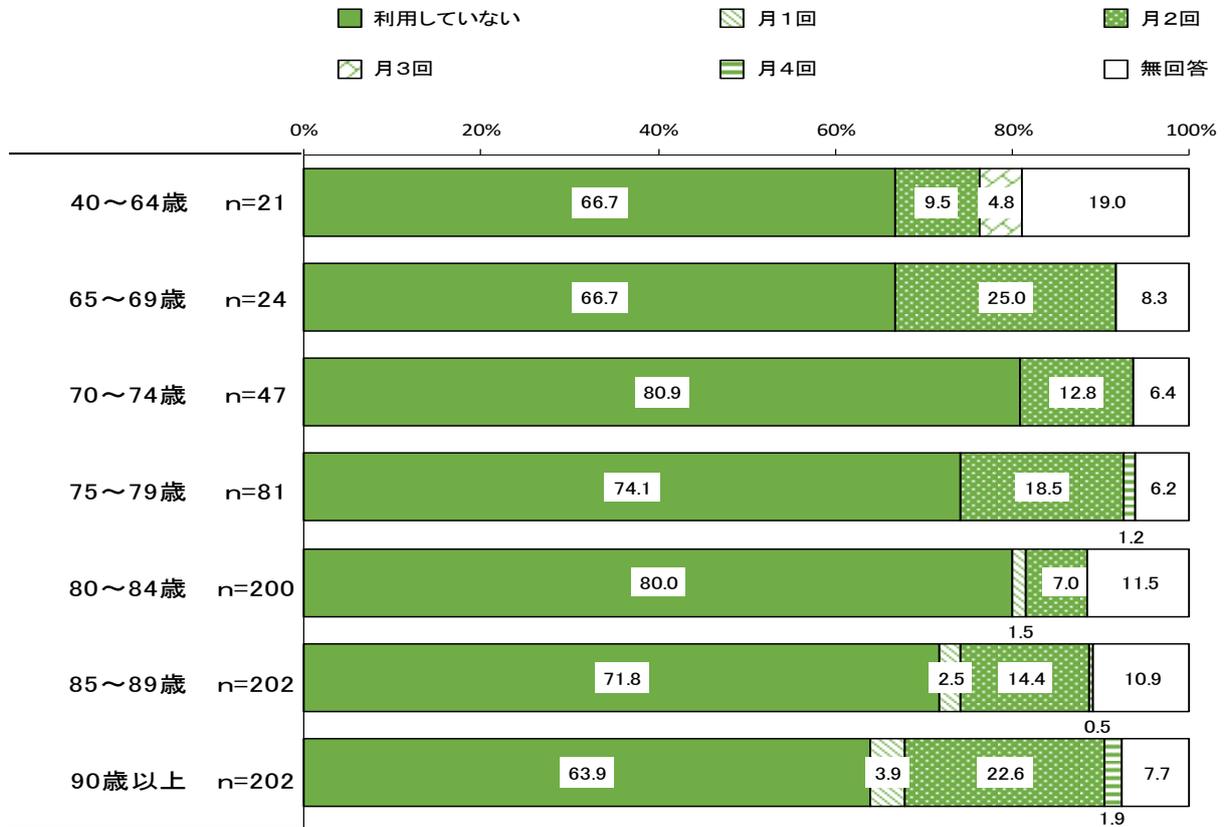
要介護度別では、要介護1～4で「利用していない」の割合が高くなっています。



居宅療養管理指導

【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳と90歳以上で「月2回」の割合が高くなっています。



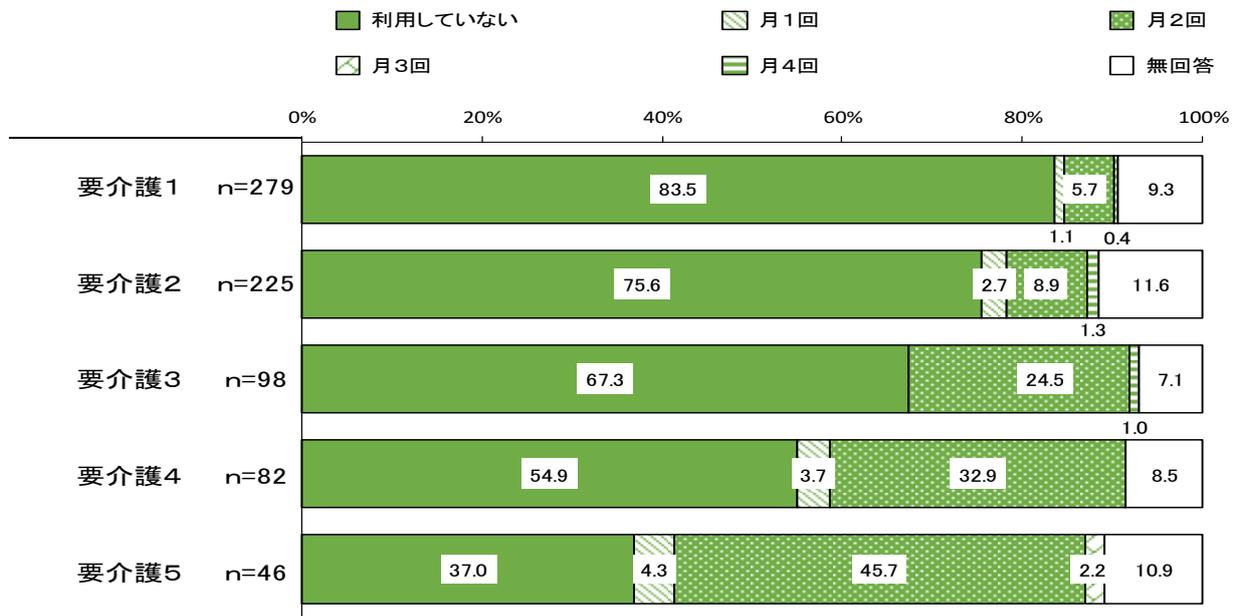
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「月2回」（19.7%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

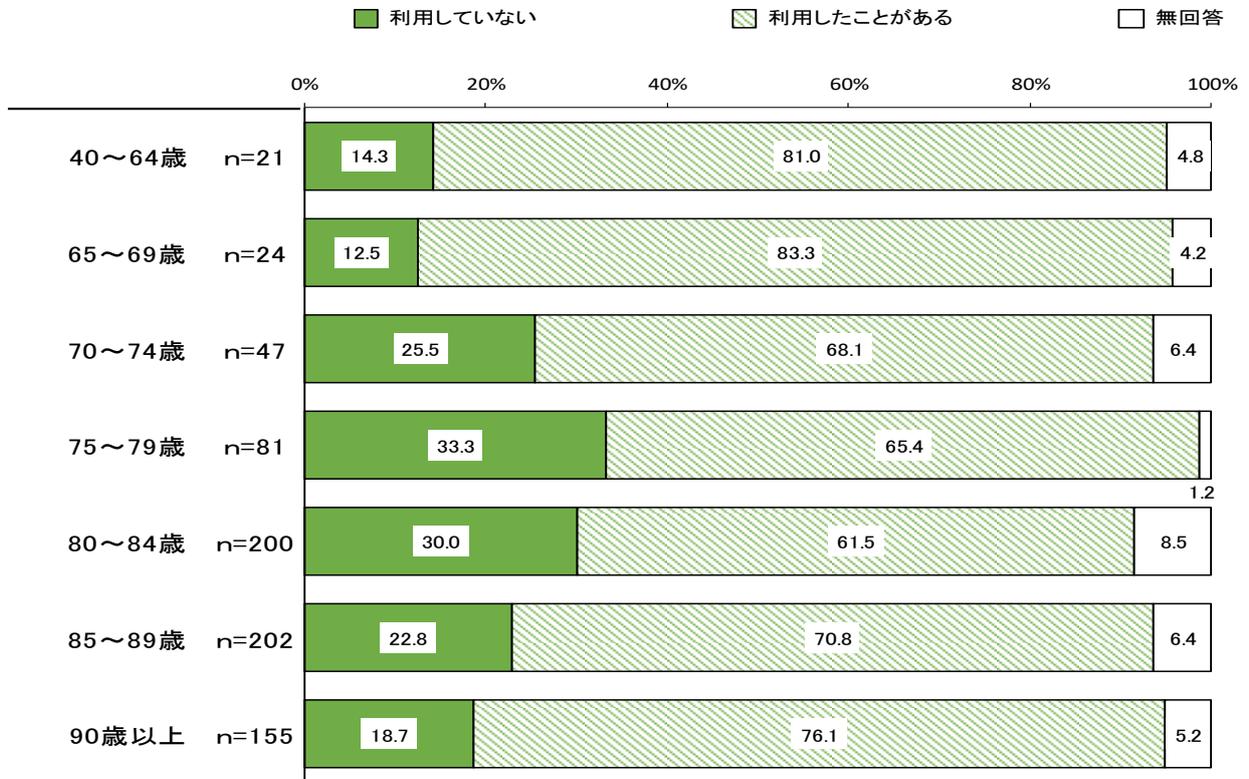
要介護度別では、要介護度が上がるにつれ「月2回」の割合が高くなっています。



福祉用具の貸与・購入

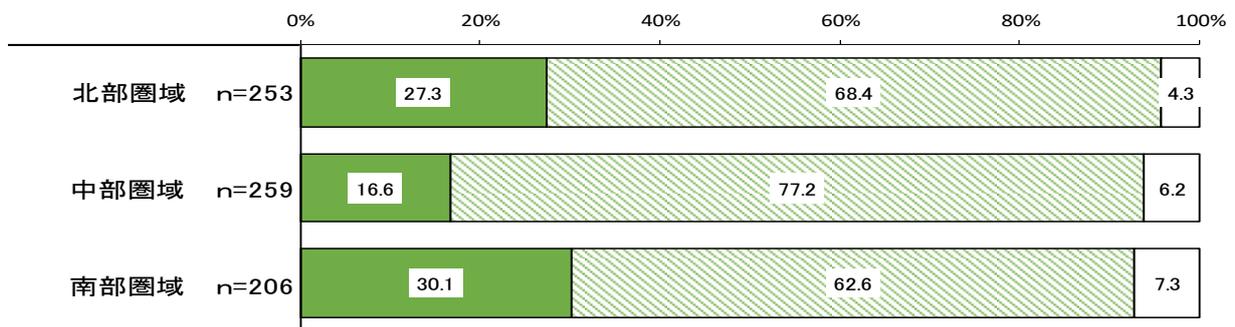
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～69歳で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



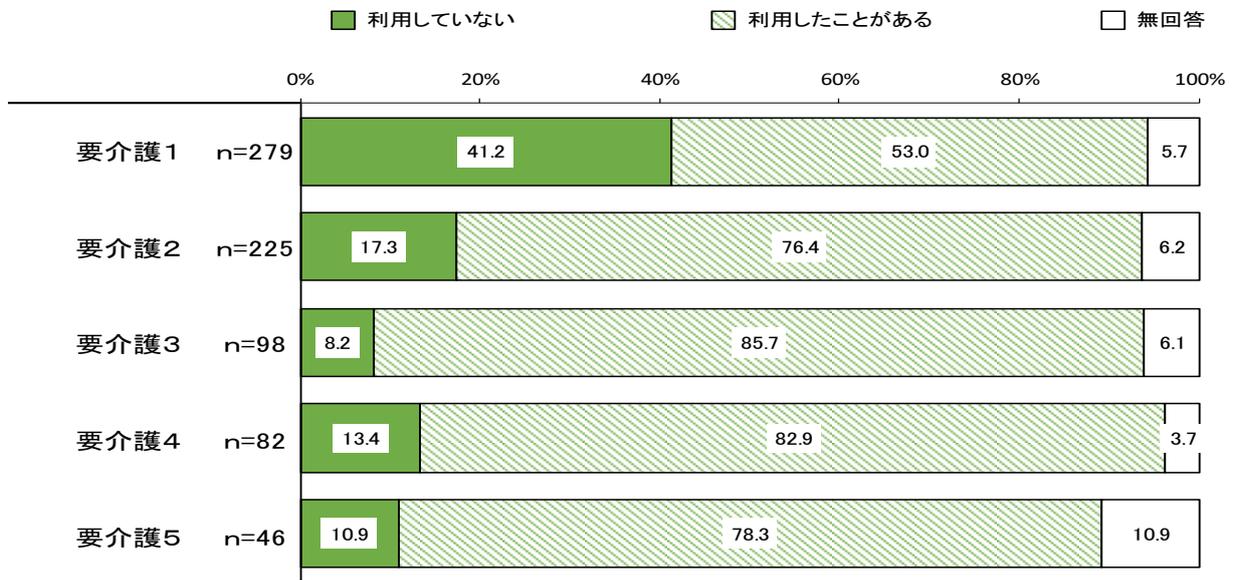
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「利用したことがある」（77.2%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

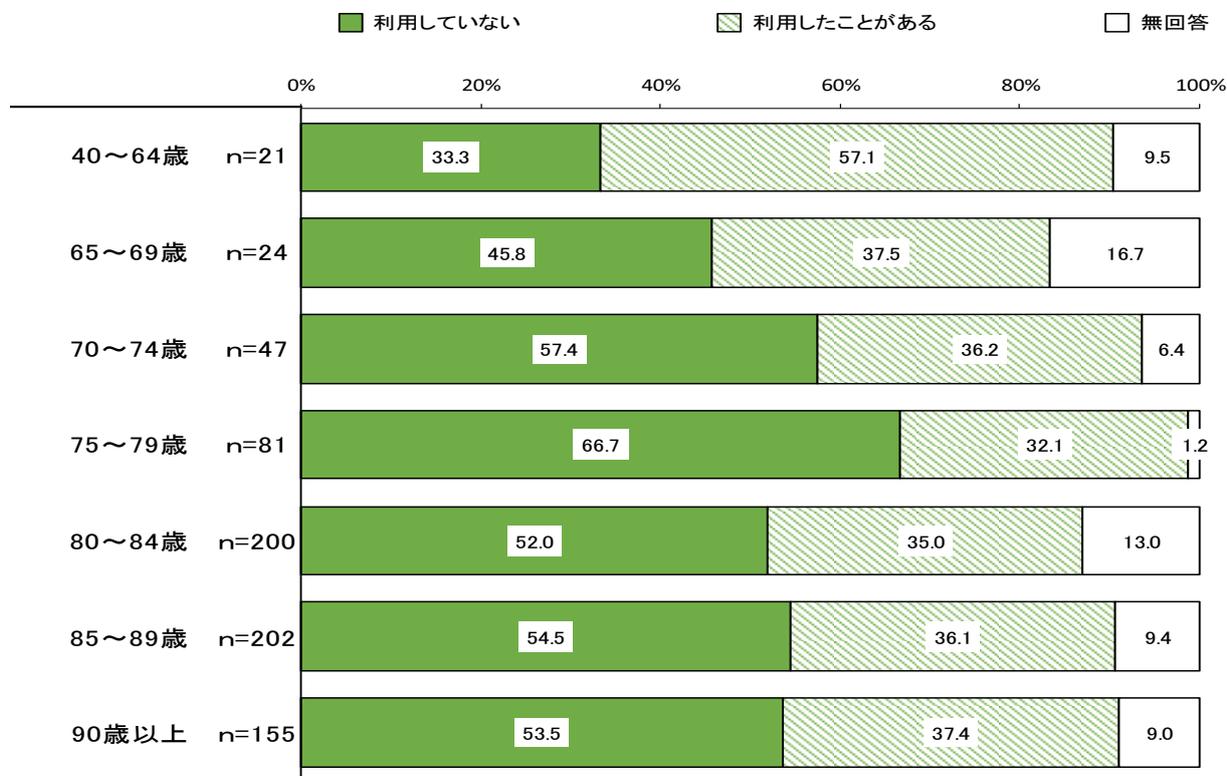
要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護3と要介護4で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



住宅の改修

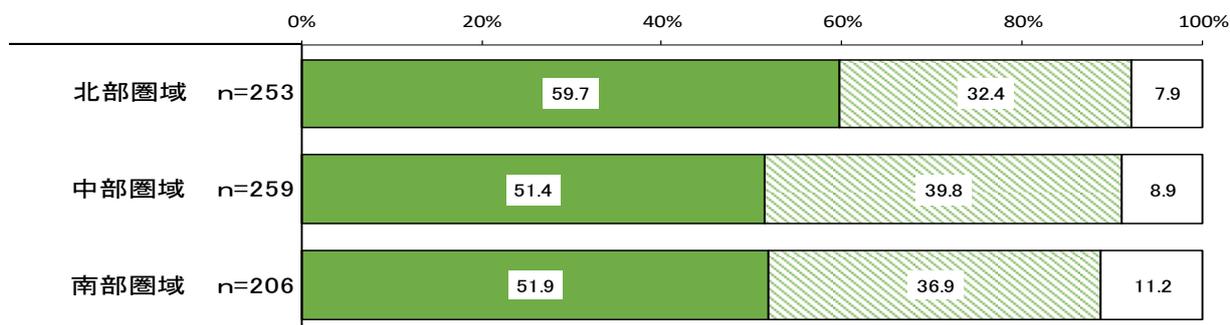
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「利用したことがある」（57.1%）の割合が高くなっています。



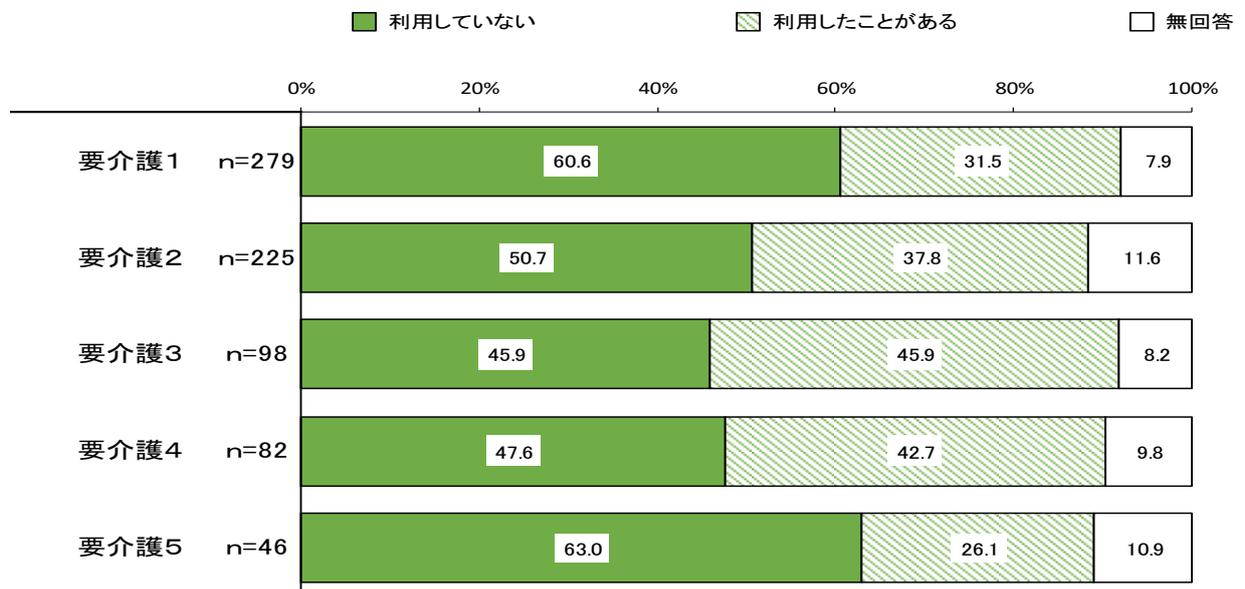
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「利用していない」（59.7%）の割合が高くなっています。



【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1と要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。

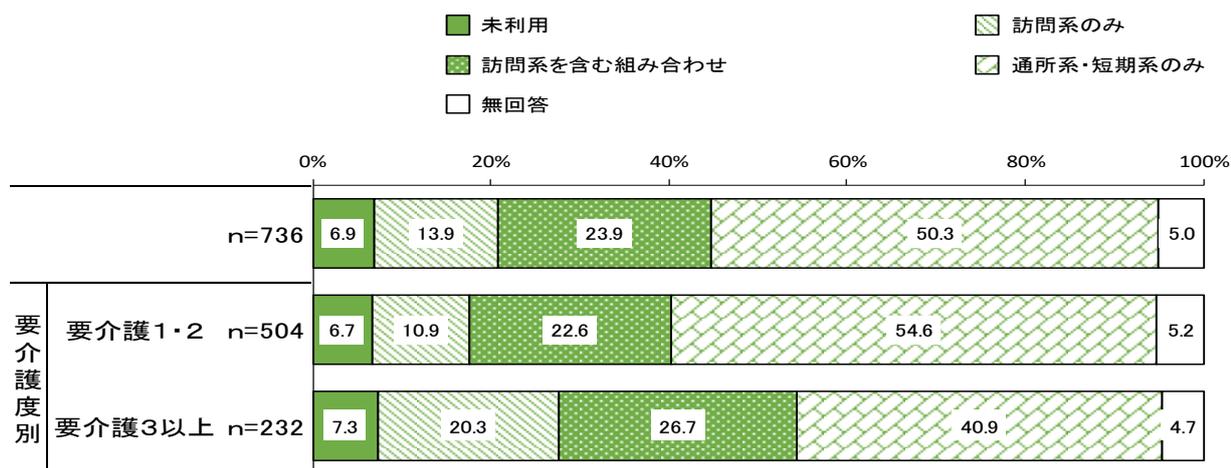


○1か月あたりの介護保険サービスの利用の組み合わせに着目した集計・分析

【全体】

全体では、「通所系・短期系のみ」が50.3%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.9%、「訪問系のみ」が13.9%となっています。

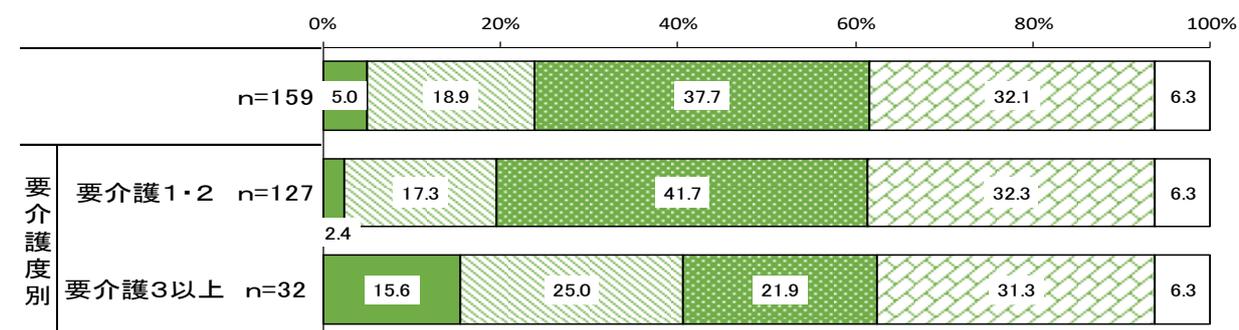
要介護度別では、要介護1・2で「通所系・短期系のみ」（54.6%）の割合が高く、要介護3以上で「訪問系を含む組み合わせ」（26.7%）の割合が高くなっています。



【単身世帯】

単身世帯では、「訪問系を含む組み合わせ」が37.7%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.1%、「訪問系のみ」が18.9%となっています。

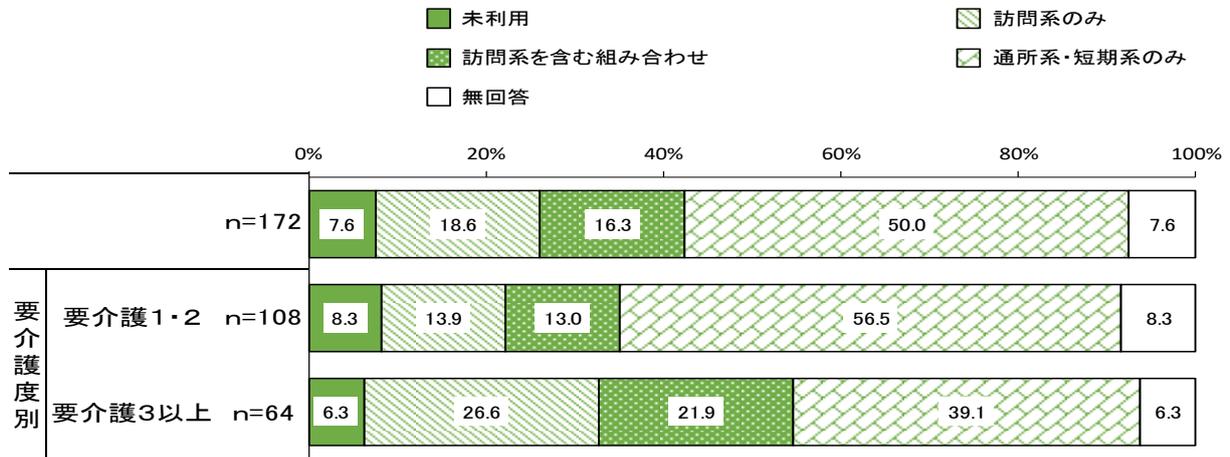
要介護度別では、要介護1・2で「訪問系を含む組み合わせ」（41.7%）の割合が高く、要介護3以上で「通所系・短期系のみ」（31.3%）の割合が高くなっています。



【夫婦のみ世帯】

夫婦のみ世帯では、「通所系・短期系のみ」が 50.0%で最も高く、次いで「訪問系のみ」が 18.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 16.3%となっています。

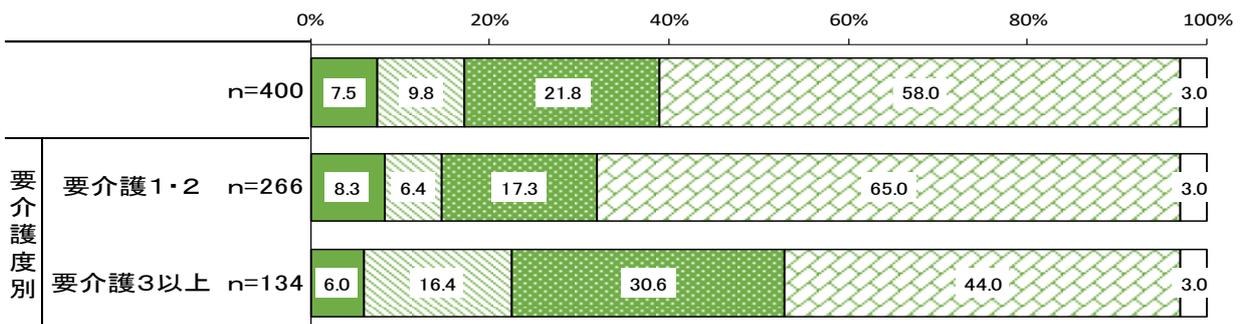
要介護度別では、要介護3以上で要介護1・2と比べ「訪問系のみ」（26.6%）、「訪問系を含む組み合わせ」（21.9%）の割合が高くなっています。



【その他世帯】

その他世帯では、「通所系・短期系のみ」が 58.0%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 21.8%、「訪問系のみ」が 9.8%となっています。

要介護度別では、要介護3以上で要介護1・2と比べ「訪問系のみ」（16.4%）、「訪問系を含む組み合わせ」（30.6%）の割合が高くなっています。



＜サービス利用の分析に用いた用語の定義＞

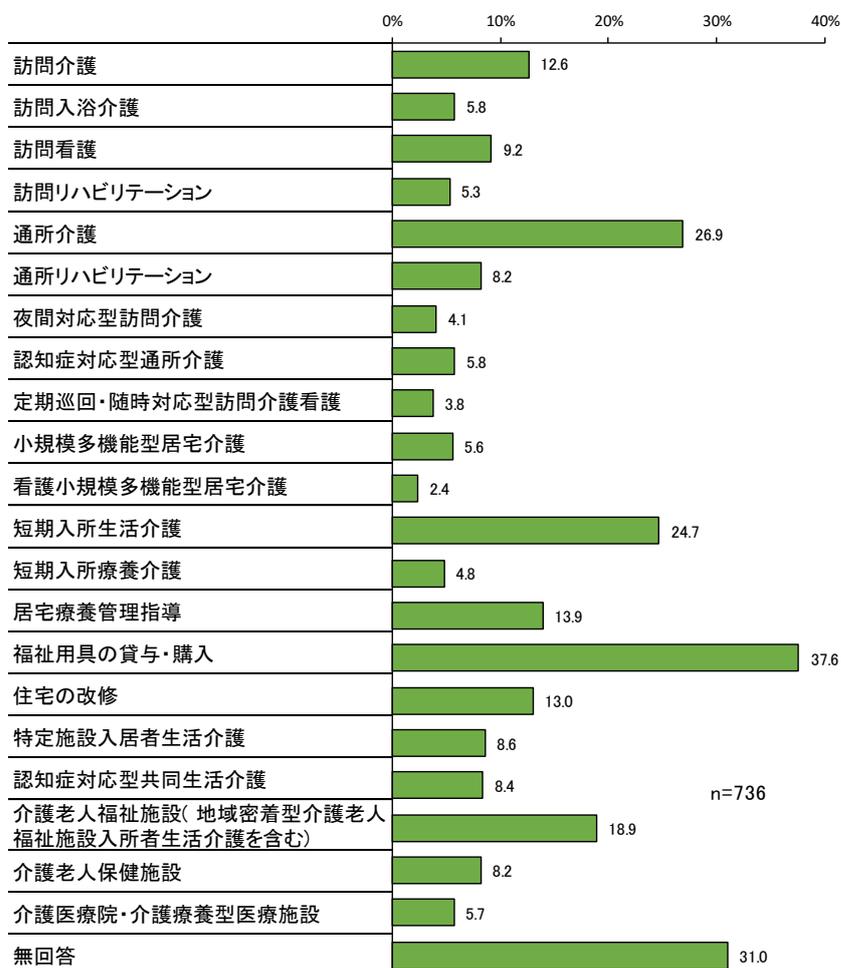
用 語		定 義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用して いる方については、未利用として集計しています。
訪問系		(介護予防) 訪問介護、(介護予防) 訪問入浴介護、 (介護予防) 訪問看護、(介護予防) 訪問リハビリテー ション、(介護予防) 居宅療養管理指導、夜間対応型訪 問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		(介護予防) 通所介護、(介護予防) 通所リハビリテー ション、(介護予防) 認知症対応型通所介護を「通所 系」として集計しています。
短期系		(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所 療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護を「小規模多機 能」として集計しています。
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集 計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」とし て集計しています。

※＜サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義＞

用 語		定 義
未利用		上表に同じです。
訪問系のみ		上表の「訪問系」又は「定期巡回」のみの利用を集計し ています。
訪問系を含む組み合わせ		上表の「訪問系(又は定期巡回)」+「通所系」、「訪 問系(又は定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(又は 定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機 能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ		上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期 系」の利用を集計しています。

●今後の利用希望

「福祉用具の貸与・購入」が37.6%で最も高く、「通所介護」が26.9%、「短期入所生活介護」が24.7%となっています。



【年代別】

年代別では、すべての年代で「福祉用具の貸与・購入」の割合が最も高くなっています。また、90歳以上で「居宅療養管理指導」（21.9%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
----	-------	------	--------	------	-------------	------	-------------	-----------	------------	------------------	-------------	---------------

年代別

40～64歳	21	19.0	0.0	0.0	14.3	23.8	28.6	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0
65～69歳	24	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
70～74歳	47	4.3	8.5	10.6	8.5	25.5	12.8	2.1	4.3	4.3	8.5	2.1
75～79歳	81	9.9	7.4	12.3	7.4	32.1	9.9	6.2	8.6	3.7	4.9	3.7
80～84歳	200	11.0	5.0	7.5	3.0	19.5	10.0	5.0	4.5	6.0	5.0	2.0
85～89歳	202	15.3	5.0	8.9	4.5	30.7	6.4	3.5	7.4	2.5	7.9	3.0
90歳以上	155	12.9	6.5	10.3	5.2	31.6	3.2	4.5	5.8	3.2	3.9	1.3

区分	全体（件）	短期入所生活介護	短期入所療養介護	居宅療養管理指導	福祉用具の貸与・購入	住宅の改修	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む）	介護老人保健施設	介護医療院・介護療養型医療施設	無回答
----	-------	----------	----------	----------	------------	-------	-------------	--------------	-----------------------------------	----------	-----------------	-----

年代別

40～64歳	21	14.3	4.8	4.8	42.9	19.0	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	23.8
65～69歳	24	16.7	4.2	8.3	37.5	8.3	8.3	0.0	8.3	4.2	0.0	37.5
70～74歳	47	21.3	6.4	8.5	36.2	4.3	6.4	6.4	8.5	6.4	2.1	36.2
75～79歳	81	21.0	1.2	13.6	34.6	12.3	4.9	9.9	25.9	9.9	4.9	30.9
80～84歳	200	21.5	5.0	9.5	33.5	9.5	6.0	6.0	16.5	8.5	6.5	33.0
85～89歳	202	26.2	4.5	14.4	42.6	17.3	8.9	12.4	21.3	9.9	8.9	29.2
90歳以上	155	31.6	5.8	21.9	37.4	15.5	14.2	8.4	20.6	6.5	3.2	29.0

【圏域別】

圏域別では、すべての圏域で「福祉用具の貸与・購入」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	問介看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅
----	-------	------	--------	------	-------------	------	-------------	-----------	------------	------	------------------	-------------	-------------

圏域別

北部圏域	253	14.2	6.7	9.9	7.5	25.7	9.5	4.7	6.7	4.3	6.3	4.7
中部圏域	259	13.9	7.3	10.0	4.2	24.3	6.2	5.0	5.8	5.4	4.6	1.5
南部圏域	206	8.7	2.9	7.8	3.9	31.1	9.7	1.5	4.9	1.5	5.8	1.0

区分	全体（件）	短期入所生活介護	短期入所療養介護	居宅療養管理指導	福祉用具の貸与・購入	住宅の改修	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む）	介護老人保健施設	介護医療院・介護療養型医療施設	無回答
----	-------	----------	----------	----------	------------	-------	-------------	--------------	-----------------------------------	----------	-----------------	-----

圏域別

北部圏域	253	27.7	7.5	13.8	36.4	11.9	8.7	7.1	22.1	9.1	6.3	30.4
中部圏域	259	22.8	2.7	15.8	40.5	13.1	8.9	11.2	18.1	8.9	6.6	33.6
南部圏域	206	24.3	4.4	11.2	36.9	15.0	8.7	6.3	17.0	6.8	3.9	27.7

【要介護度別】

要介護度別では、すべての要介護度で「福祉用具の貸与・購入」の割合が最も高くなっています。また、他の要介護度と比べ、要介護4で「福祉用具の貸与・購入」（42.6%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	問介看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
----	-------	------	--------	------	-------------	------	-------------	-----------	------------	------	------------------	-------------	---------------

要介護度別

要介護1	279	4.3	8.5	10.6	8.5	25.5	12.8	2.1	4.3	4.3	8.5	2.1
要介護2	225	9.9	7.4	12.3	7.4	32.1	9.9	6.2	8.6	3.7	4.9	3.7
要介護3	98	11.0	5.0	7.5	3.0	19.5	10.0	5.0	4.5	6.0	5.0	2.0
要介護4	82	15.3	5.0	8.9	4.5	30.7	6.4	3.5	7.4	2.5	7.9	3.0
要介護5	46	12.9	6.5	10.3	5.2	31.6	3.2	4.5	5.8	3.2	3.9	1.3

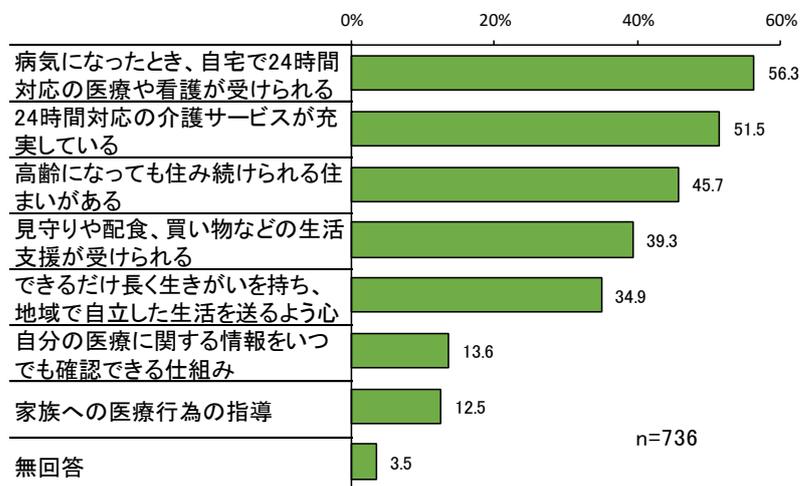
区分	全体（件）	短期入所生活介護	短期入所療養介護	居宅療養管理指導	福祉用具の貸与・購入	住宅の改修	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む）	介護老人保健施設	介護医療院・介護療養型医療施設	無回答
----	-------	----------	----------	----------	------------	-------	-------------	--------------	-----------------------------------	----------	-----------------	-----

要介護度別

要介護1	279	21.3	6.4	8.5	36.2	4.3	6.4	6.4	8.5	6.4	2.1	36.2
要介護2	225	21.0	1.2	13.6	34.6	12.3	4.9	9.9	25.9	9.9	4.9	30.9
要介護3	98	21.5	5.0	9.5	33.5	9.5	6.0	6.0	16.5	8.5	6.5	33.0
要介護4	82	26.2	4.5	14.4	42.6	17.3	8.9	12.4	21.3	9.9	8.9	29.2
要介護5	46	31.6	5.8	21.9	37.4	15.5	14.2	8.4	20.6	6.5	3.2	29.0

問5 あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか。（複数選択可）

「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」が56.3%で最も高く、次いで「24時間対応の介護サービスが充実している」が51.5%、「高齢になっても住み続けられる住まいがある」が45.7%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳と85～89歳で「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」の割合が高くなっています。

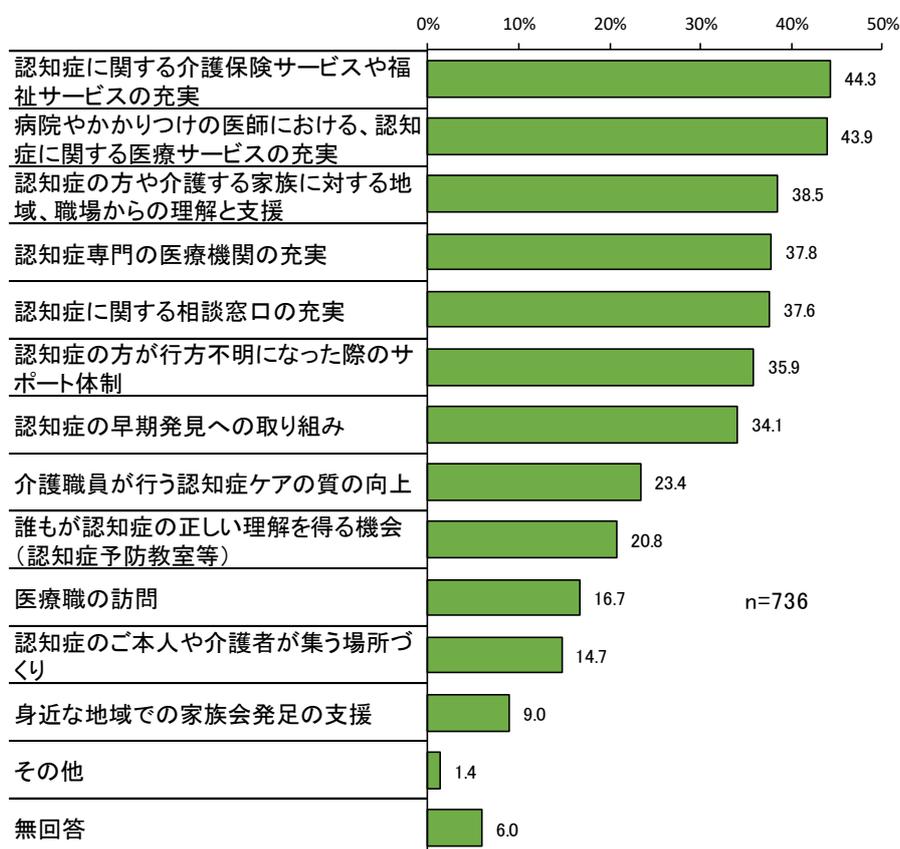
圏域別では、すべての圏域で「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体（件）	が受けられる	24時間対応の医療や看護で	病気がなくなったとき、自宅で	24時間対応の介護サービスが充実している	できるだけ長く生きがいを	持ち、地域で自立した生活を	送るよう心がける	できるだけ長く生きがいを	の生活支援が受けられる	見守りや配食、買い物など	れる住み続けられる	高齢になっても住み続けら	家族への医療行為の指導	いつでも確認できる情報	自分の医療に関する仕組	み	無回答
年代別																		
40～64歳	21	57.1	42.9	28.6	42.9	52.4	14.3	19.0	0.0									
65～69歳	24	41.7	37.5	25.0	16.7	37.5	8.3	16.7	8.3									
70～74歳	47	55.3	53.2	44.7	38.3	48.9	8.5	12.8	2.1									
75～79歳	81	60.5	51.9	23.5	43.2	37.0	11.1	13.6	3.7									
80～84歳	200	49.5	44.5	39.0	38.0	47.5	11.5	15.5	4.0									
85～89歳	202	61.4	57.9	39.6	42.1	45.5	15.3	12.4	3.0									
90歳以上	155	58.1	54.2	29.7	38.7	47.7	12.9	12.3	3.2									
圏域別																		
北部圏域	253	56.1	53.0	39.5	43.5	45.1	13.0	14.2	4.7									
中部圏域	259	57.9	51.7	31.3	38.6	44.0	12.7	12.4	3.5									
南部圏域	206	55.8	48.5	34.5	35.4	48.1	11.7	15.0	1.9									

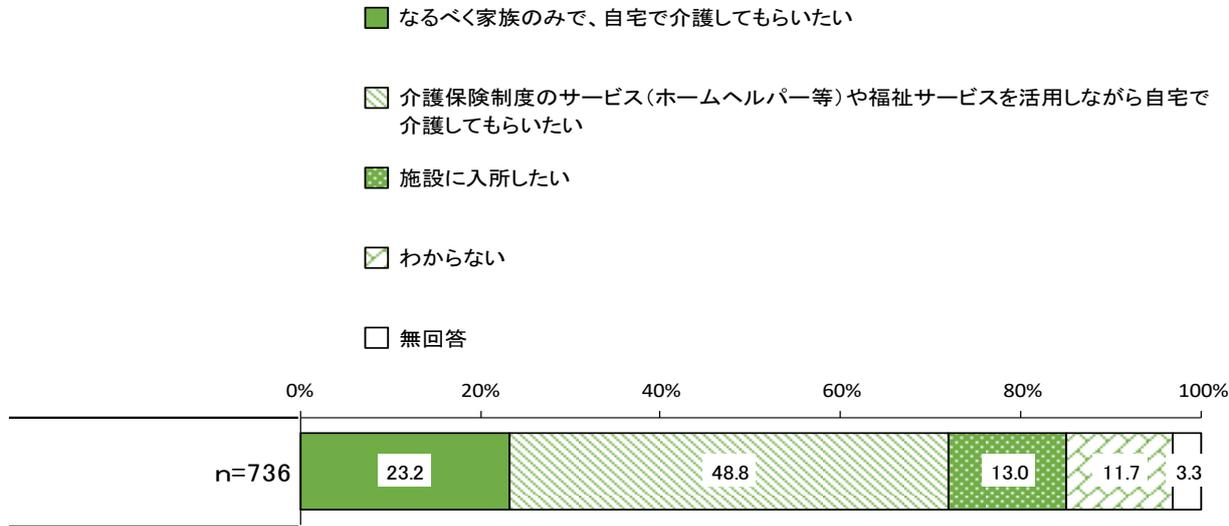
問6 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数選択可)

「認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実」が 44.3%で最も高く、次いで「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」が 43.9%、「認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援」が 38.5%となっています。



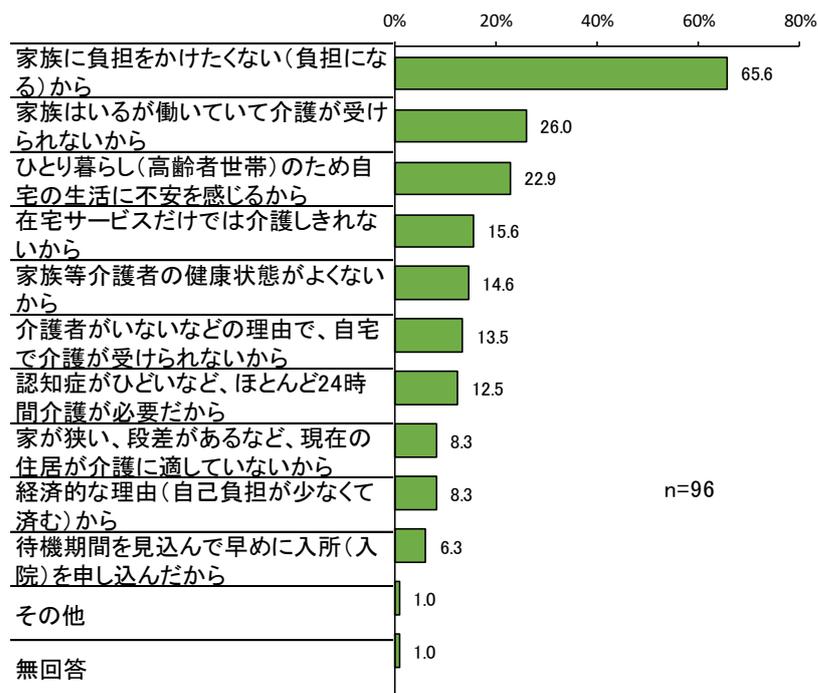
問7 あなたは今後、どのような介護を受けたいですか。（1つを選択）

「介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい」が 48.8%で最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」が 23.2%、「施設に入所したい」が 13.0%となっています。



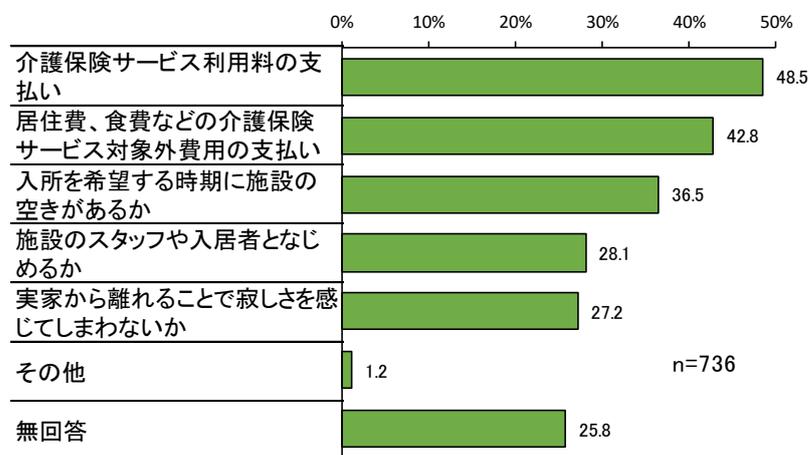
**（問7で「3. 施設に入所したい」とお答えの方に）
問7-1 その理由は何ですか。（複数選択可）**

「家族に負担をかけたくない（負担になる）から」が 65.6%で最も高く、次いで「家族はいるが働いていて介護が受けられないから」が 26.0%、「ひとり暮らし（高齢者世帯）のため自宅の生活に不安を感じるから」が 22.9%となっています。



問7-2 今後、施設への入所を検討することになった場合、心配な事は何ですか。
(複数選択可)

「介護保険サービス利用料の支払い」が48.5%で最も高く、次いで「居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い」が42.8%、「入所を希望する時期に施設の空きがあるか」が36.5%となっています。

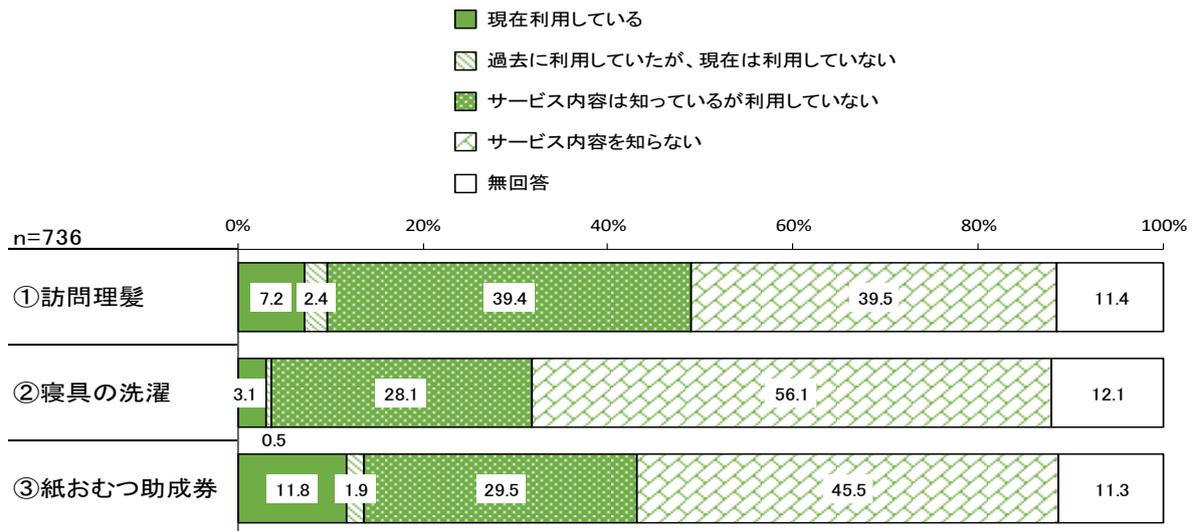


4 福祉サービスについて（D票）

問1 福祉サービスの利用状況及び今後の利用希望についてお答えください。
（それぞれ1つを選択）

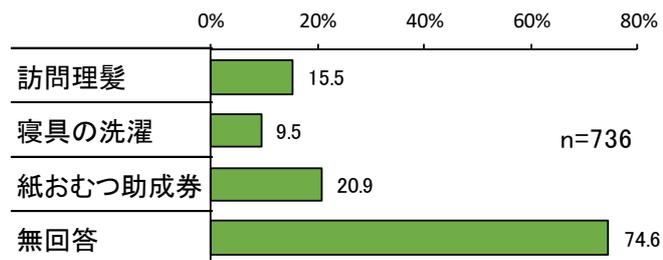
【利用状況】

「現在利用している」は「③紙おむつ助成券」が11.8%で最も高くなっています。



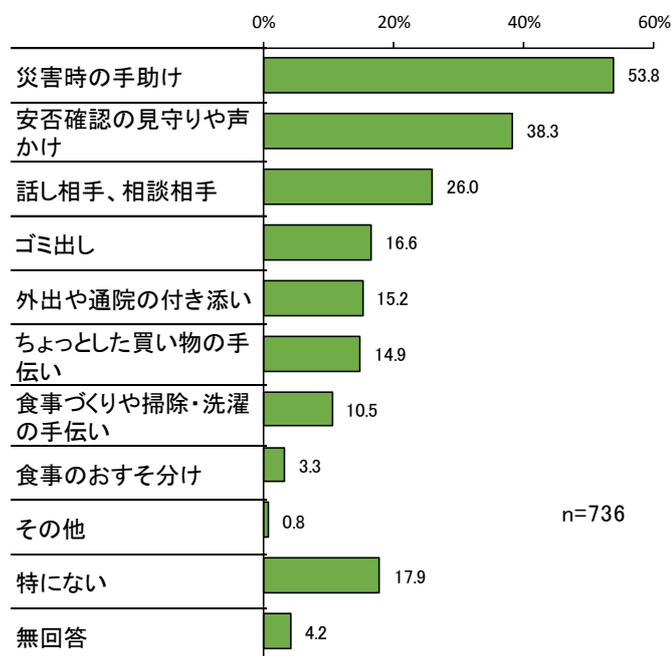
【今後の利用希望】

「紙おむつ助成券」が20.9%、「訪問理髪」が15.5%、「寝具の洗濯」が9.5%となっています。



問2 あなたがお困りのとき（今後、お困りになったとき）、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか。（複数選択可）

「災害時の手助け」が53.8%で最も高く、次いで「安否確認の見守りや声かけ」が38.3%、「話し相手、相談相手」が26.0%となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、すべての年代で「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

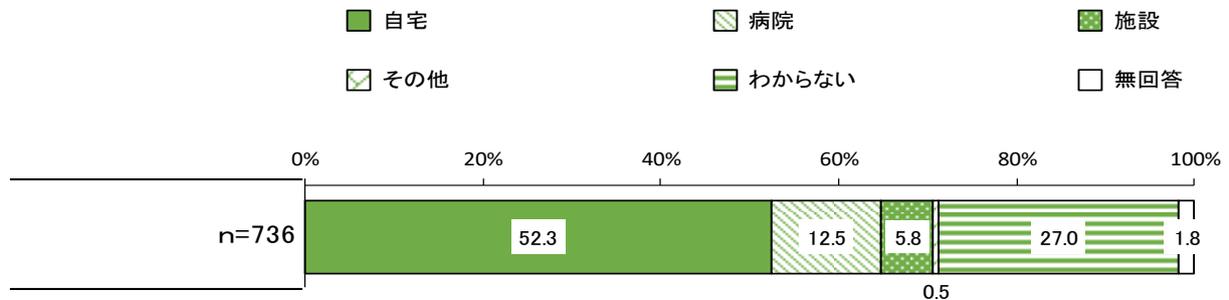
圏域別では、すべての圏域で「災害時の手助け」の割合が最も高くなっています。

区分	全体 (件)	単位：%											
		や安 声否 かけ確 認の 見守 り	物 の 手 伝 い	ち よ つ と し た 買 い	除 ・ 洗 濯 の 手 伝 い	食 事 づ く り や 掃 い	食 事 の お す そ 分 け	ゴ ミ 出 し	手 話 し 相 手 、 相 談 相 手	添 い 外 出 や 通 院 の 付 き	災 害 時 の 手 助 け	そ の 他	特 に な い
年代別													
40～64歳	21	23.8	0.0	9.5	0.0	4.8	9.5	14.3	38.1	0.0	38.1	0.0	
65～69歳	24	33.3	4.2	0.0	0.0	4.2	12.5	12.5	45.8	0.0	29.2	8.3	
70～74歳	47	25.5	19.1	14.9	10.6	10.6	31.9	17.0	55.3	0.0	25.5	2.1	
75～79歳	81	42.0	11.1	9.9	1.2	13.6	18.5	14.8	54.3	1.2	14.8	4.9	
80～84歳	200	36.0	13.0	12.0	2.0	13.5	24.5	13.5	49.0	1.0	23.0	3.5	
85～89歳	202	45.0	20.8	10.9	4.0	23.8	29.2	15.8	59.4	1.0	9.9	5.0	
90歳以上	155	36.8	14.8	7.7	3.9	18.1	30.3	16.8	56.8	0.6	16.8	3.9	
圏域別													
北部圏域	253	39.5	14.2	10.7	4.0	16.6	25.7	17.4	50.6	0.8	20.9	5.5	
中部圏域	259	36.7	17.4	10.8	3.1	18.9	28.2	15.4	55.6	0.4	15.4	4.6	
南部圏域	206	38.8	14.1	9.7	2.9	13.1	23.3	12.6	56.8	1.5	16.5	1.9	

5 終末期の考え方について（E票）

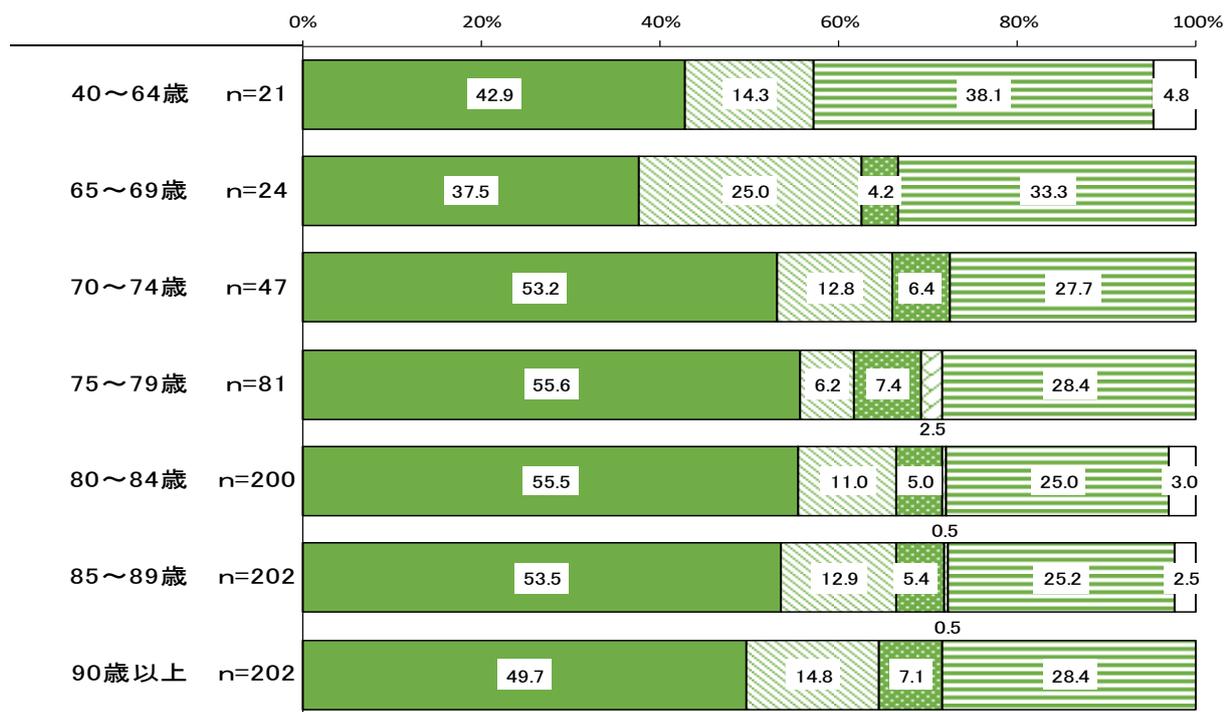
問1 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。（1つを選択）

「自宅」が 52.3%で最も高く、次いで「わからない」が 27.0%、「病院」が 12.5%となっています。



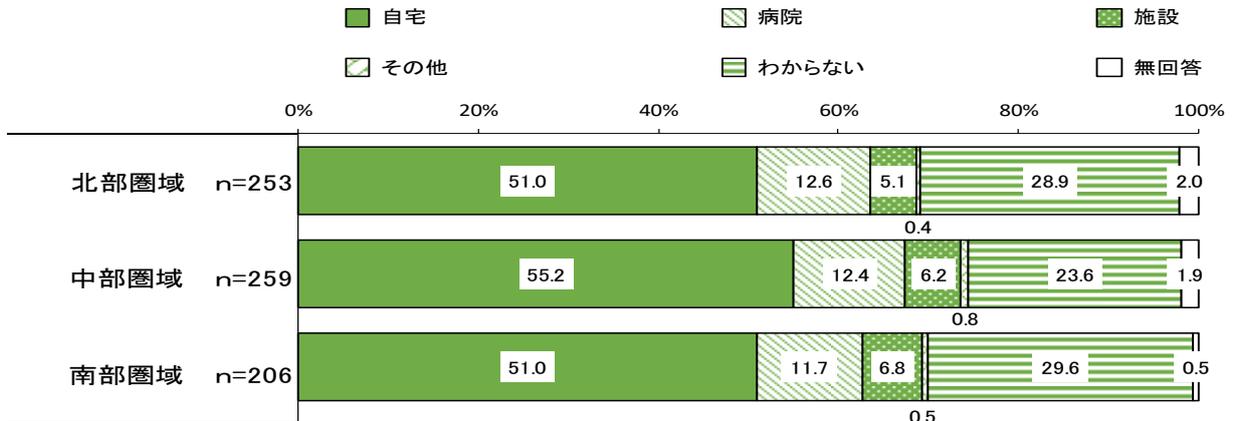
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「病院」（25.0%）の割合が高くなっています。



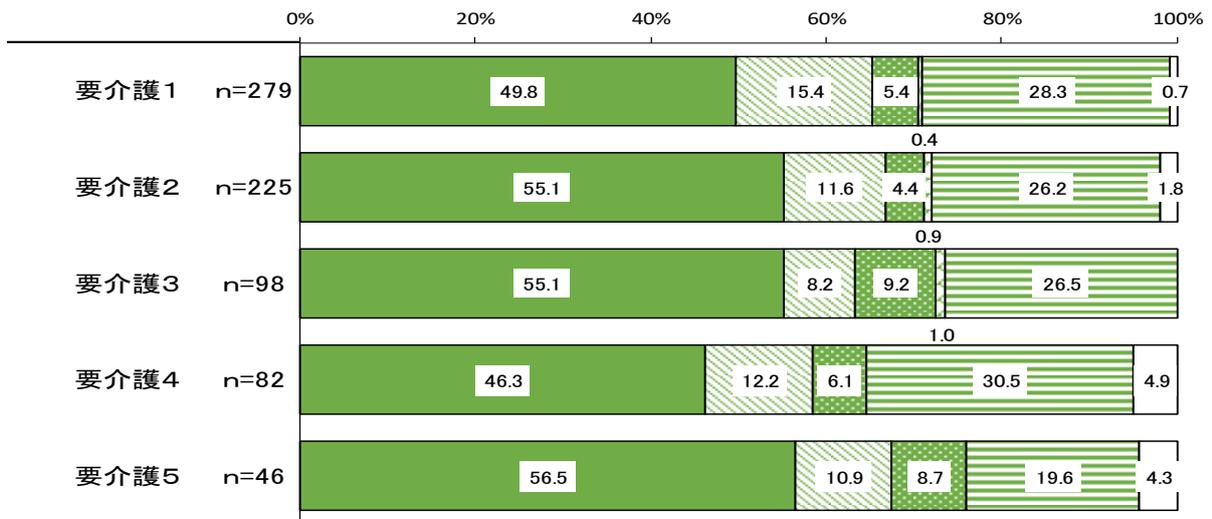
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



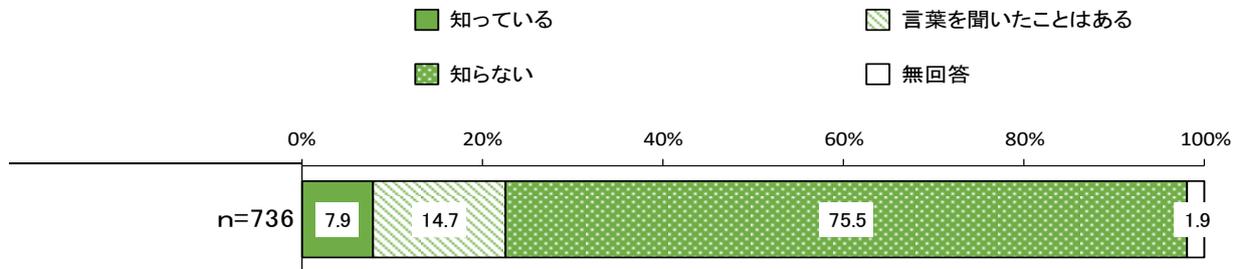
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護2と要介護3と要介護5で「自宅」の割合が高くなっています。



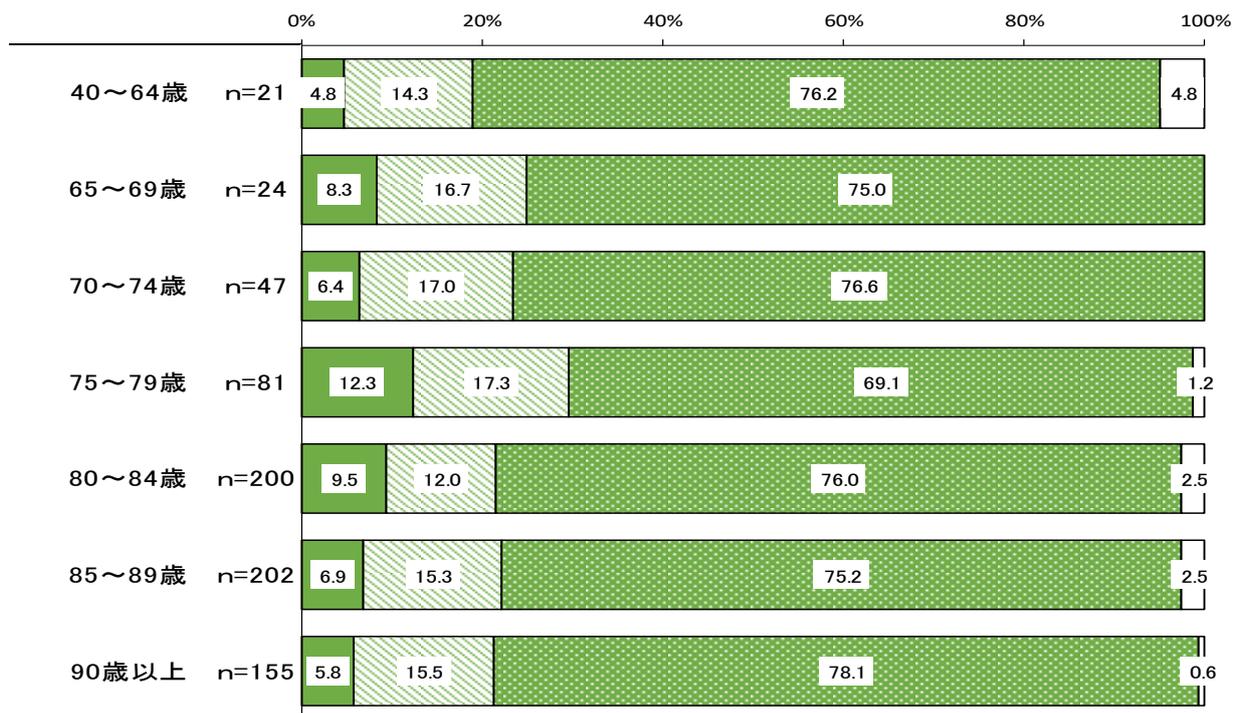
問2 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」(※万がーのときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと) について、知っていますか。(1つを選択)

「知らない」が75.5%で最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」が14.7%、「知っている」が7.9%、となっています。



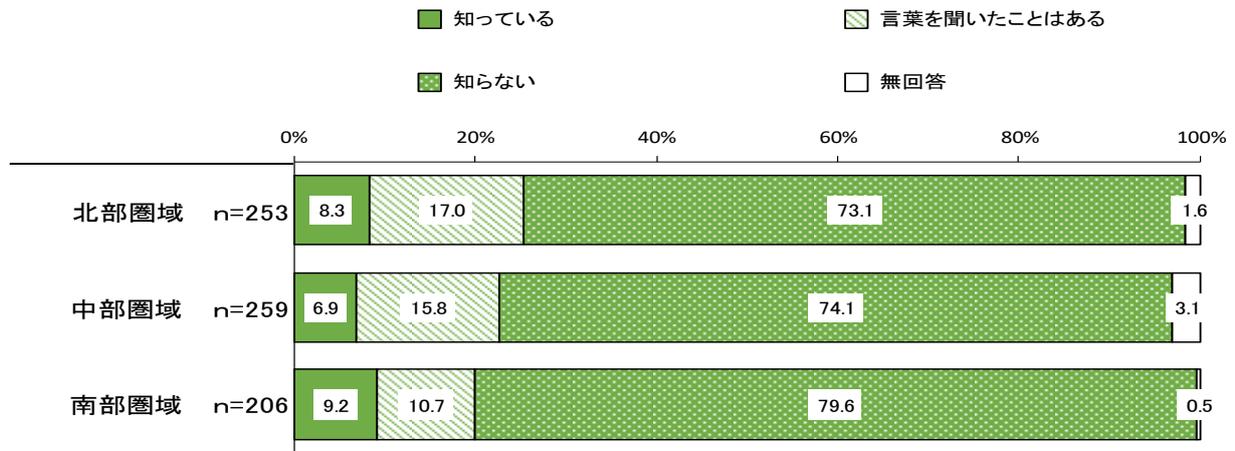
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「知っている」(12.3%)の割合が高くなっています。



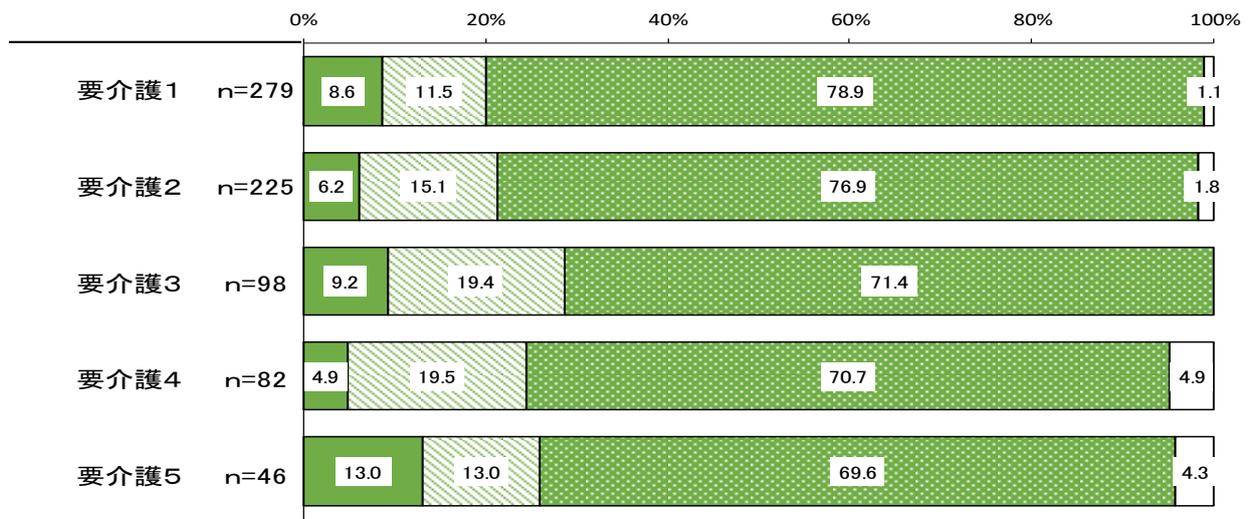
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



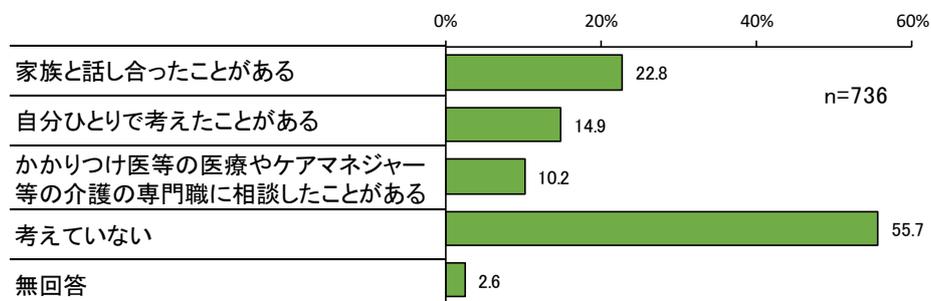
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「知っている」(13.0%)の割合が高くなっています。



問3 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか。（複数選択可）

「考えていない」は55.7%で最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」が22.8%、「自分ひとりで考えたことがある」が14.9%、「かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」が10.2%となっています。



【年代別・圏域別・要介護度別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で「考えていない」（66.0%）の割合が高くなっています。

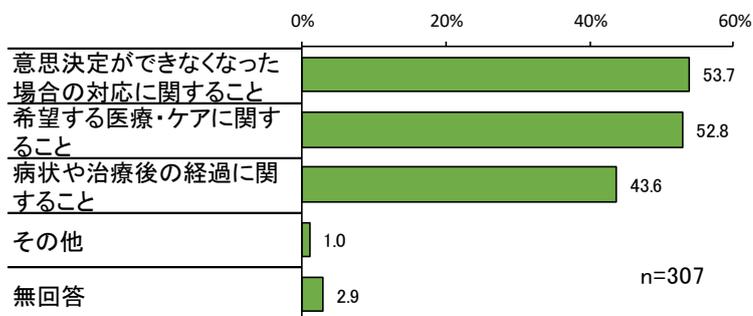
圏域別では、大きな差異はみられません。

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1で「考えていない」（62.0%）の割合が高くなっています。また、要介護5で「家族と話し合ったことがある」（32.6%）の割合が高くなっています。

区分	全体 (件)	単位：%				
		自分ひとりで考えたことがある	ネジャー等の介護の専門職に相談したことがある	かかりつけ医等の医療やケアマ	家族と話し合ったことがある	考えていない
年代別						
40～64歳	21	33.3	0.0	9.5	52.4	4.8
65～69歳	24	8.3	16.7	25.0	58.3	0.0
70～74歳	47	2.1	12.8	23.4	66.0	0.0
75～79歳	81	19.8	16.0	22.2	46.9	2.5
80～84歳	200	15.0	9.0	22.5	55.5	4.0
85～89歳	202	12.4	6.4	24.8	57.9	3.5
90歳以上	155	18.1	12.3	23.2	54.8	0.0
圏域別						
北部圏域	253	18.2	7.9	23.7	53.0	2.8
中部圏域	259	11.6	12.0	21.6	57.5	2.7
南部圏域	206	16.5	11.2	23.8	55.8	1.0
要介護度別						
要介護1	279	14.3	6.1	20.4	62.0	2.2
要介護2	225	15.6	12.4	21.8	53.8	2.2
要介護3	98	15.3	8.2	30.6	52.0	0.0
要介護4	82	15.9	14.6	19.5	52.4	6.1
要介護5	46	15.2	19.6	32.6	41.3	4.3

問4 問3で「1. 自分ひとりで考えたことがある」「2. かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」「3. 家族と話し合ったことがある」と回答した方にお伺いします。どのような内容を考えましたか、または話しましたか。（複数選択可）

「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が 53.7%で最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」が52.8%、「病状や治療後の経過に関すること」が43.6%となっています。



【年代別・圏域別・要介護度別】

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」（66.7%）の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」（58.9%）の割合が高くなっています。

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護4で「希望する医療・ケアに関すること」（67.6%）、要介護3と要介護5で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」の割合が高くなっています。

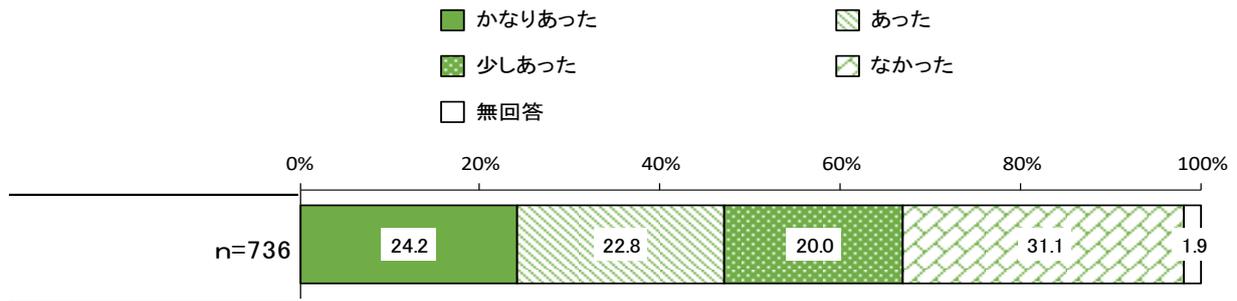
区分	全体 (件)	単位：%				
		過病 状に 関 する こと	ア希 望に 関 する 医 療・ ケ ア	応希 望に 関 する 医 療・ ケ ア	意 思 決 定 が で き な か つ た 場 合 の 対 応	そ の 他
年代別						
40～64歳	9	55.6	44.4	55.6	0.0	0.0
65～69歳	10	60.0	60.0	40.0	0.0	10.0
70～74歳	16	50.0	62.5	56.3	0.0	0.0
75～79歳	41	53.7	48.8	56.1	0.0	2.4
80～84歳	81	43.2	54.3	49.4	0.0	1.2
85～89歳	78	37.2	46.2	66.7	1.3	3.8
90歳以上	70	38.6	58.6	44.3	2.9	4.3
圏域別						
北部圏域	112	36.6	48.2	58.9	0.0	3.6
中部圏域	103	47.6	55.3	50.5	1.9	1.9
南部圏域	89	47.2	55.1	51.7	1.1	3.4
要介護度別						
要介護1	100	44.0	53.0	50.0	2.0	3.0
要介護2	99	46.5	46.5	52.5	0.0	5.1
要介護3	47	36.2	55.3	66.0	0.0	2.1
要介護4	34	47.1	67.6	47.1	2.9	0.0
要介護5	25	44.0	52.0	60.0	0.0	0.0

6 新型コロナウイルス感染症の影響について（F票）

問1 新型コロナウイルス感染症の影響によって、どのような変化を感じましたか。
(それぞれ1つを選択)

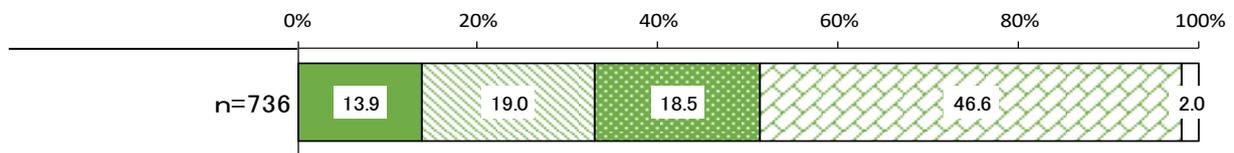
①外出回数など日常の変化

『かなりあった』と『あった』と『少しあった』を合わせた『あった』が67.0%、「なかった」が31.1%となっています。



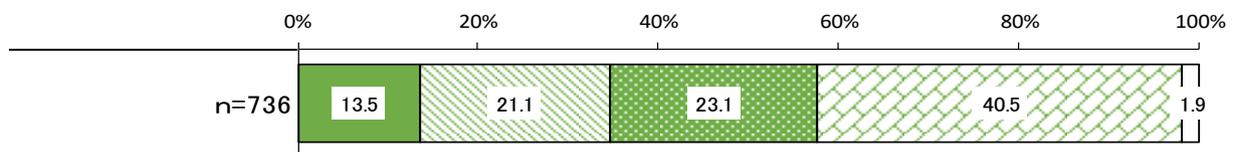
②体力など身体的な変化

『あった』が51.4%、「なかった」が46.6%となっています。



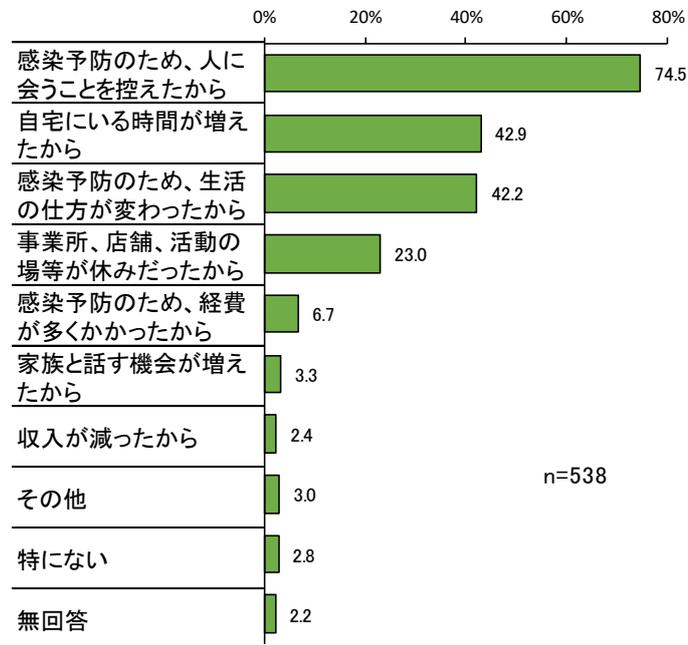
③精神的な変化

『あった』が57.7%、「なかった」が40.5%となっています。



問1-1 問1①②③で「1. かなりあった」「2. あった」「3. 少しあった」と回答した方にお伺いします。変化があった理由は何ですか。（複数選択可）

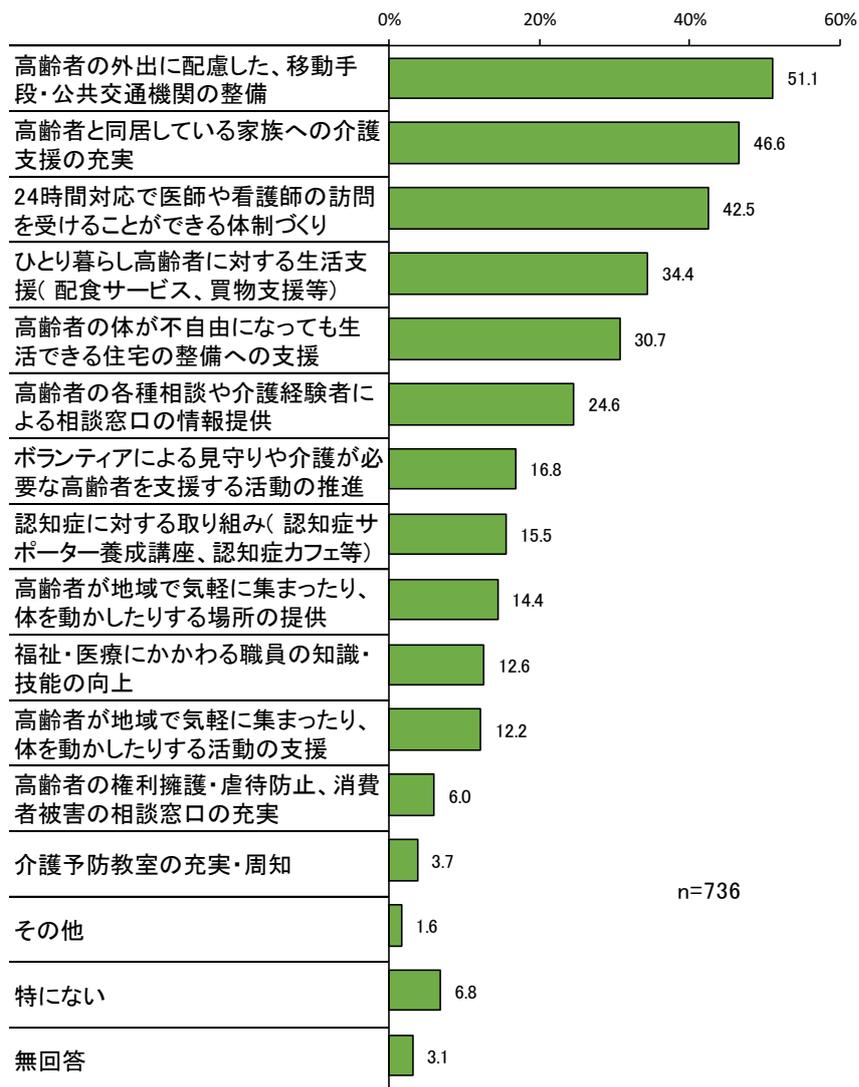
「感染予防のため、人に会うことを控えたから」が74.5%で最も高く、次いで「自宅にいる時間が増えたから」が42.9%、「感染予防のため、生活の仕方が変わったから」が42.2%となっています。



7 高齢社会への対応について（最後に）

問1 高齢社会への対応について、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
（5つまで選択可）

「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」が 51.1%で最も高く、次いで「高齢者と同居している家族への介護支援の充実」が 46.6%、「24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり」が 42.5%、「ひとり暮らし高齢者に対する生活支援（配食サービス、買物支援等）」が 34.4%、「高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援」が 30.7%となっています。



【性別・年代別】

性別では、女性と比べ、男性で「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」(56.5%)の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」(70.8%)の割合が高くなっています。また、70～74歳で「高齢者と同居している家族への介護支援の充実」(57.4%)の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体(件)	提供者による相談窓口の情報	高齢者の各種相談や介護経	整備	移動手段・公共交通機関の	高齢者の外出に配慮した、	高齢者と同居している家族への介護支援の充実	高齢者との同居している家族への介護支援の充実	24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができ	高齢者の生活でできる住宅の整備	高齢者の体が不自由になつても生活できる住宅の整備	高齢者の生活でできる住宅の整備	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	の充実	止、高齢者の権利擁護・虐待防	座、認知症サポーター養成講	(認知症に対する取り組み)
----	-------	---------------	--------------	----	--------------	--------------	-----------------------	------------------------	---------------------------	-----------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------------	-----	----------------	---------------	---------------

性別	全体(件)	提供者による相談窓口の情報	高齢者の各種相談や介護経	整備	移動手段・公共交通機関の	高齢者の外出に配慮した、	高齢者と同居している家族への介護支援の充実	高齢者との同居している家族への介護支援の充実	24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができ	高齢者の生活でできる住宅の整備	高齢者の体が不自由になつても生活できる住宅の整備	高齢者の生活でできる住宅の整備	高齢者の生活でできる住宅の整備	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	の充実	止、高齢者の権利擁護・虐待防	座、認知症サポーター養成講	(認知症に対する取り組み)
男性	278	24.1	56.5	42.1	43.2	29.9	30.6	6.8	9.7										
女性	457	24.9	47.9	49.5	42.2	31.3	36.8	5.5	19.0										

年代別	全体(件)	提供者による相談窓口の情報	高齢者の各種相談や介護経	整備	移動手段・公共交通機関の	高齢者の外出に配慮した、	高齢者と同居している家族への介護支援の充実	高齢者との同居している家族への介護支援の充実	24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができ	高齢者の生活でできる住宅の整備	高齢者の体が不自由になつても生活できる住宅の整備	高齢者の生活でできる住宅の整備	高齢者の生活でできる住宅の整備	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)	の充実	止、高齢者の権利擁護・虐待防	座、認知症サポーター養成講	(認知症に対する取り組み)
40～64歳	21	28.6	47.6	42.9	42.9	23.8	42.9	0.0	23.8										
65～69歳	24	33.3	70.8	20.8	20.8	41.7	25.0	4.2	4.2										
70～74歳	47	25.5	55.3	57.4	55.3	29.8	44.7	6.4	2.1										
75～79歳	81	29.6	54.3	43.2	42.0	30.9	29.6	12.3	19.8										
80～84歳	200	22.0	49.5	47.5	33.0	29.0	34.0	4.5	13.0										
85～89歳	202	24.3	51.5	48.0	45.0	28.7	31.7	6.4	19.3										
90歳以上	155	24.5	47.7	48.4	51.0	34.8	38.7	5.2	16.8										

区分	全体(件)	提供する場所の提供	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	福祉・医療にかかわる職員	介護予防教室の充実・周知	支援する活動の推進	ボランティアによる見守り	その他	特にな	無回答
----	-------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	--------------	--------------	-----------	--------------	-----	-----	-----

性別	全体(件)	提供する場所の提供	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	福祉・医療にかかわる職員	介護予防教室の充実・周知	支援する活動の推進	ボランティアによる見守り	その他	特にな	無回答
男性	278	15.1	11.2	11.9	3.2	16.9	2.2	6.8	2.5			
女性	457	14.0	12.9	13.1	3.9	16.8	1.3	6.8	3.3			

年代別	全体(件)	提供する場所の提供	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	高齢者が地域で気軽に参加したり	福祉・医療にかかわる職員	介護予防教室の充実・周知	支援する活動の推進	ボランティアによる見守り	その他	特にな	無回答
40～64歳	21	14.3	14.3	19.0	9.5	19.0	0.0	9.5	0.0			
65～69歳	24	20.8	4.2	12.5	0.0	20.8	0.0	8.3	8.3			
70～74歳	47	12.8	10.6	17.0	4.3	17.0	0.0	6.4	2.1			
75～79歳	81	12.3	11.1	9.9	1.2	21.0	1.2	8.6	3.7			
80～84歳	200	16.0	15.5	10.5	2.5	14.0	2.0	8.0	3.0			
85～89歳	202	13.9	13.4	12.4	5.4	18.3	2.5	5.0	3.5			
90歳以上	155	13.5	9.0	14.8	3.9	16.1	1.3	5.2	1.9			

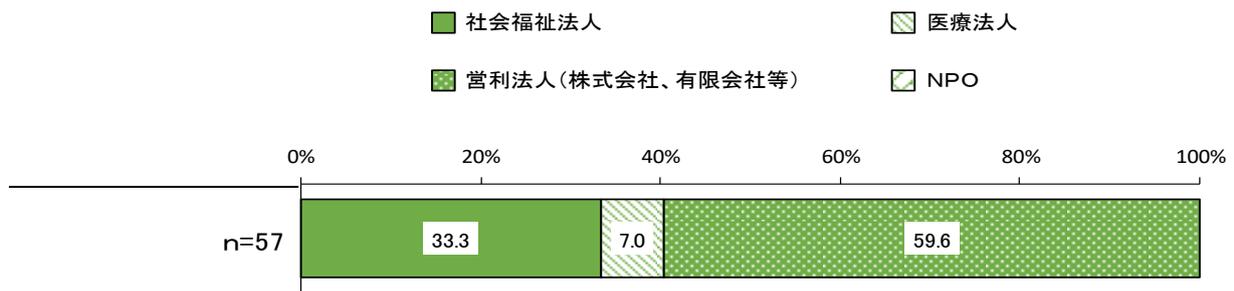
V 事業所調査結果

A票 介護人材実態調査結果

1 事業所の職員雇用状況について

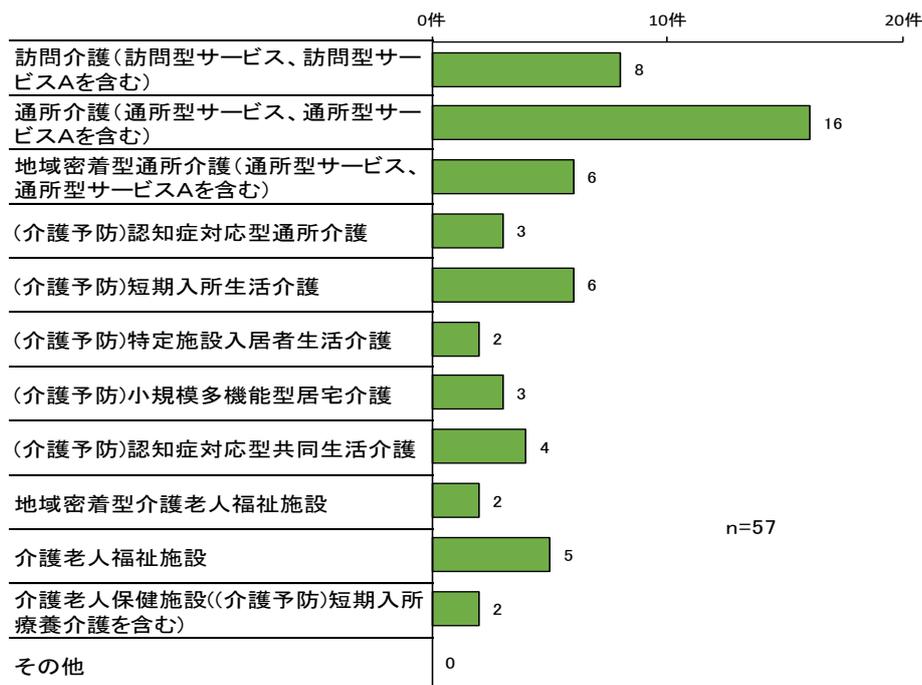
問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(○は1つ)

「営利法人(株式会社、有限会社等)」が59.6%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が33.3%、「医療法人」が7.0%となっています。



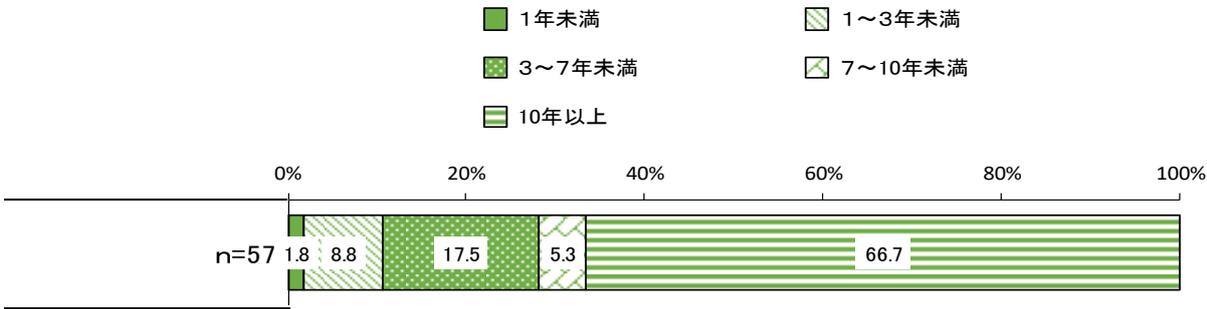
問2 貴事業所で提供するサービス種別(調査対象となっているサービス種別)はどれですか。(○は1つ)

「通所介護(通所型サービス、通所型サービスAを含む)」が16件で最も多く、次いで「訪問介護(訪問型サービス、訪問型サービスAを含む)」が8件、「地域密着型通所介護(通所型サービス、通所型サービスAを含む)」、「(介護予防)短期入所生活介護」がそれぞれ6件となっています。



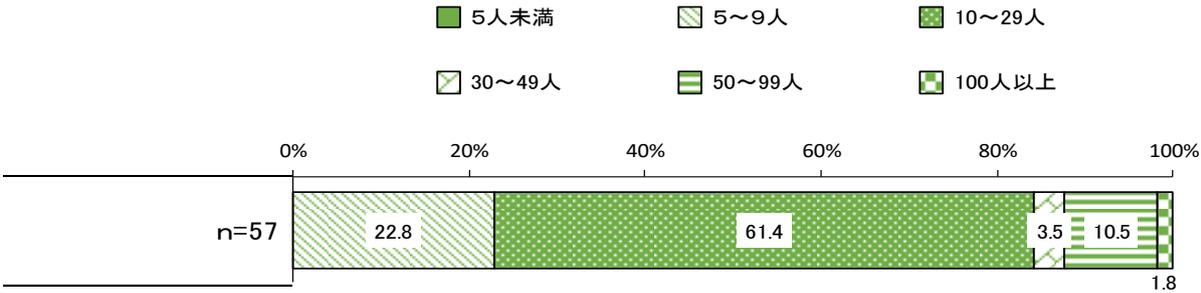
問3 貴事業所の運営年数は何年ですか。(〇は1つ)

「10年以上」が66.7%で最も高く、次いで「3～7年未満」が17.5%、「1～3年未満」が8.8%となっています。



問4 貴事業所の従業員（職種や正規・非正規は問わず）は何人ですか。(〇は1つ)

「10～29人」が61.4%で最も高く、次いで「5～9人」が22.8%、「50～99人」が10.5%となっています。

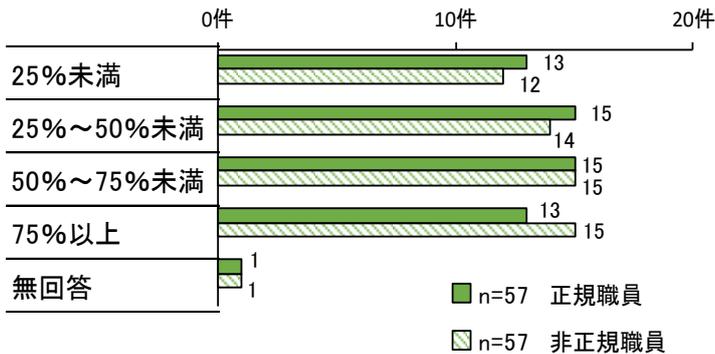


問4-1 現在の介護職員の人数と平均勤務年数をご記入ください。

【介護職員数】

正規職員では、「25%～50%未満」、「50～75%未満」がそれぞれ15件、「25%未満」、「75%以上」がそれぞれ13件となっています。

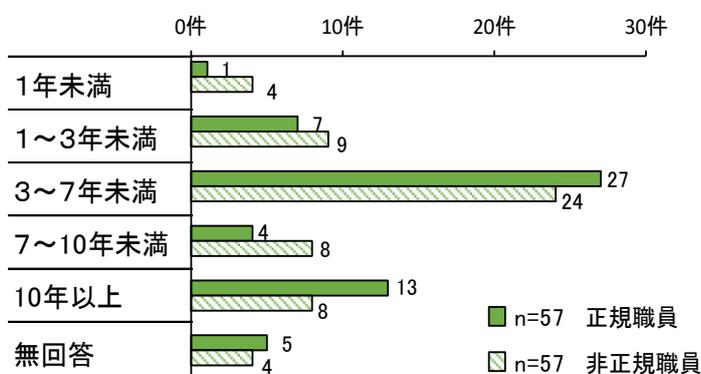
非正規職員では、「50～75%未満」、「75%以上」がそれぞれ15件、「25%～50%未満」が14件、「25%未満」が12件となっています。



【平均勤務年数】

正規職員では、「3～7年未満」が27件で最も多く、次いで「10年以上」が13件、「1～3年未満」が7件となっています。

非正規職員では、「3～7年未満」が24件で最も多く、次いで「1～3年未満」が9件、「7～10年未満」、「10年以上」がそれぞれ8件となっています。



※ここでの「介護職員」とは、高齢者に対し生活全般にわたって援助するケアワーカーのことです。賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

※ここでの「平均勤務年数」とは、事業所法人での勤続年数の平均のことです。

問4-2 令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）中の介護職員の採用者数をご記入ください。

「非正規職員の中途」が73人で最も多く、次いで「正規職員の中途（経験あり）」が60人、「正規職員の中途（経験なし）」が28人となっています。

年代別では、正規職員は「20～29歳」（38人）、非正規職員は「40～49歳」（20人）が最も多くなっています。

年齢 (採用時)	正規職員							非正規職員		
	新卒 (福祉系)	新卒 (それ例外)	中途 (経験あり)	中途 (経験なし)	新卒合計	中途合計	合計	新卒	中途	合計
20歳未満	6人	7人	1人	1人	13人	2人	15人	0人	2人	2人
20～29歳	0人	3人	20人	15人	3人	35人	38人	0人	8人	8人
30～39歳	0人	0人	11人	4人	0人	15人	15人	0人	18人	18人
40～49歳	0人	0人	12人	4人	0人	16人	16人	0人	20人	20人
50～59歳	0人	0人	9人	1人	0人	10人	10人	0人	13人	13人
60～69歳	0人	0人	7人	0人	0人	7人	7人	0人	11人	11人
70歳以上	0人	0人	0人	3人	0人	3人	3人	0人	1人	1人
年齢不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	6人	10人	60人	28人	16人	88人	104人	0人	73人	73人

問4-3 令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）中の介護職員の離職者数をご記入ください。

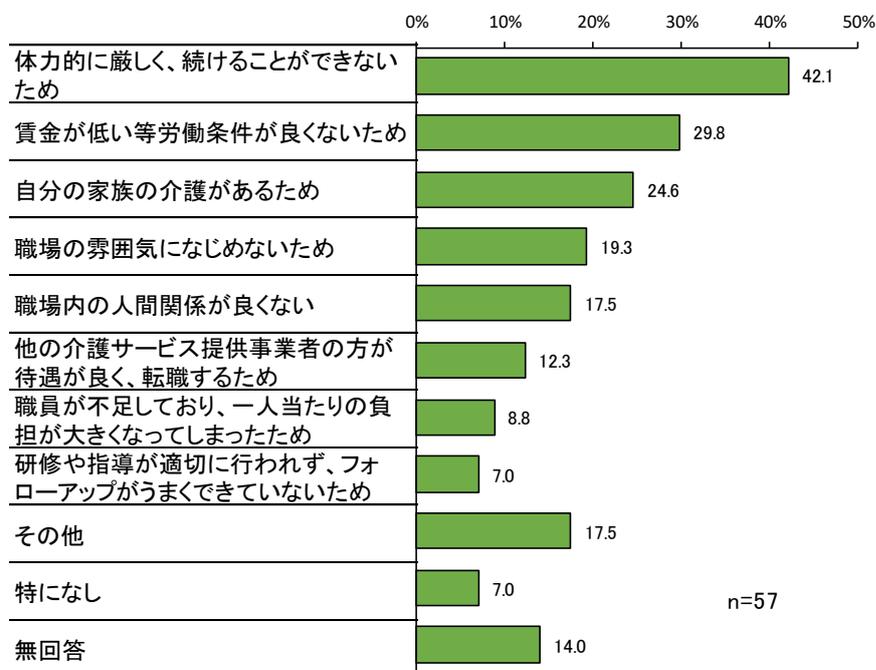
正規職員の合計が62人、非正規職員の合計が65人となっています。

年代別では、正規職員で20～29歳（19人）が最も多く、非正規職員で40～49歳（14人）が最も多くなっています。

年齢(離職時)	正規職員	非正規職員	合計
20歳未満	0人	3人	3人
20～29歳	19人	5人	24人
30～39歳	18人	13人	31人
40～49歳	13人	14人	27人
50～59歳	10人	11人	21人
60～69歳	2人	13人	15人
70歳以上	0人	6人	6人
年齢不明	0人	0人	0人
合計	62人	65人	127人

問4-4 介護職員が離職する理由は何ですか。(○はいくつでも)

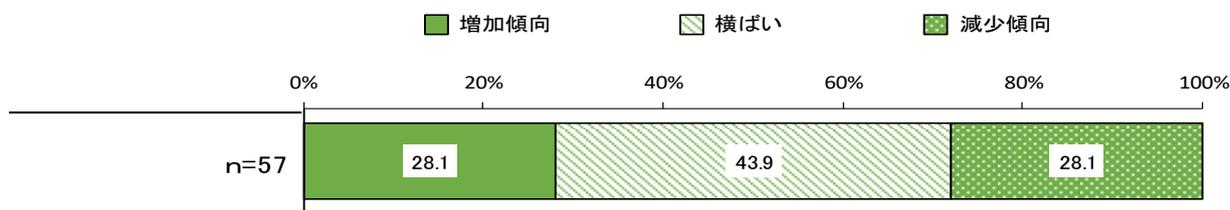
「体力的に厳しく、続けることができないため」が42.1%で最も高く、次いで「賃金が低い等労働条件が良くないため」が29.8%、「自分の家族の介護があるため」が24.6%となっています。



問5 過去1年間に、貴事業所において以下の項目はどのように変化していますか。
(各項目で○を1つ)

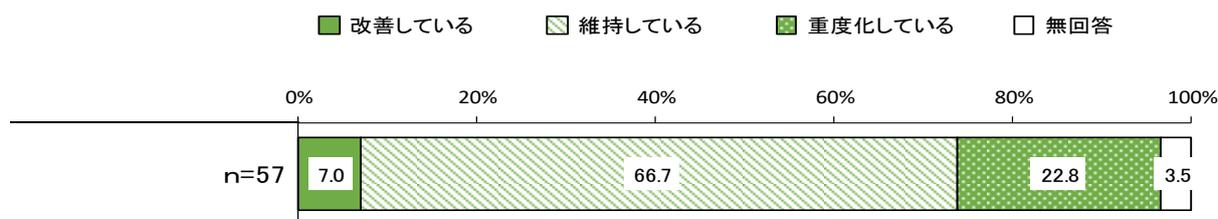
【利用者数の状況】

「横ばい」が43.9%で最も高く、次いで「増加傾向」、「減少傾向」がそれぞれ28.1%となっています。



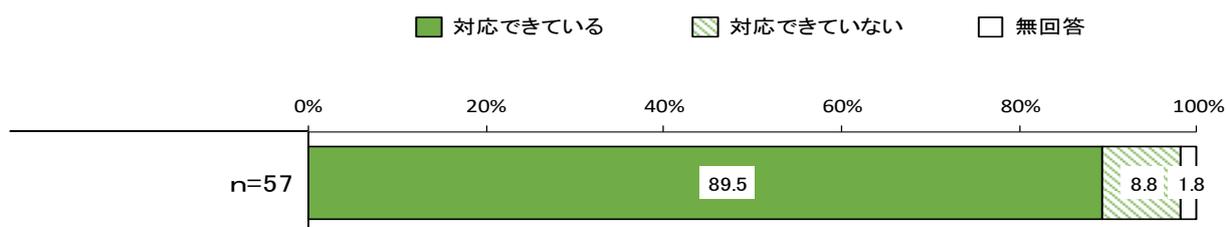
【利用者の介護度】

「維持している」が66.7%で最も高く、次いで「重度化している」が22.8%、「改善している」が7.0%となっています。



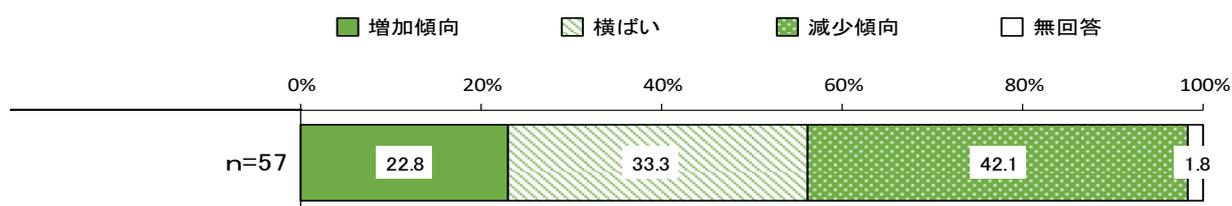
【上記の利用者の変化などサービスニーズへの対応状況】

「対応できている」が89.5%、「対応できていない」が8.8%となっています。



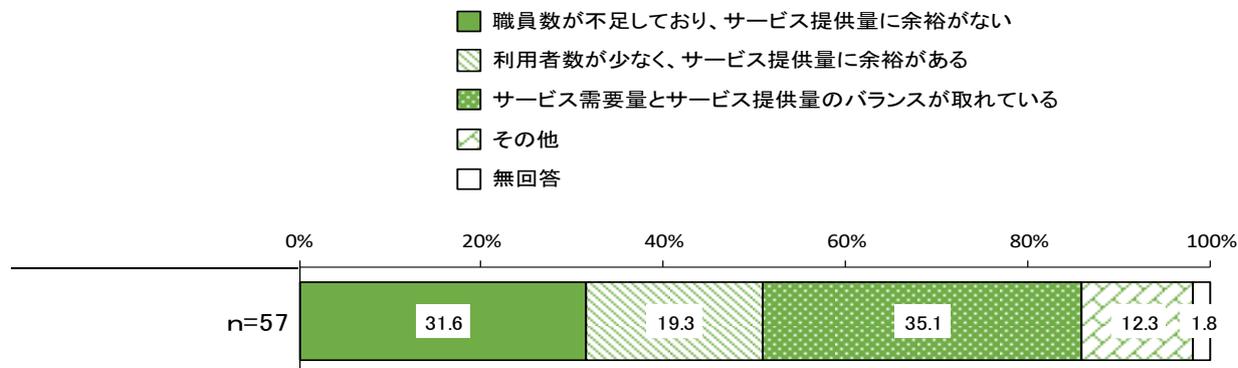
【介護報酬収入】

「減少傾向」が42.1%で最も高く、次いで「横ばい」が33.3%、「増加傾向」が22.8%となっています。



問6 現在、貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。（○は1つ）

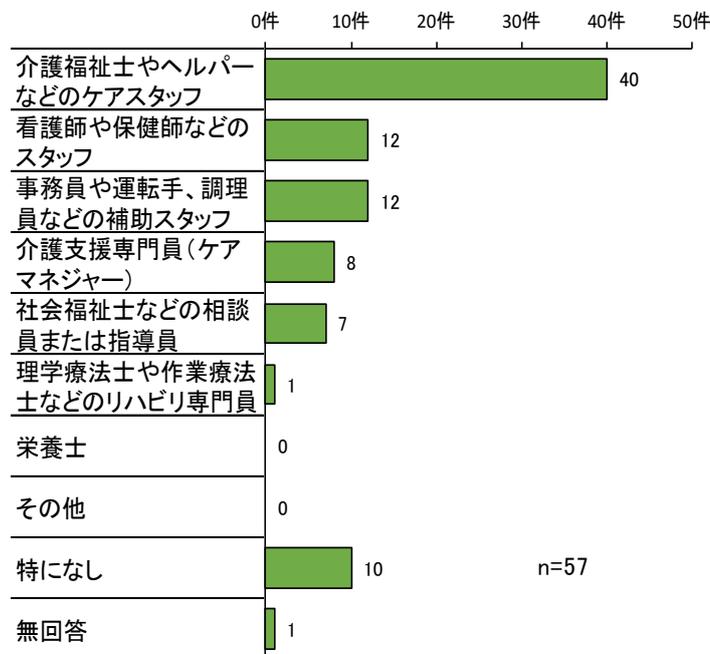
「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が 35.1%で最も高く、次いで「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」が 31.6%、「利用者が少なく、サービス提供量に余裕がある」が 19.3%、「利用者が少なく、サービス提供量に余裕がある」が 19.3%となっています。



2 事業所の人材確保と人材定着状況について

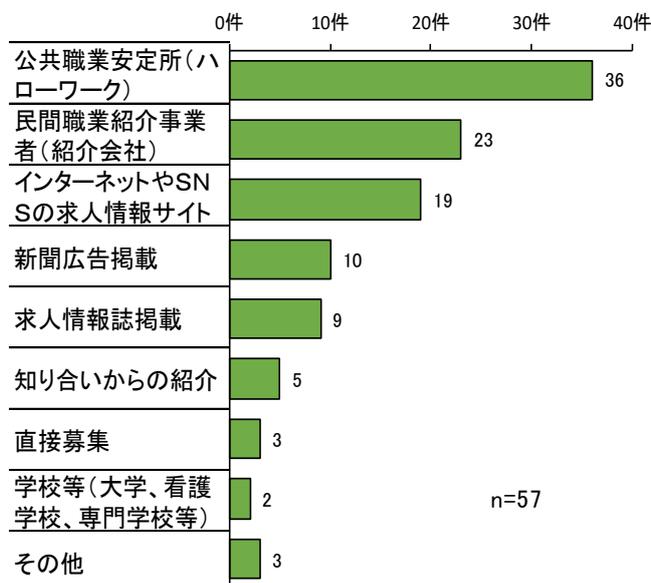
問7 現在不足している人材はどんな職種ですか。(〇は3つまで)

「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」が40件で最も多く、次いで「看護師や保健師などのスタッフ」、「事務員や運転手、調理員などの補助スタッフ」がそれぞれ12件、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が8件となっています。



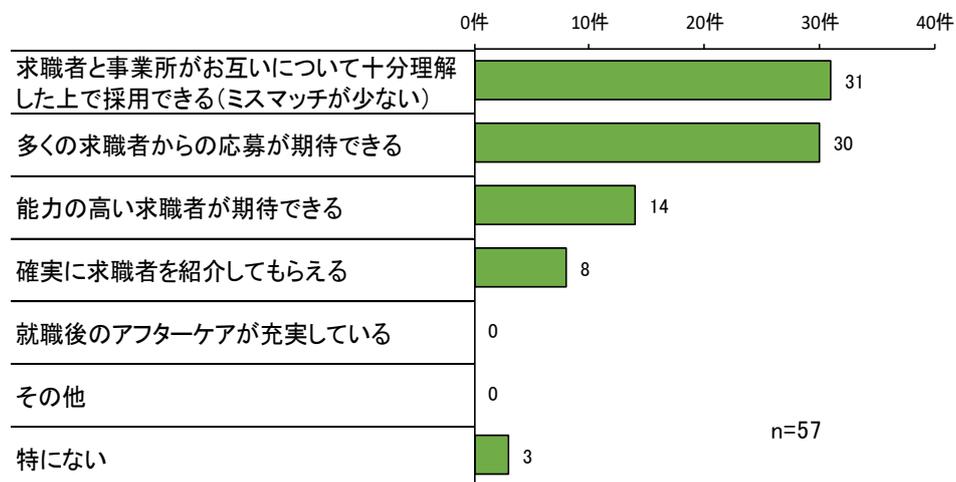
問8 貴事業所における人材確保(職員募集)の主な手段はどれですか。(〇は2つまで)

「公共職業安定所(ハローワーク)」が36件で最も多く、次いで「民間職業紹介事業者(紹介会社)」が23件、「インターネットやSNSの求人情報サイト掲載」が19件となっています。



問8-1 人材確保の手段を選択するうえで、どのような点を重視していますか。
(○は2つまで)

「求職者と事業所がお互いについて十分理解した上で採用できる（ミスマッチが少ない）」が31件で最も多く、次いで「多くの求職者からの応募が期待できる」が30件、能力の高い求職者が期待できる」が14件となっています。

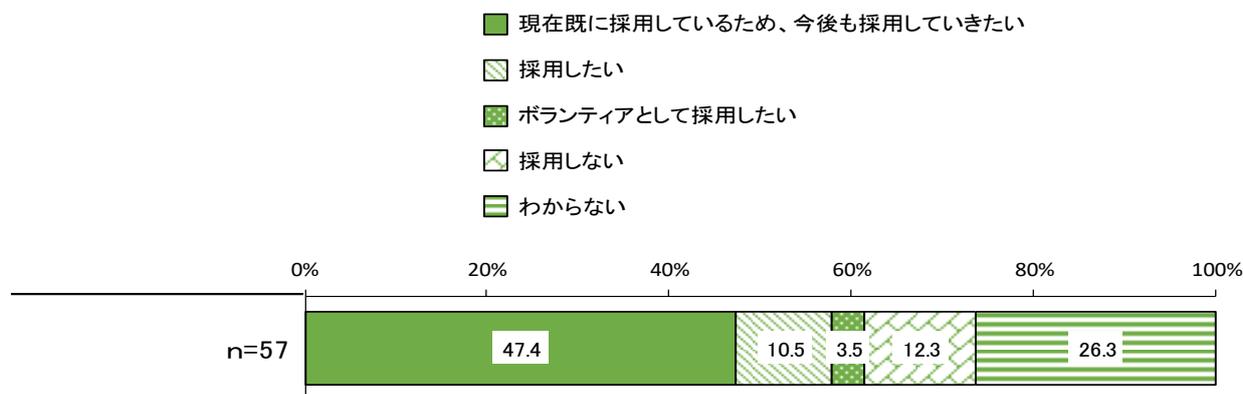


問8-2 人材確保の手段を選択するうえで、問題と感じていることがあれば記入してください。

費用について
紹介会社を通じて採用する際に高額な紹介料が発生すること。
費用面での負担が大きい。定着できるかの問題もあり。
1件100万円以上という高額な紹介手数料を目的として、人材紹介会社が求職者を囲い込んでしまうため、事業所の直接募集の機会が失われている。
求人広告に載せたいが、費用がかかりすぎる。
紹介業者を通すと紹介料が高い。高いわりに人材の質が悪いことも。すぐに離職されてしまうと紹介料の負担だけが大きくなるのしかかる。
広告を出してもお金がかかるだけで、求人が来ないです。
紹介会社からの応募しかなく、報酬が高額すぎる。
紹介会社への紹介料が高い。
求人広告は金額が高く、まったく募集の電話がない。派遣会社に依頼するも金額が高い、雇用するが休まれることも多い。
紹介会社の紹介手数料が高額である。
人材について
面接ではいろいろ見抜けない。
人材紹介会社からの紹介者は短期間での離職が多い。
派遣・紹介を利用することがあるが、こちらの求める能力との差がある。
派遣・紹介を利用することがあるが、手数料が高い割りに質が担保できず、仕事も続かない。
その他
他の業界に比べて「給与が低い・きつい・汚い」などの環境があること。
応募が全くないこと。

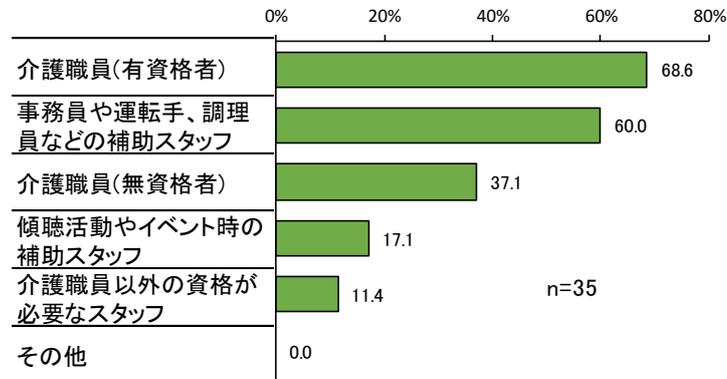
問9 貴事業所において、就業を希望する高齢者を採用する意向はありますか。
(○は1つ)

「現在既に採用しているため、今後も採用していきたい」が47.4%で最も高く、次いで「わからない」が26.3%、「採用しない」が12.3%となっています。



問9-1 問9で「1 既に採用しているため、今後も採用していきたい～3 ボランティアとして採用したい」と回答した場合、どのような内容において採用したいと考えていますか。(〇はいくつでも)

「介護職員(有資格者)」が68.6%で最も高く、次いで「事務員や運転手、調理員などの補助スタッフ」が60.0%、「介護職員(無資格者)」が37.1%となっています。



問9-2 問9で「4 採用しない」と回答した場合、採用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

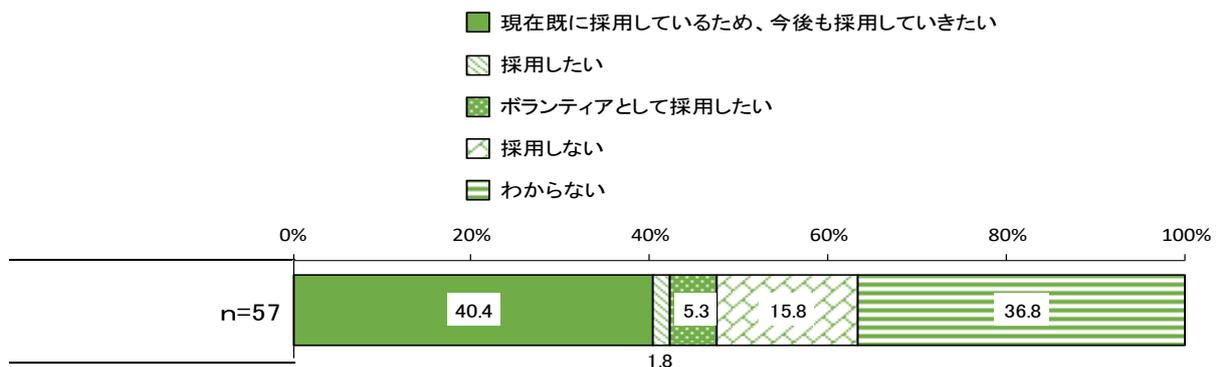
「高齢者スタッフを育成する体制ができていない」が42.9%となっています。

単位：%

理由	割合 (%)
体力的な不安があるため	28.6
わからない	0.0
忙しいので募集するまで手が回らない	0.0
高齢者スタッフを育成する体制ができていない	42.9
その他	42.9

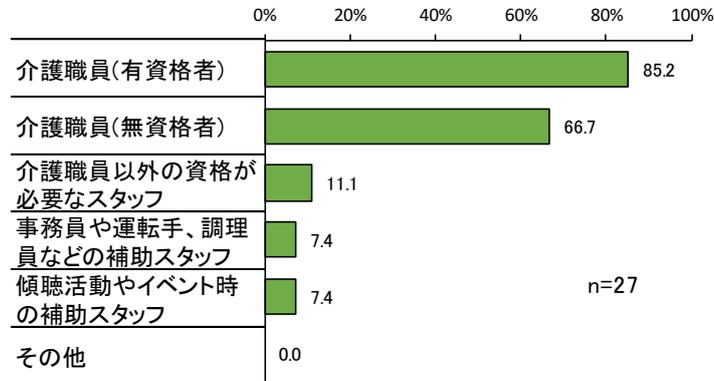
問10 貴事業所において、就業を希望する外国人を採用する意向はありますか。(〇は1つ)

「現在既に採用しているため、今後も採用していきたい」が40.4%で最も高く、次いで「わからない」が36.8%、「採用しない」が15.8%となっています。



問10-1 問10で「1 既に採用しているため、今後も採用していきたい～3 ボランティアとして採用したい」と回答した場合、どのような内容において採用したいと考えていますか。(〇はいくつでも)

「介護職員（有資格者）」が85.2%で最も高く、次いで「介護職員（無資格者）」が66.7%、「介護職員以外の資格が必要なスタッフ」が11.1%となっています。



問10-2 問10で「4 採用しない」と回答した場合、採用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「言葉やコミュニケーションの不安があるため」、「外国人スタッフを育成する体制ができていない」がそれぞれ33.3%となっています。

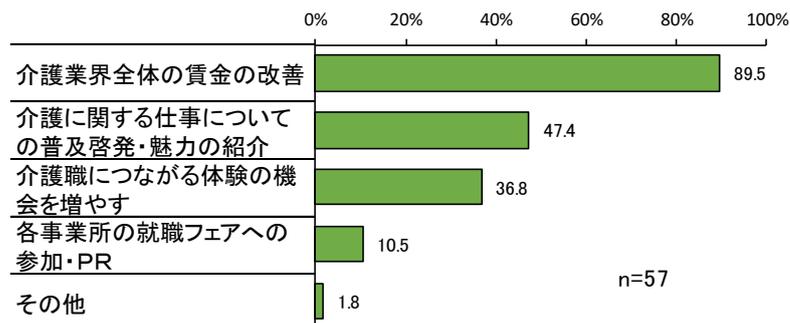
単位：%

理由	割合 (%)
言葉やコミュニケーションの不安があるため	33.3
外国人スタッフを育成する体制ができていない	33.3
その他	66.7
手が回らない	0.0
忙しいので募集するまで	0.0
どうやって募集するか	0.0
がわからぬ	0.0

全体（件） 9

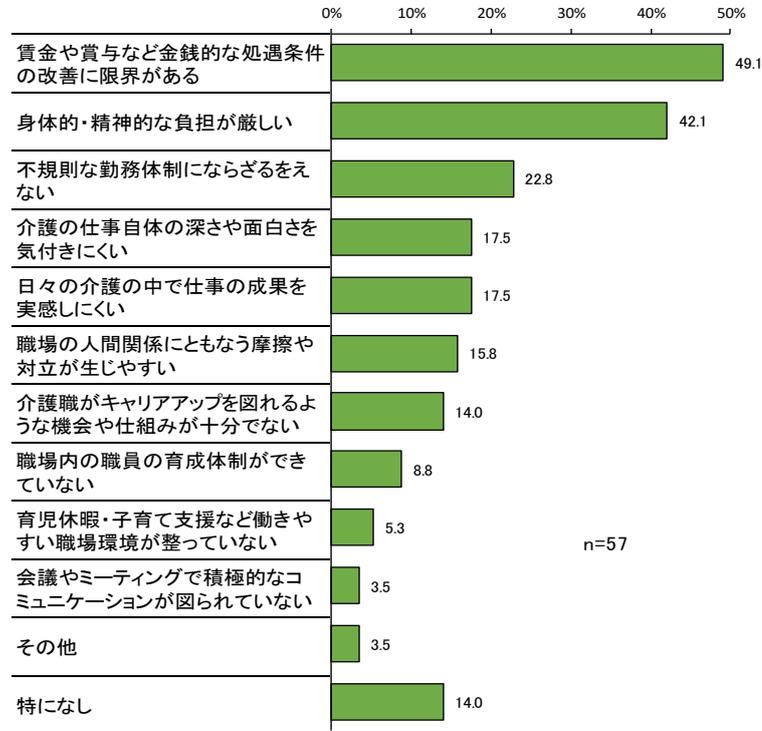
問11 介護職への求職者を増やすために必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「介護業界全体の賃金の改善」が89.5%で最も高く、次いで「介護に関する仕事についての普及啓発・魅力の紹介」が47.4%、「介護職につながる体験の機会を増やす」が36.8%となっています。



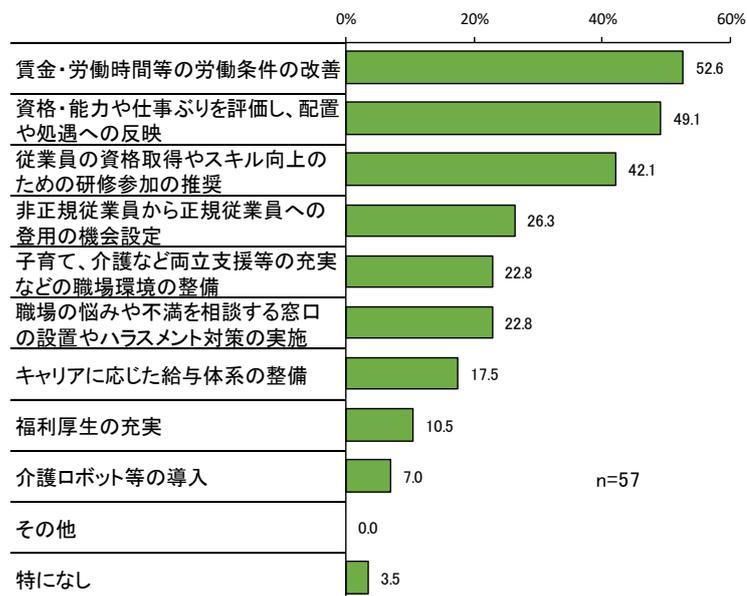
問12 貴事業所の従業員の定着率向上において、問題となっていることは何ですか。
 (〇は3つまで)

「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が 49.1%で最も高く、次いで「身体的・精神的な負担が厳しい」が 42.1%、「不規則な勤務体制にならざるをえない」が 22.8% となっています。



問13 従業員を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇は3つまで)

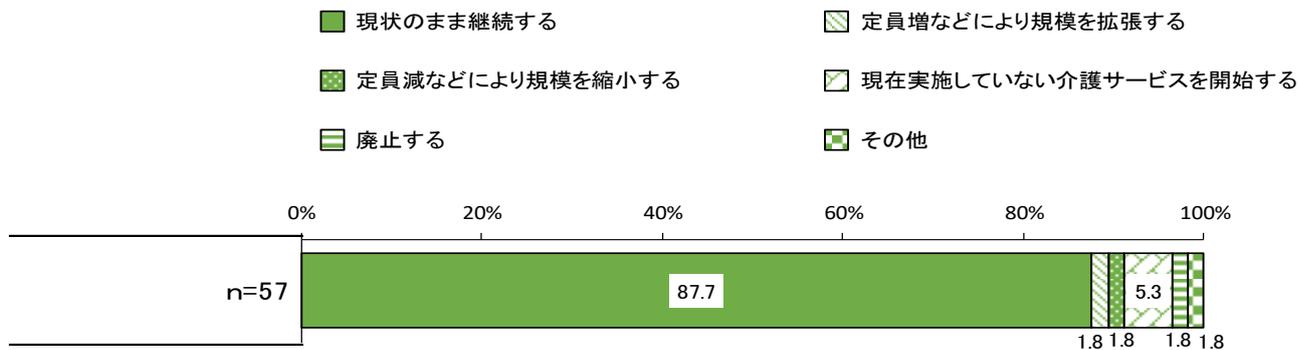
「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が 52.6%で最も高く、次いで「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」が 49.1%、「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が 42.1%となっています。



3 事業所の運営について

問14 貴事業所の事業運営について、今後どのように実施することを予定（検討中を含む）していますか。（〇は1つ）

「現状のまま維持する」が 87.7%で最も高く、次いで「現在実施していない介護サービスを開始する」が 5.3%となっています。



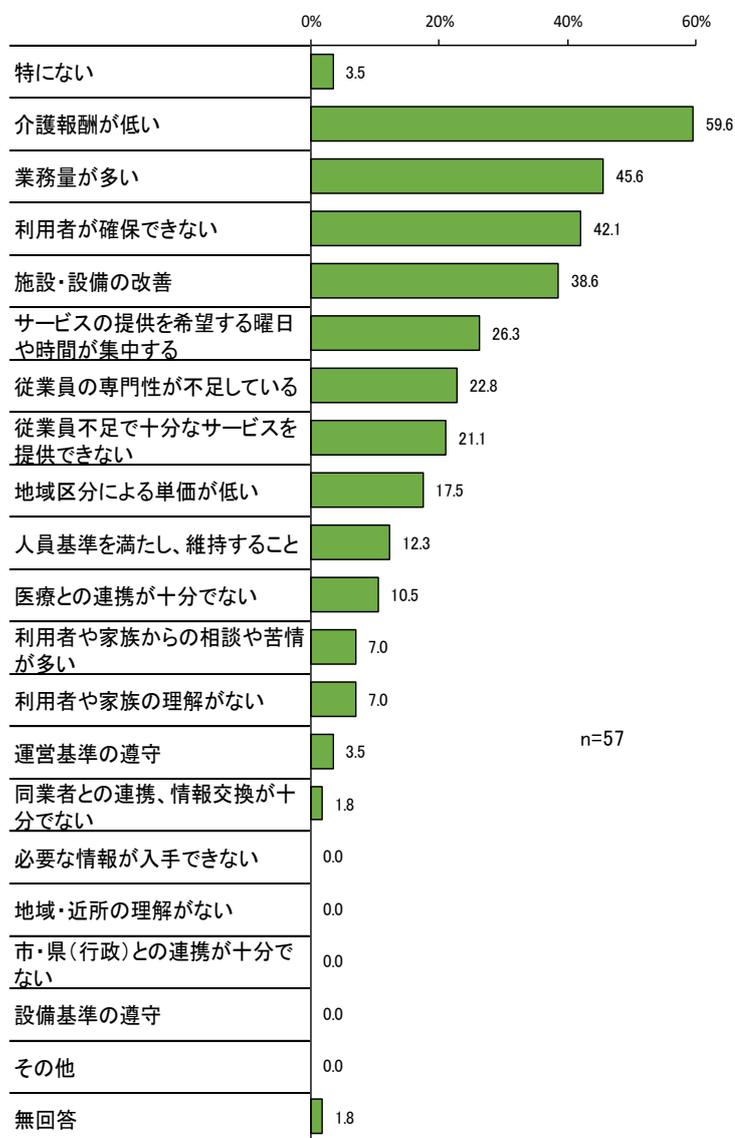
問14-1 問14で「4 現在実施していない介護サービスを開始する」と回答した場合、該当の介護サービスの番号を〇で囲んでください。（〇はいくつでも）

現在、実施していない介護サービスを開始すると回答した事業所は3件でした。うち、1件は通所介護（デイサービス）、2件は（介護予防）特定施設入居者生活介護でした。

問15 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。

(〇は5つまで)

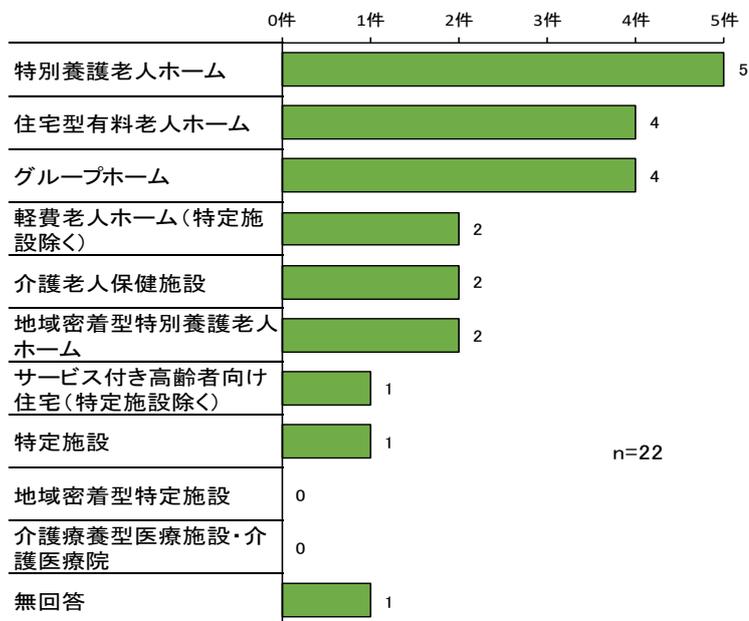
「介護報酬が低い」が59.6%で最も高く、次いで「業務量が多い」が45.6%、「利用者が確保できない」が42.1%、「施設・設備の改善」が38.6%、「サービスの提供を希望する曜日や時間が集中する」が26.3%となっています。



B票 住まいの変更に関する実態調査結果

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

「特別養護老人ホーム」が5件で最も多く、次いで「住宅型有料老人ホーム」、「グループホーム」がそれぞれ4件、「軽費老人ホーム(特定施設除く)」、「介護老人保健施設」、「地域密着型特別養護老人ホーム」がそれぞれ2件となっています。



※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1 定員数など

全体の定員数では、「10～50人未満」が8件で最も多く、次いで「50～100人未満」が7件、「10人未満」が5件、「100人以上」が2件となっています。

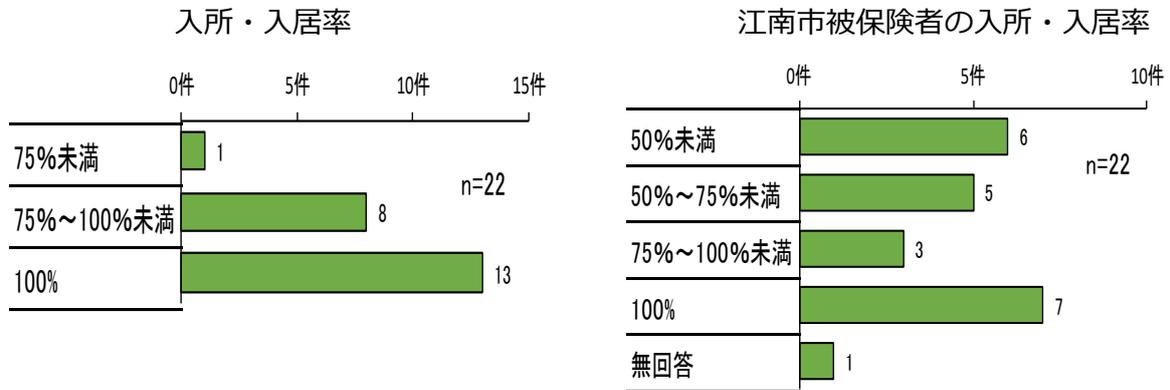
単位別では、人で「10～50人未満」が5件、戸で「10～50人未満」が1件、室で「10人未満」「10～50人未満」「50～100人未満」がそれぞれ2件となっています。

区分	全体(件)	単位：件			
		10人未満	10～50人未満	50～100人未満	100人以上
全体	22	5	8	7	2
単位別					
人	14	3	5	4	2
戸	1	0	1	0	0
室	6	2	2	2	0
無回答	1	0	0	0	0

2 入所・入居率

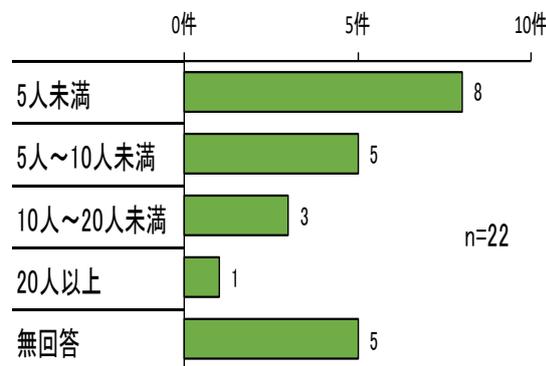
「100%」が13件で最も多く、次いで「75%～100%未満」が8件、「75%未満」が1件となっています。

江南市被保険者では、「100%」が7件で最も多く、次いで「50%未満」が6件、「50%～75%未満」が5件、「75%～100%未満」が3件となっています。



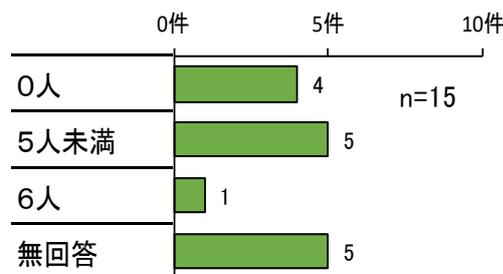
3 (貴施設等の) 待機者数

「5人未満」が8件で最も多く、次いで「5人～10人未満」が5件、「10人～20人未満」が3件、「20人以上」が1件となっています。



4 入所・入居者中、特別養護老人ホームを申し込んでいる人数

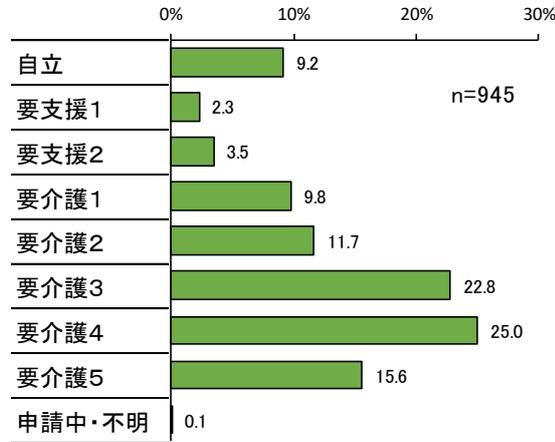
「5人未満」が5件で最も多く、次いで「0人」が4件、「6人」が1件となっています。



※特養・地域密着型特養は除く

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。
(数値を記入)

「要介護4」が25.0%で最も高く、次いで「要介護3」が22.8%、「要介護5」が15.6%となっています。

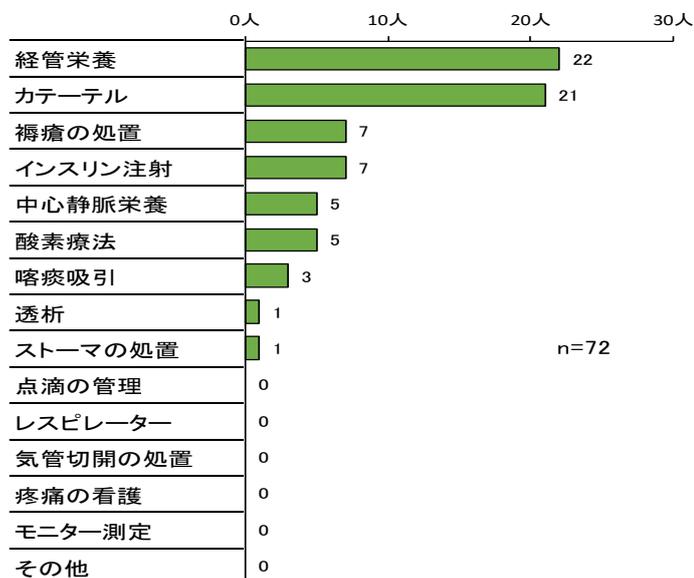


単位：件

全体 (件)	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中・ 不明
945	87	22	33	93	111	215	236	147	1

問4 現在の入所・入居者で、以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。複数の医療処置を受けている場合は、最も依存度の高いものに計上してください。(数値を記入)

「経管栄養」が22人で最も多く、次いで「カテーテル」が21人、「褥瘡の処置」、「インスリン注射」がそれぞれ7人となっています。



ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問5 過去1年間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

江南市被保険者では、「介護老人保健施設」が164人で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が76人、「住宅型有料老人ホーム」が19人となっています。

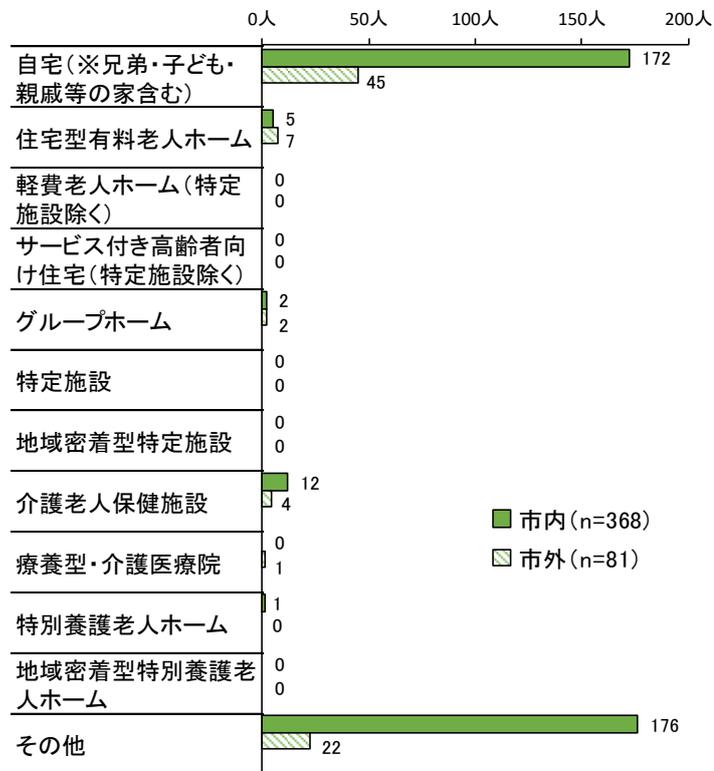
江南市被保険者割合では、多くの施設で60%を超えますが、「住宅型有料老人ホーム」（51.4%）、「特別養護老人ホーム」（58.9%）が低くなっています。

サービス種別	全体	江南市被保険者	江南市被保険者割合
住宅型有料老人ホーム	37人	19人	51.4%
軽費老人ホーム(特定施設除く)	25人	16人	64.0%
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	6人	2人	33.3%
グループホーム	11人	11人	100.0%
特定施設	5人	4人	80.0%
地域密着型特定施設	0人	0人	0.0%
介護老人保健施設	222人	164人	73.9%
介護療養型医療施設・介護医療院	0人	0人	0.0%
特別養護老人ホーム	129人	76人	58.9%
地域密着型特別養護老人ホーム	16人	16人	100.0%
合計	462人	311人	67.3%

※施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で施設等に戻った方は含めない。

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が217人（市内172人、市外45人）で最も多くなっています。



		入居先												
		全体	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	無回答	
入居元	市内	自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	172人	4人	15人	2人	9人	3人	0人	86人	0人	37人	11人	5人
		住宅型有料老人ホーム	5人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	0人
		軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		グループホーム	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		地域密着型特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		介護老人保健施設	12人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	10人	0人	0人
		療養型・介護医療院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		特別養護老人ホーム	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		その他	176人	3人	0人	0人	1人	1人	0人	124人	0人	41人	5人	1人
	市外	自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	45人	4人	9人	4人	0人	0人	0人	2人	0人	21人	0人	5人
		住宅型有料老人ホーム	7人	2人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	4人	0人	0人
		軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		グループホーム	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		地域密着型特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		介護老人保健施設	4人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		療養型・介護医療院	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		特別養護老人ホーム	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
その他	22人	5人	0人	0人	0人	0人	0人	9人	0人	8人	0人	0人		
入居・入所する前の居場所を把握していない		13人	13人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
合計		462人	37人	25人	6人	11人	5人	0人	222人	0人	129人	16人	11人	

※一旦入院し、退院後に施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所。

ここからは、過去1年間の退所・退去者についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に、貴施設等を退所・退去した人の人数をご記入ください。

江南市被保険者では、「介護老人保健施設」が120人で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が94人、「住宅型有料老人ホーム」が18人となっています。

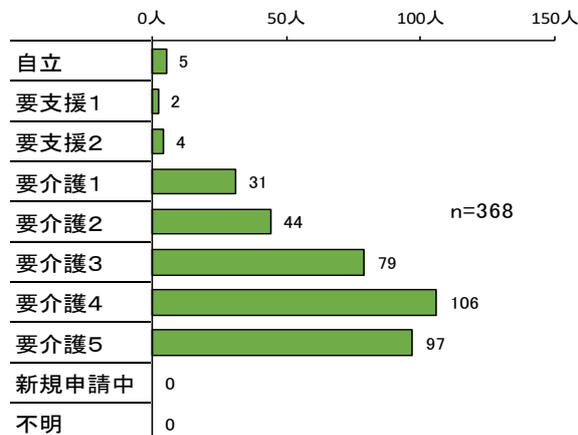
江南市被保険者割合では、多くの施設で70%を超えますが、「軽費老人ホーム（特定施設除く）」が45.8%で低くなっています。

サービス種別	全体	江南市被保険者	江南市被保険者割合
住宅型有料老人ホーム	30人	18人	60.0%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	24人	11人	45.8%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	2人	0人	0.0%
グループホーム	12人	12人	100.0%
特定施設	1人	1人	100.0%
地域密着型特定施設	0人	0人	0.0%
介護老人保健施設	152人	120人	78.9%
介護療養型医療施設・介護医療院	0人	0人	0.0%
特別養護老人ホーム	124人	94人	75.8%
地域密着型特別養護老人ホーム	15人	15人	100.0%
合計	368人	274人	74.5%

※一時的な入院等で施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（施設等との契約が継続している方）は含めない。

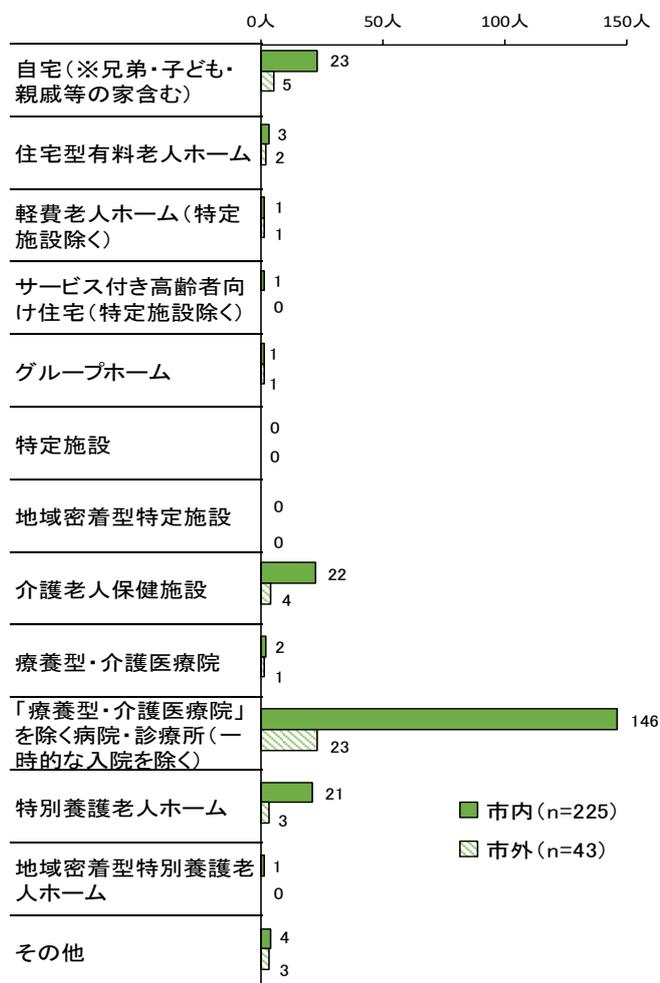
問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退所・退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

「要介護4」が106人で最も多く、次いで「要介護5」が97人、「要介護3」が79人となっています。



問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退所・退去者について、退去先別の人数
をご記入ください。

「療養型・介護医療院」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）」が 169 人（市内
146 人、市外 23 人）で最も多く、次いで「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が 28
人（市内 23 人、市外 5 人）、「介護老人保健施設」が 26 人（市内 22 人、市外 4 人）となっ
ています。

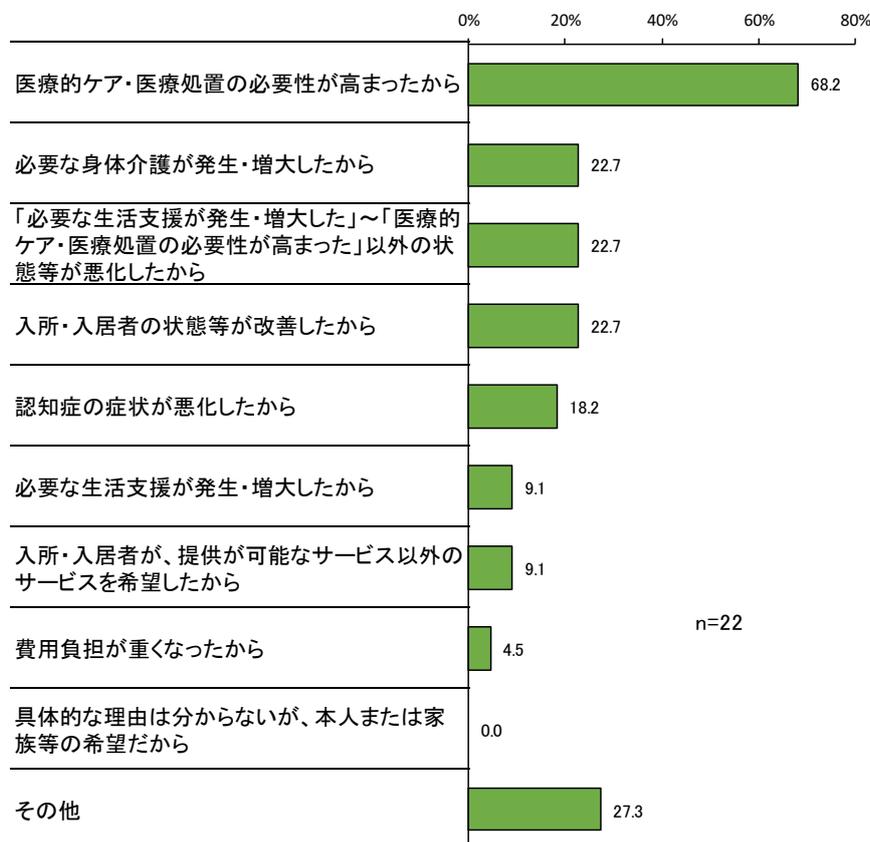


		退去元												
		全体	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム(特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	無回答	
退去先	市内	自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	23人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	21人	0人	2人	0人	0人
	住宅型有料老人ホーム	3人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	軽費老人ホーム(特定施設除く)	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	グループホーム	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	地域密着型特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	介護老人保健施設	22人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	19人	0人	2人	
	療養型・介護医療院	2人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	「療養型・介護医療院」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	146人	1人	2人	0人	2人	0人	0人	92人	0人	35人	14人	0人	
	特別養護老人ホーム	21人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	17人	0人	0人	0人	1人	
	地域密着型特別養護老人ホーム	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	その他	4人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	
	市外	自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	5人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
	住宅型有料老人ホーム	2人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	軽費老人ホーム(特定施設除く)	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	グループホーム	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	地域密着型特定施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
介護老人保健施設	4人	1人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
療養型・介護医療院	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人		
「療養型・介護医療院」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	23人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	13人	0人	9人	0人	0人		
特別養護老人ホーム	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人		
地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
その他	3人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
行先を把握していない	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
死亡(※搬送先での死亡を含む)	100人	24人	6人	1人	4人	1人	0人	5人	0人	55人	1人	3人		
合計	368人	30人	24人	2人	12人	1人	0人	152人	0人	124人	15人	8人		

※一時的に入院して施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所。

問10 貴施設等の入所・入居者が、退所・退去された理由として想定されるものを選んでください。(〇は3つまで)

「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が68.2%が最も高く、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」、「必要な生活支援が発生・増大した」～「医療的ケア・医療処置の必要性が高まった」以外の状態等が悪化したから」、「入所・入居者の状態等が改善したから」がそれぞれ22.7%となっています。



問11 入所・入居や退所・退居などの住まいを変更することは、本人にどのような影響があると考えますか。どのような対応が必要かなど、自由にお書きください。

施設側の対応、心構え

特養での看取り対応を希望された方も在宅で最期の時間を過ごしたいとの思いもある。医療との連携があれば対応できるが現在の制度や人員では難しい。

認知症の状態にある方にとって、環境の変化は認知機能面に悪影響を与えます。ですので、当事業所入所時は、極力ご自宅にて使い慣れた家具など身の回りの物を持ち込んでいただき、場所は変わっても雰囲気を変えないような配慮をしています。

認知症の進行が進みやすくなるため、可能な限り環境を変えず、安心して過ごせ馴染みある環境が望ましい。環境が変わると「混乱」がみられ、ご本人様にさらなるストレスがかかる。これにより、本来とは異なる言動がBPSD※として出てしまうことが多い。※認知症の行動・心理症状のこと。

住まい変更時、ほとんどのお年寄り是不穩になられます。できるだけご本人が納得される形の入居が望ましいですが、そういう場合でなくても安心して生活できる場所だと認めて頂けるよう心掛けています。

施設側の対応、心構え

住み慣れた家、家族と離れることで家族に捨てられた、自分で自分のことが思うようにできなくなってしまった等喪失感が大きい。施設に入居しても自宅で過ごしていた時と同じように家族、友人、ペットとのつながりを持つ。本人の能力をできなくなってしまったことに視点を置くのではなく、できていることを維持できるように支援をしていくことが必要。

認知症のある方にとっては症状の悪化がみられることもあるが、病状に対して適切な対応ができる者がいる所で過ごされることは住む方にとっても良い影響を与える可能性もあるので一概に良くないとは言えないと思います。また、ご自宅で生活する事が一番いいことだと思うが、介助する側の負担や人生もあるので、大変だと思われるなら施設への入居を支援することも必要だと思います。それがお互い（本人と介助する者）にとって幸せにつながると考えます。

環境を変えてしまうということは、精神的にも身体的にも負担が大きく変化すると考えています。在宅で利用していたサービスやケアマネさんなど継続できることは続けられるよう支援し、家族との時間も取れるよう生活の工夫をすることも大切かと思えます。その人らしい生活を少しでも守り考えてあげられる対応が必要だと考えます。

本人への精神的・身体的な影響

退居に関しては、住まいを変更することは本人にとっては精神的には一時的に負担とはなるが、必要とされる身体介護が現状では難しく、介護施設へ移った方が結局本人が望む対応をしてもらえるので心の負担が少なくなると思えます。できるだけ最後までここで過ごしていただきたいのですが、在宅サービスは一日のうちのわずかな時間しか見守ってもらえず施設や病院へ入らざるをえない状況です。

在宅から入所された場合、食事の時間など集団でのルールがあるため、生活リズムが変わる場合がある。居室の衛生や環境整備においても、ご自身の希望と合致しない場合もあり、共同生活における心得などは、入所前の丁寧な説明が必要となる。

有料老人ホームは特別養護老人ホームに比べて費用が安いので、特養の空室待ちをされている方がいます。環境の変化で認知症が進行したり、食事がとれなくなってしまうなどあると思います。対応しているスタッフの顔や声など覚えていたりするので、住まいを変更すると利用者様が生活に慣れるまで時間がかかると思います。

VI 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

(1) 介護保険制度について

- ・介護保険（料）をもっと安くしてほしい。
- ・各種サービスを受ける際に行政等が求める書類が面倒である。
- ・介護保険や福祉サービスについてはいずれお世話になると思いますので詳しく制度や手続きを教えていただきたいと思います。
- ・要介護の認定が厳しすぎる。希望するサービスがなかなか受けられないのが現状で入所できないことが多い。入所施設が足りないため入所させてくれない。誰もが元気で住みやすい江南市にして頂けたらと思います。

(2) 情報・相談について

- ・広報等で介護に対して特集を組んで大々的に PR してほしい(介護で困った先の連絡先、介護の実態(大変さ)、介護サービスの内容、介護に必要なコスト他)。
- ・市のサービスについて知らないことが多かったので、もっと何らかの形で情報提供していただけたらありがたいと思いました。
- ・家族が旅等に行った時、お年寄りが一人になった時、急に体の具合が悪くなった時どこへ連絡すればいいですか。助けてほしい時、どうしてよいかといつも心配しております。よろしくをお願いします。

(3) 将来の不安や現状について

- ・自動車に乗れなくなった時が心配です。一人暮らしのため。
- ・今のところは元気なので利便性はわかりませんが、動けなくなればいろいろ出てくると思っています。
- ・今は元気です。いつかはお世話になると思いますが、よろしくをお願いします。

(4) 公共交通機関について

- ・買い物が遠いので車がどうしても必要になる。
- ・いずれ自動車に乗れなくなったとき、巡回バスがあれば助かると思う。
- ・市のバスで公共施設、買物のできるスーパー等定期的なものが大変助かります。友人達との話はいつもこのようなことです。江南市は住宅地、また、高齢者が多いので市の方でよく考えてほしい。

(5) 福祉行政について

- ・一人暮らしとなり、不安（子どもが遠方なので）があります。行政の方から定期的に声掛けをして下さればと思っています。
- ・高齢者夫婦または独居高齢者に対し市の方から困りごと相談等はないか継続的に封書など出して様子を見てほしい（3ヶ月・6ヶ月毎に）。健康に気をつけて頑張って健康保険を使っていない後期高齢者に、江南市で使える食事券または食事割引券等出して応援する。
- ・今のところ介護の必要はありませんが、将来は誰にもわかりません。今は認知症に対する不安が一番です。もしそのような状態になった時は家族だけでなく、周りのすべての方々に迷惑・お世話になることと思います。その時のためにも介護・福祉サービスの一層の充実をお願いします。

(6) 地域交流について

- ・地域の集まりとか、活動とか、ボランティアとか 時間を制限・強制されるのは苦痛です。高齢者だから時間はたっぷりあると思わないでほしい。高齢になると我が抑えられなくなり、人とのいさかいも避けたいです。また、ジム・スクール・サークル等は費用がかさみ、年金生活者には負担です。
- ・各地区の公民館で介護保険、福祉サービス等の話をいろいろ聞きたい。介護認定、デイサービス・ショートステイの内容、費用等。
- ・足腰弱らん教室に参加していましたが、床上での運動が激しすぎ(テンポも速く)体の機能を害してしまいやめてしまいました。これからは講師派遣型介護予防教室など椅子に座って軽く体を動かすぐらいのレベルの教室を増やしてください。高齢になると立ち上がるのが大変、しかも立ち上がった時にふらつきがあり、転倒しやすい。

(7) サービス利用について

- ・デイサービス利用時間を自由にしてほしい。例えば、行きや帰りの送迎は家族の誰かしらが行った場合は、途中参加や早退できる形態にしてほしい。
- ・自宅において介護可能なサポート（要介護、認知に限定せず）。体調の不具合等によりデーサービス等が受けられるようになれば家族による介護が可能となり全体的に市財政の削減につながる。
- ・介護認定が高くなるにつれ費用が多くなりショートステイを利用したくても中々できず、老々介護の日々を過ごしています。非課税の家庭にとっては厳しい現実です。

(8) 生活環境について

- ・高齢者の買い物が近くに販売店がなく不便です。市が中心になって高齢者向けの移動販売車があれば買い物難民を少なくできる。過疎地でなくても都会の中でも大いに利用したい人はいる。検討してほしい（月に2・3回または週1回でも定期便として）。
- ・問題となっている防犯等から安心して住める安価なサ高住等の充実を願いたい。また、市内各所に防犯用カメラ等の設置を望みます（安心、安全）。
- ・資源ゴミの収集場所が遠いので困っています。

(9) アンケートについて

- ・アンケート質問について一言、幸せ程度を 0~10 点、幸せと感じる、思うは個人によって違う。点数で表すことではないと思います。
- ・返信用封筒大きいサイズにしたらいいと思います。
- ・質問内容が多すぎて疲れました。

(10) 介護支援専門員や事業者について

- ・介護福祉従事者の方々大変なお仕事ご苦労様です。また、ありがとうございます。日ごろから心身ともに健康で過ごせるよう心掛けていますが、私もいつの日か老衰などで人生を終わる日があり、その日を迎えるにあたり極力家族や皆さんのお世話にならないように願ってはいます。しかし、全く手助けを受けずに終息することは難しいと考えますが、その時はよろしく願いいたします。
- ・介護ヘルパーを依頼しようとしてもヘルパーさんの数が少ないのでなかなか見つからないのが現実です。制度があっても名目だけで現実にはなかなかサービスを得ることが難しいのです。
- ・もっと分かりやすいシステムにした方が良い。福祉従事者お給料を上げないとこれから誰もやらないと思うよ。3K 以上の大変な仕事だから専門職で高齢者の世話をする以上、それに合う給料でないと、若い人達は仕事を選ぶはずがないですよ。

(11) 医療について

- ・高齢者に必要な定期検診の内容の充実と助成金の充実（ガンや認知症）。
- ・母子家庭で子どもが（娘 40 歳）月 1 病院に通って、名古屋市内の病院ですので、近くに専門の病院があるといいですね。
- ・医療への先行投資。

(12) 地域福祉・ボランティアについて

- ・買い物代行サービス。
- ・草取り、庭掃除をしてほしい。
- ・スーパー等の送り迎えの充実。

(13) 行政に対する感謝・不満について

- ・私は子ども達から遠く離れて一人暮らしをしておりますが、体の問題などで独居が不可能になった時、年金の範囲内で生活できる施設を増やして行ってください。いつまでも、少しでも長く一人暮らしを続けられるよう、気をつけて暮らしていきたいと思っております。このような企画をして下さったことに感謝申し上げます。
- ・私は分からないことは市役所に TEL で聞くようにしている。市役所からの封筒、今回のようなものだったり、中身の分からない事は特に聞きます。字は読めても理解できないことが多い。市役所の方はいつでも親切に教えてくれるので感謝しています。
- ・介護保険、福祉サービス等利用するには、とりあえず市役所に窓口に行って説明を受けるのだから、福祉の窓口では親切・丁寧な対応をしていただきたいです。
- ・介護保険の認定を受ける際の面接ですが、市役所の方の対応が事務的で冷たく感じました。温かい対応をしてくれるように指導願います。

(14) 雇用・就業について

- ・私はまだ 69 歳で働いているが、これからも少しでいいので、働ける場所（ボランティアもいいので）を教えてください。
- ・ある自治体では、お年寄りが朴葉寿司を作って販売していると聞いています。江南市でもお年寄りが楽しく働ける場所がほしいです。

(15) その他

- ・今の所、何を要望して良いのかがわからない。
- ・江南福祉充実都市愛知県優良都市にしてほしい。安心・安全な桃源郷都市にしてもらいたい。

2 在宅介護実態調査

(1) 介護保険制度について

- ・介護に関する手続きや助成金の申請で、子どもが代理で申請するのに本人の委任状を役所から求められる。委任状が書けるくらいなら子どもが申請を代行しなくても、車で役所まで本人を送って行けば済むことです。できないから代行しているのに委任状、委任状と言われるのが負担であります。
- ・介護認定の結果が出るのを早くしてほしい。
- ・同じ要介護4・5でも65歳以上じゃないと受けられない制度がある。平等になるといい（おむつ券や慰労金の助成等）。
- ・目が不自由な方に対しての介護認定が非常に厳しく思います。ぜひ検討していただきたい。

(2) 情報・相談について

- ・入所する施設を探すのに非常に苦労した。施設に入所させなければならないということは、緊急を要する場合が多いと思うので、施設の種類、予算など具体的な情報を持っている部署があれば、ありがたい。
- ・施設などの情報がほしいと思います。
- ・医療や介護・福祉のサービスについて、行政からの周知をもっとしてほしい。介護保険になる前に関しての相談を具体的に個別に相談できる所がほしい。

(3) 将来の不安や現状について

- ・介護者の自分の収入が全くないので、自分が年齢を重ねた時の蓄えがつかれないので不安でしょうがない。

(4) 公共交通機関について

- ・いこまいカーの時間制限をなくしてほしい。急に使いたい時に対応してほしい。
- ・タクシーチケットが本人の状態に合わせて（年齢に関わらず家族が運転できない）利用できるとよい。
- ・免許返納後の行動について、いこまいカーだけでなく突発的な対応を望みます。

(5) 福祉行政について

- ・在宅介護により主な介護者が働きに行けないため、経済的な援助がほしい。
- ・高齢者の拘りように対し、きめ細かい声を取り上げ、充実した内容の制度を作っていたきたい。
- ・事業所（介護サービスの）に地域との関わりを求めるのは難しい。地域づくり、地域とのやりとりは民間事業者がやることではない。行政が先頭に立って行政が行うべきことである。

(6) 地域交流について

- ・高齢になってから地域の集まりに出向くことが難しいと感じているため、若年の頃より集まる場所があると出やすいと思う。

(7) サービス利用について

- ・要支援1とか2のデイサービスやデイケアの利用回数が自分の好きな回数で行けないことが納得できない。
- ・訪問入浴を利用しているが、入浴だけのデイサービスがあるといい。
- ・デイサービスの送迎時間のばらつきがあるため、(30分以上)差をなくしてほしい。

(8) 生活環境について

- ・災害時の対応はどうなっているか。見守りのネットワークは整っているか。各町内でのボランティア制度はあるのか。
- ・団地にエレベーターを付けたりバリアフリー化してほしい。

(9) アンケートについて

- ・アンケートの内容がかなり高度です(難しい)。
- ・アンケートの作成について、健康な人が作成していると思います。認知症や身体の弱い者にとって、とてもたくさんの質問内容で、質問も「問3で1と答えた人は」など、頭を使わないといけなくて疲れるので、短時間で済むわかりやすい・答えやすいアンケート内容をお願いします。
- ・認知症の方に、このアンケートはわからないので、本人向けと家族向けのアンケートは分けていただけると良いと思います。

(10) 介護支援専門員や事業者について

- ・通所介護施設で本人が職員の対応に不愉快な思いをした。介護従事者の質の向上を図ってほしい。
- ・介護職員の待遇改善をお願いします。
- ・ケアマネさんをはじめ、たくさんの方々に支えていただき、家族を自宅介護しています。介護福祉支援業務に関わる方々の大変さを考えますと感謝しかありません。その方々がやりがいを持って長く続けられるような支援もお願いいたします。
- ・施設ではいろいろとお世話になり落ち着いて生活しています。ありがたいと思っております。

(11) 医療について

- ・自宅で介護が難しい。褥瘡の治療の時、少しの間入院させてもらいたかったができないと言われ大変だった。入院させていただきたい。

(12) 地域福祉・ボランティアについて

- ・民生委員さんが来てくれていないのはなぜだろうか。75歳1人暮らしです。

(13) 税制関係について

- ・税金が高いと感じます。私的年金が所得と見なされるため、税金も高く、家族の扶養にもできません。何とかしてほしいです。おむつ券は非常に助かっています。しかし、直ぐになくなります。おむつ券の増額を希望します。介護者目線の発言ですみません。
- ・障害者特別手当（月/2000 円）が切られたことが残念でした。同居の家族がいるため、配食サービスは自分で全額負担しています。男性が食事の準備は大変ですし、子どもの家族に迷惑をかけたくない。年金でいろいろやっていかなければならない苦しい気持ちをわかってほしい。

(14) その他

- ・関係ないかもしれないが、マイナンバーカードの普及について心配。自分達は年を取っていろいろ忘れっぽくなっている。マイナンバーを紛失してしまった時に情報がすべて出回ってしまうのではないか、万が一まとめて保管している情報にウイルスが入ったり外に流れたりするリスクを考えると自分はこのままでいいと思っている。

3 事業所調査

(1) 介護報酬や介護職員の待遇について

- ・訪問介護事業所（法人）にも手厚い支援が（金銭面も）できる体制作りをしてもらいたい。
- ・加算が分かりにくいことがある。
- ・介護報酬が低いいため、職員への処遇改善が難しい。

(2) 事業所の運営・経営について

- ・人員も確保できており、利用者様への手厚い介護ができています。職員同士も仲が良く、利用者間のトラブルがない。利用者対職員の人員配置が制度と現状で見合っていない。
- ・物価上昇の中、運営費の上昇により収益が上がらない。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等

- ・コロナ禍でボランティアや家族会などの社会資源が活用されなくなって、小さな社会となってしまう。感染もあるので仕方ないが、社会の中で地域の中で生活している実感が無い。

(4) その他

- ・60代70代の職員はいるが若い職員は入って来ない。
- ・最近、包括で新規の利用者様が決められるので、なかなか利用者様が回ってこない。福祉用具も包括で決められているみたいなので小さな福祉用具の会社は仕事が回ってこないと言われてますよ。新規の利用者様のお試しチャンスも回ってこないです。私どもの小さな通所介護は営業しても、なかなか利用者様を紹介してくれません。利用者様がかなり減ってしまい、職員は居るのに職員が働けない状況です。
- ・書類が多く記録に時間を要す。指導に来られる時のために用紙を増やしている印象もある。ケアに力を入れていても書類一枚で評価されてしまい気持ちを保てない。

Ⅶ 調査票

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査

～ご協力をお願い～



みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

江南市では、令和5年度に新たな『介護保険事業計画及び高齢者福祉計画』を策定します。高齢者の方が安心して暮らせる社会の実現に向けた計画を策定するにあたり、みなさまの現状や希望を把握するため、アンケート調査を実施いたしますので回答にご協力ください。なお、お答えいただいた内容については、統計的に処理いたしますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◇アンケート調査対象者〔対象人数 2,000人（無作為抽出）〕

・市内に居住されている65歳以上の方

令和5年2月

江南市長 澤田 和延

●記入上のお願い

- ・この調査は封筒の宛名の方が対象となります。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくなど、ご本人の意思を尊重して代わってご回答していただける方をお願いしてください。

●調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**3月31日(金)**までにご投函くださいますようお願いいたします。(返信用封筒には切手は不要です。また、住所・氏名のご記入も必要ありません)

Web回答について



- ◆本調査はWeb回答が可能です。Web回答で回答する場合は、右の二次元コードを読み取っていただくか、URL「<https://src.webcas.net/form/pub/src/konan1>」から江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査（65歳以上）のWebページにアクセスし、下記のIDとパスワードを入力してご回答ください。Webで回答いただいた場合は、調査票を返送していただく必要はありません。

ID:

パスワード:

※IDとパスワードは無作為に付与されているため、回答の方法を問わず、回答された方が特定されたり、回答内容が明らかにされたりすることはありません。

●調査についてのお問い合わせ

江南市役所 健康福祉部 高齢者生きがい課 地域ケアグループ

電話：0587-54-1111（内線416） FAX：0587-56-5951

問 1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(2) - 1 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------------------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 持家 (一戸建て) | 2. 持家 (集合住宅) |
| 3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small>
公営賃貸住宅 | 4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(3) 15分くらい続けて歩いていますか (○は1つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)	
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)	
1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)	
1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)	
1. とても減っている 2. 減っている	
3. あまり減っていない 4. 減っていない	
(8) 外出を控えていますか (○は1つ)	
1. はい 2. いいえ	
(8) で「1」と答えた方のみ以下の質問にお答えください	
(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 病気	2. 障害 (脳卒中 ^{しょうがい のうそっちゅう} の後遺症 ^{こういしょう} など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()

(12) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(13) 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(14) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(15) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(16) 主に使用している通信・連絡機器はどれですか (○は1つ)	
1. スマートフォン	2. 携帯電話
3. 固定電話	4. その他 ()

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 また、今後参加してみたいですか
 ※①～⑩それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

	参加状況(いずれかに○)						今後の参加希望 (したい場合○)
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	今後参加したい
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	1
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	1
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	1
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	1
⑤ 市が実施する介護予防のための通いの場 ・足腰弱らん教室 ・ちいきのきょうしつ ・講師派遣型介護予防教室 ・楽しく健康づくり教室 ・高齢者教室	1	2	3	4	5	6	1
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6	1
⑦ シルバー人材センター	1	2	3	4	5	6	1
⑧ 高齢者向けサロン	1	2	3	4	5	6	1
⑨ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	1
⑩ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	1

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他()	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
(7) あなたがお困りのとき (今後、お困りになったとき)、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか (いくつでも)		
1. 安否確認の見守りや声かけ	2. ちょっとした買い物の手伝い	
3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	4. 食事のおすそ分け	
5. ゴミ出し	6. 話し相手、相談相手	
7. 外出や通院の付き添い	8. 災害時の手助け	
9. その他 (具体的に:)		
10. 特にない		
(8) 近所の方がお困りのとき、あなたが支援できることは何ですか (いくつでも)		
1. 安否確認の見守りや声かけ	2. ちょっとした買い物の手伝い	
3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	4. 食事のおすそ分け	
5. ゴミ出し	6. 話し相手、相談相手	
7. 外出や通院の付き添い	8. 災害時の手助け	
9. その他 (具体的に:)		
10. 特にない		

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(6) この1か月間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(7) この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) この1か月間、わけもなく疲れたような感じがしますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(9) タバコは吸っていますか ※電子タバコ含む (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(10) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

- | | | |
|---|---|--|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅつけつ・のうこうそくなど</small> |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病
<small>とうにようびょう</small> | 6. 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけっしょう ししつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
<small>きんこっかく こつそ しょう</small> | |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしょう てんとう こっせつなど</small> | 12. がん (悪性新生物) | 13. 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> |
| 14. うつ病 | 15. 認知症 (アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 | 19. その他 () |

問8 介護予防・福祉サービスについて

(1) あなたは介護が必要とならないために、どのような予防に取り組んでいますか
 また、今後どのようなことに取り組みたいですか
 ※①～⑫それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

	取り組み状況 (いずれかに○)		今後の取り組みの希望 (希望する場合に○)
	すでに取り組んでいる	取り組んでいない	今後取り組みたい
① 自分で家事をする	1	2	1
② 自宅で趣味をして過ごす	1	2	1
③ 自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う	1	2	1
④ 地域の集まりに参加して、運動や趣味を通じた活動をする	1	2	1
⑤ ボランティア活動をする	1	2	1
⑥ スポーツジムやスイミングスクールに通う	1	2	1
⑦ 趣味のサークルなどに通う	1	2	1
⑧ 人の助けを受けて家事を行う	1	2	1
⑨ 栄養に関する指導を受け、食生活を改善する	1	2	1
⑩ 歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する	1	2	1
⑪ 一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的(3～6か月)な指導で回復する	1	2	1
⑫ その他 ()	1	2	1

(2) あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか (いくつでも)

1. 病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる
2. 24時間対応の介護サービスが充実している
3. できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける
4. 見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる
5. 高齢になっても住み続けられる住まいがある
6. 家族への医療行為・介護方法の指導
7. 自分の医療に関する情報をいつでも確認できる仕組み

(3) 介護保険以外のサービスとして高齢者福祉サービスを実施していますが、あなたは次の事業を知っていますか (いくつでも)

1. 訪問理髪
2. 寝具洗濯
3. 紙おむつ購入助成
4. 緊急通報システムの設置
5. 救急医療情報キット (安心キット)
6. 住宅改善助成
7. 集合住宅住み替え助成
8. タクシー基本料金助成
9. 日常生活用具の給付 (電磁調理器、火災報知器)
10. 特に知らない

問9 認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2)で「1. はい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(3) 認知症に関する相談窓口で知っているものを選んでください (いくつでも)

1. 地域包括支援センター
2. 認知症地域支援推進員
3. 認知症初期集中支援チーム
4. 市役所
5. 病院のもの忘れ外来
6. 認知症サポート医
7. その他 ()

(4) 江南市で、以下の認知症に対する取り組みを行っていることを知っていますか
(いくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 認知症ケアパス | 2. 認知症簡易チェック |
| 3. 認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練 | 4. 認知症サポーター養成講座 |
| 5. 江南認知症家族会 | 6. 認知症カフェ |
| 7. 認知症初期集中支援チーム | 8. 認知症地域支援推進員 |
| 9. QRコードを活用した見守りシール | 10. 認知症高齢者等個人賠償責任保険 |
| 11. 特に知らない | |

(5) あなたは、認知症の方の支援に必要なことは何だと思えますか (いくつでも)

1. 認知症に関する相談窓口の充実
2. 認知症の早期発見への取り組み
3. 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
4. 誰もが認知症の正しい理解を得る機会 (認知症予防教室等)
5. 認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援
6. 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
7. 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
8. 認知症のご本人や介護者が集う場所づくり
9. 身近な地域での家族会発足の支援
10. 認知症専門の医療機関の充実
11. 医療職の訪問
12. 認知症の方が行方不明になった際のサポート体制
13. その他 (具体的に : _____)

問 10 終末期の考え方について

(1) あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか (○は1つ)

1. 自宅 2. 病院 3. 施設
4. その他 () 5. わからない

(2) 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」(※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと) について、知っていますか (○は1つ)

1. 知っている 2. 言葉を聞いたことはある 3. 知らない

(3) あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか (いくつでも)

1. 自分ひとりで考えたことがある
2. かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある
3. 家族と話し合ったことがある
4. 考えていない

(3) で「1」～「3」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(3) - 1 どのような内容を考えましたか、または話しましたか (いくつでも)

1. 病状や治療後の経過に関すること
2. 希望する医療・ケアに関すること
3. 意思決定ができなくなった場合の対応に関すること
4. その他 (具体的に:)

問 11 高齢社会への対応について

(1) 自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

	満足	まあ満足	不満
① 高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況	1	2	3
② 身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況	1	2	3
③ 消防・防災体制の整備状況	1	2	3
④ 公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮	1	2	3
⑤ 救急医療体制の整備状況	1	2	3
⑥ 高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援	1	2	3
⑦ 高齢者福祉施設の整備状況	1	2	3
⑧ 高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況	1	2	3

(2) 高齢社会に対して、今後市に力を入れてほしいことは何ですか(○は5つまで)

1. 高齢者の各種相談や介護経験者による相談窓口の情報提供
2. 高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備
3. 高齢者と同居している家族への介護支援の充実
4. 24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり
5. 高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援
6. ひとり暮らし高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)
7. 高齢者の権利擁護・虐待防止、消費者被害の相談窓口の充実
8. 認知症に対する取り組み(認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等)
9. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする場所の提供
10. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする活動の支援
11. 福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上
12. 介護予防教室の充実・周知
13. ボランティアによる見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の推進
14. その他(具体的に: _____)
15. 特にない

問 12 外出について

(1) 外出の目的は何ですか (〇は3つまで)

- | | | |
|----------------------|--------|---------------|
| 1. 通院 | 2. 買い物 | 3. 食事 |
| 4. 訪問 | 5. 通勤 | 6. 地域活動や趣味の活動 |
| 7. 公共施設や銀行・郵便局等での手続き | | |
| 8. その他 () | | |

(2) 外出の主な目的地はどちらですか

- | |
|--------|
| 市内 () |
| 市外 () |

(3) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | |
| 12. タクシー | 13. いこまいCAR | |
| 14. その他 () | | |

(4) 外出の主な時間帯は何時ごろですか

- | |
|---|
| 1. 通院 |
| (a) 家を出る時間 (午前・午後) 時台 (b) 帰る時間 (午前・午後) 時台 |
| 2. 買い物 |
| (a) 家を出る時間 (午前・午後) 時台 (b) 帰る時間 (午前・午後) 時台 |
| 3. その他の外出 |
| (a) 家を出る時間 (午前・午後) 時台 (b) 帰る時間 (午前・午後) 時台 |

(5) 路線バスのバス停は、近くにありますか (○は1つ)		
1. ある	2. ない	
(5) - 1 路線バスは、どれくらいの頻度で利用していますか (○は1つ)		
1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日
4. 月に数回	5. 年に数回	6. 利用しない
(5) - 1で「5. 年に数回」「6. 利用しない」と答えた方のみ以下の質問にお答えください		
(5) - 2 路線バスを利用しない理由は何ですか (いくつでも)		
1. 自動車などを自分で運転できるから	2. 送迎してもらえるから	
3. バス停までの移動が大変だから	4. 目的地までのバスがないから	
5. バスの本数が少ないから	6. 運賃が高いから	
7. 途中で寄り道がしたいから	8. 運行ダイヤの時間に縛られるから	
9. 乗り方がわからないから		
10. タクシー (いこまいCAR、福祉タクシーを含む) を利用するから		
11. その他 ()		
(6) いこまいCARに登録していますか、または、福祉タクシーチケットを申請していますか (○は1つ)		
1. いこまいCARに登録している	2. 福祉タクシーチケットを申請している	
3. いずれも利用していない		
(6) で「1. いこまいCARに登録している」、「2. 福祉タクシーチケットを申請している」と答えた方のみ以下の質問にお答えください		
(6) - 1 どれくらいの頻度で利用していますか (○は1つ)		
1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日
4. 月に数回	5. 年に数回	6. 利用しない

(6) で「3. いずれも利用していない」と答えられた方、または(6) - 1で「5. 年に数回」「6. 利用しない」と答えられた方のみ以下の質問にお答えください

(6) - 2 利用しない理由は何ですか (いくつでも)

※いずれも利用していないかたは両方お答えください。

いこまいCAR	福祉タクシーチケット
1. 自分で移動できるから (徒歩、自転車、自動車)	1. 自分で移動できるから (徒歩、自転車、自動車)
2. 送迎してもらえるから	2. 送迎してもらえるから
3. 運賃が高いから	3. 自己負担が多くかかるから
4. 途中で寄り道がしたいから	4. 利用する機会がなかったから
5. 運行時間が短いから	5. 1人で外出が難しいから
6. 市外への利用ができないから	6. バスや電車を利用するから
7. 前日までに予約をしないといけないから	7. 福祉タクシーチケットの制度自体を知らないから
8. いこまいCARの制度自体を知らないから	8. 利用しないが万一に備え申請だけしたいから
9. 利用しないが万一に備え登録だけしたいから	9. まだ申請できないから (85歳未満)
10. その他 ()	10. その他 ()

(7) 運転免許証の自主返納[※]について、あてはまるものを選んでください (○は1つ)

1. 返納する予定はない 2. 返納する予定である 3. すでに返納した
4. 制度自体を知らない 5. 運転免許証を持っていない

※運転免許証の有効期限が満了する前に自らの意思により公安委員会に対して、運転免許の取消申請をすることで、身分証明書として使うことができる運転経歴証明書を発行してもらえる制度

2 在宅介護実態調査

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査



～ご協力のお願い～

みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

江南市では、令和5年度に新たな『介護保険事業計画及び高齢者福祉計画』を策定します。高齢者の方が安心して暮らせる社会の実現に向けた計画を策定するにあたり、みなさまの現状や希望を把握するため、アンケート調査を実施いたしますので回答にご協力ください。なお、お答えいただいた内容については、統計的に処理いたしますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◇アンケート調査対象者〔対象人数 1,000人（無作為抽出）〕

・市内に居住されている要介護認定を受けられた方で、主に在宅で暮らしている方

令和5年2月

江南市長 澤田 和延

●記入上のお願い

- ・この調査は、原則として調査員が聞き取りで、調査票に回答を記入していきます。ご自分で記入することもできます。
- ・質問には、要介護認定を受けているご本人がお答えください。ご本人が困難な場合には、ご家族の方などにご本人の意思を尊重して代わってご回答していただくようお願いいたします。（一部介護者の方にお答えいただく質問もあります。）
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。

●調査票の回収について

調査票の回収は調査員が行いますが、郵送によりご提出いただくことも可能です。郵送を希望する場合は、調査員にその旨をお知らせ下さい。返信用封筒をお渡ししますので、**3月31日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。**（返信用封筒には切手は不要です。また、住所・氏名のご記入も必要ありません）

Web回答について



- ◆本調査はWeb回答が可能です。Web回答で回答する場合は、右の二次元コードを読み取っていただくか、URL「<https://src.webcas.net/form/pub/src/konan2>」から江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査（要介護認定者）のWebページにアクセスし、下記のIDとパスワードを入力してご回答ください。Webで回答いただいた場合は、調査票を返送していただく必要はありません。

ID：

パスワード：

※IDとパスワードは無作為に付与されているため、回答の方法を問わず、回答された方が特定されたり、回答内容が明らかにされたりすることはありません。

●調査についてのお問い合わせ

江南市役所 健康福祉部 高齢者生きがい課 地域ケアグループ

電話：0587-54-1111（内線416） FAX：0587-56-5951

問5 あなたの生活状況は以下のどの状態に近いですか。次の番号から選んでください。(1つを選択)また、矢印に沿って、より詳細な状況をお答えください。

1. 自立しており、ひとりで外出できる **→問5-1**
2. 自立しているが介助なしでは外出できない **→問5-2**
3. 日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる **→問5-3**
4. 一日中ベッド上で過ごし、寝たきりの状態である **→問5-4**

問5-1 「1. 自立しており、ひとりで外出できる」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

1. バス等の交通機関(自家用車を含む)を使って遠方に外出できる
 2. 遠方に外出はできないが、隣近所なら外出できる
- } **→問6**

問5-2 「2. 自立しているが介助なしでは外出できない」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

1. 介助があれば外出でき、日中はほとんどベッドにはいない
 2. 介助があれば外出できるが回数は少ない、日中は寝たり起きたり
の生活である
- } **→問6**

問5-3 「3. 日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

1. 介助なしに、車いすに移って、食事、排せつ等をベッドから離れて行うことができる
 2. 介助があれば、車いすに移ることができる
- } **→問6**

問5-4 「4. 一日中ベッド上で過ごし、寝たきりの状態である」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

- 1. 自力で寝返りをうつことができる
 - 2. 自力で寝返りをうつことができない
- } →問6

問6 認知症の症状(記憶が抜け落ちてしまう、日時や場所がわからない、今までできたことができなくなる等)がみられますか。(1つを選択)

- 1. みられる
- 2. みられない →A票 問1

(問6で「1. みられる」とお答えの方に)
問6-1 それは以下のどの状態に近いですか。次の番号から選んでください。(1つを選択)

- 1. 何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している →A票 問1
- 2. 日常生活は誰かが見てくれていれば自立できている →問6-2
- 3. 日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている →問6-3
- 4. 日常生活に問題のある行動を頻繁に起こしてしまうため、常に介護を受けている →A票 問1
- 5. 著しい精神症状、問題行動があり、専門医療を受けている →A票 問1

問6-2 「2. 日常生活は誰かが見てくれていれば自立できている」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

- 1. 外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い
 - 2. 外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったりするだけでなく、家庭でも薬の管理ができなかったり、電話の応対ができないことがある
- } →A票 問1

問6-3 「3. 日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」とお答えの方にお伺いします。あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。以下の番号から選んでください。(1つを選択)

- 1. 日中を中心に問題のある行動をしてしまう
 - 2. 夜間を中心に問題のある行動をしてしまう
- } →A票 問1

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします。

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのはどなたですか。(複数回答可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他()

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

1. ない → **問9 (7ページ)**
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問4 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 男性
2. 女性

問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- 12. 食事の準備(調理等)
- 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- 15. その他()
- 16. わからない

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

- 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
 - 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
 - 3. 主な介護者が転職した
 - 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
 - 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
 - 6. わからない
- ※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 特になし | |

問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 12 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
(複数選択可)

- | | | |
|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) | |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 | |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 | |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 | |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 | |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | | |
| 14. その他 | 15. なし | 16. わからない |

問 13 ご本人(調査対象者)は、現在、医師による訪問診療を利用していますか。
(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|
- ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 14 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● **問 14 で「2.」を回答した場合は、問 15 も回答してください。**

問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

→ **問 15-1(9ページ)**

問2 主な介護者の方が、介護を行ううえで困っていることは何ですか。

(複数選択可)

1. 睡眠時間や休息する時間がとれない
2. 自分の健康が保てない
3. 介護保険サービスを利用させたいが、本人が使いたがらない
4. ストレスがたまっている
5. 本人との意思疎通がうまくできない
6. 適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない
7. 介護を続けていく自信がない
8. 急な病気や用事の時に、ショートステイを利用できない
9. 医療処置のために利用できるサービスが限定される
10. 家族や親族の理解が足りない
11. 精神的・肉体的疲労感が限界である
12. 自分の他に介護をしてくれる人がいない
13. その他(具体的に:)
14. 特にない

問3 介護についての不安なことや悩みは誰に(どこに)相談しますか。

(複数選択可)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居している家族 |
| 3. 別居している家族 | 4. 親族 |
| 5. 医師・看護師 | 6. 介護支援専門員(ケアマネジャー) |
| 7. サービス提供事業者 | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 市役所 | 10. その他() |

問4 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問7(12 ページ)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問5 問4で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 問4で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)
(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- 12. 食事の準備(調理等)
- 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- 15. その他()
- 16. 不安に感じていることは、特にない
- 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問1 1か月の利用者負担額はいくらですか。(食費・居住費を含みます。また、高額介護サービス費の支給は含みません。)(1つを選択)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 5,000 円未満 | 2. 5,000 円以上～10,000 円未満 |
| 3. 10,000 円以上～20,000 円未満 | 4. 20,000 円以上～30,000 円未満 |
| 5. 30,000 円以上～40,000 円未満 | 6. 40,000 円以上～50,000 円未満 |
| 7. 50,000 円以上 | 8. 現在は、サービスを利用していない |

問2 利用限度額までサービスを利用していますか。(1つを選択)

1. 利用している → **問4(14 ページ)** 2. 利用していない

問3 問2で「2.」と回答した方にお伺いします。

利用限度額までサービスを利用しない理由は何ですか。(複数選択可)

1. 現在の利用で十分だから
2. 介護保険以外の福祉サービスを利用しているから
3. 近隣の人の助けやボランティアを利用しているから
4. 利用したいが利用者負担金が高いから → **問3-1(14 ページ)**
5. 利用したい介護保険サービスがないから
6. 家族が介護しているから
7. 緊急時に備え、短期入所に振り替える分を残しているから
8. 介護保険サービスの内容が良くないから
9. その他(具体的に: _____)

サービスの種類	1週間あたりの利用回数 (それぞれひとつに○)					今後の 利用希望 (希望する 場合に○)	
	利用して いない	週1 程度	週2 程度	週3 程度	週4 程度		週5 以上
夜間対応型訪問介護 夜間にヘルパーの定期的な訪問や随時の訪問 (訪問のあった回数を回答してください)	0	1	2	3	4	5	1
認知症対応型通所介護 認知症に対応したデイサービス	0	1	2	3	4	5	1

サービスの種類	利用の有無 (どちらかに○)		今後の 利用希望 (希望する 場合に○)
	利用していない	利用した	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 定時や随時の訪問介護と訪問看護	0	1	1
小規模多機能型居宅介護 通所・訪問・短期入所の組み合わせ	0	1	1
看護小規模多機能型居宅介護 小規模多機能型に訪問看護を追加	0	1	1

サービスの種類	1か月あたりの利用日数 (それぞれひとつに○)					今後の 利用希望 (希望する 場合に○)
	利用して いない	1～ 7日	8～ 14日	15～ 21日	22日 以上	
短期入所生活介護 福祉系施設に短期間入所する方に、日常生活上の介護や機能訓練を行う	0	1	2	3	4	1
短期入所療養介護 医療系施設に短期間入所する方に、医療的なケアや日常生活上の介護を行う	0	1	2	3	4	1

サービスの種類	1か月あたりの利用回数 (それぞれひとつに○)				今後の 利用希望 (希望する 場合に○)	
	利用して いない	月 1回	月 2回	月 3回		月 4回
居宅療養管理指導 医師等が訪問し、療養上の管理及び指導を行う	0	1	2	3	4	1

※一か月の間ではなく、これまでに利用したことがあるかどうかで回答してください	利用の有無 (どちらかに○)		今後の 利用希望 (希望する 場合に○)
	利用していない	利用したことがある	
サービスの種類			
福祉用具の貸与・購入 福祉用具の貸与(車いす・特殊寝台など)や 購入費支給(腰掛け便座・入浴用いすなど)	0	1	1
住宅の改修 手すりの取付け、床段差の解消などの住宅 改修費の支給	0	1	1

・居住サービス

サービスの種類	今後の利用希望 (希望する場合に○)
特定施設入居者生活介護 介護付有料老人ホームに入居している方に介護、療養上の世話などを行う	1
認知症対応型共同生活介護 認知症の方が少人数で一緒に生活するグループホーム	1

・施設サービス

サービスの種類	今後の利用希望 (希望する場合に○)
介護老人福祉施設(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む) 特別養護老人ホーム	1
介護老人保健施設 退院後自宅に戻れるまで回復する期間入所してリハビリや医療が受けられる	1
介護医療院・介護療養型医療施設 医療と生活機能を提供する施設	1

問5 あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか。(複数選択可)

1. 病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる
2. 24時間対応の介護サービスが充実している
3. できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける
4. 見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる
5. 高齢になっても住み続けられる住まいがある
6. 家族への医療行為の指導
7. 自分の医療に関する情報をいつでも確認できる仕組み

問6 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

1. 認知症に関する相談窓口の充実
2. 認知症の早期発見への取り組み
3. 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
4. 誰もが認知症の正しい理解を得る機会(認知症予防教室等)
5. 認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援
6. 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
7. 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
8. 認知症のご本人や介護者が集う場所づくり
9. 身近な地域での家族会発足の支援
10. 認知症専門の医療機関の充実
11. 医療職の訪問
12. 認知症の方が行方不明になった際のサポート体制
13. その他(具体的に:)

問7 あなたは今後、どのような介護を受けたいですか。(1つを選択)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい
2. 介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい
3. 施設に入所したい
4. わからない

(問7で「3. 施設に入所したい」とお答えの方に)

問7-1 その理由は何ですか。(複数選択可)

1. 家が狭い、段差があるなど、現在の住居が介護に適していないから
2. 経済的な理由(自己負担が少なくて済む)から
3. 家族に負担をかけたくない(負担になる)から
4. 待機期間を見込んで早めに入所(入院)を申し込んだから
5. 介護者がいないなどの理由で、自宅で介護が受けられないから
6. ひとり暮らし(高齢者世帯)のため自宅の生活に不安を感じるから
7. 家族はいるが働いていて介護が受けられないから
8. 家族等介護者の健康状態がよくないから
9. 在宅サービスだけでは介護しきれないから
10. 認知症がひどいなど、ほとんど24時間介護が必要だから
11. その他(具体的に:)

問7-2 今後、施設への入所を検討することになった場合、心配な事は何ですか。(複数選択可)

1. 介護保険サービス利用料の支払い
2. 居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い
3. 入所を希望する時期に施設の空きがあるか
4. 施設のスタッフや入居者となじめるか
5. 実家から離れることで寂しさを感じてしまわないか
6. その他(具体的に:)

D票 福祉サービスについてお聞きします。

問1 福祉サービスの利用状況及び今後の利用希望についてお答えください。
(それぞれ1つを選択)

サービス名	利用状況				今後の利用希望
	現在利用している	利用していたが、現在は利用していない	過去に利用していたが、現在は利用していない	サービス内容は知っているが利用していない	知らない
<記入例> 訪問理髪	1	2	3	4	1
<高齢者福祉サービス>					
① 訪問理髪	1	2	3	4	1
② 寝具の洗濯	1	2	3	4	1
③ 紙おむつ助成券	1	2	3	4	1

問2 あなたがお困りのとき(今後、お困りになったとき)、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか。(複数選択可)

1. 安否確認の見守りや声かけ
2. ちょっとした買い物の手伝い
3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
4. 食事のおすそ分け
5. ゴミ出し
6. 話し相手、相談相手
7. 外出や通院の付き添い
8. 災害時の手助け
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない

問1 新型コロナウイルス感染症の影響によって、どのような変化を感じましたか。(それぞれ1つを選択)

①外出回数など日常の変化

1. かなりあった 2. あった 3. 少しあった 4. なかった

②体力など身体的な変化

1. かなりあった 2. あった 3. 少しあった 4. なかった

③精神的な変化

1. かなりあった 2. あった 3. 少しあった 4. なかった

問1-1 問1①②③で「1.」「2.」「3.」と回答した方にお伺いします。
変化があった理由は何ですか。(複数選択可)

1. 事業所、店舗、活動の場等が休みだったから
2. 感染予防のため、人に会うことを控えたから
3. 感染予防のため、経費が多くかかったから
4. 収入が減ったから
5. 感染予防のため、生活の仕方が変わったから
6. 自宅にいる時間が増えたから
7. 家族と話す機会が増えたから
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない

最後に **高齢社会への対応について**

問1 高齢社会への対応について、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(5つまで選択可)

1. 高齢者の各種相談や介護経験者による相談窓口の情報提供
2. 高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備
3. 高齢者と同居している家族への介護支援の充実
4. 24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり
5. 高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援
6. ひとり暮らし高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)
7. 高齢者の権利擁護・虐待防止、消費者被害の相談窓口の充実
8. 認知症に対する取り組み(認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等)
9. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする場所の提供
10. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする活動の支援
11. 福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上
12. 介護予防教室の充実・周知
13. ボランティアによる見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の推進
14. その他(具体的に: _____)
15. 特にない

◎介護保険や福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3 事業所調査

A票 介護人材実態調査

江南市介護保険サービス等事業所調査 ～ご協力のお願い～

みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、各事業所においては、介護保険制度を支えていただいておりますことに深く感謝いたします。

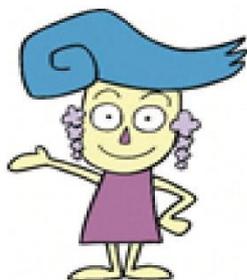
このアンケートは、事業所の皆さまのご意見をお聞きし、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画がより実態に即したものとなるよう、参考にさせていただくためのものです。

調査において、ご記入いただいた内容につきましては、回答された法人が特定されないように集計処理し、本業務の目的以外では使用しませんので、率直なご意見をお聞かせください。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年2月

江南市長 澤田 和延



『調査票のご記入に当たってのお願い』

◎調査票は2種類あります。

事業所のサービス種別により、調査対象となる調査票を送付しています。

調査票名		対象事業所サービス種別
A票	介護人材 実態調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、 介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、 通所介護(地域密着型含む)、認知症対応型通所介護、 ショートステイ、訪問介護、小規模多機能型居宅介護
B票	住まいの変更に 関する調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、 介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、 軽費老人ホーム

※特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム及び特定施設はA票、B票2種類の調査をお願いいたします。

※サービス種別ごとにご回答いただきますようお願いいたします。

- ① 記入式の回答は、具体的にご記入ください。
- ② 封筒には差出事業所名の記入は不要です。
- ③ 当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ④ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にてご返送いただくか、次のとおりWebで回答いただきますようお願いいたします。

Web回答について



◆Webで回答する場合は、右の二次元コードを読み取っていただくかURL「<https://src.webcas.net/form/pub/src/konan3>」から
江南市介護保険サービス等事業所調査のWebページにアクセスし、

下記のIDとパスワードを入力してご回答ください。

Webで回答いただいた場合は、調査票を返送していただく必要はありません。

ID :

パスワード :

※IDとパスワードは無作為に付与されているため、回答の方法を問わず、回答された方が特定されたり、回答内容が明らかにされたりすることはありません。

回答期限：令和5年3月31日(金)

期限までの投函またはWeb回答にご協力をお願いします。

●調査についてのお問い合わせ

江南市役所 健康福祉部 高齢者生きがい課 介護給付グループ

電話：0587-54-1111 (内線279)

FAX：0587-56-5951

A票 介護人材実態調査

1 貴事業所の職員雇用状況について ※サービス種別ごとにご記入ください。

問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 社会福祉法人 | 2 医療法人 |
| 3 営利法人(株式会社、有限会社等) | 4 NPO |

問2 貴事業所で提供するサービス種別(調査対象となっているサービス種別)はどれですか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 訪問介護(訪問型サービス、訪問型サービスAを含む) |
| 2 通所介護(通所型サービス、通所型サービスAを含む) |
| 3 地域密着型通所介護(通所型サービス、通所型サービスAを含む) |
| 4 (介護予防)認知症対応型通所介護 |
| 5 (介護予防)短期入所生活介護 |
| 6 (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 7 (介護予防)小規模多機能型居宅介護 |
| 8 (介護予防)認知症対応型共同生活介護 |
| 9 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 10 介護老人福祉施設 |
| 11 介護老人保健施設((介護予防)短期入所療養介護を含む) |
| 12 その他 |

問3 貴事業所の運営年数は何年ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1 1年未満 | 2 1～3年未満 | 3 3～7年未満 |
| 4 7～10年未満 | 5 10年以上 | |

問4 貴事業所の従業員(職種や正規・非正規は問わず)は何人ですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 5人未満 | 2 5～9人 | 3 10～29人 |
| 4 30～49人 | 5 50～99人 | 6 100人以上 |

問4-1 現在の介護職員の人数と平均勤務年数をご記入ください。

※ここでの「介護職員」とは、高齢者に対し生活全般にわたって援助するケアワーカーのことです。

賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

※ここでの「平均勤務年数」とは、貴事業所法人での勤続年数の平均のことです。

	正規職員	非正規職員
介護職員数	[] 人	[] 人
平均勤務年数	[] 年	[] 年

問4-2 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)中の介護職員の採用者数をご記入ください。

年齢 (採用時)	正規職員				非正規職員	
	新卒 (福祉系)	新卒 (それ以外)	中途 (経験あり)	中途 (経験なし)	新卒	中途
20歳未満	人	人	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人	人	人
70歳以上	人	人	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人	人	人
合計	人	人	人	人	人	人

問 4-3 令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）中の介護職員の離職者数をご記入ください。

年齢 (離職時)	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人
20～29歳	人	人
30～39歳	人	人
40～49歳	人	人
50～59歳	人	人
60～69歳	人	人
70歳以上	人	人
年齢不明	人	人
合計	人	人

問 4-4 介護職員が離職する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 賃金が低い等労働条件が良くないため
- 2 他の介護サービス提供事業者の方が待遇が良く、転職するため
- 3 職員が不足しており、一人当たりの負担が大きくなってしまったため
- 4 職場の雰囲気になじめないため
- 5 職場内の人間関係が良くない
- 6 研修や指導が適切に行われず、フォローアップがうまくできていないため
- 7 体力的に厳しく、続けることができないため
- 8 自分の家族の介護があるため
- 9 その他 ()
- 10 特になし

2 事業所の人材確保と人材定着状況について

問7 現在不足している人材はどんな職種ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ |
| 2 | 看護師や保健師などのスタッフ |
| 3 | 社会福祉士などの相談員または指導員 |
| 4 | 理学療法士や作業療法士などのリハビリ専門員 |
| 5 | 栄養士 |
| 6 | 介護支援専門員(ケアマネジャー) |
| 7 | 事務員や運転手、調理員などの補助スタッフ |
| 8 | その他 () |
| 9 | 特になし |

問8 貴事業所における人材確保(職員募集)の主な手段はどれですか。(〇は2つまで)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 民間職業紹介事業者(紹介会社) |
| 2 | 公共職業安定所(ハローワーク) |
| 3 | インターネットやSNSの求人情報サイト掲載 |
| 4 | 求人情報誌掲載 |
| 5 | 新聞広告掲載 |
| 6 | 学校等(大学、看護学校、専門学校等) |
| 7 | 直接募集 |
| 8 | 知り合いからの紹介 |
| 9 | その他 () |

問8-1 人材確保の手段を選択するうえで、どのような点を重視していますか。

(〇は2つまで)

- | | |
|---|---|
| 1 | 多くの求職者からの応募が期待できる |
| 2 | 確実に求職者を紹介してもらえる |
| 3 | 能力の高い求職者が期待できる |
| 4 | 求職者と事業所がお互いについて十分理解した上で採用できる(ミスマッチが少ない) |
| 5 | 就職後のアフターケアが充実している |
| 6 | その他 () |
| 7 | 特になし |

問8-2 人材確保の手段を選択するうえで、問題と感じていることがあれば記入してください。

--

問9 貴事業所において、就業を希望する高齢者を採用する意向はありますか。(○は1つ)

1 現在既に採用しているため、今後も採用していきたい
2 採用したい
3 ボランティアとして採用したい
4 採用しない
5 わからない

問9-1 問9で1~3と回答した場合、どのような内容において採用したいと考えていますか。(○はいくつでも)

1 介護職員(有資格者)
2 介護職員(無資格者)
3 介護職員以外の資格が必要なスタッフ
4 事務員や運転手、調理員などの補助スタッフ
5 傾聴活動やイベント時の補助スタッフ
6 その他 ()

問9-2 問9で4と回答した場合、採用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 体力的な不安があるため
2 どうやって募集するかがわからない
3 忙しくて募集するまで手が回らない
4 高齢者スタッフを育成する体制ができていない
5 その他 ()

問10 貴事業所において、就業を希望する外国人を採用する意向はありますか。(○は1つ)

- 1 現在既に採用しているため、今後も採用していきたい
- 2 採用したい
- 3 ボランティアとして採用したい
- 4 採用しない
- 5 わからない

問10-1 問10で1～3と回答した場合、どのような内容において採用したいと考えていますか。(○はいくつでも)

- 1 介護職員(有資格者)
- 2 介護職員(無資格者)
- 3 介護職員以外の資格が必要なスタッフ
- 4 事務員や運転手、調理員などの補助スタッフ
- 5 傾聴活動やイベント時の補助スタッフ
- 6 その他 ()

問10-2 問10で4と回答した場合、採用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 言葉やコミュニケーションの不安があるため
- 2 どうやって募集するかがわからない
- 3 忙しくて募集するまで手が回らない
- 4 外国人スタッフを育成する体制ができていない
- 5 その他 ()

問11 介護職への求職者を増やすために必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 介護に関する仕事についての普及啓発・魅力の紹介
- 2 介護業界全体の賃金の改善
- 3 各事業所の就職フェアへの参加・PR
- 4 介護職につながる体験の機会を増やす
- 5 その他 ()

問12 貴事業所の従業員の定着率向上において、問題となっていることは何ですか。

(○は3つまで)

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 介護職がキャリアアップを図れるような機会や仕組みが十分でない |
| 2 | 介護の仕事自体の深さや面白さを気付きにくい |
| 3 | 日々の介護の中で仕事の成果を実感しにくい |
| 4 | 職場内の職員の育成体制ができていない |
| 5 | 会議やミーティングで積極的なコミュニケーションが図られていない |
| 6 | 職場の人間関係にともなう摩擦や対立が生じやすい |
| 7 | 身体的・精神的な負担が厳しい |
| 8 | 不規則な勤務体制にならざるをえない |
| 9 | 賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある |
| 10 | 育児休暇・子育て支援など働きやすい職場環境が整っていない |
| 11 | その他 () |
| 12 | 特になし |

問13 従業員を定着させるために取り組んでいることは何ですか。

(○は3つまで)

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | 賃金・労働時間等の労働条件の改善 |
| 2 | 資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映 |
| 3 | キャリアに応じた給与体系の整備 |
| 4 | 従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨 |
| 5 | 非正規従業員から正規従業員への登用の機会設定 |
| 6 | 福利厚生充実 |
| 7 | 子育て、介護など両立支援等の充実などの職場環境の整備 |
| 8 | 介護ロボット等の導入 |
| 9 | 職場の悩みや不満を相談する窓口の設置やハラスメント対策の実施 |
| 10 | その他 () |
| 11 | 特になし |

3 事業所の運営について

問 14 貴事業所の事業運営について、今後どのように実施することを予定（検討中を含む）
していますか。（○は1つ）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 現状のまま継続する |
| 2 | 定員増などにより規模を拡張する |
| 3 | 定員減などにより規模を縮小する |
| 4 | 現在実施していない介護サービスを開始する |
| 5 | 廃止する |
| 6 | その他（
） |

問 14-1 問 14 で 4 と回答した場合、該当の介護サービスの番号を○で囲んでください。
（○はいくつでも）

- | | | | |
|----|-------------------|----|----------------------------|
| 1 | 訪問介護（ホームヘルプサービス） | 16 | （介護予防）認知症対応型通所介護 |
| 2 | （介護予防）訪問入浴介護 | 17 | （介護予防）小規模多機能型居宅介護 |
| 3 | （介護予防）訪問看護 | 18 | （介護予防）認知症対応型共同生活介護 |
| 4 | （介護予防）訪問リハビリテーション | 19 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 5 | （介護予防）居宅療養管理指導 | 20 | 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 6 | 通所介護（デイサービス） | 21 | 看護小規模多機能型居宅介護（複合型
サービス） |
| 7 | （介護予防）通所リハビリテーション | 22 | 介護老人福祉施設 |
| 8 | （介護予防）短期入所生活介護 | 23 | 介護老人保健施設 |
| 9 | （介護予防）短期入所療養介護 | 24 | 介護医療院（介護療養型医療施設） |
| 10 | （介護予防）特定施設入居者生活介護 | 25 | 訪問型サービス |
| 11 | （介護予防）福祉用具の貸与 | 26 | 訪問型サービスA |
| 12 | （介護予防）福祉用具の販売 | 27 | 通所型サービス |
| 13 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 28 | 通所型サービスA |
| 14 | 夜間対応型訪問介護 | 29 | その他（
） |
| 15 | 地域密着型通所介護 | | |

問15 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。(〇は5つまで)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 特にない | 2 施設・設備の改善 |
| 3 利用者が確保できない | 4 業務量が多い |
| 5 サービスの提供を希望する曜日や時間が集中する | |
| 6 利用者や家族からの相談や苦情が多い | |
| 7 従業員不足で十分なサービスを提供できない | |
| 8 従業員の専門性が不足している | 9 必要な情報が入手できない |
| 10 地域・近所の理解がない | 11 利用者や家族の理解がない |
| 12 市・県(行政)との連携が十分でない | 13 医療との連携が十分でない |
| 14 同業者との連携、情報交換が十分でない | |
| 15 人員基準を満たし、維持すること | 16 設備基準の遵守 |
| 17 運営基準の遵守 | 18 介護報酬が低い |
| 19 地域区分による単価が低い | |
| 20 その他 () | |

問16 介護保険事業全般について日頃感じていることがありましたら、自由にお書きください。

～アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。～

B 住まいの変更に関する調査

B 票 住まいの変更に関する実態調査

※ 令和4年4月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 住宅型有料老人ホーム | 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く） |
| 3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） | 4. グループホーム |
| 5. 特定施設 | 6. 地域密着型特定施設 |
| 7. 介護老人保健施設 | 8. 介護療養型医療施設・介護医療院 |
| 9. 特別養護老人ホーム | 10. 地域密着型特別養護老人ホーム |

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 定員数など	{ } [人・戸・室] ※該当する単位に○
2) 入所・入居者数	{ } 人 うち、江南市被保険者{ }人
3) (貴施設等の) 待機者数	{ } 人
4) 入所・入居者中、特別養護老人ホームを申し込んでいる人数	{ } 人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「1) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 3)と4)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
{ }人								

問4 現在の入所・入居者で、以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。複数の医療処置を受けている場合は、最も依存度の高いものに計上してください。(数値を記入)

1) 点滴の管理	{ } 人	2) 中心静脈栄養	{ } 人
3) 透析	{ } 人	4) ストーマの処置	{ } 人
5) 酸素療法	{ } 人	6) レスピレーター	{ } 人
7) 気管切開の処置	{ } 人	8) 疼痛の看護	{ } 人
9) 経管栄養	{ } 人	10) モニター測定	{ } 人
11) 褥瘡の処置	{ } 人	12) カテーテル	{ } 人
13) 喀痰吸引	{ } 人	14) インスリン注射	{ } 人
15) その他 ()	{ } 人		

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問5 過去1年間（平成3年4月1日～令和4年3月31日）に、貴施設等へ新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等へ入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）	〔 〕 人 ★ うち、江南市被保険者〔 〕 人
----------------	----------------------------

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「14) 合計」と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数（合計）」（★欄）が一致することをご確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等へ入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	〔 〕 人	〔 〕 人
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
5) グループホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
6) 特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
7) 地域密着型特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
8) 介護老人保健施設	〔 〕 人	〔 〕 人
9) 療養型・介護医療院	〔 〕 人	〔 〕 人
10) 特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
12) その他	〔 〕 人	〔 〕 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	〔 〕 人	
14) 合計	〔 〕 人 ★	

ここからは、**過去1年間の退所・退去者**についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に、貴施設等を退所・退去した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。

退所・退去者数（合計）	[] 人 ☆ うち、江南市被保険者 [] 人
-------------	-----------------------------

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退所・退去者について、**要介護度別の人数**をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退所・退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
要介護4	要介護5	新規申請中	不明	合計	
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人 ☆	

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退所・退去者について、**退去先別の人数**をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「16）合計」と、問7でご記入いただいた「退所・退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[] 人	[] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[] 人	[] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[] 人	[] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[] 人	[] 人
5) グループホーム	[] 人	[] 人
6) 特定施設	[] 人	[] 人
7) 地域密着型特定施設	[] 人	[] 人
8) 介護老人保健施設	[] 人	[] 人
9) 療養型・介護医療院	[] 人	[] 人
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	[] 人	[] 人
11) 特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
13) その他	[] 人	[] 人
14) 行先を把握していない	[] 人	
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[] 人	
16) 合計	[] 人 ☆	

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査報告書
(令和5年度)

発行年月 令和5年8月

編集・発行 江南市 健康福祉部 高齢者生きがい課
〒483-8701 江南市赤童子町大堀90番地

電話：0587-54-1111（代表）